

角田市 高齢者実態調査 調査結果報告書

令和8年3月

角田市 市民福祉部 介護支援課

目次

第1章 調査実施の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の実施方法	1
3 調査票の配付・回収結果	2
4 報告書の見方について	2
第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果	4
問1 あなた(あて名のご本人)について	4
問2 あなた(あて名のご本人)のご家族や生活状況について	9
問3 からだを動かすことについて	13
問4 食べることについて	24
問5 毎日の生活について	35
問6 地域での活動について	45
問7 就労について	57
問8 たすけあいについて	60
問9 健康について	69
問10 認知症について	82
問11 生活の手助け・ボランティアについて	90
問12 介護保険等のサービスについて	98
第3章 生活機能評価について	110
1 生活機能評価の概要(第1号被保険者・要支援認定者)	110
2 生活機能評価の結果	111
3 生活機能評価の項目別結果	112
第4章 在宅介護実態調査結果	122
1 あなた(あて名のご本人)について	122
2 あなた(あて名のご本人)のご家族や介護状況について	125
3 あなた(あて名のご本人)の生活状況について	138
4 主な介護者について【設問対象:家族・親族からの介護がある方のみ】	151
5 認知症について	158
第5章 介護サービス事業所実態調査結果	164
1 事業所について	164
2 事業所の従業員の状況について	166
3 地域生活及び地域との連携について	176
4 関係機関等との連携について	189
5 事業所の運営及びサービス等について	194
6 事業の拡大・縮小等の意向について	198

第6章 ケアマネジャー現況調査結果	202
1 あなた自身について	202
2 利用者の状況や福祉サービスについて	205
3 地域の状況について	219
4 関係機関との連携について	226
5 認知症対策について	236
6 質の向上について	239
資料編 各種アンケート調査票	242
1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	242
2 在宅介護実態調査	250
3 介護サービス事業所実態調査	254
4 ケアマネジャー現況調査	262

第1章 調査実施の概要

1 調査の目的

本調査は、高齢者が住み慣れた地域で安心して健康に暮らせる社会を実現するために、日常生活圏域における地域の課題や高齢者のニーズを的確に把握し、地域の実情に応じた「第10期角田市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を策定するための基礎資料として実施しました。

2 調査の実施方法

①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

- 調査対象者：市内在住の65歳以上の方（要介護1から要介護5の方を除く）
- 抽出方法：無作為抽出
- 調査期間：令和7年12月22日（月）～令和8年1月23日（金）
- 調査方法：郵送配付・郵送回収及びWEB回答

②在宅介護実態調査

- 調査対象者：市内在住の要支援・要介護認定者（在宅生活者のみ）
- 抽出方法：無作為抽出
- 調査期間：令和7年12月22日（月）～令和8年1月23日（金）
- 調査方法：郵送配付・郵送回収及びWEB回答

③介護サービス事業所実態調査

- 調査対象：市内及び近隣の介護保険サービス提供事業所
- 調査期間：令和8年1月23日（金）～令和8年2月9日（月）
- 調査方法：郵送配付・郵送回収

④ケアマネジャー現況調査

- 調査対象者：市内の介護保険サービスの利用者を担当するケアマネジャー
- 調査期間：令和8年1月23日（金）～令和8年2月9日（月）
- 調査方法：郵送配付・郵送回収

3 調査票の配付・回収結果

①今回調査

調 査 票	調査対象者数 (配付数)	有効回収数	有効回収率
介護予防・日常生活圏域二一ズ調査	【全体】 2,000 件	【全体】 1,509 件 (WEB回答55件)	【全体】 75.5%
	【年齢区分】	【年齢区分】	【年齢区分】
	65～74 歳：851 件	65～74 歳：611 件	65～74 歳：71.8%
	75～84 歳：856 件	75～84 歳：642 件	75～84 歳：75.0%
	85 歳以上：293 件	85 歳以上：222 件	85 歳以上：75.8%
在宅介護実態調査	【全体】 800 件	【全体】 517 件 (WEB回答31件)	【全体】 64.6%
	【年齢区分】	【年齢区分】	【年齢区分】
	65～74 歳：104 件	65～74 歳：68 件	65～74 歳：65.4%
	75～84 歳：229 件	75～84 歳：155 件	75～84 歳：67.7%
	85 歳以上：467 件	85 歳以上：294 件	85 歳以上：63.0%
介護サービス事業所実態調査	60 件	39 件	65.0%
ケアマネジャー現況調査	64 件	49 件	76.6%

②【参考】前回調査

調 査 票	調査対象者数 (配付数)	有効回収数	有効回収率
介護予防・日常生活圏域二一ズ調査	2,000 件	1,578 件	78.9%
在宅介護実態調査	1,000 件	703 件	70.3%
介護サービス事業所実態調査	70 件	51 件	72.9%
ケアマネジャー現況調査	53 件	36 件	67.9%

4 報告書の見方について

- 回答結果の割合「%」は有効回答数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても同様です。

- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「n（number of cases）」は、有効回答数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人数）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。
- 表については、「その他」「不明・無回答」を除く、一番大きい値に網掛けをしています。
- 集計対象者数（n値）が少ない（10件未満）クロス集計について、分析対象外としています。
- 記述式の設問等については、基本のご記入いただいた原文のまま記載しています。
- 判読できない部分を省略していることがあります。

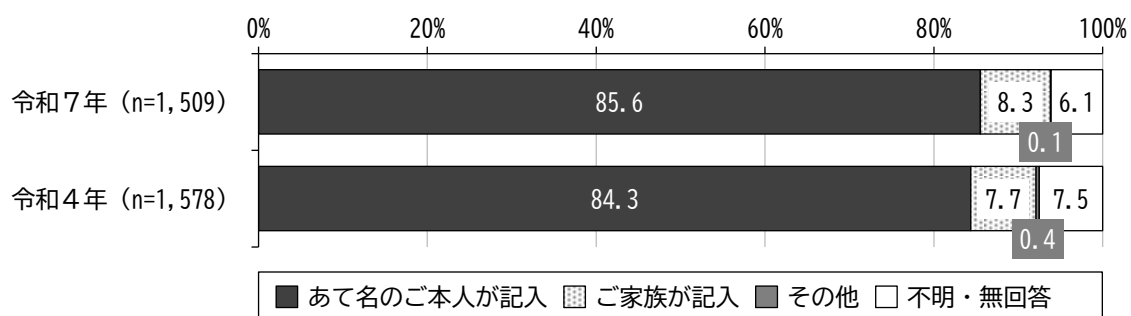
第2章 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果

問1 あなた（あて名のご本人）について

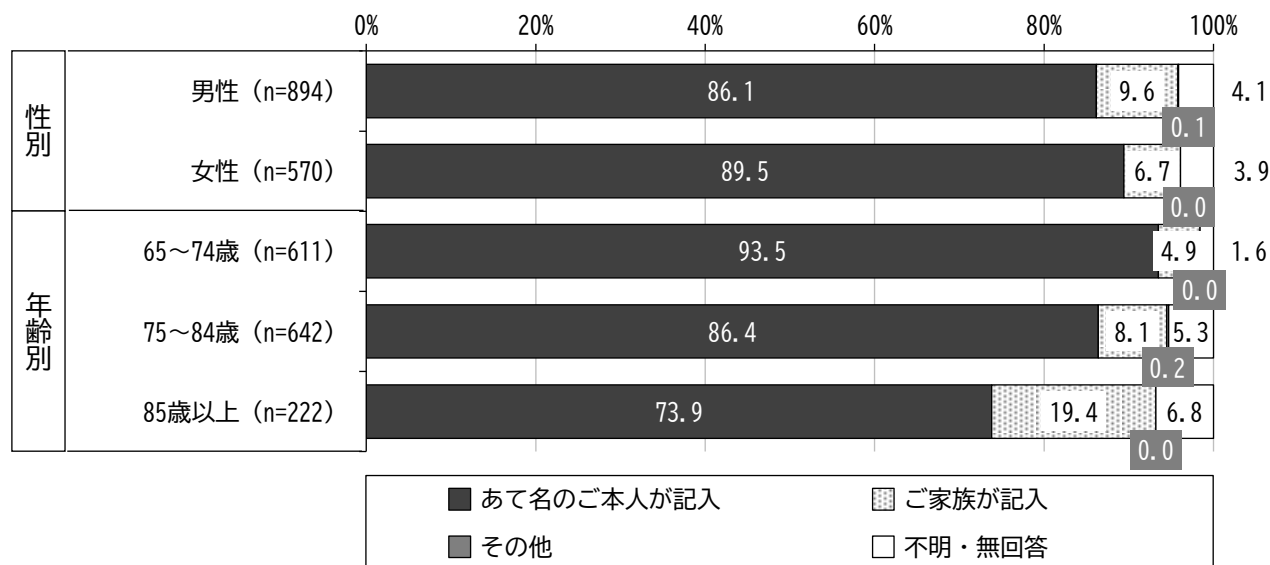
■ この調査票に記入されたのは、どなたですか。（単数回答）

調査票の記入者については、「あて名のご本人が記入」が85.6%、「ご家族が記入」が8.3%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



性別・年齢別にみると、すべての区分で「あて名のご本人が記入」が最も多くなっています。



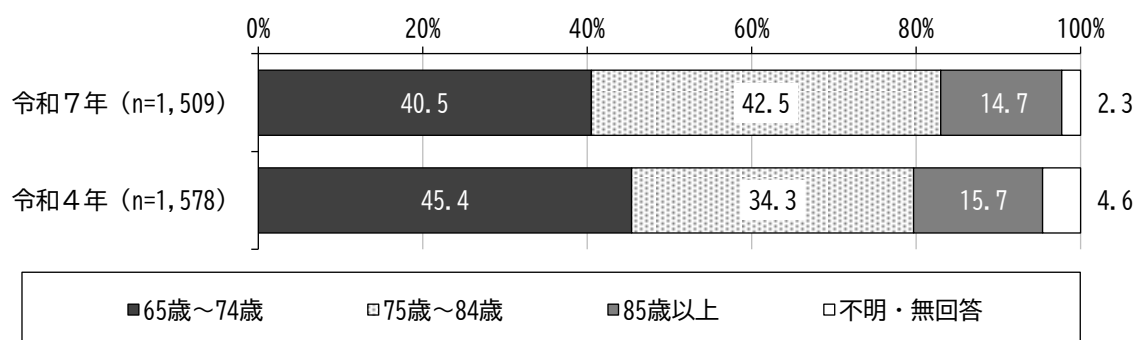
●主な内容(家族・その他)

・妻 ・長男 ・長女 等

(1) 年齢をお教えてください。(単数回答)

回答者の年齢については、「75～84 歳」が 42.5%と最も多く、次いで「65～74 歳」が 40.5%、「85 歳以上」が 14.7%となっています。

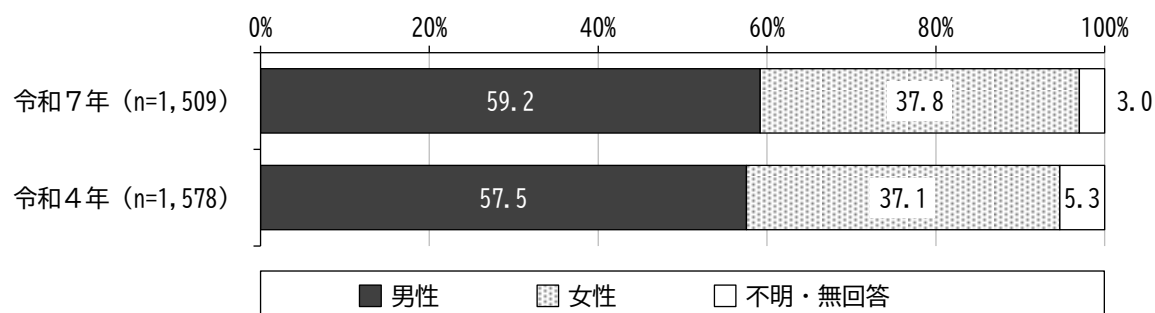
令和4年調査と比較すると、「75～84 歳」が 8.2 ポイント増加しています。



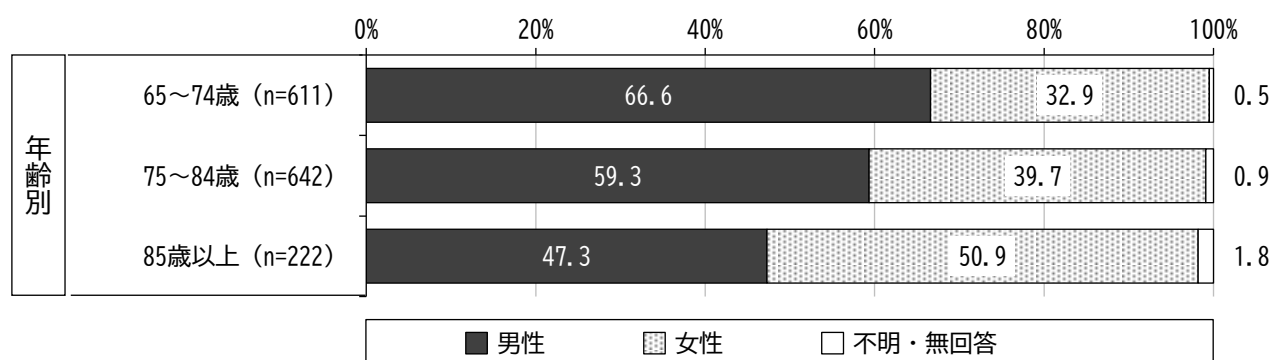
(2) 性別をお教えてください。(単数回答)

回答者の性別については、「男性」が59.2%、「女性」が37.8%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



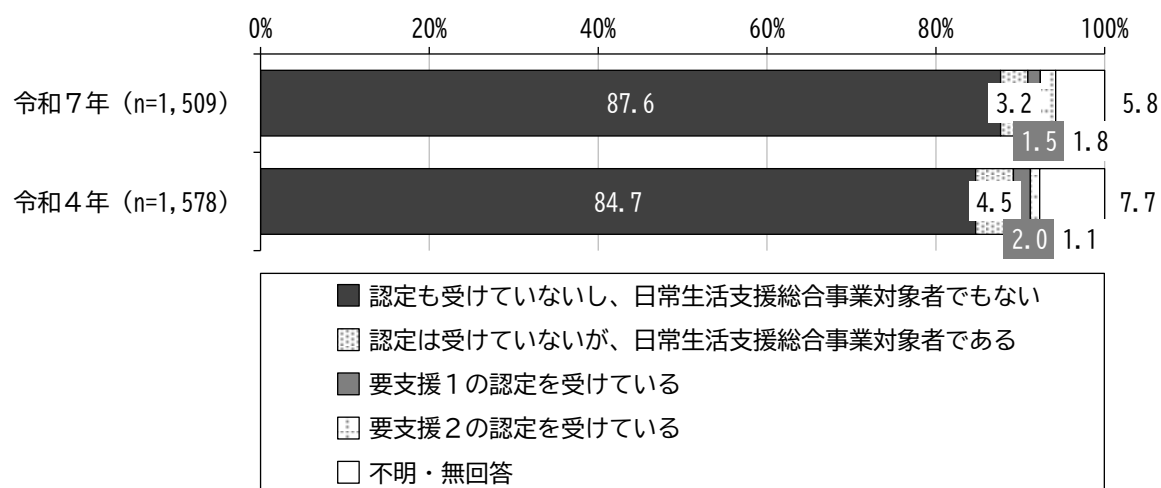
年齢別にみると、85歳以上で「女性」、それ以外の年齢で「男性」が多くなっています。



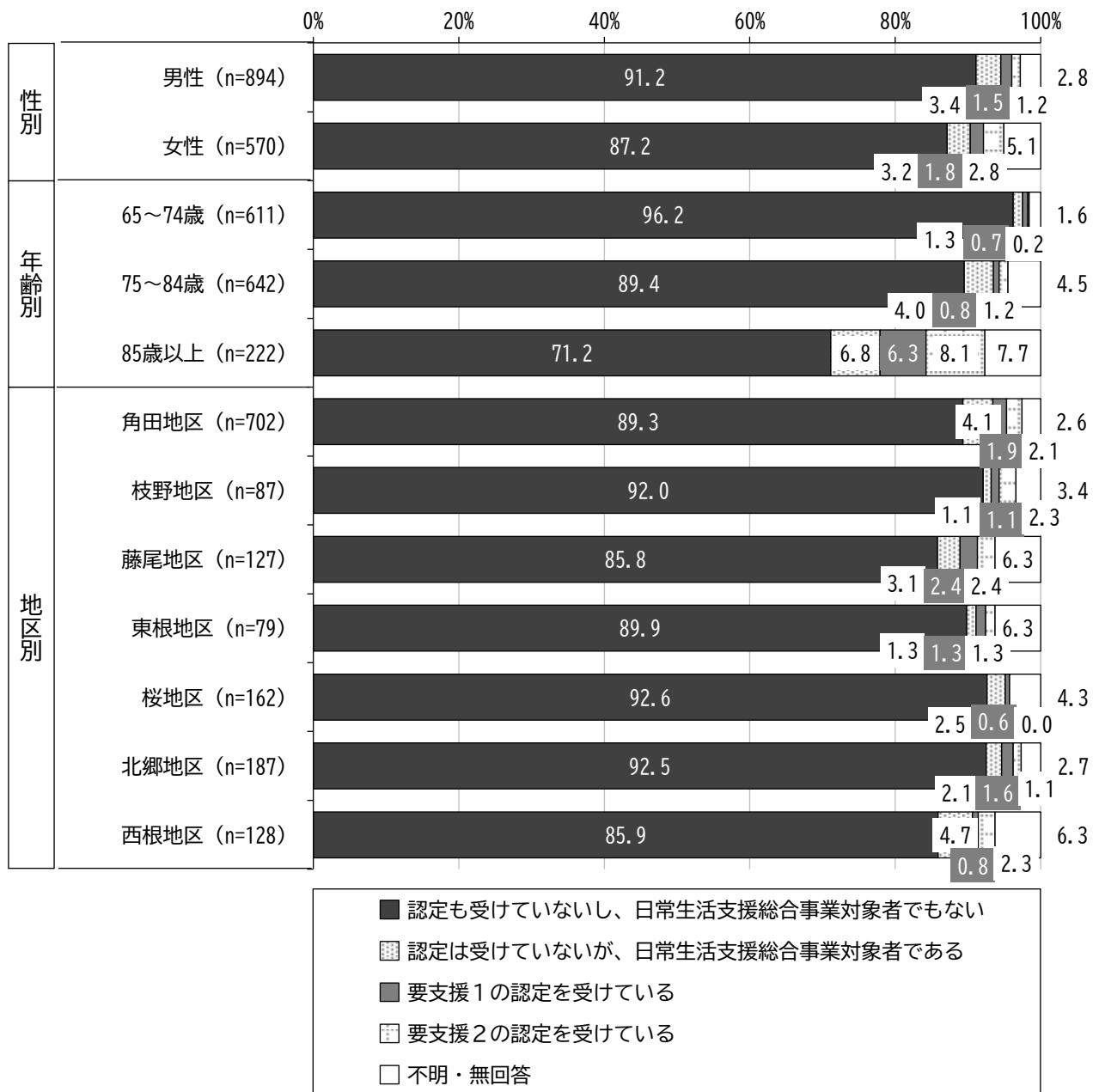
(3) 介護保険認定を受けていますか。または、総合事業対象者ですか。(単数回答)

回答者の認定状況については、「認定も受けていないし、日常生活支援総合事業対象者でもない」が87.6%と最も多く、次いで「認定は受けていないが、日常生活支援総合事業対象者である」が3.2%、「要支援2の認定を受けている」が1.8%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



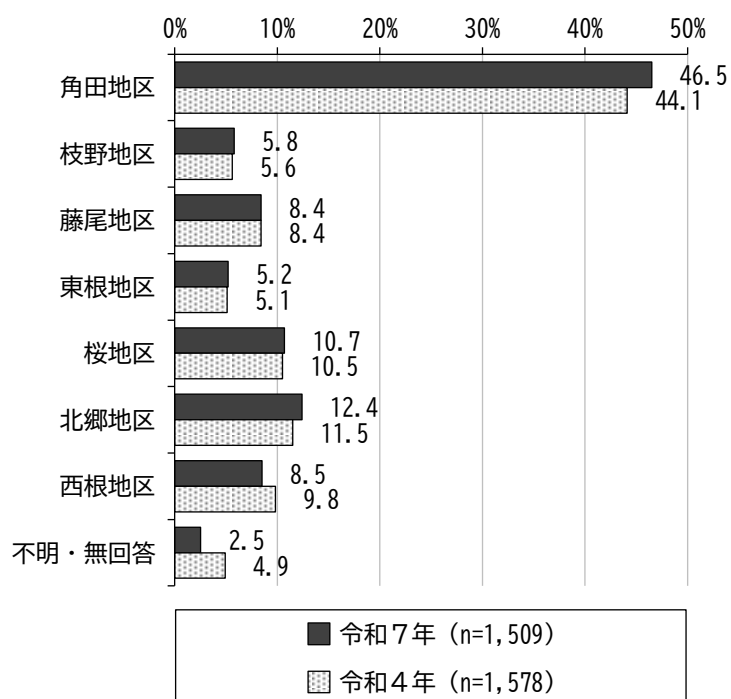
性別・年齢別・地区別にみると、すべての区分で「認定も受けていないし、日常生活支援総合事業対象者でもない」が最も多くなっています。



(4) お住まいの地区をお教えてください。(単数回答)

回答者の居住地区については、「角田地区」が46.5%と最も多く、次いで「北郷地区」が12.4%、「桜地区」が10.7%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



性別・年齢別にみると、すべての区分で「角田地区」が最も多くなっています。

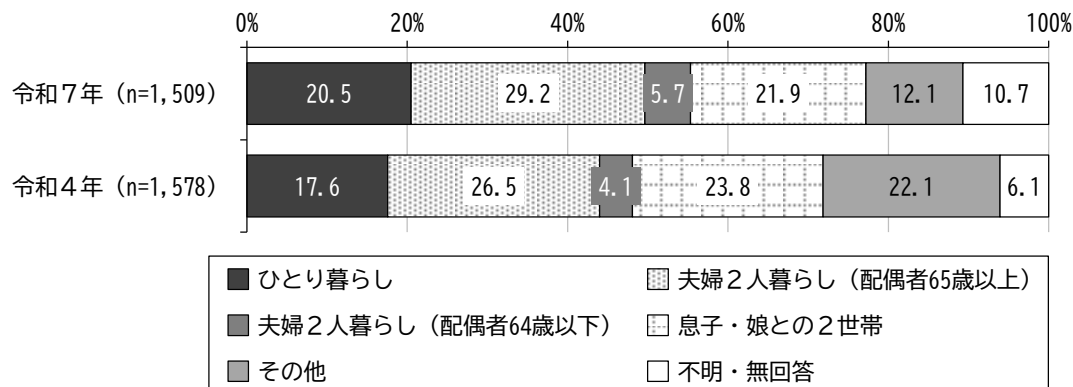
単位：%		角田地区	枝野地区	藤尾地区	東根地区	桜地区	北郷地区	西根地区	不明・無回答
全体 (n=1,509)		46.5	5.8	8.4	5.2	10.7	12.4	8.5	2.5
性別	男性 (n=894)	45.2	6.7	8.5	5.1	11.2	14.2	8.9	0.1
	女性 (n=570)	51.6	4.6	8.8	5.8	10.2	10.5	8.1	0.5
年齢別	65～74歳 (n=611)	45.8	7.0	9.2	4.7	10.1	13.6	9.2	0.3
	75～84歳 (n=642)	49.8	5.0	7.2	5.6	11.7	12.6	7.9	0.2
	85歳以上 (n=222)	45.5	5.4	11.3	6.3	11.3	9.9	9.5	0.9

問2 あなた（あて名のご本人）のご家族や生活状況について

（1）家族構成をお教えてください。（単数回答）

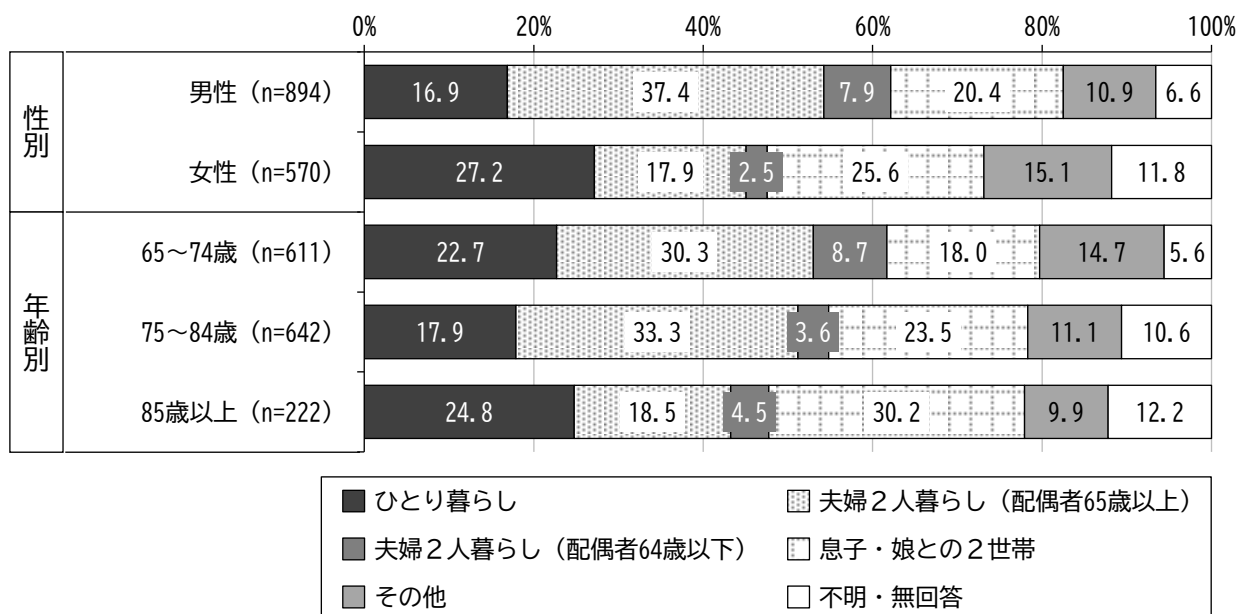
家族構成については、「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が 29.2%と最も多く、次いで「息子・娘との2世帯」が 21.9%、「ひとり暮らし」が 20.5%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



性別にみると、男性で「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」、女性で「ひとり暮らし」が最も多くなっています。

年齢別にみると、85 歳以上で「息子・娘との2世帯」、それ以外の年齢で「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が最も多くなっています。



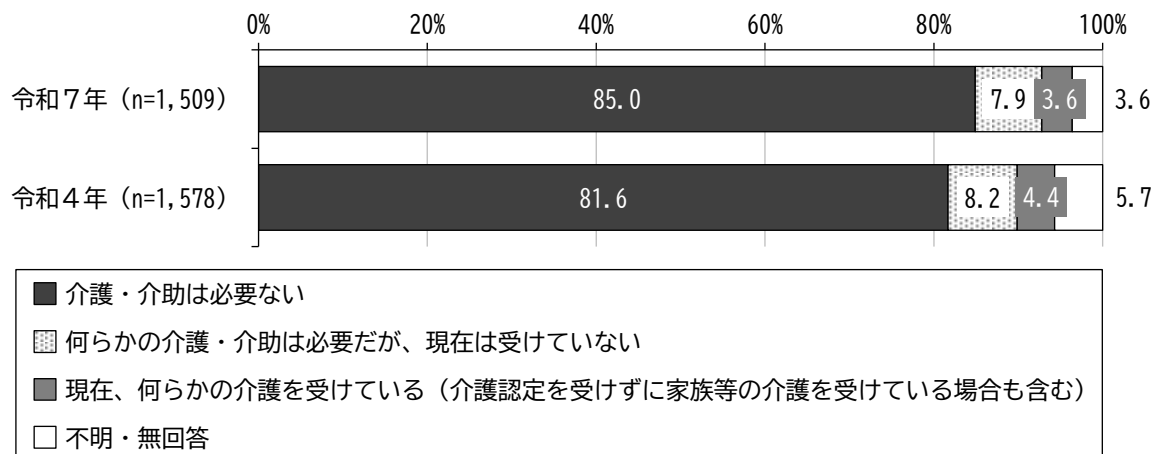
●主な内容(その他)

・ 息子（娘）と2人暮らし ・ 夫婦と息子（娘） ・ 夫婦と息子夫婦（と孫） 等

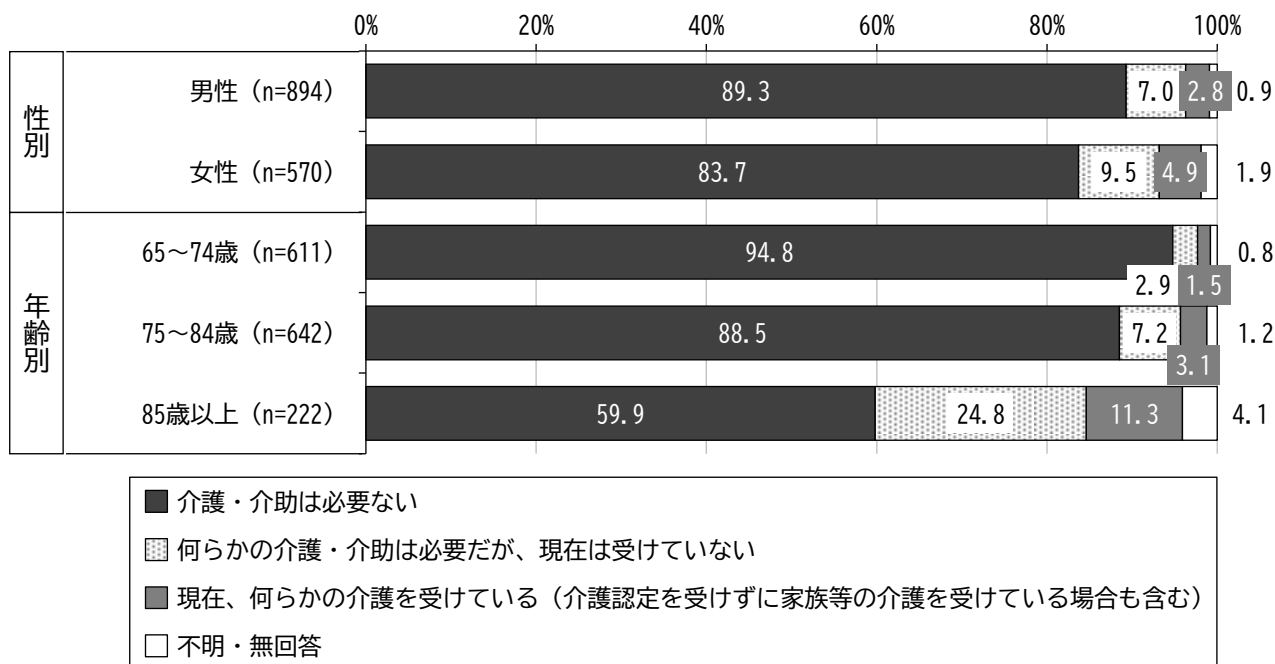
(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(単数回答)

普段の生活での介護・介助の必要性については、「介護・介助は必要ない」が85.0%と最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が7.9%、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族等の介護を受けている場合も含む）」が3.6%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



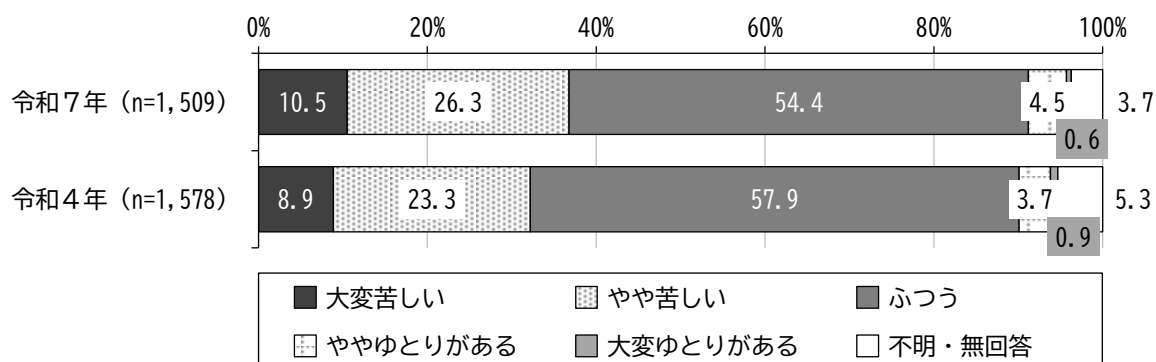
性別・年齢別にみると、すべての区分で「介護・介助は必要ない」が最も多くなっています。



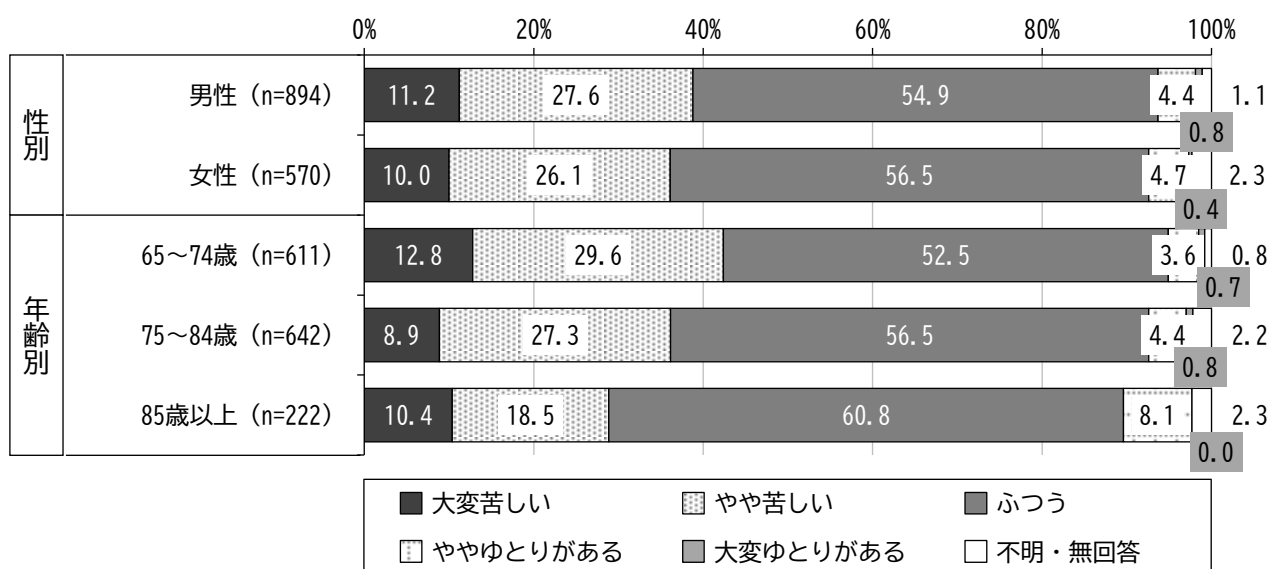
(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(単数回答)

現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じているかについては、「ふつう」が 54.4%と最も多く、次いで「やや苦しい」が 26.3%、「大変苦しい」が 10.5%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



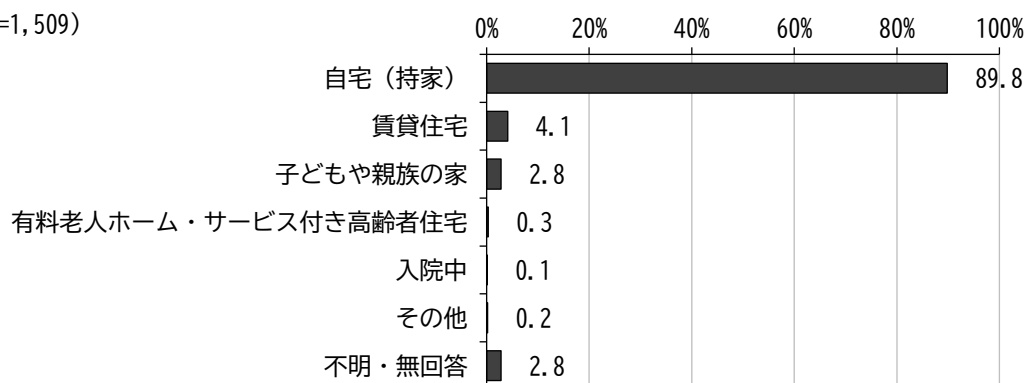
性別・年齢別にみると、すべての区分で「ふつう」が最も多くなっています。



(4) あなたは現在どこに住んでいますか。(単数回答)

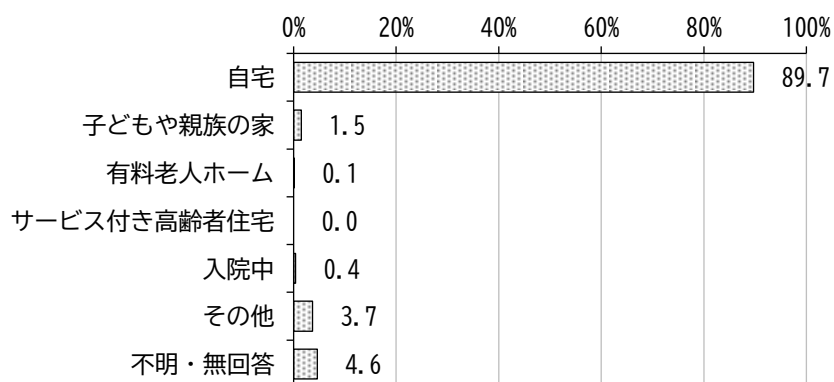
現在の居住地については、「自宅（持家）」が89.8%と最も多く、次いで「賃貸住宅」が4.1%、「子どもや親族の家」が2.8%となっています。

令和7年（n=1,509）



◆ 参考：令和4年調査

令和4年（n=1,578）



性別・年齢別にみると、すべての区分で「自宅（持家）」が最も多くなっています。

単位：%		自宅（持家）	賃貸住宅	子どもや親族の家	者サ有	者サ有	入院中	その他	不明・無回答
全体（n=1,509）		89.8	4.1	2.8	0.3	0.1	0.2	2.8	
性別	男性（n=894）	94.0	3.5	1.7	0.2	0.0	0.1	0.6	
	女性（n=570）	88.2	5.4	4.7	0.4	0.2	0.4	0.7	
年齢別	65～74歳（n=611）	91.3	5.9	2.0	0.2	0.0	0.3	0.3	
	75～84歳（n=642）	92.8	3.1	2.8	0.2	0.0	0.2	0.9	
	85歳以上（n=222）	89.6	2.7	5.4	0.9	0.5	0.0	0.9	

●主な内容(その他)

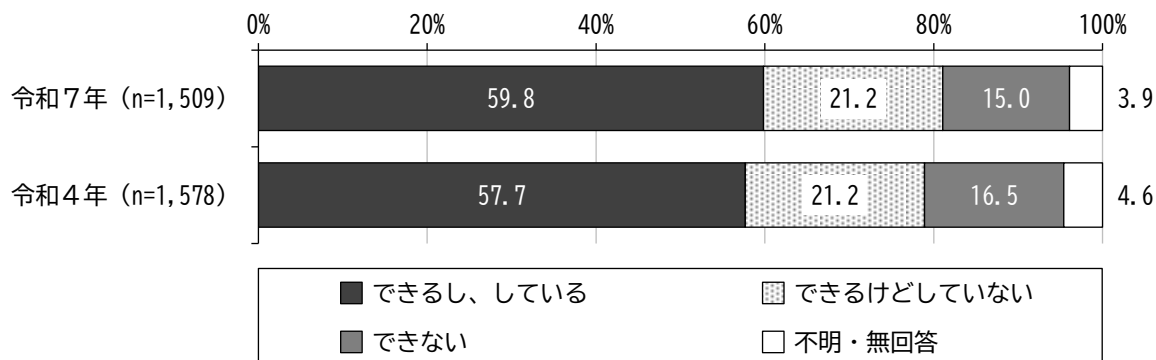
・会社寮 ・自宅（息子） ・親の持家 ・グループホーム

問3 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(単数回答)

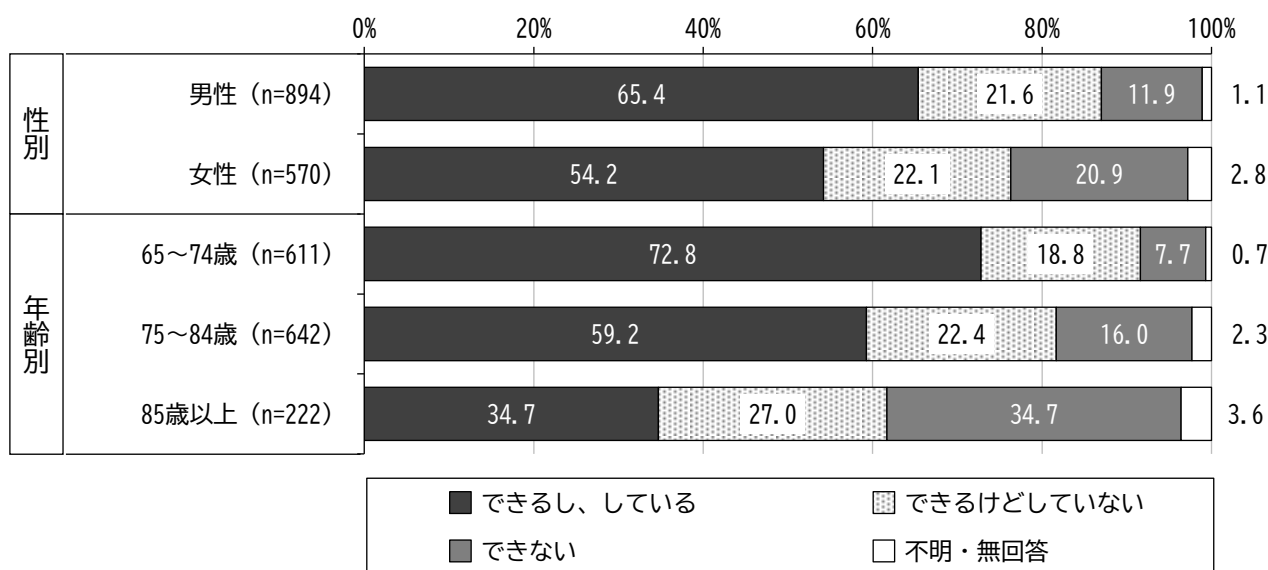
階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについては、「できるし、している」が59.8%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が21.2%、「できない」が15.0%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



性別にみると、男女ともに「できるし、している」が最も多くなっています。

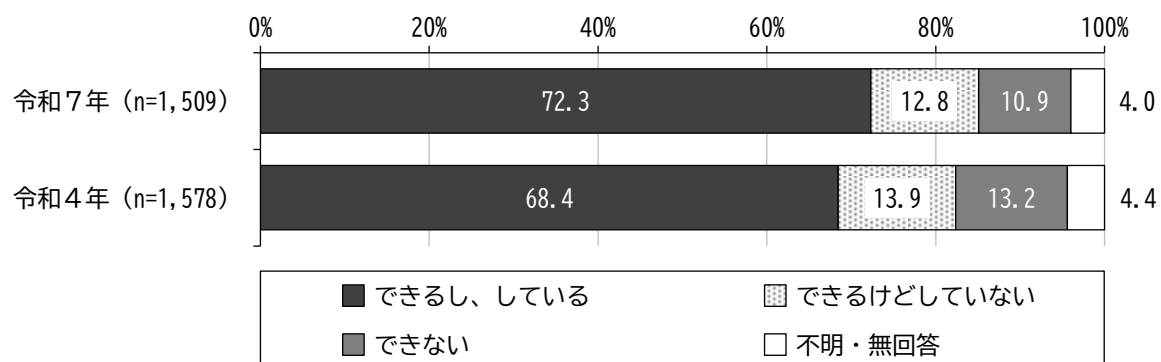
年齢別にみると、85歳以上で「できるし、している」「できない」、それ以外の年齢で「できるし、している」が最も多くなっています。



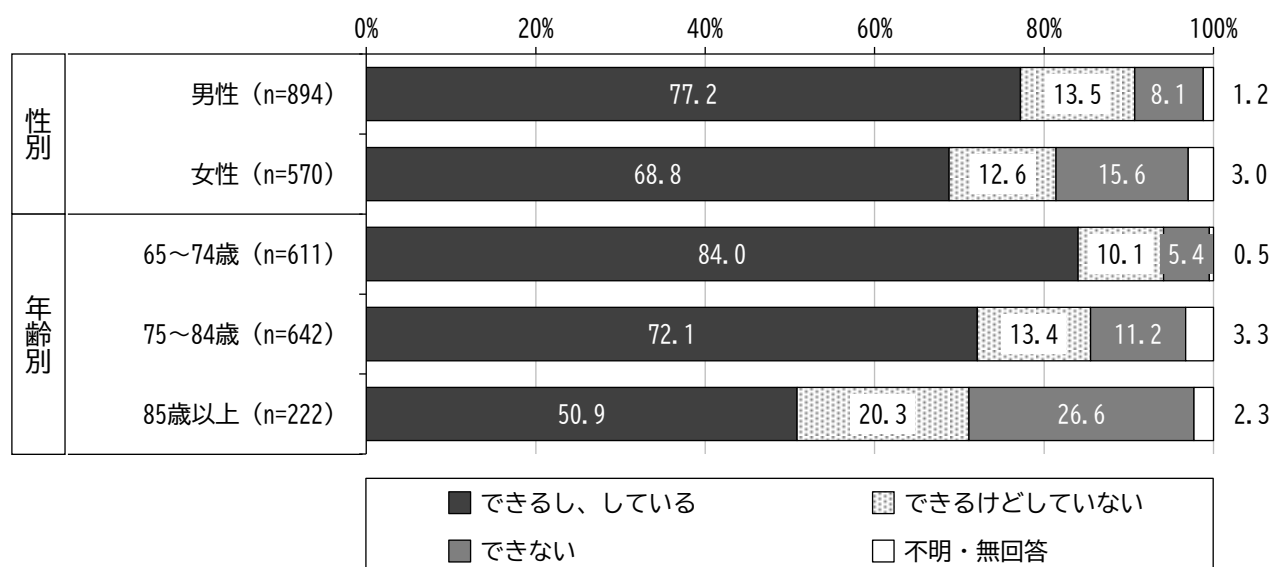
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(単数回答)

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかについては、「できるし、している」が72.3%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が12.8%、「できない」が10.9%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



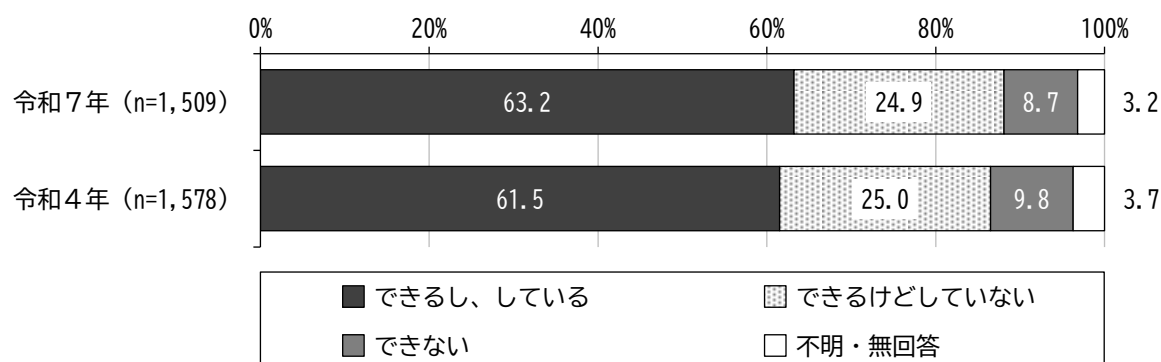
性別・年齢別にみると、すべての区分で「できるし、している」が最も多くなっています。



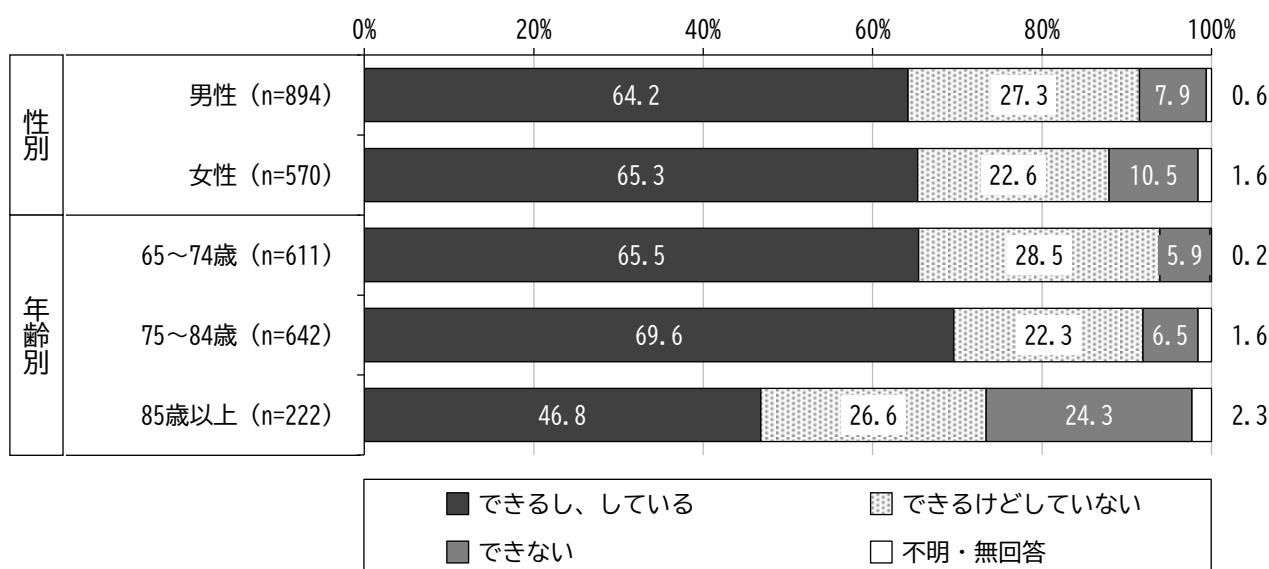
(3) 15分位続けて歩いていますか。(単数回答)

15分位続けて歩いているかについては、「できるし、している」が63.2%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が24.9%、「できない」が8.7%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



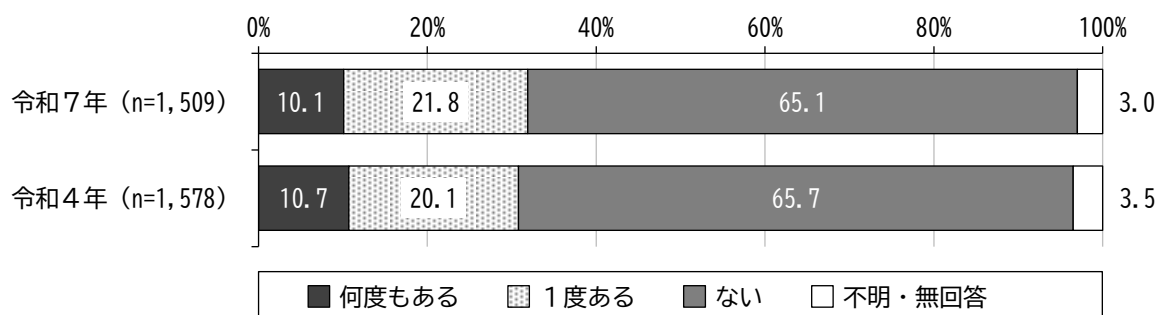
性別・年齢別にみると、すべての区分で「できるし、している」が最も多くなっています。



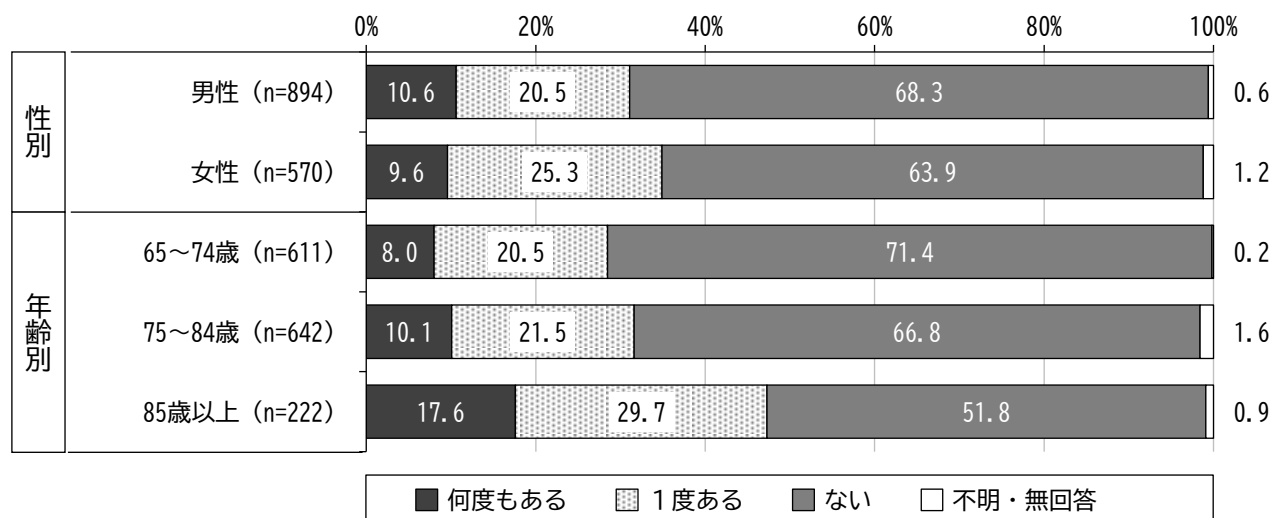
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(単数回答)

過去1年間の転んだ経験については、「ない」が65.1%と最も多く、次いで「1度ある」が21.8%、「何度もある」が10.1%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



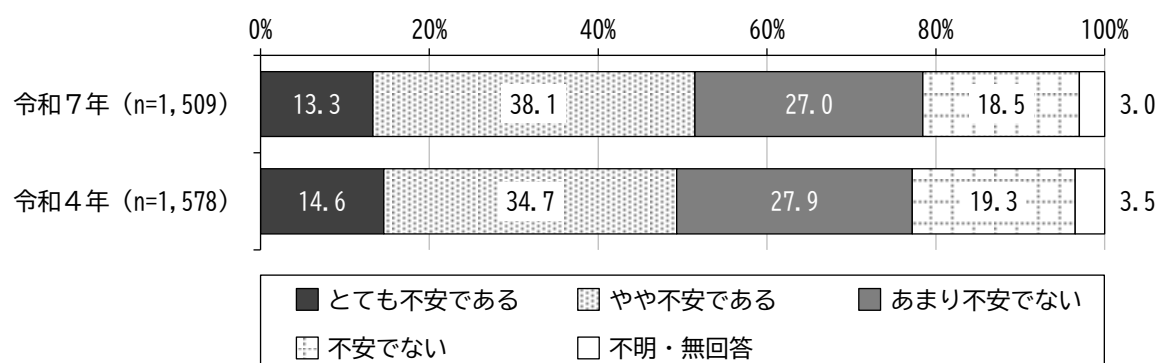
性別・年齢別にみると、すべての区分で「ない」が最も多くなっています。



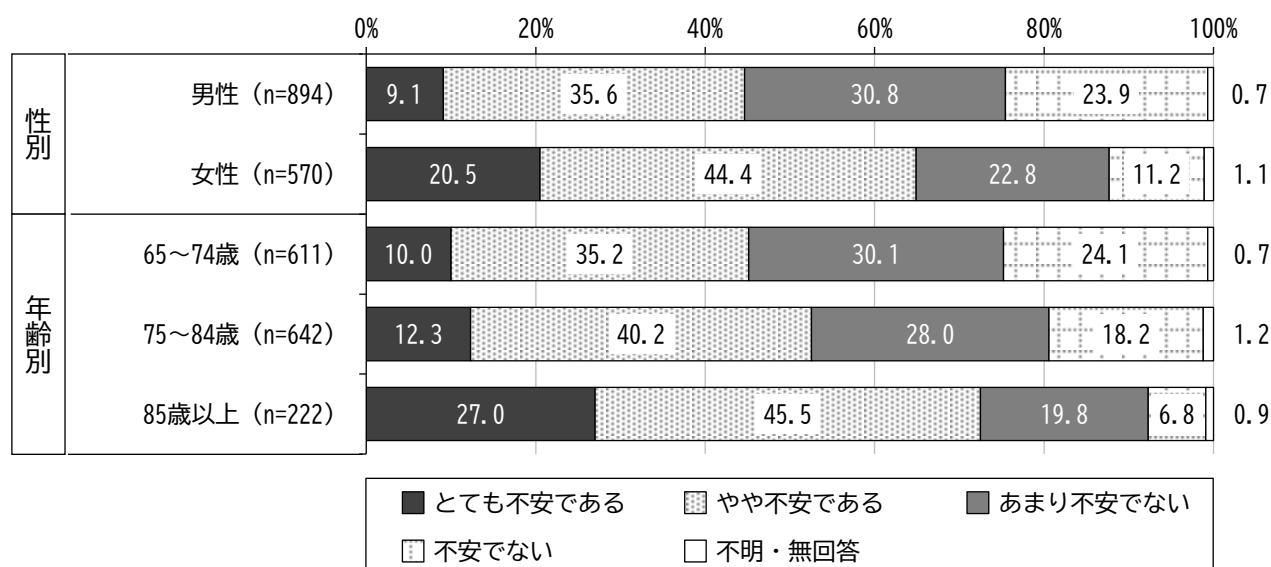
(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(単数回答)

転倒に対する不安については、「やや不安である」が38.1%と最も多く、次いで「あまり不安でない」が27.0%、「不安でない」が18.5%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



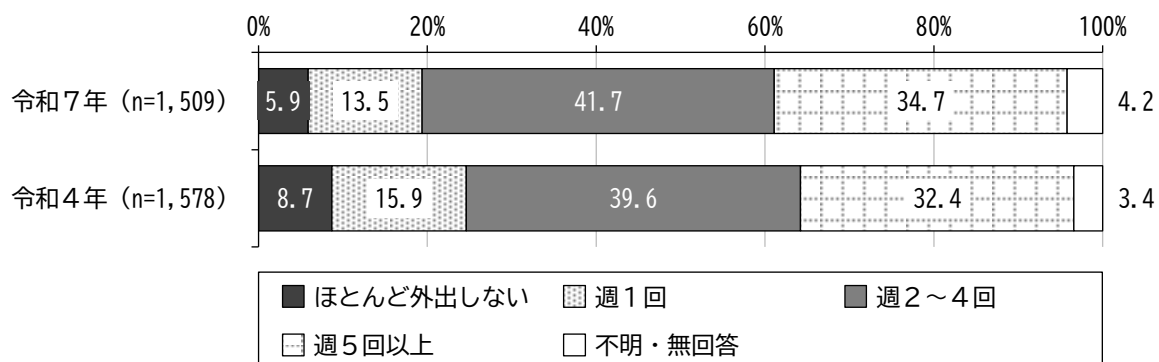
性別・年齢別にみると、すべての区分で「やや不安である」が最も多くなっています。



(6) 週に1回以上は外出していますか。(単数回答)

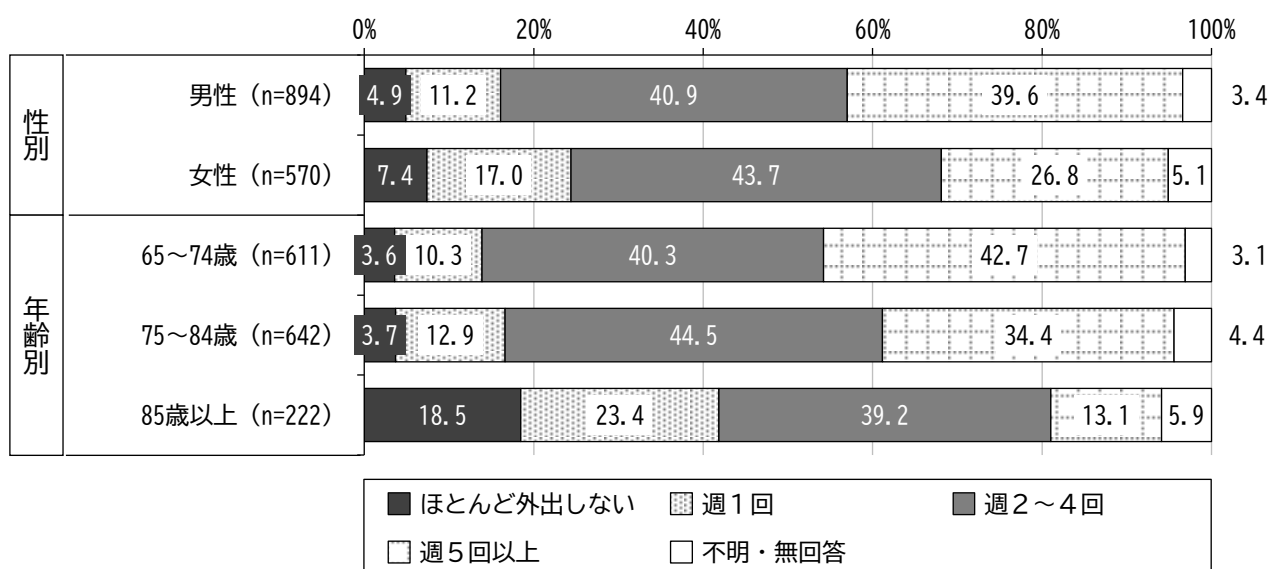
外出の頻度については、「週2～4回」が41.7%と最も多く、次いで「週5回以上」が34.7%、「週1回」が13.5%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



性別にみると、男女ともに「週2～4回」が最も多くなっています。

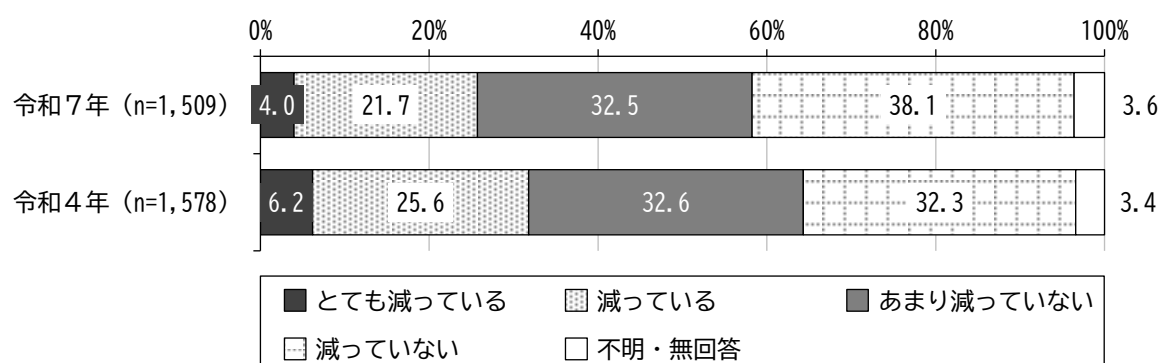
年齢別にみると、65～74歳で「週5回以上」、それ以外の年齢で「週2～4回」が最も多くなっています。



(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(単数回答)

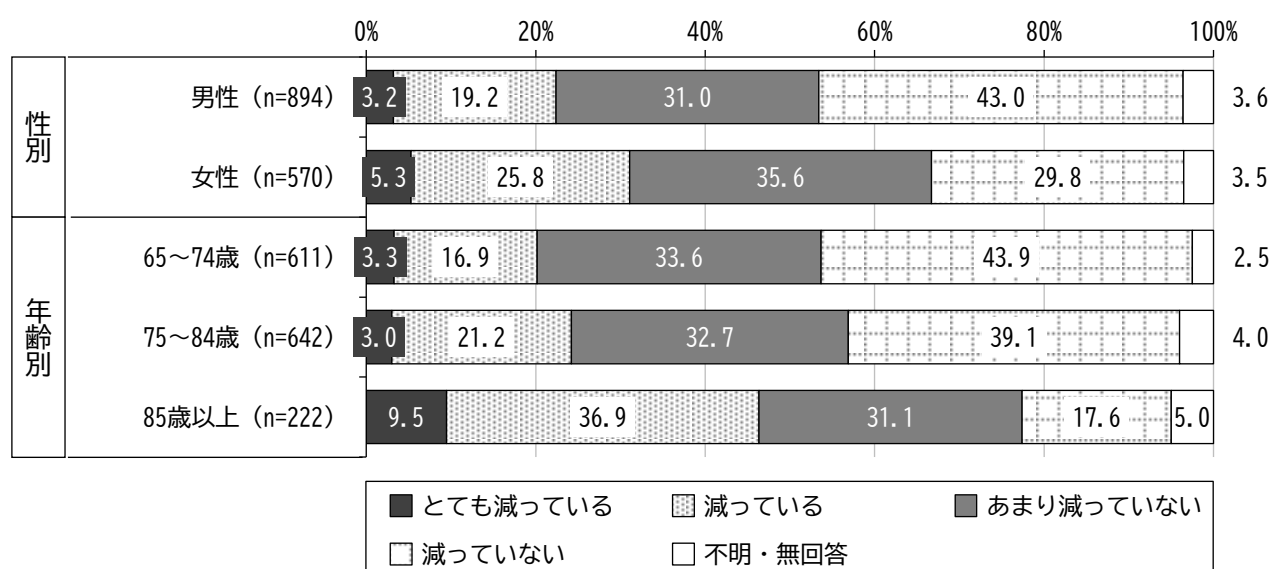
昨年と比べた外出の回数については、「減っていない」が38.1%と最も多く、次いで「あまり減っていない」が32.5%、「減っている」が21.7%となっています。

令和4年調査と比較すると、「減っていない」が5.8ポイント増加しています。



性別にみると、男性で「減っていない」、女性で「あまり減っていない」が最も多くなっています。

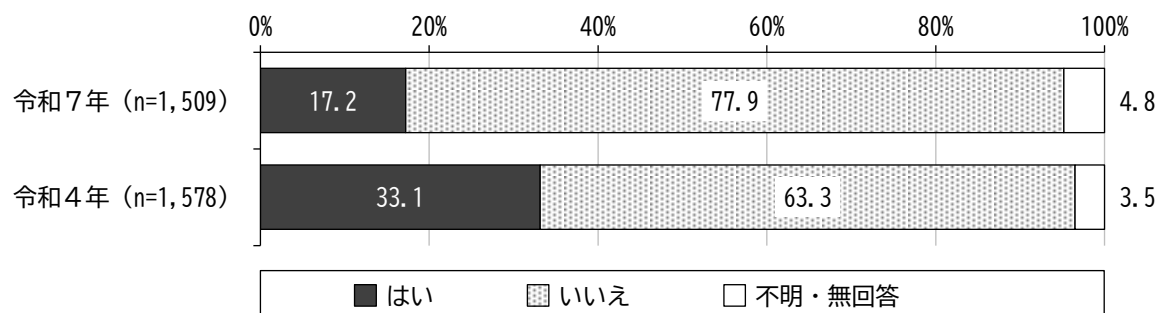
年齢別にみると、85歳以上で「減っている」、それ以外の年齢で「減っていない」が最も多くなっています。



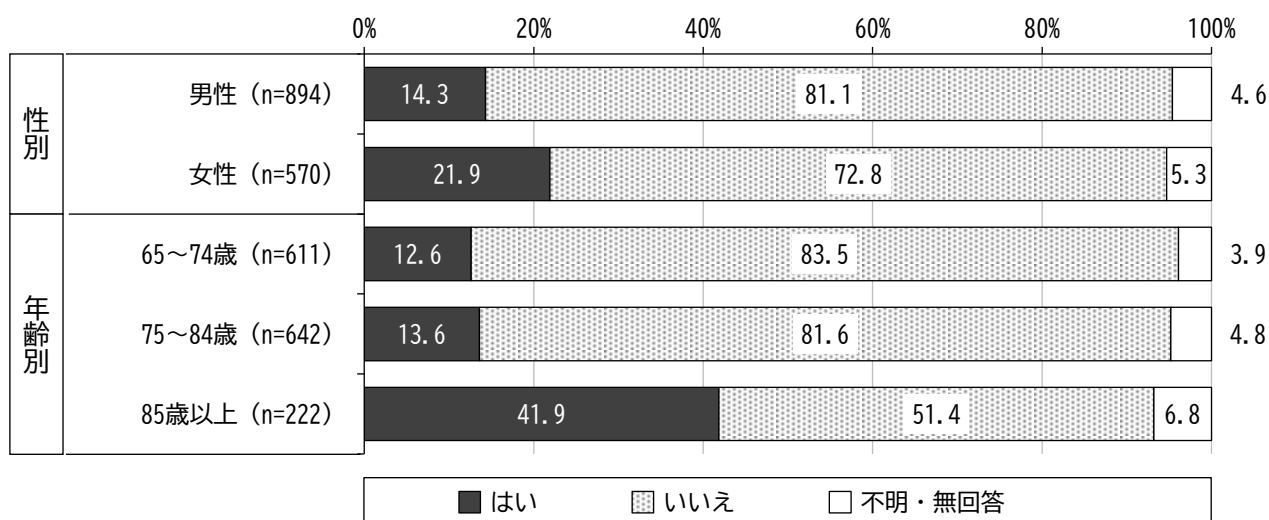
(8) 外出を控えていますか。(単数回答)

外出を控えているかについては、「はい」が17.2%、「いいえ」が77.9%となっています。

令和4年調査と比較すると、「はい」が15.9ポイント減少しています。



性別・年齢別にみると、すべての区分で「いいえ」が多くなっています。

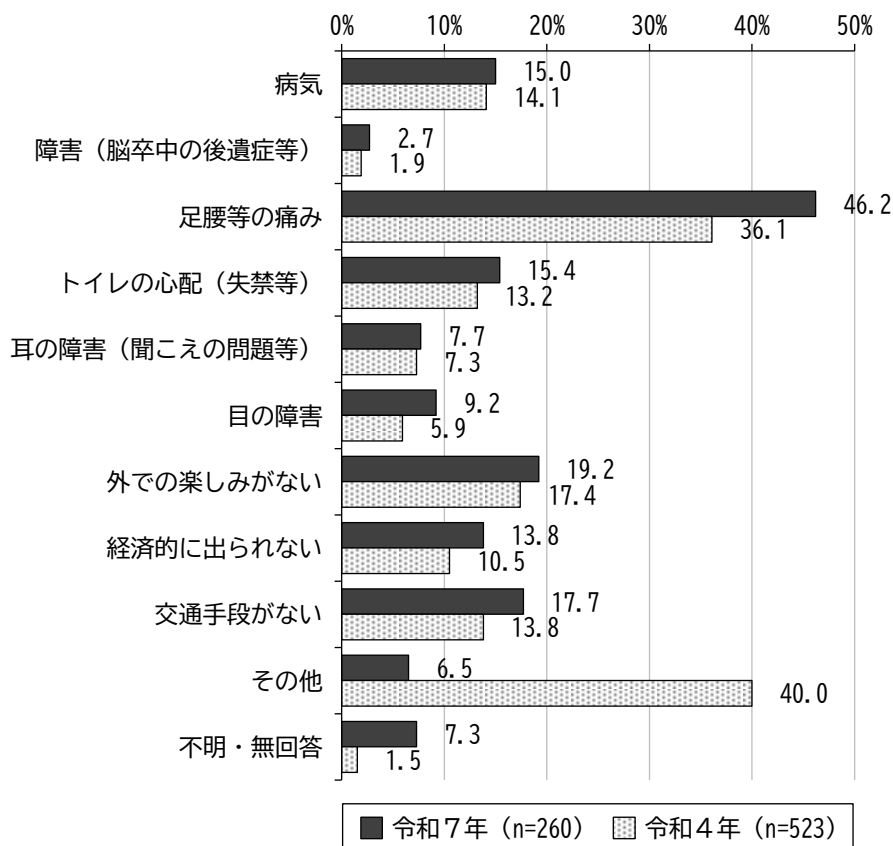


【(8)で「はい」(外出を控えている)と回答した方のみ】

(8) ①外出を控えている理由は、次のどれですか。(複数回答)

外出を控えている理由については、「足腰等の痛み」が46.2%と最も多く、次いで「外での楽しみがない」が19.2%、「交通手段がない」が17.7%となっています。

令和4年調査と比較すると、「足腰等の痛み」が10.1ポイント増加しています。



性別・年齢別にみると、すべての区分で「足腰等の痛み」が最も多くなっています。

単位：%		病気	障害(脳卒中の後遺症等)	足腰等の痛み	トイレの心配(失禁等)	耳の障害(聞こえの問題等)	目の障害	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	不明・無回答
全体 (n=260)		15.0	2.7	46.2	15.4	7.7	9.2	19.2	13.8	17.7	6.5	7.3
性別	男性 (n=128)	17.2	4.7	45.3	15.6	7.8	10.2	21.1	17.2	11.7	7.0	6.3
	女性 (n=125)	12.0	0.8	45.6	14.4	8.0	8.8	17.6	11.2	24.0	6.4	8.8
年齢別	65～74歳 (n=77)	19.5	3.9	35.1	10.4	2.6	9.1	23.4	18.2	11.7	11.7	6.5
	75～84歳 (n=87)	13.8	2.3	47.1	20.7	4.6	10.3	14.9	17.2	16.1	4.6	10.3
	85歳以上 (n=93)	11.8	2.2	53.8	15.1	15.1	8.6	19.4	7.5	24.7	4.3	5.4

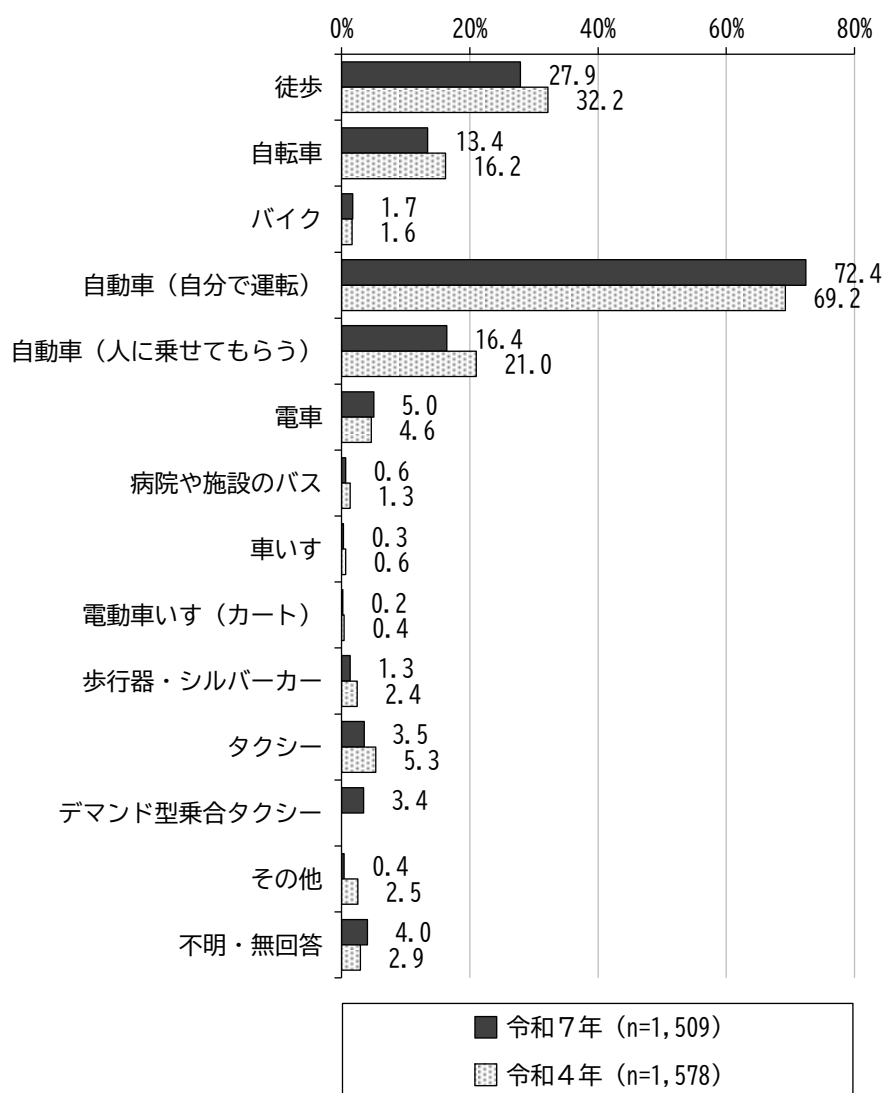
●主な内容(その他)

・母の介護 ・介護の為 ・長い時間歩行出来ない ・自宅での作業をしている為 等

（９）外出する際の移動手段は何ですか。（複数回答）

外出する際の移動手段については、「自動車（自分で運転）」が 72.4%と最も多く、次いで「徒歩」が 27.9%、「自動車（人に乗せてもらう）」が 16.4%となっています。

令和４年調査とおおむね同様の傾向となっています。



※「デマンド型乗合タクシー」は令和7年調査のみの選択肢。

性別にみると、男女ともに「自動車（自分で運転）」が最も多くなっています。

年齢別にみると、85 歳以上で「自動車（自分で運転）」「自動車（人に乗せてもらう）」、それ以外の年齢で「自動車（自分で運転）」が最も多くなっています。

単位：％		徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	病院や施設のバス	車いす	電動車いす（カート）	歩行器・シルバーカー	タクシー	デマンド型乗合タクシー	その他	不明・無回答
全体（n=1,509）		27.9	13.4	1.7	72.4	16.4	5.0	0.6	0.3	0.2	1.3	3.5	3.4	0.4	4.0
性別	男性（n=894）	27.3	14.2	2.3	82.9	8.4	3.9	0.2	0.2	0.2	0.6	1.2	0.6	0.2	3.9
	女性（n=570）	28.8	12.1	0.7	56.3	29.3	7.0	1.2	0.4	0.2	2.5	7.0	7.9	0.7	3.9
年齢別	65～74歳（n=611）	27.0	13.1	2.8	83.1	10.0	6.1	0.0	0.2	0.0	0.2	1.8	1.0	0.2	3.4
	75～84歳（n=642）	31.0	15.0	1.2	74.0	15.4	4.2	0.9	0.2	0.0	0.6	2.6	3.0	0.5	4.2
	85歳以上（n=222）	21.6	9.5	0.0	38.3	38.3	5.0	1.4	0.9	0.9	6.3	10.8	11.7	0.9	4.5

●主な内容(その他)

- ・ 家族（息子）の車 等

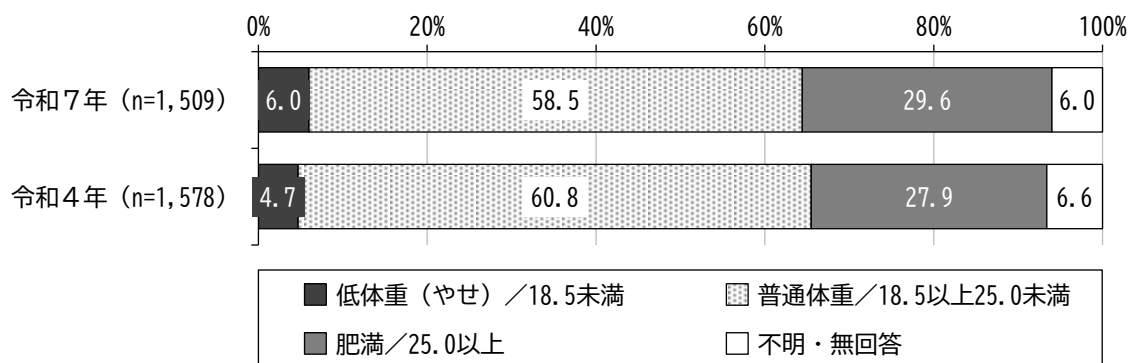
問4 食べることについて

(1) 身長・体重（数量回答）

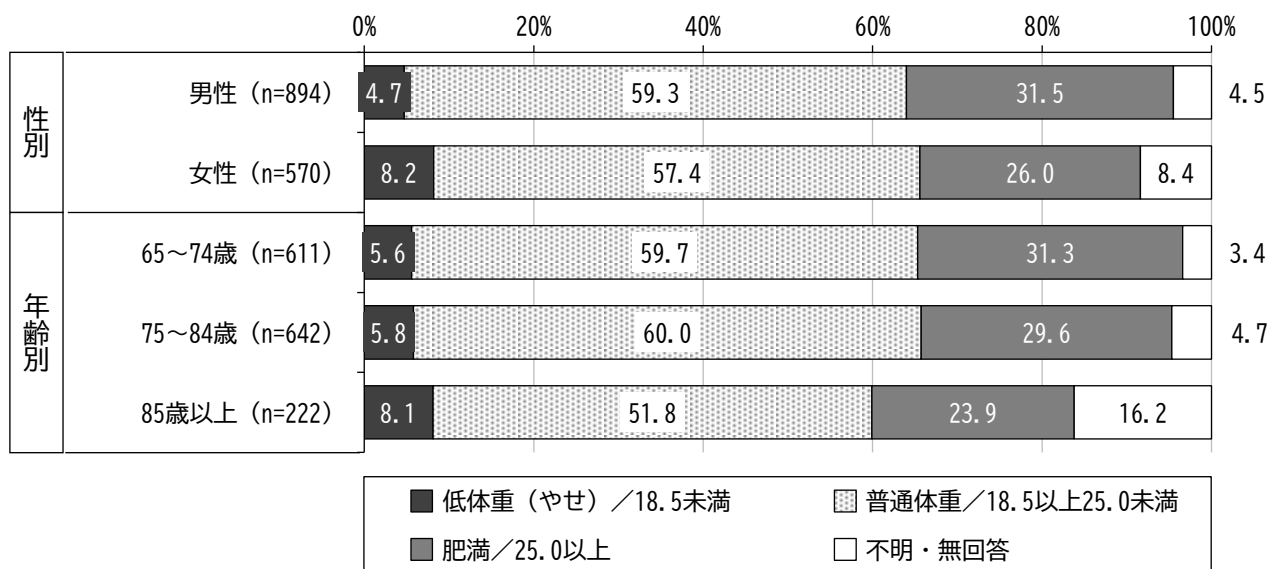
■ BMI（身長・体重より算出）

BMIについては、「普通体重／18.5以上25.0未満」が58.5%と最も多く、次いで「肥満／25.0以上」が29.6%、「低体重（やせ）／18.5未満」が6.0%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



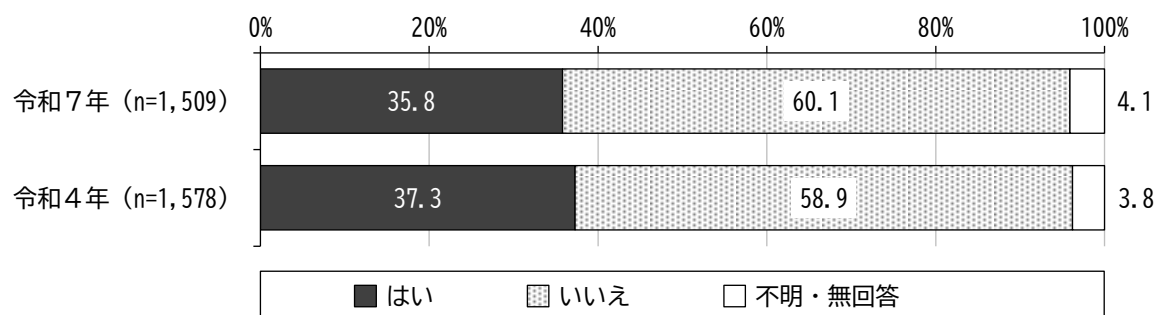
性別・年齢別にみると、すべての区分で「普通体重／18.5以上25.0未満」が最も多くなっています。



(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(単数回答)

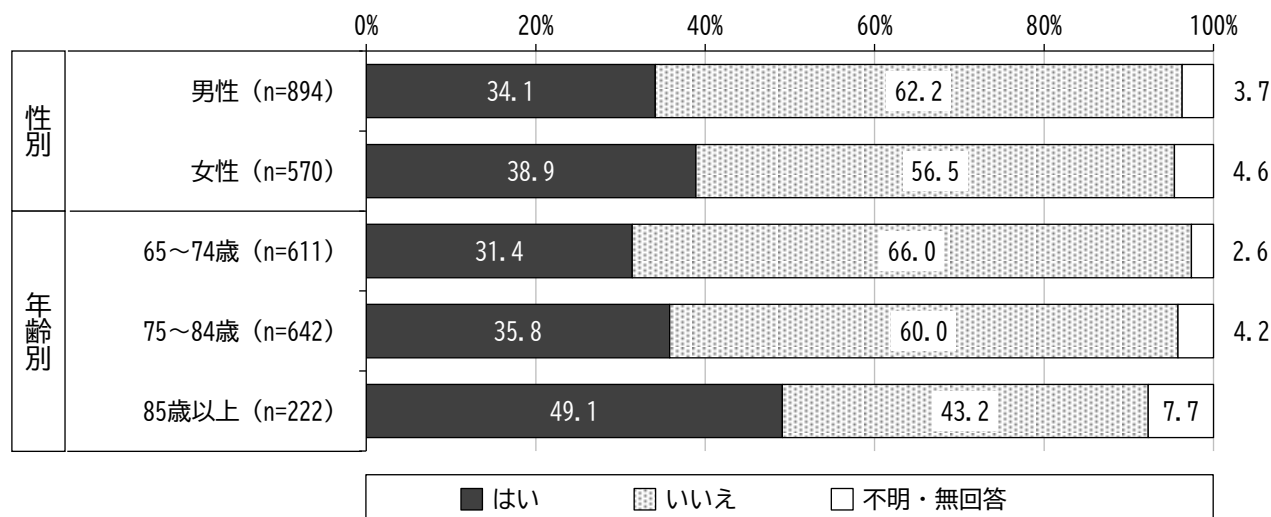
半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについては、「はい」が35.8%、「いいえ」が60.1%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



性別にみると、男女ともに「いいえ」が多くなっています。

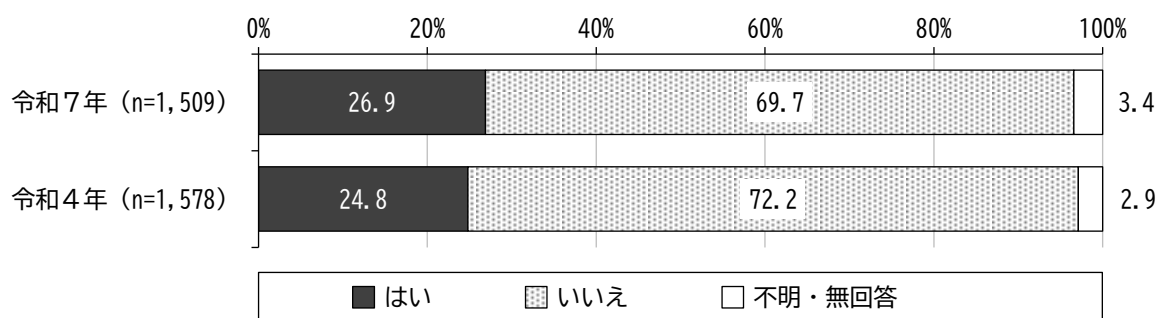
年齢別にみると、85歳以上で「はい」、それ以外の年齢で「いいえ」が多くなっています。



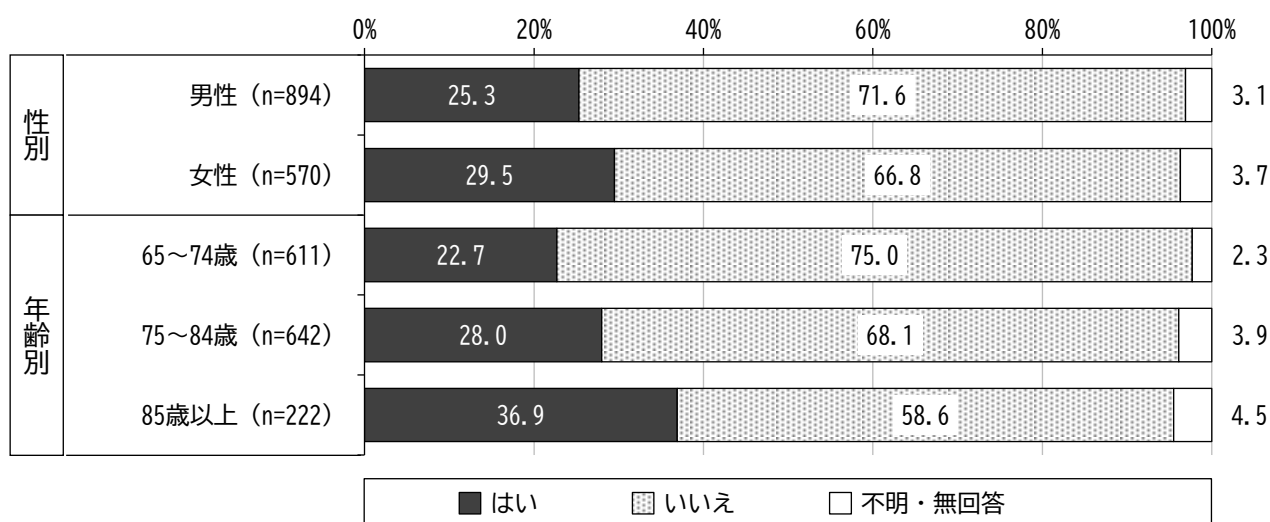
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか。(単数回答)

お茶や汁物等でむせることがあるかについては、「はい」が26.9%、「いいえ」が69.7%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。

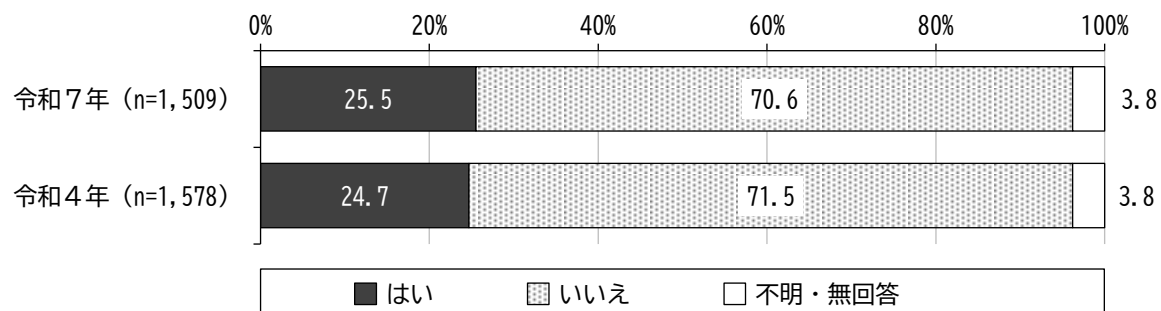


性別・年齢別にみると、すべての区分で「いいえ」が多くなっています。

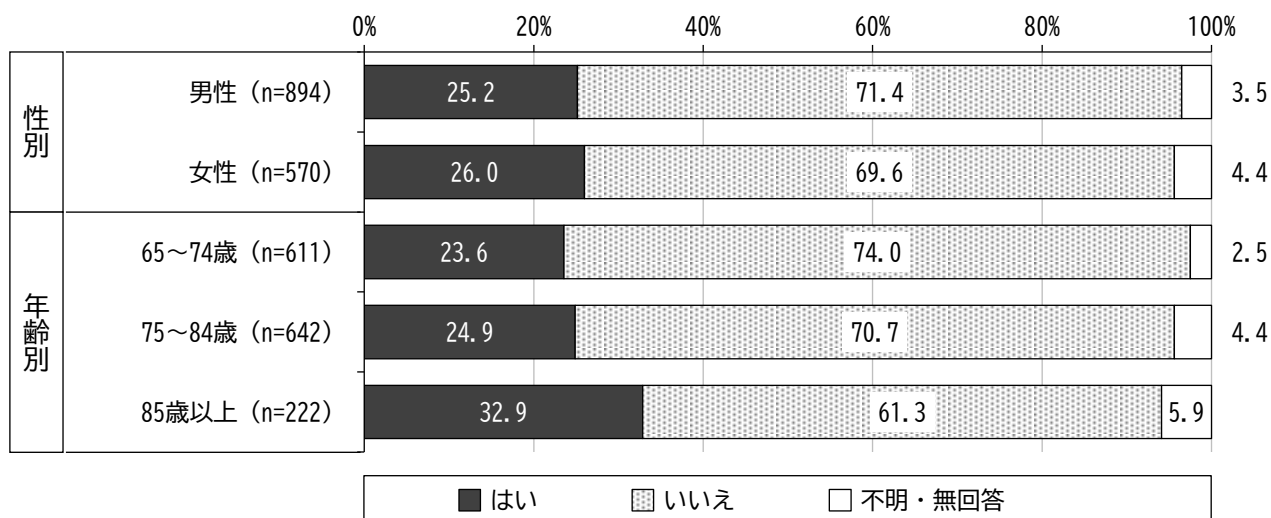


(4) 口の渇きが気になりますか。(単数回答)

口の渇きが気になるかについては、「はい」が25.5%、「いいえ」が70.6%となっています。
令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。

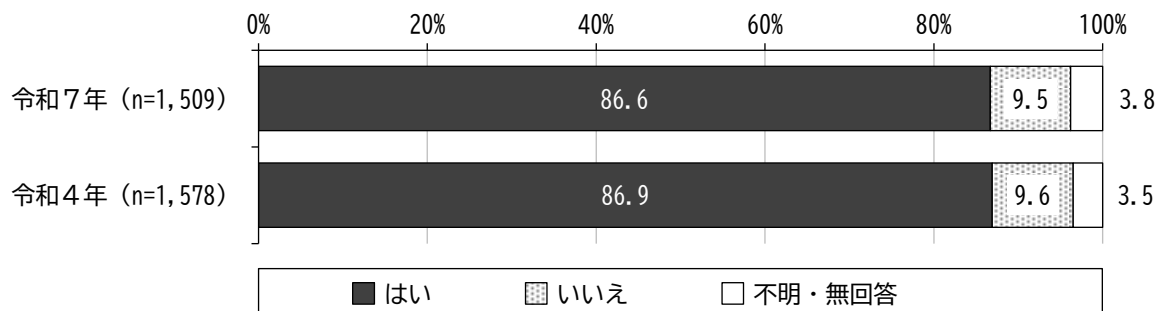


性別・年齢別にみると、すべての区分で「いいえ」が多くなっています。

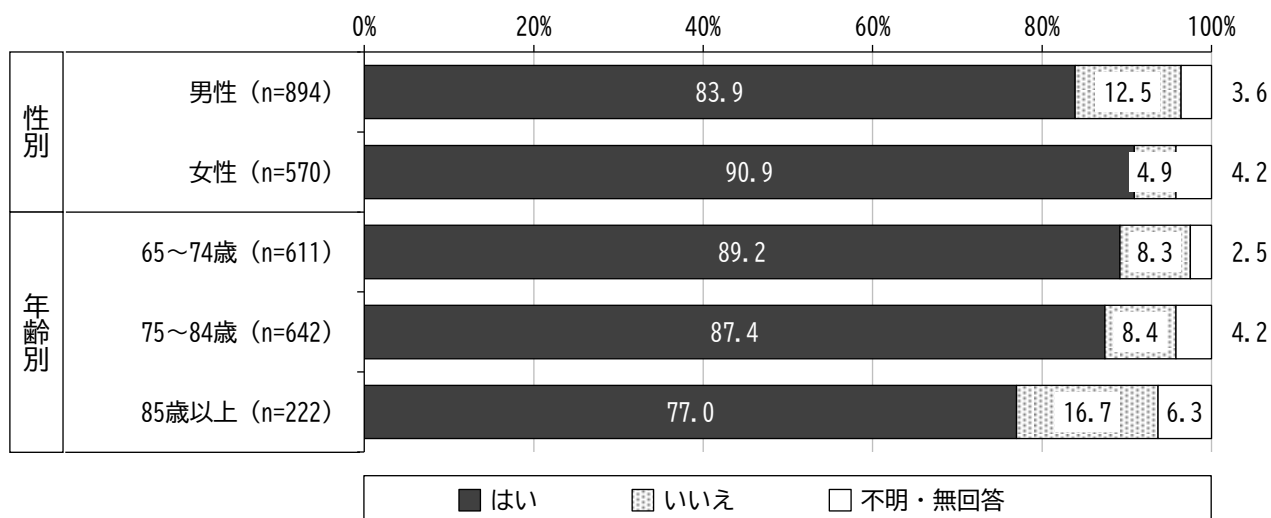


(5) 歯磨きを毎日していますか。(人にやってもらう場合も含む)(単数回答)

歯磨きを毎日しているかについては、「はい」が86.6%、「いいえ」が9.5%となっています。
令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。

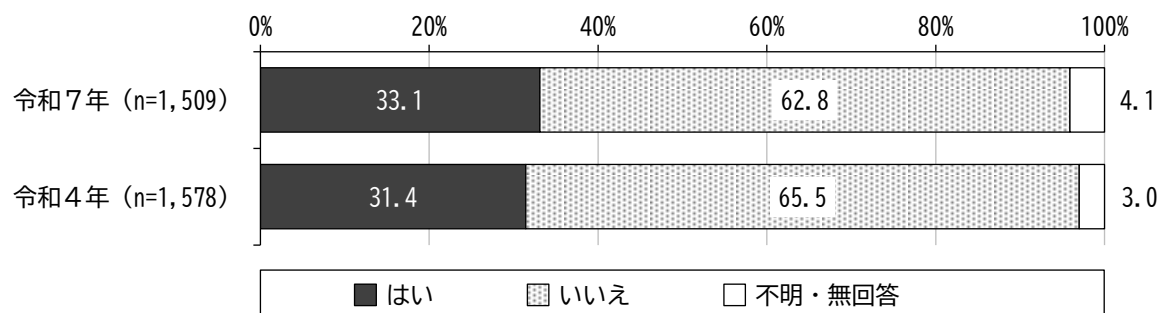


性別・年齢別にみると、すべての区分で「はい」が多くなっています。

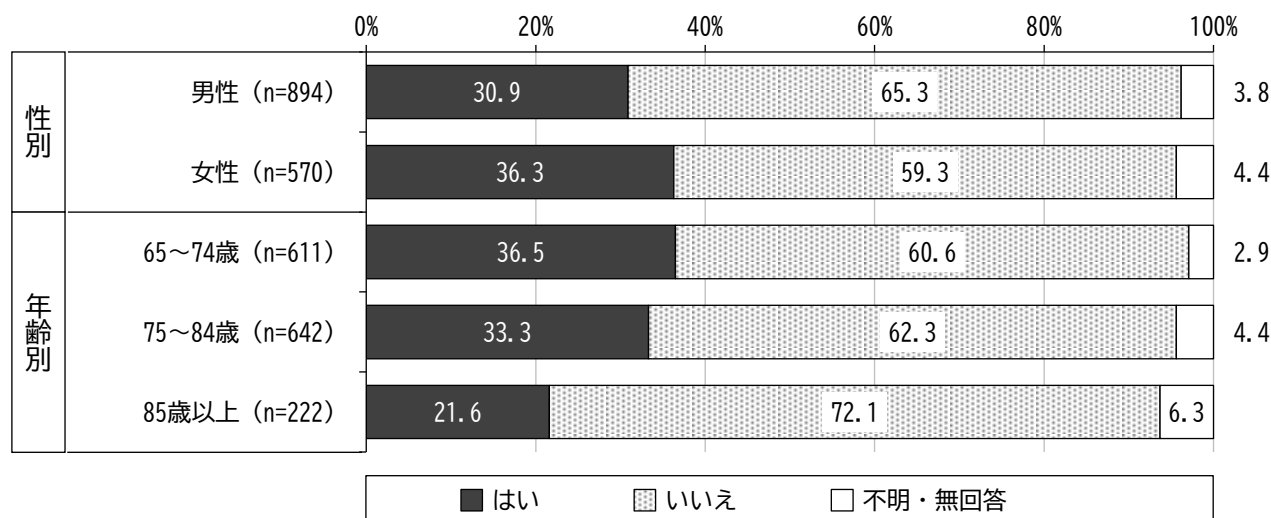


（６）定期的に歯科受診をしていますか。（歯科健診を含む）（単数回答）

定期的に歯科受診をしているかについては、「はい」が33.1%、「いいえ」が62.8%となっています。
令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



性別・年齢別にみると、すべての区分で「いいえ」が多くなっています。

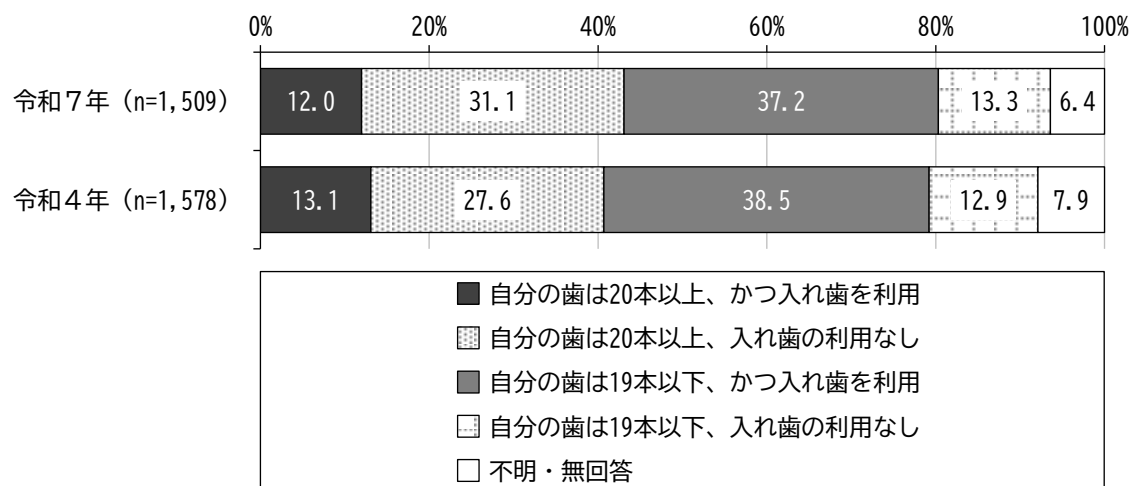


(7) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です) (単数回答)

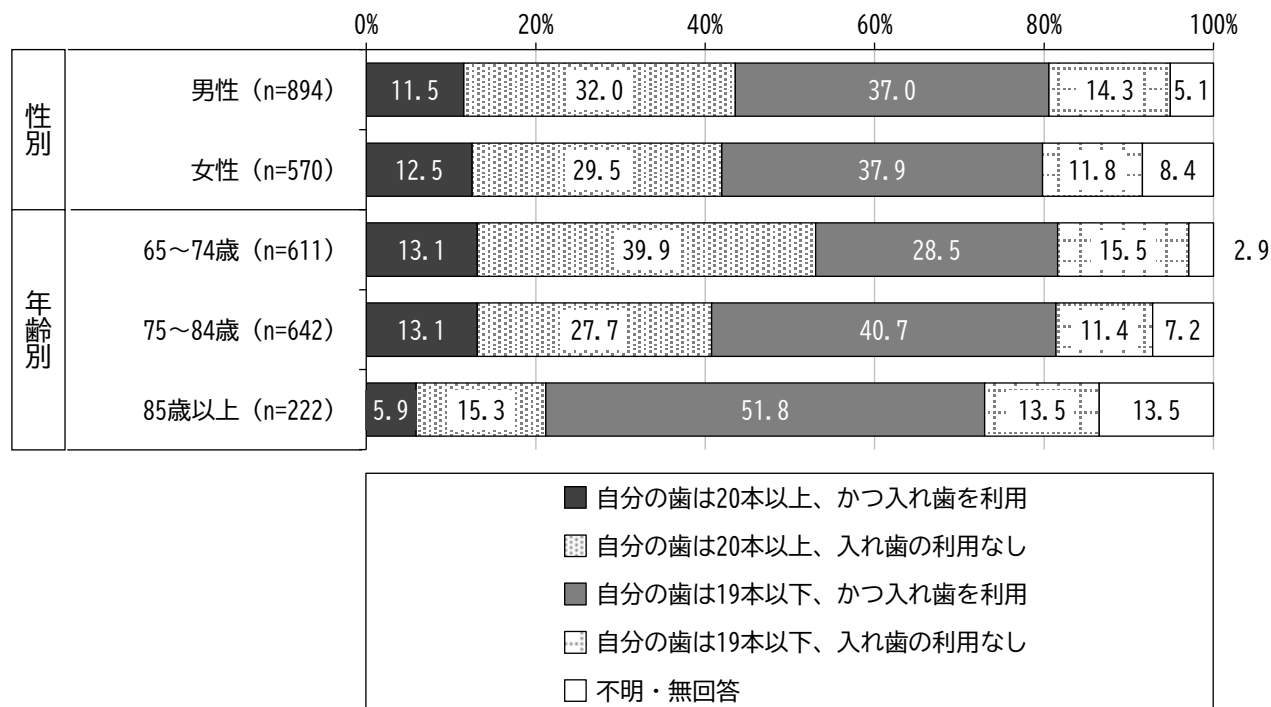
歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 37.2%と最も多く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 31.1%、「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」が 13.3%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



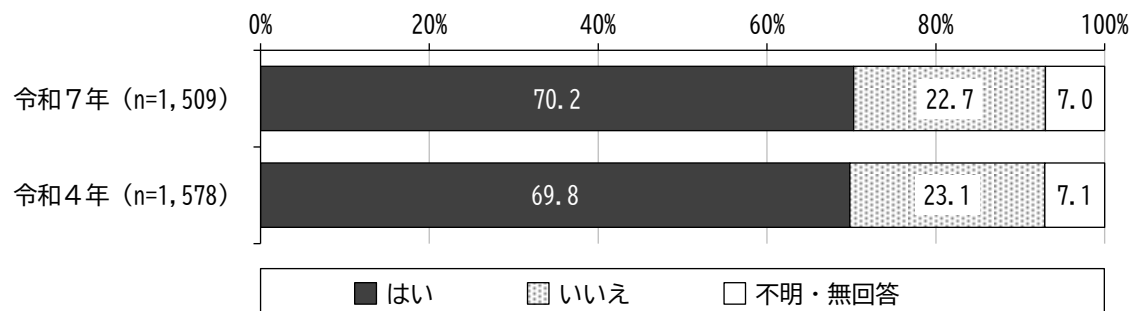
性別にみると、男女ともに「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が最も多くなっています。

年齢別にみると、65～74 歳で「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」、それ以外の年齢で「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が最も多くなっています。

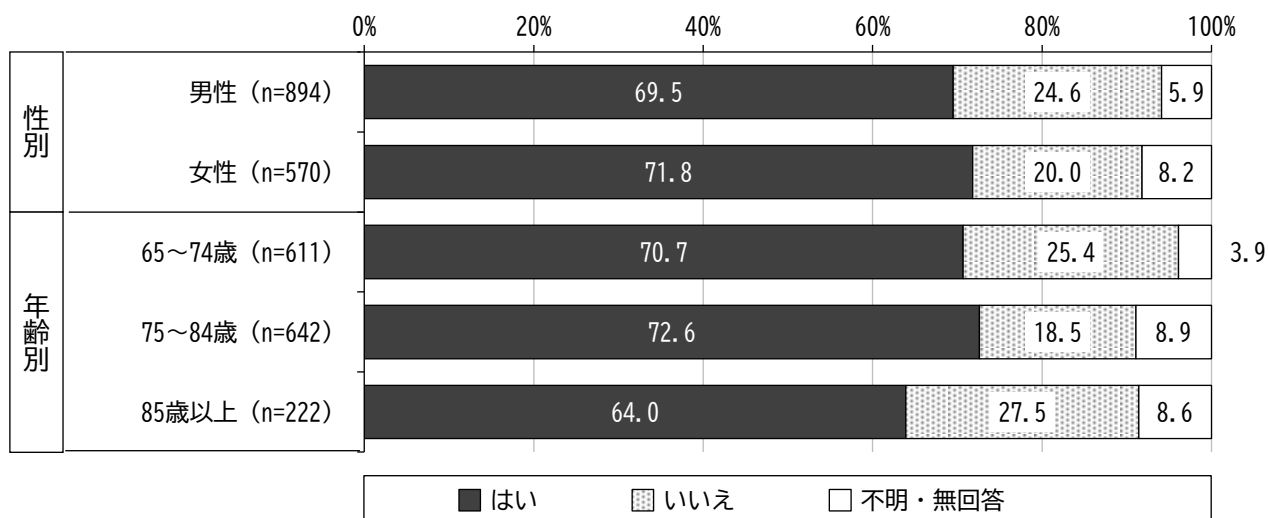


(7) ①噛み合わせは良いですか。(単数回答)

噛み合わせは良いかについては、「はい」が70.2%、「いいえ」が22.7%となっています。
令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



性別・年齢別にみると、すべての区分で「はい」が多くなっています。

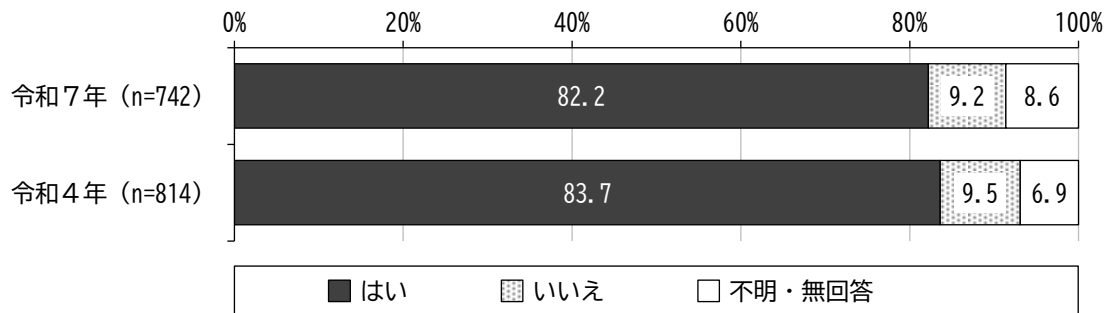


【(7) で「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」または「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した方のみ】

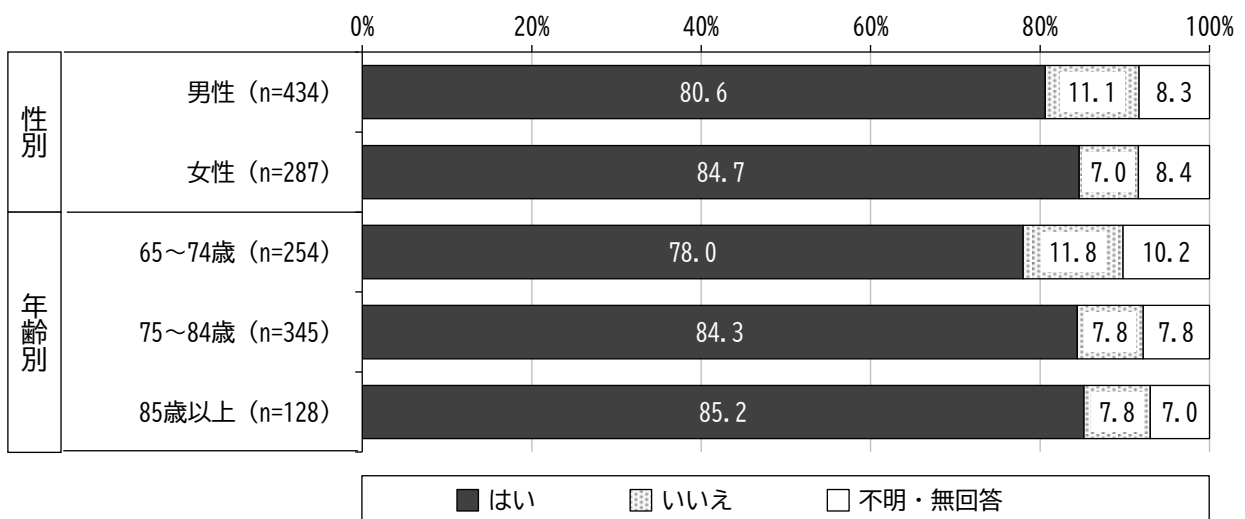
(7) ②毎日入れ歯の手入れをしていますか。(単数回答)

毎日入れ歯の手入れをしているかについては、「はい」が 82.2%、「いいえ」が 9.2%となっています。

令和 4 年調査とおおむね同様の傾向となっています。



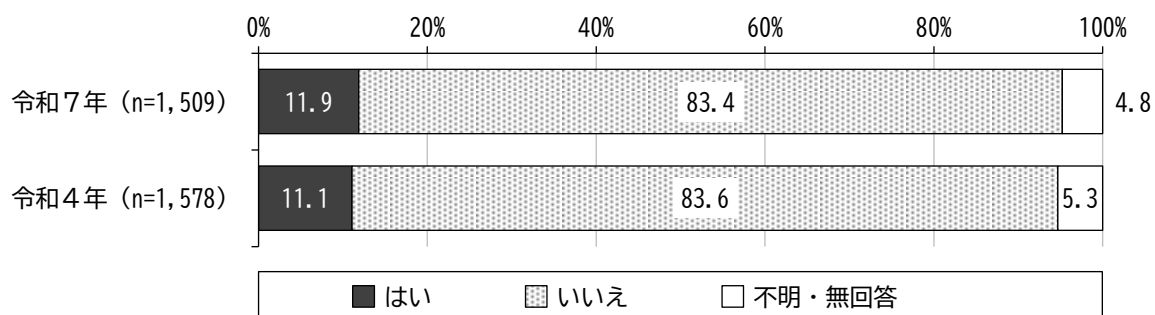
性別・年齢別にみると、すべての区分で「はい」が多くなっています。



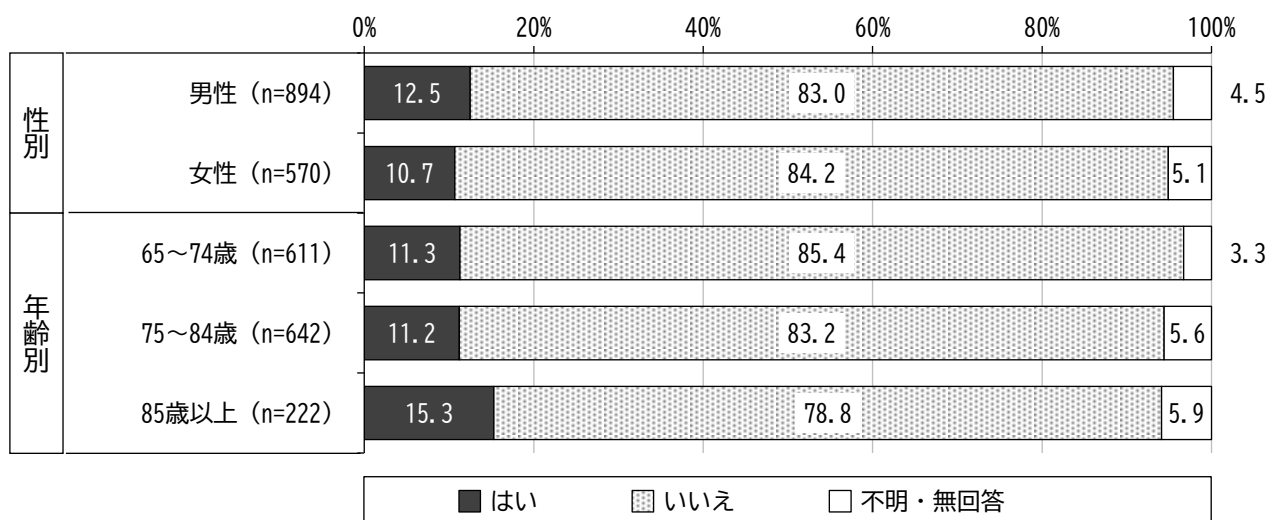
(8) 6カ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(単数回答)

6カ月間で2～3kg以上の体重減少があったかについては、「はい」が11.9%、「いいえ」が83.4%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



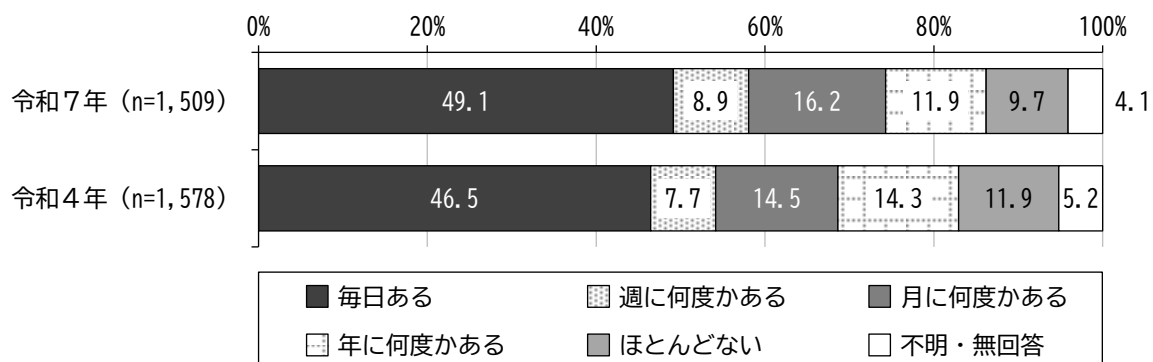
性別・年齢別にみると、すべての区分で「いいえ」が多くなっています。



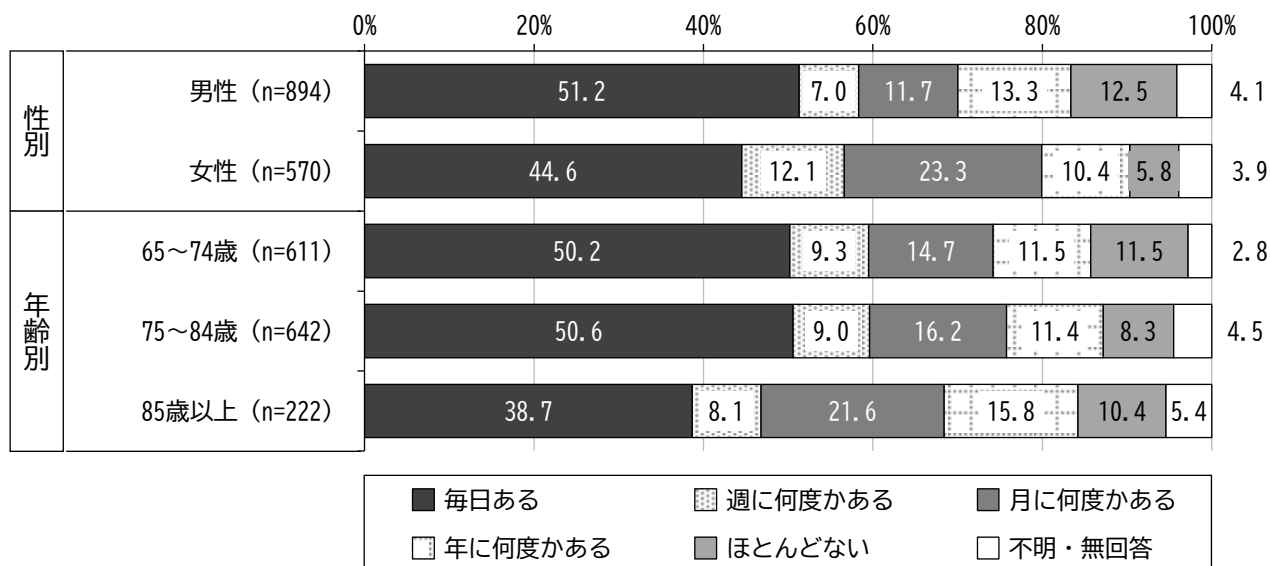
(9) どなたかと食事をとる機会がありますか。(単数回答)

食事をとる機会については、「毎日ある」が49.1%と最も多く、次いで「月に何度かある」が16.2%、「年に何度かある」が11.9%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



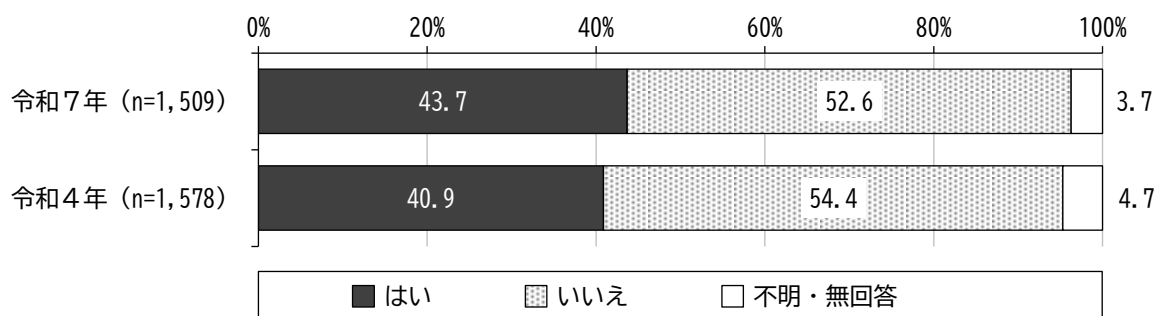
性別・年齢別にみると、すべての区分で「毎日ある」が最も多くなっています。



問5 毎日の生活について

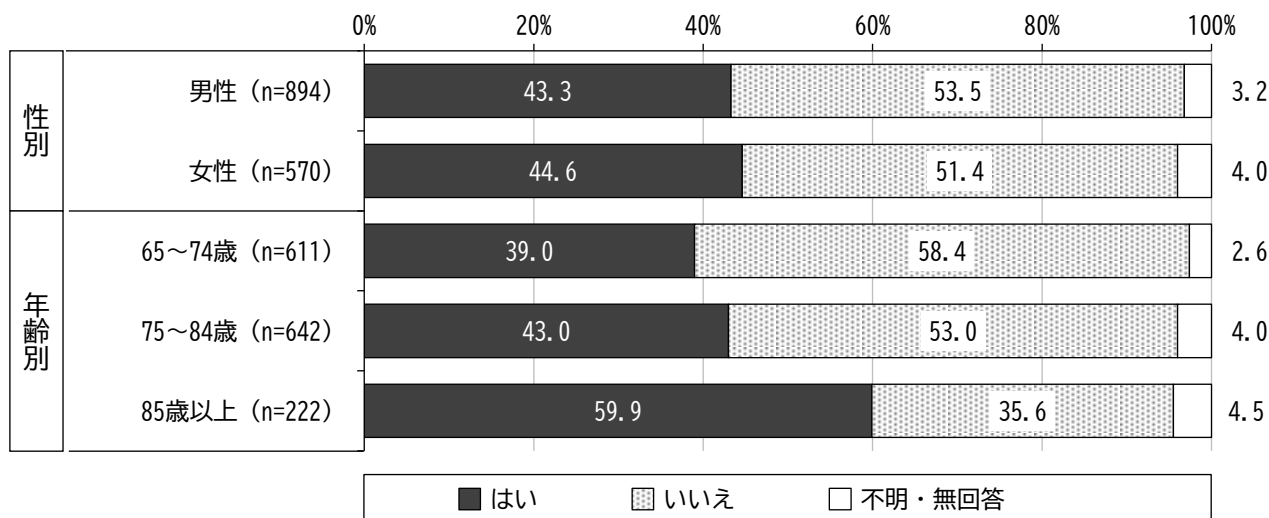
(1) 物忘れが多いと感じますか。(単数回答)

物忘れが多いと感じるかについては、「はい」が43.7%、「いいえ」が52.6%となっています。
令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



性別にみると、男女ともに「いいえ」が多くなっています。

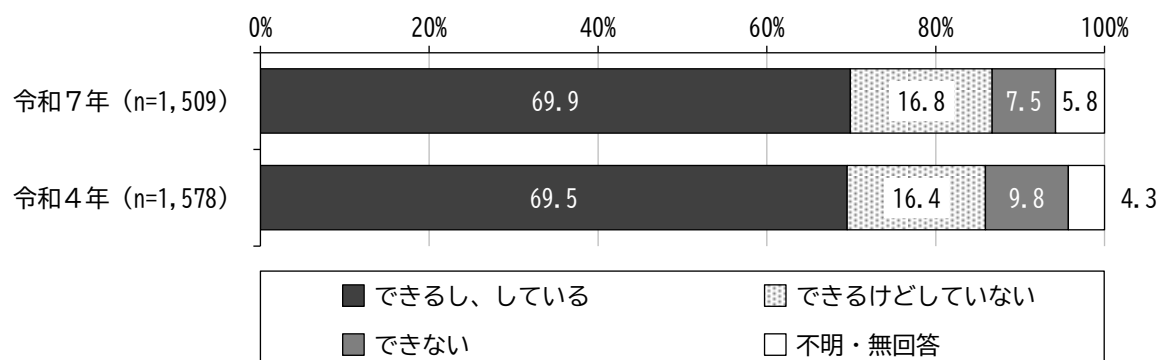
年齢別にみると、85歳以上で「はい」、それ以外の年齢で「いいえ」が多くなっています。



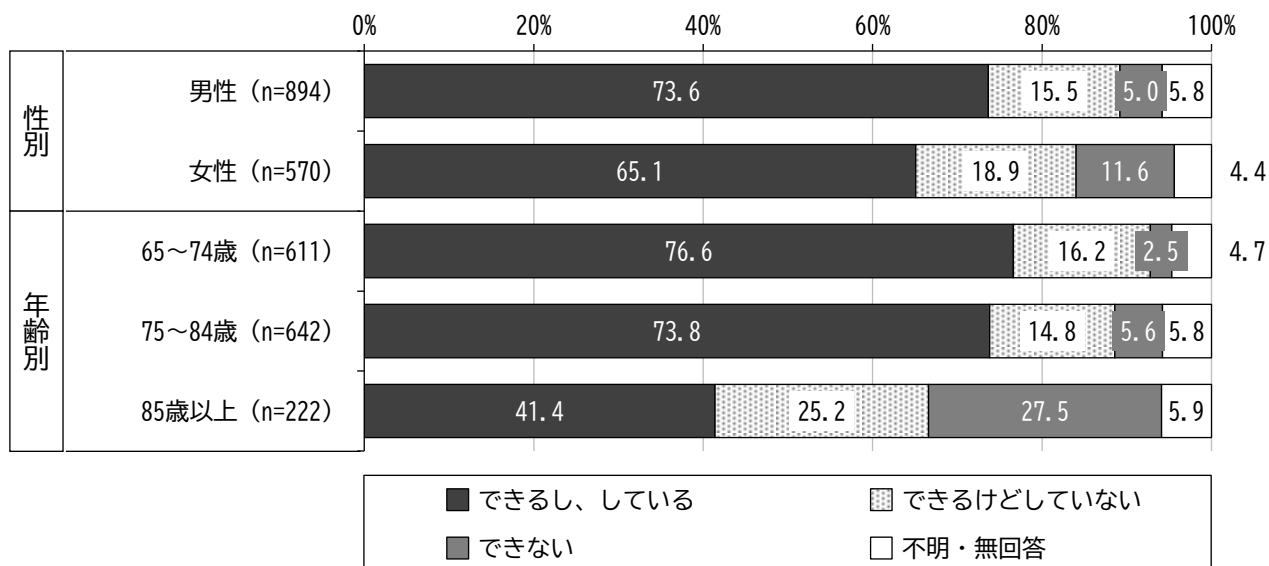
(2) バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)(単数回答)

バスや電車を使って1人で外出しているかについては、「できるし、している」が69.9%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が16.8%、「できない」が7.5%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



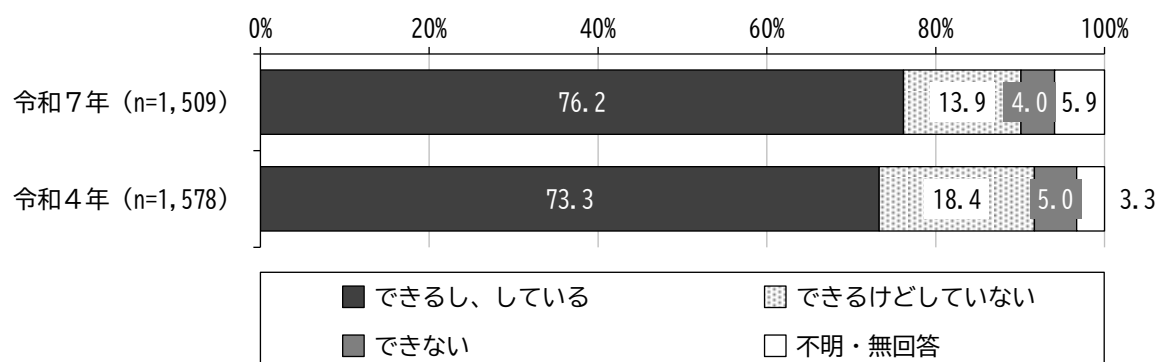
性別・年齢別にみると、すべての区分で「できるし、している」が最も多くなっています。



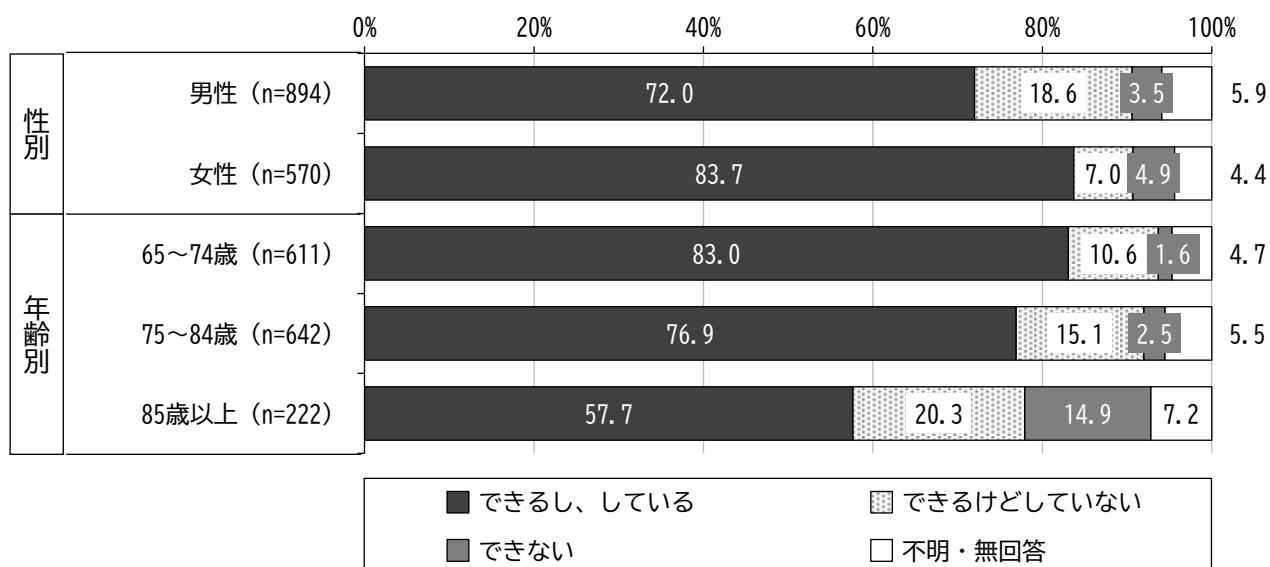
(3) 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(単数回答)

食品・日用品の買い物については、「できるし、している」が76.2%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が13.9%、「できない」が4.0%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



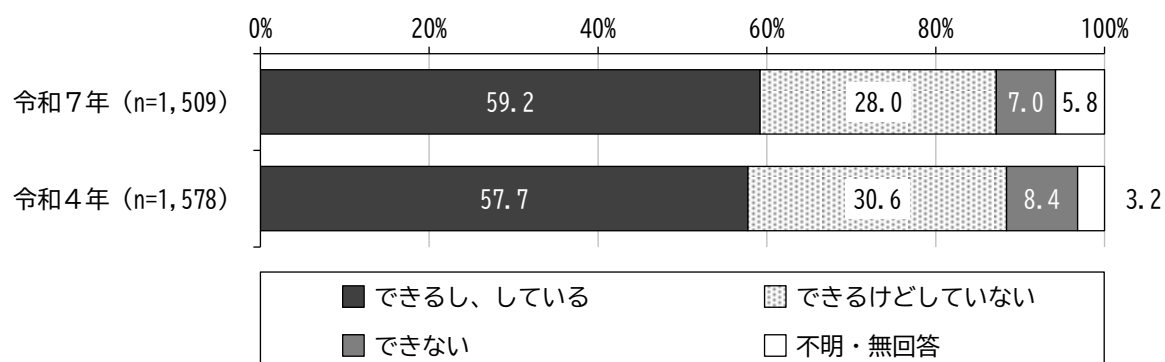
性別・年齢別にみると、すべての区分で「できるし、している」が最も多くなっています。



(4) 自分で食事の用意をしていますか。(単数回答)

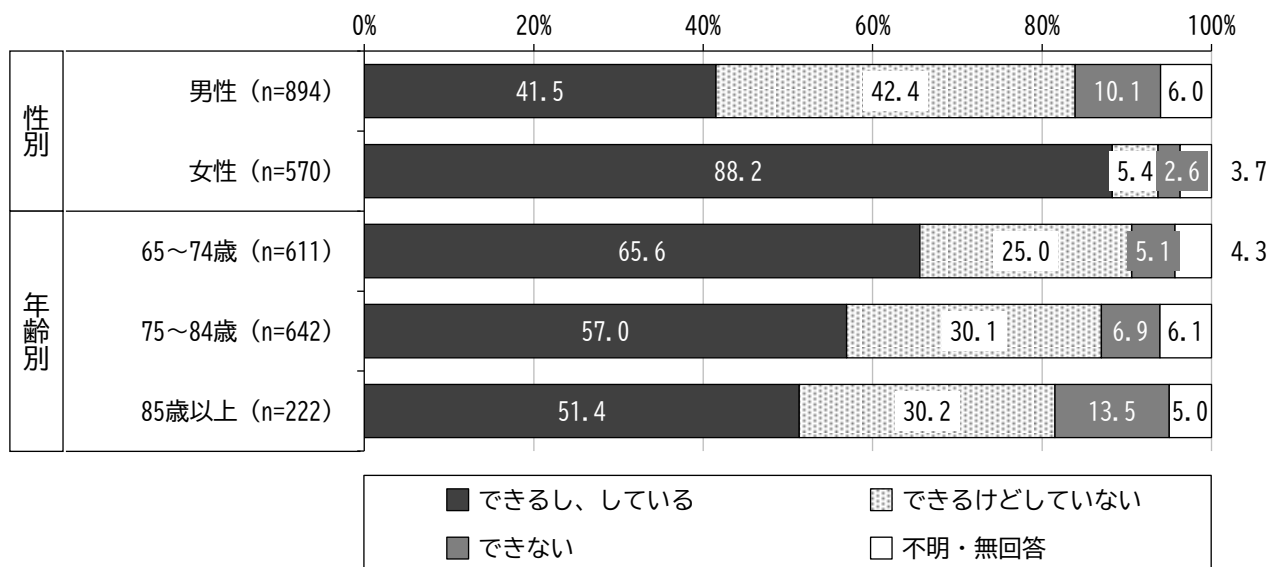
食事の用意については、「できるし、している」が59.2%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が28.0%、「できない」が7.0%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



性別にみると、男性で「できるけどしていない」、女性で「できるし、している」が最も多くなっています。

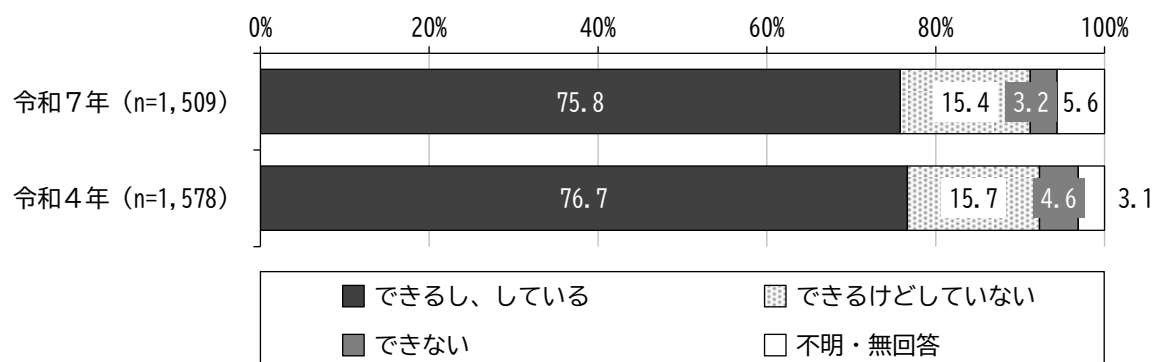
年齢別にみると、すべての年齢で「できるし、している」が最も多くなっています。



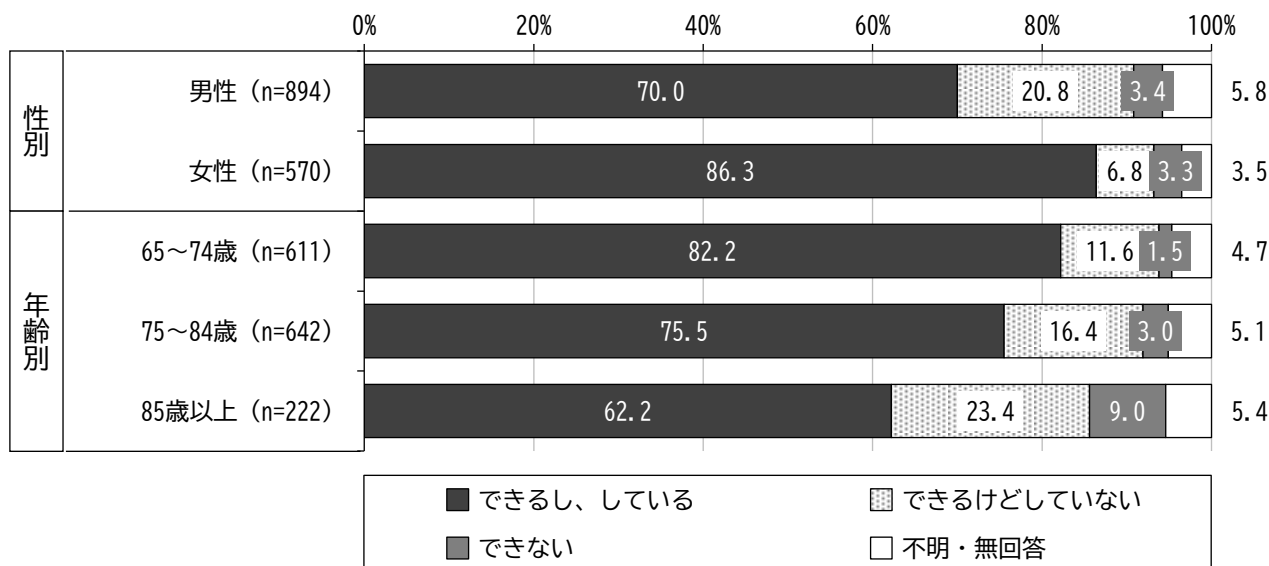
(5) 自分で請求書の支払いをしていますか。(単数回答)

請求書の支払いについては、「できるし、している」が75.8%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が15.4%、「できない」が3.2%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



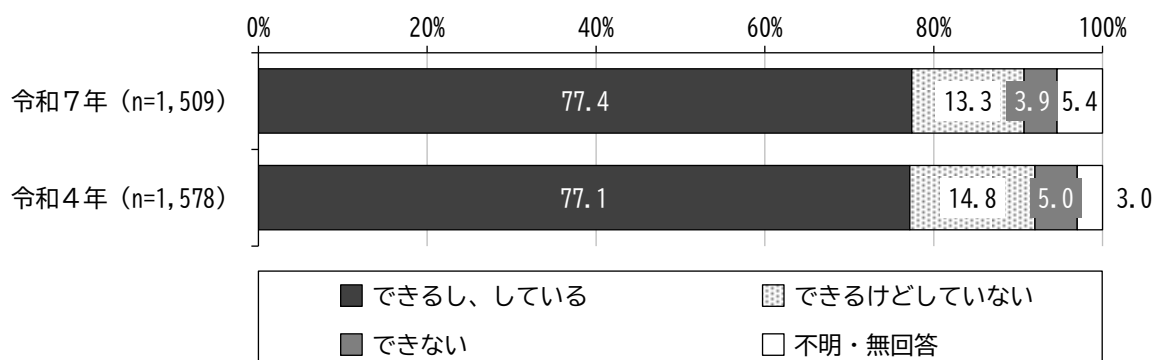
性別・年齢別にみると、すべての区分で「できるし、している」が最も多くなっています。



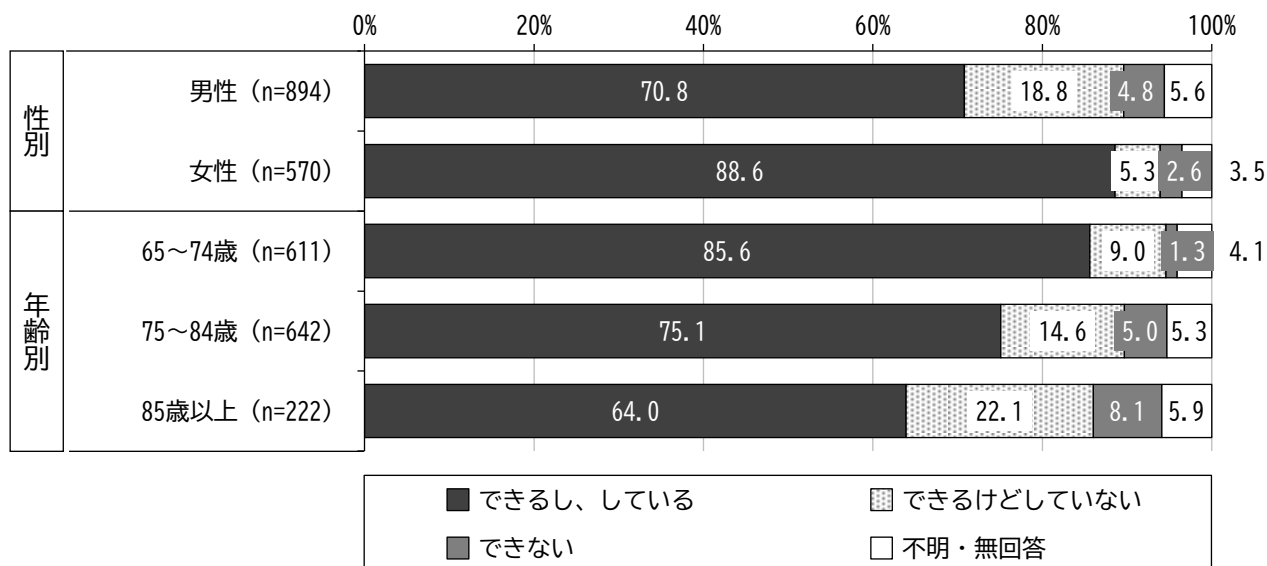
(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(単数回答)

預貯金の出し入れについては、「できるし、している」が77.4%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が13.3%、「できない」が3.9%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



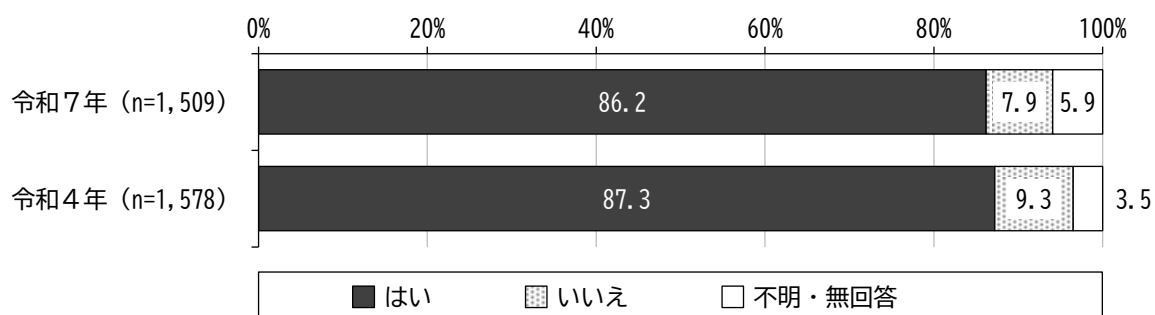
性別・年齢別にみると、すべての区分で「できるし、している」が最も多くなっています。



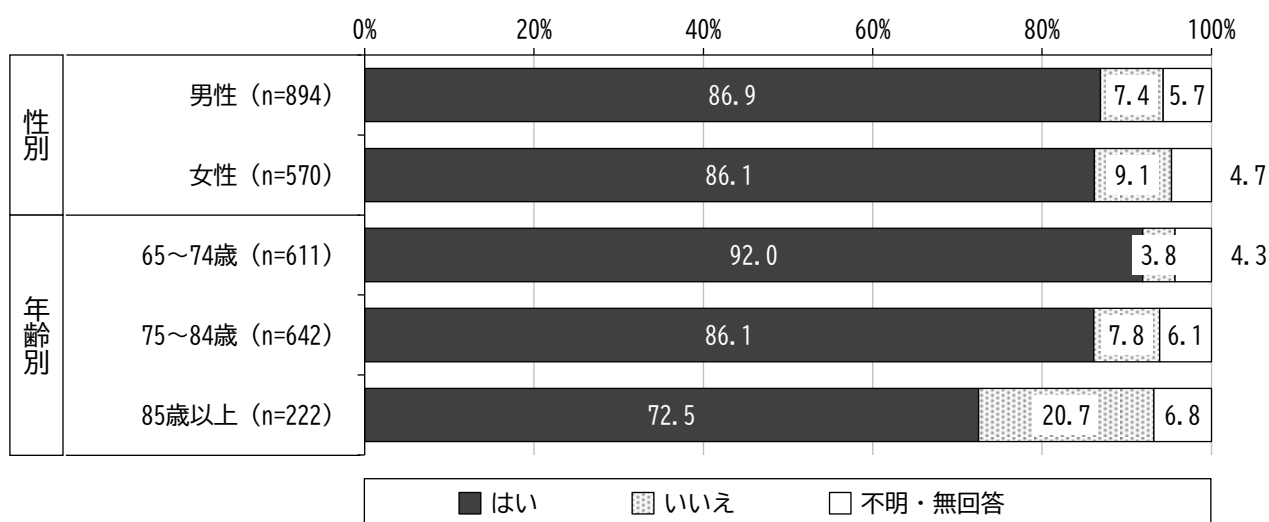
(7) 年金等の書類（役所や病院等に出す書類）が書けますか。（単数回答）

年金等の書類（役所や病院等に出す書類）が書けるかについては、「はい」が 86.2%、「いいえ」が 7.9%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



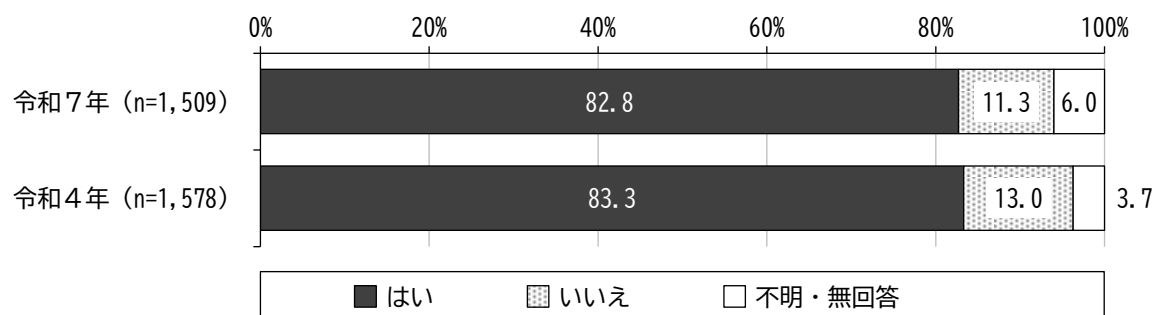
性別・年齢別にみると、すべての区分で「はい」が多くなっています。



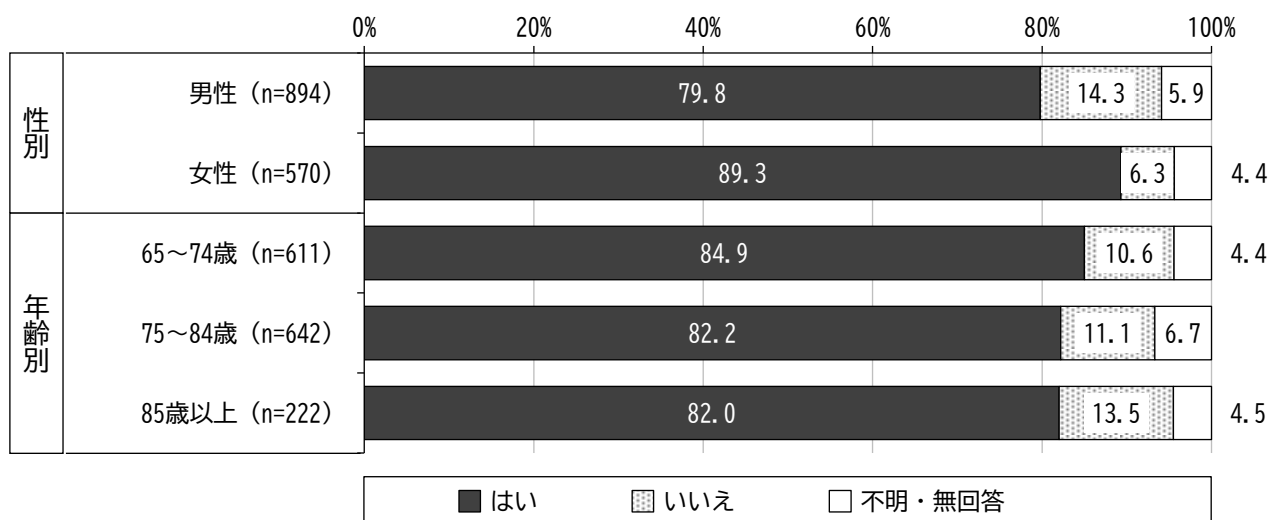
(8) 健康についての記事や番組に関心がありますか。(単数回答)

健康についての記事や番組に関心があるかについては、「はい」が82.8%、「いいえ」が11.3%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。

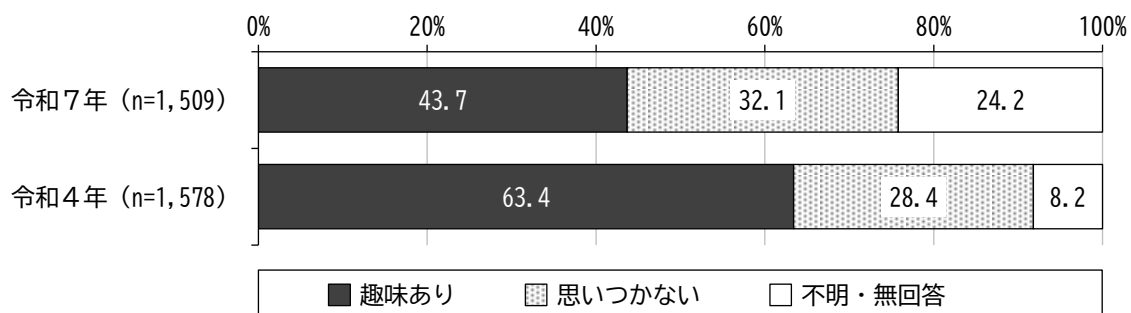


性別・年齢別にみると、すべての区分で「はい」が多くなっています。



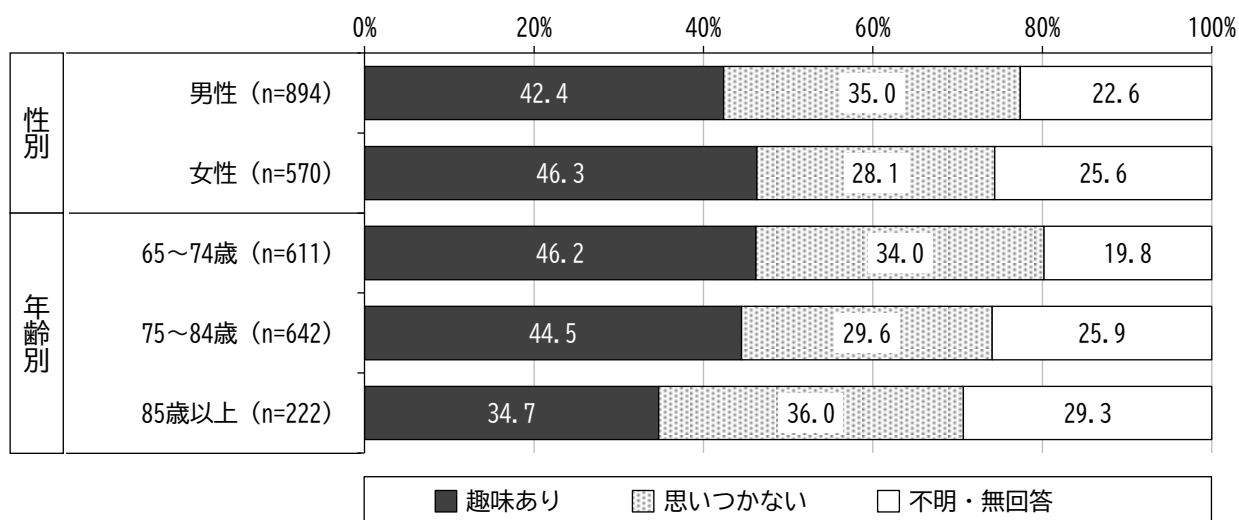
(9) 趣味はありますか。(単数回答)

趣味の有無については、「趣味あり」が43.7%、「思いつかない」が32.1%となっています。
令和4年調査と比較すると、「趣味あり」が19.7ポイント減少しています。



性別にみると、男女ともに「趣味あり」が多くなっています。

年齢別にみると、85歳以上で「思いつかない」、それ以外の年齢で「趣味あり」が多くなっています。

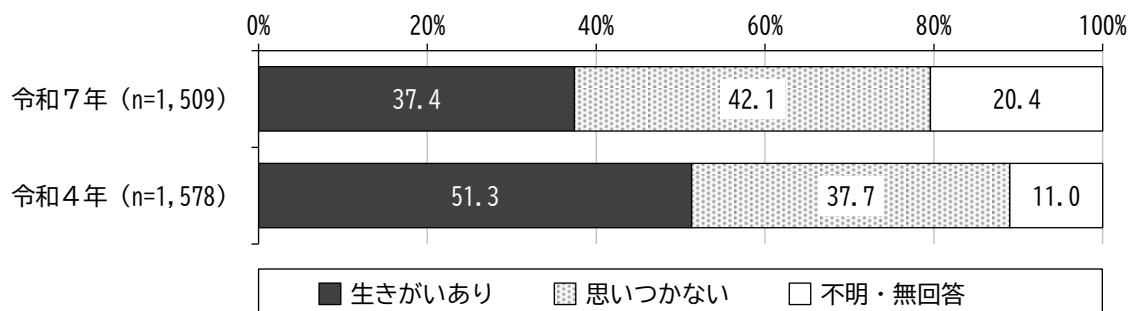


●具体的な内容

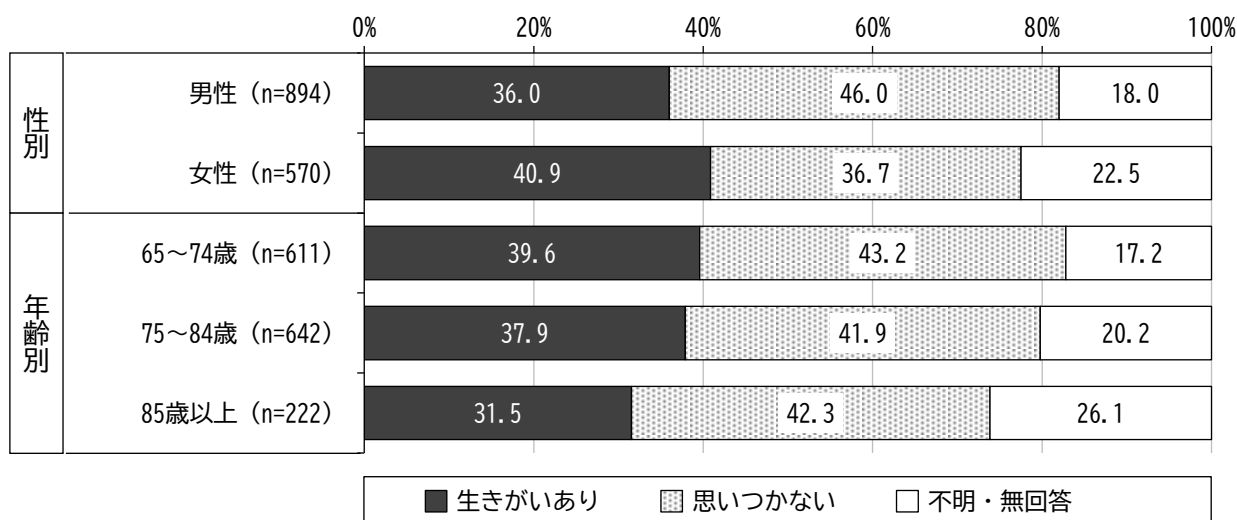
- ・テレビ
- ・スポーツ観戦
- ・映画鑑賞
- ・絵画
- ・読書
- ・手芸、編み物
- ・カラオケ
- ・音楽鑑賞
- ・パチンコ
- ・マージャン
- ・ゲーム（クロスワード）
- ・園芸、農作業（野菜作り）
- ・料理
- ・ゴルフ
- ・ウォーキング
- ・釣り
- ・ドライブ
- ・バイク
- 等

(10) 生きがいがありますか。(単数回答)

生きがいの有無については、「生きがいあり」が37.4%、「思いつかない」が42.1%となっています。
令和4年調査と比較すると、「生きがいあり」が13.9ポイント減少しています。



性別にみると、男性で「思いつかない」、女性で「生きがいあり」が多くなっています。
年齢別にみると、すべての年齢で「思いつかない」が多くなっています。



●具体的な内容

- ・孫の成長、孫とのふれあい
- ・園芸、農作業（野菜作り）
- ・家族や子ども
- ・仕事
- ・健康維持
- ・旅行
- ・趣味活動
- ・友人や仲間との会話、交流等

問6 地域での活動について

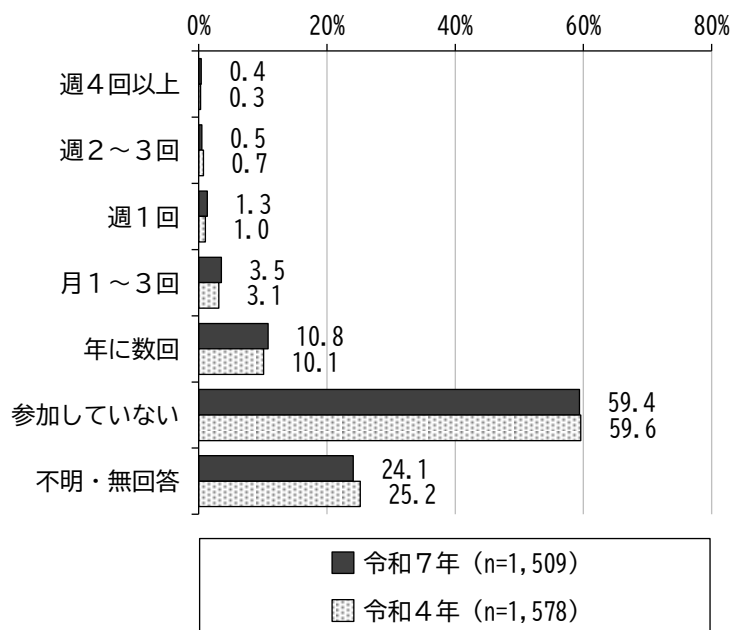
(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

(それぞれ単数回答)

①ボランティアのグループ

ボランティアのグループへの参加頻度については、「参加していない」が59.4%と最も多く、次いで「年に数回」が10.8%、「月1～3回」が3.5%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



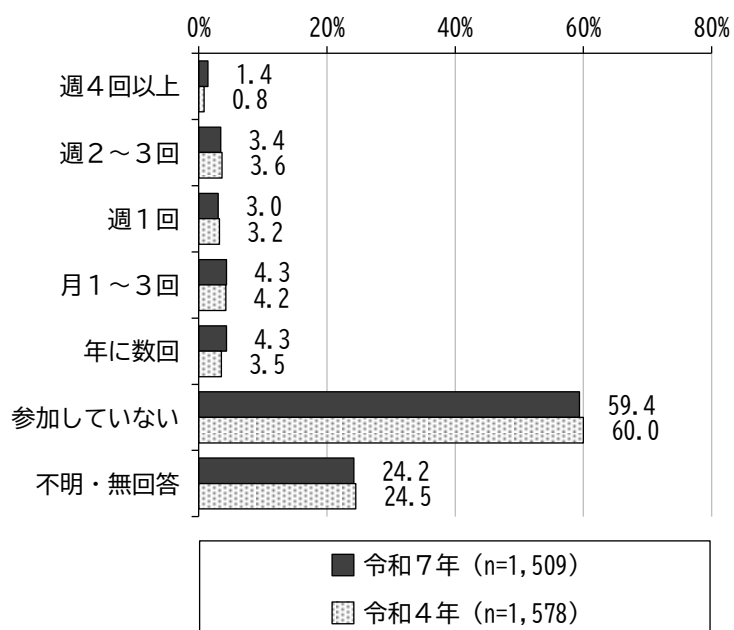
性別・年齢別にみると、すべての区分で「参加していない」が最も多くなっています。

単位：%		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	不明・無回答
全体 (n=1,509)		0.4	0.5	1.3	3.5	10.8	59.4	24.1
性別	男性 (n=894)	0.2	0.3	1.5	4.1	14.3	58.2	21.4
	女性 (n=570)	0.5	0.7	1.2	2.6	4.9	63.2	26.8
年齢別	65～74歳 (n=611)	0.3	0.3	1.1	4.4	11.5	65.0	17.3
	75～84歳 (n=642)	0.5	0.8	1.9	3.4	11.7	56.1	25.7
	85歳以上 (n=222)	0.0	0.0	0.5	1.4	5.9	57.7	34.7

②スポーツ関係のグループやクラブ

スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度については、「参加していない」が59.4%と最も多く、次いで「月1～3回」「年に数回」が4.3%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



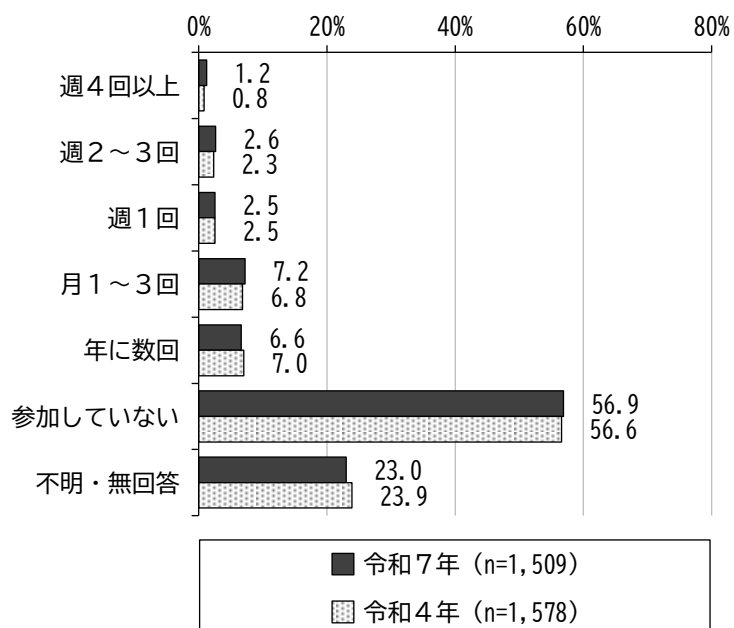
性別・年齢別にみると、すべての区分で「参加していない」が最も多くなっています。

単位：％		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	不明・無回答
全体 (n=1,509)		1.4	3.4	3.0	4.3	4.3	59.4	24.2
性別	男性 (n=894)	1.0	2.7	2.3	4.3	5.6	61.1	23.0
	女性 (n=570)	2.1	4.7	4.2	4.7	2.3	57.5	24.4
年齢別	65～74歳 (n=611)	1.3	3.3	2.5	4.1	5.4	66.3	17.2
	75～84歳 (n=642)	2.0	3.7	3.7	5.5	4.2	55.1	25.7
	85歳以上 (n=222)	0.0	3.2	2.7	2.3	1.8	54.5	35.6

③趣味関係のグループ

趣味関係のグループへの参加頻度については、「参加していない」が56.9%と最も多く、次いで「月1～3回」が7.2%、「年に数回」が6.6%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



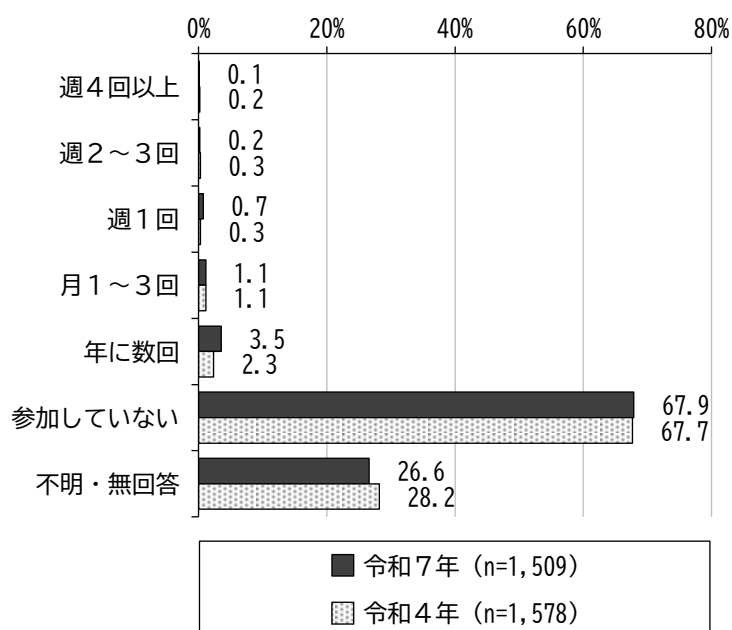
性別・年齢別にみると、すべての区分で「参加していない」が最も多くなっています。

単位：%		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	不明・無回答
全体 (n=1,509)		1.2	2.6	2.5	7.2	6.6	56.9	23.0
性別	男性 (n=894)	1.3	1.8	2.2	6.4	8.5	58.3	21.5
	女性 (n=570)	0.9	4.0	2.6	8.6	3.7	56.0	24.2
年齢別	65～74歳 (n=611)	1.3	2.0	2.3	7.0	8.2	62.8	16.4
	75～84歳 (n=642)	1.2	3.7	3.0	8.1	6.9	53.4	23.7
	85歳以上 (n=222)	0.5	1.4	1.4	5.4	1.8	53.2	36.5

④学習・教養サークル

学習・教養サークルへの参加頻度については、「参加していない」が67.9%と最も多く、次いで「年に数回」が3.5%、「月1～3回」が1.1%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



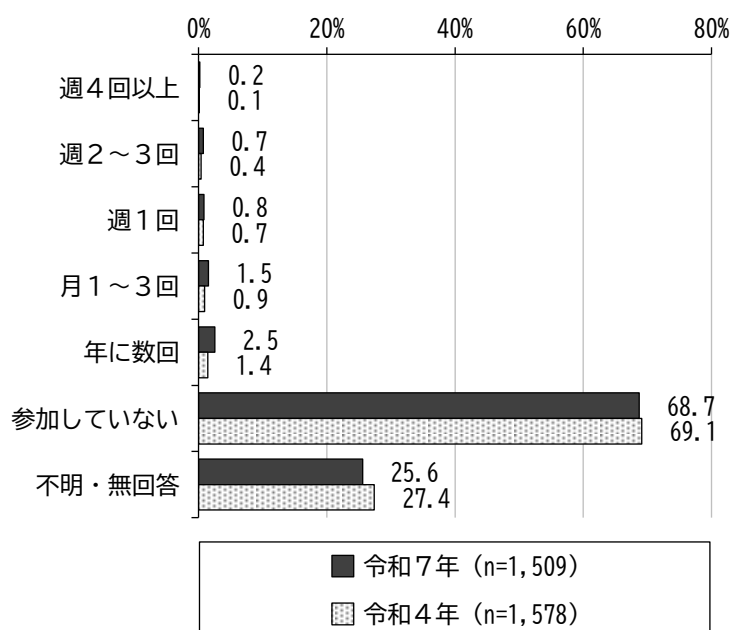
性別・年齢別にみると、すべての区分で「参加していない」が最も多くなっています。

単位：%		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	不明・無回答
全体 (n=1,509)		0.1	0.2	0.7	1.1	3.5	67.9	26.6
性別	男性 (n=894)	0.0	0.1	0.9	0.6	3.4	70.6	24.5
	女性 (n=570)	0.2	0.4	0.4	1.9	3.7	65.1	28.4
年齢別	65～74歳 (n=611)	0.2	0.2	0.2	1.1	2.9	76.1	19.3
	75～84歳 (n=642)	0.0	0.3	1.4	0.9	4.2	65.0	28.2
	85歳以上 (n=222)	0.0	0.0	0.0	1.4	2.7	57.2	38.7

⑤介護予防のための通いの場

介護予防のための通いの場への参加頻度については、「参加していない」が68.7%と最も多く、次いで「年に数回」が2.5%、「月1～3回」が1.5%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



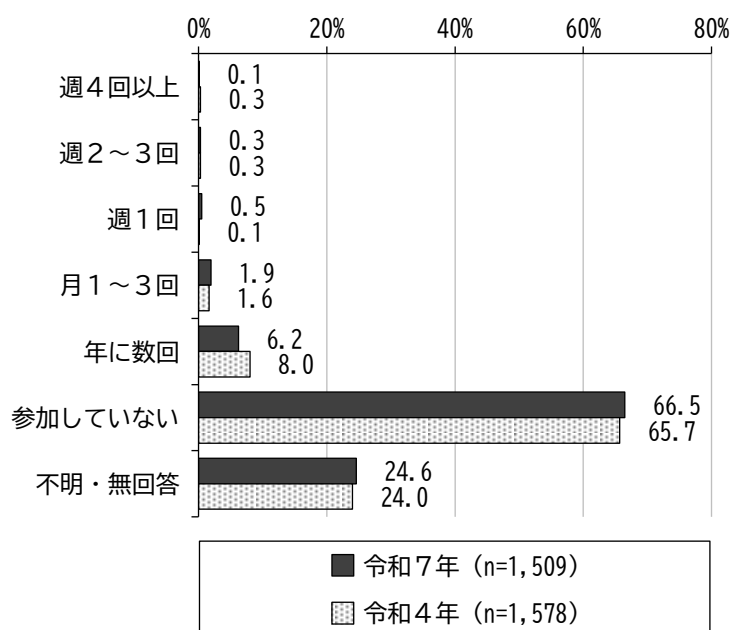
性別・年齢別にみると、すべての区分で「参加していない」が最も多くなっています。

単位：％		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	不明・無回答
全体 (n=1,509)		0.2	0.7	0.8	1.5	2.5	68.7	25.6
性別	男性 (n=894)	0.0	0.2	0.7	0.8	1.8	72.5	24.0
	女性 (n=570)	0.5	1.6	1.1	2.6	3.3	64.4	26.5
年齢別	65～74歳 (n=611)	0.0	0.3	0.7	1.0	0.7	79.1	18.3
	75～84歳 (n=642)	0.5	0.9	0.8	1.7	3.6	65.0	27.6
	85歳以上 (n=222)	0.0	1.4	1.4	2.3	3.6	55.0	36.5

⑥老人クラブ

老人クラブへの参加頻度については、「参加していない」が66.5%と最も多く、次いで「年に数回」が6.2%、「月1～3回」が1.9%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



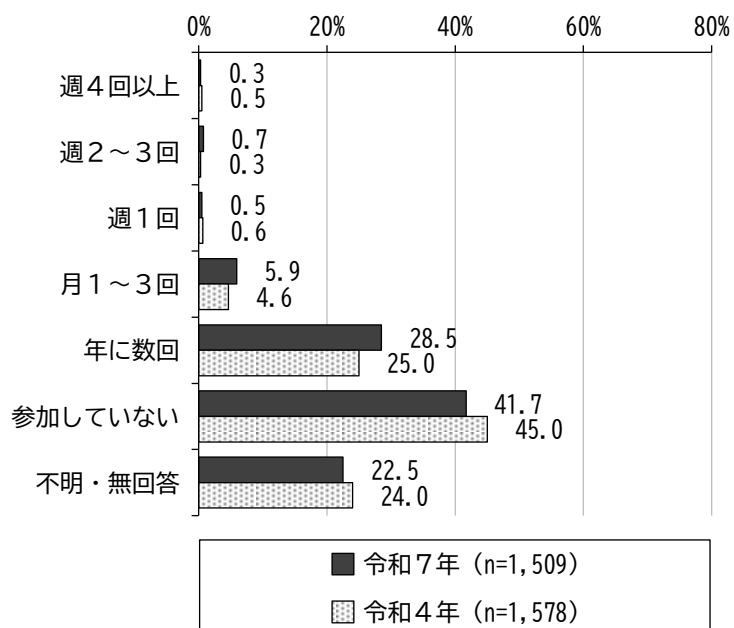
性別・年齢別にみると、すべての区分で「参加していない」が最も多くなっています。

単位：%		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	不明・無回答
全体 (n=1,509)		0.1	0.3	0.5	1.9	6.2	66.5	24.6
性別	男性 (n=894)	0.1	0.1	0.3	1.7	6.6	69.1	22.0
	女性 (n=570)	0.0	0.5	0.5	2.5	5.6	63.7	27.2
年齢別	65～74歳 (n=611)	0.0	0.2	0.7	0.7	3.8	76.1	18.7
	75～84歳 (n=642)	0.2	0.5	0.2	3.1	8.4	61.8	25.9
	85歳以上 (n=222)	0.0	0.0	0.9	2.3	7.2	55.9	33.8

⑦町内会・自治会

町内会・自治会への参加頻度については、「参加していない」が41.7%と最も多く、次いで「年に数回」が28.5%、「月1～3回」が5.9%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



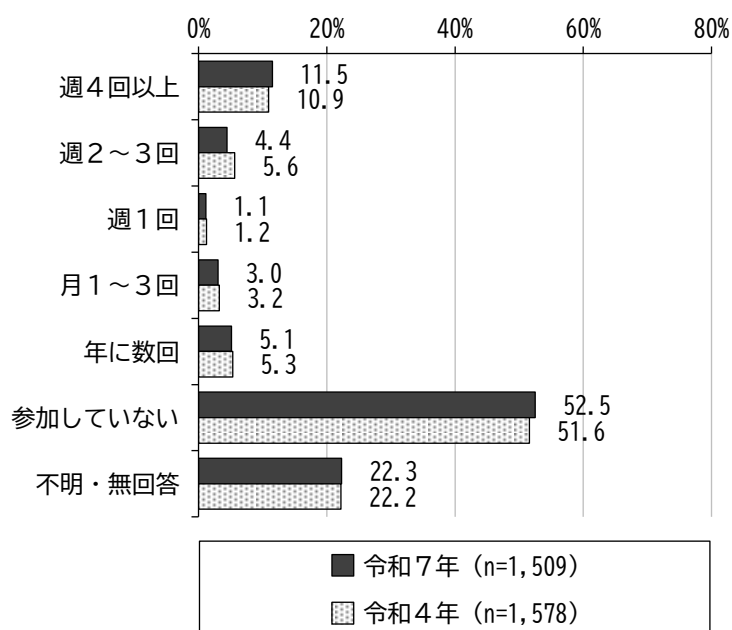
性別・年齢別にみると、すべての区分で「参加していない」が最も多くなっています。

単位：%		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	不明・無回答
全体 (n=1,509)		0.3	0.7	0.5	5.9	28.5	41.7	22.5
性別	男性 (n=894)	0.3	0.8	0.6	8.2	34.6	36.8	18.8
	女性 (n=570)	0.2	0.5	0.4	2.5	19.6	49.8	27.0
年齢別	65～74歳 (n=611)	0.2	0.3	0.8	9.0	35.2	40.4	14.1
	75～84歳 (n=642)	0.5	1.1	0.3	4.5	27.3	41.9	24.5
	85歳以上 (n=222)	0.0	0.5	0.0	1.4	14.9	45.9	37.4

⑧収入のある仕事

収入のある仕事への参加頻度については、「参加していない」が52.5%と最も多く、次いで「週4回以上」が11.5%、「年に数回」が5.1%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



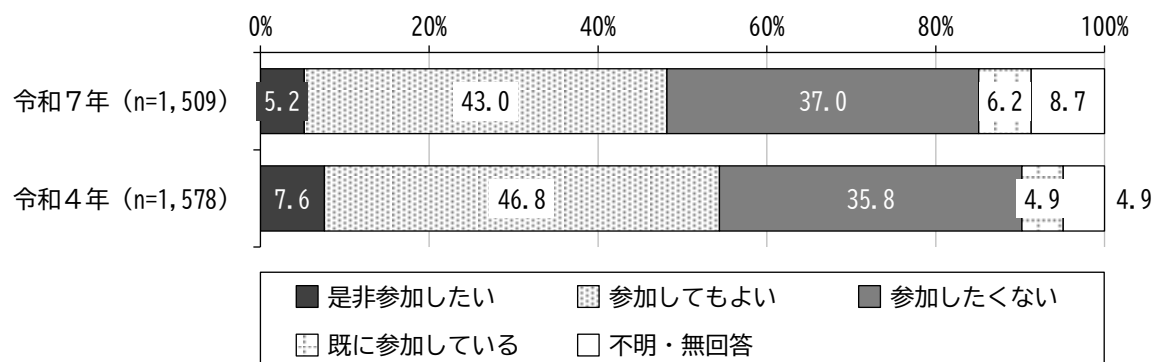
性別・年齢別にみると、すべての区分で「参加していない」が最も多くなっています。

単位：%		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	不明・無回答
全体 (n=1,509)		11.5	4.4	1.1	3.0	5.1	52.5	22.3
性別	男性 (n=894)	12.9	5.3	1.3	3.8	7.6	50.0	19.1
	女性 (n=570)	9.1	3.3	0.9	1.8	1.4	58.1	25.4
年齢別	65～74歳 (n=611)	21.1	7.2	1.8	4.3	6.2	46.5	12.9
	75～84歳 (n=642)	5.9	3.1	0.6	2.6	5.6	57.8	24.3
	85歳以上 (n=222)	0.0	0.9	0.9	0.5	0.9	58.1	38.7

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(単数回答)

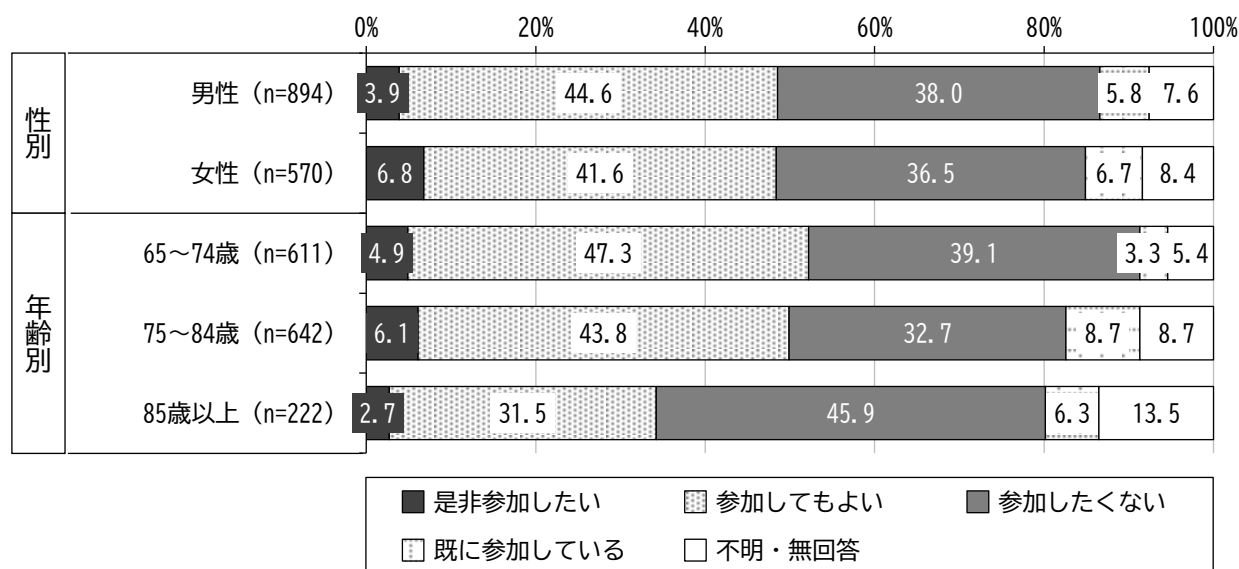
参加者としての参加意欲については、「参加してもよい」が43.0%と最も多く、次いで「参加したくない」が37.0%、「既に参加している」が6.2%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



性別にみると、男女ともに「参加してもよい」が最も多くなっています。

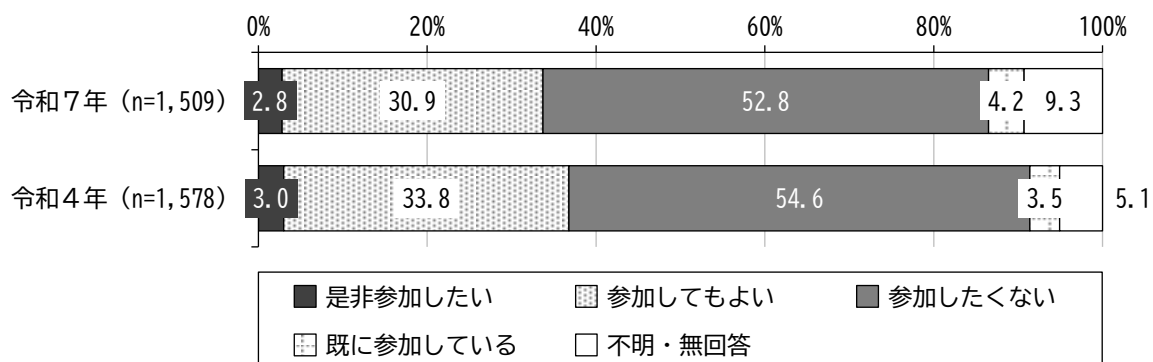
年齢別にみると、85歳以上で「参加したくない」、それ以外の年齢で「参加してもよい」が最も多くなっています。



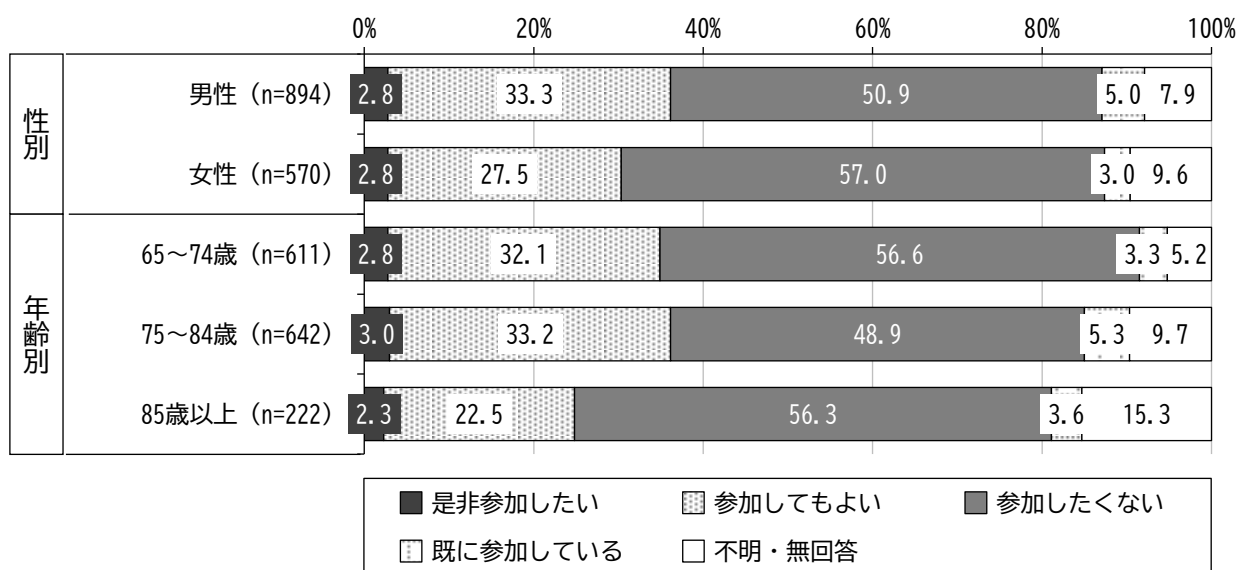
(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（単数回答）

企画・運営（お世話役）としての参加意欲については、「参加したくない」が52.8%と最も多く、次いで「参加してもよい」が30.9%、「既に参加している」が4.2%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



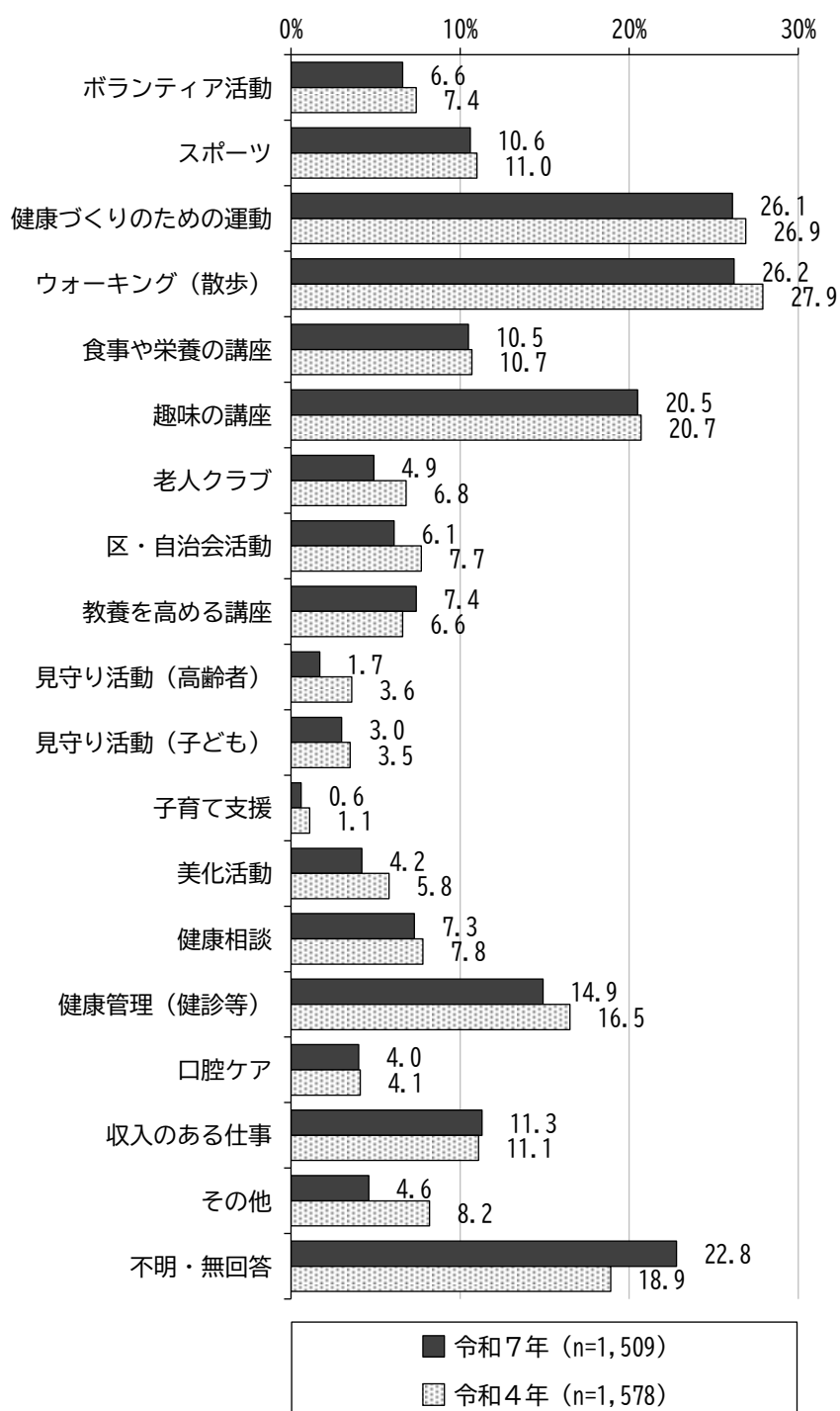
性別・年齢別にみると、すべての区分で「参加したくない」が最も多くなっています。



(4) 今後やってみたい（参加してみたい）ことはありますか。（複数回答）

今後やってみたい（参加してみたい）ことについては、「ウォーキング（散歩）」が 26.2%と最も多く、次いで「健康づくりのための運動」が 26.1%、「趣味の講座」が 20.5%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



●主な内容(その他)

・特になし ・農業・園芸 等

性別にみると、男性で「ウォーキング（散歩）」、女性で「健康づくりのための運動」が最も多くなっています。

年齢別にみると、75～84歳で「ウォーキング（散歩）」、それ以外の年齢で「健康づくりのための運動」が最も多くなっています。

地区別にみると、角田地区、東根地区、西根地区で「健康づくりのための運動」、枝野地区で「ウォーキング（散歩）」「趣味の講座」、藤尾地区、桜地区、北郷地区で「ウォーキング（散歩）」が最も多くなっています。

単位：％		ボランティア活動	スポーツ	健康づくりのための運動	ウォーキング（散歩）	食事や栄養の講座	趣味の講座	老人クラブ	区・自治会活動	教養を高める講座	見守り活動（高齢者）
全体（n=1,509）		6.6	10.6	26.1	26.2	10.5	20.5	4.9	6.1	7.4	1.7
性別	男性（n=894）	6.8	12.9	24.4	26.7	5.9	18.9	5.6	7.9	7.2	1.5
	女性（n=570）	6.1	7.0	29.5	24.9	17.5	23.2	3.9	3.2	7.7	1.9
年齢別	65～74歳（n=611）	6.7	12.1	27.8	27.7	11.1	22.9	0.7	6.9	9.2	1.8
	75～84歳（n=642）	7.9	10.9	26.2	28.7	10.9	20.9	7.9	6.1	7.2	1.9
	85歳以上（n=222）	2.3	5.0	22.1	14.9	7.7	12.6	7.7	4.1	3.2	0.9
地区別	角田地区（n=702）	6.3	10.7	28.6	27.4	11.4	21.5	2.6	5.0	7.5	1.4
	枝野地区（n=87）	3.4	9.2	20.7	24.1	13.8	24.1	2.3	5.7	6.9	1.1
	藤尾地区（n=127）	3.1	8.7	20.5	26.8	8.7	10.2	7.9	3.1	1.6	0.0
	東根地区（n=79）	7.6	19.0	27.8	24.1	13.9	24.1	11.4	11.4	6.3	3.8
	桜地区（n=162）	7.4	12.3	22.8	27.8	6.2	19.8	9.9	9.9	8.6	1.2
	北郷地区（n=187）	10.2	8.0	24.6	26.7	12.8	21.9	4.3	5.3	9.6	2.1
	西根地区（n=128）	6.3	8.6	27.3	18.8	5.5	18.8	7.0	8.6	8.6	3.1

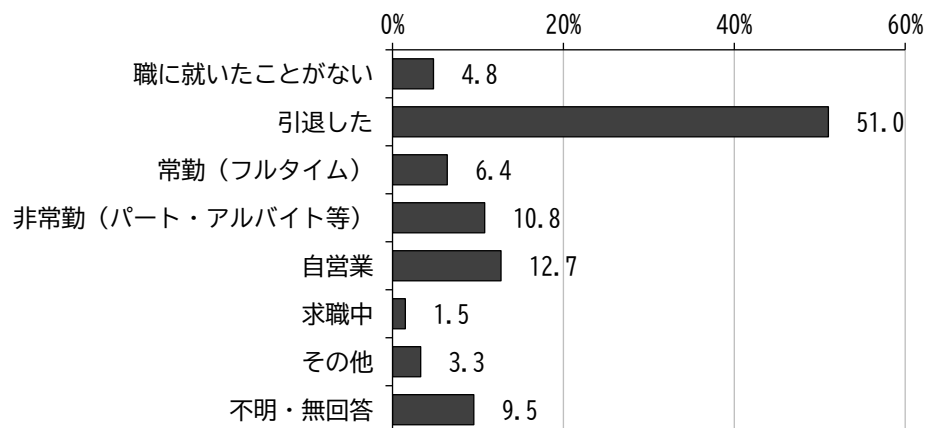
単位：％		見守り活動（子ども）	子育て支援	美化活動	健康相談	健康管理（健診等）	口腔ケア	収入のある仕事	その他	不明・無回答
全体（n=1,509）		3.0	0.6	4.2	7.3	14.9	4.0	11.3	4.6	22.8
性別	男性（n=894）	3.6	0.7	5.4	6.7	15.3	2.9	13.8	4.9	21.1
	女性（n=570）	2.1	0.5	2.6	8.2	14.7	5.6	7.5	4.4	25.1
年齢別	65～74歳（n=611）	5.1	1.3	4.7	3.9	11.6	2.9	17.8	4.4	16.7
	75～84歳（n=642）	2.0	0.0	4.7	9.8	17.8	4.7	8.6	4.0	23.4
	85歳以上（n=222）	0.0	0.5	1.8	9.5	16.7	5.0	0.9	7.2	37.4
地区別	角田地区（n=702）	2.6	0.3	4.7	6.8	15.0	5.0	9.7	4.8	22.8
	枝野地区（n=87）	3.4	2.3	3.4	4.6	17.2	4.6	10.3	8.0	19.5
	藤尾地区（n=127）	1.6	0.8	2.4	6.3	15.0	2.4	13.4	5.5	26.0
	東根地区（n=79）	2.5	1.3	6.3	11.4	13.9	3.8	12.7	2.5	17.7
	桜地区（n=162）	5.6	0.6	3.1	4.9	14.8	4.3	13.6	3.1	21.0
	北郷地区（n=187）	5.3	1.1	4.3	9.1	14.4	1.6	10.7	4.3	25.7
	西根地区（n=128）	0.0	0.0	4.7	10.9	16.4	3.1	15.6	5.5	21.9

問7 就労について

(1) 現在のあなたの就労状態はどれですか。(単数回答)

現在の就労状態については、「引退した」が51.0%と最も多く、次いで「自営業」が12.7%、「非常勤（パート・アルバイト等）」が10.8%となっています。

令和7年（n=1,509）



性別・年齢別にみると、すべての区分で「引退した」が最も多くなっています。

単位：%		職に就いたことがない	引退した	常勤（フルタイム）	非常勤（パート・アルバイト等）	自営業	求職中	その他	不明・無回答
全体（n=1,509）		4.8	51.0	6.4	10.8	12.7	1.5	3.3	9.5
性別	男性（n=894）	2.9	49.9	8.5	11.6	14.9	1.9	3.0	7.3
	女性（n=570）	7.9	52.1	3.0	9.6	9.5	0.7	3.9	13.3
年齢別	65～74歳（n=611）	2.8	42.6	11.9	18.7	14.1	2.6	3.1	4.3
	75～84歳（n=642）	5.8	57.8	3.0	5.8	13.2	0.6	3.3	10.6
	85歳以上（n=222）	8.6	54.1	0.5	3.6	7.7	0.5	4.1	21.2

●主な内容(その他)

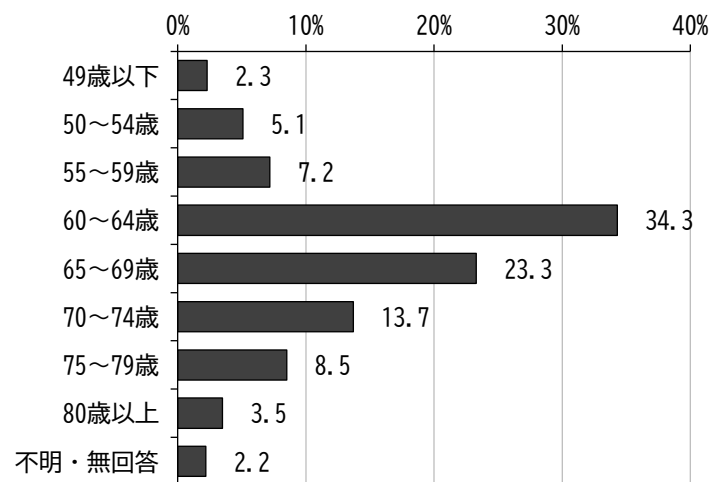
・農業（家庭菜園） ・無職 ・シルバー人材（センター） 等

【(1) で「引退した」と回答した方のみ】

(1) ①何歳のときに引退しましたか。(数量回答)

引退した時期については、「60～64 歳」が 34.3%と最も多く、次いで「65～69 歳」が 23.3%、「70～74 歳」が 13.7%となっています。

令和 7 年 (n=769)



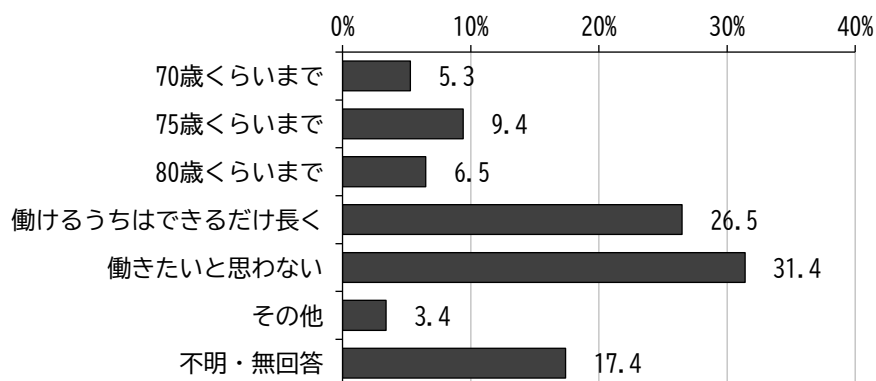
性別にみると、すべての区分で「60～64 歳」が最も多くなっています。

単位：%		49歳以下	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	不明・無回答
全体 (n=769)		2.3	5.1	7.2	34.3	23.3	13.7	8.5	3.5	2.2
性別	男性 (n=446)	0.9	1.1	4.5	31.8	26.5	17.5	11.4	4.7	1.6
	女性 (n=297)	4.7	10.8	10.4	38.4	19.2	8.1	3.0	2.0	3.4

(2) 今後、何歳くらいまで働きたいと思いますか。(単数回答)

何歳くらいまで働きたいかについては、「働きたいと思わない」が31.4%と最も多く、次いで「働けるうちはできるだけ長く」が26.5%、「75歳くらいまで」が9.4%となっています。

令和7年 (n=1,509)



性別・年齢別にみると、すべての区分で「働きたいと思わない」が最も多くなっています。

単位：%		70歳くらいまで	75歳くらいまで	80歳くらいまで	働けるうちはできるだけ	働きたいと思わない	その他	不明・無回答
全体 (n=1,509)		5.3	9.4	6.5	26.5	31.4	3.4	17.4
性別	男性 (n=894)	6.0	11.9	8.2	28.0	29.9	3.1	13.0
	女性 (n=570)	4.4	6.0	4.0	25.3	33.3	4.0	23.0
年齢別	65～74歳 (n=611)	10.3	20.0	5.6	24.7	27.0	2.9	9.5
	75～84歳 (n=642)	2.3	2.2	9.3	31.2	33.8	3.4	17.8
	85歳以上 (n=222)	0.5	1.8	1.4	19.8	36.0	4.1	36.5

●主な内容(その他)

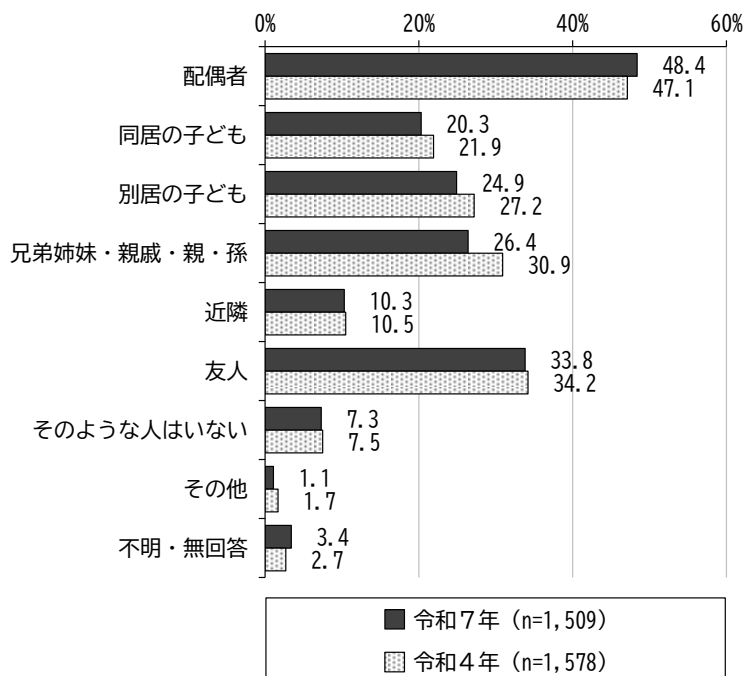
・働けない ・年齢的に無理 ・畑仕事 等

問8 たすけあいについて

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか。（複数回答）

心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人については、「配偶者」が48.4%と最も多く、次いで「友人」が33.8%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が26.4%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



性別にみると、男性で「配偶者」、女性で「友人」が最も多くなっています。

年齢別にみると、85歳以上で「配偶者」「別居の子ども」、それ以外の年齢で「配偶者」が最も多くなっています。

単位：％		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	近隣	友人	ない そのような人はい	その他	不明・無回答
全体 (n=1,509)		48.4	20.3	24.9	26.4	10.3	33.8	7.3	1.1	3.4
性別	男性 (n=894)	65.0	15.7	17.3	19.6	7.4	23.6	9.1	1.0	3.8
	女性 (n=570)	21.4	27.7	36.8	38.6	14.9	50.4	4.7	1.1	2.6
年齢別	65～74歳 (n=611)	52.5	16.0	20.6	26.5	7.9	36.7	8.8	1.5	2.8
	75～84歳 (n=642)	49.4	21.8	26.3	26.8	12.5	35.4	7.3	0.5	3.3
	85歳以上 (n=222)	32.4	27.9	32.4	27.9	11.3	22.1	3.2	1.8	5.4

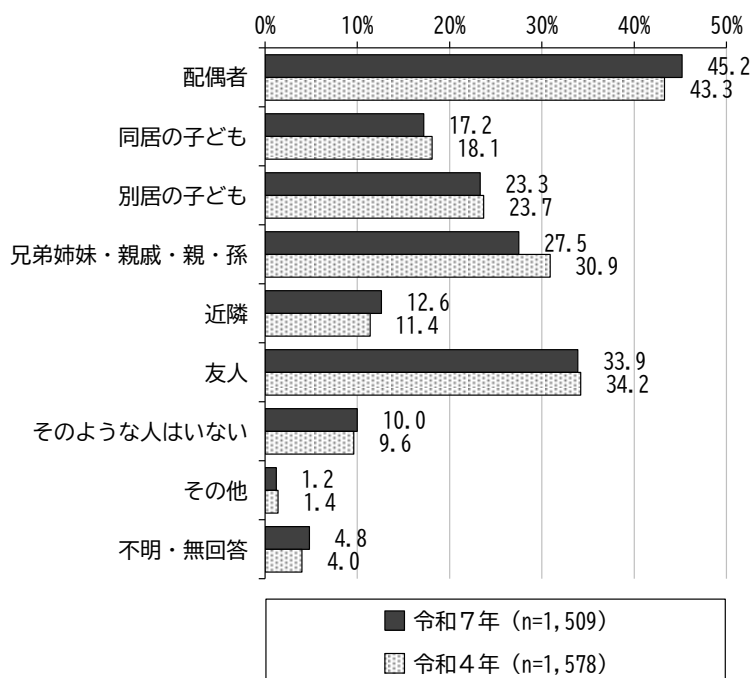
●主な内容(その他)

・愚痴は言わない ・仕事仲間 ・同居人 等

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はいますか。 (複数回答)

心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人については、「配偶者」が45.2%と最も多く、次いで「友人」が33.9%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が27.5%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



性別にみると、男性で「配偶者」、女性で「友人」が最も多くなっています。

年齢別にみると、すべての年齢で「配偶者」が最も多くなっています。

単位：%		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	近隣	友人	そのような人はいない	その他	不明・無回答
全体 (n=1,509)		45.2	17.2	23.3	27.5	12.6	33.9	10.0	1.2	4.8
性別	男性 (n=894)	61.2	16.0	18.2	22.4	10.5	24.2	11.3	1.3	4.5
	女性 (n=570)	19.1	19.3	30.7	36.7	16.1	50.0	8.1	1.1	5.3
年齢別	65～74歳 (n=611)	49.3	16.9	22.4	29.1	9.2	36.8	9.7	1.1	3.6
	75～84歳 (n=642)	46.6	17.6	23.7	26.8	15.3	35.4	10.3	0.8	4.4
	85歳以上 (n=222)	28.4	17.6	23.4	27.0	14.4	22.5	10.4	2.7	9.5

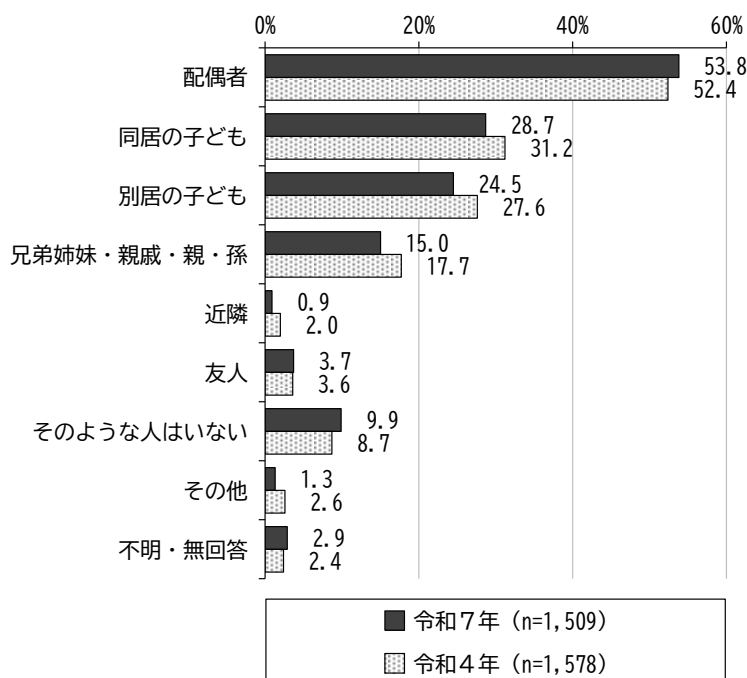
●主な内容(その他)

・なし ・仕事仲間 ・同居人 等

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか。
(複数回答)

看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」が53.8%と最も多く、次いで「同居の子ども」が28.7%、「別居の子ども」が24.5%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



性別にみると、男性で「配偶者」、女性で「同居の子ども」が最も多くなっています。

年齢別にみると、85歳以上で「同居の子ども」、それ以外の年齢で「配偶者」が最も多くなっています。

単位：%		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	近隣	友人	ないそのような人はい	その他	不明・無回答
全体 (n=1,509)		53.8	28.7	24.5	15.0	0.9	3.7	9.9	1.3	2.9
性別	男性 (n=894)	72.1	22.6	17.7	11.7	0.7	1.7	10.1	0.6	2.6
	女性 (n=570)	23.9	38.8	34.7	20.5	1.4	7.0	9.8	2.5	3.2
年齢別	65～74歳 (n=611)	58.4	22.4	20.5	15.1	0.3	3.3	11.9	1.3	2.1
	75～84歳 (n=642)	55.5	31.9	25.5	15.0	1.6	4.7	9.7	0.8	3.1
	85歳以上 (n=222)	34.2	37.4	31.5	15.3	0.9	2.3	5.4	2.7	4.5

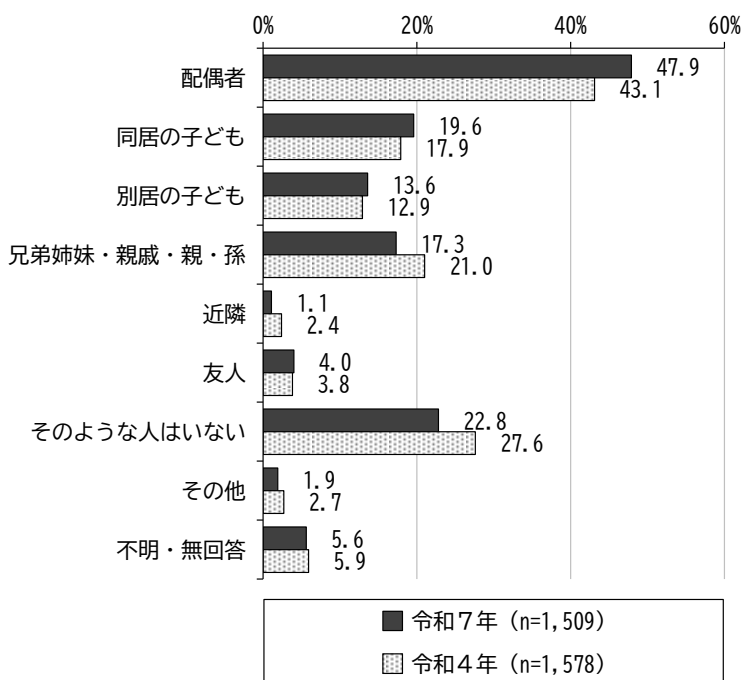
●主な内容(その他)

・長男の嫁 ・子ども(娘・息子) 等

(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人はいますか。(複数回答)

看病や世話をしてあげる人については、「配偶者」が47.9%と最も多く、次いで「そのような人はいない」が22.8%、「同居の子ども」が19.6%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



性別にみると、男女ともに「配偶者」が最も多くなっています。

年齢別にみると、85歳以上で「配偶者」「そのような人はいない」、それ以外の年齢で「配偶者」が最も多くなっています。

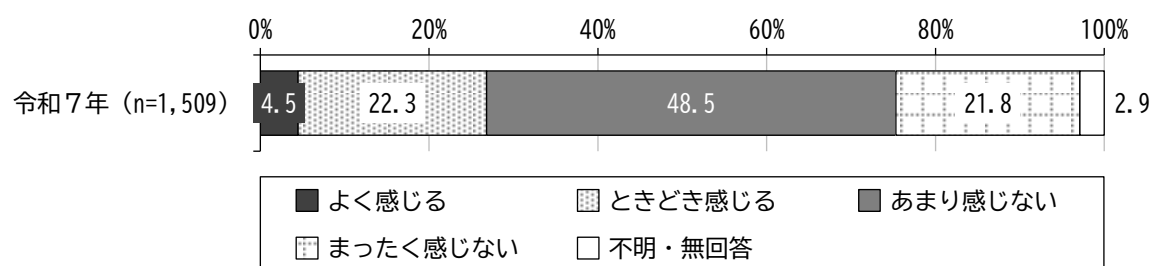
単位：%		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	近隣	友人	ない そのような人はい	その他	不明・無回答
全体 (n=1,509)		47.9	19.6	13.6	17.3	1.1	4.0	22.8	1.9	5.6
性別	男性 (n=894)	61.0	16.7	10.7	14.3	0.7	2.2	22.5	1.9	3.7
	女性 (n=570)	27.0	24.4	17.7	22.6	1.8	6.7	23.5	1.9	8.2
年齢別	65～74歳 (n=611)	51.2	17.7	13.3	20.5	0.7	3.9	22.9	2.1	3.1
	75～84歳 (n=642)	51.2	22.1	14.2	17.3	1.6	4.7	20.9	0.9	5.3
	85歳以上 (n=222)	27.9	18.0	12.2	9.9	0.9	1.8	27.9	4.1	13.5

●主な内容(その他)

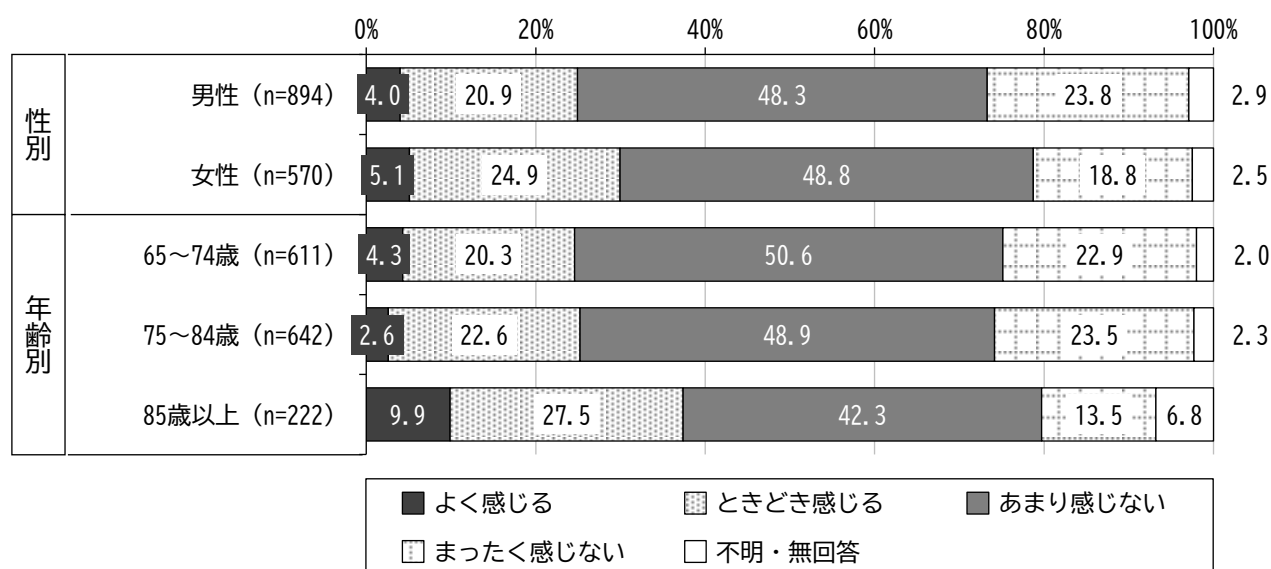
・できない(したくてもできない) ・母 ・同居者 等

(5) 普段の生活で「孤独だ」「つながりが少ない」と感じることはありますか。
(単数回答)

普段の生活で「孤独だ」「つながりが少ない」と感じるかについては、「あまり感じない」が48.5%と最も多く、次いで「ときどき感じる」が22.3%、「まったく感じない」が21.8%となっています。



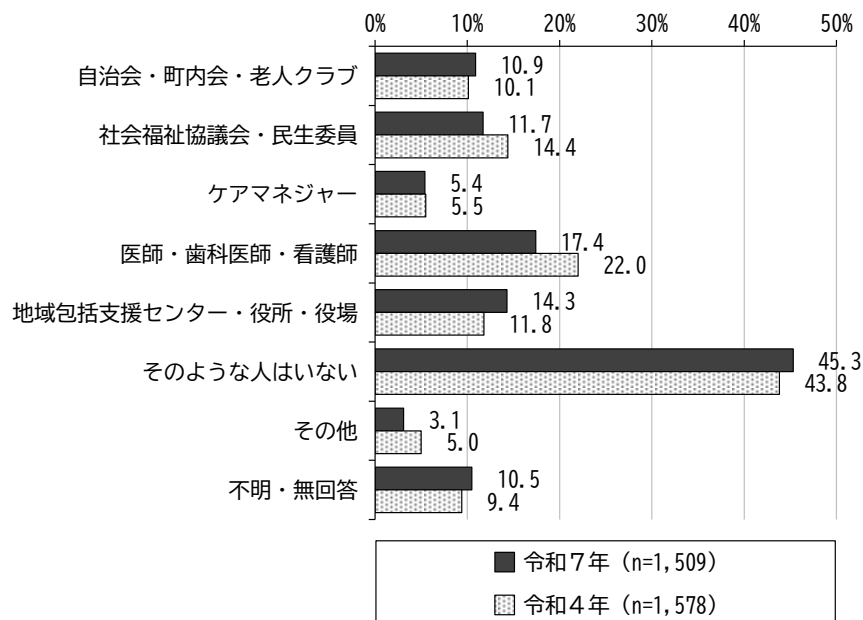
性別・年齢別にみると、すべての区分で「あまり感じない」が最も多くなっています。



(6) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(複数回答)

家族や友人・知人以外の相談相手については、「そのような人はいない」が45.3%と最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が17.4%、「地域包括支援センター・役所・役場」が14.3%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



性別・年齢別にみると、すべての区分で「そのような人はいない」が最も多くなっています。

単位：%		自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・役所・役場	そのような人はいない	その他	不明・無回答
全体 (n=1,509)		10.9	11.7	5.4	17.4	14.3	45.3	3.1	10.5
性別	男性 (n=894)	13.2	10.1	4.6	16.4	13.4	46.9	2.2	9.7
	女性 (n=570)	7.2	14.0	6.8	18.2	15.4	44.0	4.6	11.1
年齢別	65～74歳 (n=611)	11.8	6.9	3.1	14.9	12.1	52.9	3.3	8.0
	75～84歳 (n=642)	10.6	14.0	6.9	19.0	15.0	43.1	3.1	9.8
	85歳以上 (n=222)	9.0	17.6	7.7	18.5	17.6	32.4	3.2	18.0

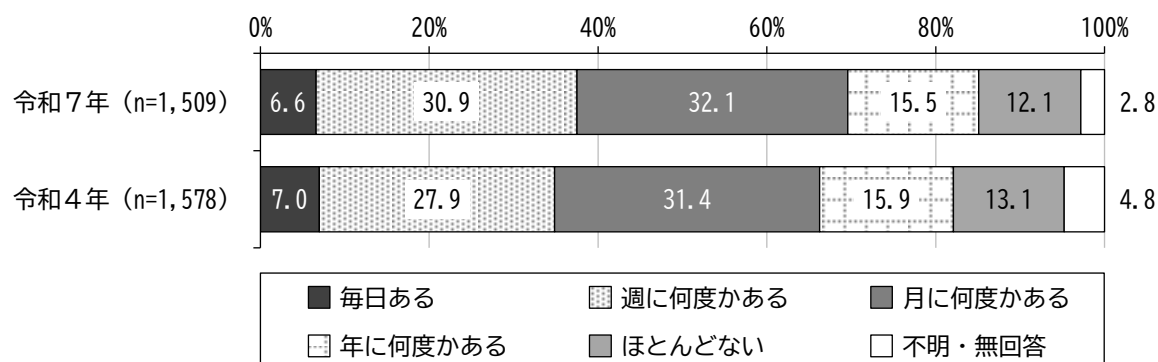
●主な内容(その他)

・職場の同僚 ・家族以外考えたことがない ・特に考えていない 等

(7) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(単数回答)

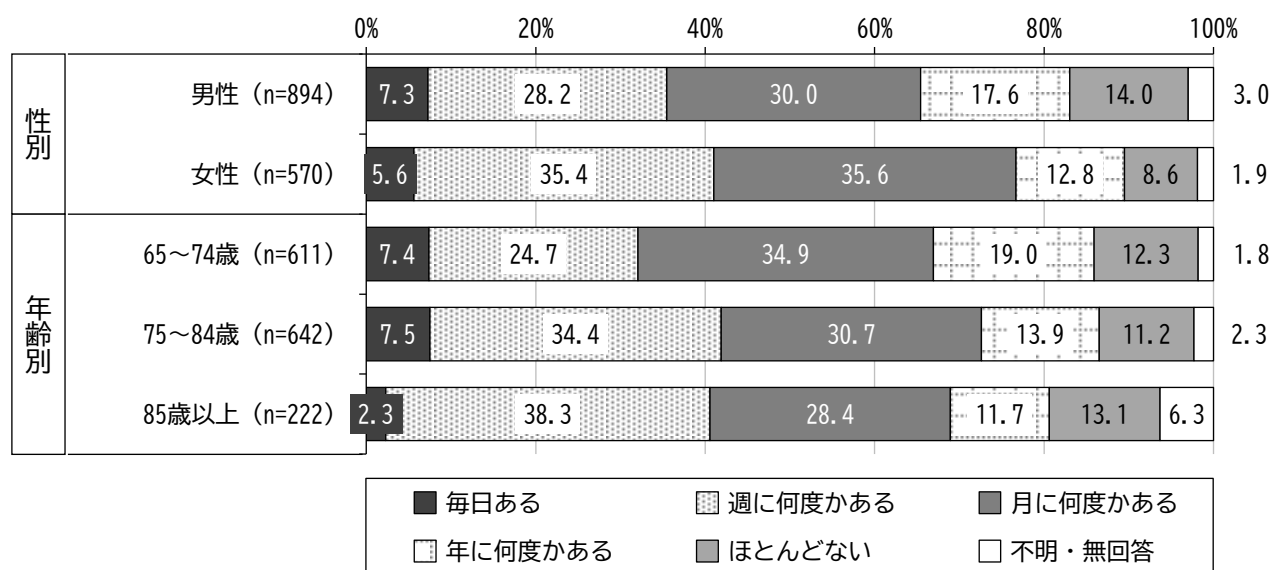
友人・知人と会う頻度については、「月に何度かある」が32.1%と最も多く、次いで「週に何度かある」が30.9%、「年に何度かある」が15.5%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



性別にみると、男女ともに「月に何度かある」が最も多くなっています。

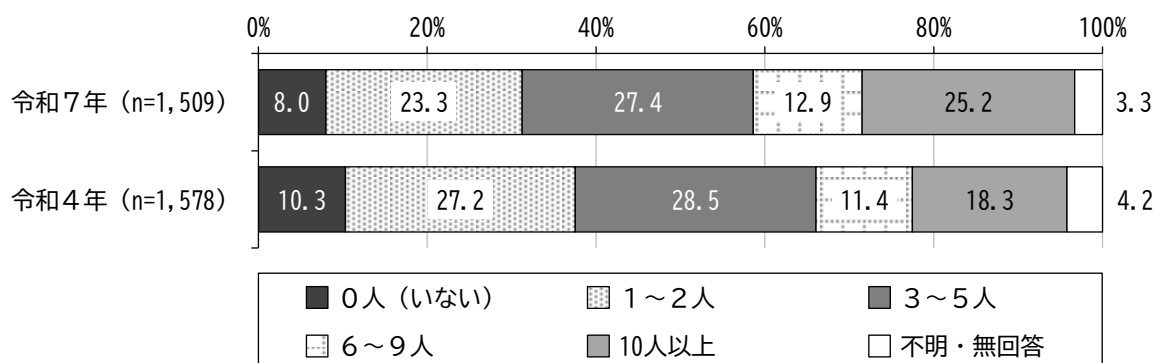
年齢別にみると、65～74歳で「月に何度かある」、それ以外の年齢で「週に何度かある」が最も多くなっています。



(8) この1カ月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。(単数回答)

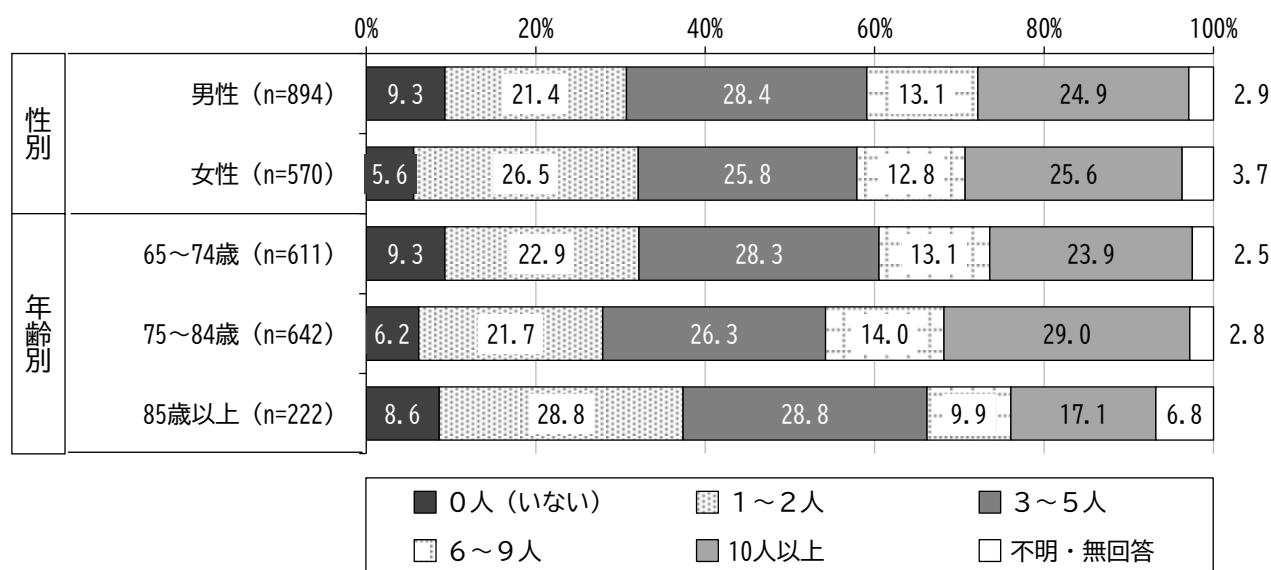
1カ月間に会った友人・知人の人数については、「3～5人」が27.4%と最も多く、次いで「10人以上」が25.2%、「1～2人」が23.3%となっています。

令和4年調査と比較すると、「10人以上」が6.9ポイント増加しています。



性別にみると、男性で「3～5人」、女性で「1～2人」が最も多くなっています。

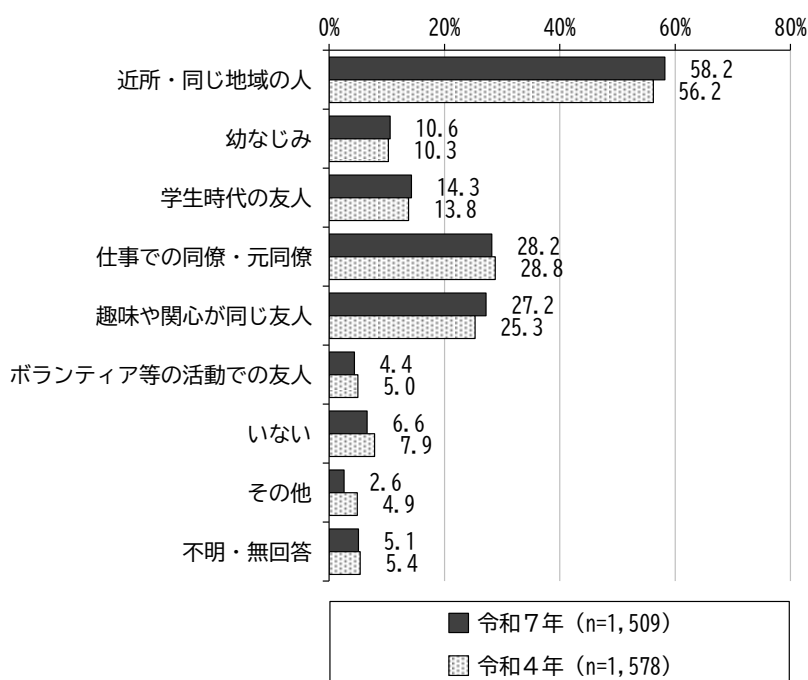
年齢別にみると、65～74歳で「3～5人」、75～84歳で「10人以上」、85歳以上で「1～2人」「3～5人」が最も多くなっています。



(9) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(複数回答)

よく会う友人・知人との関係性については、「近所・同じ地域の人」が58.2%と最も多く、次いで「仕事での同僚・元同僚」が28.2%、「趣味や関心が同じ友人」が27.2%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



性別・年齢別にみると、すべての区分で「近所・同じ地域の人」が最も多くなっています。

単位：%		近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動	いない	その他	不明・無回答
全体 (n=1,509)		58.2	10.6	14.3	28.2	27.2	4.4	6.6	2.6	5.1
性別	男性 (n=894)	57.7	11.4	12.5	27.7	27.7	3.9	8.2	2.6	4.7
	女性 (n=570)	58.8	9.5	17.4	29.1	26.7	5.1	4.0	2.6	5.3
年齢別	65～74歳 (n=611)	48.6	13.1	14.7	39.1	25.2	3.9	8.5	2.5	3.9
	75～84歳 (n=642)	64.8	9.5	15.7	24.1	30.8	5.5	5.5	2.6	4.5
	85歳以上 (n=222)	65.3	7.2	9.9	9.9	22.1	2.7	4.5	3.2	9.5

●主な内容(その他)

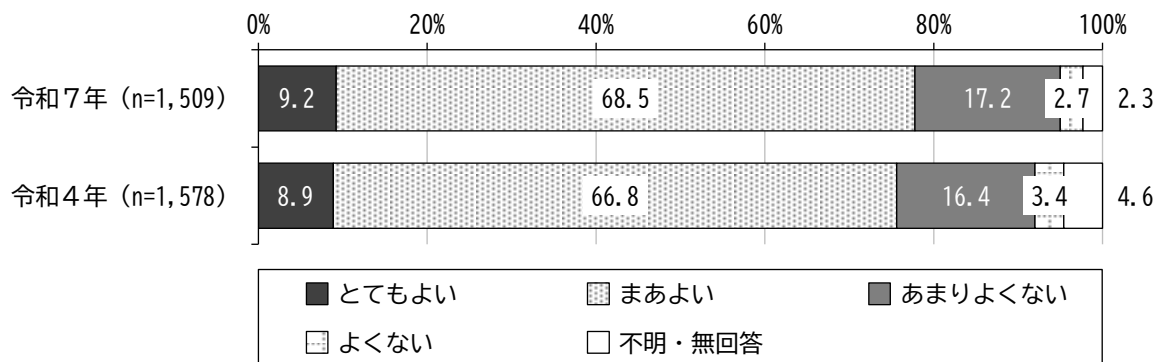
・親類 ・仕事関係 ・趣味の仲間 ・病院・医療関係 等

問9 健康について

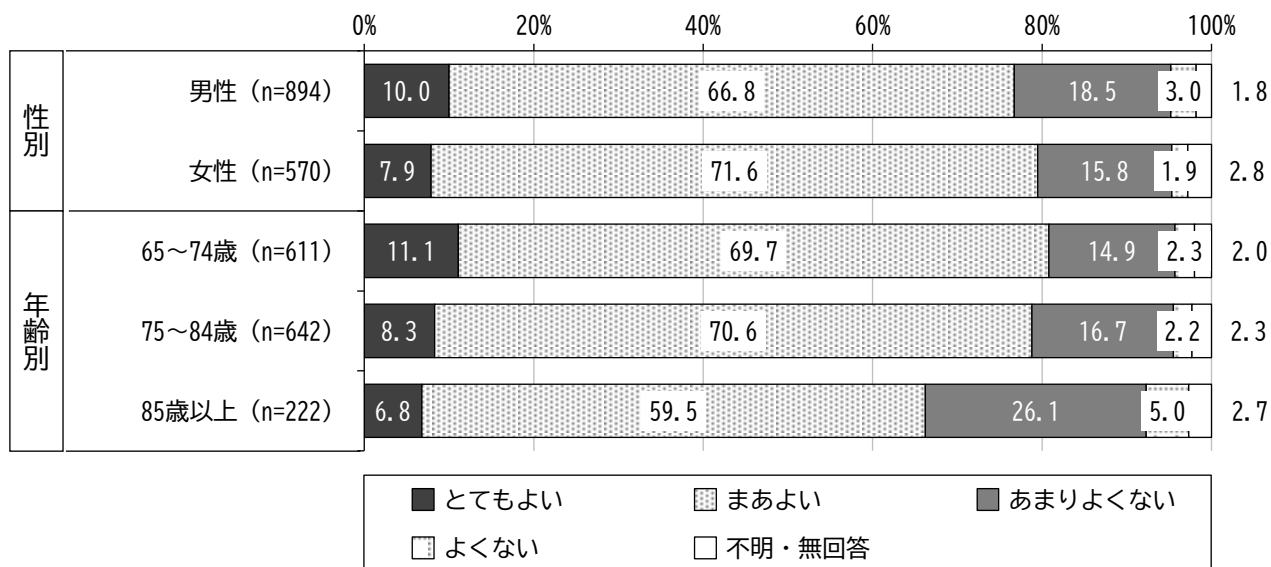
(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(単数回答)

現在の健康状態については、「まあよい」が68.5%と最も多く、次いで「あまりよくない」が17.2%、「とてもよい」が9.2%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



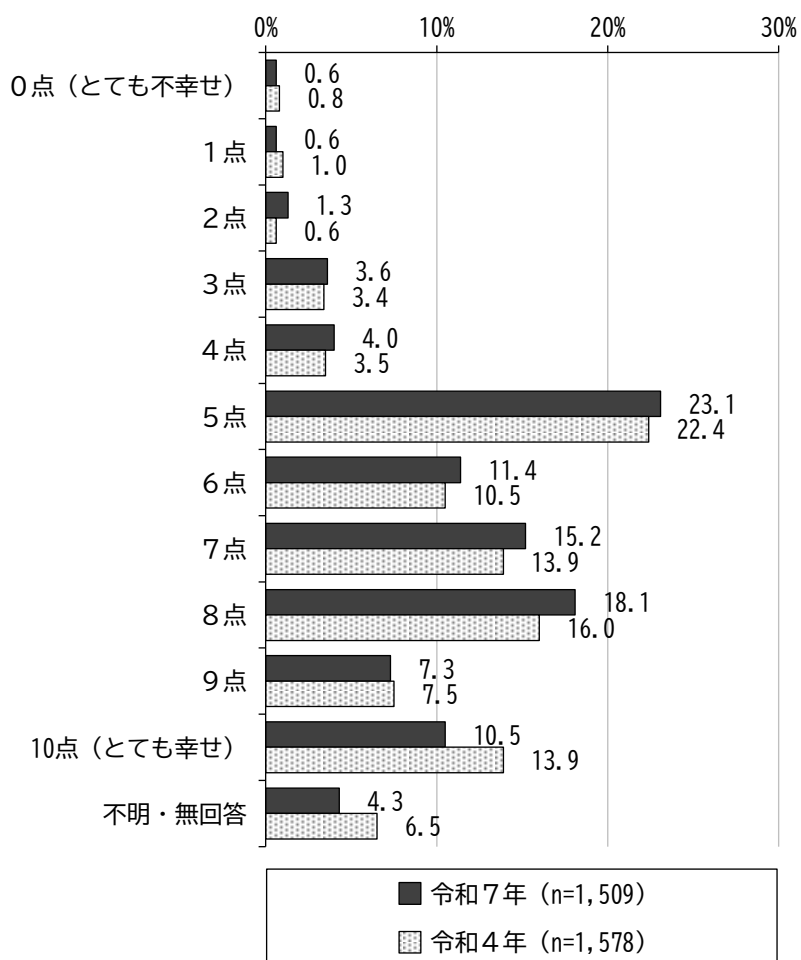
性別・年齢別にみると、すべての区分で「まあよい」が最も多くなっています。



(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。(単数回答)

現在の幸福度については、「5点」が23.1%と最も多く、次いで「8点」が18.1%、「7点」が15.2%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



	令和7年	令和4年
回答者数	1,444 件	1,476 件
点数の合計	9,592 点	9,994 点
平均点	6.64 点	6.77 点

性別にみると、男性で「5点」、女性で「8点」が最も多くなっています。

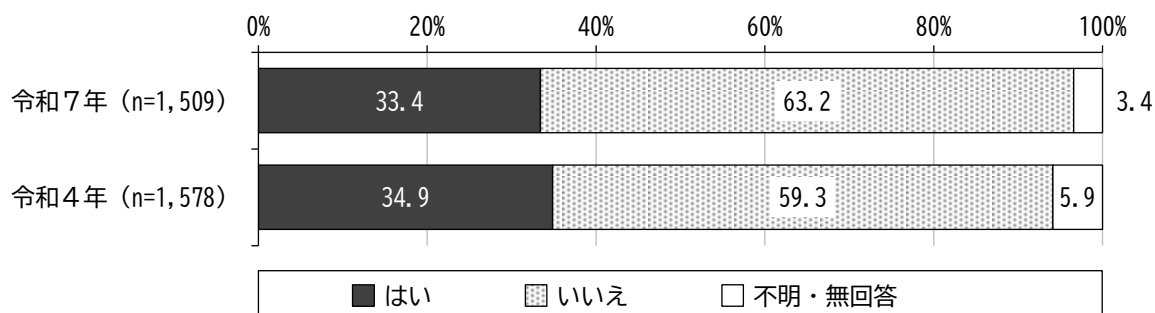
年齢別にみると、すべての年齢で「5点」が最も多くなっています。

単位：％		0点 (とても不幸せ)	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点 (とても幸せ)	不明・無回答
全体 (n=1,509)		0.6	0.6	1.3	3.6	4.0	23.1	11.4	15.2	18.1	7.3	10.5	4.3
性別	男性 (n=894)	0.7	0.9	1.3	3.1	4.1	25.5	11.9	15.0	16.3	7.6	10.1	3.5
	女性 (n=570)	0.4	0.2	1.4	3.7	3.9	19.5	11.1	15.8	20.5	7.0	11.6	5.1
年齢別	65～74歳 (n=611)	0.8	0.7	1.3	2.3	5.2	24.4	12.1	17.0	17.8	7.5	8.7	2.1
	75～84歳 (n=642)	0.5	0.8	1.2	3.6	3.7	21.7	11.5	14.5	18.1	6.9	12.5	5.1
	85歳以上 (n=222)	0.5	0.0	1.8	5.9	1.4	23.9	10.4	13.1	17.6	8.1	10.4	7.2

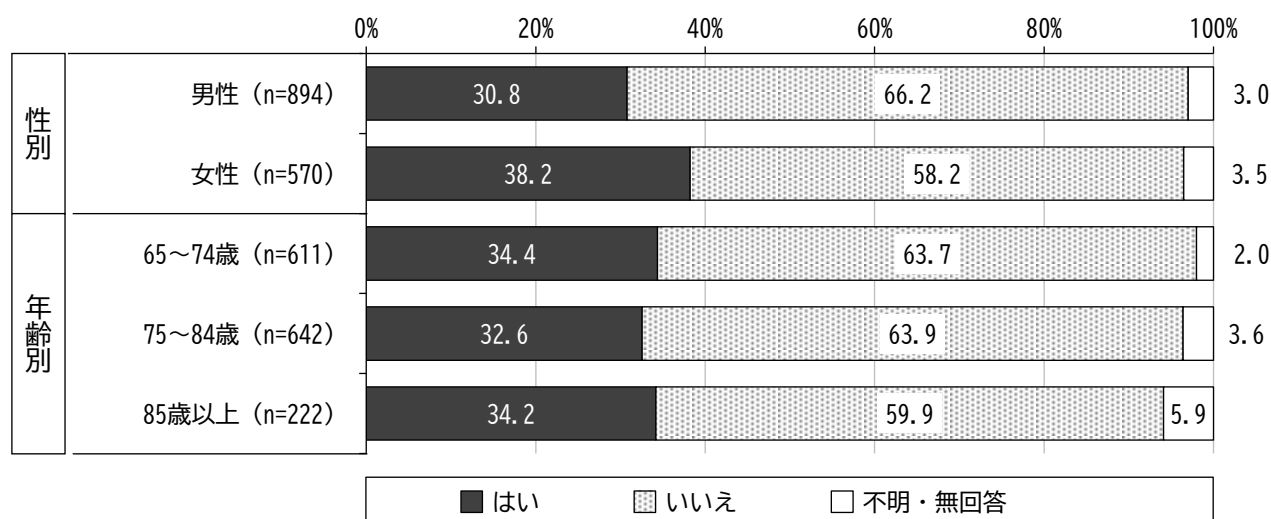
(3) この1カ月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(単数回答)

この1カ月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについては、「はい」が33.4%、「いいえ」が63.2%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



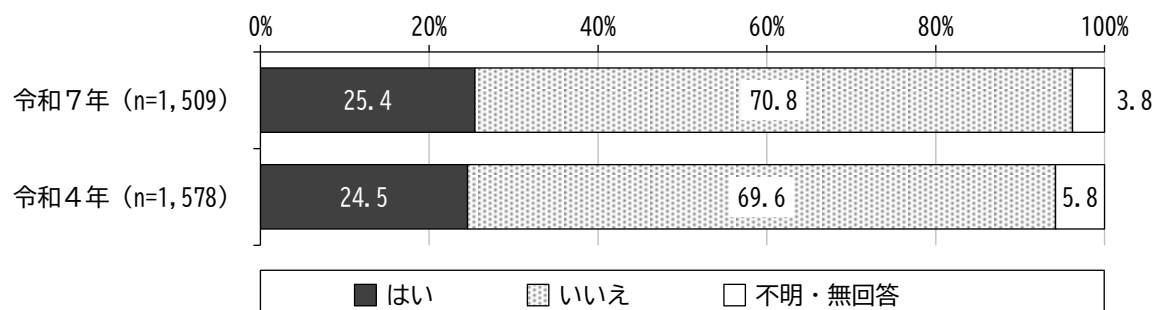
性別・年齢別にみると、すべての区分で「いいえ」が多くなっています。



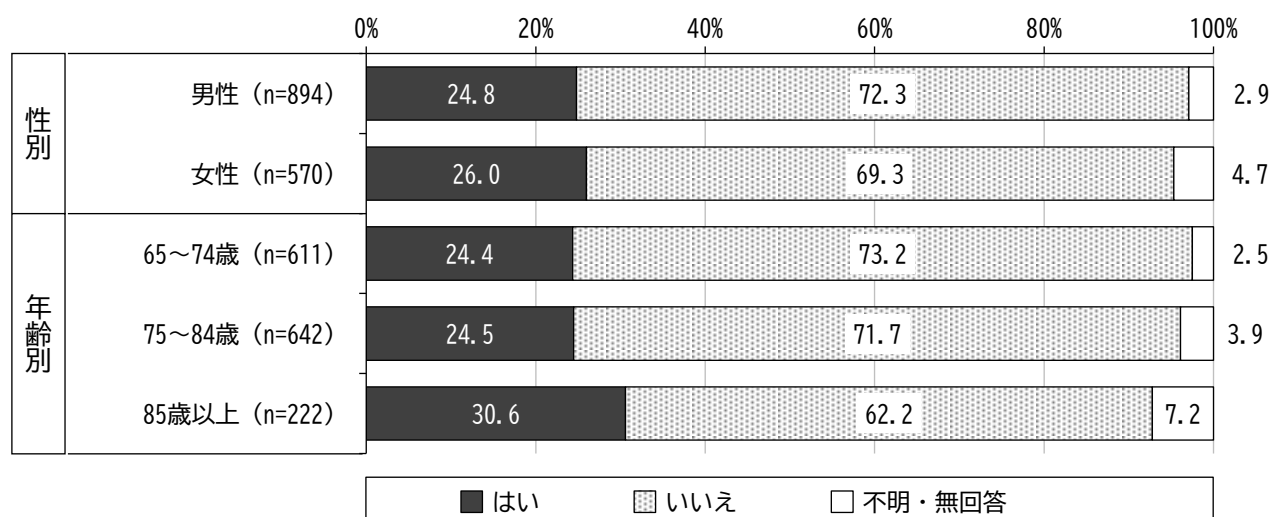
(4) この1カ月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(単数回答)

この1カ月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかについては、「はい」が25.4%、「いいえ」が70.8%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



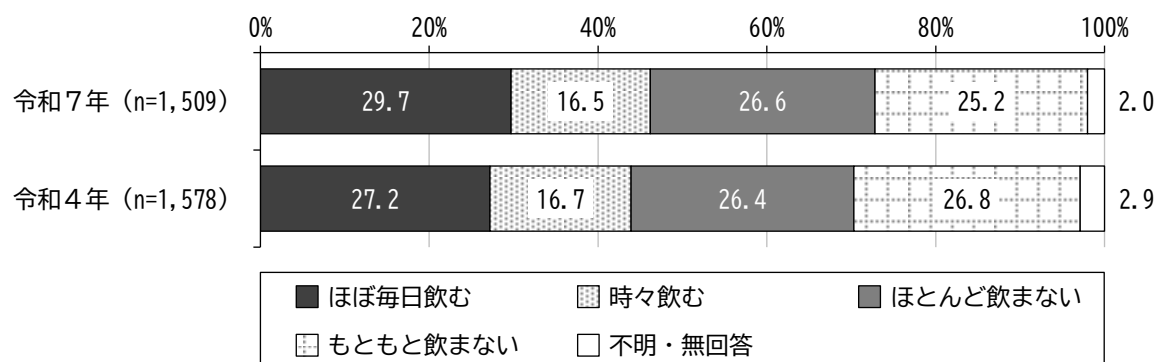
性別・年齢別にみると、すべての区分で「いいえ」が多くなっています。



(5) お酒は飲みますか。(単数回答)

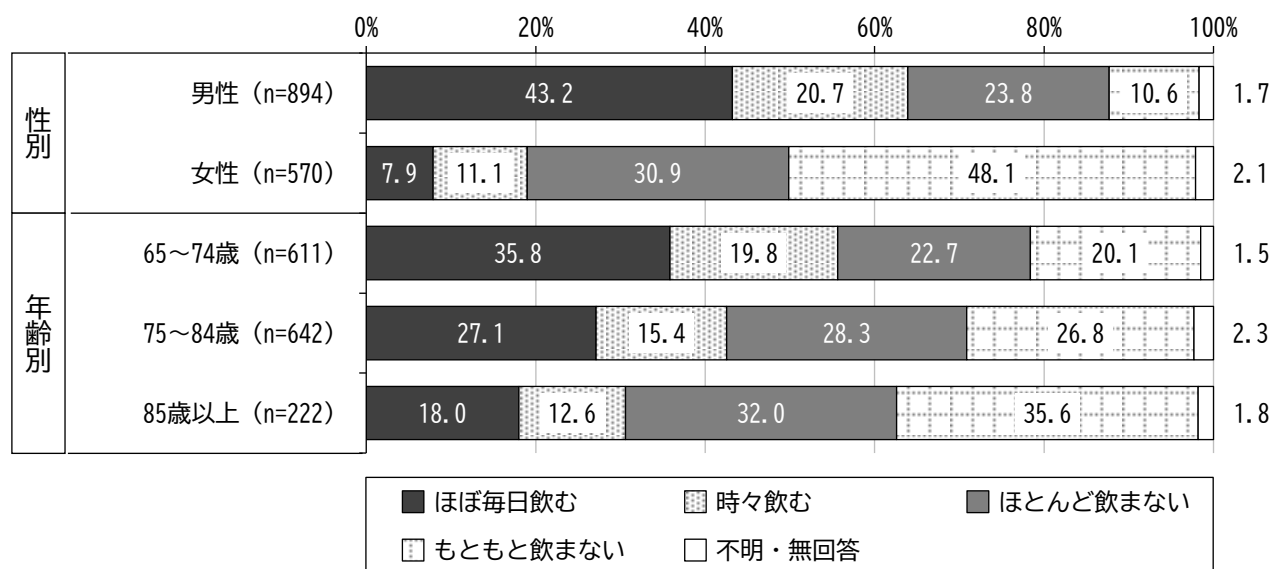
飲酒については、「ほぼ毎日飲む」が29.7%と最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が26.6%、「もともと飲まない」が25.2%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



性別にみると、男性で「ほぼ毎日飲む」、女性で「もともと飲まない」が最も多くなっています。

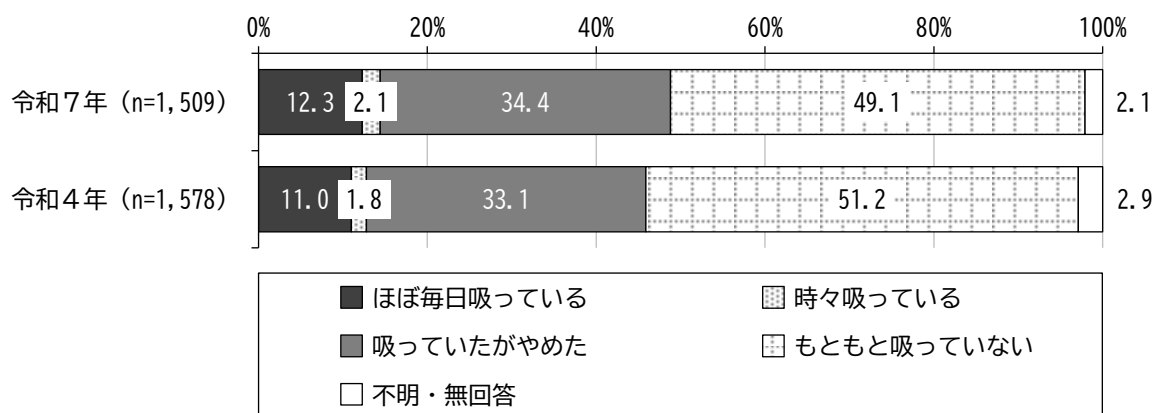
年齢別にみると、65～74歳で「ほぼ毎日飲む」、75～84歳で「ほとんど飲まない」、85歳以上で「もともと飲まない」が最も多くなっています。



(6) タバコは吸っていますか。(単数回答)

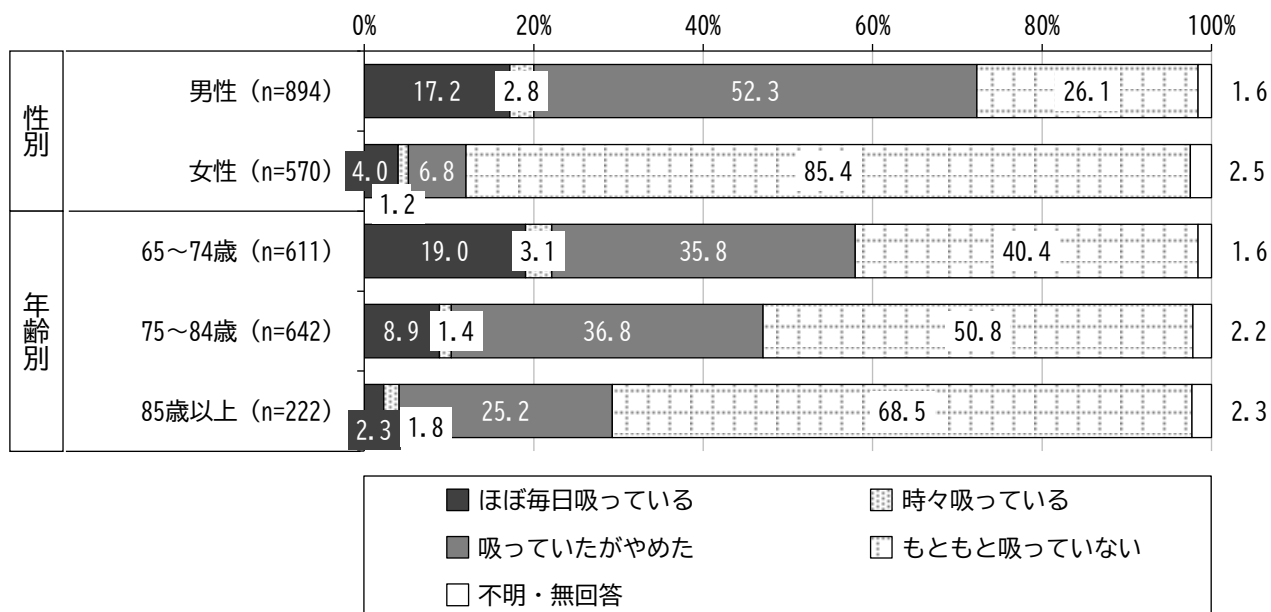
喫煙については、「もともと吸っていない」が49.1%と最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が34.4%、「ほぼ毎日吸っている」が12.3%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



性別にみると、男性で「吸っていたがやめた」、女性で「もともと吸っていない」が最も多くなっています。

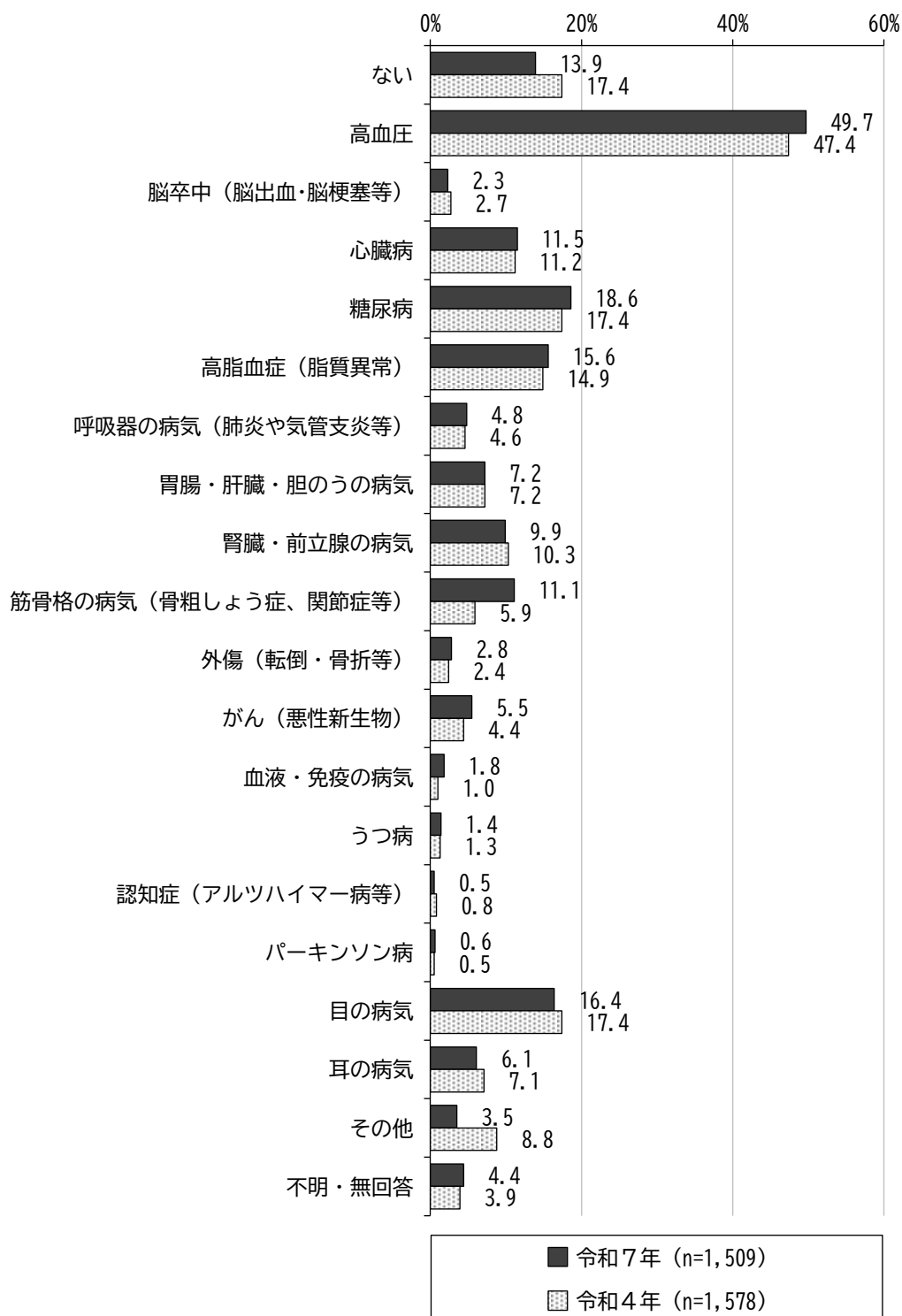
年齢別にみると、すべての年齢で「もともと吸っていない」が最も多くなっています。



（７）現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（複数回答）

現在治療中、または後遺症のある病気については、「高血圧」が49.7%と最も多く、次いで「糖尿病」が18.6%、「目の病気」が16.4%となっています。

令和4年調査と比較すると、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が5.2ポイント増加しています。



性別・年齢別にみると、すべての区分で「高血圧」が最も多くなっています。

単位：％		ない	高血圧	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	高脂血症（脂質異常）	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）
全体（n=1,509）		13.9	49.7	2.3	11.5	18.6	15.6	4.8	7.2	9.9	11.1
性別	男性（n=894）	13.8	51.5	2.7	14.3	21.6	11.2	5.9	7.4	14.9	3.4
	女性（n=570）	14.6	47.7	1.4	7.7	13.3	23.7	2.8	7.0	1.9	23.2
年齢別	65～74歳（n=611）	18.5	44.7	1.5	7.9	17.8	17.7	4.7	6.1	8.5	8.7
	75～84歳（n=642）	11.4	52.8	3.3	13.6	19.2	15.6	4.8	7.5	10.7	11.5
	85歳以上（n=222）	9.0	55.4	1.8	17.1	18.5	12.2	4.5	9.5	11.3	15.8

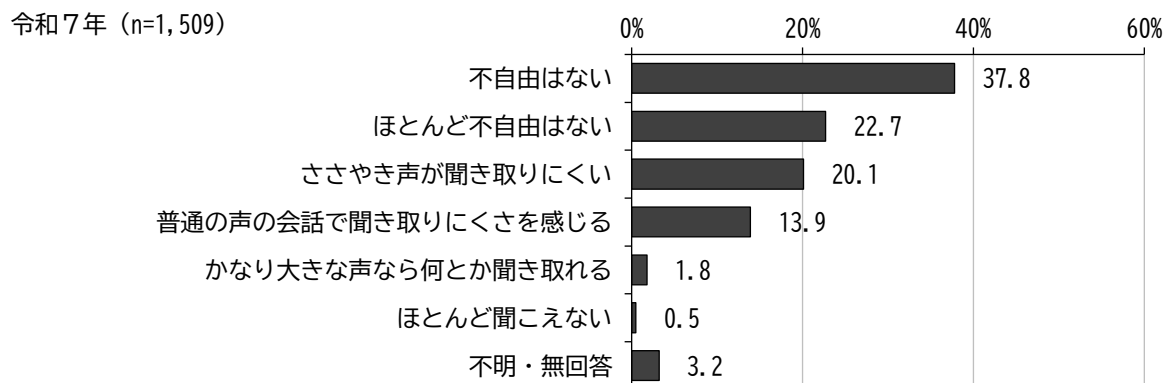
単位：％		折外傷（転倒・骨等）	がん（悪性新生物）	血液・免疫の病気	うつ病	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	不明・無回答
全体（n=1,509）		2.8	5.5	1.8	1.4	0.5	0.6	16.4	6.1	3.5	4.4
性別	男性（n=894）	2.6	6.4	2.2	0.9	0.6	0.8	14.4	5.8	3.8	3.6
	女性（n=570）	3.0	4.2	1.2	2.3	0.4	0.2	18.8	6.3	3.3	5.4
年齢別	65～74歳（n=611）	2.1	4.3	1.8	1.3	0.2	0.3	11.1	4.7	5.7	4.4
	75～84歳（n=642）	2.6	7.3	1.9	1.9	0.3	0.6	18.7	6.5	2.0	4.4
	85歳以上（n=222）	5.0	4.1	1.8	0.5	1.8	0.9	23.4	9.0	2.3	3.6

●主な内容(その他)

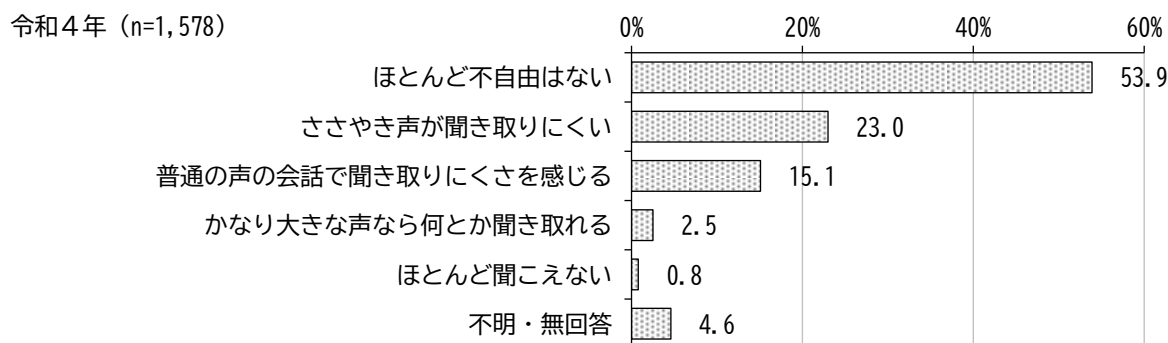
・痛風 ・甲状腺 ・腰痛 ・歯科 ・リウマチ ・前立腺肥大症 等

(8) 聞こえ方について伺います。(単数回答)

聞こえ方については、「不自由はない」が 37.8%と最も多く、次いで「ほとんど不自由はない」が 22.7%、「ささやき声が聞き取りにくい」が 20.1%となっています。



◆ 参考: 令和4年調査



性別にみると、男女ともに「不自由はない」が最も多くなっています。

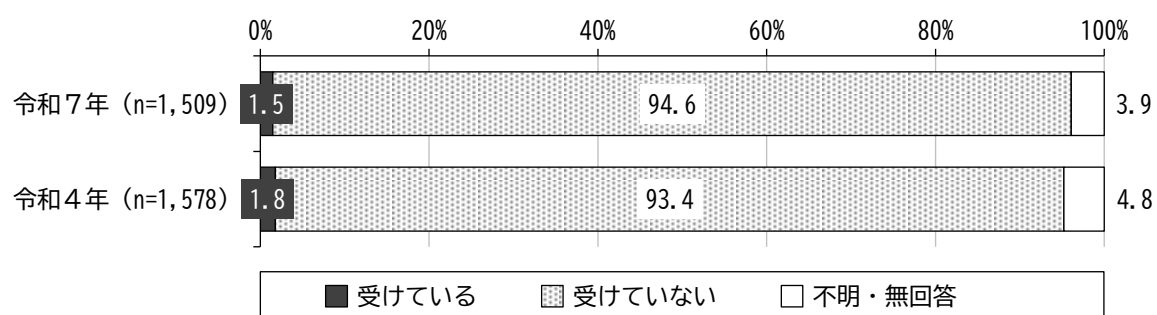
年齢別にみると、85歳以上で「普通の声の会話で聞き取りにくさを感じる」、それ以外の年齢で「不自由はない」が最も多くなっています。

単位: %		不自由はない	ほとんど不自由はない	ささやき声が聞き取りにくい	普通の声の会話で聞き取りにくさを感じる	かなり大きな声なら何とか聞き取れる	ほとんど聞こえない	不明・無回答
全体 (n=1,509)		37.8	22.7	20.1	13.9	1.8	0.5	3.2
性別	男性 (n=894)	35.8	24.6	20.1	14.4	1.5	0.6	3.0
	女性 (n=570)	40.9	19.6	20.4	13.2	2.5	0.4	3.2
年齢別	65～74歳 (n=611)	46.8	24.5	17.3	8.2	0.3	0.2	2.6
	75～84歳 (n=642)	35.2	23.4	20.9	14.6	1.9	0.5	3.6
	85歳以上 (n=222)	18.9	16.2	26.6	27.9	5.9	1.4	3.2

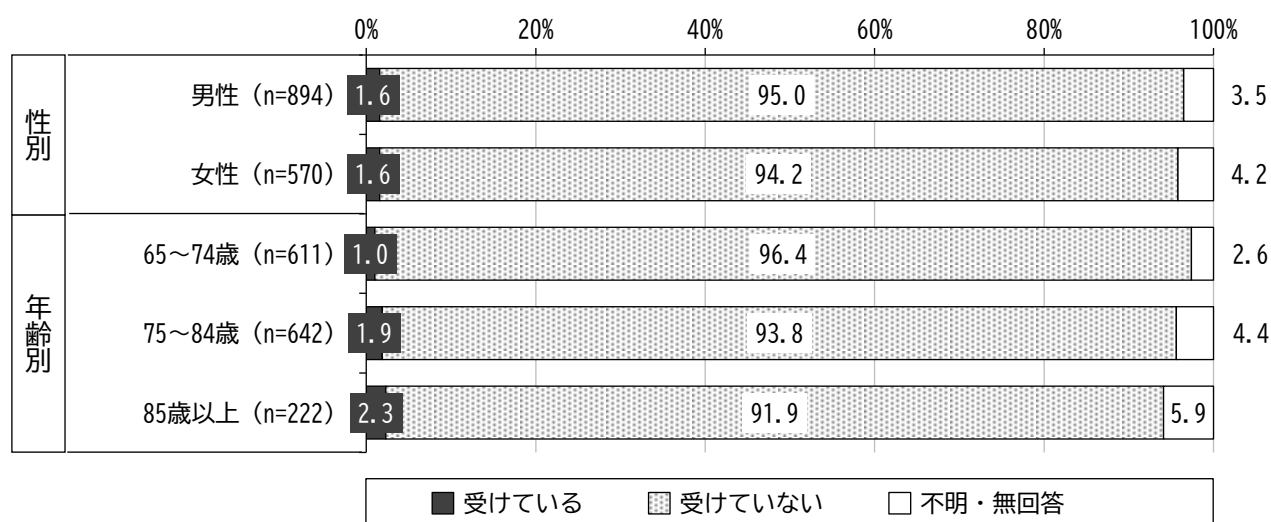
(9) 聴覚障害による障害者手帳の交付を受けていますか。(単数回答)

聴覚障害による障害者手帳の交付の有無については、「受けている」が 1.5%、「受けていない」が 94.6%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



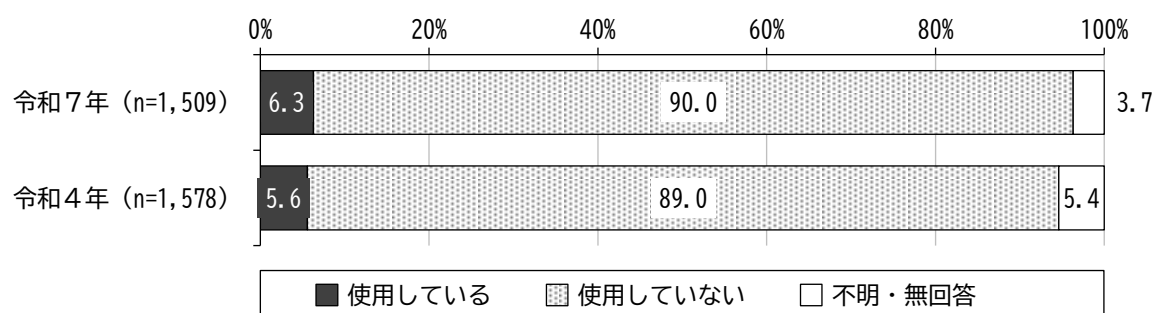
性別・年齢別にみると、すべての区分で「受けていない」が多くなっています。



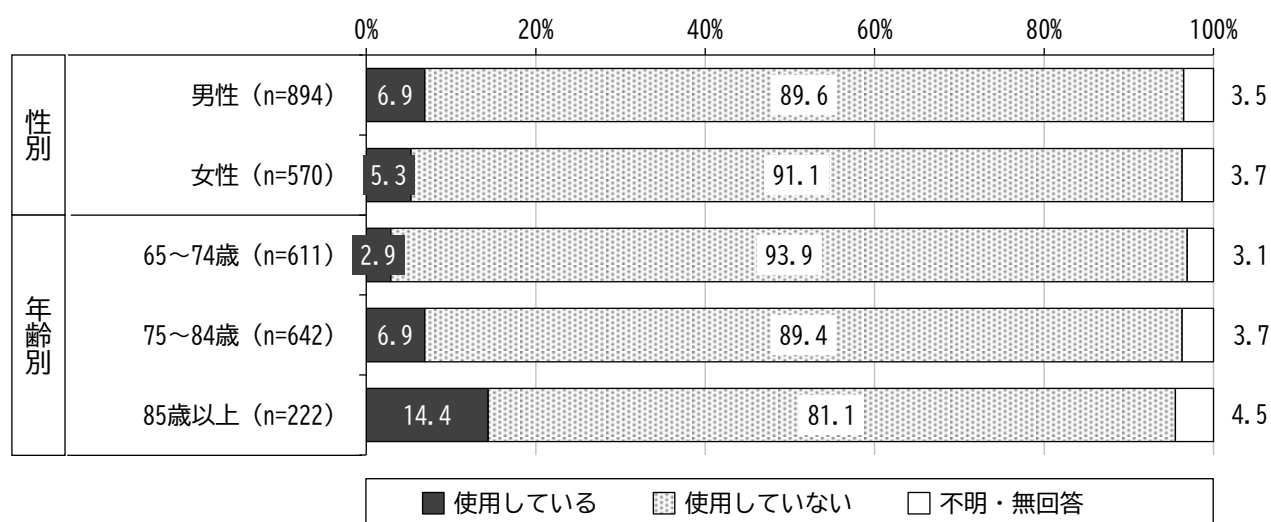
(10) 補聴器を使用していますか。(単数回答)

補聴器の使用の有無については、「使用している」が 6.3%、「使用していない」が 90.0%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



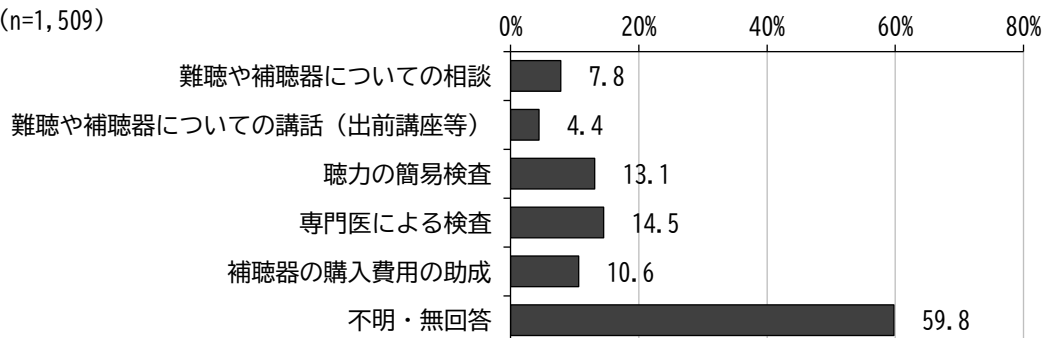
性別・年齢別にみると、すべての区分で「使用していない」が多くなっています。



(11) 難聴や補聴器について、利用したいものがありますか。(複数回答)

難聴や補聴器関係で利用したいものについては、「専門医による検査」が14.5%と最も多く、次いで「聴力の簡易検査」が13.1%、「補聴器の購入費用の助成」が10.6%となっています。

令和7年 (n=1,509)



性別・年齢別にみると、すべての区分で「専門医による検査」が最も多くなっています。

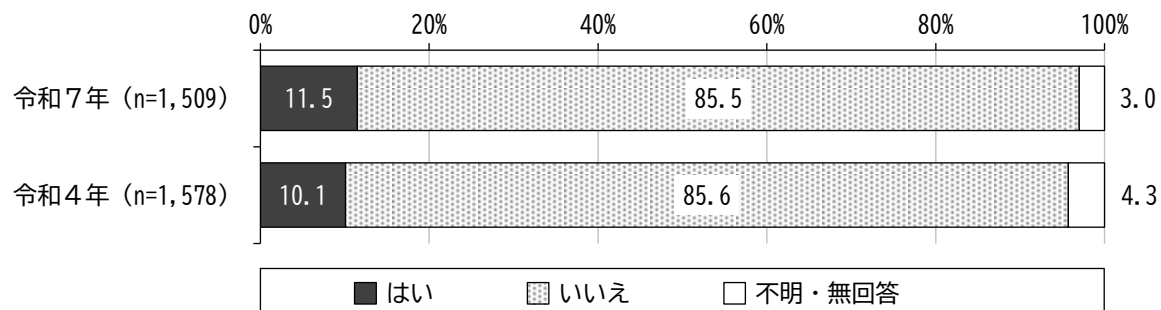
単位：%		相談 難聴 や補 聴器 につ いて の	講話 難聴 や補 聴器 につ いて の (出前講座等)	聴力 の簡 易検 査	専門 医に よる 検 査	補聴 器の 購入 費用 の助 成	不明 ・無 回答
全体 (n=1,509)		7.8	4.4	13.1	14.5	10.6	59.8
性別	男性 (n=894)	9.2	4.4	13.5	13.6	12.0	57.8
	女性 (n=570)	6.0	4.6	12.6	16.0	8.6	61.9
年齢別	65～74歳 (n=611)	8.0	4.6	14.2	15.5	10.3	56.5
	75～84歳 (n=642)	7.6	3.4	12.6	12.9	10.4	62.9
	85歳以上 (n=222)	8.1	6.8	11.7	16.2	11.7	58.6

問 10 認知症について

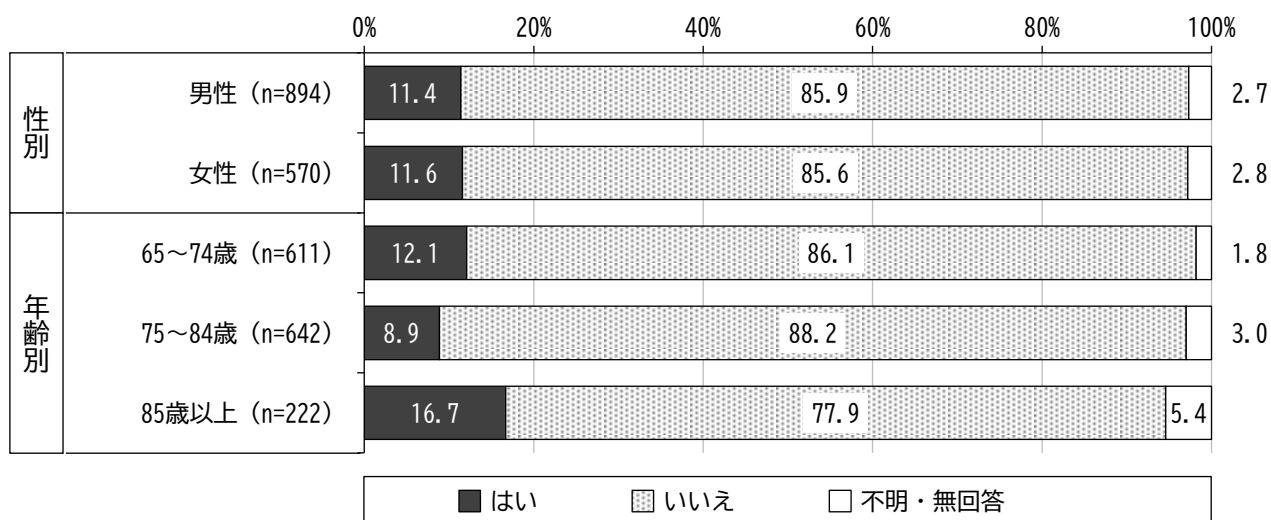
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がありますか。(単数回答)

自身や家族に認知症の症状があるかについては、「はい」が11.5%、「いいえ」が85.5%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



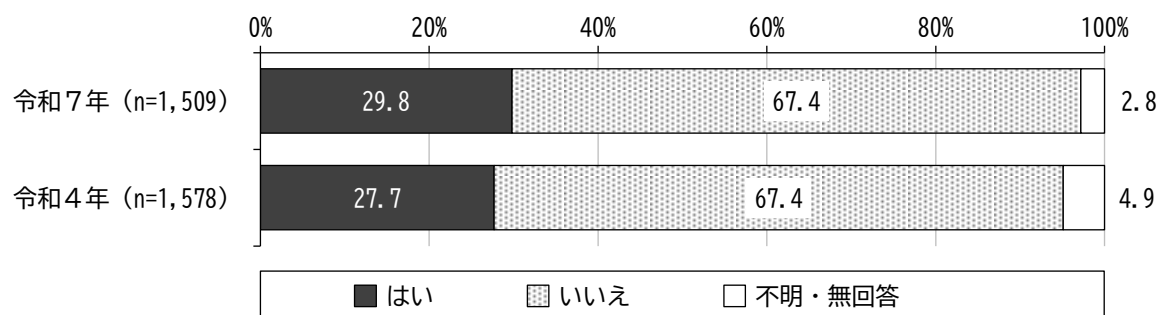
性別・年齢別にみると、すべての区分で「いいえ」が多くなっています。



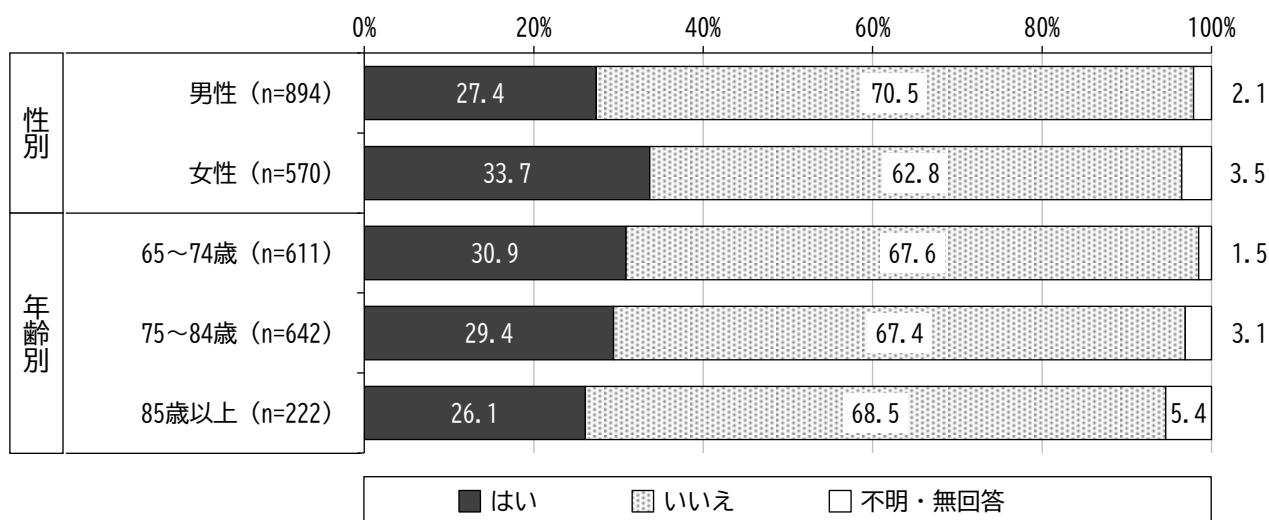
(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(単数回答)

認知症に関する相談窓口を知っているかについては、「はい」が29.8%、「いいえ」が67.4%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。

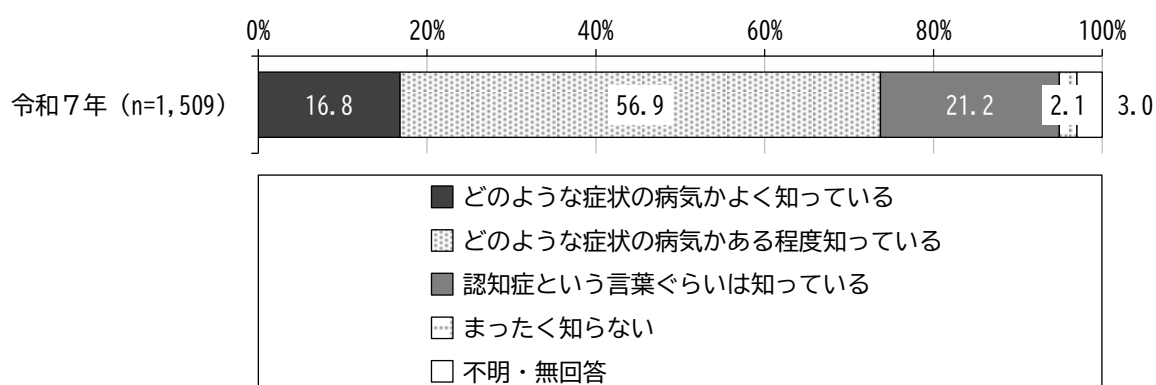


性別・年齢別にみると、すべての区分で「いいえ」が多くなっています。

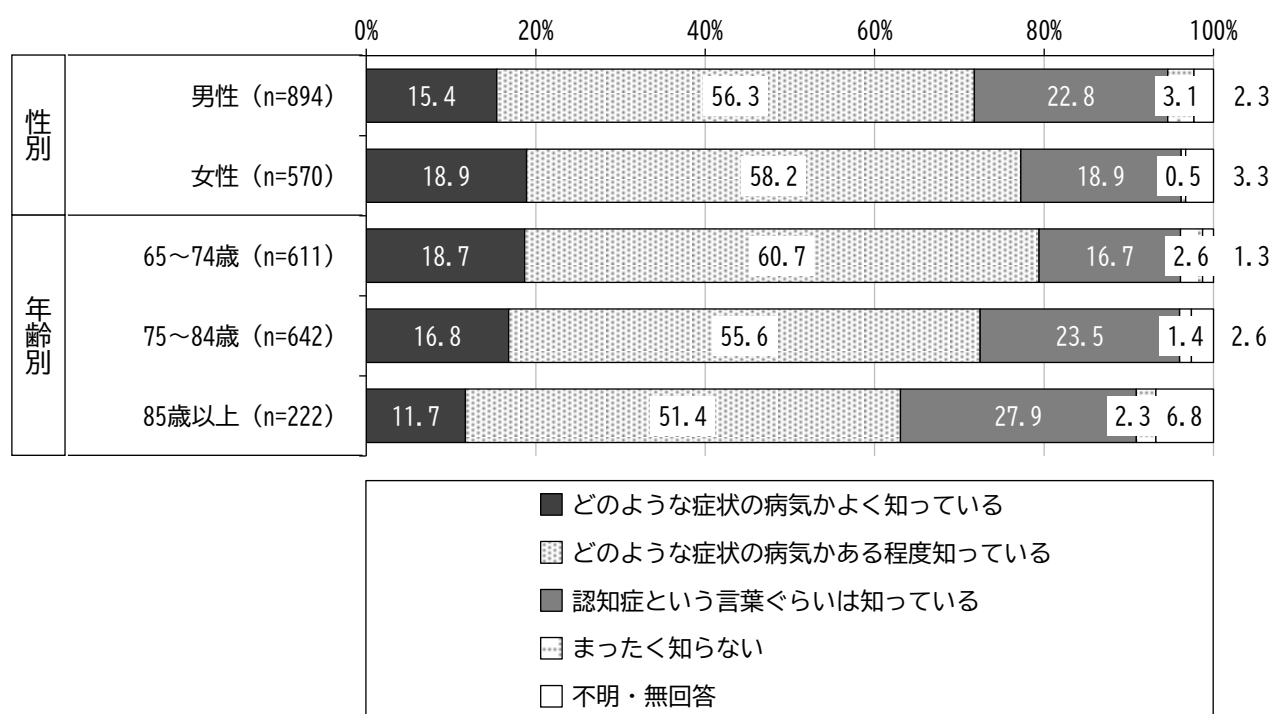


(3) あなたは、認知症という病気について、どの程度ご存知ですか。(単数回答)

認知症の認知状況については、「どのような症状の病気かある程度知っている」が56.9%と最も多く、次いで「認知症という言葉ぐらいいは知っている」が21.2%、「どのような症状の病気かよく知っている」が16.8%となっています。

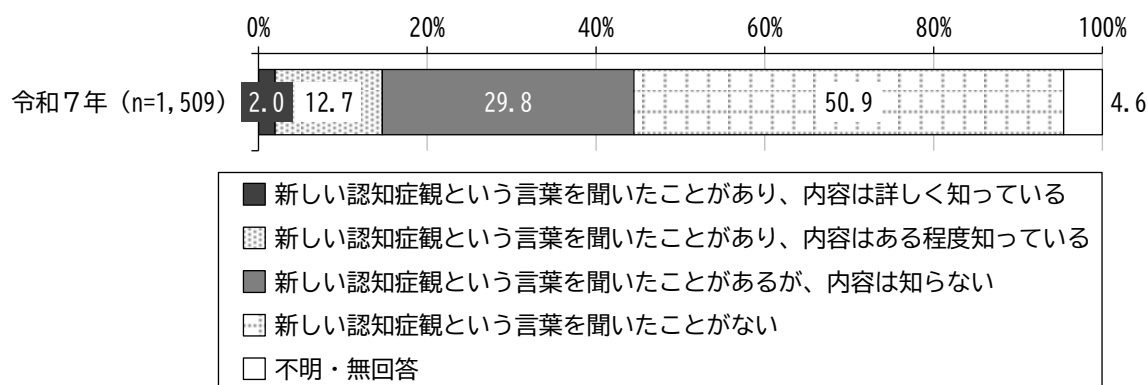


性別・年齢別にみると、すべての区分で「どのような症状の病気かある程度知っている」が最も多くなっています。

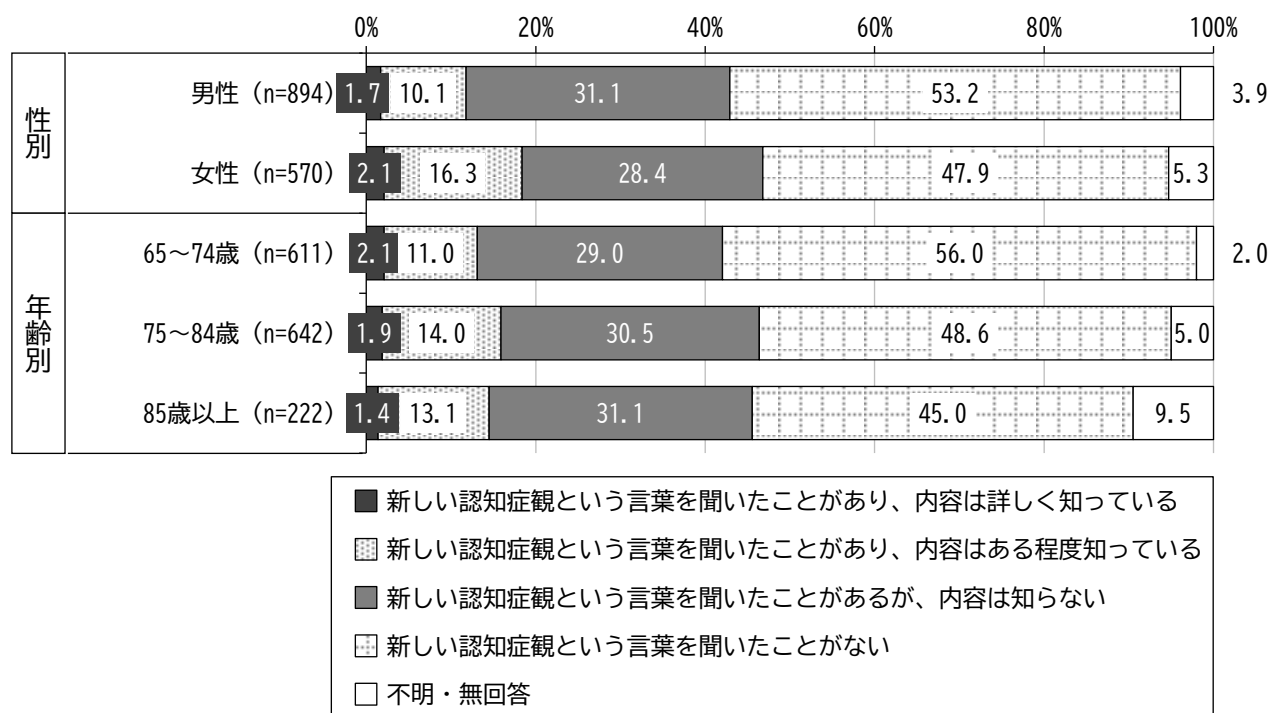


(4) 令和6年12月に国の「認知症施策推進基本計画」において示された「新しい認知症観」という言葉を聞いたことがありますか、また、その内容について知っていますか。
(単数回答)

「新しい認知症観」の認知状況については、「新しい認知症観という言葉を見たことがない」が50.9%と最も多く、次いで「新しい認知症観という言葉を見たことがあるが、内容は知らない」が29.8%、「新しい認知症観という言葉を見たことがあり、内容はある程度知っている」が12.7%となっています。

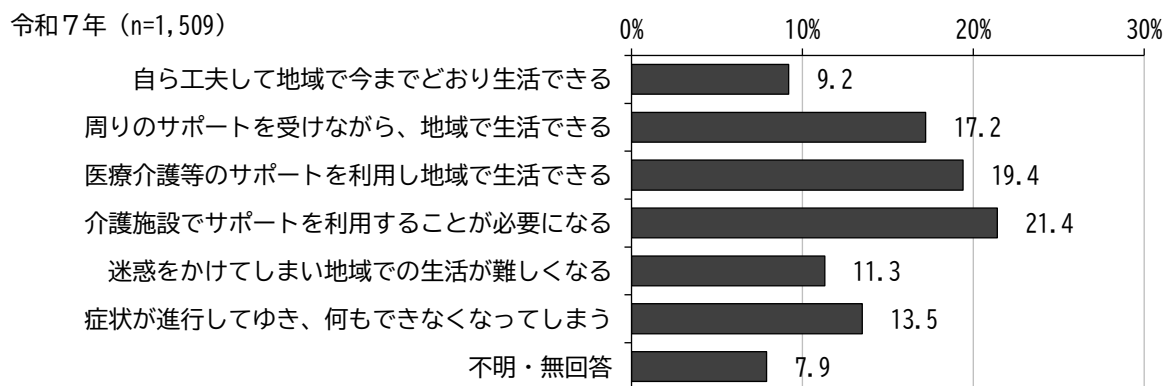


性別・年齢別にみると、すべての区分で「新しい認知症観という言葉を見たことがない」が最も多くなっています。



(5) あなたは認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。あなたが思うイメージに最も近いものをお答えください。(単数回答)

認知症のイメージについては、「介護施設でサポートを利用することが必要になる」が21.4%と最も多く、次いで「医療介護等のサポートを利用し地域で生活できる」が19.4%、「周りのサポートを受けながら、地域で生活できる」が17.2%となっています。



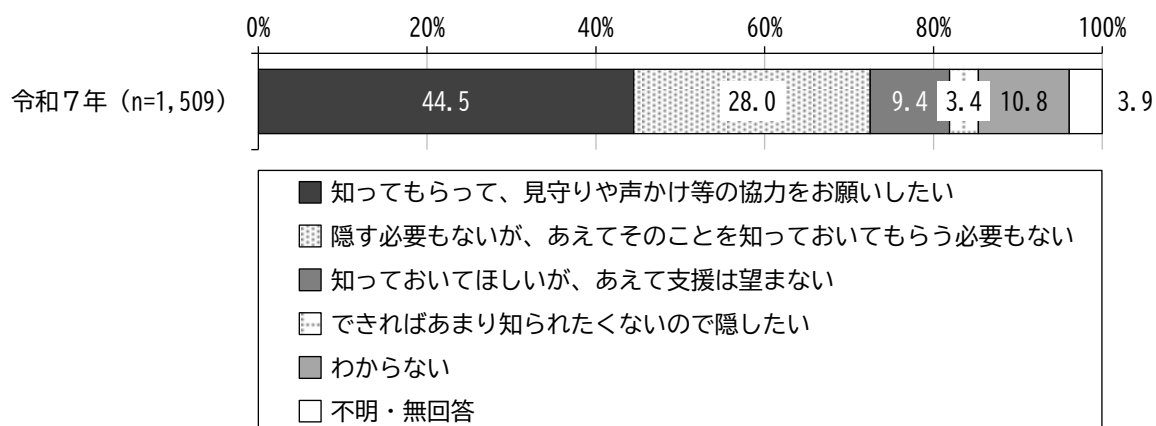
性別にみると、男女ともに「介護施設でサポートを利用することが必要になる」が最も多くなっています。

年齢別にみると、85歳以上で「医療介護等のサポートを利用し地域で生活できる」、それ以外の年齢で「介護施設でサポートを利用することが必要になる」が最も多くなっています。

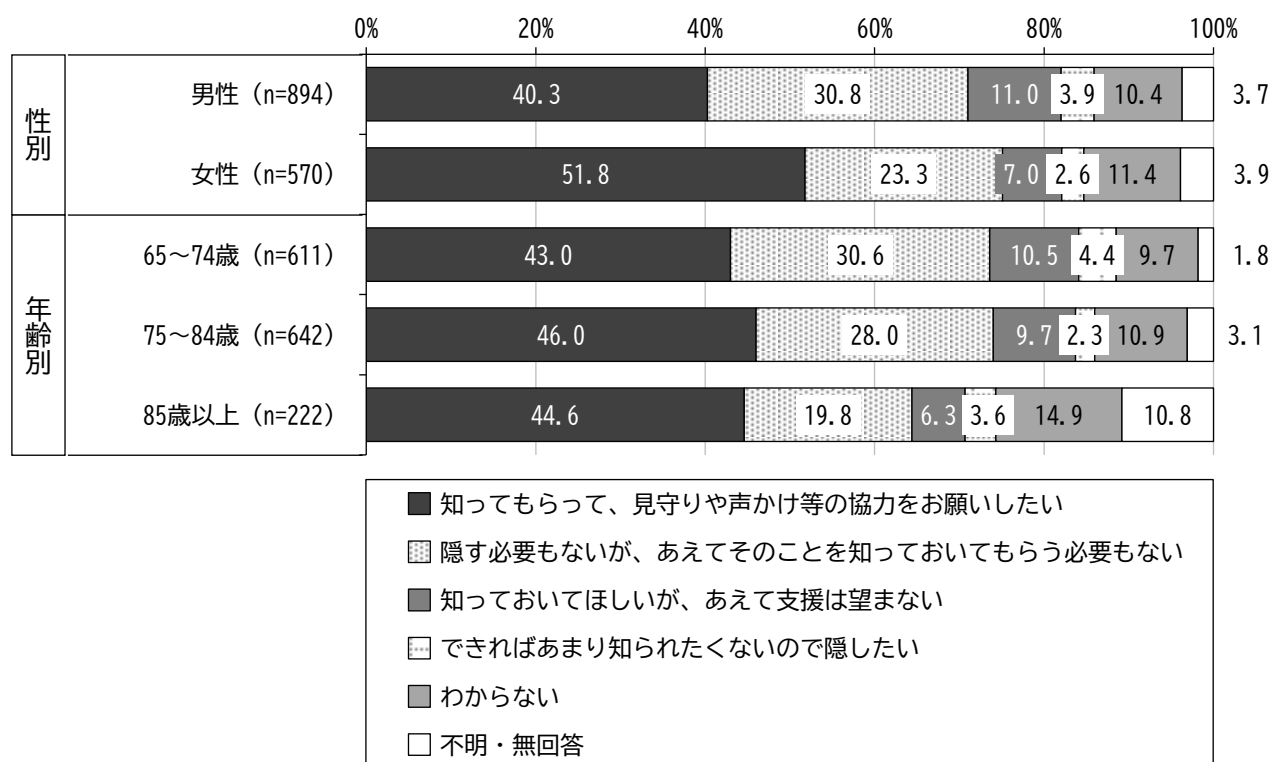
単位：%		で自ら お工夫 して地 域で今 ま	が周り の地域 ポ一 スト を 受 け る な	利 用 し 地 域 等 の サ ポ ー ト を	用 介 護 施 こ 設 と で サ ポ ー ト に ト な る 利	で迷 惑を 活か け 難 し く し ま い る 地 域	も症 状が 進 行 な つ て ゆ き 、 ま う 何	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=1,509)		9.2	17.2	19.4	21.4	11.3	13.5	7.9
性別	男性 (n=894)	10.4	15.3	20.4	21.6	12.0	13.5	6.8
	女性 (n=570)	7.2	20.5	18.4	21.1	10.5	13.0	9.3
年齢別	65～74歳 (n=611)	6.7	15.9	19.3	24.7	12.3	16.5	4.6
	75～84歳 (n=642)	10.4	19.3	20.1	20.4	11.8	9.5	8.4
	85歳以上 (n=222)	11.3	15.8	18.9	14.4	8.1	16.7	14.9

(6) もし、あなたやあなたの家族が認知症になったら、そのことを近所の人に知ってもらおうと思いますか。(単数回答)

自身や家族が認知症になった場合、近所の人に知ってもらおうと思うかについては、「知ってもらって、見守りや声かけ等の協力をお願いしたい」が44.5%と最も多く、次いで「隠す必要もないが、あえてそのことを知っておいてもらう必要もない」が28.0%、「わからない」が10.8%となっています。

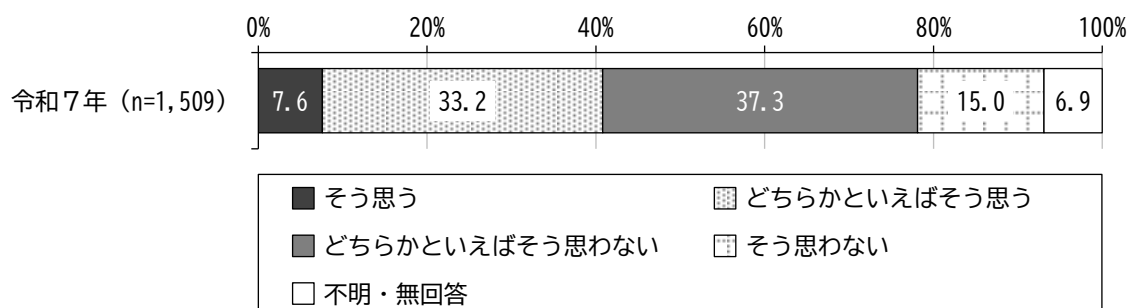


性別・年齢別にみると、すべての区分で「知ってもらって、見守りや声かけ等の協力をお願いしたい」が最も多くなっています。



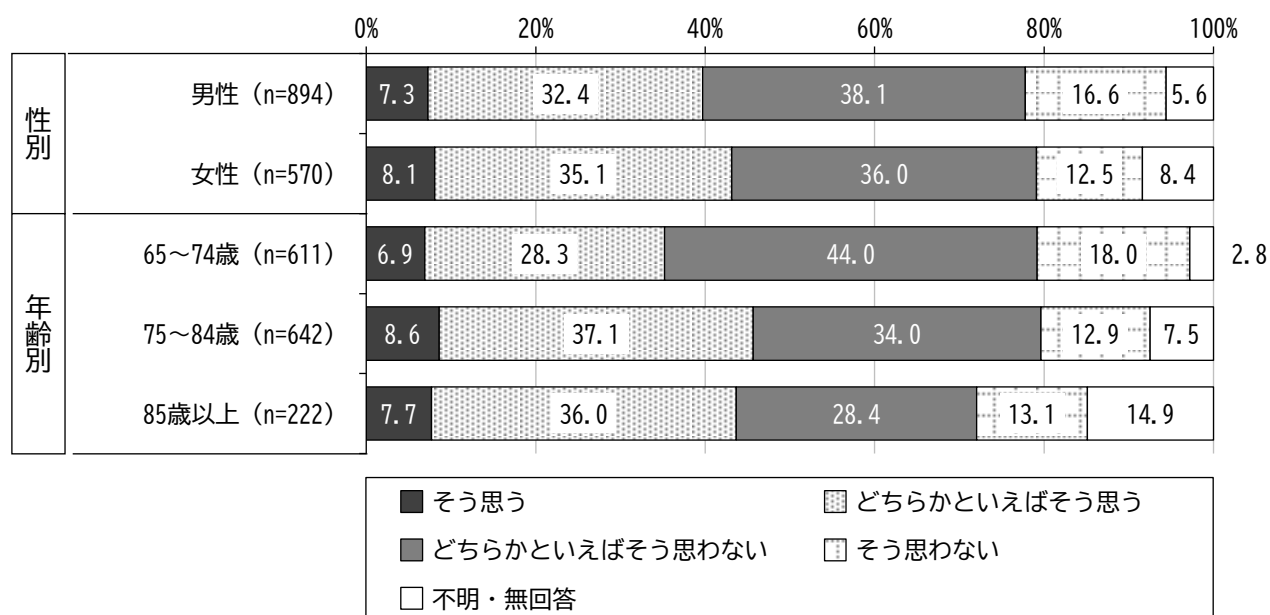
(7) 地域生活の様々な場面において、認知症の人の意思が尊重され、本人が望む生活が継続できていると思いますか。(単数回答)

地域生活の様々な場面において、認知症の人の意思が尊重され、本人が望む生活が継続できていると思うかについては、「どちらかといえばそう思わない」が37.3%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が33.2%、「そう思わない」が15.0%となっています。



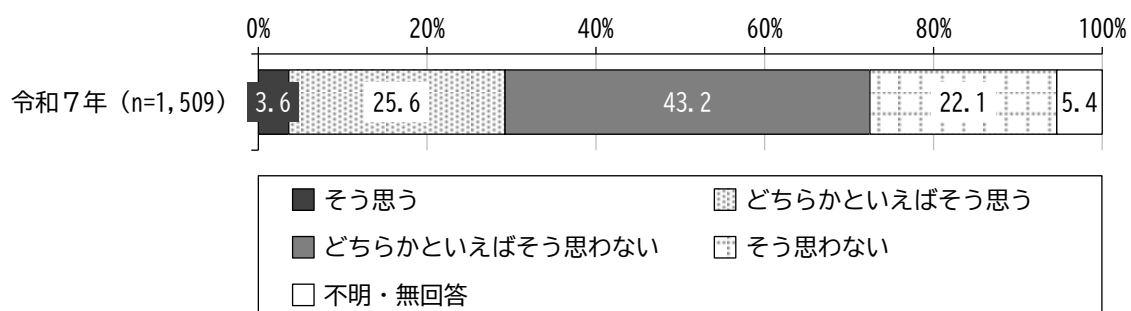
性別にみると、男女ともに「どちらかといえばそう思わない」が最も多くなっています。

年齢別にみると、65～74歳で「どちらかといえばそう思わない」、それ以外の年齢で「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっています。

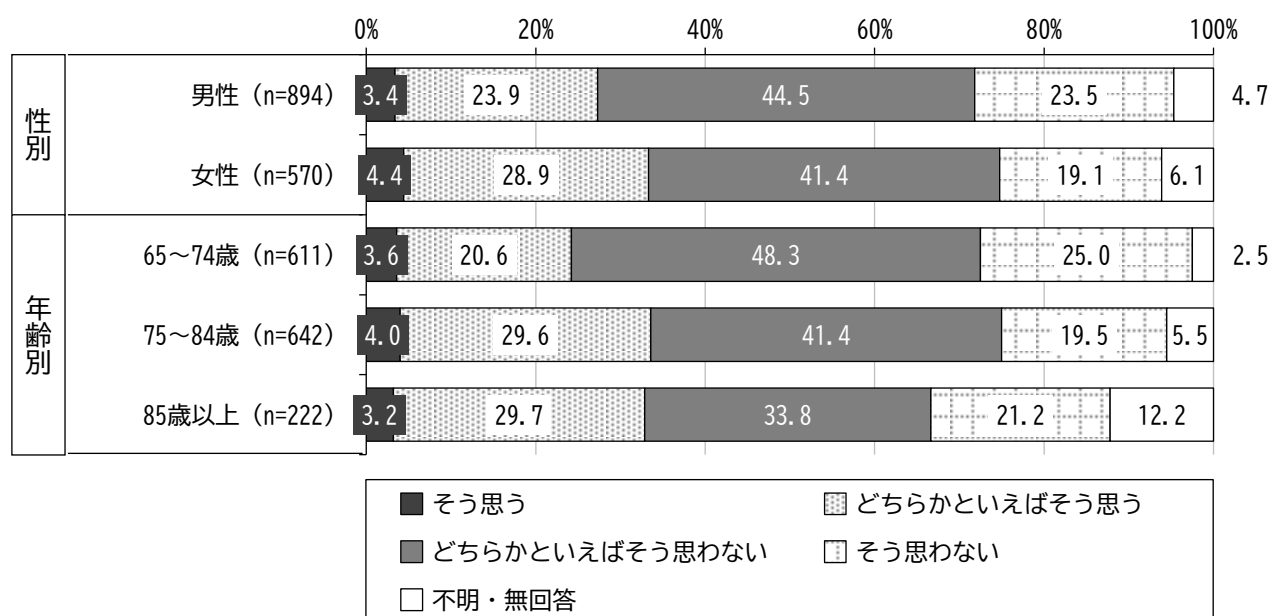


(8) 認知症の人が自分らしく暮らせると思いますか。(単数回答)

認知症の人が自分らしく暮らせると思うかについては、「どちらかといえばそう思わない」が43.2%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が25.6%、「そう思わない」が22.1%となっています。



性別・年齢別にみると、すべての区分で「どちらかといえばそう思わない」が最も多くなっています。

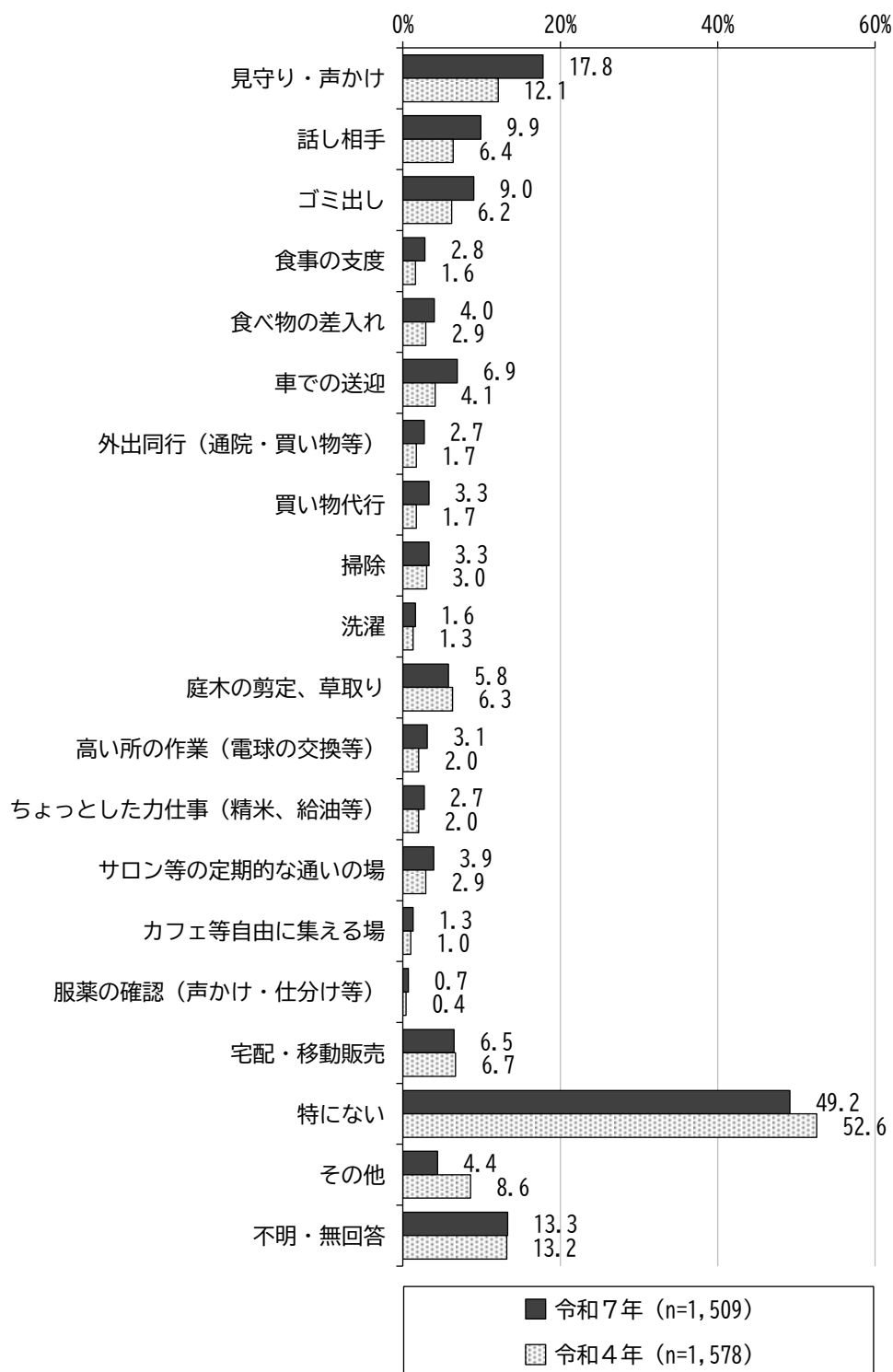


問 11 生活の手助け・ボランティアについて

(1) あなたが住む地域に以下のような生活の手助けはありますか。(複数回答)

居住地域での生活の手助けの有無については、「特にない」が49.2%と最も多く、次いで「見守り・声かけ」が17.8%、「話し相手」が9.9%となっています。

令和4年調査と比較すると、「見守り・声かけ」が5.7ポイント増加しています。



地区別にみると、すべての区分で「特にない」が最も多く、次いで「見守り・声かけ」となっています。

単位：％		見守り・声かけ	話し相手	ゴミ出し	食事の支度	食べ物の差入れ	車での送迎	院外・買い物同行（通等）	買い物代行	掃除	洗濯
全体（n=1,509）		17.8	9.9	9.0	2.8	4.0	6.9	2.7	3.3	3.3	1.6
地区別	角田地区（n=702）	18.9	8.8	7.1	4.3	3.3	6.3	3.0	3.8	3.7	1.7
	枝野地区（n=87）	10.3	8.0	2.3	1.1	4.6	4.6	1.1	2.3	2.3	0.0
	藤尾地区（n=127）	11.8	7.9	8.7	0.8	4.7	5.5	2.4	0.8	3.9	1.6
	東根地区（n=79）	25.3	13.9	11.4	1.3	5.1	13.9	5.1	2.5	1.3	1.3
	桜地区（n=162）	24.7	8.0	23.5	1.2	3.7	8.0	0.6	6.2	4.3	0.0
	北郷地区（n=187）	11.8	11.8	8.6	1.6	2.1	7.5	2.7	2.7	1.6	1.6
	西根地区（n=128）	19.5	16.4	6.3	3.9	9.4	6.3	4.7	1.6	3.1	3.1

単位：％		庭木の剪定、草取り	高い所の作業（電球の交換等）	ちよつとした力仕事（精米、給油等）	サロンの定期的な通いの場	カフェ等自由に集える場	服薬の確認（声かけ・仕分け等）	宅配・移動販売	特にない	その他	不明・無回答
全体（n=1,509）		5.8	3.1	2.7	3.9	1.3	0.7	6.5	49.2	4.4	13.3
地区別	角田地区（n=702）	6.1	3.3	2.7	5.1	1.6	1.0	4.4	49.9	5.0	13.8
	枝野地区（n=87）	3.4	0.0	1.1	1.1	0.0	1.1	6.9	63.2	1.1	9.2
	藤尾地区（n=127）	5.5	2.4	2.4	2.4	0.0	0.0	7.1	46.5	4.7	18.1
	東根地区（n=79）	8.9	6.3	2.5	6.3	1.3	0.0	15.2	48.1	1.3	3.8
	桜地区（n=162）	5.6	3.7	2.5	6.8	0.6	0.0	11.7	35.2	4.9	15.4
	北郷地区（n=187）	5.9	2.7	2.7	1.1	3.2	0.5	5.3	54.5	4.8	11.2
	西根地区（n=128）	3.1	3.1	4.7	0.8	0.0	0.8	7.0	47.7	3.9	12.5

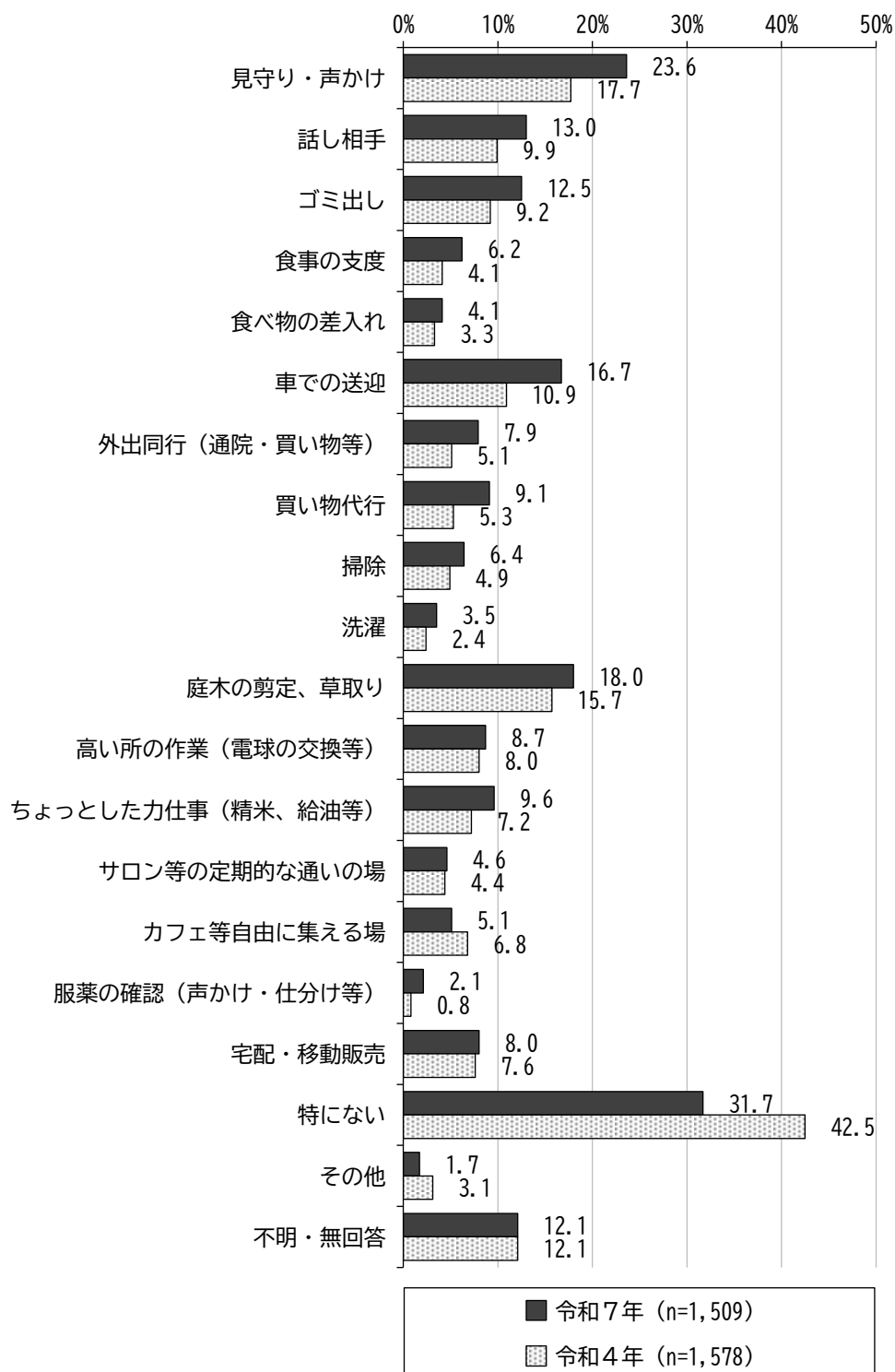
●主な内容(その他)

・わからない ・知らない ・シルバー人材センターに頼む 等

(2) あなたが住む地域にあったら良いと思う生活の手助けはありますか。(複数回答)

居住地域であつたら良いと思う生活の手助けについては、「特にない」が31.7%と最も多く、次いで「見守り・声かけ」が23.6%、「庭木の剪定、草取り」が18.0%となっています。

令和4年調査と比較すると、「特にない」が10.8ポイント減少し、「見守り・声かけ」が5.9ポイント増加しています。



性別・年齢別にみると、すべての区分で「特にない」が最も多く、次いで「見守り・声かけ」となっています。

地区別にみると、東根地区、桜地区で「見守り・声かけ」、それ以外の地区で「特にない」が最も多くなっています。

単位：％		見守り・声かけ	話し相手	ゴミ出し	食事の支度	食べ物の差入れ	車での送迎	院外・出同行（通）	買い物代行	掃除	洗濯
全体（n=1,509）		23.6	13.0	12.5	6.2	4.1	16.7	7.9	9.1	6.4	3.5
性別	男性（n=894）	26.0	13.2	13.2	7.0	4.4	16.0	8.1	9.4	6.4	3.7
	女性（n=570）	20.2	12.8	11.6	4.9	3.9	17.9	8.1	8.8	6.7	3.5
年齢別	65～74歳（n=611）	24.1	12.1	14.7	6.9	3.8	17.0	9.0	11.8	7.2	3.9
	75～84歳（n=642）	24.1	13.2	11.5	5.9	4.2	16.8	7.0	6.5	5.5	3.3
	85歳以上（n=222）	21.6	15.3	9.5	5.4	5.4	16.7	7.7	9.9	7.7	3.6
地区別	角田地区（n=702）	23.9	12.8	13.5	6.4	4.6	14.7	7.8	10.0	7.1	3.8
	枝野地区（n=87）	21.8	5.7	4.6	1.1	3.4	18.4	6.9	10.3	2.3	0.0
	藤尾地区（n=127）	22.8	13.4	11.8	7.1	3.9	22.8	6.3	7.9	6.3	4.7
	東根地区（n=79）	36.7	20.3	11.4	11.4	5.1	27.8	16.5	13.9	8.9	3.8
	桜地区（n=162）	29.0	16.7	17.9	5.6	3.1	15.4	9.9	11.7	8.6	3.7
	北郷地区（n=187）	16.0	9.6	8.6	5.9	4.3	17.1	5.3	4.8	6.4	3.7
	西根地区（n=128）	20.3	14.8	12.5	6.3	3.9	16.4	7.0	6.3	2.3	3.1

単位：％		庭木の剪定、草取り	高い所の作業（電球の交換等）	ちよつとした仕事（精米、給油等）	通サいの場の定期的な	力場の等自由集え	服薬の確認（声かけ・仕分け等）	宅配・移動販売	特にない	その他	不明・無回答
全体（n=1,509）		18.0	8.7	9.6	4.6	5.1	2.1	8.0	31.7	1.7	12.1
性別	男性（n=894）	18.1	7.0	8.4	4.1	4.6	2.1	7.4	34.8	1.0	9.4
	女性（n=570）	18.1	11.8	11.4	5.4	6.3	2.3	9.5	27.0	3.0	15.3
年齢別	65～74歳（n=611）	19.5	7.9	11.1	5.2	6.2	2.0	10.5	31.8	2.1	8.3
	75～84歳（n=642）	17.9	10.1	9.3	4.8	5.3	2.6	6.4	32.6	1.7	12.5
	85歳以上（n=222）	14.4	8.1	7.2	2.7	2.3	1.4	6.8	29.3	0.9	18.5
地区別	角田地区（n=702）	16.8	9.0	9.5	5.0	6.0	2.1	8.0	34.6	2.3	10.5
	枝野地区（n=87）	21.8	9.2	11.5	3.4	1.1	0.0	6.9	31.0	0.0	13.8
	藤尾地区（n=127）	18.1	8.7	5.5	5.5	3.1	3.1	7.9	26.0	3.9	15.0
	東根地区（n=79）	20.3	15.2	12.7	6.3	8.9	1.3	6.3	25.3	1.3	5.1
	桜地区（n=162）	20.4	9.3	9.3	6.2	5.6	3.7	8.6	24.7	1.2	15.4
	北郷地区（n=187）	17.1	6.4	11.2	3.2	4.8	0.5	8.6	34.8	0.5	12.8
	西根地区（n=128）	19.5	7.8	10.2	1.6	3.9	3.9	9.4	32.0	0.0	10.9

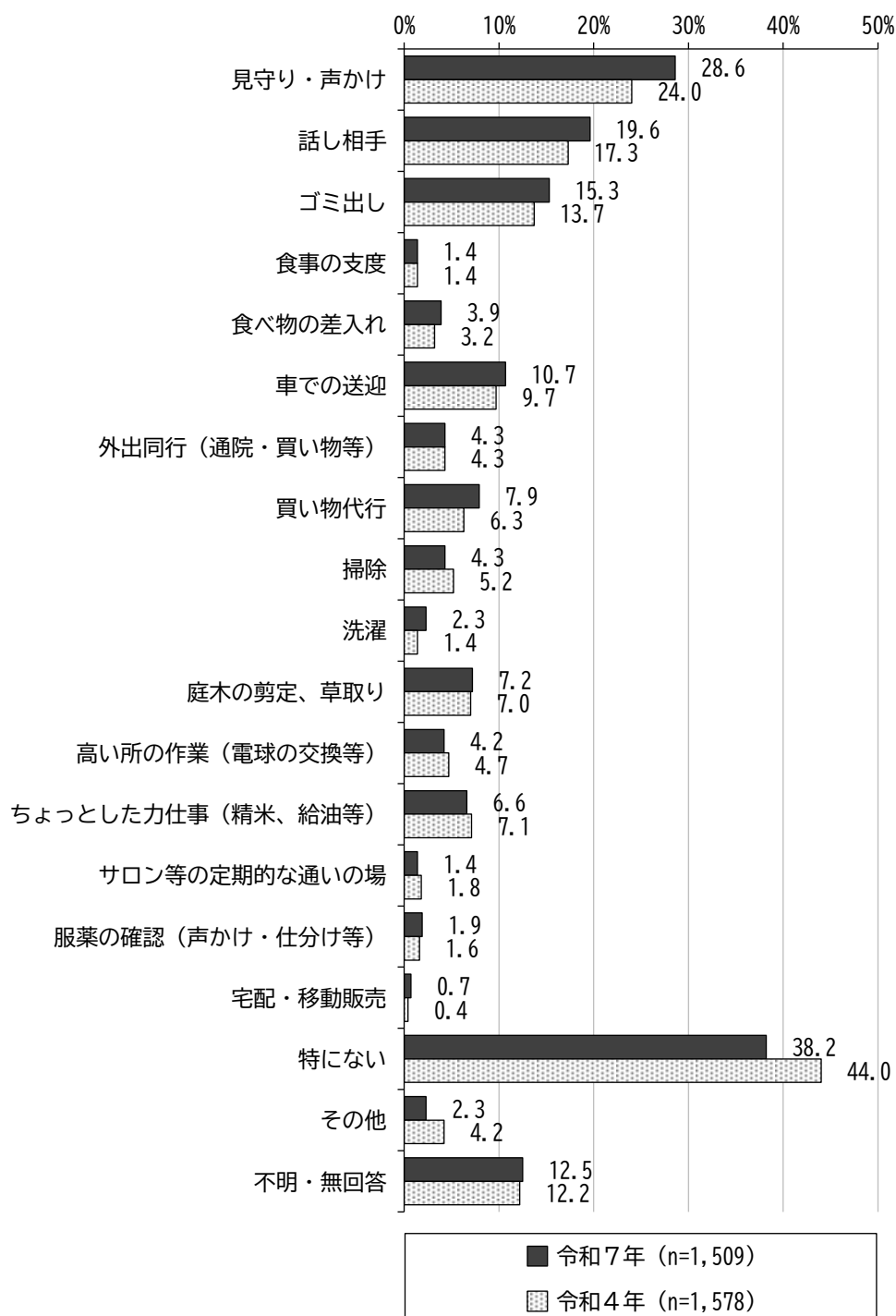
●主な内容(その他)

・わからない ・全部 ・今のところは必要としない 等

(3) あなたが住む地域に困っている人がいたら、無償で引き受けても良いと思う生活の手助けはありますか。(複数回答)

居住地域において無償で引き受けても良いと思う生活の手助けについては、「特にない」が38.2%と最も多く、次いで「見守り・声かけ」が28.6%、「話し相手」が19.6%となっています。

令和4年調査と比較すると、「特にない」が5.8ポイント減少しています。



性別・年齢別にみると、すべての区分で「特にない」が最も多く、次いで「見守り・声かけ」となっています。

地区別にみると、東根地区、桜地区で「見守り・声かけ」、それ以外の地区で「特にない」が最も多くなっています。

単位：％		見守り・声かけ	話し相手	ゴミ出し	食事の支度	食べ物の差入れ	車での送迎	院・外出同行（買い物等）	買い物代行	掃除	洗濯
全体（n=1,509）		28.6	19.6	15.3	1.4	3.9	10.7	4.3	7.9	4.3	2.3
性別	男性（n=894）	29.4	17.4	16.3	1.2	2.5	13.3	4.8	7.2	3.8	1.1
	女性（n=570）	27.4	23.9	14.4	1.8	6.0	6.7	3.7	8.8	5.4	4.2
年齢別	65～74歳（n=611）	31.8	19.1	18.2	1.6	3.6	11.9	6.1	10.3	4.4	2.9
	75～84歳（n=642）	29.0	22.1	15.3	1.2	4.2	11.1	3.7	6.5	5.1	2.0
	85歳以上（n=222）	18.9	15.8	9.0	1.4	3.6	7.2	1.4	5.0	2.3	1.4
地区別	角田地区（n=702）	23.9	12.8	13.5	6.4	4.6	14.7	7.8	10.0	7.1	3.8
	枝野地区（n=87）	21.8	5.7	4.6	1.1	3.4	18.4	6.9	10.3	2.3	0.0
	藤尾地区（n=127）	22.8	13.4	11.8	7.1	3.9	22.8	6.3	7.9	6.3	4.7
	東根地区（n=79）	36.7	20.3	11.4	11.4	5.1	27.8	16.5	13.9	8.9	3.8
	桜地区（n=162）	29.0	16.7	17.9	5.6	3.1	15.4	9.9	11.7	8.6	3.7
	北郷地区（n=187）	16.0	9.6	8.6	5.9	4.3	17.1	5.3	4.8	6.4	3.7
	西根地区（n=128）	20.3	14.8	12.5	6.3	3.9	16.4	7.0	6.3	2.3	3.1

単位：％		庭木の剪定、草取り	の 高い所の作業（電球交換等）	（ちよつとした力仕事） （精米、給油等）	通サいの場の定期的な	け服薬の確認（声かけ・仕分け等）	宅配・移動販売	特にない	その他	不明・無回答
全体（n=1,509）		7.2	4.2	6.6	1.4	1.9	0.7	38.2	2.3	12.5
性別	男性（n=894）	9.6	6.6	9.4	1.1	1.5	0.8	41.1	1.7	9.4
	女性（n=570）	3.7	0.7	2.6	1.9	2.6	0.5	33.7	3.3	16.5
年齢別	65～74歳（n=611）	8.8	5.4	8.8	1.3	1.6	1.0	37.3	1.8	7.5
	75～84歳（n=642）	6.2	4.4	6.4	1.9	1.9	0.5	39.1	2.2	12.1
	85歳以上（n=222）	6.3	0.9	1.8	0.5	2.7	0.5	37.8	4.1	24.8
地区別	角田地区（n=702）	16.8	9.0	9.5	5.0	6.0	2.1	8.0	34.6	2.3
	枝野地区（n=87）	21.8	9.2	11.5	3.4	1.1	0.0	6.9	31.0	0.0
	藤尾地区（n=127）	18.1	8.7	5.5	5.5	3.1	3.1	7.9	26.0	3.9
	東根地区（n=79）	20.3	15.2	12.7	6.3	8.9	1.3	6.3	25.3	1.3
	桜地区（n=162）	20.4	9.3	9.3	6.2	5.6	3.7	8.6	24.7	1.2
	北郷地区（n=187）	17.1	6.4	11.2	3.2	4.8	0.5	8.6	34.8	0.5
	西根地区（n=128）	19.5	7.8	10.2	1.6	3.9	3.9	9.4	32.0	0.0

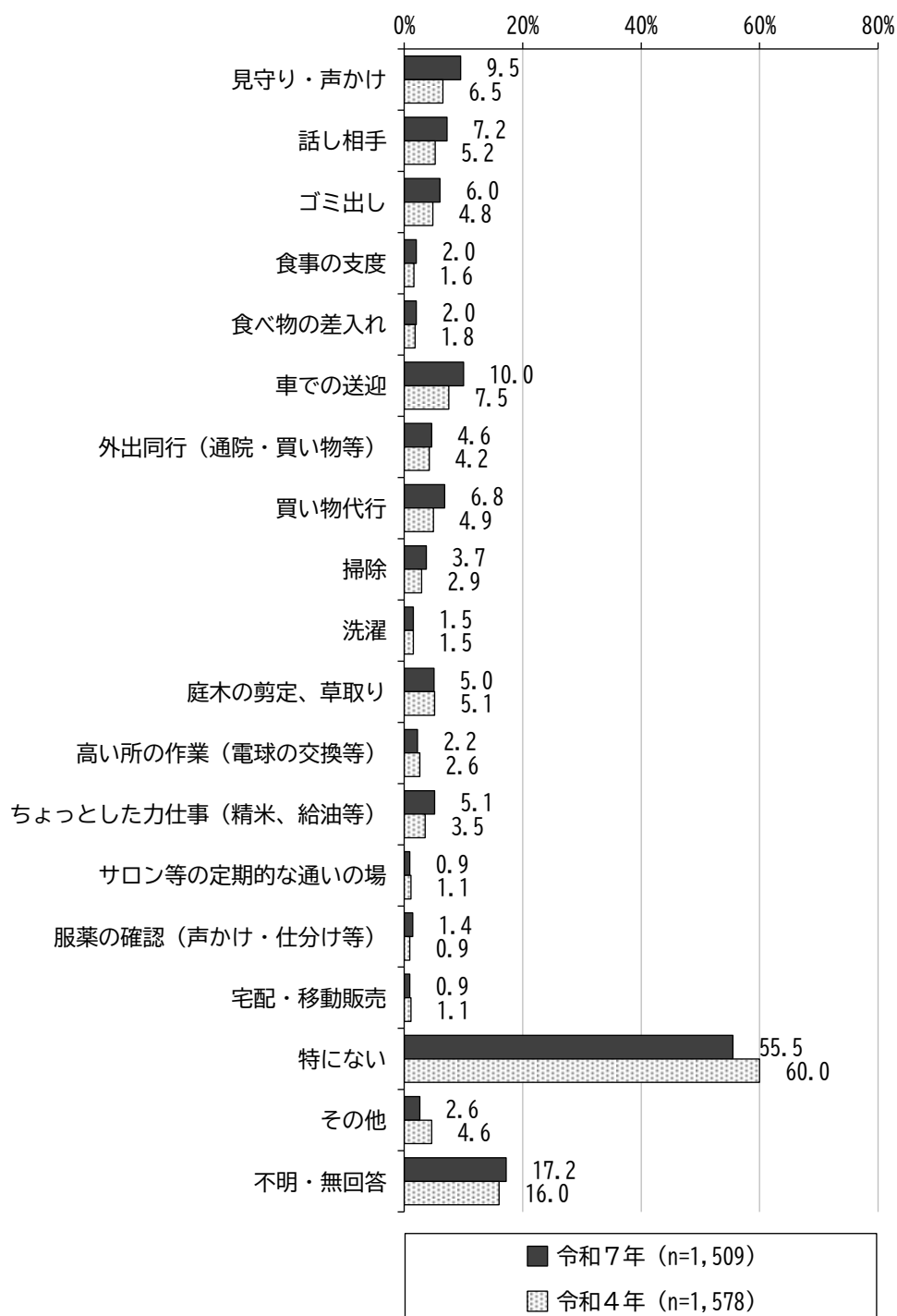
●主な内容(その他)

・自分の事でせいっぱい ・できない（なし） 等

(4) あなたが住む地域に困っている人がいたら、有償なら引き受けても良いと思う生活の手助けはありますか。(複数回答)

居住地域において有償なら引き受けても良いと思う生活の手助けについては、「特にない」が55.5%と最も多く、次いで「車での送迎」が10.0%、「見守り・声かけ」が9.5%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



性別・年齢別・地区別にみると、すべての区分で「特にない」が最も多くなっています。

単位：％		見守り・声かけ	話し相手	ゴミ出し	食事の支度	食べ物の差入れ	車での送迎	院外出同行（通い物等）	買い物代行	掃除	洗濯
全体（n=1,509）		9.5	7.2	6.0	2.0	2.0	10.0	4.6	6.8	3.7	1.5
性別	男性（n=894）	9.2	5.8	6.8	1.9	1.2	13.3	5.5	8.3	3.8	1.1
	女性（n=570）	8.9	9.3	4.6	2.1	3.0	5.1	3.3	4.6	3.9	1.9
年齢別	65～74歳（n=611）	11.6	7.0	7.9	2.9	2.5	16.2	7.4	10.3	5.1	2.0
	75～84歳（n=642）	7.5	8.1	5.1	1.7	1.4	7.2	3.3	4.5	3.3	1.2
	85歳以上（n=222）	6.8	5.4	3.2	0.0	2.7	1.4	0.9	3.6	1.8	0.5
地区別	角田地区（n=702）	9.1	6.8	5.6	1.0	1.7	7.8	3.4	5.4	3.6	1.6
	枝野地区（n=87）	10.3	6.9	3.4	1.1	2.3	12.6	5.7	8.0	4.6	1.1
	藤尾地区（n=127）	5.5	5.5	5.5	2.4	2.4	9.4	4.7	3.9	3.9	1.6
	東根地区（n=79）	11.4	8.9	5.1	5.1	3.8	10.1	0.0	11.4	5.1	0.0
	桜地区（n=162）	8.0	7.4	6.2	1.9	1.9	13.6	6.2	8.6	2.5	1.9
	北郷地区（n=187）	9.6	6.4	9.6	3.7	2.7	10.7	9.6	9.1	4.8	1.1
	西根地区（n=128）	10.9	10.9	4.7	3.1	1.6	15.6	3.9	7.0	3.1	0.8

単位：％		庭木の剪定、草取り	高い所の作業（電球の交換等）	ちよつとした力仕事（精米、給油等）	通サいの場の定期的な	服薬の確認（声かけ・仕分け等）	宅配・移動販売	特にない	その他	不明・無回答
全体（n=1,509）		5.0	2.2	5.1	0.9	1.4	0.9	55.5	2.6	17.2
性別	男性（n=894）	6.7	3.4	7.3	0.7	0.8	0.9	58.2	2.0	12.6
	女性（n=570）	2.5	0.5	1.8	1.2	2.5	0.7	52.5	3.7	23.5
年齢別	65～74歳（n=611）	7.2	3.4	8.2	1.0	1.3	1.3	54.5	1.8	10.1
	75～84歳（n=642）	3.6	1.7	3.4	1.1	1.6	0.5	59.5	3.0	17.9
	85歳以上（n=222）	3.2	0.5	1.4	0.0	1.4	0.5	49.1	4.1	32.9
地区別	角田地区（n=702）	3.6	2.3	3.3	1.1	1.4	0.7	58.7	3.3	15.2
	枝野地区（n=87）	5.7	2.3	8.0	1.1	2.3	1.1	55.2	0.0	19.5
	藤尾地区（n=127）	7.1	2.4	7.9	0.0	0.0	0.0	50.4	3.1	26.8
	東根地区（n=79）	2.5	1.3	6.3	0.0	1.3	3.8	58.2	0.0	10.1
	桜地区（n=162）	8.0	1.9	4.9	0.6	1.9	0.6	50.0	2.5	17.9
	北郷地区（n=187）	7.5	3.7	8.0	1.1	1.6	1.1	55.6	2.1	18.2
	西根地区（n=128）	4.7	0.8	5.5	0.8	1.6	0.0	53.1	2.3	17.2

●主な内容（その他）

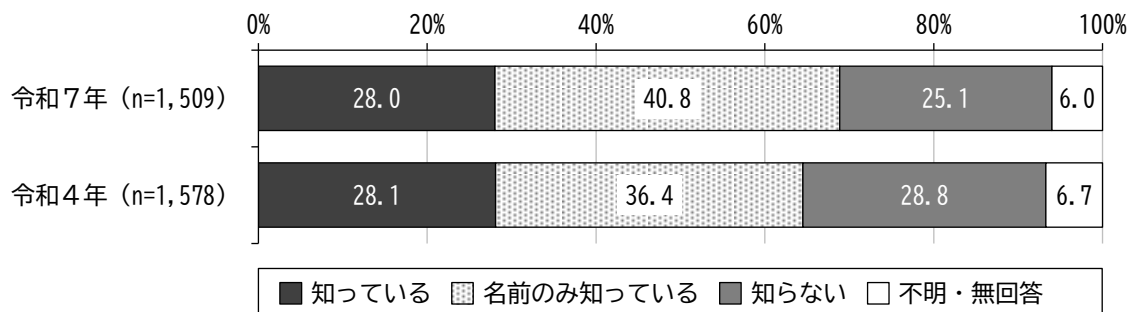
・有償では受けるつもりはない ・できない（わからない） 等

問 12 介護保険等のサービスについて

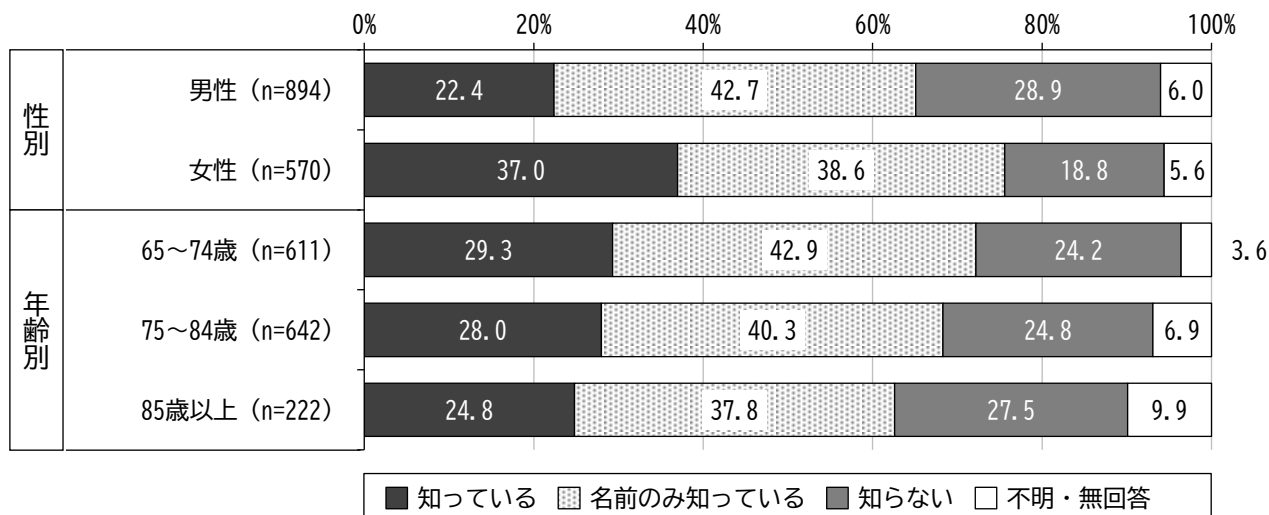
(1) 角田市地域包括支援センターの役割を知っていますか。(単数回答)

角田市地域包括支援センターの役割の認知状況については、「名前のみ知っている」が40.8%と最も多く、次いで「知っている」が28.0%、「知らない」が25.1%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



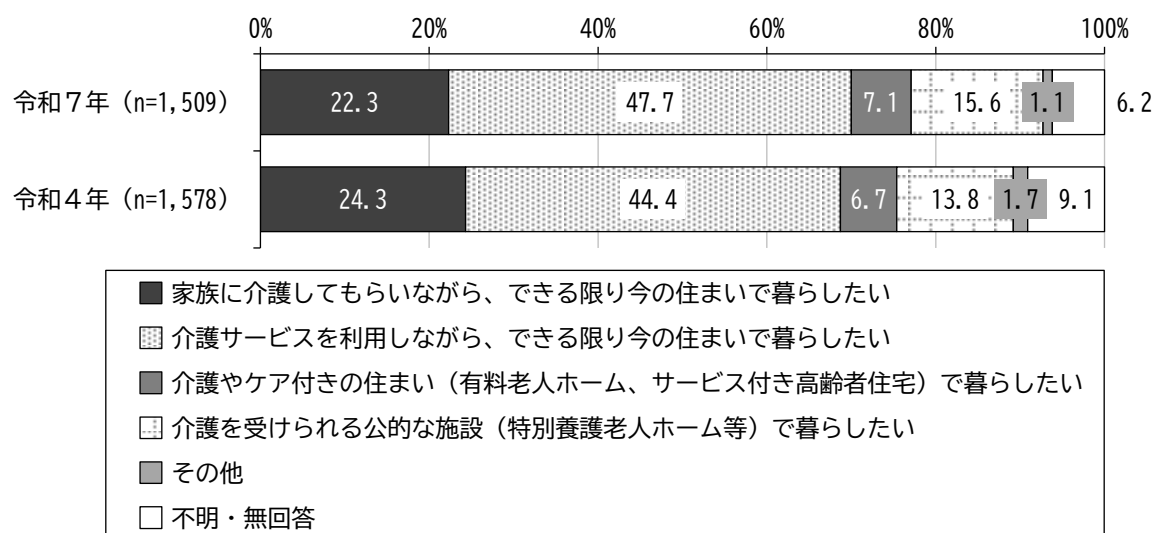
性別・年齢別にみると、すべての区分で「名前のみ知っている」が最も多くなっています。



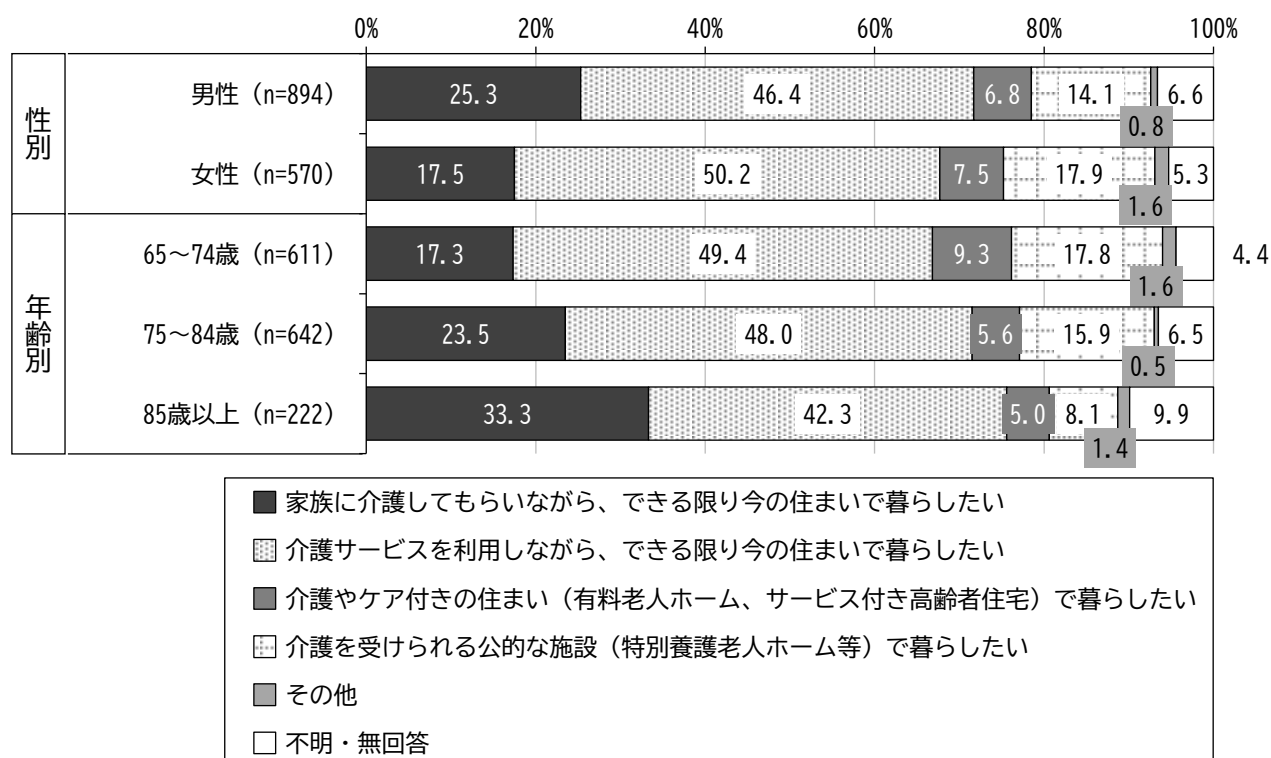
(2) 将来、あなたが介護を必要とするようになった場合、どのような場所で生活していくことを望みますか。(単数回答)

介護が必要になった場合に希望する生活の場については、「介護サービスを利用しながら、できる限り今の住まいで暮らしたい」が47.7%と最も多く、次いで「家族に介護してもらいながら、できる限り今の住まいで暮らしたい」が22.3%、「介護を受けられる公的な施設（特別養護老人ホーム等）で暮らしたい」が15.6%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



性別・年齢別にみると、すべての区分で「介護サービスを利用しながら、できる限り今の住まいで暮らしたい」が最も多くなっています。



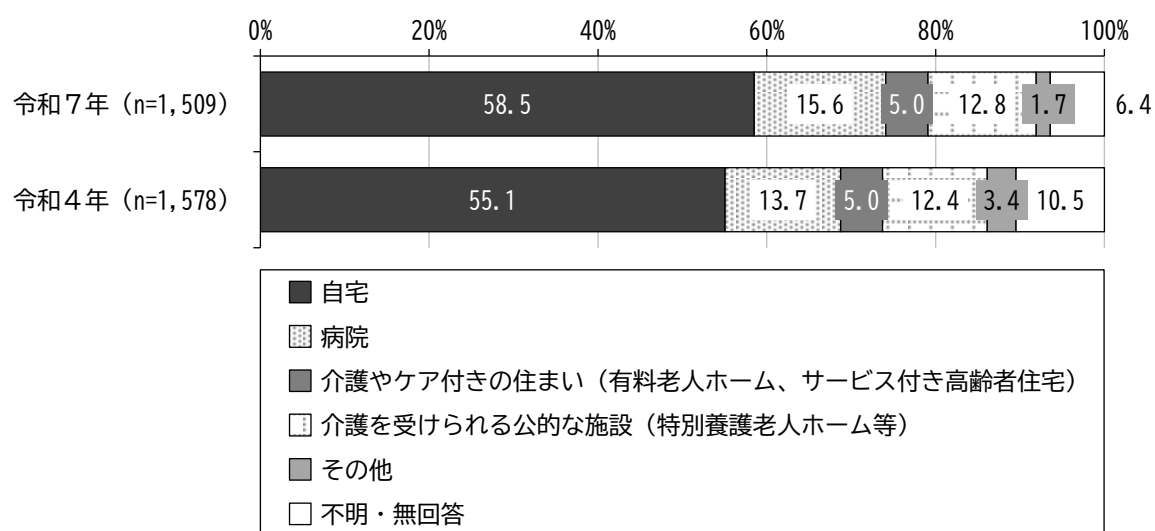
●主な内容(その他)

・介護の状態によると思う ・家族の都合状況しだい 等

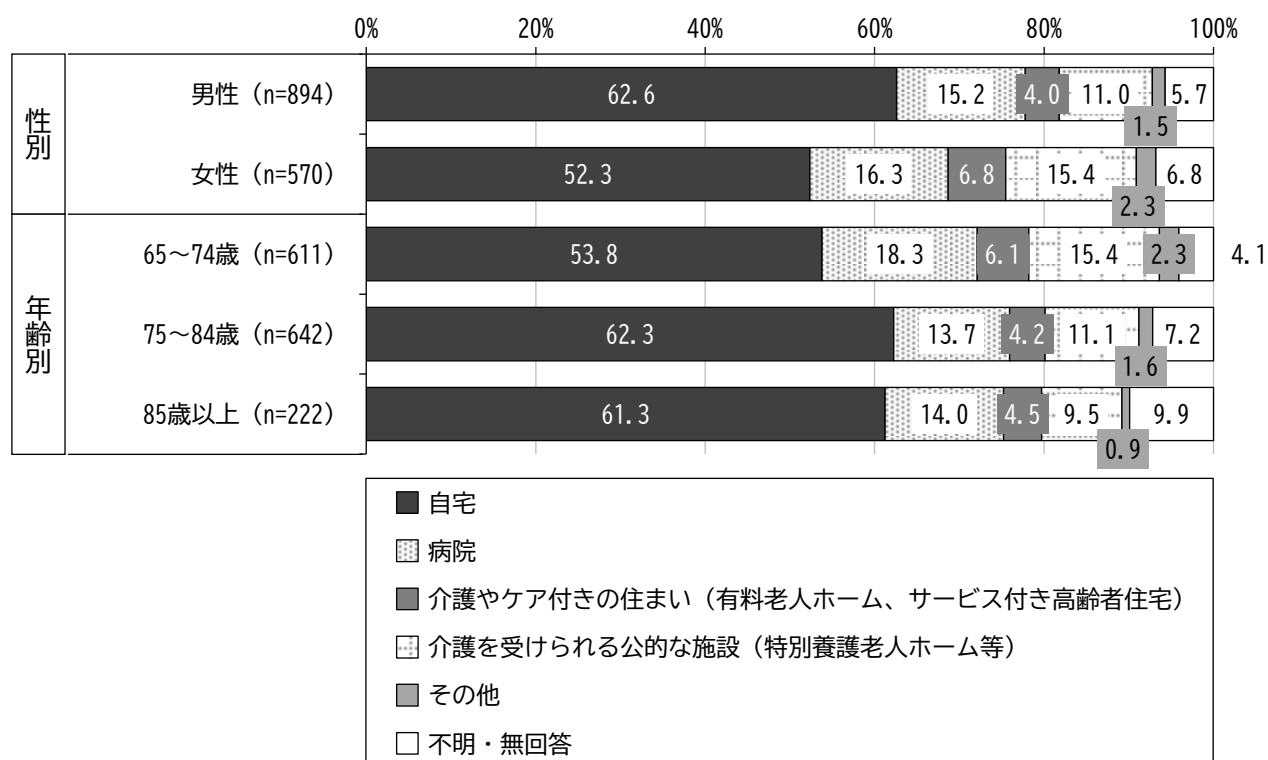
(3) あなたは、人生の最期をどこで迎えたいですか。(単数回答)

人生の最期を迎えたい場所については、「自宅」が58.5%と最も多く、次いで「病院」が15.6%、「介護を受けられる公的な施設（特別養護老人ホーム等）」が12.8%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



性別・年齢別にみると、すべての区分で「自宅」が最も多くなっています。



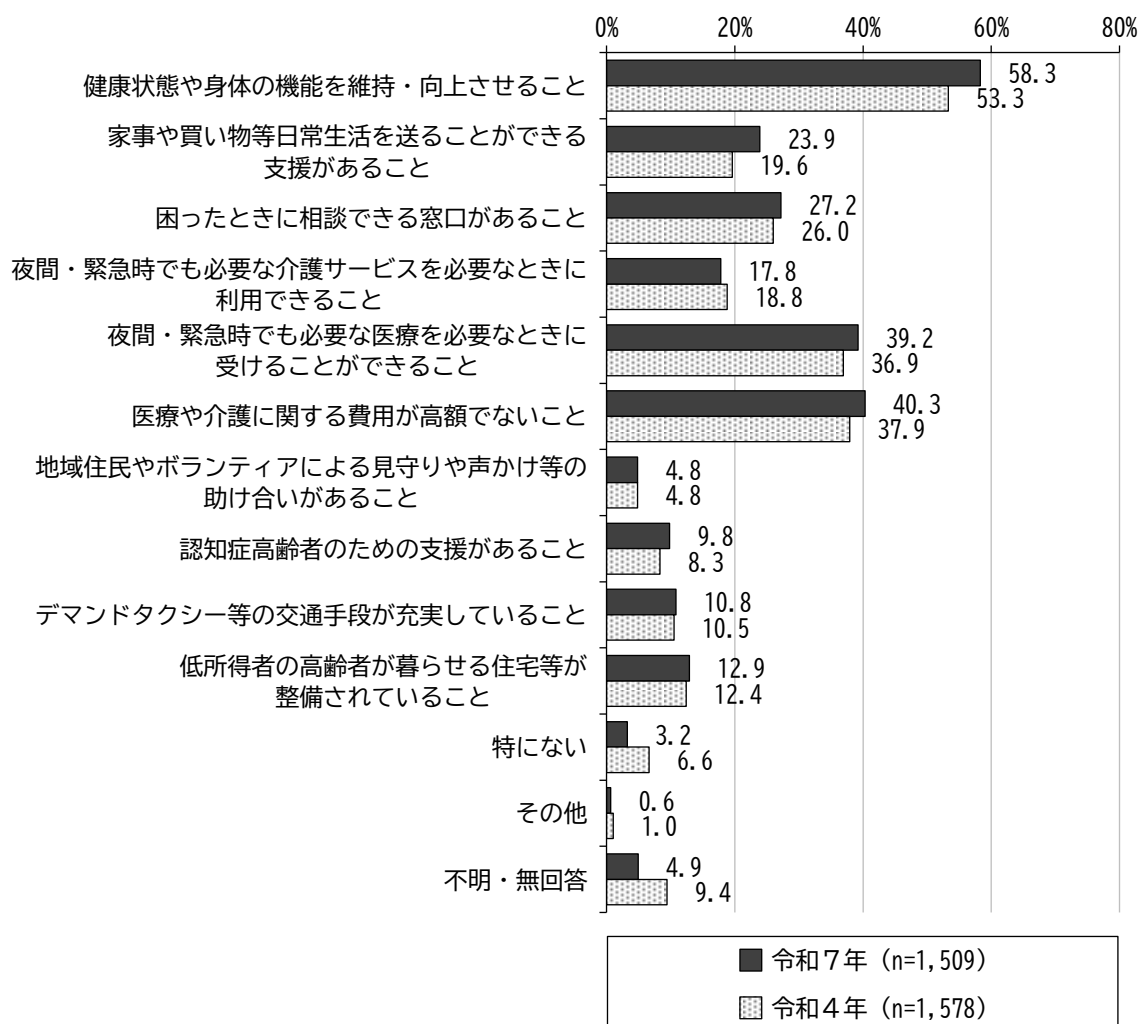
●主な内容(その他)

・わからない（その時にならないとわからない） ・どこでもよい 等

(4) あなたは、在宅で生活が続ける場合、何が必要だと感じますか。(3つまで複数回答)

在宅で生活が続ける場合に必要だと感じることについては、「健康状態や身体の機能を維持・向上させること」が58.3%と最も多く、次いで「医療や介護に関する費用が高額でないこと」が40.3%、「夜間・緊急時でも必要な医療を必要なときに受けることができること」が39.2%となっています。

令和4年調査と比較すると、「健康状態や身体の機能を維持・向上させること」が5.0ポイント増加しています。



性別・年齢別・地区別にみると、すべての区分で「健康状態や身体の機能を維持・向上させること」が最も多くなっています。

単位：％		健康状態や身体 の機能を維持・ 向上させること	家事や買い物等 日常生活を送る ことができる支 援があること	困ったときに相 談できる窓口 があること	利用サービスに 必要に応じて 利用できること	夜間・緊急時 でも必要な 介護を受ける ことができる こと	夜間・緊急時 でも必要な 医療を受ける こと	医療や介護に 関する費用が 高額でないこ と	地域住民やボ ランティアに よる見守りや 声かけ等の助 け合いがある こと	認知症高齢者 のための支援 があること	デマンドタク シー等の交通 手段が充実し ていること	低所得者の高 齢者が暮らせ る住宅等が整 備されている こと	特にな い	そ 他	不 明・無 回 答
全体（n=1,509）		58.3	23.9	27.2	17.8	39.2	40.3	4.8	9.8	10.8	12.9	3.2	0.6	4.9	
性別	男性（n=894）	59.6	24.9	28.2	18.5	39.0	37.4	4.6	9.2	8.7	11.5	3.7	0.3	5.1	
	女性（n=570）	57.4	21.1	25.3	16.7	39.5	45.3	5.4	10.7	13.9	14.9	2.8	1.1	4.2	
年齢別	65～74歳（n=611）	63.7	26.5	28.0	16.9	39.3	40.4	4.7	7.5	8.7	13.7	3.1	0.7	2.5	
	75～84歳（n=642）	57.2	22.9	26.5	19.8	39.4	41.3	4.8	10.4	11.5	13.2	3.0	0.3	5.8	
	85歳以上（n=222）	48.6	18.0	27.0	15.3	38.7	37.4	5.9	13.5	14.0	8.6	5.0	1.4	9.0	
地区別	角田地区（n=702）	60.1	22.6	29.1	18.1	38.3	38.9	4.8	9.4	10.8	13.1	3.4	0.6	3.7	
	枝野地区（n=87）	63.2	27.6	27.6	21.8	44.8	47.1	2.3	8.0	10.3	12.6	0.0	0.0	6.9	
	藤尾地区（n=127）	49.6	26.8	26.0	20.5	32.3	42.5	5.5	11.0	10.2	11.0	3.9	1.6	5.5	
	東根地区（n=79）	57.0	20.3	25.3	13.9	39.2	34.2	11.4	12.7	16.5	8.9	3.8	0.0	5.1	
	桜地区（n=162）	58.0	26.5	19.1	17.3	46.9	42.6	4.3	9.3	9.9	14.8	2.5	0.0	4.9	
	北郷地区（n=187）	62.0	20.9	28.3	17.6	38.0	38.5	6.4	11.2	9.6	8.6	3.7	1.6	7.0	
	西根地区（n=128）	54.7	26.6	27.3	15.6	41.4	45.3	1.6	7.0	10.2	18.0	4.7	0.0	3.9	

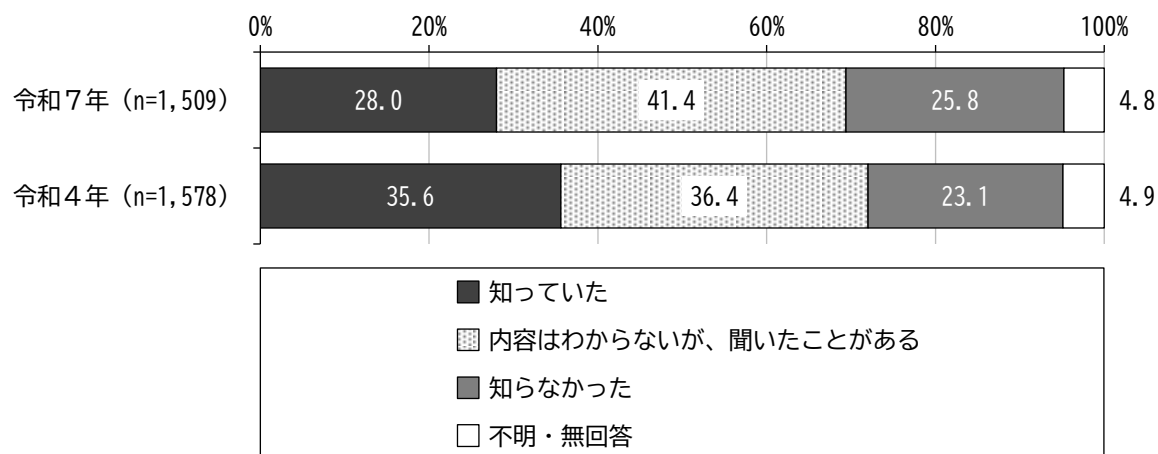
●主な内容(その他)

- ・ありすぎて3つでは足りない ・置かれている状況により必要なことが変わる 等

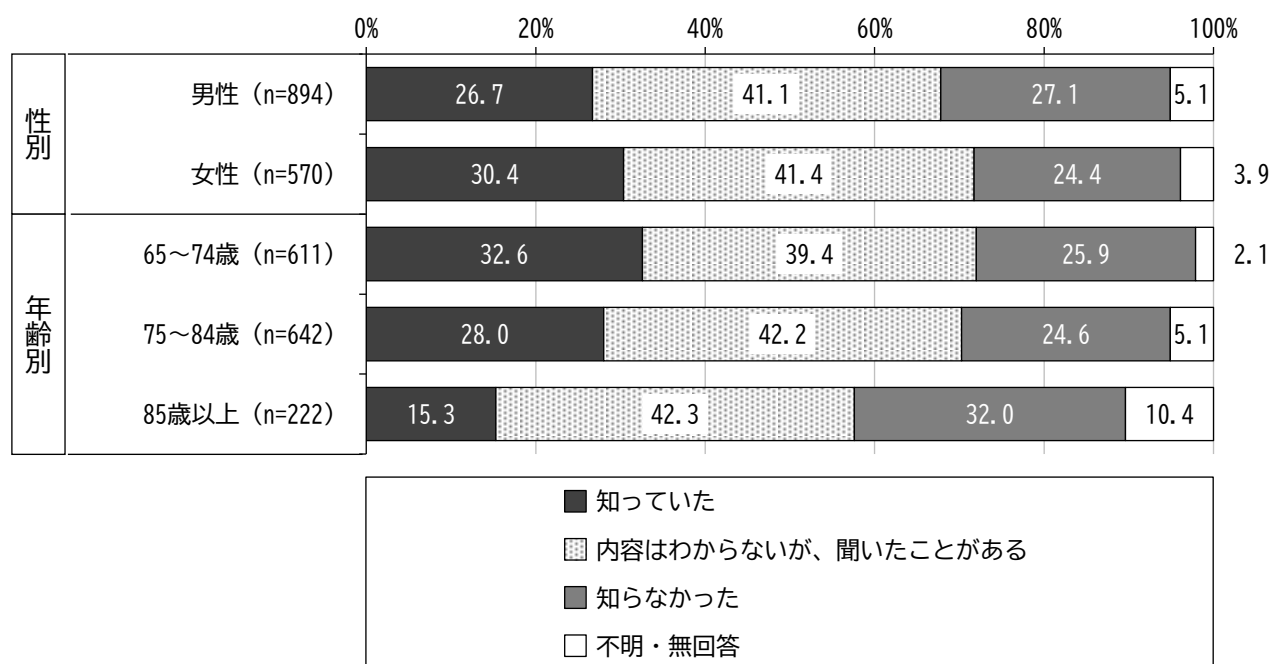
(5)「成年後見制度」を知っていますか。(単数回答)

「成年後見制度」の認知状況については、「内容はわからないが、聞いたことがある」が41.4%と最も多く、次いで「知っていた」が28.0%、「知らなかった」が25.8%となっています。

令和4年調査と比較すると、「知っていた」が7.6ポイント減少し、「内容はわからないが、聞いたことがある」が5.0ポイント増加しています。



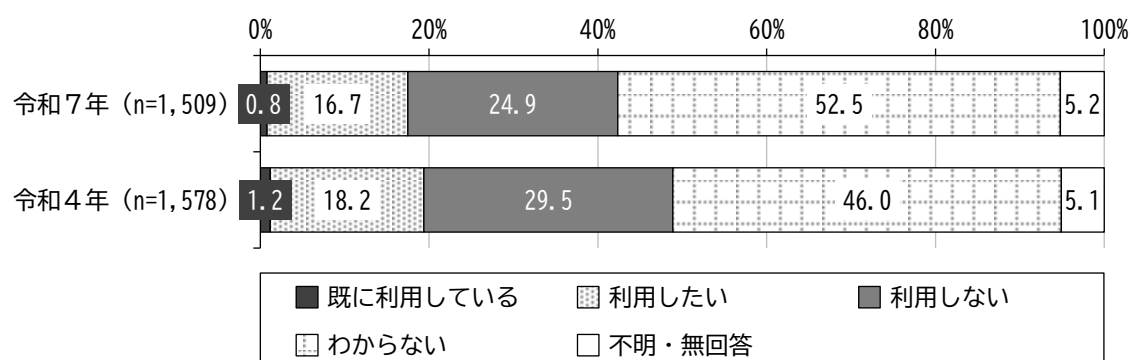
性別・年齢別にみると、すべての区分で「内容はわからないが、聞いたことがある」が最も多くなっています。



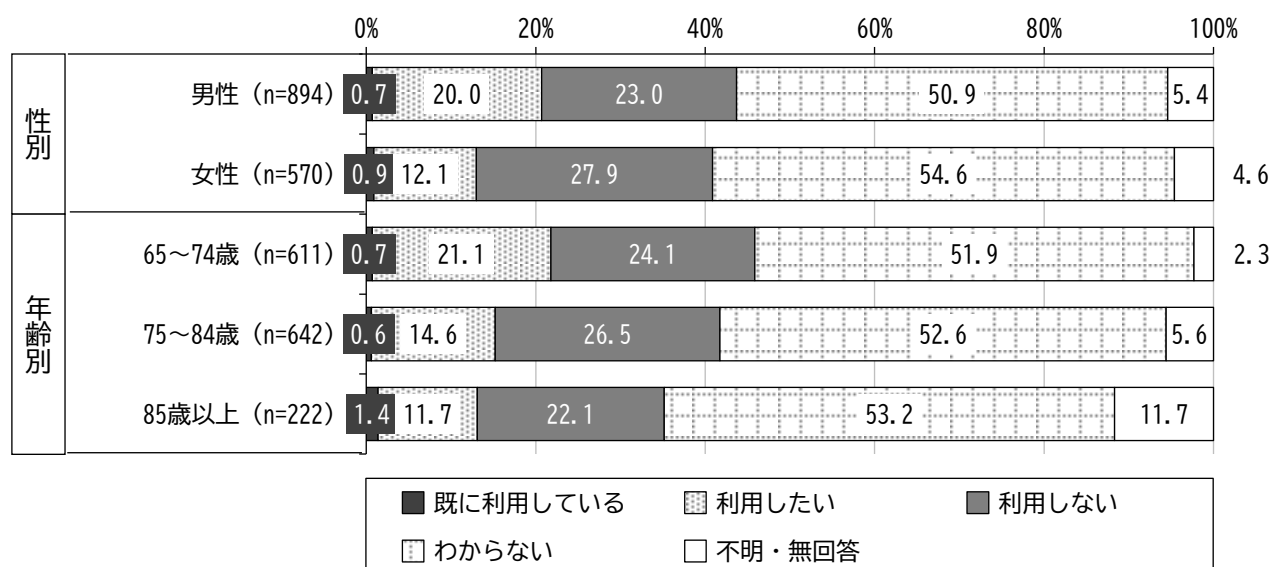
（６）将来、必要になったときに、成年後見制度を利用したいと思いますか。（単数回答）

成年後見制度の利用意向については、「わからない」が52.5%と最も多く、次いで「利用しない」が24.9%、「利用したい」が16.7%となっています。

令和４年調査と比較すると、「わからない」が6.5ポイント増加しています。

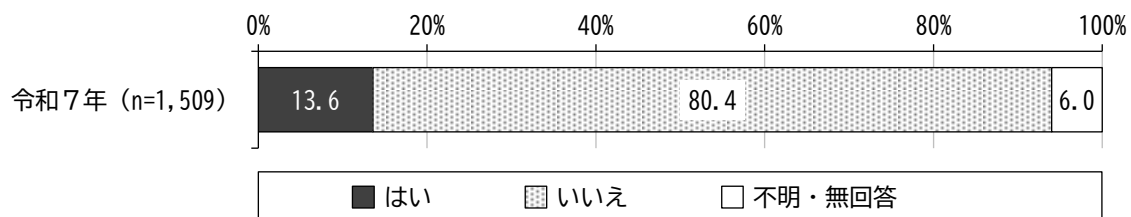


性別・年齢別にみると、すべての区分で「わからない」が最も多くなっています。

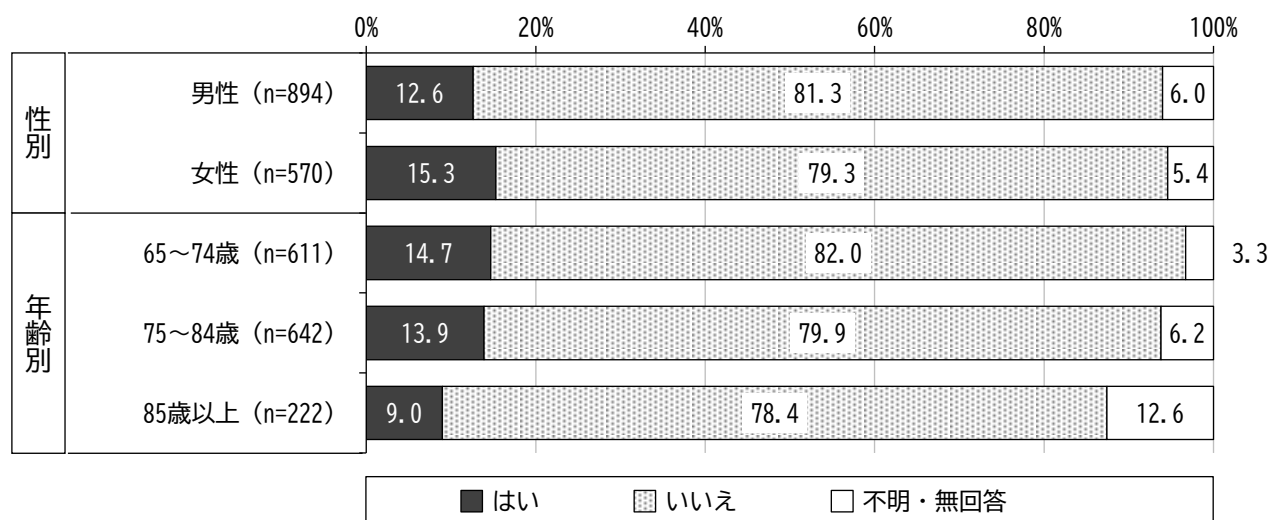


（７）成年後見制度に関する相談窓口を知っていますか。（単数回答）

成年後見制度に関する相談窓口を知っているかについては、「はい」が13.6%、「いいえ」が80.4%となっています。

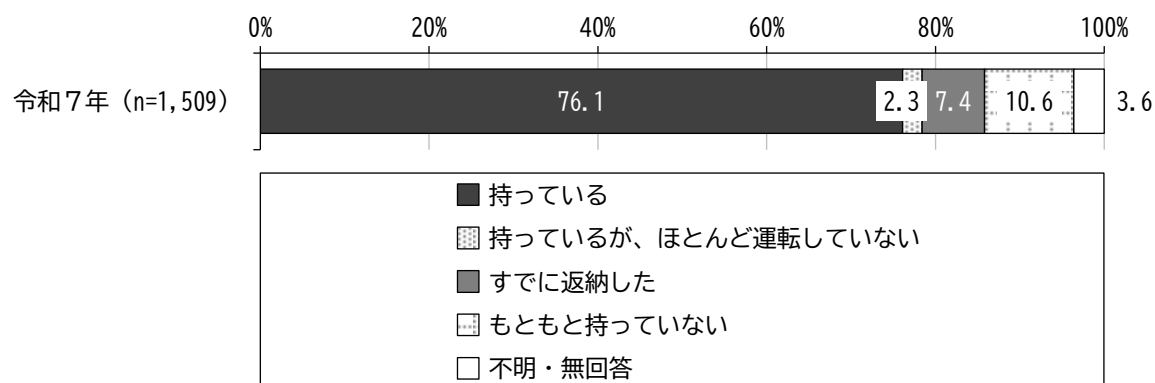


性別・年齢別にみると、すべての区分で「いいえ」が多くなっています。

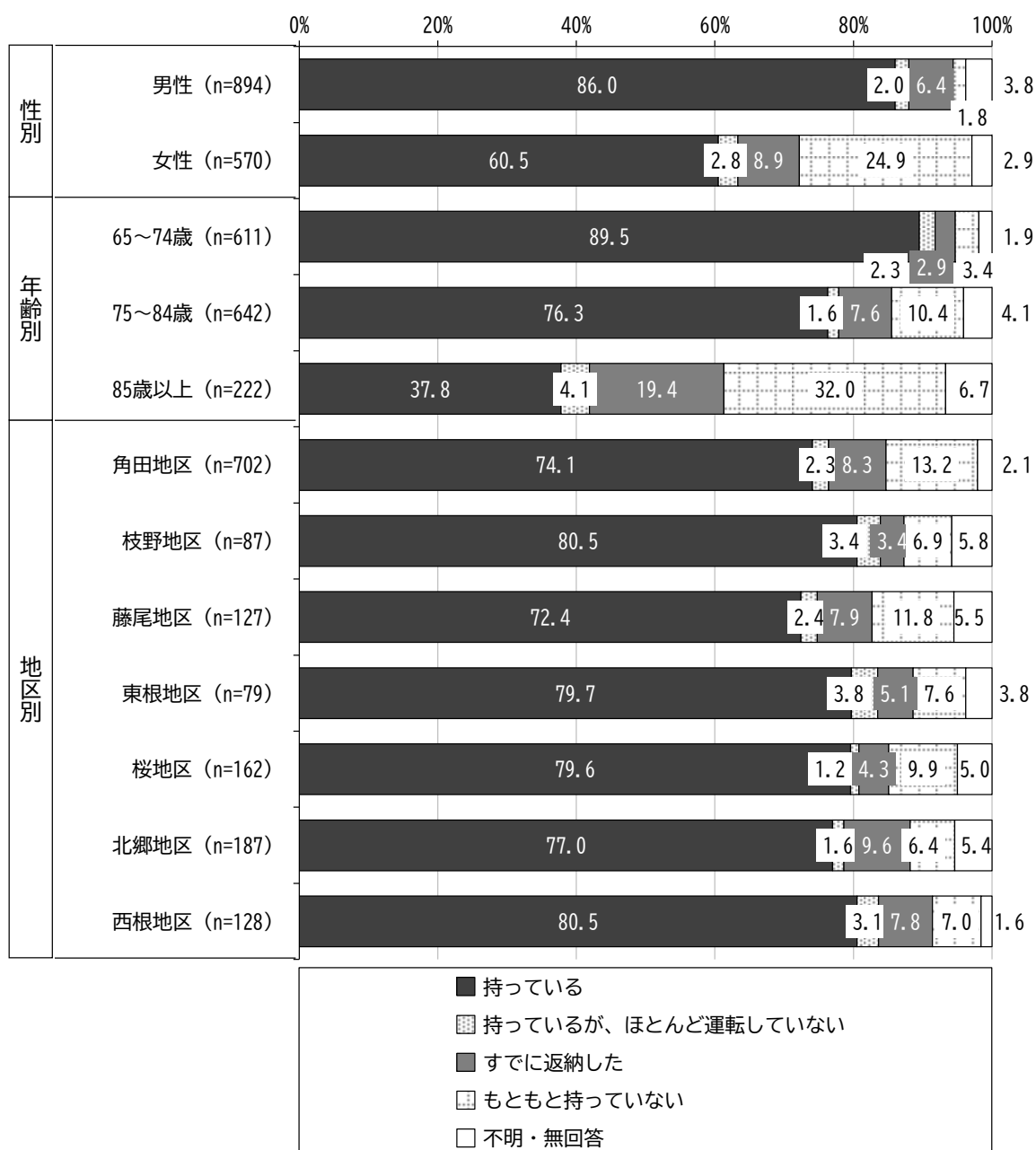


(8) 現在、自動車運転免許をお持ちですか。(単数回答)

自動車運転免許については、「持っている」が76.1%と最も多く、次いで「もともと持っていない」が10.6%、「すでに返納した」が7.4%となっています。



性別・年齢別・地区別にみると、すべての区分で「持っている」が最も多くなっています。

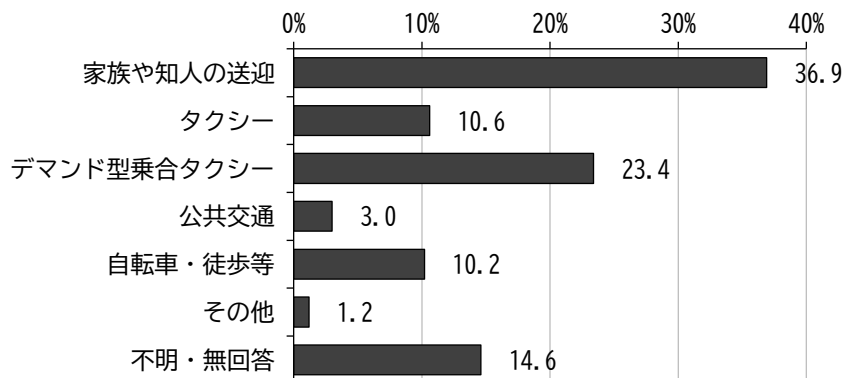


【(8)で「持っている」または「持っているが、ほとんど運転していない」と回答した方のみ】

(8) ①免許を返納した場合、主にどのような移動手段を利用したいですか。(単数回答)

免許を返納した場合に利用したい主な移動手段については、「家族や知人の送迎」が36.9%と最も多く、次いで「デマンド型乗合タクシー」が23.4%、「タクシー」が10.6%となっています。

令和7年 (n=1,183)



性別・年齢別にみると、すべての区分で「家族や知人の送迎」が最も多くなっています。

地区別にみると、藤尾地区で「デマンド型乗合タクシー」、それ以外の地区で「家族や知人の送迎」が最も多くなっています。

単位：%		迎 家 族 や 知 人 の 送	タ ク シ ー	タ ク シ ー デ マ ン ド 型 乗 合	公 共 交 通	自 転 車 ・ 徒 歩 等	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
全体 (n=1,183)		36.9	10.6	23.4	3.0	10.2	1.2	14.6
性 別	男性 (n=787)	36.5	10.4	21.5	3.6	12.2	1.0	14.9
	女性 (n=361)	38.2	11.1	28.0	1.9	5.8	1.4	13.6
年 齢 別	65～74歳 (n=561)	38.3	10.7	20.5	4.1	11.2	1.1	14.1
	75～84歳 (n=500)	36.2	10.6	26.2	2.0	9.6	0.8	14.6
	85歳以上 (n=93)	35.5	9.7	26.9	2.2	6.5	2.2	17.2
地 区 別	角田地区 (n=536)	34.5	12.3	18.1	3.5	14.7	1.3	15.5
	枝野地区 (n=73)	42.5	12.3	30.1	1.4	1.4	0.0	12.3
	藤尾地区 (n=95)	35.8	4.2	41.1	2.1	2.1	1.1	13.7
	東根地区 (n=66)	53.0	4.5	19.7	0.0	4.5	0.0	18.2
	桜地区 (n=131)	32.1	9.9	24.4	0.8	14.5	1.5	16.8
	北郷地区 (n=147)	44.9	8.2	25.9	6.1	6.1	0.7	8.2
	西根地区 (n=107)	33.6	14.0	28.0	2.8	3.7	0.9	16.8

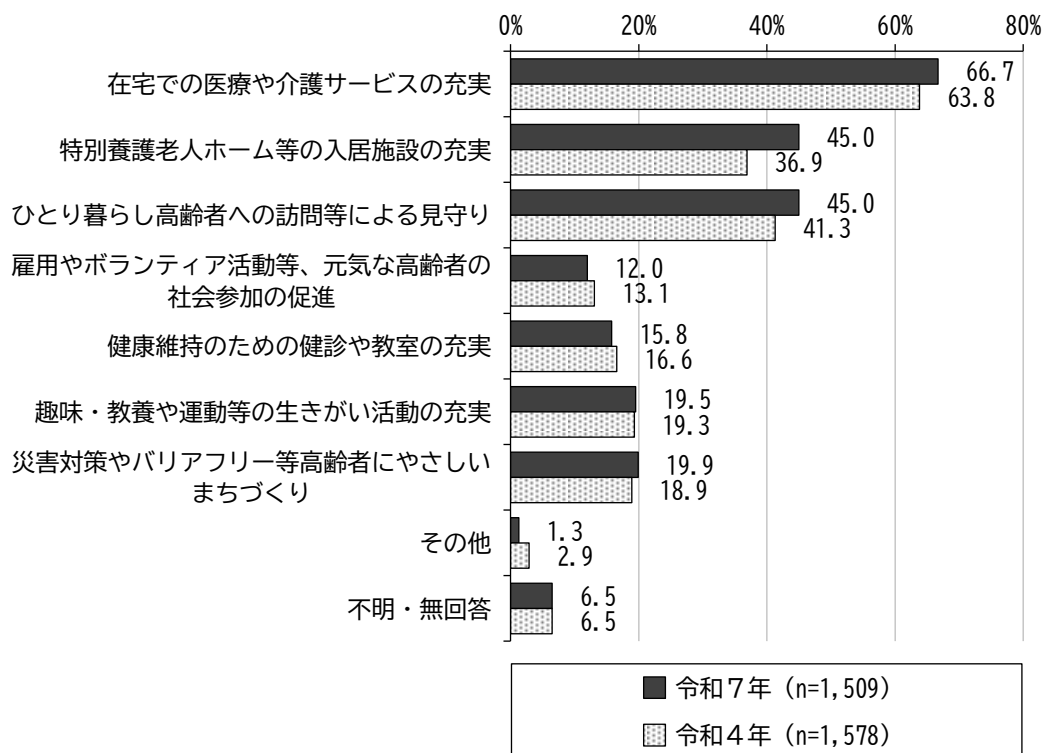
●主な内容(その他)

・市内バス ・ラビットくん ・考えた事がない 等

(9) 今後、力を入れるべき高齢者福祉施策は何だと思いますか。(3つまで複数回答)

今後、力を入れるべき高齢者福祉施策については、「在宅での医療や介護サービスの充実」が66.7%と最も多く、次いで「特別養護老人ホーム等の入居施設の充実」「ひとり暮らし高齢者への訪問等による見守り」が45.0%となっています。

令和4年調査と比較すると、「特別養護老人ホーム等の入居施設の充実」が8.1ポイント増加しています。



性別・年齢別・家族構成別にみると、すべての区分で「在宅での医療や介護サービスの充実」が最も多くなっています。

単位：％		在宅での医療や介護サービスの充実	特別養護老人ホーム等の入居施設	ひとり暮らし高齢者への訪問等	雇用やボランティア活動等、元	健康維持のための健診や教室の	趣味・教養や運動等の生きがい	災害対策やバリアフリー等高齢者にやさしいまちづくり	その他	不明・無回答
全体（n=1,509）		66.7	45.0	45.0	12.0	15.8	19.5	19.9	1.3	6.5
性別	男性（n=894）	69.6	47.2	46.0	12.3	16.4	18.9	17.0	0.9	6.0
	女性（n=570）	62.8	41.6	44.0	12.1	15.1	20.2	24.9	1.9	6.7
年齢別	65～74歳（n=611）	68.6	46.2	47.6	15.4	14.9	20.0	19.6	1.1	3.9
	75～84歳（n=642）	66.2	46.3	45.8	11.2	16.7	21.2	19.5	0.8	6.5
	85歳以上（n=222）	64.0	38.3	36.5	5.9	15.8	12.6	22.5	3.2	13.5
家族構成別	ひとり暮らし（n=309）	57.3	37.2	52.8	8.7	17.2	18.8	22.7	1.6	7.8
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）（n=440）	73.0	48.6	50.0	15.2	15.5	20.9	18.6	0.7	4.8
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）（n=86）	69.8	46.5	52.3	10.5	9.3	19.8	22.1	0.0	4.7
	息子・娘との2世帯（n=330）	69.4	48.5	38.2	10.6	16.1	17.3	20.3	0.9	8.5
	その他（n=183）	66.1	44.3	38.3	14.2	16.9	20.2	21.9	2.2	4.9

●主な内容（その他）

- ・経済的支援
- ・フレイル予防と認知症予防を目的とした要支援者のデイサービスの利用推進（介護認定の簡素化）
- ・独居、高齢者の没後の資産の整理の仕方
- ・水害時の避難経路、安全地の確保・確立
- ・食事、買物の支援、物価の低年金者への支援

等

第3章 生活機能評価について

1 生活機能評価の概要（第1号被保険者・要支援認定者）

- ・判定は「介護予防・日常生活圏域二一調査実施の手引き」による。
- ・本調査における該当する設問は以下の通り。
- ・評価方法は、それぞれの設問で該当する選択肢を回答した場合を1点としたときの合計点

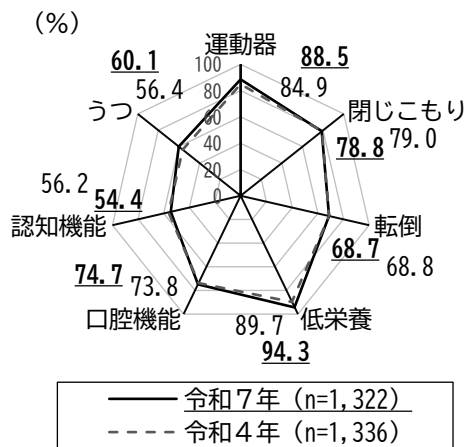
項目	番号	設問内容	該当する選択肢
(2)運動器の機能低下 (5問のうち3問以上、 該当する選択肢を回 答した方)	問3(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	「3. できない」
	問3(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	「3. できない」
	問3(3)	15分位続けて歩いていますか。	「3. できない」
	問3(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか。	「1. 何度もある」or 「2. 1度ある」
	問3(5)	転倒に対する不安は大きいですか。	「1. とても不安である」or 「2. やや不安である」
(3)閉じこもり傾向 (該当する選択肢を回 答した方)	問3(6)	週に1回以上は外出していますか。	「1. ほとんど外出しない」or 「2. 週1回」
(4)転倒のリスク (該当する選択肢を回 答した方)	問3(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか。	「1. 何度もある」or 「2. 1度ある」
(5)低栄養の傾向 (2問とも該当する選 択肢を回答した方)	問4(1)	BMI(身長・体重より算出)	「低体重(やせ)/18.5 未 満」
	問4(8)	6カ月間で2～3kg 以上の体重減少がありましたか。	「1. はい」
(6)口腔機能の低下 (3問のうち2問以上、 該当する選択肢を回 答した方)	問4(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	「1. はい」
	問4(3)	お茶や汁物等でむせることがありますか。	「1. はい」
	問4(4)	口の渇きが気になりますか。	「1. はい」
(7)認知機能の低下 (該当する選択肢を回 答した方)	問5(1)	物忘れが多いと感じますか。	「1. はい」
(8)うつ傾向 (2問のうち1問以上、 該当する選択肢を回 答した方)	問9(3)	この1カ月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	「1. はい」
	問9(4)	この1カ月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	「1. はい」
(9)手段的自立度 (IADL) (5点:高い、4点:やや 低い、0～3点:低い)	問5(2)	バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)	「1. できるし、している」or 「2. できるけどしていない」
	問5(3)	自分で食品・日用品の買い物をしていますか。	
	問5(4)	自分で食事の用意をしていますか。	
	問5(5)	自分で請求書の支払いをしていますか。	
	問5(6)	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	

2 生活機能評価の結果

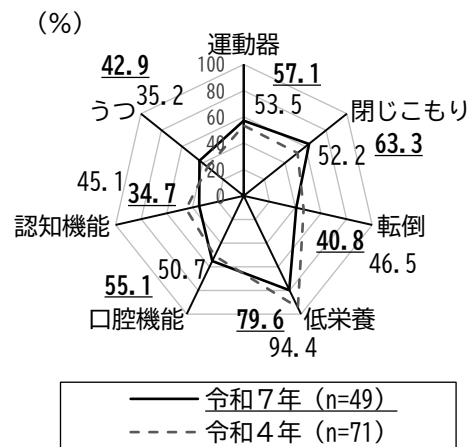
生活機能評価の各評価項目の非該当者（リスクなし）の割合をみると、一般高齢者・総合事業対象者では「認知機能」、要支援1・2では「うつ」の割合が最も少なくなっています。

令和4年調査と比べると、一般高齢者はおおむね同様の傾向となっており、総合事業対象者では「閉じこもり」「うつ」で非該当者（リスクなし）が増加し、「低栄養」「認知機能」「転倒」で非該当者（リスクなし）が減少しています。また、要支援1・2では「閉じこもり」「認知機能」で非該当者（リスクなし）が増加し、「転倒」で非該当者（リスクなし）が減少しています。

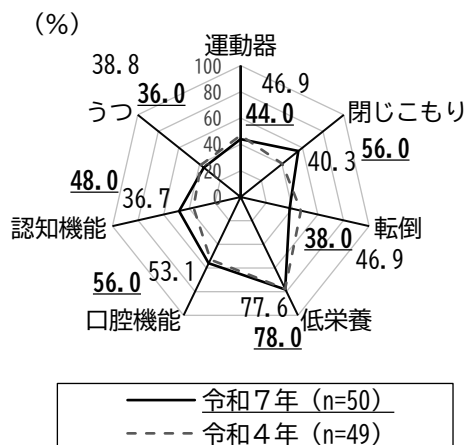
◆一般高齢者



◆総合事業対象者



◆要支援1・2

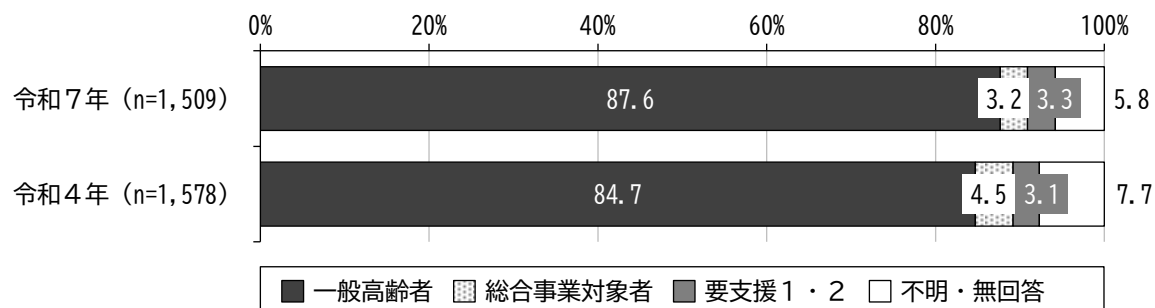


3 生活機能評価の項目別結果

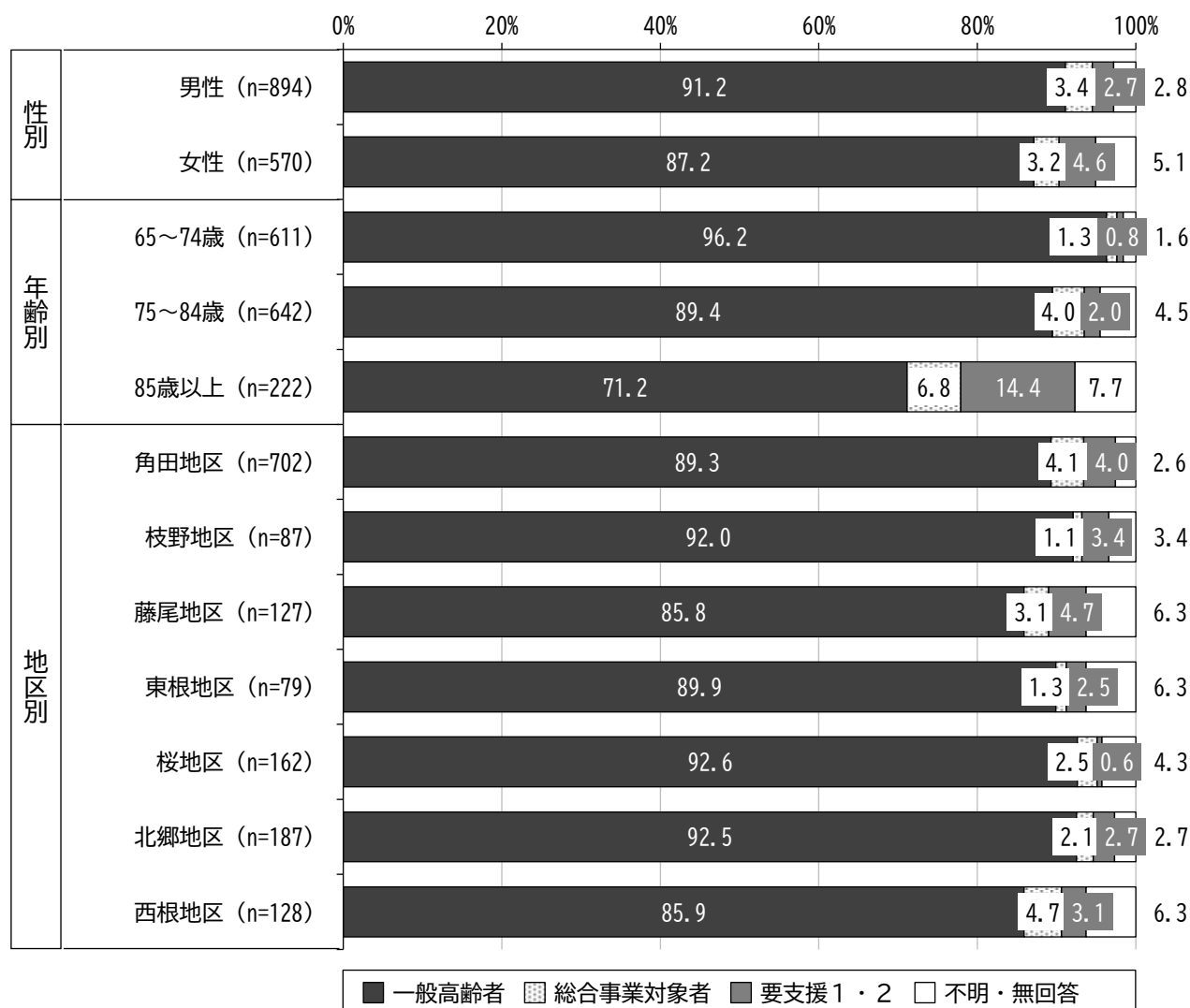
(1) 認定状況

認定状況については、「一般高齢者」が87.6%、「要支援1・2」が3.3%、「総合事業対象者」が3.2%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



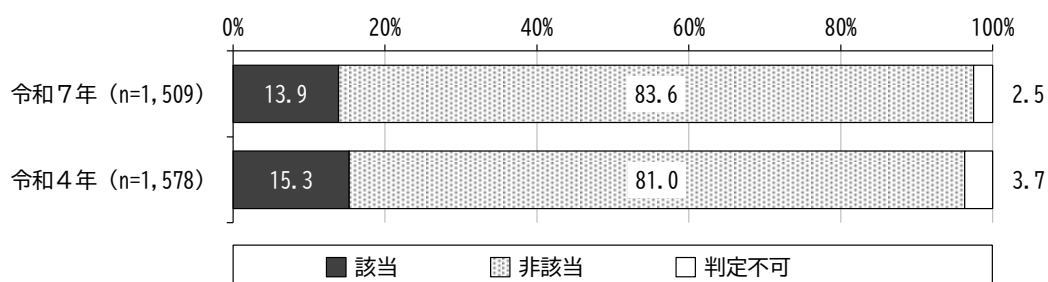
性別・年齢別・地区別にみると、すべての区分で「一般高齢者」が最も多くなっています。



(2) 運動器の機能低下

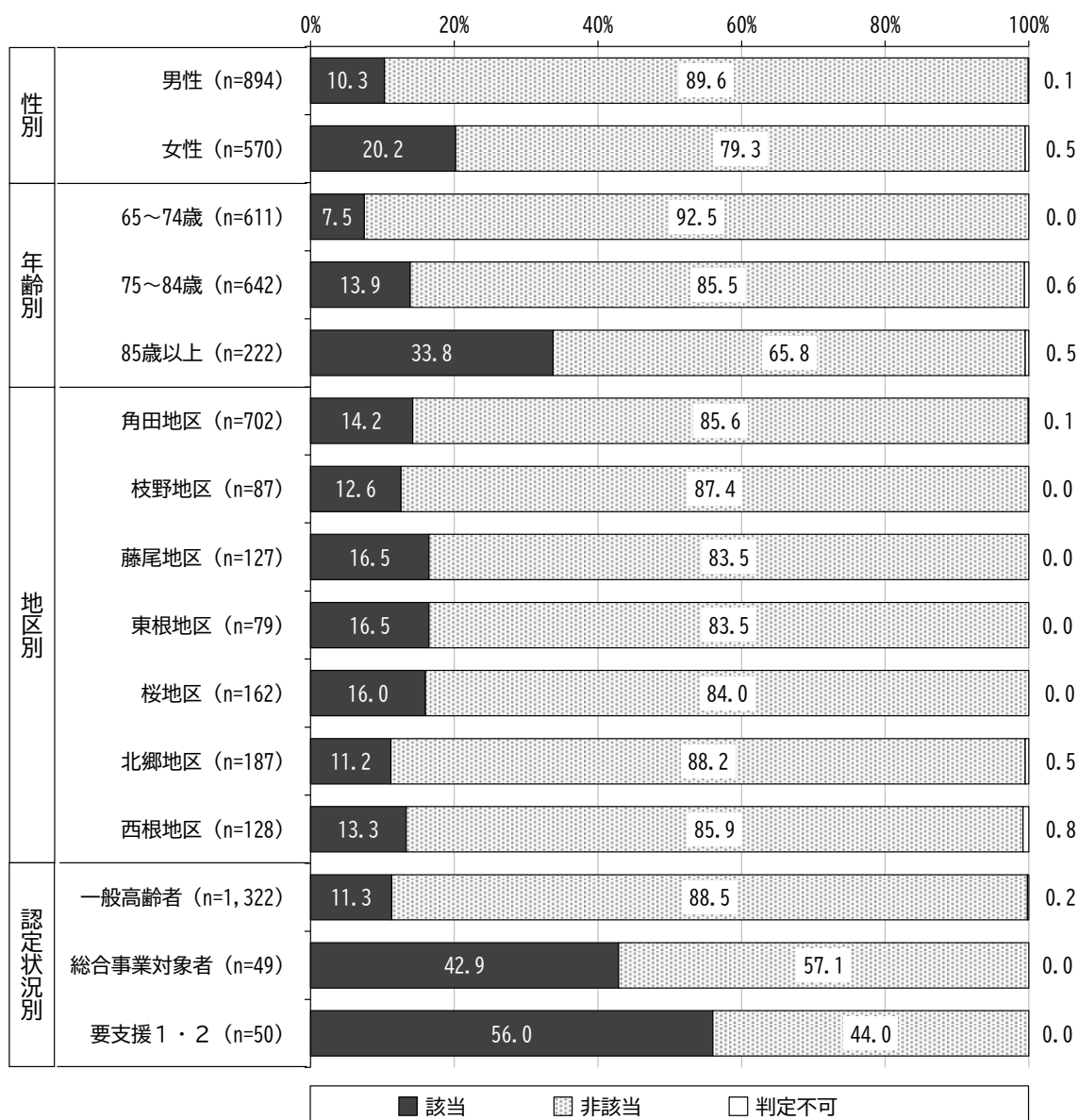
基本チェックリストに基づく運動器の機能低下の該当者割合については、全体で 13.9%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



性別・年齢別・地区別にみると、すべての区分で「非該当」が多くなっています。

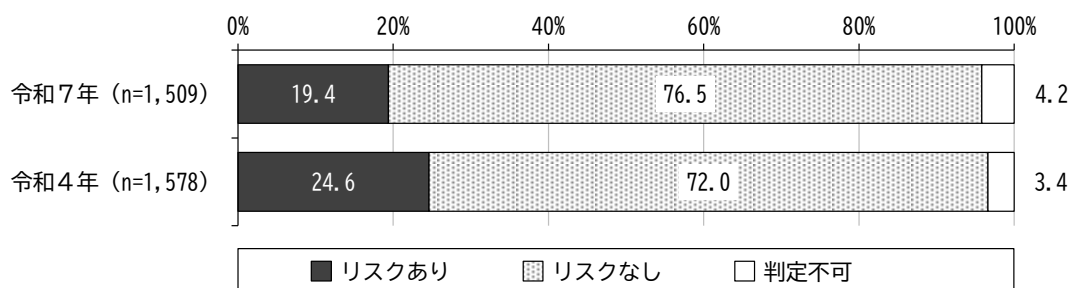
認定状況別にみると、要支援1・2で「該当」、それ以外の区分で「非該当」が多くなっており、運動器の機能低下の該当者割合は一般高齢者で 11.3%、総合事業対象者で 42.9%、要支援1・2で 56.0%となっています。



(3) 閉じこもり傾向

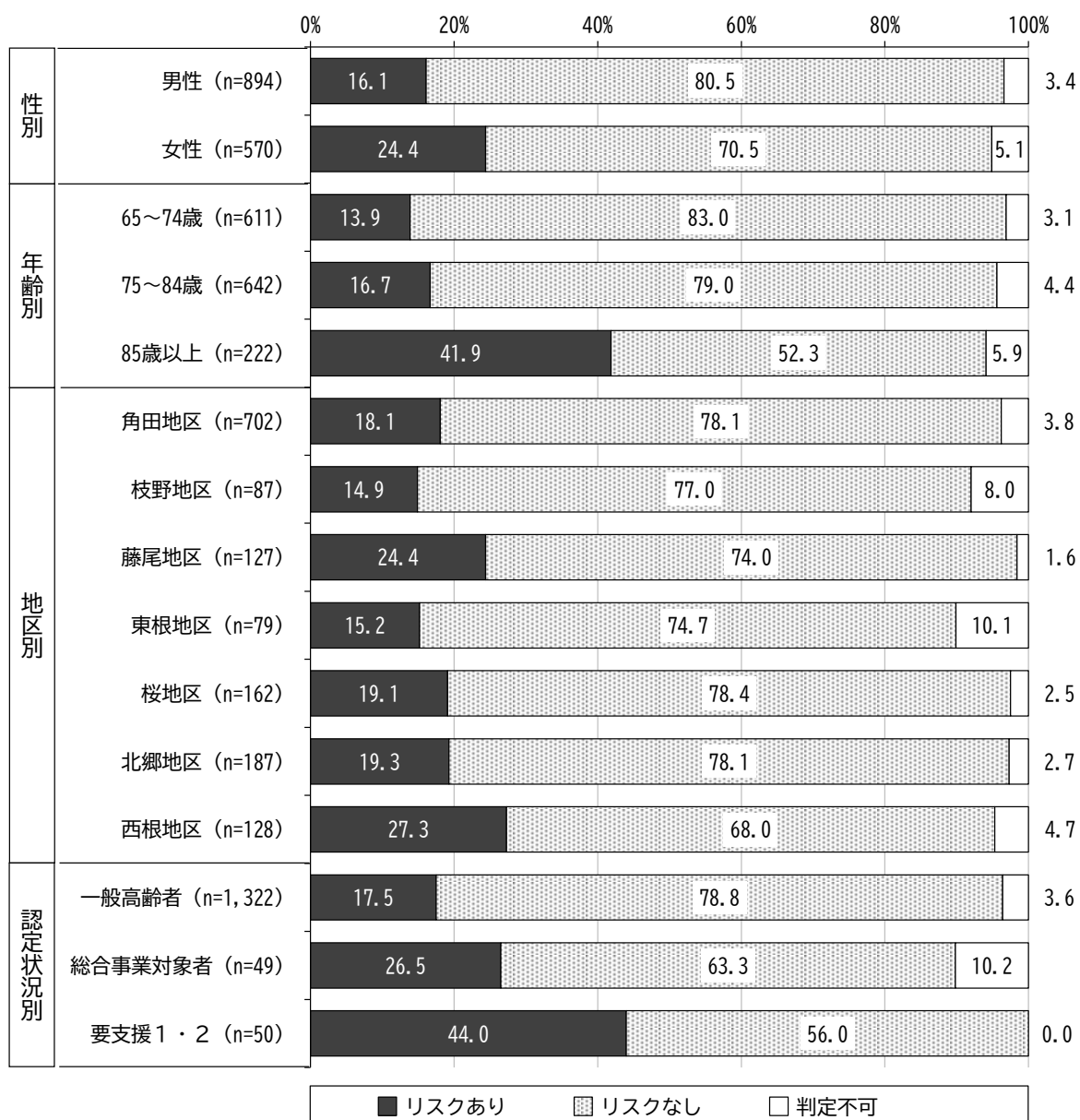
基本チェックリストに基づく閉じこもり傾向のリスク者割合については、全体で 19.4%となっています。

令和4年調査と比較すると、5.2 ポイント減少しています。



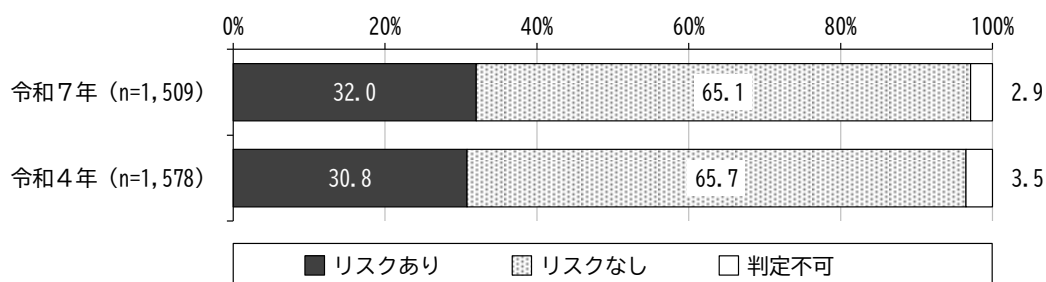
性別・年齢別・地区別にみると、すべての区分で「リスクなし」が多くなっています。

認定状況別にみると、すべての区分で「リスクなし」が多くなっており、閉じこもり傾向のリスク者割合は一般高齢者で 17.5%、総合事業対象者で 26.5%、要支援1・2で 44.0%となっています。



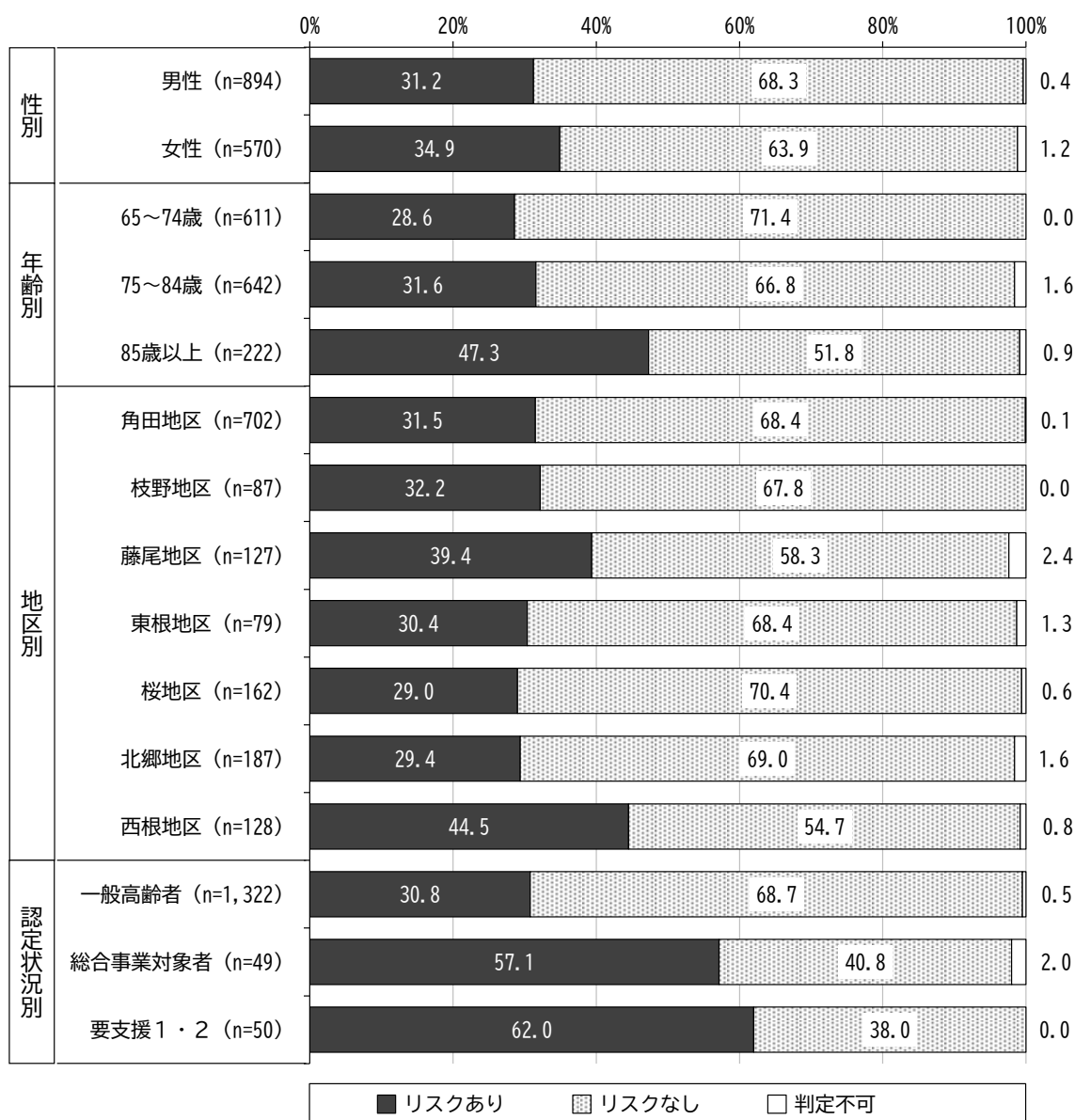
(4) 転倒のリスク

基本チェックリストに基づく転倒のリスク者割合については、全体で 32.0%となっています。
令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



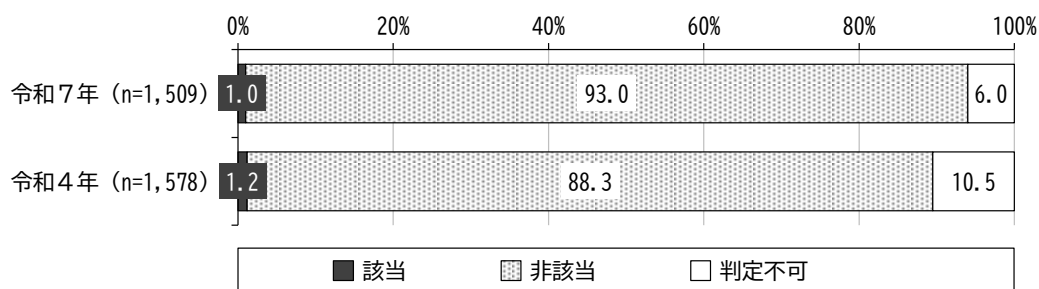
性別・年齢別・地区別にみると、すべての区分で「リスクなし」が多くなっています。

認定状況別にみると、一般高齢者で「リスクなし」、それ以外の区分で「リスクあり」が多くなっており、転倒のリスク者割合は一般高齢者で 30.8%、総合事業対象者で 57.1%、要支援1・2で 62.0%となっています。



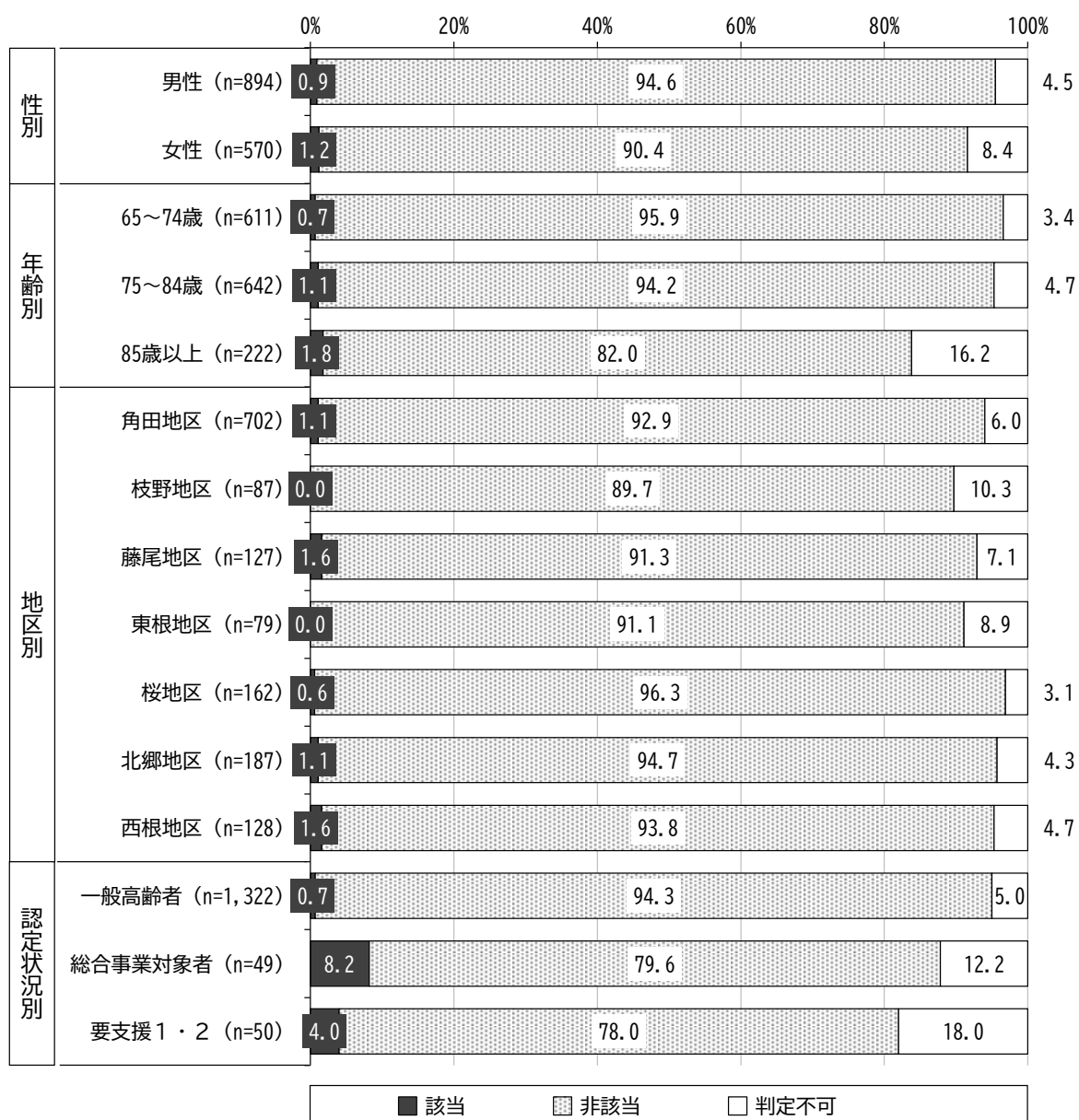
(5) 低栄養の傾向

基本チェックリストに基づく低栄養の傾向の該当者割合については、全体で 1.0%となっています。
令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



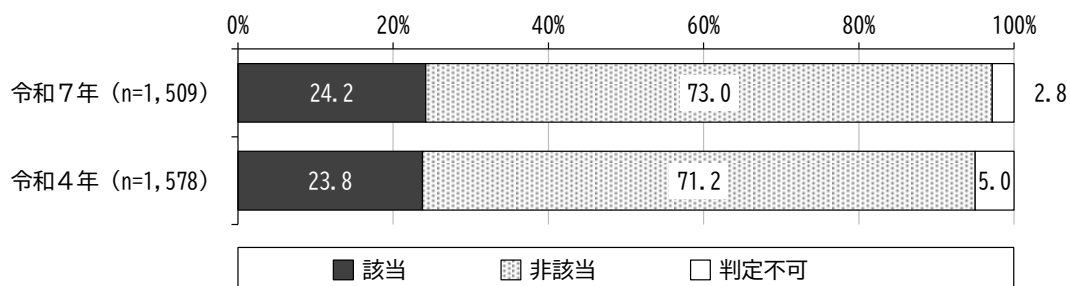
性別・年齢別・地区別にみると、すべての区分で「非該当」が多くなっています。

認定状況別にみると、すべての区分で「非該当」が多くなっており、低栄養の傾向の該当者割合は一般高齢者で 0.7%、総合事業対象者で 8.2%、要支援 1・2 で 4.0%となっています。



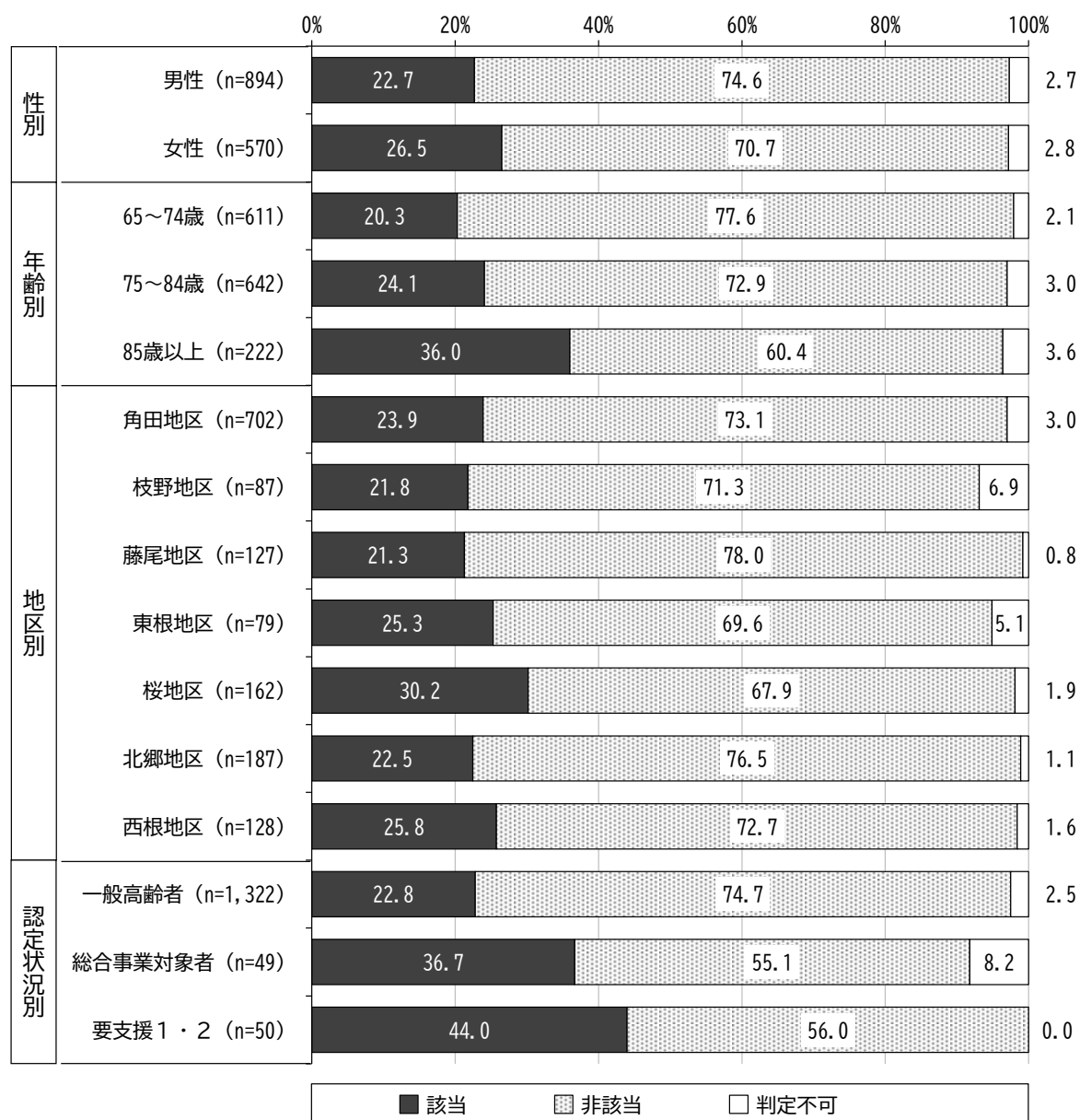
(6) 口腔機能の低下

基本チェックリストに基づく口腔機能の低下の該当者割合については、全体で 24.2%となっています。令和 4 年調査とおおむね同様の傾向となっています。



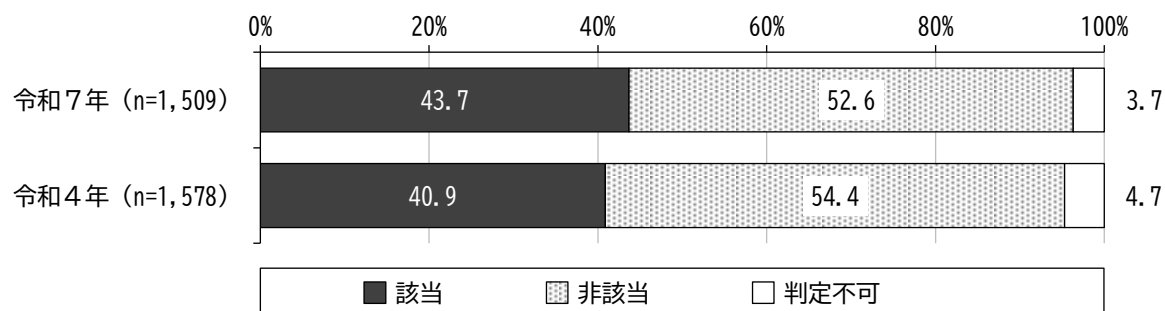
性別・年齢別・地区別にみると、すべての区分で「非該当」が多くなっています。

認定状況別にみると、すべての区分で「非該当」が多くなっており、口腔機能の低下の該当者割合は一般高齢者で 22.8%、総合事業対象者で 36.7%、要支援 1・2 で 44.0%となっています。



(7) 認知機能の低下

基本チェックリストに基づく認知機能の低下の該当者割合については、全体で 43.7%となっています。
令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。

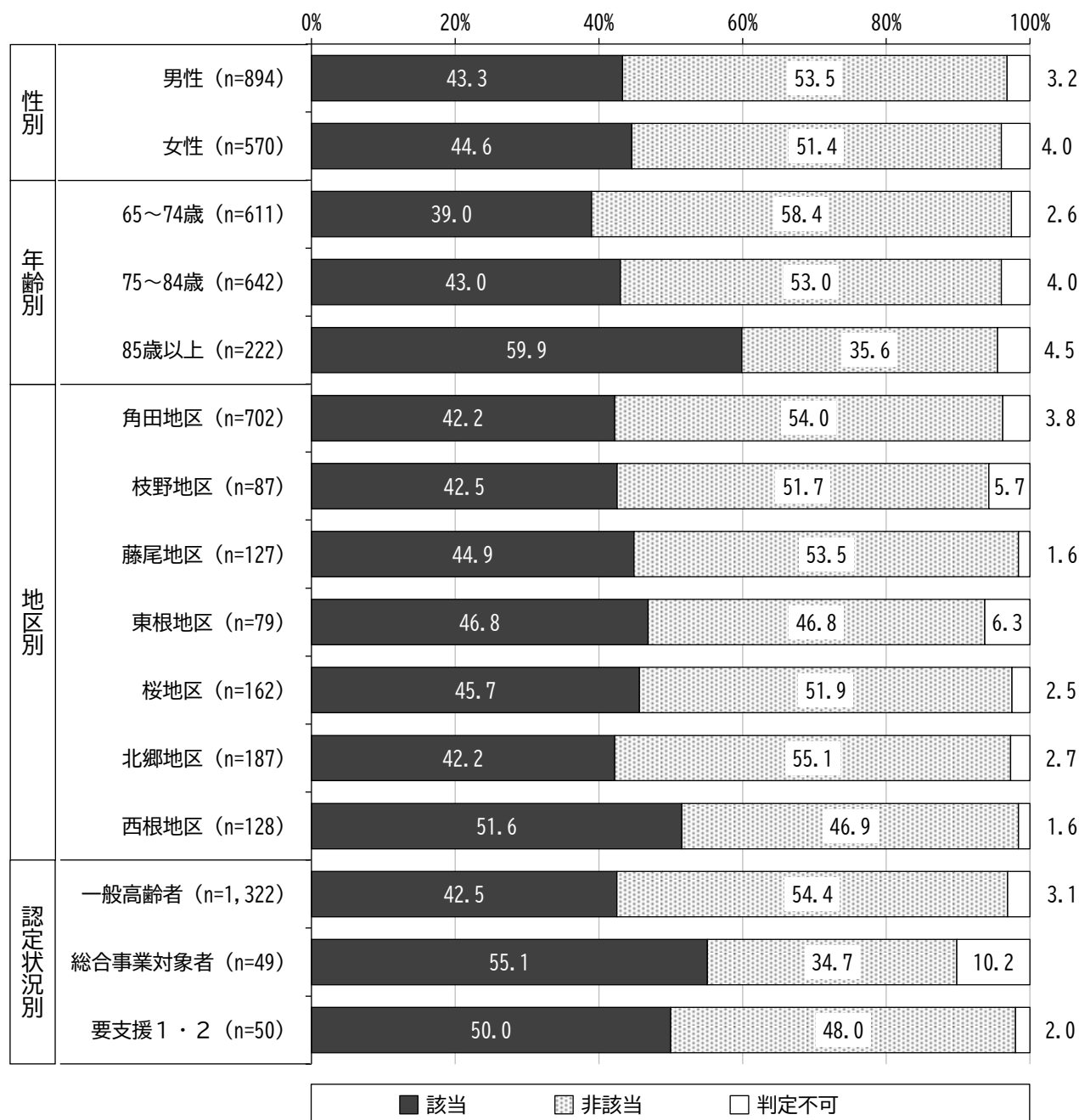


性別にみると、男女ともに「非該当」が多くなっています。

年齢別にみると、85歳以上で「該当」、それ以外の年齢で「非該当」が多くなっています。

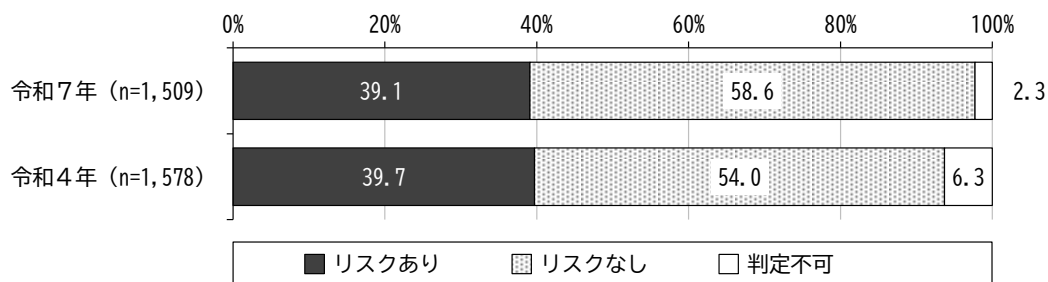
地区別にみると、東根地区で「該当」と「非該当」が同率となっています。また、西根地区で「該当」、それ以外の地区で「非該当」が多くなっています。

認定状況別にみると、一般高齢者で「非該当」、それ以外の区分で「該当」が多くなっており、認知機能の低下の該当者割合は一般高齢者で42.5%、総合事業対象者で55.1%、要支援1・2で50.0%となっています。



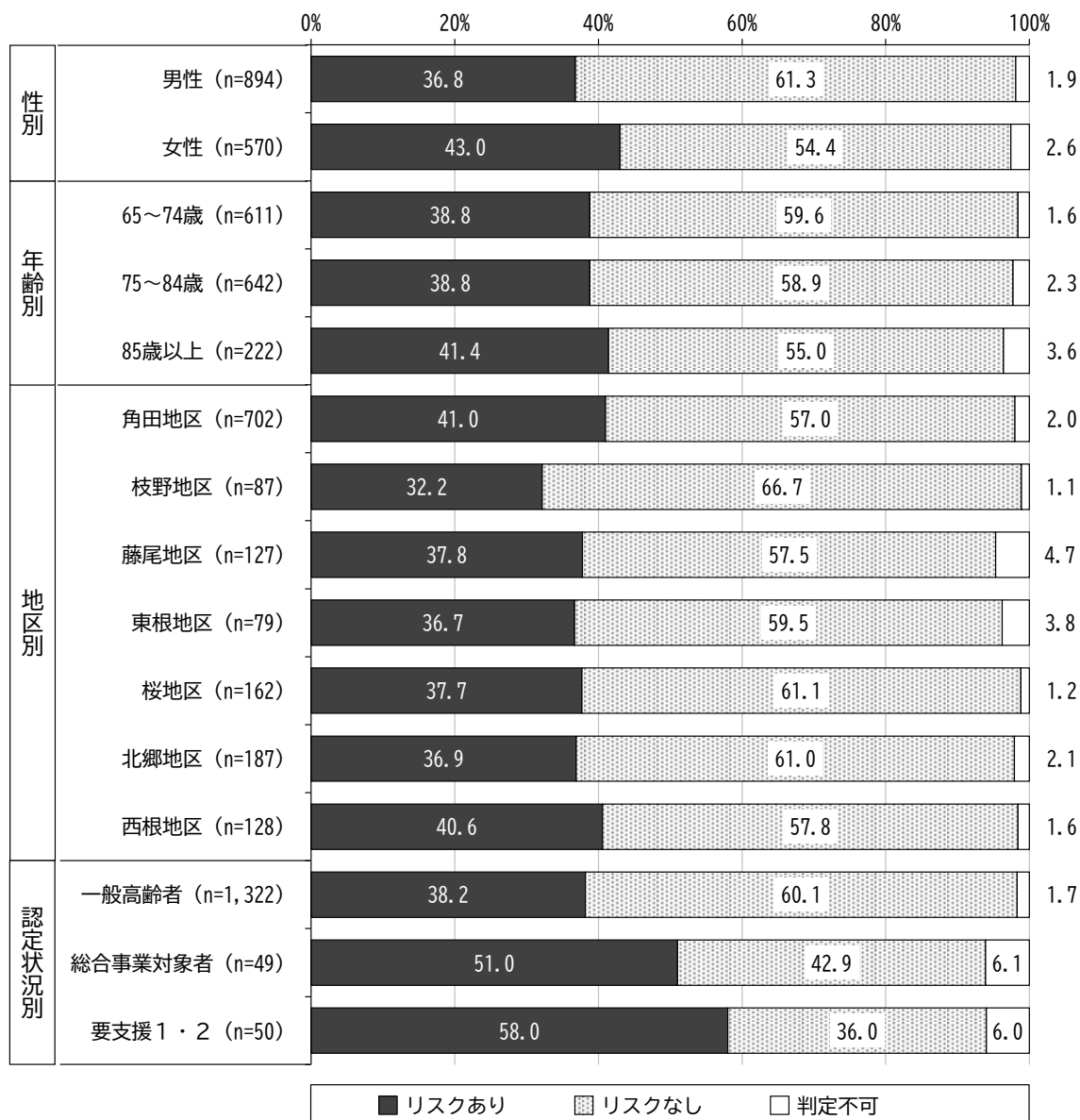
(8) うつ傾向

基本チェックリストに基づくうつ傾向のリスク者割合については、全体で 39.1%となっています。
令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



性別・年齢別・地区別にみると、すべての区分で「リスクなし」が多くなっています。

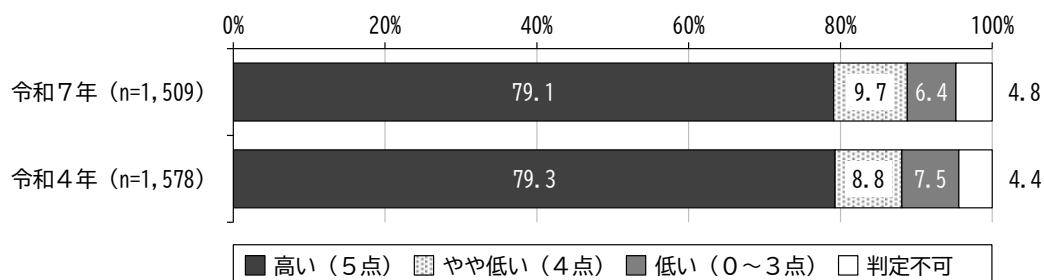
認定状況別にみると、一般高齢者で「リスクなし」、それ以外の区分で「リスクあり」が多くなっており、うつ傾向のリスク者割合は一般高齢者で 38.2%、総合事業対象者で 51.0%、要支援1・2で 58.0%となっています。



(9) 手段的自立度 (IADL) ※

手段的自立度 (IADL) については、全体で4点以下の割合が16.1%となっています。

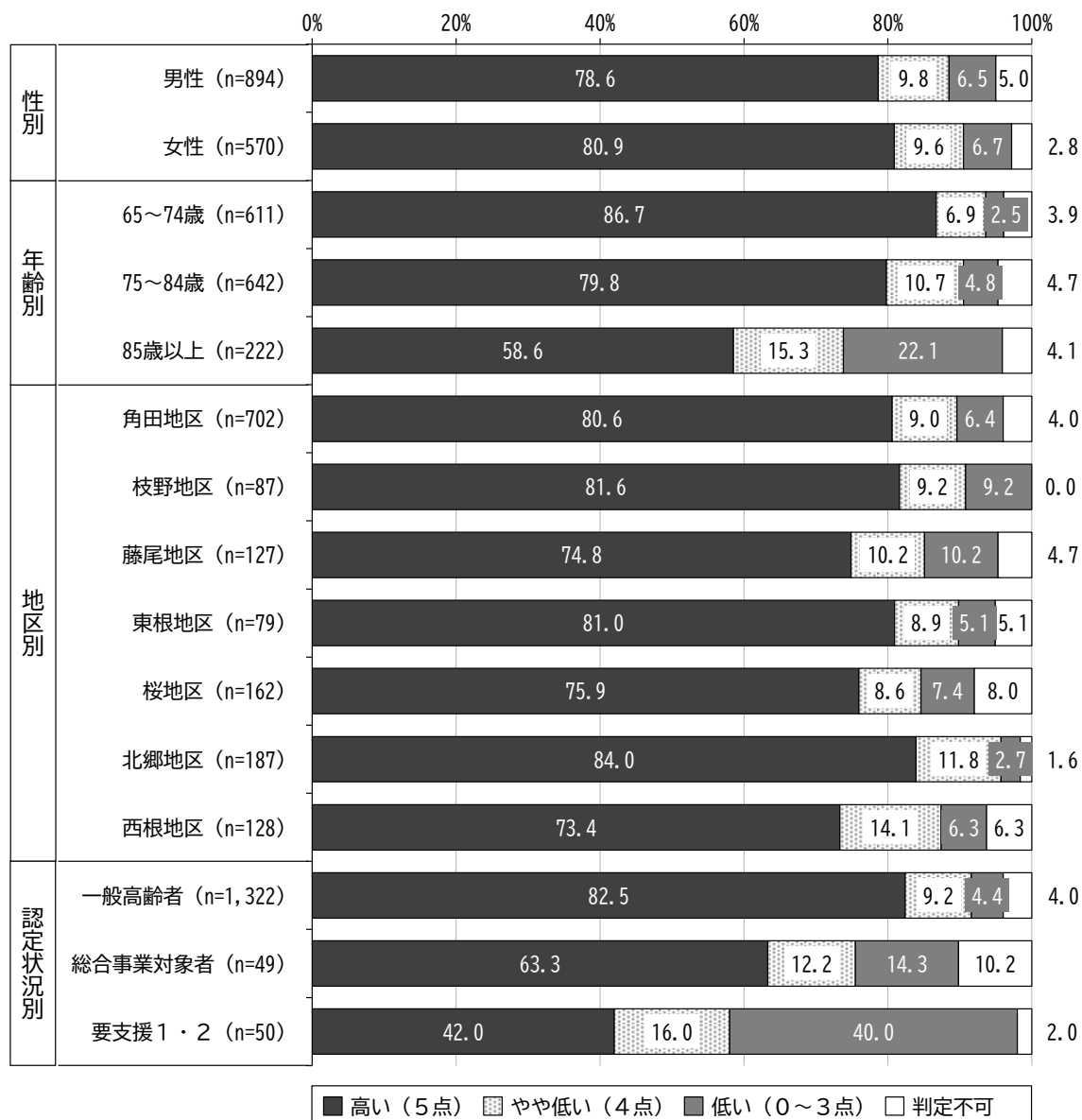
令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



※「掃除・料理・洗濯・買い物などの家事や交通機関の利用、電話対応などのコミュニケーション、スケジュール調整、服薬管理、金銭管理、趣味」などの複雑な日常生活動作の程度を表しています。

性別・年齢別・地区別にみると、すべての区分で「高い (5点)」が最も多くなっています。

認定状況別にみると、すべての区分で「高い (5点)」が最も多くなり、4点以下の割合は一般高齢者で13.6%、総合事業対象者で26.5%、要支援1・2で56.0%となっています。

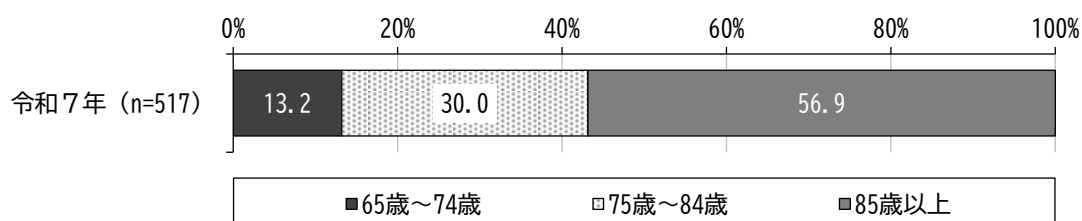


第4章 在宅介護実態調査結果

1 あなた（あて名のご本人）について

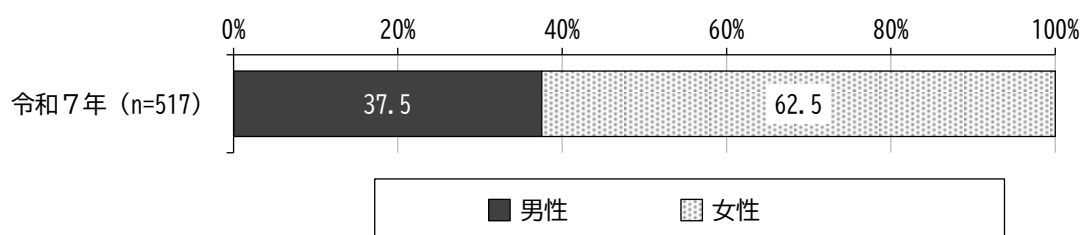
年齢（要介護認定データを基に集計）

回答者の年齢については、「85歳以上」が56.9%と最も多く、次いで「75～84歳」が30.0%、「65～74歳」が13.2%となっています。



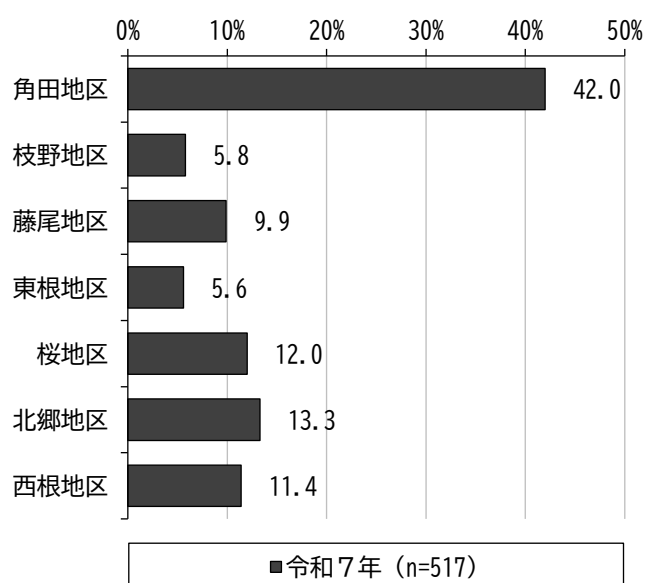
性別（要介護認定データを基に集計）

回答者の性別については、「男性」が37.5%、「女性」が62.5%となっています。



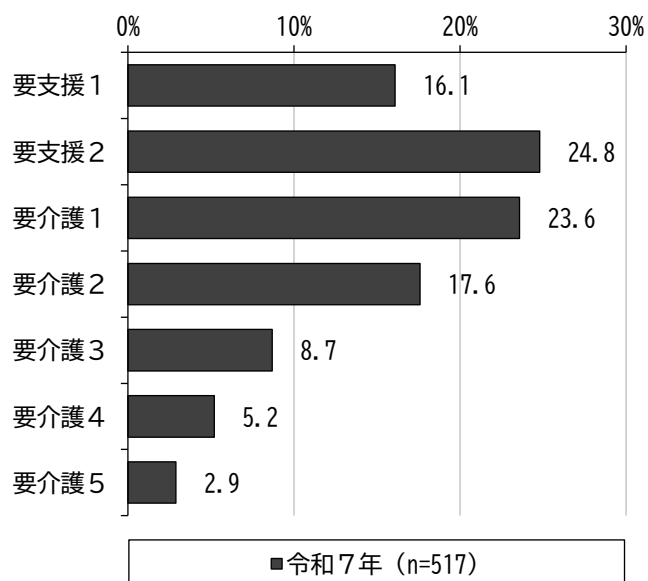
地区（要介護認定データを基に集計）

回答者の地区については、「角田地区」が42.0%と最も多く、次いで「北郷地区」が13.3%、「桜地区」が12.0%となっています。



要支援・要介護認定状況（要介護認定データを基に集計）

回答者の要支援・要介護認定状況については、「要支援2」が24.8%と最も多く、次いで「要介護1」が23.6%、「要介護2」が17.6%となっています。



性別にみると、男性で「要支援2」、女性で「要介護1」が最も多くなっています。

年齢別にみると、85歳以上で「要介護1」、それ以外の年齢で「要支援2」が最も多くなっています。

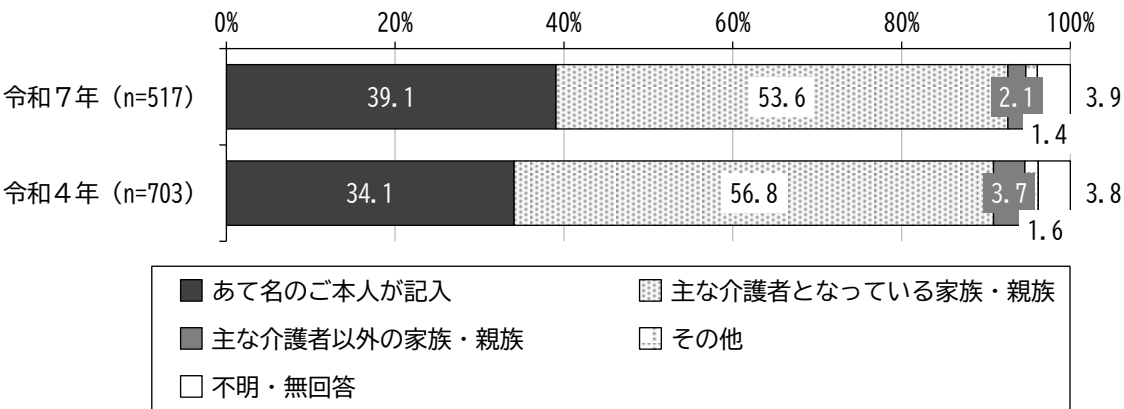
地区別にみると、角田地区、北郷地区で「要支援2」、枝野地区、東根地区、桜地区で「要介護1」、藤尾地区で「要支援2」「要介護1」、西根地区で「要介護2」が最も多くなっています。

単位：%		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	不明・無回答
全体 (n=517)		16.1	24.8	23.6	17.6	8.7	5.2	2.9	1.2
性別	男性 (n=194)	12.4	28.4	20.1	20.6	10.8	4.6	2.1	1.0
	女性 (n=323)	18.3	22.6	25.7	15.8	7.4	5.6	3.4	1.2
年齢別	65歳～74歳 (n=68)	20.6	33.8	7.4	17.6	10.3	2.9	5.9	1.5
	75歳～84歳 (n=155)	18.7	29.0	21.9	14.2	10.3	3.2	1.3	1.3
	85歳以上 (n=294)	13.6	20.4	28.2	19.4	7.5	6.8	3.1	1.0
地区別	角田地区 (n=217)	13.8	26.7	23.0	16.6	10.1	6.0	2.8	0.9
	枝野地区 (n=30)	26.7	10.0	30.0	13.3	6.7	6.7	6.7	0.0
	藤尾地区 (n=51)	17.6	27.5	27.5	9.8	9.8	2.0	3.9	2.0
	東根地区 (n=29)	10.3	20.7	34.5	20.7	3.4	10.3	0.0	0.0
	桜地区 (n=62)	21.0	19.4	22.6	21.0	11.3	3.2	0.0	1.6
	北郷地区 (n=69)	13.0	30.4	21.7	17.4	8.7	4.3	2.9	1.4
	西根地区 (n=59)	18.6	23.7	16.9	25.4	3.4	5.1	5.1	1.7

問1 この調査票に記入されたのは、どなたですか。(単数回答)

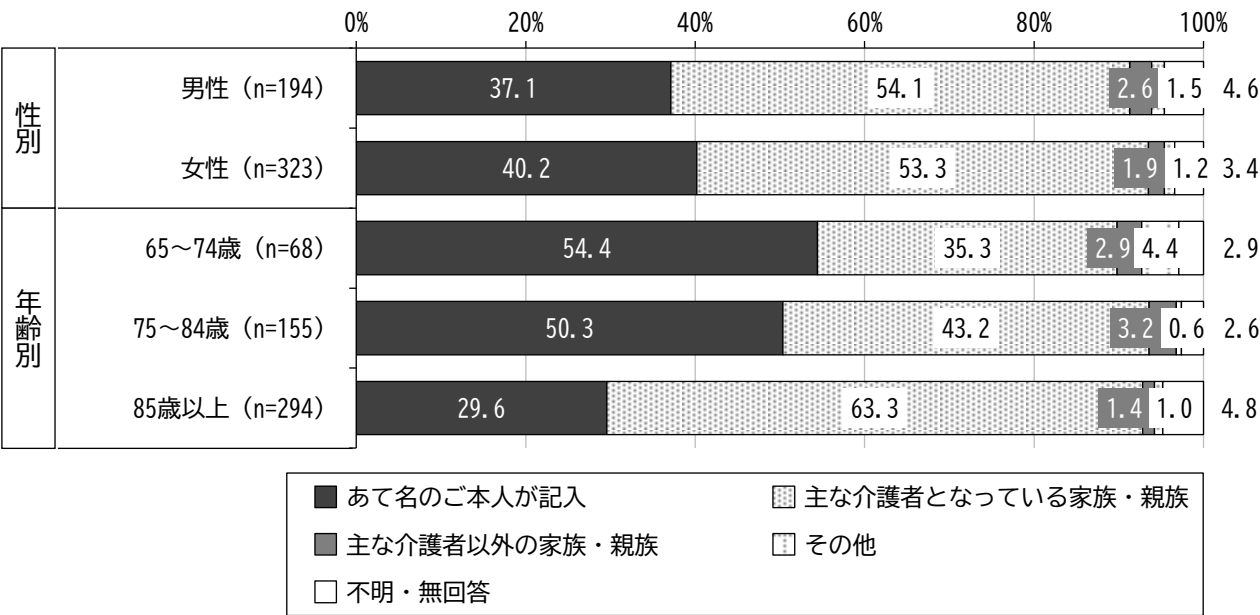
調査票の記入者については、「主な介護者となっている家族・親族」が53.6%と最も多く、次いで「あて名のご本人が記入」が39.1%、「主な介護者以外の家族・親族」が2.1%となっています。

令和4年調査と比較すると、「あて名のご本人が記入」が5.0ポイント増加しています。



性別にみると、男女ともに「主な介護者となっている家族・親族」が最も多くなっています。

年齢別にみると、85歳以上で「主な介護者となっている家族・親族」、それ以外の年齢で「あて名のご本人が記入」が最も多くなっています。



●主な内容(その他)

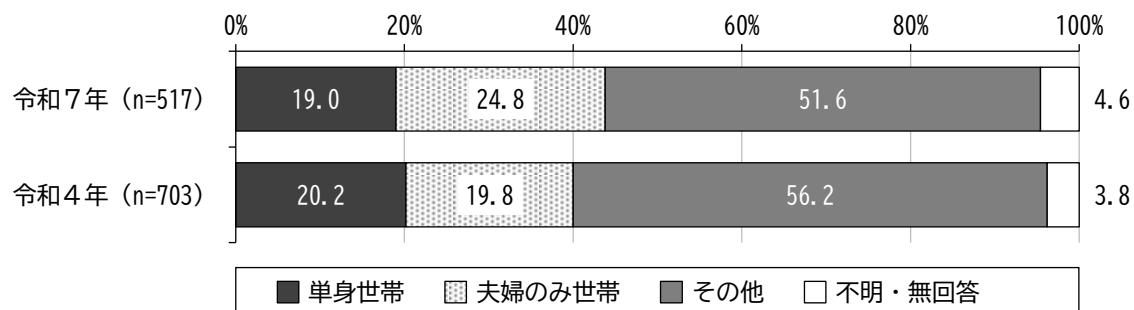
・ケアマネジャー ・補佐人 等

2 あなた（あて名のご本人）のご家族や介護状況について

問1 世帯類型について、ご回答ください。（単数回答）

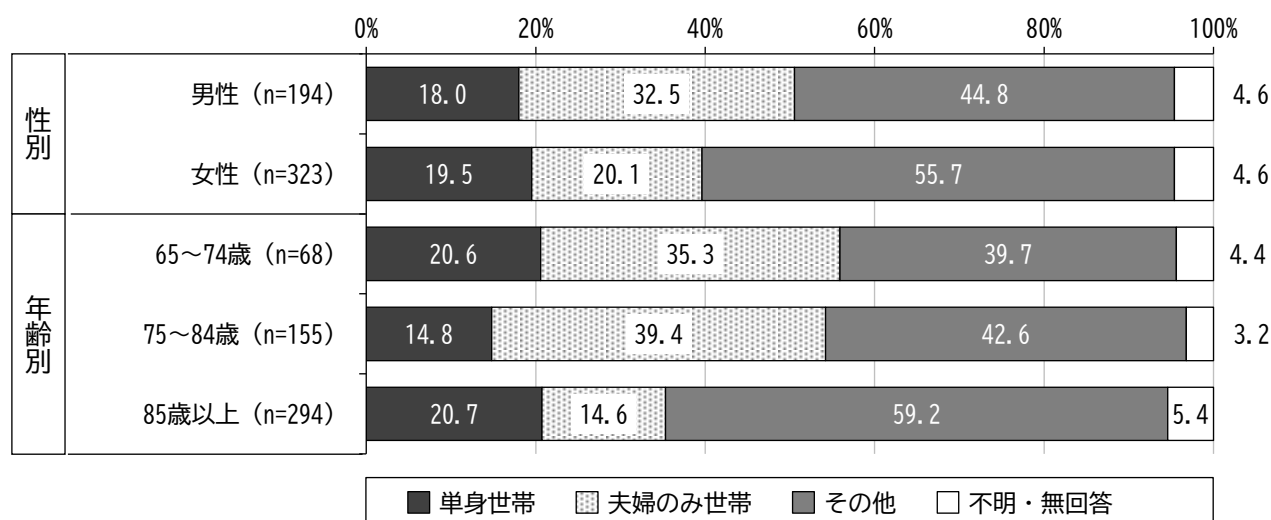
調査対象者の世帯類型については、「夫婦のみ世帯」が24.8%と最も多く、次いで「単身世帯」が19.0%となっています。

令和4年調査と比較すると、「夫婦のみ世帯」が5.0ポイント増加しています。



性別にみると、男女ともに「夫婦のみ世帯」が最も多くなっています。

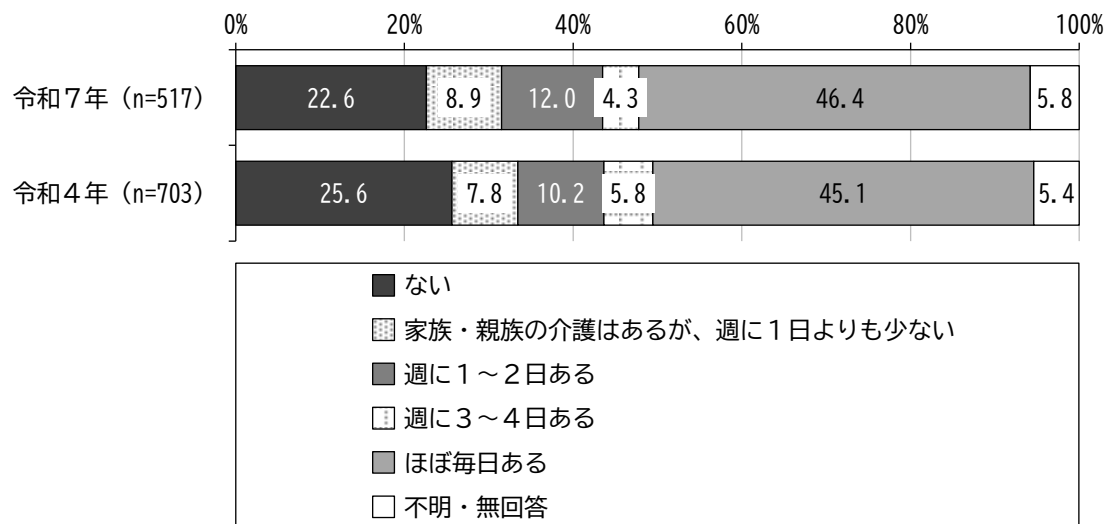
年齢別にみると、85歳以上で「単身世帯」、それ以外の年齢で「夫婦のみ世帯」が最も多くなっています。



問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(単数回答)

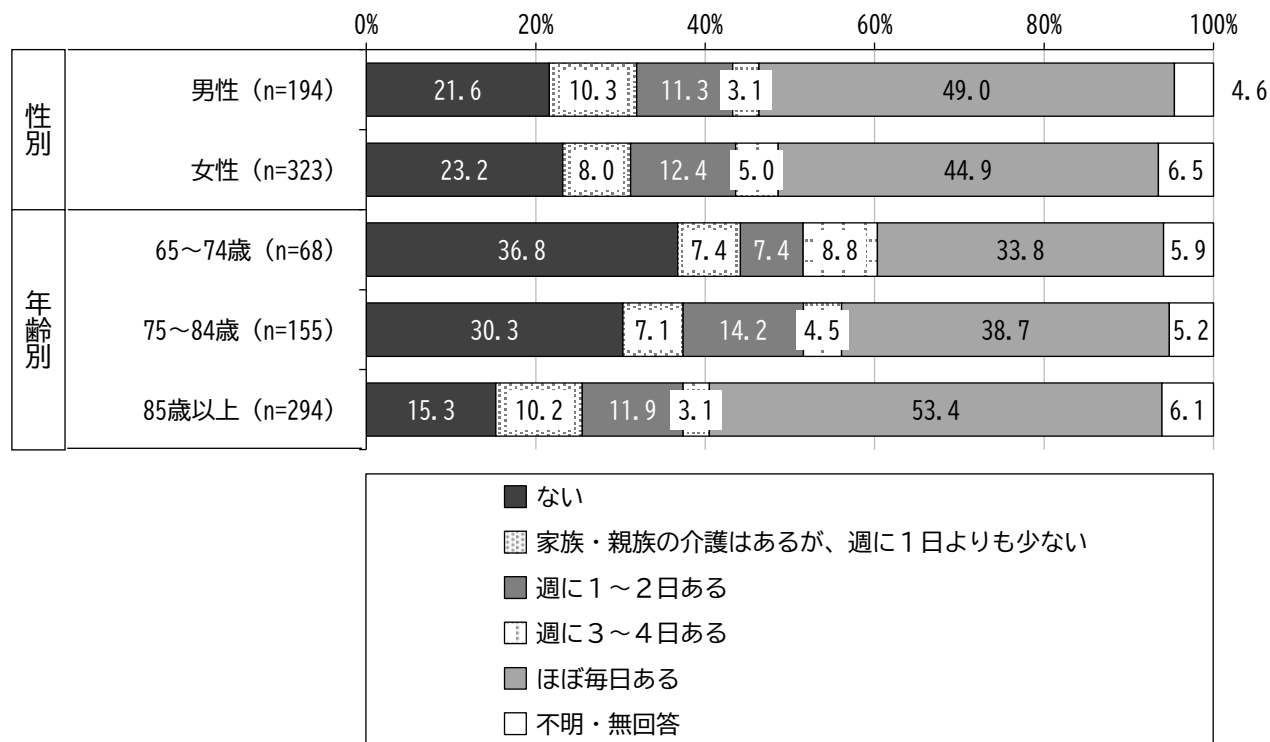
家族・親族からの介護の頻度については、「ほぼ毎日ある」が46.4%と最も多く、次いで「ない」が22.6%、「週に1～2日ある」が12.0%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



性別にみると、男女ともに「ほぼ毎日ある」が最も多くなっています。

年齢別にみると、65～74歳で「ない」、それ以外の年齢で「ほぼ毎日ある」が最も多くなっています。

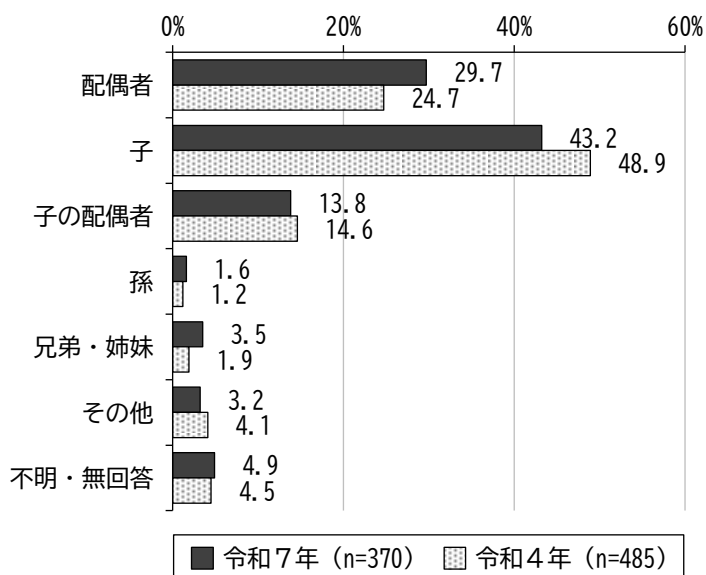


【問2で「ない」以外と回答した方のみ（家族・親族からの介護がある方のみ）】

問3 主な介護者の方は、どなたですか。（単数回答）

主な介護者の方については、「子」が43.2%と最も多く、次いで「配偶者」が29.7%、「子の配偶者」が13.8%となっています。

令和4年調査と比較すると、「子」が5.7ポイント減少し、「配偶者」が5.0ポイント増加しています。



性別にみると、男性で「配偶者」、女性で「子」が最も多くなっています。

年齢別にみると、85歳以上で「子」、それ以外の年齢で「配偶者」が最も多くなっています。

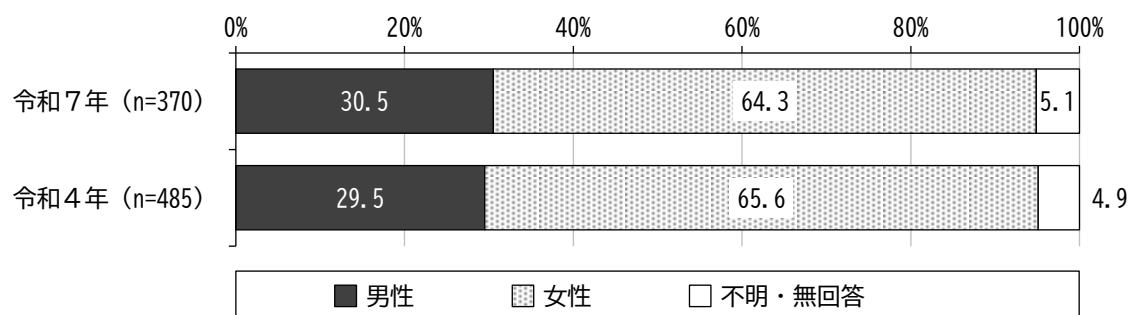
単位：％		配偶者	子	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	不明・無回答
全体 (n=370)		29.7	43.2	13.8	1.6	3.5	3.2	4.9
性別	男性 (n=143)	49.7	28.7	7.0	0.0	4.9	4.2	5.6
	女性 (n=227)	17.2	52.4	18.1	2.6	2.6	2.6	4.4
年齢別	65～74歳 (n=39)	53.8	20.5	0.0	0.0	12.8	5.1	7.7
	75～84歳 (n=100)	52.0	33.0	5.0	0.0	4.0	2.0	4.0
	85歳以上 (n=231)	16.0	51.5	19.9	2.6	1.7	3.5	4.8

【問2で「ない」以外と回答した方のみ（家族・親族からの介護がある方のみ）】

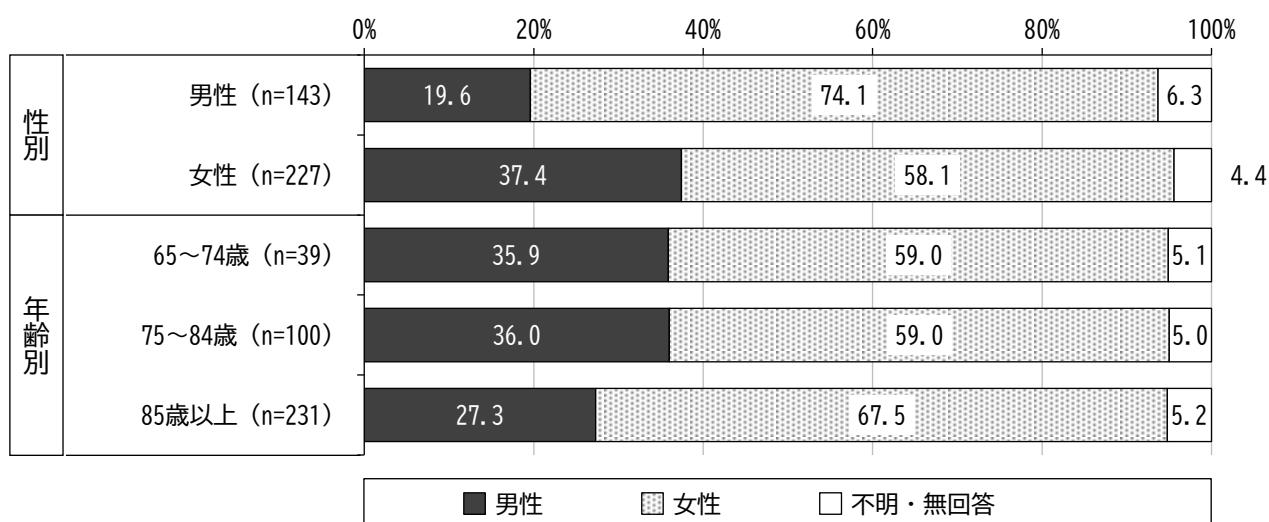
問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。（単数回答）

主な介護者の方の性別については、「男性」が30.5%、「女性」が64.3%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



性別・年齢別にみると、すべての区分で「女性」が多くなっています。

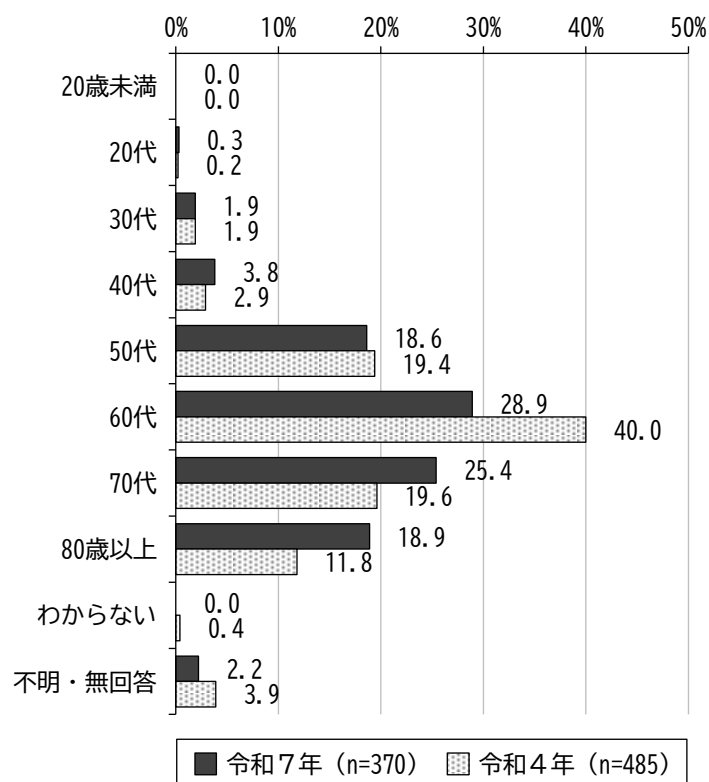


【問2で「ない」以外と回答した方のみ（家族・親族からの介護がある方のみ）】

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。（単数回答）

主な介護者の方の年齢については、「60代」が28.9%と最も多く、次いで「70代」が25.4%、「80歳以上」が18.9%となっています。

令和4年調査と比較すると、「60代」が11.1ポイント減少し、「80歳以上」が7.1ポイント増加しています。



性別にみると、男性で「70代」、女性で「60代」が最も多くなっています。

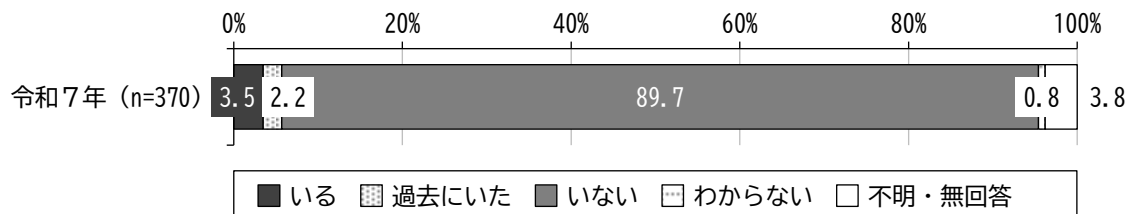
年齢別にみると、85歳以上で「60代」、それ以外の年齢で「70代」が最も多くなっています。

単位：％		20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	わからない	不明・無回答
全体 (n=370)		0.0	0.3	1.9	3.8	18.6	28.9	25.4	18.9	0.0	2.2
性別	男性 (n=143)	0.0	0.7	0.7	2.1	16.1	19.6	35.7	23.1	0.0	2.1
	女性 (n=227)	0.0	0.0	2.6	4.8	20.3	34.8	18.9	16.3	0.0	2.2
年齢別	65～74歳 (n=39)	0.0	2.6	2.6	15.4	5.1	28.2	43.6	0.0	0.0	2.6
	75～84歳 (n=100)	0.0	0.0	1.0	6.0	26.0	2.0	40.0	22.0	0.0	3.0
	85歳以上 (n=231)	0.0	0.0	2.2	0.9	17.7	40.7	16.0	20.8	0.0	1.7

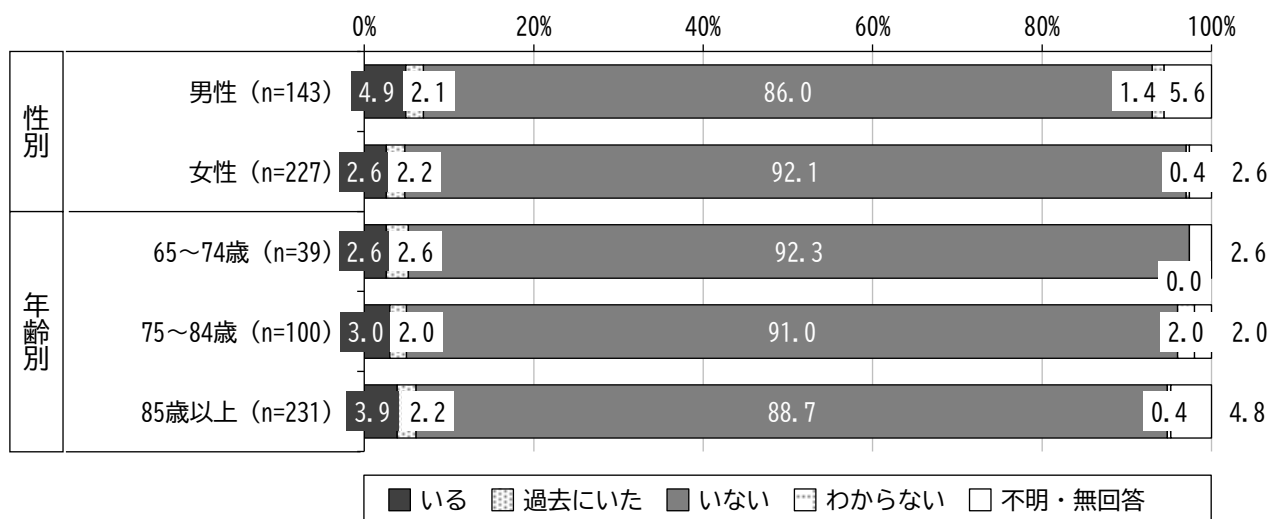
【問2で「ない」以外と回答した方のみ（家族・親族からの介護がある方のみ）】

問6 ご家族の中で、日常的に介護や世話を担っている18歳未満の子どもはいますか。
（単数回答）

ご家族の中で、日常的に介護や世話を担っている18歳未満の子どもがいるかについては、「いない」が89.7%と最も多く、次いで「いる」が3.5%、「過去にいた」が2.2%となっています。



性別・年齢別にみると、すべての区分で「いない」が最も多くなっています。

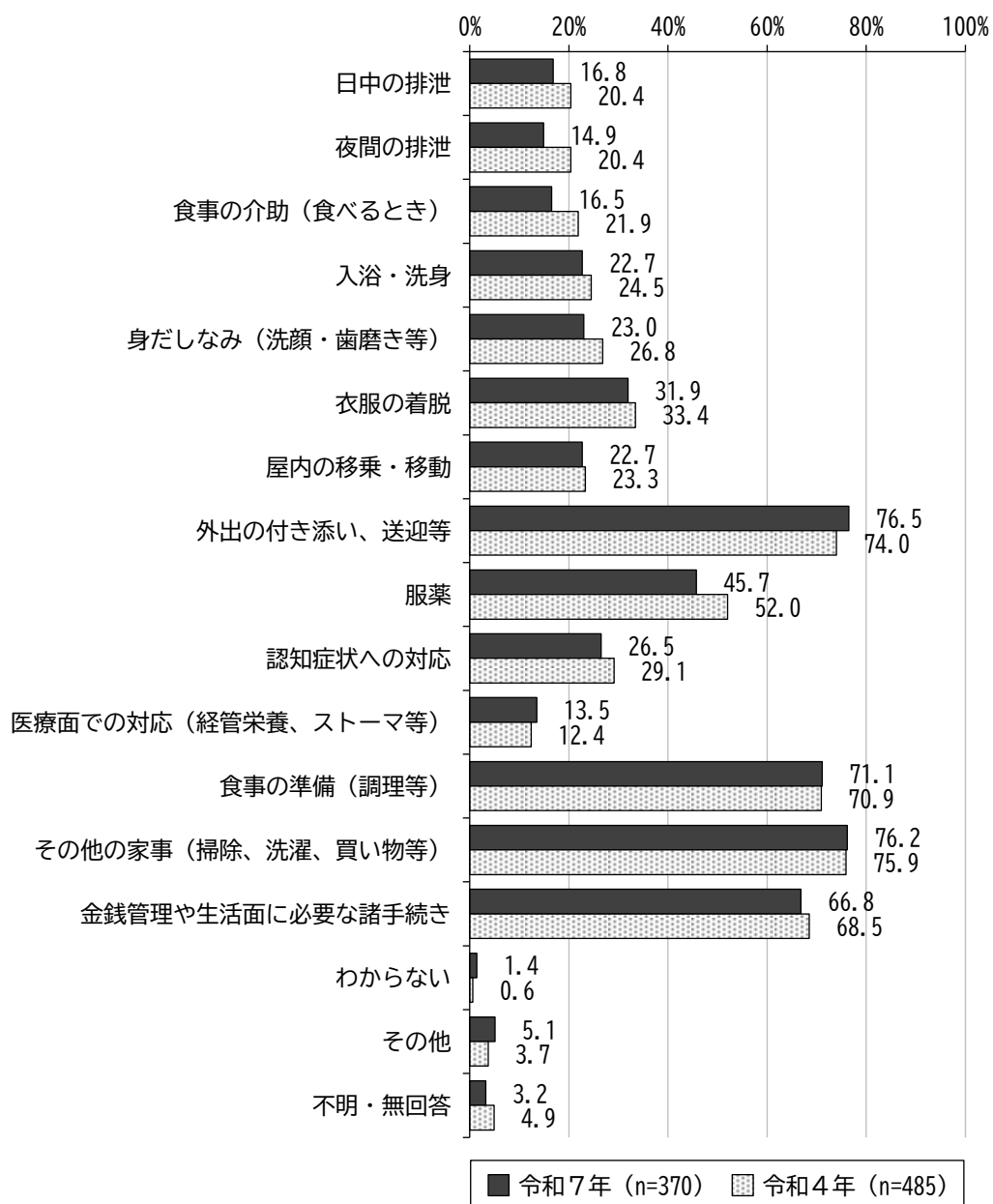


【問2で「ない」以外と回答した方のみ（家族・親族からの介護がある方のみ）】

問7 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。
（複数回答）

現在、主な介護者の方が行っている介護等については、「外出の付き添い、送迎等」が76.5%と最も多く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が76.2%、「食事の準備（調理等）」が71.1%となっています。

令和4年調査と比較すると、「服薬」が6.3ポイント、「夜間の排泄」が5.5ポイント減少しています。



性別にみると、男性で「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」、女性で「外出の付き添い、送迎等」が最も多くなっています。

年齢別にみると、75～84 歳で「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」、それ以外の年齢で「外出の付き添い、送迎等」が最も多くなっています。

単位：％		日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる とき）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・ 歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送 迎等	服薬
全体（n=370）		16.8	14.9	16.5	22.7	23.0	31.9	22.7	76.5	45.7
性別	男性（n=143）	16.8	18.2	18.2	30.8	25.9	46.9	18.9	76.2	43.4
	女性（n=227）	16.7	12.8	15.4	17.6	21.1	22.5	25.1	76.7	47.1
年齢別	65～74歳（n=39）	12.8	15.4	12.8	35.9	23.1	28.2	15.4	71.8	38.5
	75～84歳（n=100）	17.0	15.0	12.0	24.0	21.0	34.0	22.0	71.0	41.0
	85歳以上（n=231）	17.3	14.7	19.0	19.9	23.8	31.6	24.2	79.7	48.9

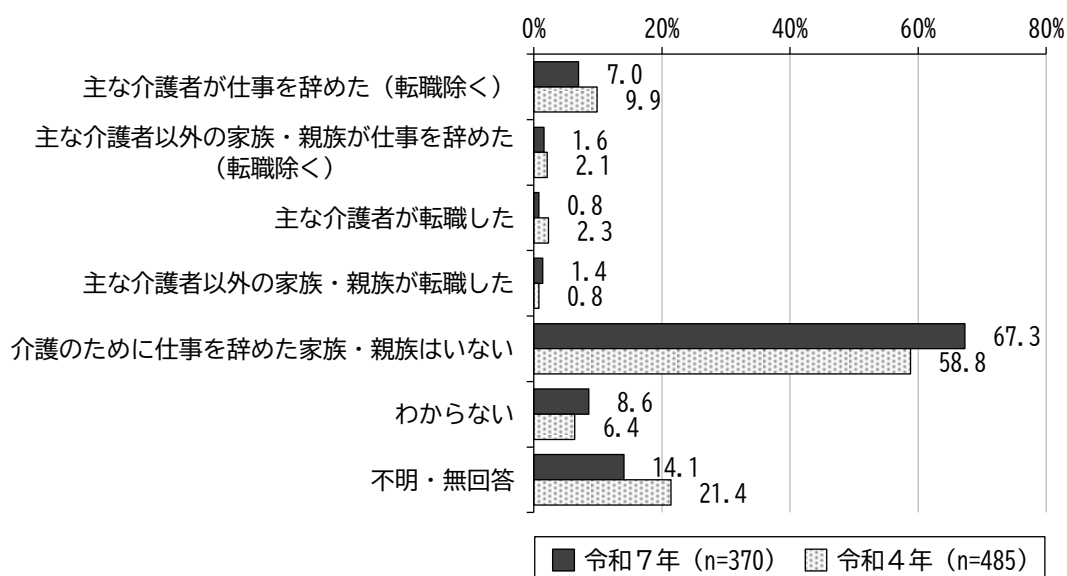
単位：％		認知症状への対応	医療面での対応（経管 栄養、ストーマ等）	食事の準備（調理等）	洗濯、その他の家事（掃除、 買い物等）	金銭管理や生活面に必 要な諸手続き	わからない	その他	不明・無回答
全体（n=370）		26.5	13.5	71.1	76.2	66.8	1.4	5.1	3.2
性別	男性（n=143）	23.1	11.9	74.8	78.3	65.0	1.4	5.6	3.5
	女性（n=227）	28.6	14.5	68.7	74.9	67.8	1.3	4.8	3.1
年齢別	65～74歳（n=39）	12.8	12.8	64.1	69.2	53.8	2.6	10.3	2.6
	75～84歳（n=100）	29.0	10.0	69.0	76.0	67.0	2.0	6.0	5.0
	85歳以上（n=231）	27.7	15.2	73.2	77.5	68.8	0.9	3.9	2.6

【問2で「ない」以外と回答した方のみ（家族・親族からの介護がある方のみ）】

問8 ご家族やご親族の中で、あなたの介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。（複数回答）

家族・親族の中で介護を主な理由として仕事を辞めた方の有無については、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が67.3%と最も多く、次いで「わからない」が8.6%、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が7.0%となっています。

令和4年調査と比較すると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が8.5ポイント増加しています。



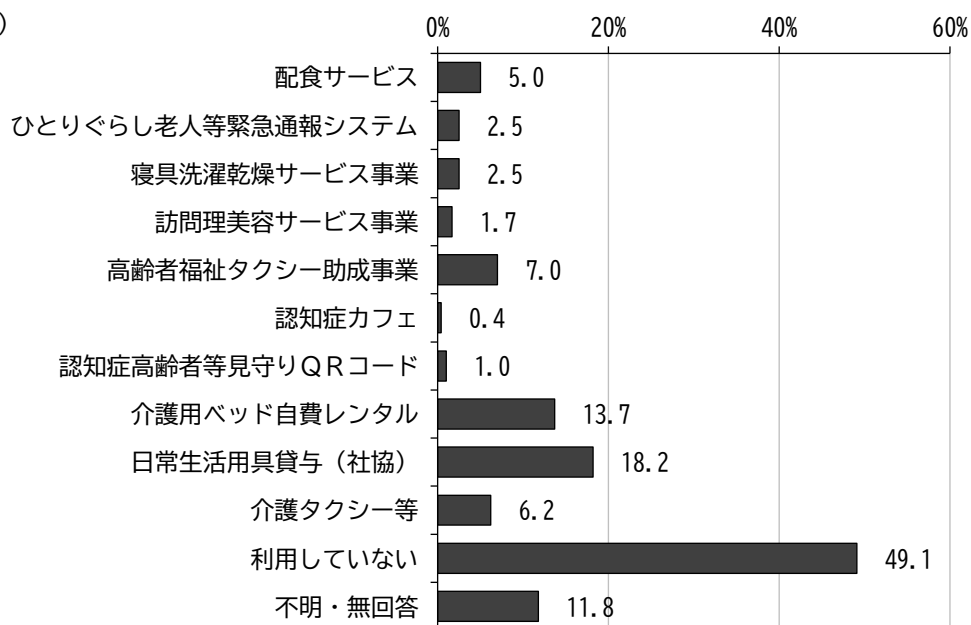
性別・年齢別にみると、すべての区分で「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が最も多くなっています。

単位：%		主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	わからない	不明・無回答
全体 (n=370)		7.0	1.6	0.8	1.4	67.3	8.6	14.1
性別	男性 (n=143)	2.8	2.1	1.4	2.1	65.0	10.5	16.8
	女性 (n=227)	9.7	1.3	0.4	0.9	68.7	7.5	12.3
年齢別	65～74歳 (n=39)	5.1	0.0	0.0	2.6	66.7	12.8	12.8
	75～84歳 (n=100)	3.0	2.0	3.0	2.0	66.0	11.0	14.0
	85歳以上 (n=231)	9.1	1.7	0.0	0.9	68.0	6.9	14.3

問9 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。（複数回答）

現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについては、「利用していない」が49.1%と最も多く、次いで「日常生活用具貸与（社協）」が18.2%、「介護用ベッド自費レンタル」が13.7%となっています。

令和7年（n=517）



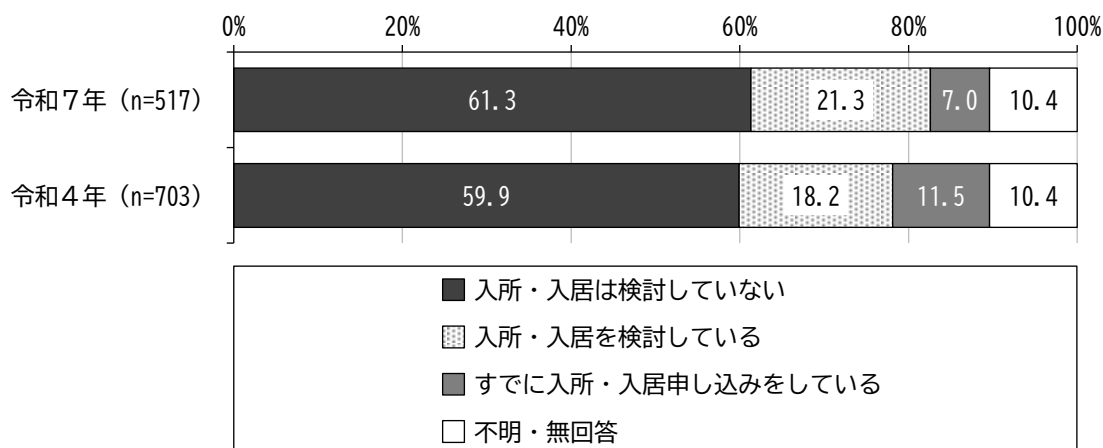
性別・年齢別にみると、すべての区分で「利用していない」が最も多くなっています。

単位：％		配食サービス	ひとりぐらし老人等緊急通報システム	寝具洗濯乾燥サービス	訪問理美容サービス	高齢者福祉タクシー助成事業	認知症カフェ	認知症高齢者等見守りQRコード	介護用ベッド自費レンタル	日常生活用具貸与（社協）	介護タクシー等	利用していない	不明・無回答
全体（n=517）		5.0	2.5	2.5	1.7	7.0	0.4	1.0	13.7	18.2	6.2	49.1	11.8
性別	男性（n=194）	3.6	3.6	1.5	2.1	7.7	1.0	1.0	17.5	18.0	10.3	45.4	12.4
	女性（n=323）	5.9	1.9	3.1	1.5	6.5	0.0	0.9	11.5	18.3	3.7	51.4	11.5
年齢別	65～74歳（n=68）	4.4	1.5	1.5	2.9	4.4	1.5	1.5	16.2	11.8	4.4	52.9	14.7
	75～84歳（n=155）	2.6	1.3	3.9	1.3	7.1	0.0	0.6	14.2	18.1	5.8	49.0	13.5
	85歳以上（n=294）	6.5	3.4	2.0	1.7	7.5	0.3	1.0	12.9	19.7	6.8	48.3	10.2

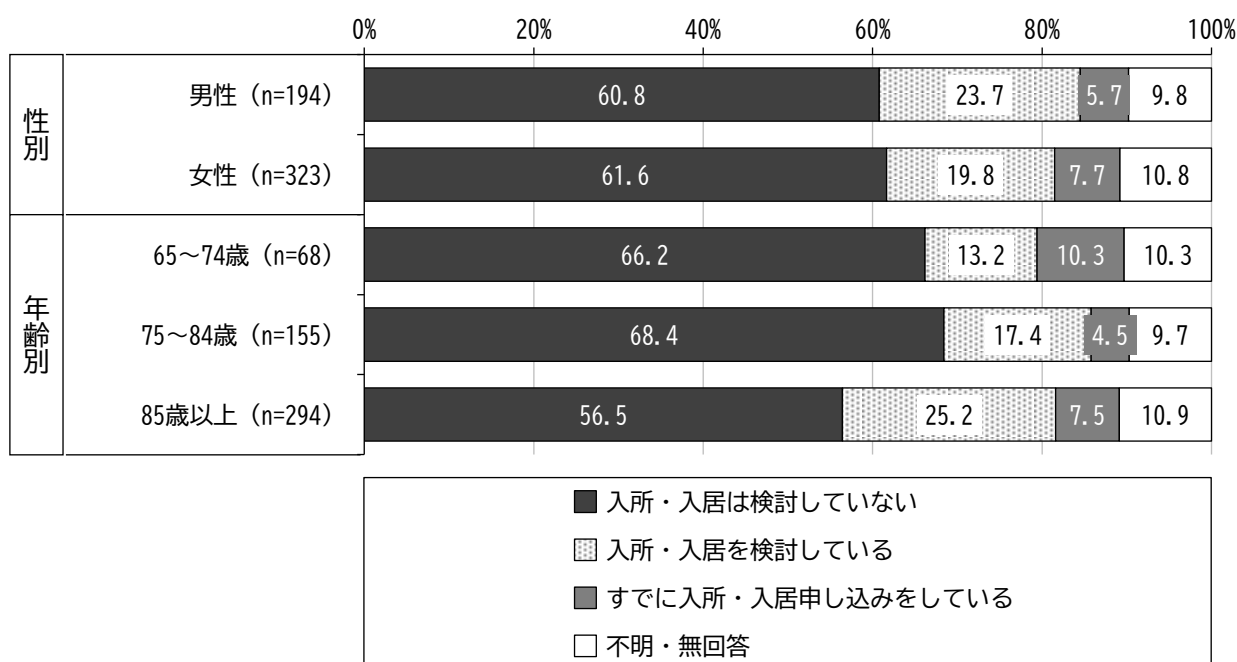
問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。
(単数回答)

現時点での施設等への入所・入居の検討状況については、「入所・入居は検討していない」が61.3%と最も多く、次いで「入所・入居を検討している」が21.3%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が7.0%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



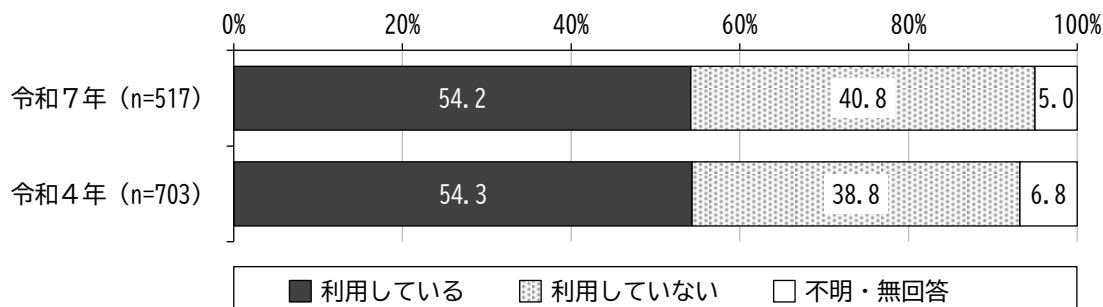
性別・年齢別にみると、すべての区分で「入所・入居は検討していない」が最も多くなっています。



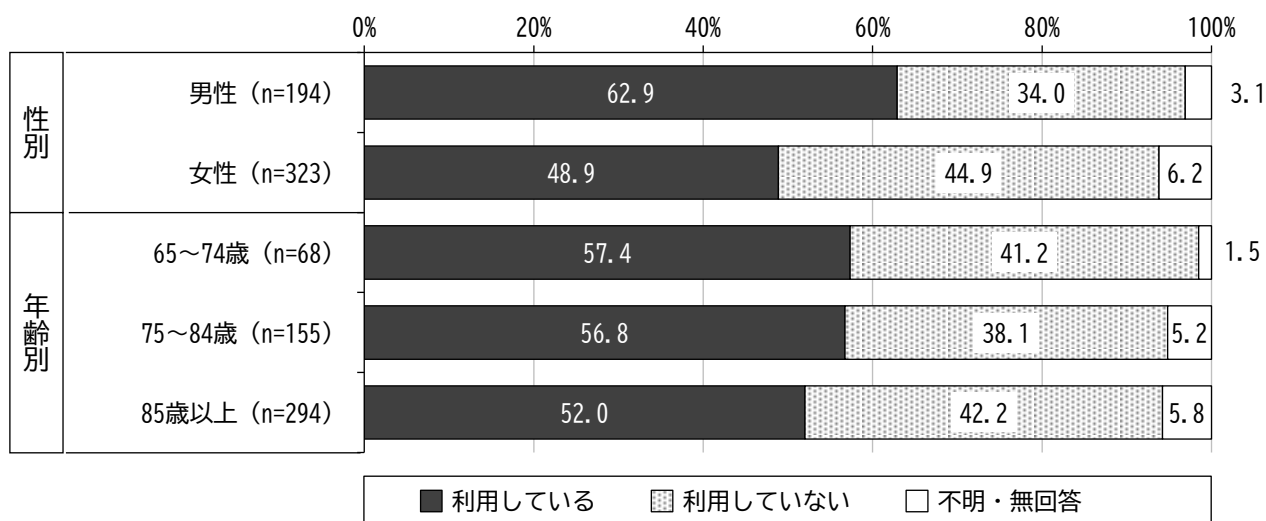
**問11 現在、住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用していますか。
(単数回答)**

現在、住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用しているかについては、「利用している」が54.2%、「利用していない」が40.8%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



性別・年齢別にみると、すべての区分で「利用している」が多くなっています。

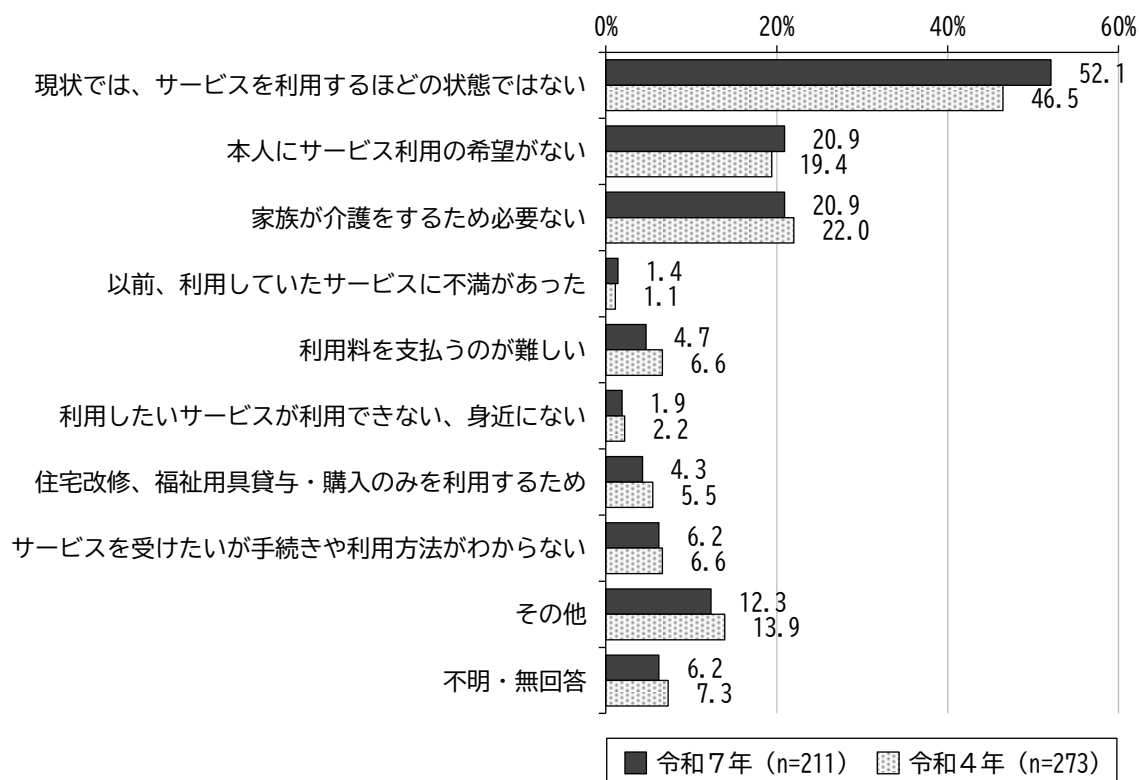


【問 11 で「利用していない」と回答した方のみ】

問12 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。（複数回答）

介護保険サービスを利用していない理由については、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が52.1%と最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」「家族が介護をするため必要ない」が20.9%となっています。

令和4年調査と比較すると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が5.6ポイント増加しています。



性別・年齢別にみると、すべての区分で「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が最も多くなっています。

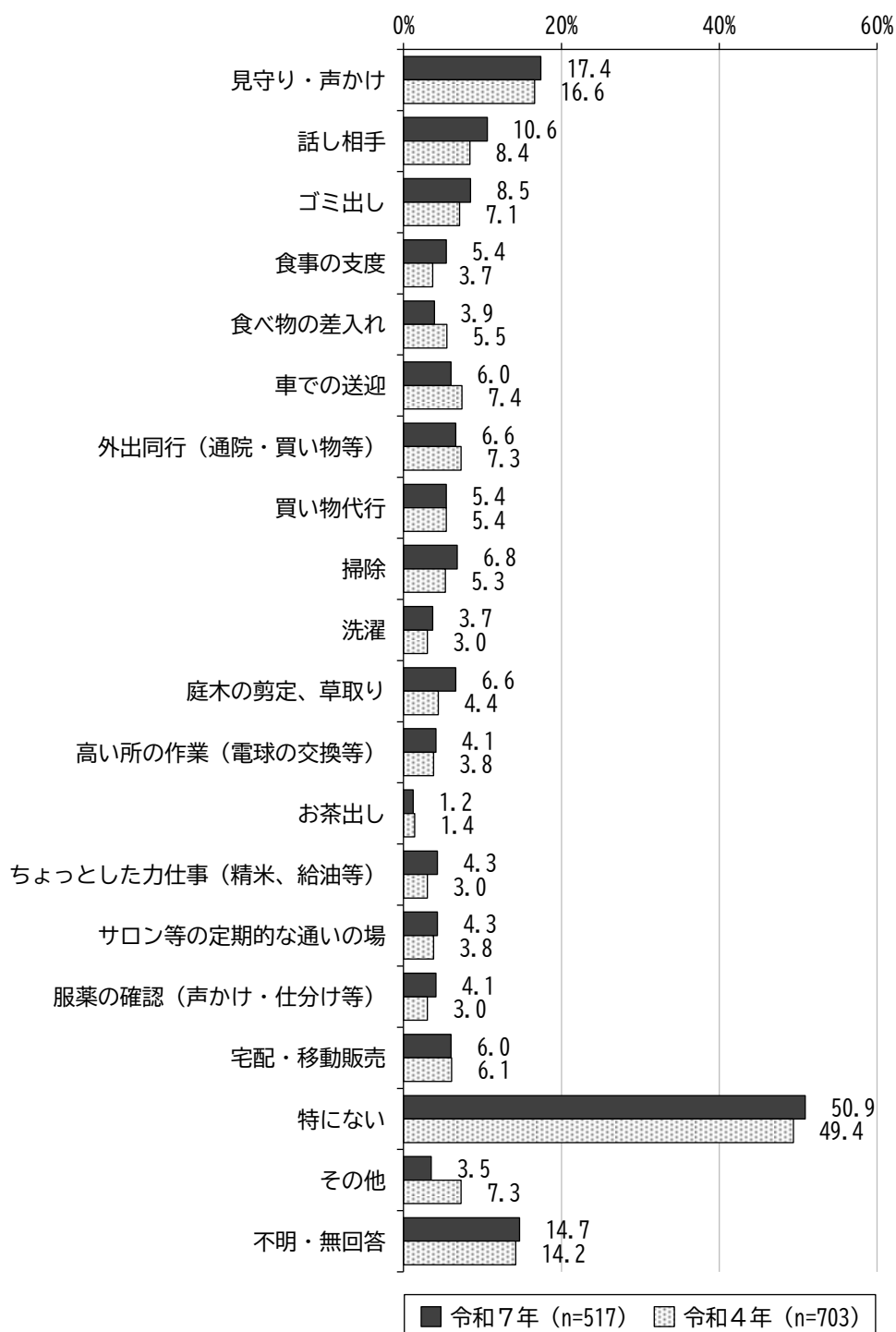
単位：%		現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない	その他	不明・無回答
全体 (n=211)		52.1	20.9	20.9	1.4	4.7	1.9	4.3	6.2	12.3	6.2
性別	男性 (n=66)	54.5	22.7	22.7	0.0	3.0	1.5	7.6	3.0	16.7	3.0
	女性 (n=145)	51.0	20.0	20.0	2.1	5.5	2.1	2.8	7.6	10.3	7.6
年齢別	65～74歳 (n=28)	57.1	21.4	17.9	0.0	3.6	0.0	7.1	3.6	14.3	3.6
	75～84歳 (n=59)	62.7	10.2	16.9	1.7	1.7	1.7	5.1	6.8	8.5	6.8
	85歳以上 (n=124)	46.0	25.8	23.4	1.6	6.5	2.4	3.2	6.5	13.7	6.5

3 あなた（あて名のご本人）の生活状況について

問1 あなたが住む地域に以下のような生活の手助けはありますか。（複数回答）

居住地域での生活の手助けの有無については、「特にない」が50.9%と最も多く、次いで「見守り・声かけ」が17.4%、「話し相手」が10.6%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



地区別にみると、すべての区分で「特にない」が最も多くなっています。

単位：％		見守り・声かけ	話し相手	ゴミ出し	食事の支度	食べ物の差入れ	車での送迎	買い物代行（通院・買い物等）	買い物代行	掃除	洗濯
全体（n=517）		17.4	10.6	8.5	5.4	3.9	6.0	6.6	5.4	6.8	3.7
地区別	角田地区（n=217）	19.8	12.0	11.1	7.4	3.7	6.0	6.5	6.5	7.8	3.7
	枝野地区（n=30）	13.3	6.7	10.0	10.0	6.7	13.3	10.0	10.0	13.3	3.3
	藤尾地区（n=51）	11.8	5.9	3.9	5.9	2.0	3.9	2.0	2.0	2.0	5.9
	東根地区（n=29）	34.5	10.3	3.4	6.9	6.9	10.3	6.9	6.9	10.3	6.9
	桜地区（n=62）	19.4	14.5	14.5	3.2	6.5	3.2	4.8	4.8	3.2	1.6
	北郷地区（n=69）	8.7	7.2	7.2	2.9	4.3	4.3	4.3	5.8	5.8	2.9
	西根地区（n=59）	15.3	11.9	0.0	0.0	0.0	6.8	13.6	1.7	6.8	3.4

単位：％		庭木の剪定、草取り	高い所の作業（電球の交換等）	お茶出し	ちよつとした力仕事（精米、給油等）	サロン等の定期的な通いの場	服薬の確認（声かけ・仕分け等）	宅配・移動販売	特にない	その他	不明・無回答
全体（n=517）		6.6	4.1	1.2	4.3	4.3	4.1	6.0	50.9	3.5	14.7
地区別	角田地区（n=217）	7.4	3.7	0.5	5.1	4.6	3.2	5.5	49.3	3.2	14.7
	枝野地区（n=30）	3.3	10.0	3.3	6.7	6.7	13.3	6.7	60.0	6.7	16.7
	藤尾地区（n=51）	2.0	2.0	0.0	2.0	2.0	7.8	3.9	60.8	2.0	13.7
	東根地区（n=29）	6.9	0.0	0.0	3.4	6.9	0.0	10.3	55.2	0.0	3.4
	桜地区（n=62）	11.3	6.5	1.6	4.8	4.8	3.2	8.1	45.2	4.8	9.7
	北郷地区（n=69）	5.8	2.9	2.9	2.9	2.9	4.3	5.8	53.6	5.8	20.3
	西根地区（n=59）	5.1	5.1	1.7	3.4	3.4	1.7	5.1	44.1	1.7	18.6

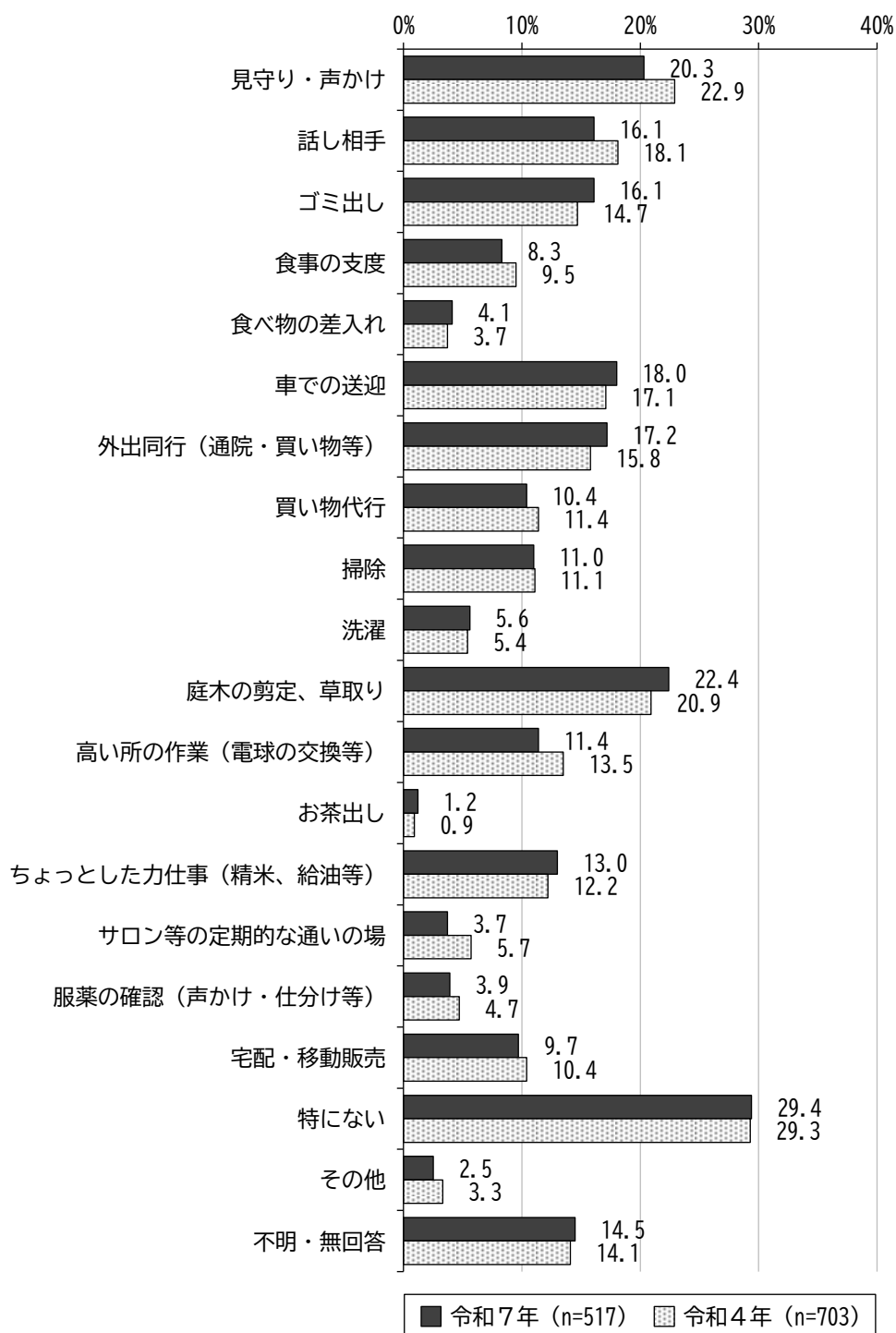
●主な内容(その他)

・わからない（手助けがあるのかわからない） ・長男夫婦（息子）にまかせている 等

問2 あなたが住む地域にあったら良いと思う生活の手助けはありますか。(複数回答)

居住地域であつたら良いと思う生活の手助けについては、「特にない」が29.4%と最も多く、次いで「庭木の剪定、草取り」が22.4%、「見守り・声かけ」が20.3%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



性別・年齢別にみると、すべての区分で「特にない」が最も多くなっています。

世帯類型別にみると、単身世帯で「見守り・声かけ」、夫婦のみ世帯で「庭木の剪定、草取り」、その他で「特にない」が最も多くなっています。

単位：％		見守り・声かけ	話し相手	ゴミ出し	食事の支度	食べ物の差入れ	車での送迎	院外・買い物代行（通）	買い物代行	掃除	洗濯
全体（n=517）		20.3	16.1	16.1	8.3	4.1	18.0	17.2	10.4	11.0	5.6
性別	男性（n=194）	16.5	10.8	15.5	4.6	3.1	14.9	16.0	10.3	6.7	3.1
	女性（n=323）	22.6	19.2	16.4	10.5	4.6	19.8	18.0	10.5	13.6	7.1
年齢別	65～74歳（n=68）	11.8	8.8	14.7	4.4	5.9	11.8	23.5	11.8	10.3	7.4
	75～84歳（n=155）	17.4	11.6	12.9	5.8	2.6	20.0	14.2	11.0	8.4	4.5
	85歳以上（n=294）	23.8	20.1	18.0	10.5	4.4	18.4	17.3	9.9	12.6	5.8
世帯類型別	単身世帯（n=98）	32.7	18.4	30.6	10.2	3.1	27.6	28.6	20.4	13.3	3.1
	夫婦のみ世帯（n=128）	17.2	12.5	18.8	9.4	5.5	21.9	14.8	14.1	11.7	5.5
	その他（n=267）	17.2	17.2	10.1	7.5	3.4	13.1	13.9	5.6	9.4	6.4

単位：％		庭木の剪定、草取り	高い所の作業（電球の交換等）	お茶出し	ちよつとした力仕事（精米、給油等）	通サロンの場	服薬の確認（声かけ・仕分け等）	宅配・移動販売	特にない	その他	不明・無回答
全体（n=517）		22.4	11.4	1.2	13.0	3.7	3.9	9.7	29.4	2.5	14.5
性別	男性（n=194）	21.6	12.4	1.0	10.8	3.1	3.1	9.3	32.5	3.1	14.4
	女性（n=323）	22.9	10.8	1.2	14.2	4.0	4.3	9.9	27.6	2.2	14.6
年齢別	65～74歳（n=68）	22.1	11.8	1.5	17.6	0.0	5.9	8.8	33.8	1.5	10.3
	75～84歳（n=155）	21.3	10.3	0.6	12.3	4.5	1.3	11.0	27.7	3.2	18.7
	85歳以上（n=294）	23.1	11.9	1.4	12.2	4.1	4.8	9.2	29.3	2.4	13.3
世帯類型別	単身世帯（n=98）	29.6	20.4	1.0	22.4	5.1	6.1	15.3	21.4	0.0	12.2
	夫婦のみ世帯（n=128）	23.4	14.8	0.8	13.3	3.1	2.3	13.3	21.9	3.1	20.3
	その他（n=267）	18.7	7.1	1.5	9.7	3.7	3.7	6.7	37.1	3.4	11.6

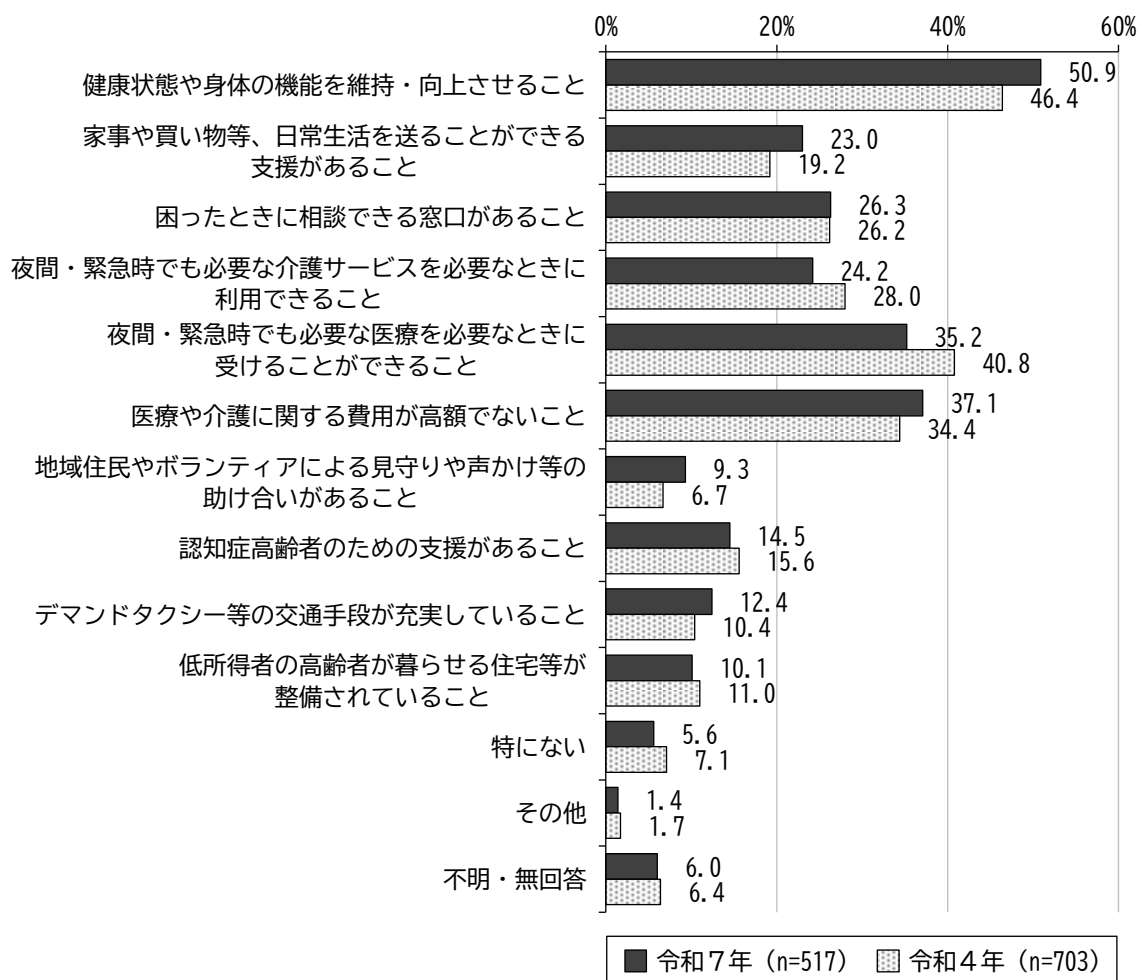
●主な内容（その他）

・家族がやってくれる ・理容、美容サービス ・ちょっとした力添え 等

**問3 あなたは、在宅で生活をするとしたら、何が必要だと感じますか。
(3つまで複数回答)**

在宅で生活をする場合に必要だと感じることは、「健康状態や身体の機能を維持・向上させること」が50.9%と最も多く、次いで「医療や介護に関する費用が高額でないこと」が37.1%、「夜間・緊急時でも必要な医療を必要ときに受けることができること」が35.2%となっています。

令和4年調査と比較すると、「夜間・緊急時でも必要な医療を必要ときに受けることができること」が5.6ポイント減少しています。



性別・年齢別にみると、すべての区分で「健康状態や身体の機能を維持・向上させること」が最も多くなっています。

地区別にみると、枝野地区で「夜間・緊急時でも必要な医療を必要ときに受けることができること」、それ以外の地区で「健康状態や身体の機能を維持・向上させること」が最も多くなっています。

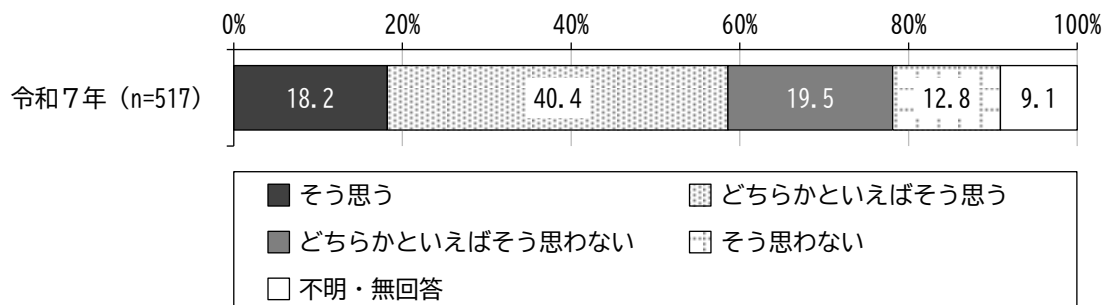
単位：％		持健康向上させや身体機能維持	あを送るや買物ができる日常生活が活	家事や買い物ができ、日常生活が活	口があったときに相談できる窓	困ったときに相談できる窓	利用サービスを利用すること	夜間・緊急時でも必要なときに介	療間・緊急時でも必要なときに受けるこ	夜間・緊急時でも必要なときに受けるこ	高額でないことに関する費用が	医療や介護に関する費用が	よる見守りや声かけ等のア	地域住民やボランティアの支	認知症高齢者のための支	手段が充実していること交通	デマンドタクシー等の交通	こと	低所得者の高齢者が暮ら	特にな	その他	不明・無回答
全体（n=517）		50.9	23.0	26.3	24.2	35.2	37.1	9.3	14.5	12.4	10.1	5.6	1.4	6.0								
性別	男性（n=194）	58.2	19.6	29.9	24.7	36.1	39.2	7.7	12.9	12.4	9.3	3.6	3.1	5.2								
	女性（n=323）	46.4	25.1	24.1	23.8	34.7	35.9	10.2	15.5	12.4	10.5	6.8	0.3	6.5								
年齢別	65～74歳（n=68）	63.2	16.2	22.1	14.7	32.4	42.6	11.8	11.8	10.3	14.7	8.8	2.9	1.5								
	75～84歳（n=155）	49.0	22.6	26.5	23.2	35.5	36.1	5.8	17.4	12.9	12.9	3.2	0.6	7.1								
	85歳以上（n=294）	49.0	24.8	27.2	26.9	35.7	36.4	10.5	13.6	12.6	7.5	6.1	1.4	6.5								
地区別	角田地区（n=217）	52.5	24.9	25.8	23.0	32.3	35.5	11.5	17.5	12.9	10.1	7.4	2.3	5.1								
	枝野地区（n=30）	40.0	16.7	30.0	46.7	53.3	36.7	6.7	23.3	10.0	13.3	0.0	0.0	6.7								
	藤尾地区（n=51）	49.0	17.6	29.4	17.6	45.1	29.4	11.8	17.6	17.6	7.8	3.9	0.0	3.9								
	東根地区（n=29）	62.1	24.1	17.2	20.7	48.3	41.4	10.3	17.2	20.7	10.3	6.9	0.0	3.4								
	桜地区（n=62）	51.6	17.7	29.0	27.4	27.4	45.2	12.9	8.1	11.3	8.1	8.1	0.0	3.2								
	北郷地区（n=69）	47.8	20.3	29.0	18.8	30.4	34.8	5.8	11.6	7.2	13.0	2.9	1.4	10.1								
	西根地区（n=59）	49.2	32.2	22.0	27.1	35.6	42.4	0.0	5.1	10.2	8.5	3.4	1.7	10.2								

●主な内容(その他)

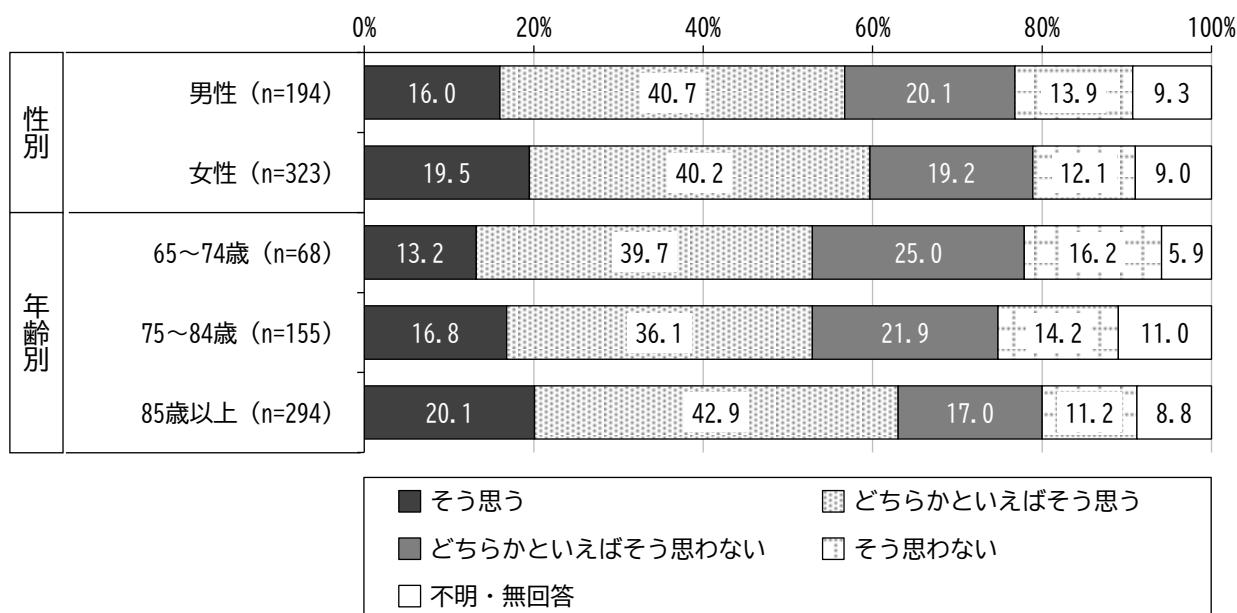
・ 全部必要 ・ 買い物支援 ・ 免許返納後の移動支援 等

問4 地域生活の様々な場面において、あなたの意思が尊重され、あなたが望む生活が継続できていると思いますか。（単数回答）

地域生活の様々な場面において、意思が尊重され、望む生活が継続できていると思うかについては、「どちらかといえばそう思う」が40.4%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が19.5%、「そう思う」が18.2%となっています。

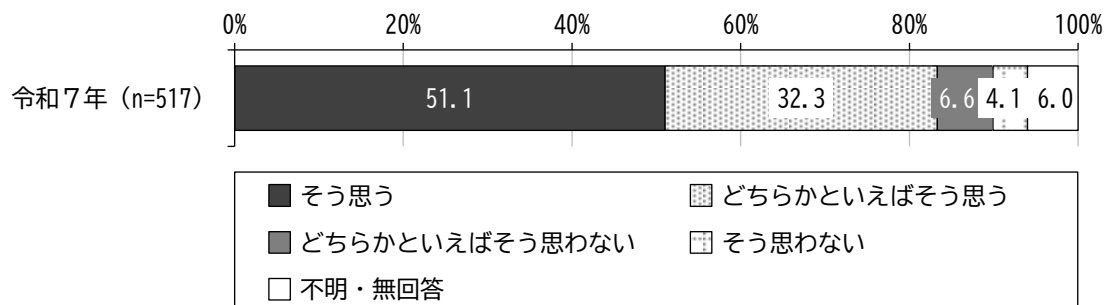


性別・年齢別にみると、すべての区分で「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっています。

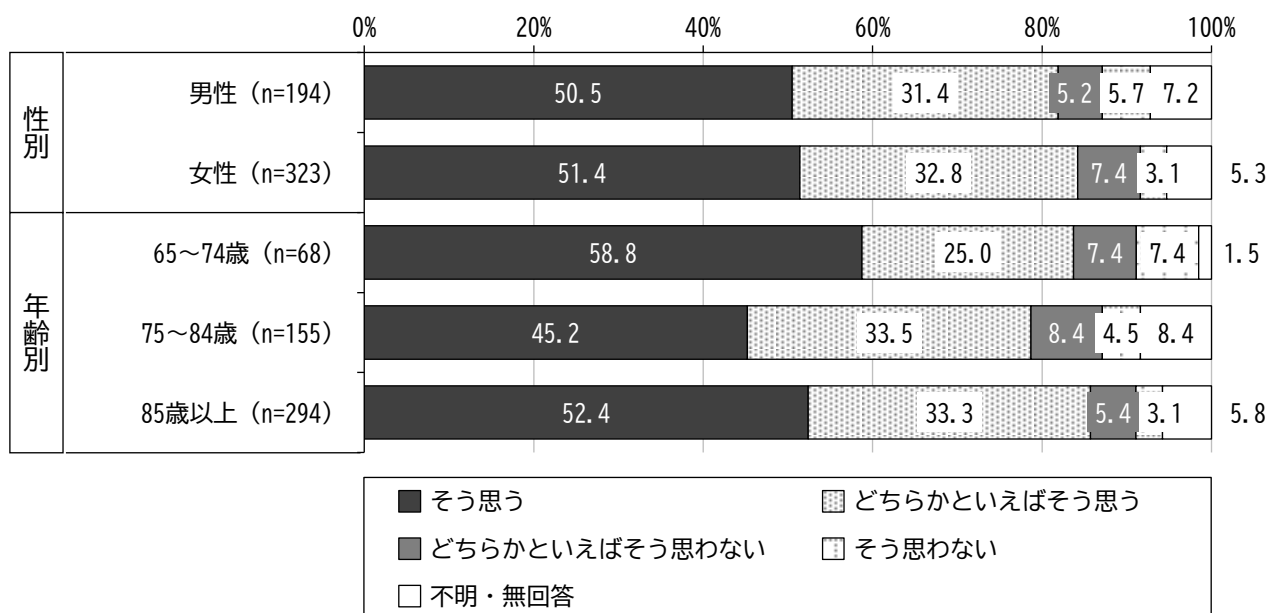


問5 あなたの想いを伝えることができる家族、友人、仲間がいると思いますか。
(単数回答)

想いを伝えることができる家族、友人、仲間がいると思うかについては、「そう思う」が51.1%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」が32.3%、「どちらかといえばそう思わない」が6.6%となっています。

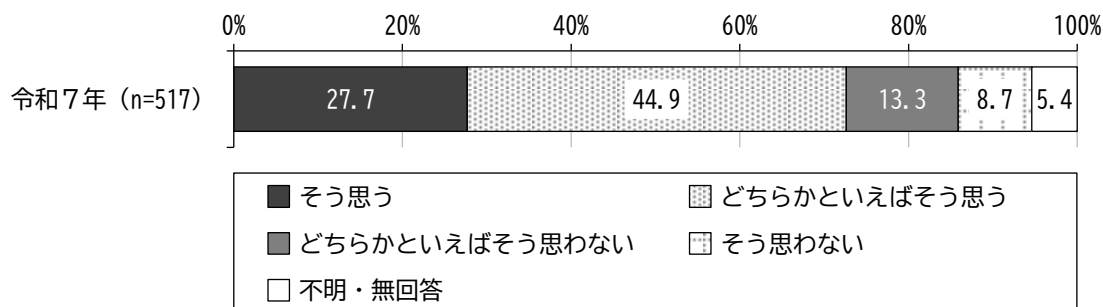


性別・年齢別にみると、すべての区分で「そう思う」が最も多くなっています。

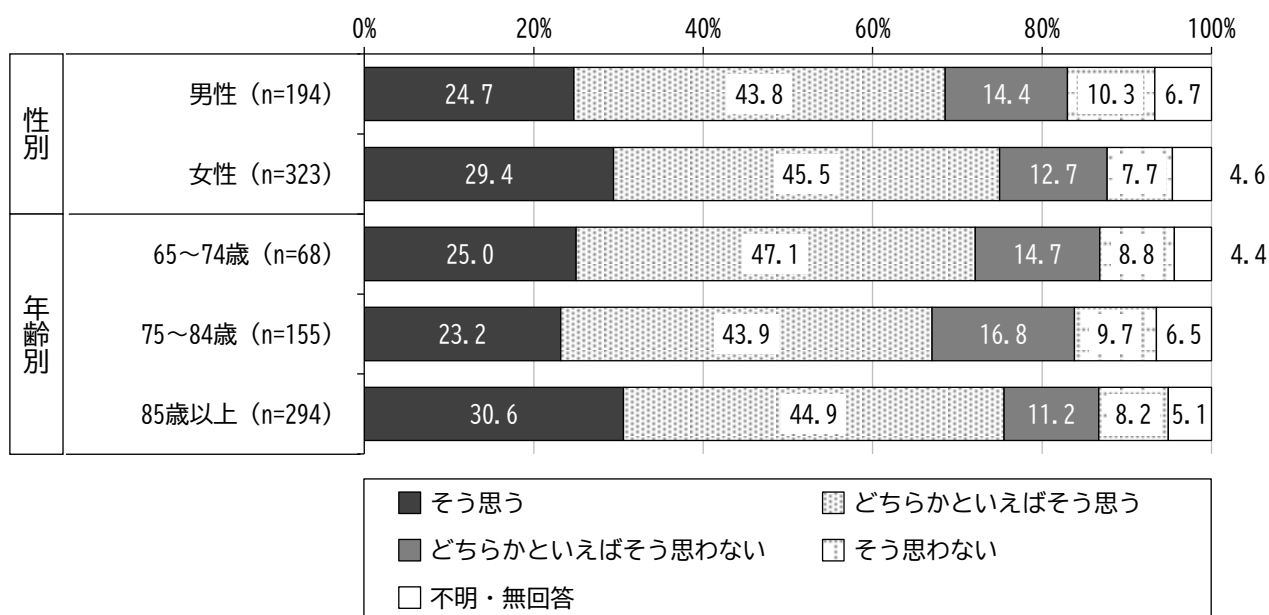


問6 あなたは自分らしく暮らすことができますか。（単数回答）

自分らしく暮らすことができると思うかについては、「どちらかといえばそう思う」が44.9%と最も多く、次いで「そう思う」が27.7%、「どちらかといえばそう思わない」が13.3%となっています。



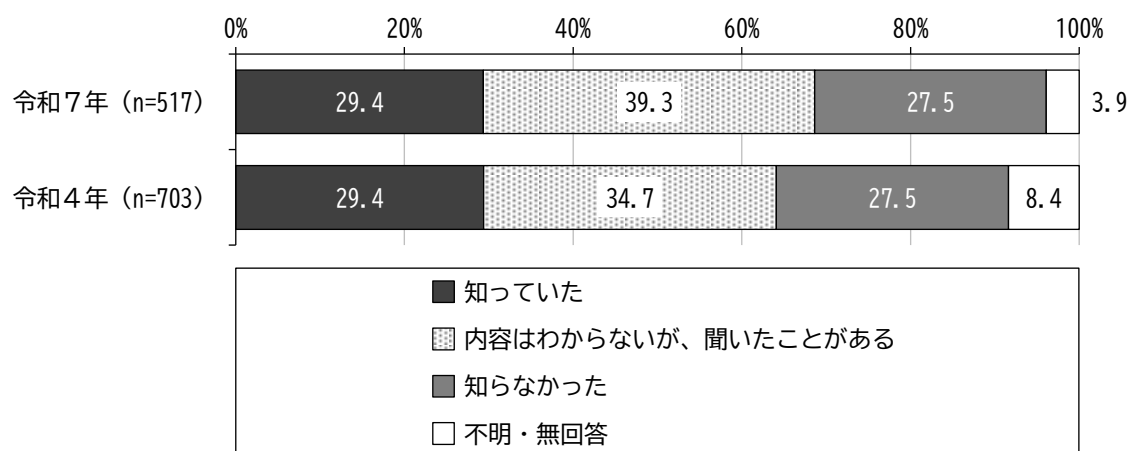
性別・年齢別にみると、すべての区分で「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっています。



問7 「成年後見制度」を知っていますか。(単数回答)

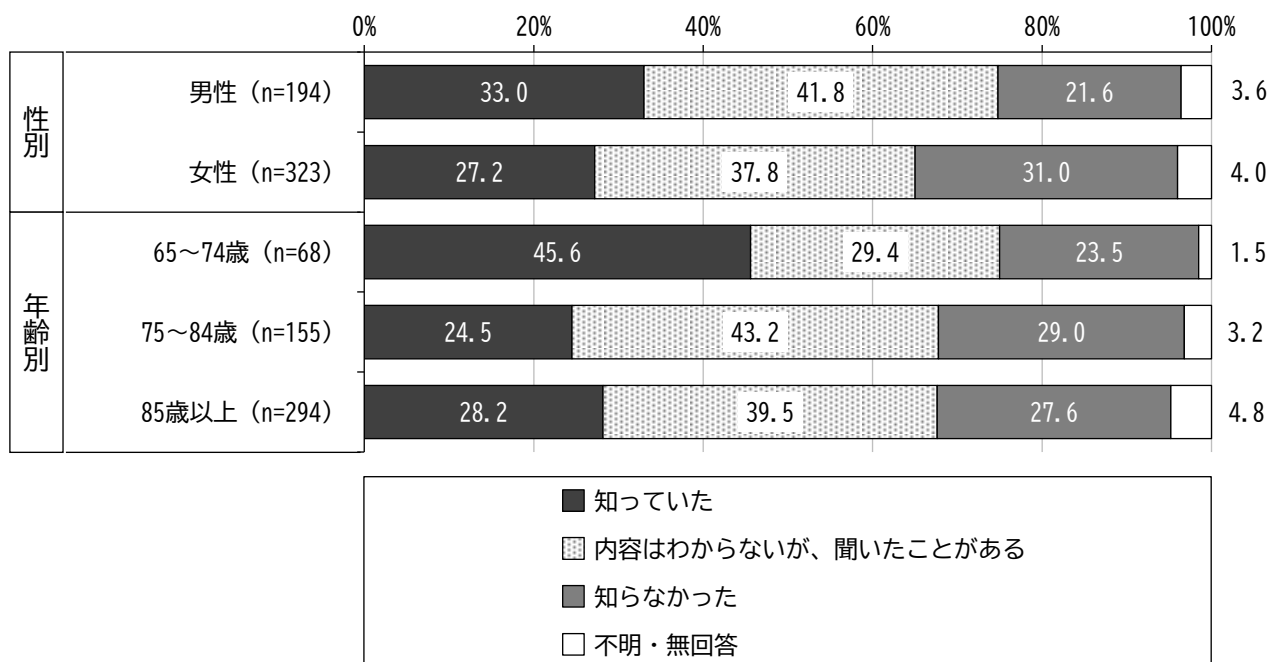
「成年後見制度」の認知状況については、「内容はわからないが、聞いたことがある」が39.3%と最も多く、次いで「知っていた」が29.4%、「知らなかった」が27.5%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



性別にみると、男女ともに「内容はわからないが、聞いたことがある」が最も多くなっています。

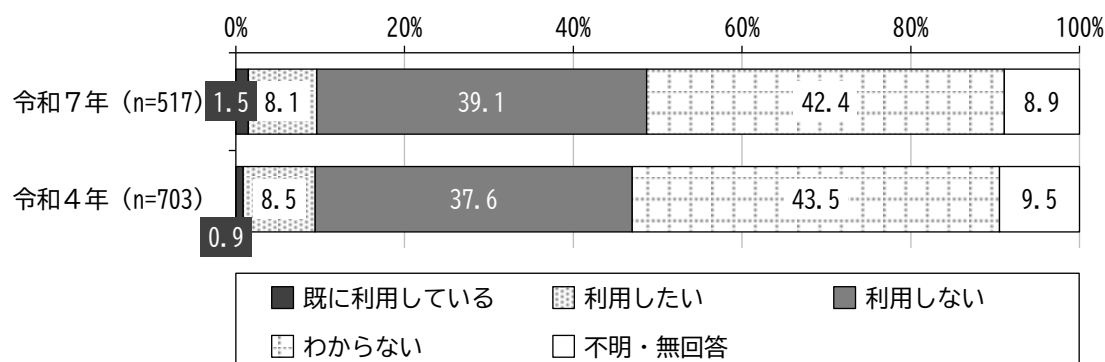
年齢別にみると、65～74歳で「知っていた」、それ以外の年齢で「内容はわからないが、聞いたことがある」が最も多くなっています。



問8 成年後見制度を利用したいと思いますか。(単数回答)

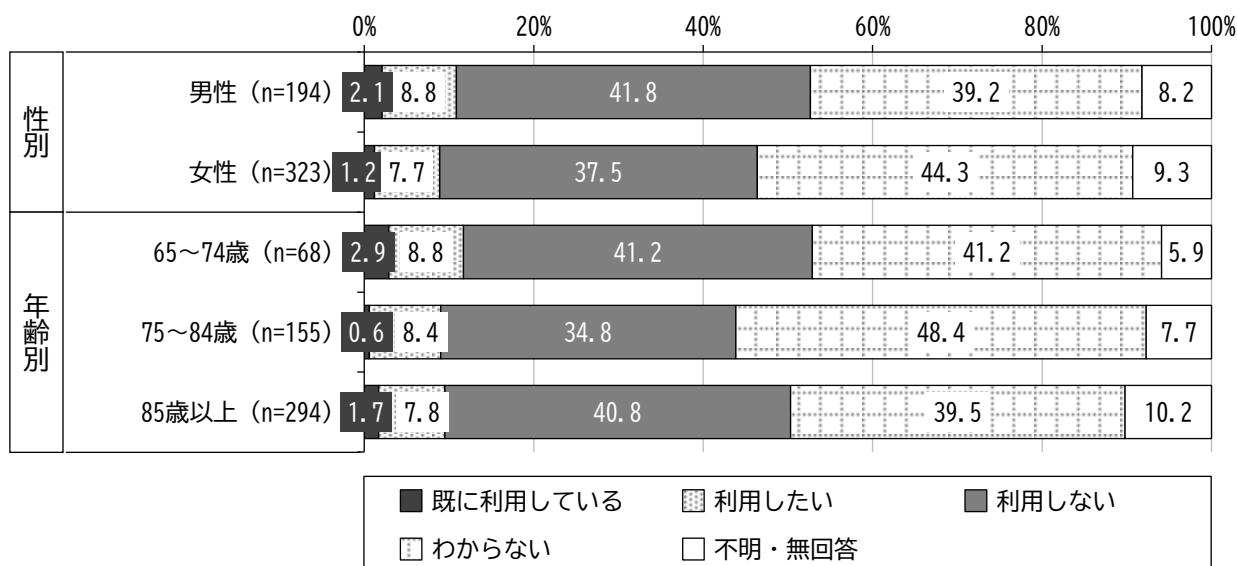
成年後見制度の利用意向については、「わからない」が42.4%と最も多く、次いで「利用しない」が39.1%、「利用したい」が8.1%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



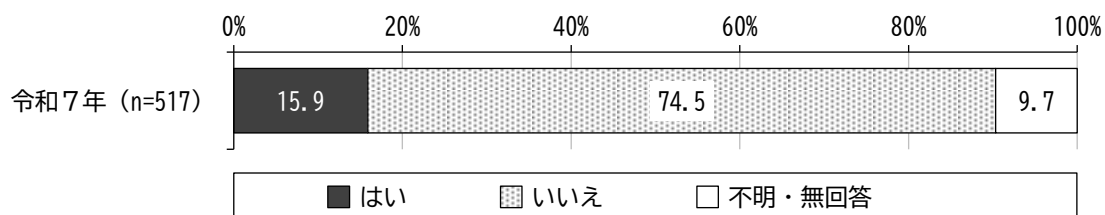
性別にみると、男性で「利用しない」、女性で「わからない」が最も多くなっています。

年齢別にみると、65～74歳で「利用しない」「わからない」、75～84歳で「わからない」、85歳以上で「利用しない」が最も多くなっています。

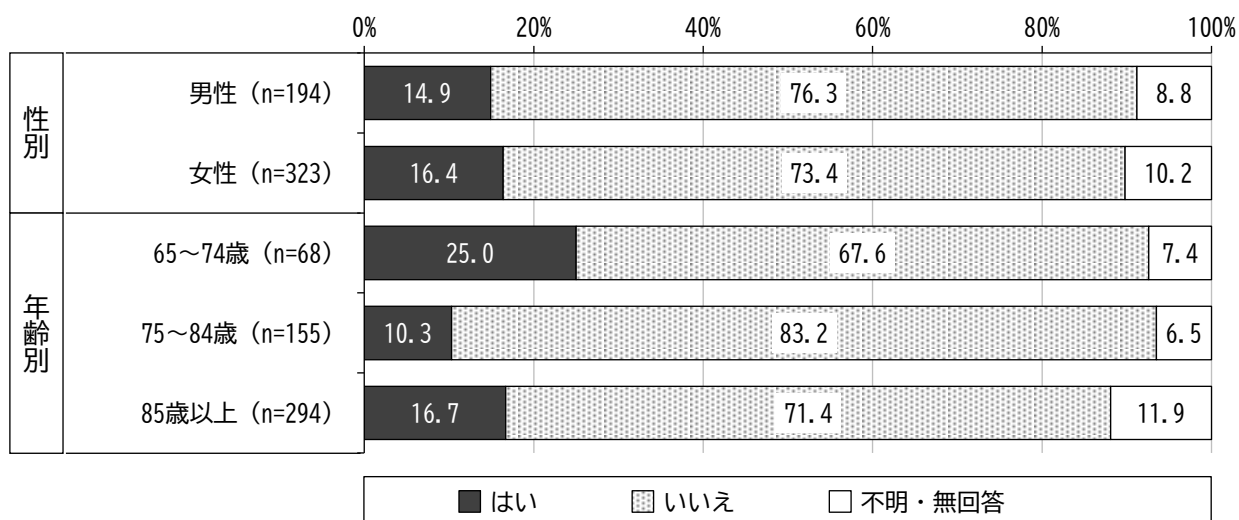


問9 成年後見制度に関する相談窓口を知っていますか。(単数回答)

成年後見制度に関する相談窓口を知っているかについては、「はい」が15.9%、「いいえ」が74.5%となっています。



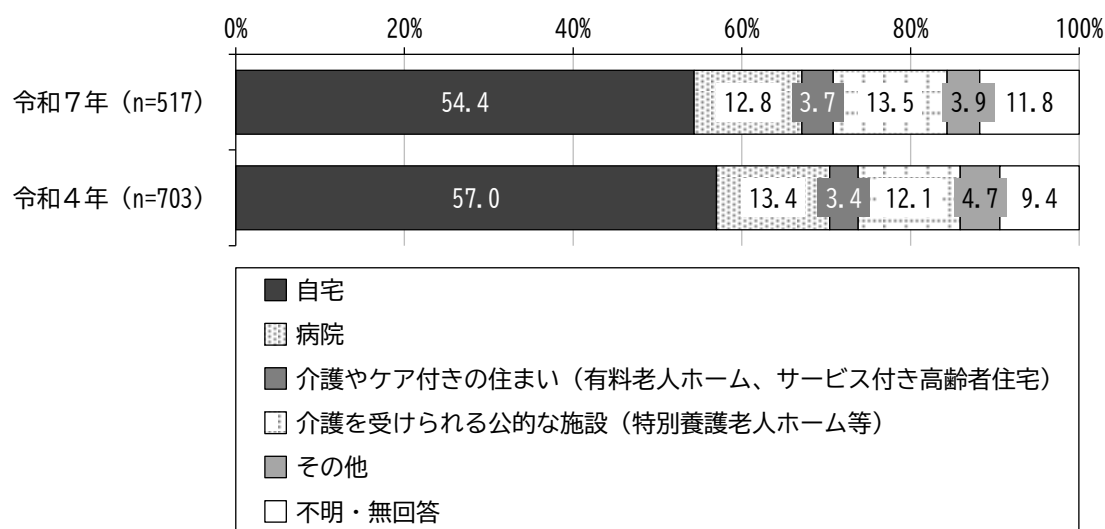
性別・年齢別にみると、すべての区分で「いいえ」が多くなっています。



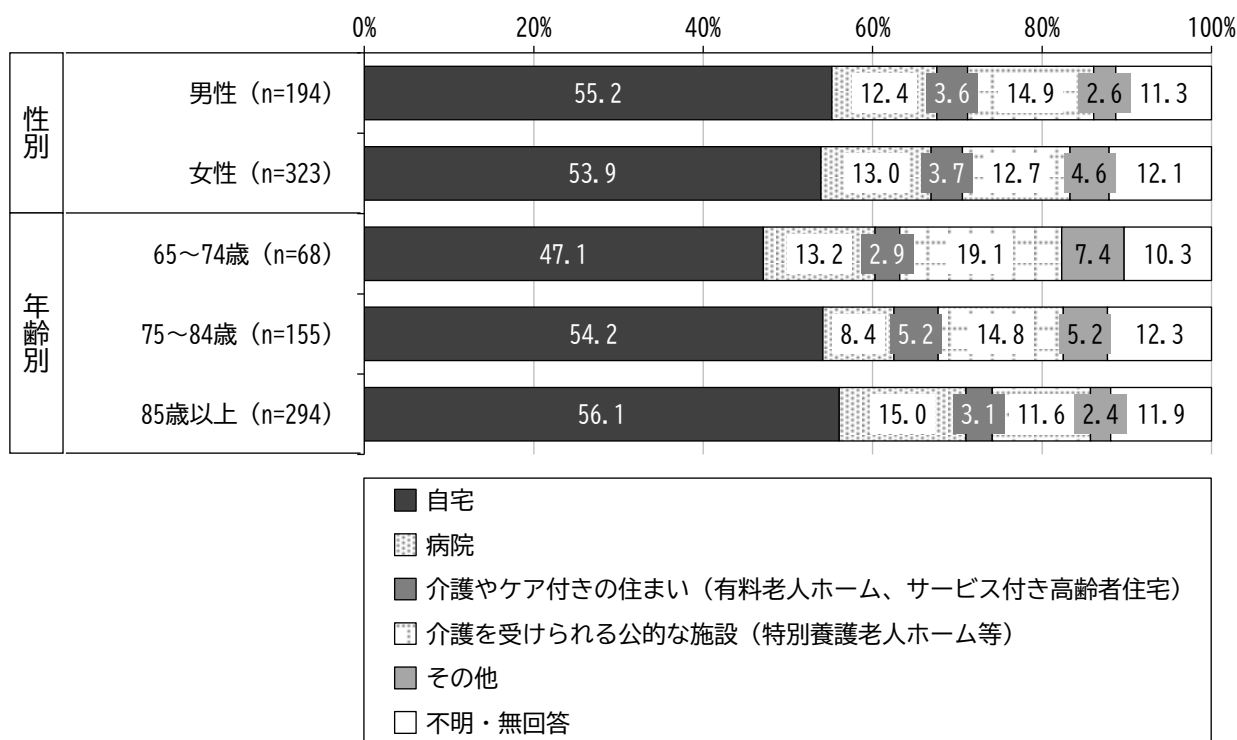
問10 あなたは、人生の最期をどこで迎えたいですか。（単数回答）

人生の最期を迎えたい場所については、「自宅」が54.4%と最も多く、次いで「介護を受けられる公的な施設（特別養護老人ホーム等）」が13.5%、「病院」が12.8%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



性別・年齢別にみると、すべての区分で「自宅」が最も多くなっています。

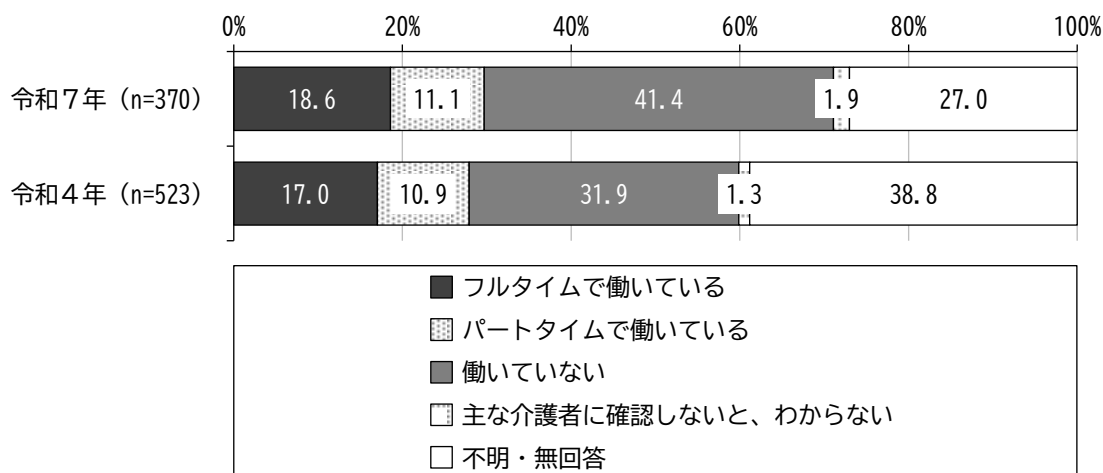


4 主な介護者について 【設問対象：家族・親族からの介護がある方のみ】

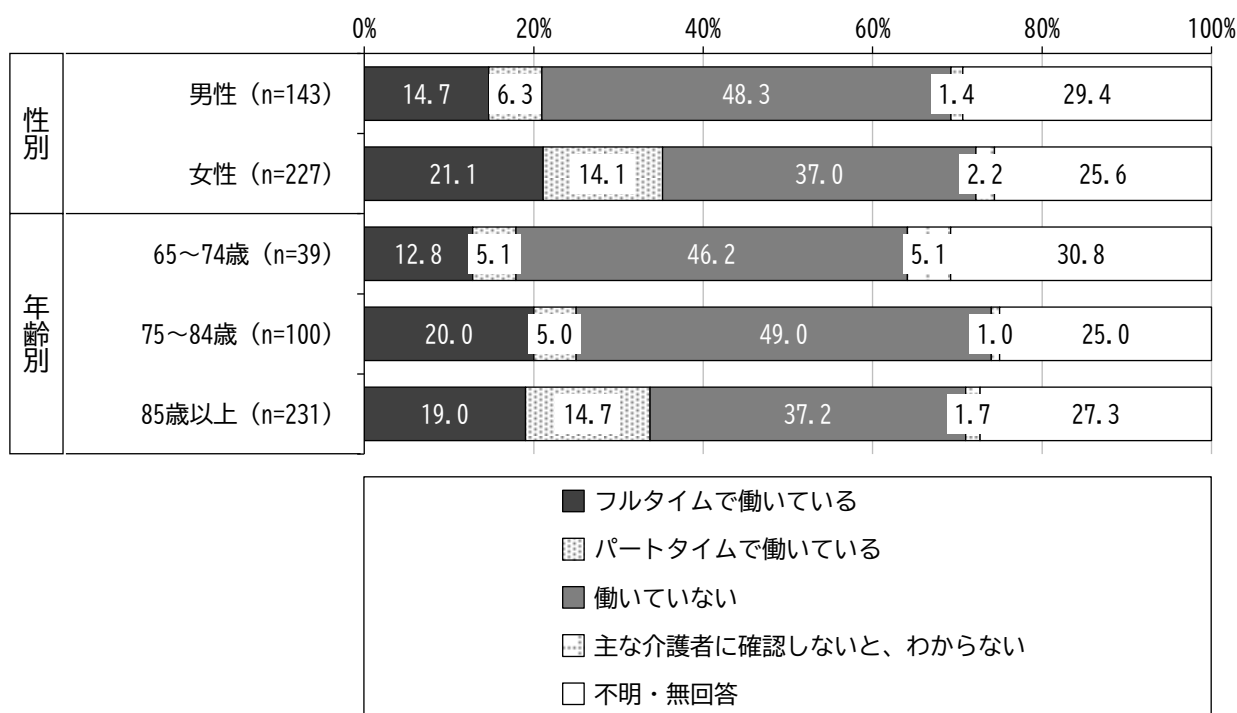
問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。（単数回答）

主な介護者の方の現在の勤務形態については、「働いていない」が41.4%と最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が18.6%、「パートタイムで働いている」が11.1%となっています。

令和4年調査と比較すると、「働いていない」が9.5ポイント増加しています。



性別・年齢別にみると、すべての区分で「働いていない」が最も多くなっています。

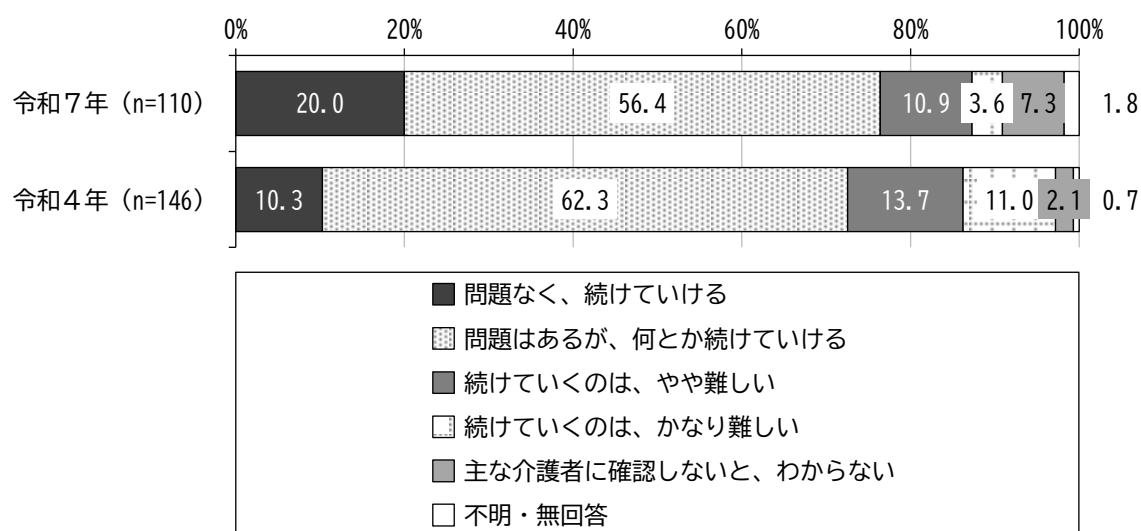


【問1で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」と回答した方のみ】

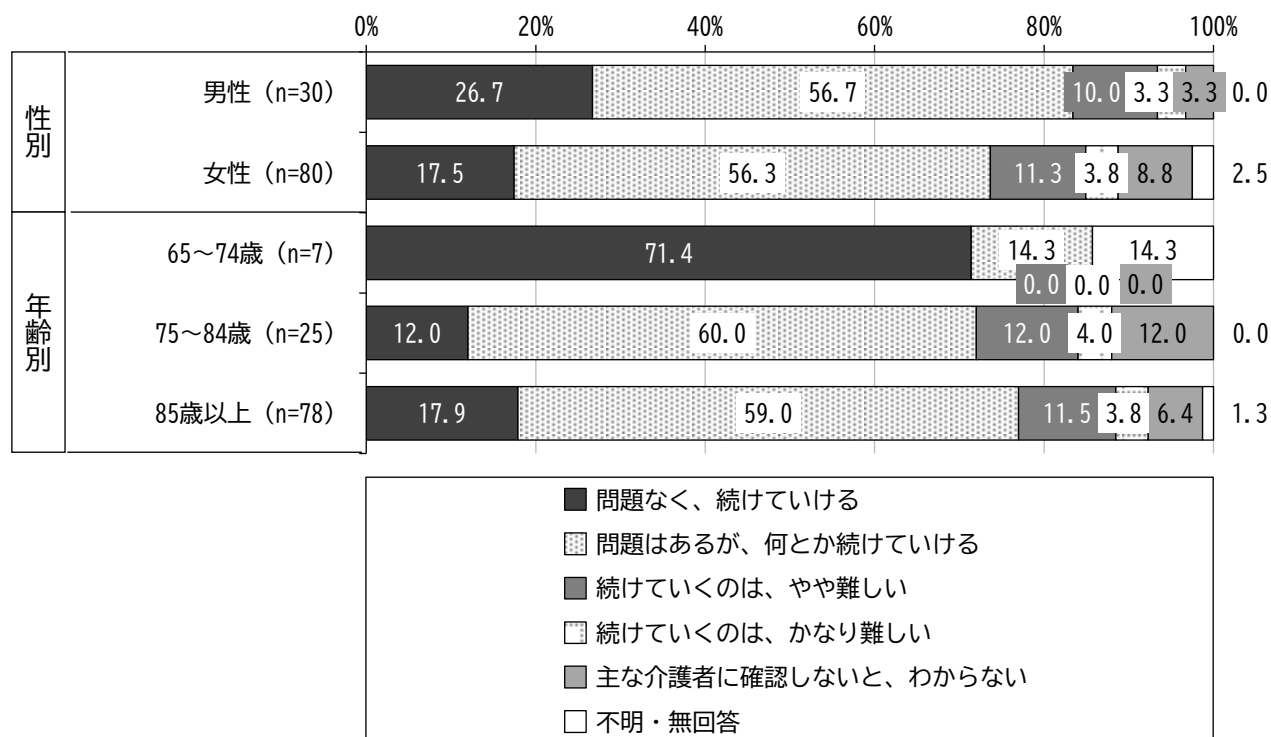
問2 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（単数回答）

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけるかについては、「問題はあるが、何とか続けていける」が56.4%と最も多く、次いで「問題なく、続けていける」が20.0%、「続けていくのは、やや難しい」が10.9%となっています。

令和4年調査と比較すると、「問題なく、続けていける」が9.7ポイント増加し、「続けていくのは、かなり難しい」が7.4ポイント減少しています。



性別・年齢別にみると、すべての区分で「問題はあるが、何とか続けていける」が最も多くなっています。

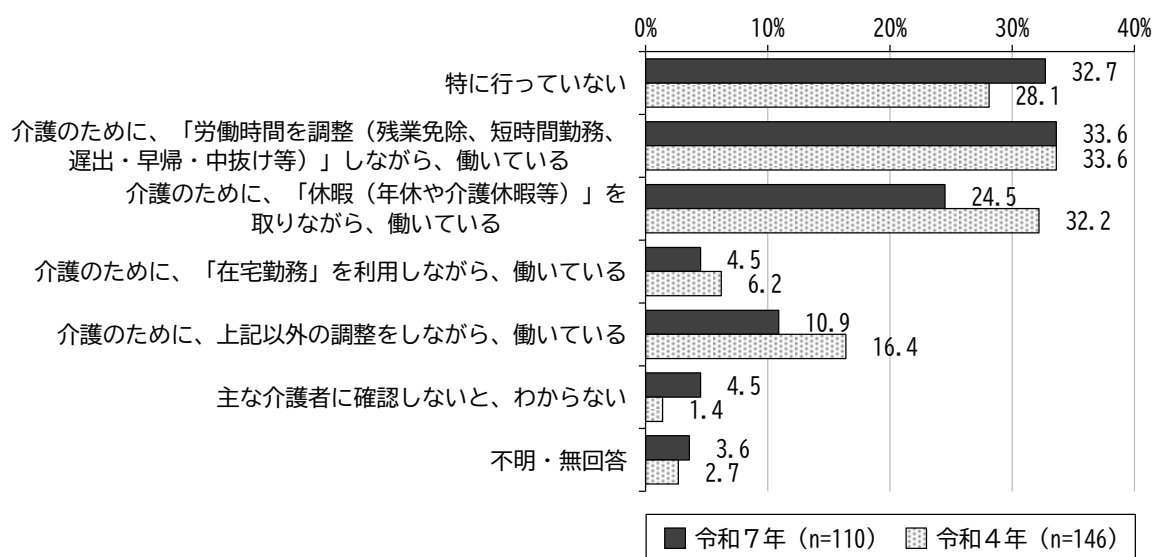


【問1で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」と回答した方のみ】

問3 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。（複数回答）

主な介護者の方は、介護をするにあたって働き方についての調整等をしているかについては、「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」が33.6%と最も多く、次いで「特に行っていない」が32.7%、「介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている」が24.5%となっています。

令和4年調査と比較すると、「介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている」が7.7ポイント、「介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている」が5.5ポイント減少しています。



性別にみると、男性で「特に行っていない」「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」、女性で「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」が最も多くなっています。

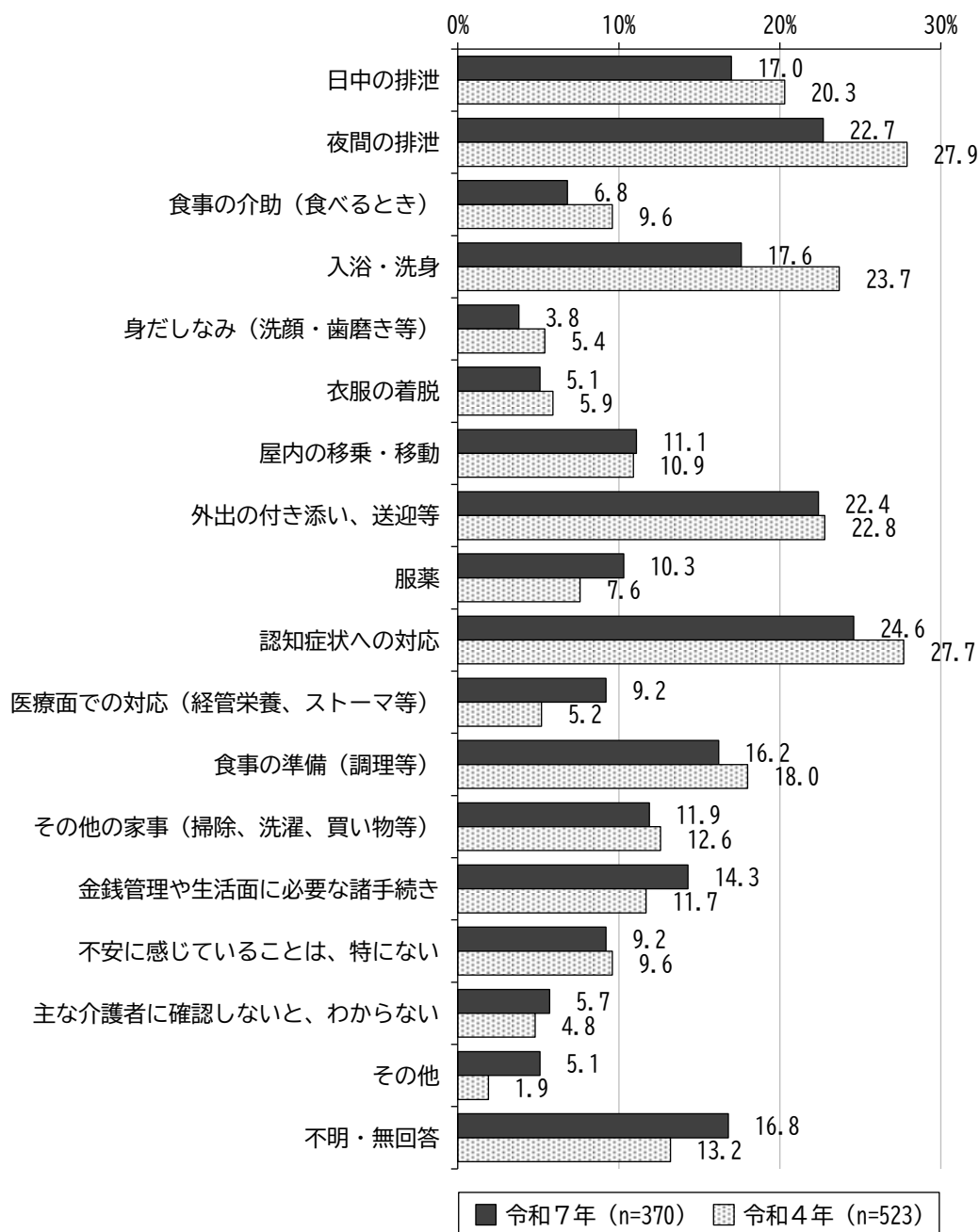
年齢別にみると、75～84 歳で「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」「介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている」、85 歳以上で「特に行っていない」が最も多くなっています。

単位：％		特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら働いている	介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	介護のために、上記以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	不明・無回答
全体（n=110）		32.7	33.6	24.5	4.5	10.9	4.5	3.6
性別	男性（n=30）	30.0	30.0	26.7	10.0	13.3	6.7	3.3
	女性（n=80）	33.8	35.0	23.8	2.5	10.0	3.8	3.8
年齢別	65～74歳（n=7）	28.6	28.6	14.3	0.0	28.6	0.0	14.3
	75～84歳（n=25）	20.0	32.0	32.0	0.0	16.0	8.0	0.0
	85歳以上（n=78）	37.2	34.6	23.1	6.4	7.7	3.8	3.8

問4 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。（3つまで複数回答）

主な介護者の方が不安に感じる介護等については、「認知症状への対応」が24.6%と最も多く、次いで「夜間の排泄」が22.7%、「外出の付き添い、送迎等」が22.4%となっています。

令和4年調査と比較すると、「入浴・洗身」が6.1ポイント、「夜間の排泄」が5.2ポイント減少しています。



性別にみると、男性で「外出の付き添い、送迎等」、女性で「認知症状への対応」が最も多くなっています。

年齢別にみると、65～74 歳で「外出の付き添い、送迎等」、75～84 歳で「認知症状への対応」、85 歳以上で「夜間の排泄」が最も多くなっています。

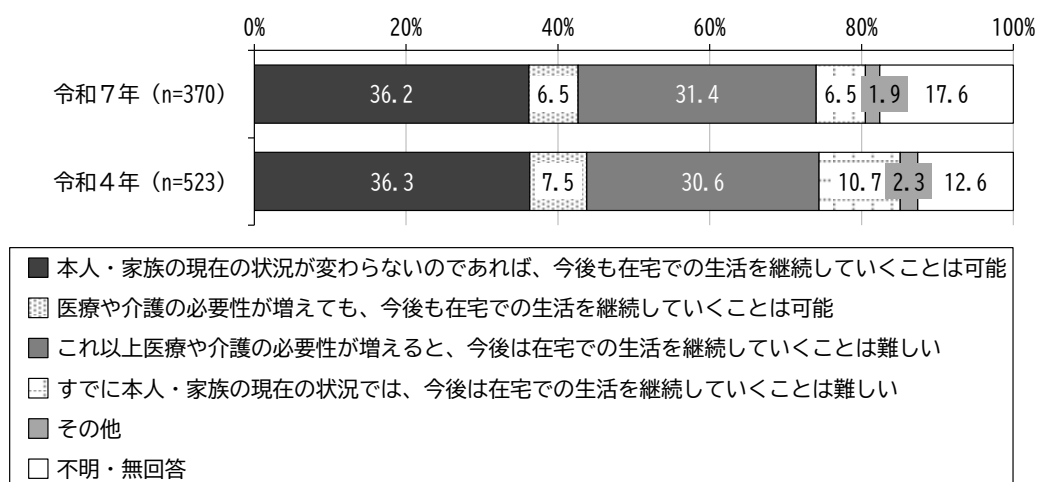
単位：％		日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる とき）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・ 歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送 迎等	服薬
全体（n=370）		17.0	22.7	6.8	17.6	3.8	5.1	11.1	22.4	10.3
性別	男性（n=143）	16.8	22.4	4.9	21.0	4.2	7.0	11.9	25.2	9.1
	女性（n=227）	17.2	22.9	7.9	15.4	3.5	4.0	10.6	20.7	11.0
年齢別	65～74歳（n=39）	7.7	10.3	2.6	28.2	5.1	0.0	15.4	30.8	10.3
	75～84歳（n=100）	16.0	20.0	6.0	20.0	3.0	7.0	9.0	23.0	8.0
	85歳以上（n=231）	19.0	26.0	7.8	14.7	3.9	5.2	11.3	20.8	11.3

単位：％		認知症状への対応	医療面での対応（経管 栄養、ストーマ等）	食事の準備（調理等）	洗濯、買物等（掃除、 その他の家事）	金銭管理や生活面に必 要な諸手続き	不安に感じていること は、特にない	主な介護者に確認しな いと、わからな	その他	不明・無回答
全体（n=370）		24.6	9.2	16.2	11.9	14.3	9.2	5.7	5.1	16.8
性別	男性（n=143）	23.1	8.4	14.0	10.5	11.2	8.4	3.5	4.9	17.5
	女性（n=227）	25.6	9.7	17.6	12.8	16.3	9.7	7.0	5.3	16.3
年齢別	65～74歳（n=39）	12.8	10.3	12.8	12.8	23.1	12.8	2.6	0.0	15.4
	75～84歳（n=100）	27.0	9.0	16.0	13.0	12.0	10.0	5.0	7.0	16.0
	85歳以上（n=231）	25.5	9.1	16.9	11.3	13.9	8.2	6.5	5.2	17.3

問5 現在の在宅での生活を継続していくことについて、どのように考えますか。 (単数回答)

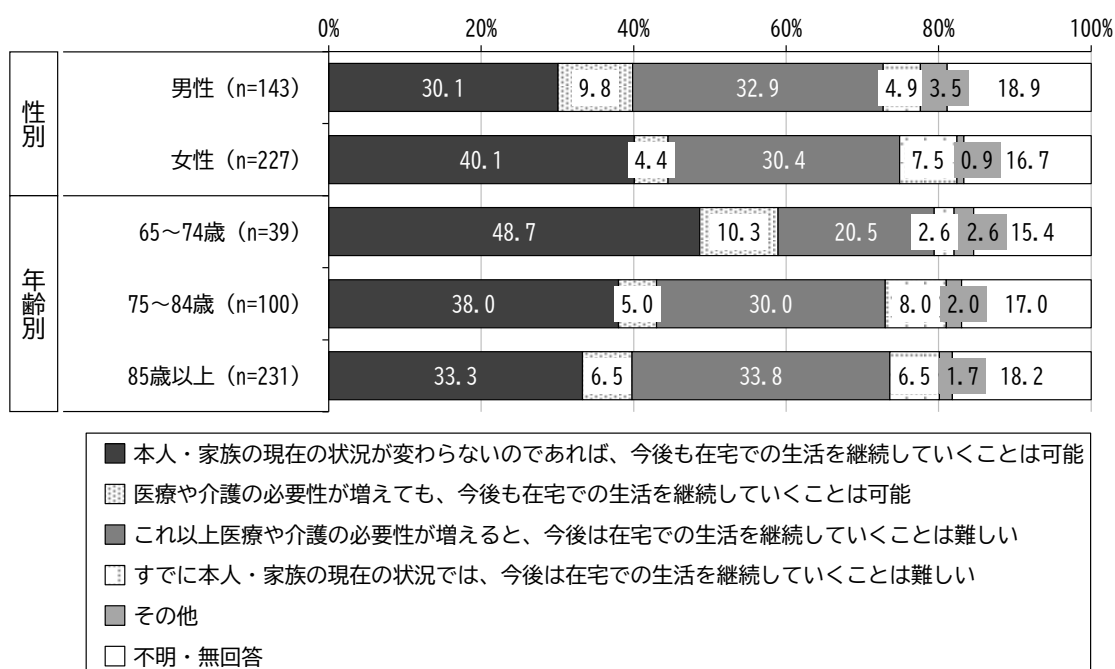
主な介護者の方の在宅生活の継続に対する考え方については、「本人・家族の現在の状況が変わらないのであれば、今後も在宅での生活を継続していくことは可能」が36.2%と最も多く、次いで「これ以上医療や介護の必要性が増えると、今後は在宅での生活を継続していくことは難しい」が31.4%、「医療や介護の必要性が増えても、今後も在宅での生活を継続していくことは可能」「すでに本人・家族の現在の状況では、今後は在宅での生活を継続していくことは難しい」が6.5%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



性別にみると、男性で「これ以上医療や介護の必要性が増えると、今後は在宅での生活を継続していくことは難しい」、女性で「本人・家族の現在の状況が変わらないのであれば、今後も在宅での生活を継続していくことは可能」が最も多くなっています。

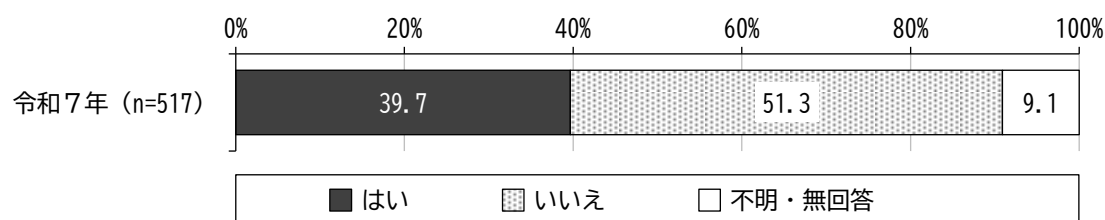
年齢別にみると、85歳以上で「これ以上医療や介護の必要性が増えると、今後は在宅での生活を継続していくことは難しい」、それ以外の年齢で「本人・家族の現在の状況が変わらないのであれば、今後も在宅での生活を継続していくことは可能」が最も多くなっています。



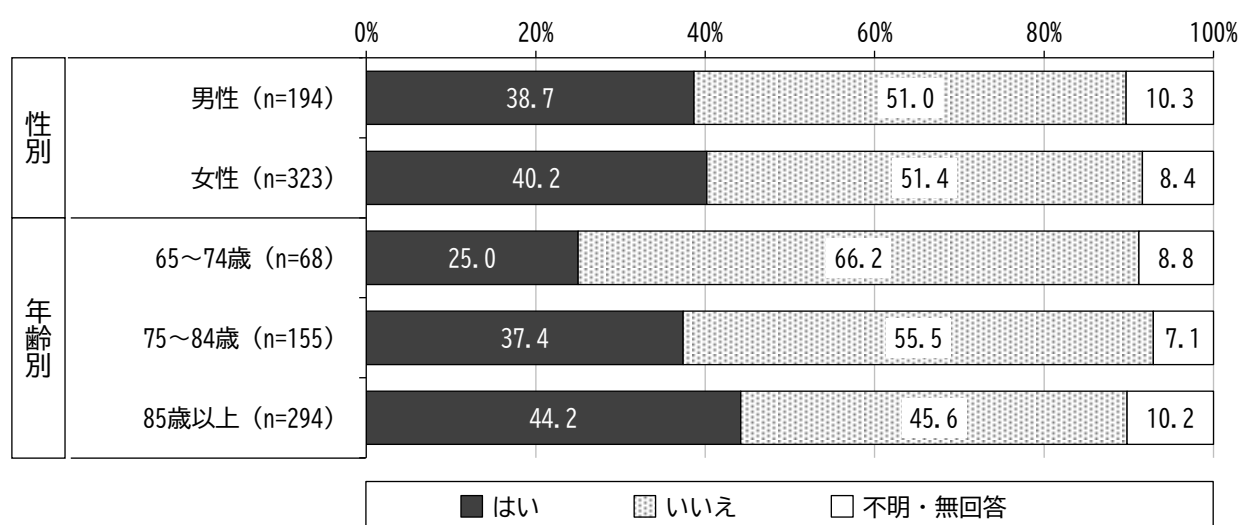
5 認知症について

問1 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人はいいますか。（単数回答）

自身や家族に認知症の症状があるかについては、「はい」が39.7%、「いいえ」が51.3%となっています。

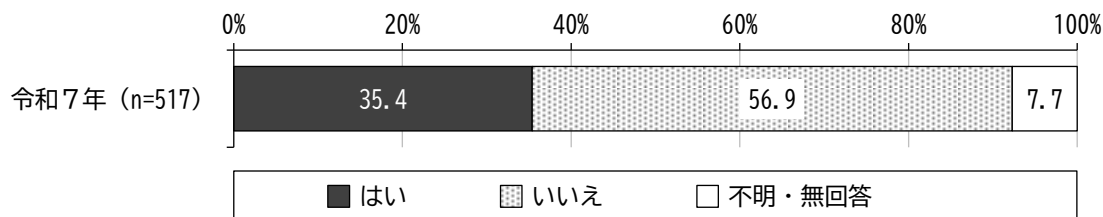


性別・年齢別にみると、すべての区分で「いいえ」が多くなっています。

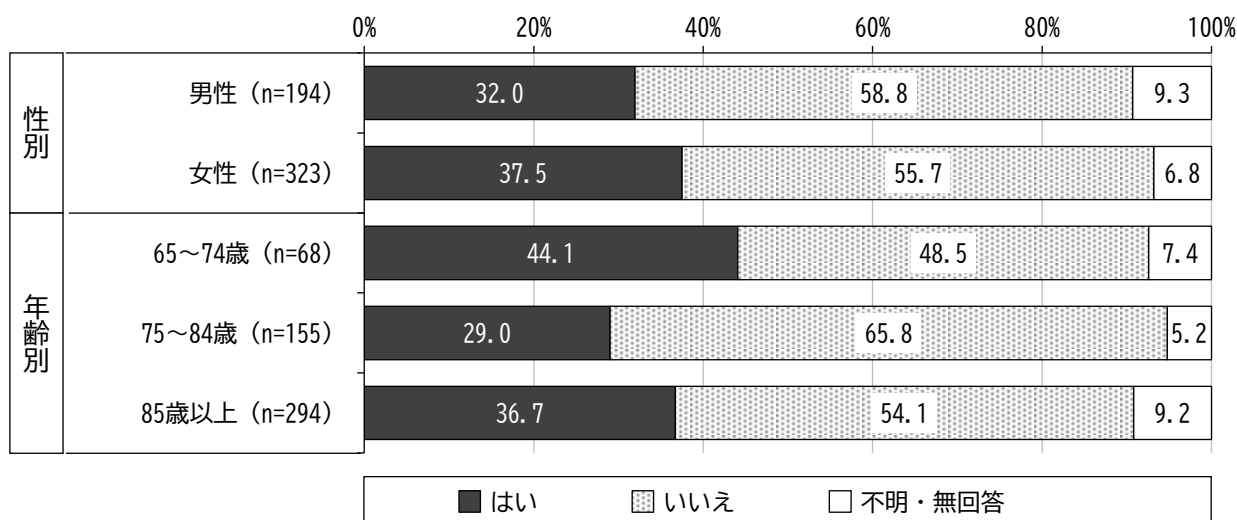


問2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(単数回答)

認知症に関する相談窓口を知っているかについては、「はい」が35.4%、「いいえ」が56.9%となっています。

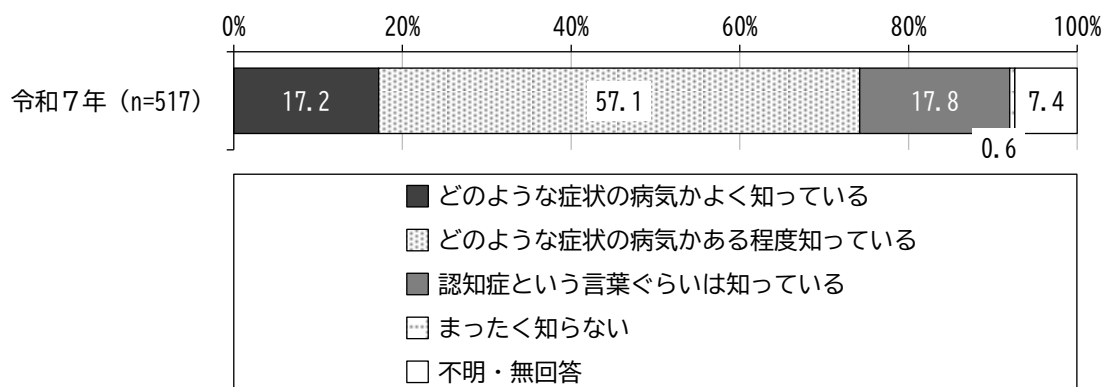


性別・年齢別にみると、すべての区分で「いいえ」が多くなっています。

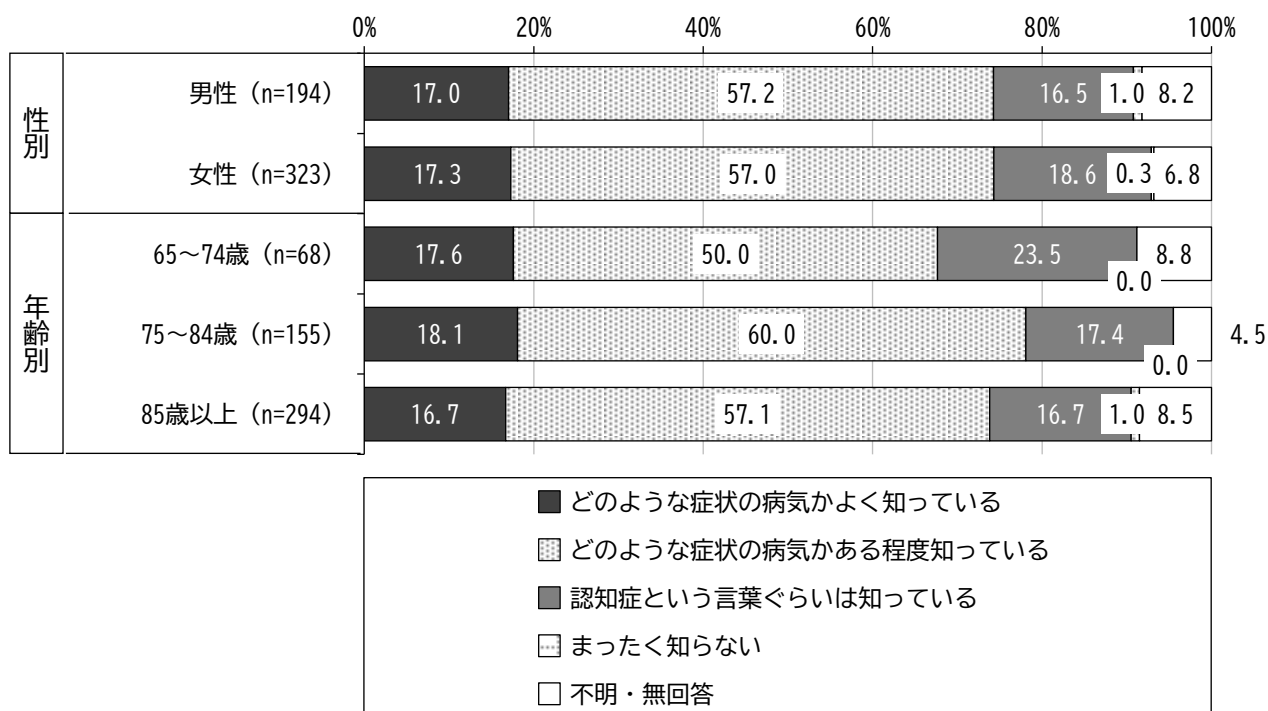


問3 あなたは、認知症という病気について、どの程度ご存知ですか。（単数回答）

認知症の認知状況については、「どのような症状の病気かある程度知っている」が57.1%と最も多く、次いで「認知症という言葉ぐらいいは知っている」が17.8%、「どのような症状の病気かよく知っている」が17.2%となっています。

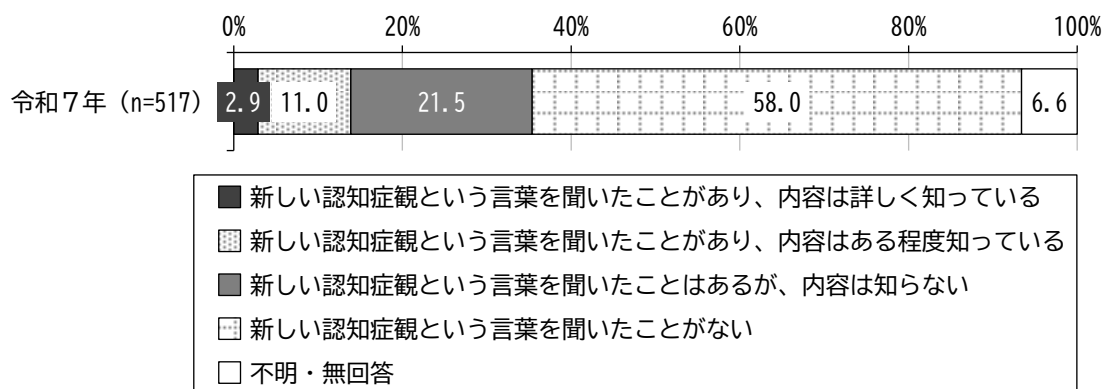


性別・年齢別にみると、すべての区分で「どのような症状の病気かある程度知っている」が最も多くなっています。

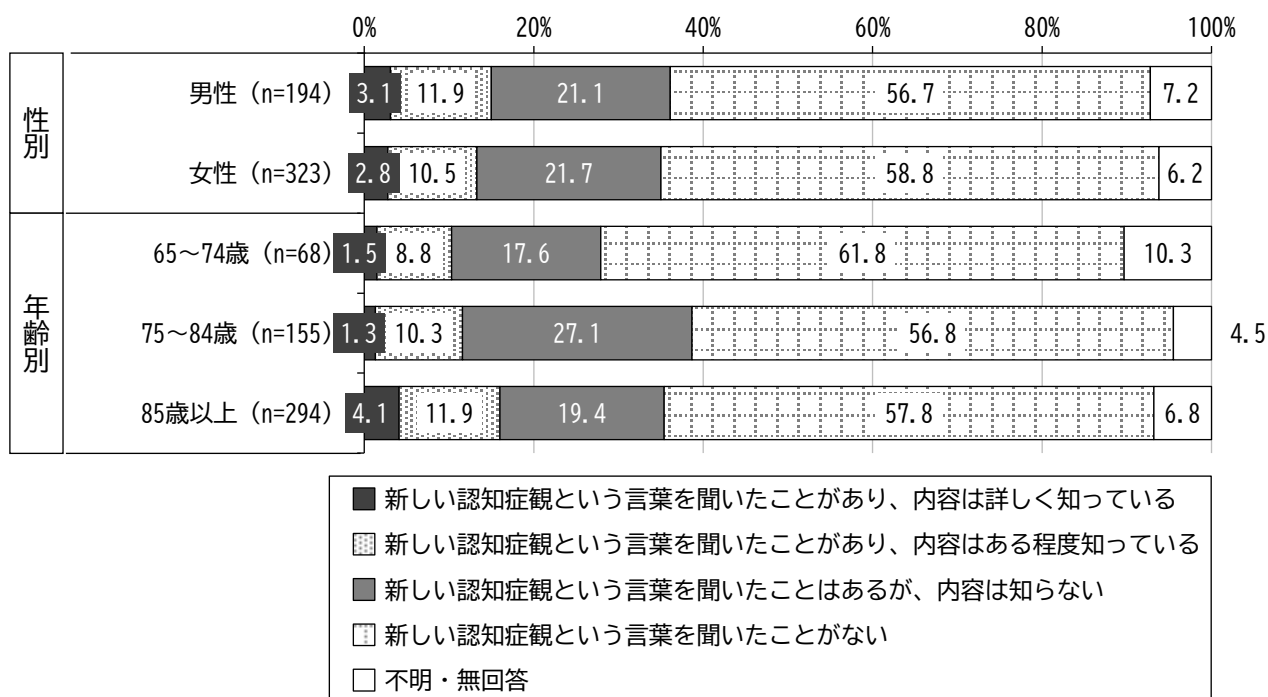


問4 令和6年12月に国の「認知症施策推進基本計画」において示された「新しい認知症観」という言葉を聞いたことがありますか、また、その内容について知っていますか。（単数回答）

「新しい認知症観」の認知状況については、「新しい認知症観という言葉を見たことがない」が58.0%と最も多く、次いで「新しい認知症観という言葉を見たことはあるが、内容は知らない」が21.5%、「新しい認知症観という言葉を見たことがあり、内容はある程度知っている」が11.0%となっています。

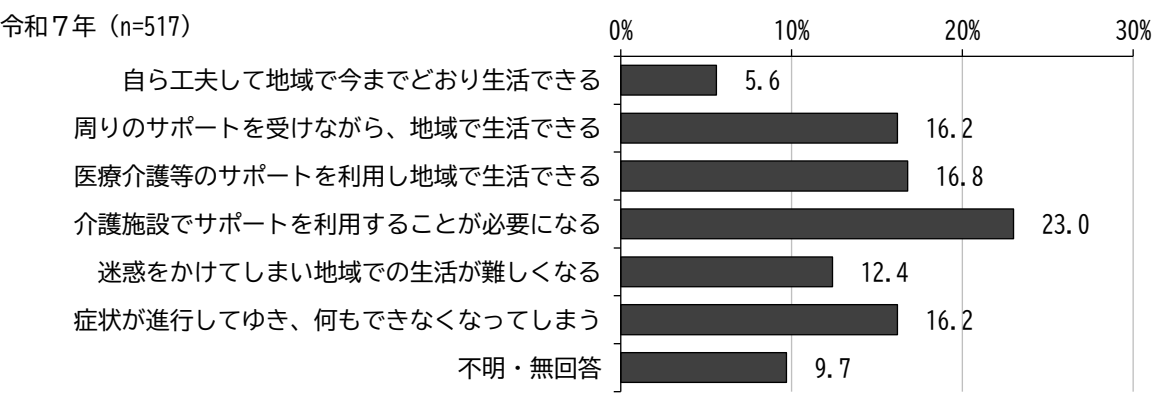


性別・年齢別にみると、すべての区分で「新しい認知症観という言葉を見たことがない」が最も多くなっています。



問5 あなたは認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。あなたが思うイメージに最も近いものをお答えください。（単数回答）

認知症のイメージについては、「介護施設でサポートを利用することが必要になる」が23.0%と最も多く、次いで「医療介護等のサポートを利用し地域で生活できる」が16.8%、「周りのサポートを受けながら、地域で生活できる」「症状が進行してゆき、何もできなくなってしまう」が16.2%となっています。



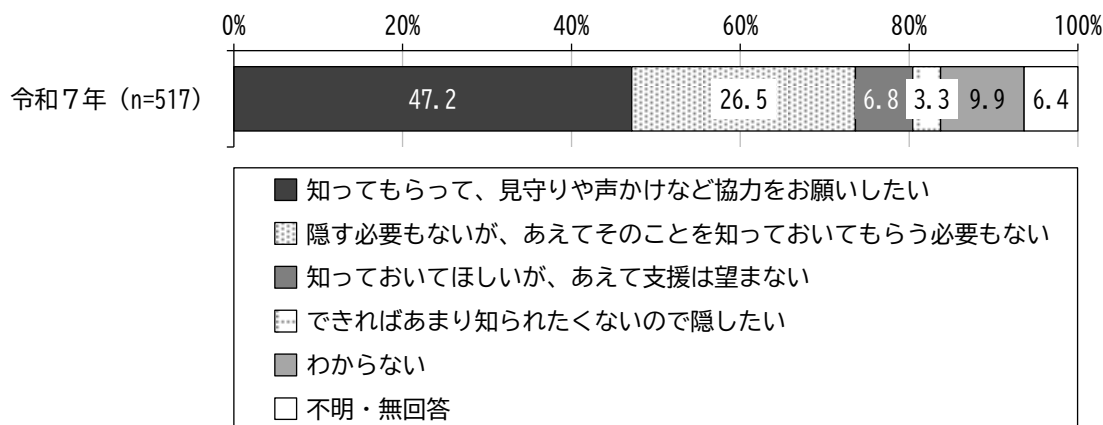
性別にみると、男女ともに「介護施設でサポートを利用することが必要になる」が最も多くなっています。

年齢別にみると、65～74 歳で「周りのサポートを受けながら、地域で生活できる」、それ以外の年齢で「介護施設でサポートを利用することが必要になる」が最も多くなっています。

単位：%		で自ら お工夫 して地 域で今 ま	が周り の地域 ポ一 ト生 活を 受け ける な	利 用 医 療 し 介 護 等 の 生 活 ポ 一 き ト る を	用 介 護 施 こ 設 と が サ ポ 一 に ト な る 利	で迷 惑 生 を 活 か け 難 し く ま い る 地 域	も症 状 が 進 行 な つ て ゆ き 、 何	不 明 ・ 無 回 答
全体（n=517）		5.6	16.2	16.8	23.0	12.4	16.2	9.7
性別	男性（n=194）	5.7	15.5	16.0	20.6	13.9	17.0	11.3
	女性（n=323）	5.6	16.7	17.3	24.5	11.5	15.8	8.7
年齢別	65～74歳（n=68）	5.9	25.0	8.8	22.1	13.2	14.7	10.3
	75～84歳（n=155）	6.5	16.1	17.4	21.9	9.0	21.3	7.7
	85歳以上（n=294）	5.1	14.3	18.4	23.8	13.9	13.9	10.5

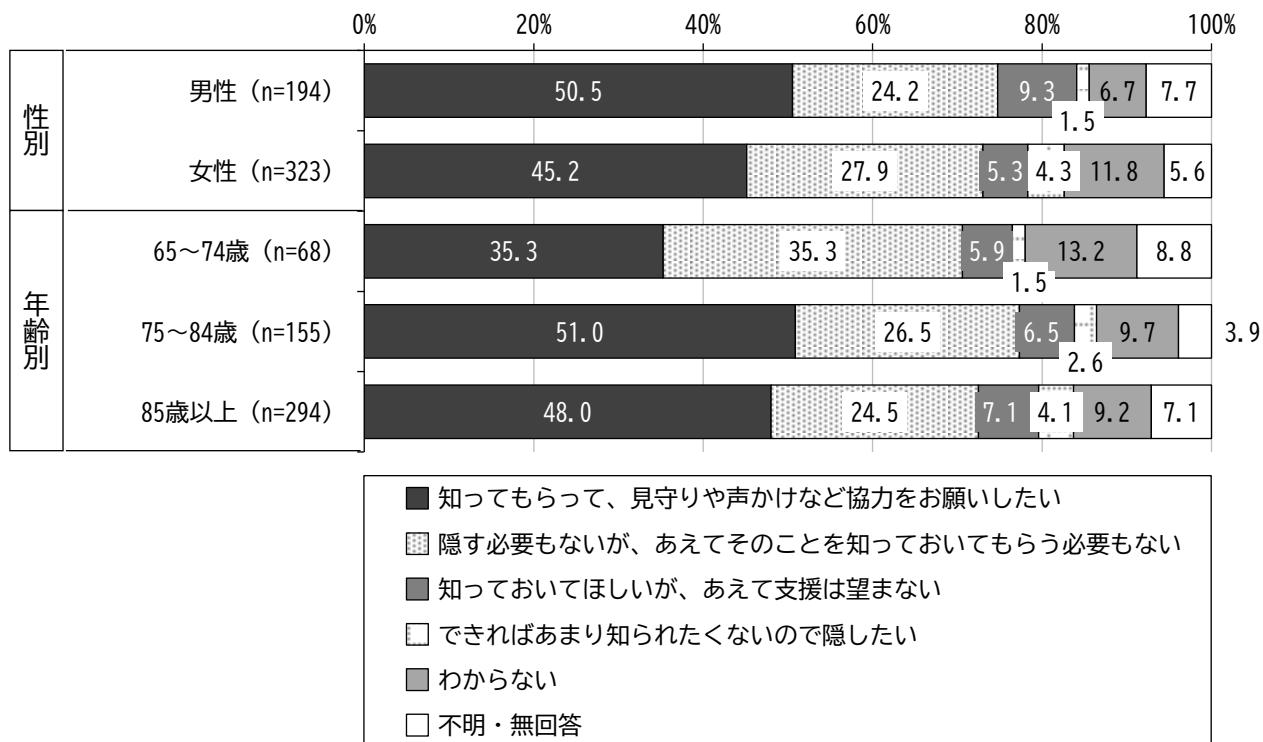
問6 もし、あなたやあなたの家族が認知症になったら、そのことを近所の人に知ってもらおうと思いますか。(単数回答)

自身や家族が認知症になった場合、近所の人に知ってもらおうと思うかについては、「知ってもらって、見守りや声かけなど協力をお願いしたい」が 47.2%と最も多く、次いで「隠す必要もないが、あえてそのことを知っておいてもらう必要もない」が 26.5%、「わからない」が 9.9%となっています。



性別にみると、男女ともに「知ってもらって、見守りや声かけなど協力をお願いしたい」が最も多くなっています。

年齢別にみると、65～74 歳で「知ってもらって、見守りや声かけなど協力をお願いしたい」「隠す必要もないが、あえてそのことを知っておいてもらう必要もない」、それ以外の年齢で「知ってもらって、見守りや声かけなど協力をお願いしたい」が最も多くなっています。



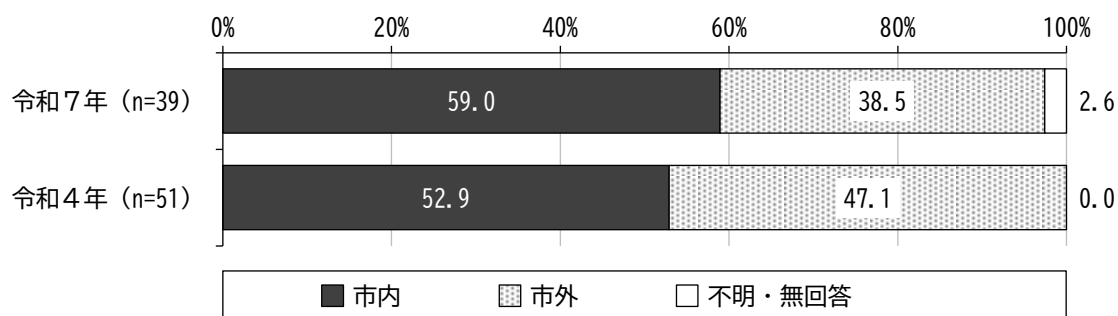
第5章 介護サービス事業所実態調査結果

1 事業所について

■ 事業所の所在地（単数回答）

事業所の所在地については、「市内」が59.0%、「市外」が38.5%となっています。

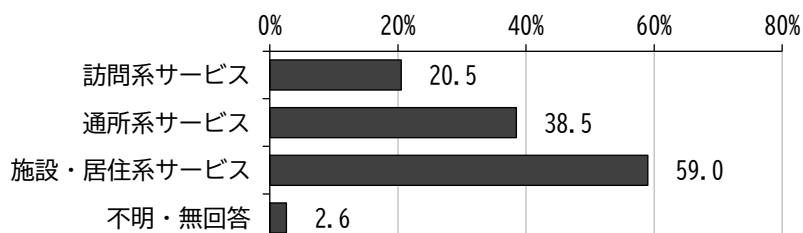
令和4年調査と比較すると、「市外」が8.6ポイント減少し、「市内」が6.1ポイント増加しています。



■ サービス種別（複数回答）

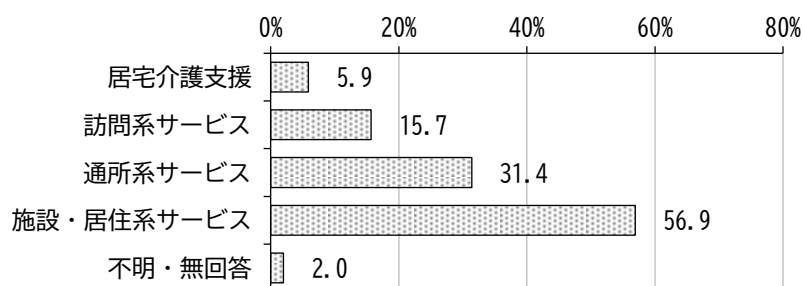
事業所のサービス種別については、「施設・居住系サービス」が59.0%と最も多く、次いで「通所系サービス」が38.5%、「訪問系サービス」が20.5%となっています。

令和7年 (n=39)



◆ 参考：令和4年調査

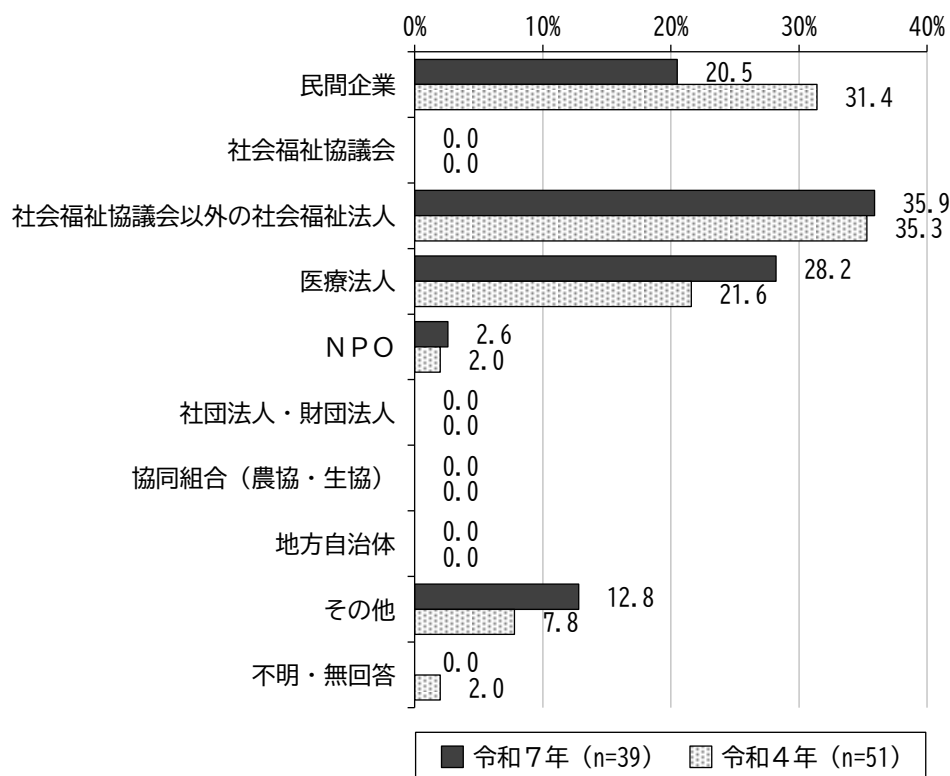
令和4年 (n=51)



問１ 貴事業所の属する法人の種類は次のどれですか。（単数回答）

事業所の属する法人の種類については、「社会福祉協議会以外の社会福祉法人」が 35.9%と最も多く、次いで「医療法人」が 28.2%、「民間企業」が 20.5%となっています。

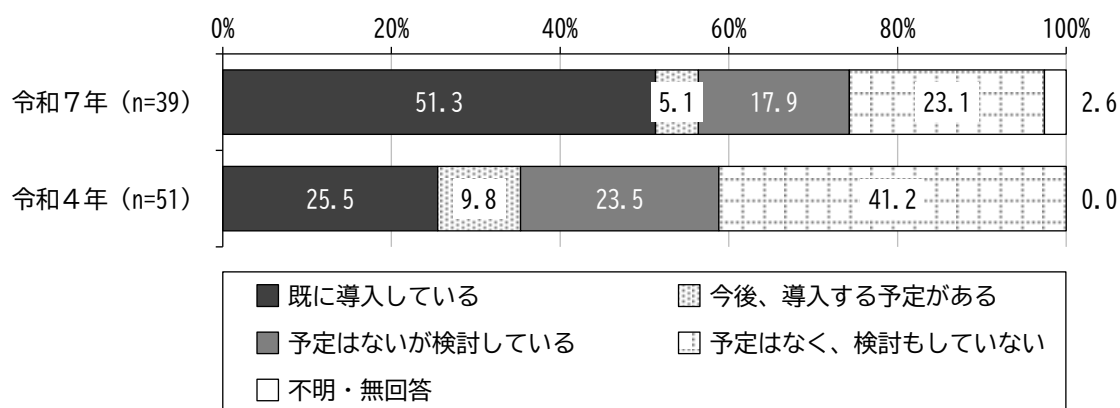
令和４年調査と比較すると、「民間企業」が 10.9 ポイント減少し、「医療法人」が 6.6 ポイント増加しています。



問２ 貴事業所において、介護現場へのＩＣＴ、ＡＩ、ロボット技術等は導入していますか。（単数回答）

事業所における介護現場へのＩＣＴ、ＡＩ、ロボット技術等の導入状況については、「既に導入している」が 51.3%と最も多く、次いで「予定はなく、検討もしていない」が 23.1%、「予定はないが検討している」が 17.9%となっています。

令和４年調査と比較すると、「既に導入している」が 25.8 ポイント増加し、「予定はなく、検討もしていない」が 18.1 ポイント減少しています。



2 事業所の従業員の状況について

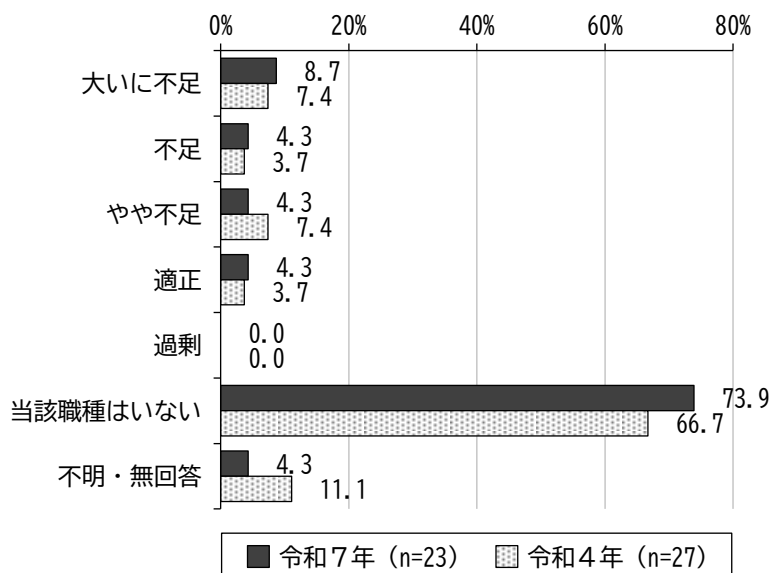
【角田市内の事業所のみ】

問3 貴事業所における従業員の職種別過不足の状況を教えてください。
(それぞれ単数回答)

ア 訪問介護員

訪問介護員の過不足の状況については、「当該職種はいない」が73.9%と最も多く、次いで「大いに不足」が8.7%、「不足」「やや不足」「適正」が4.3%となっています。

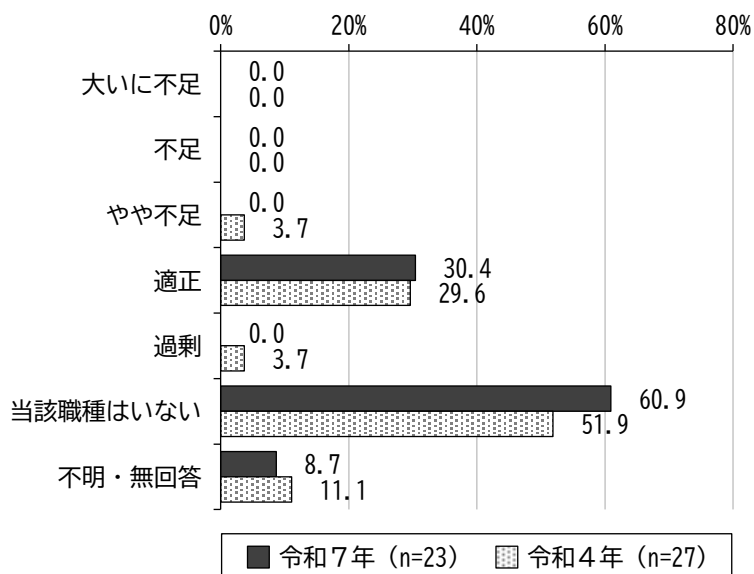
令和4年調査と比較すると、「当該職種はいない」が7.2ポイント増加しています。



イ サービス提供責任者

サービス提供責任者の過不足の状況については、「当該職種はいない」が60.9%と最も多く、次いで「適正」が30.4%となっています。

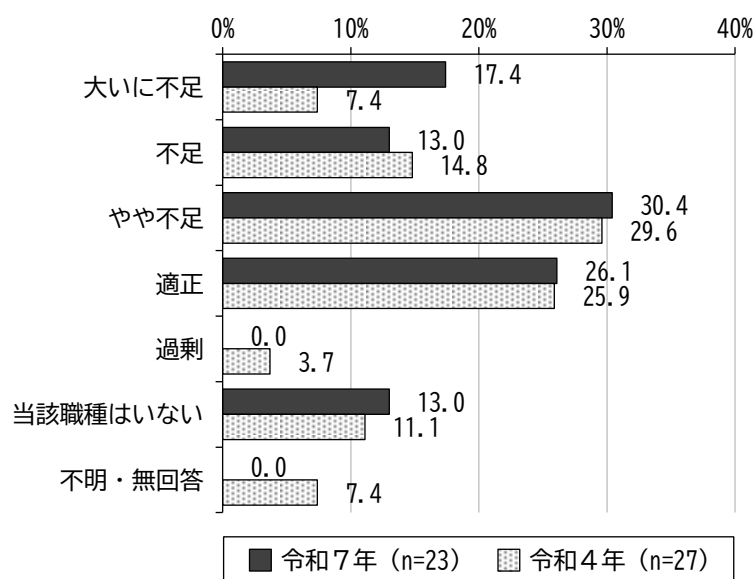
令和4年調査と比較すると、「当該職種はいない」が9.0ポイント増加しています。



ウ 介護職員

介護職員の過不足の状況については、「やや不足」が30.4%と最も多く、次いで「適正」が26.1%、「大いに不足」が17.4%となっています。

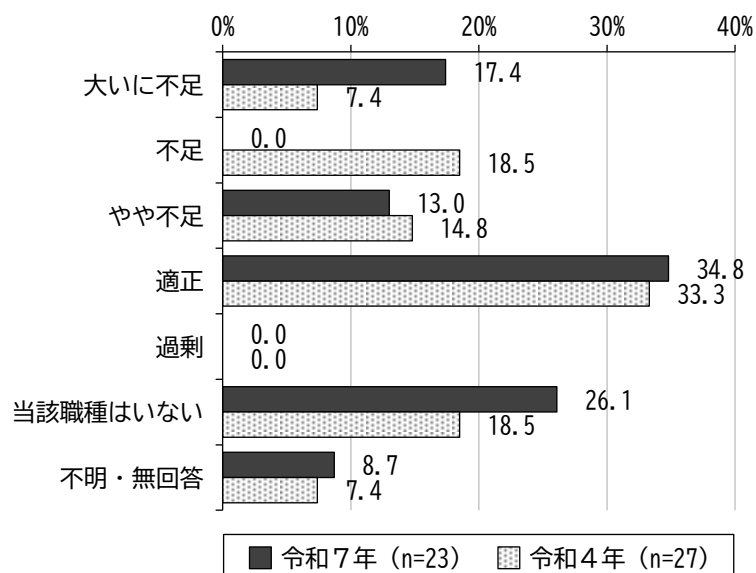
令和4年調査と比較すると、「大いに不足」が10.0ポイント増加しています。



エ 看護職員

看護職員の過不足の状況については、「適正」が34.8%と最も多く、次いで「当該職種はいない」が26.1%、「大いに不足」が17.4%となっています。

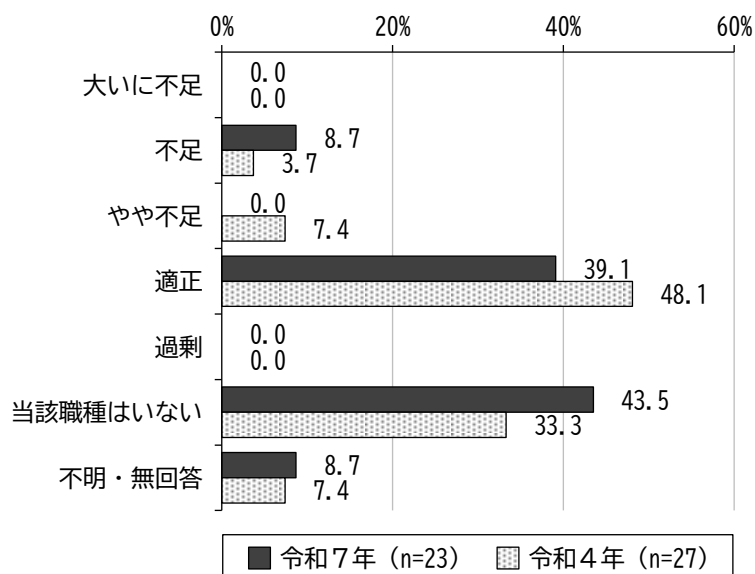
令和4年調査と比較すると、「不足」が18.5ポイント減少し、「大いに不足」が10.0ポイント増加しています。



オ 生活相談員

生活相談員の過不足の状況については、「当該職種はいない」が 43.5%と最も多く、次いで「適正」が 39.1%、「不足」が 8.7%となっています。

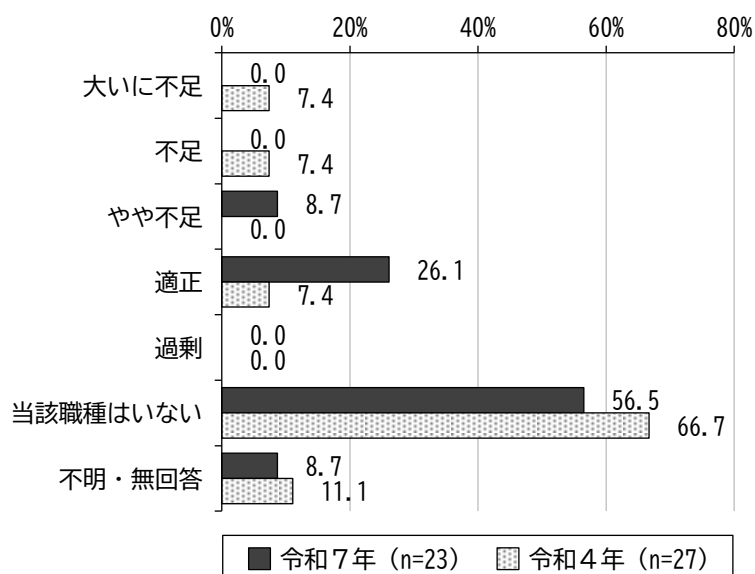
令和4年調査と比較すると、「当該職種はいない」が 10.2 ポイント増加し、「適正」が 9.0 ポイント減少しています。



カ PT・OT・ST等

PT・OT・ST等の過不足の状況については、「当該職種はいない」が 56.5%と最も多く、次いで「適正」が 26.1%、「やや不足」が 8.7%となっています。

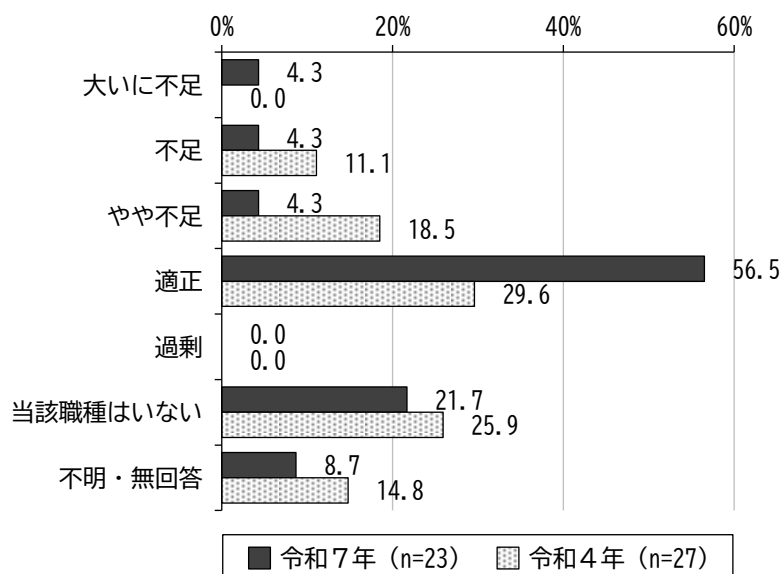
令和4年調査と比較すると、「適正」が 18.7 ポイント増加し、「当該職種はいない」が 10.2 ポイント減少しています。



キ 介護支援専門員（ケアマネジャー）

介護支援専門員（ケアマネジャー）の過不足の状況については、「適正」が56.5%と最も多く、次いで「当該職種はいない」が21.7%、「大いに不足」「不足」「やや不足」が4.3%となっています。

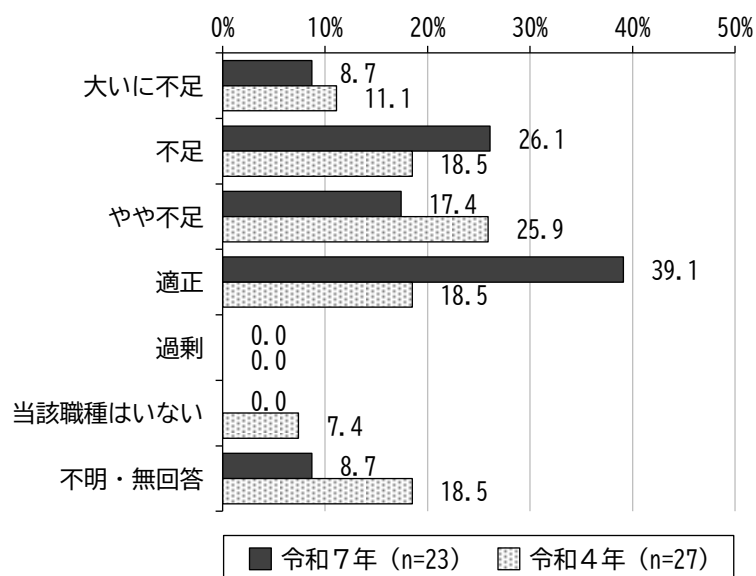
令和4年調査と比較すると、「適正」が26.9ポイント増加し、「やや不足」が14.2ポイント減少しています。



ク 全体で見た場合

従業員全体の過不足の状況については、「適正」が39.1%と最も多く、次いで「不足」が26.1%、「やや不足」が17.4%となっています。

令和4年調査と比較すると、「適正」が20.6ポイント増加し、「やや不足」が8.5ポイント減少しています。



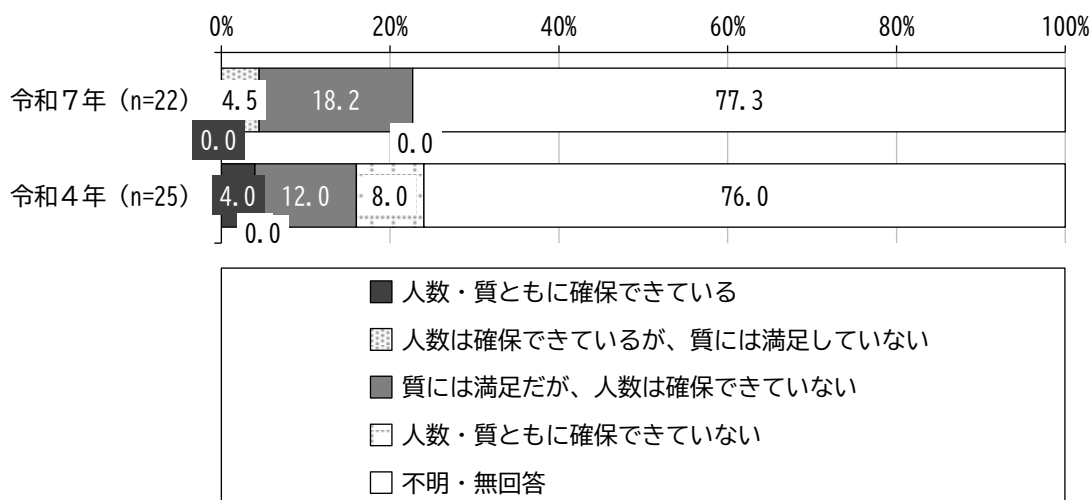
【訪問介護員または介護職員がいる事業所のみ】

問4 貴事業所では、過去1年間（令和7年1月1日～令和7年12月31日の間）に採用した職員の人数や質をどのように評価していますか。（それぞれ単数回答）

ア 訪問介護員

過去1年間に採用した訪問介護員の人数や質の評価については、「質には満足だが、人数は確保できていない」が18.2%と最も多く、次いで「人数は確保できているが、質には満足していない」が4.5%となっています。

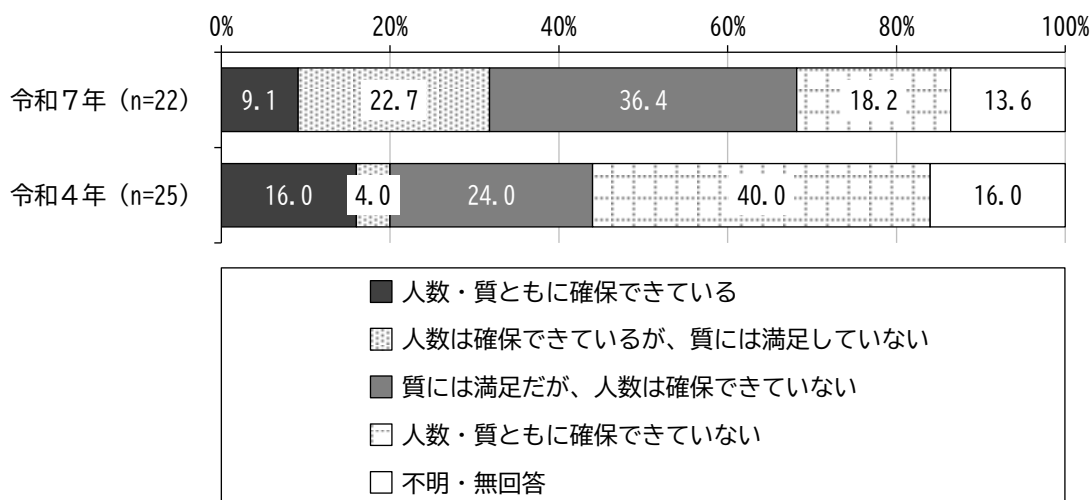
令和4年調査と比較すると、「人数・質ともに確保できていない」が8.0ポイント減少し、「質には満足だが、人数は確保できていない」が6.2ポイント増加しています。



イ 介護職員

過去1年間に採用した介護職員の人数や質の評価については、「質には満足だが、人数は確保できていない」が36.4%と最も多く、次いで「人数は確保できているが、質には満足していない」が22.7%、「人数・質ともに確保できていない」が18.2%となっています。

令和4年調査と比較すると、「人数・質ともに確保できていない」が21.8ポイント減少し、「人数は確保できているが、質には満足していない」が18.7ポイント増加しています。



【問4のアもしくはイで「質には満足だが、人数は確保できていない」または「人数・質ともに確保できていない」と回答した事業所のみ】

問4-1 人数を確保できない理由は何ですか。（複数回答）

訪問介護員や介護職員の人数を確保できない理由については、「募集しても応募がない」が12件と最も多く、次いで「有資格者等、希望する人材が確保できない」が5件、「離職率が高い、定着率が低い」が4件となっています。

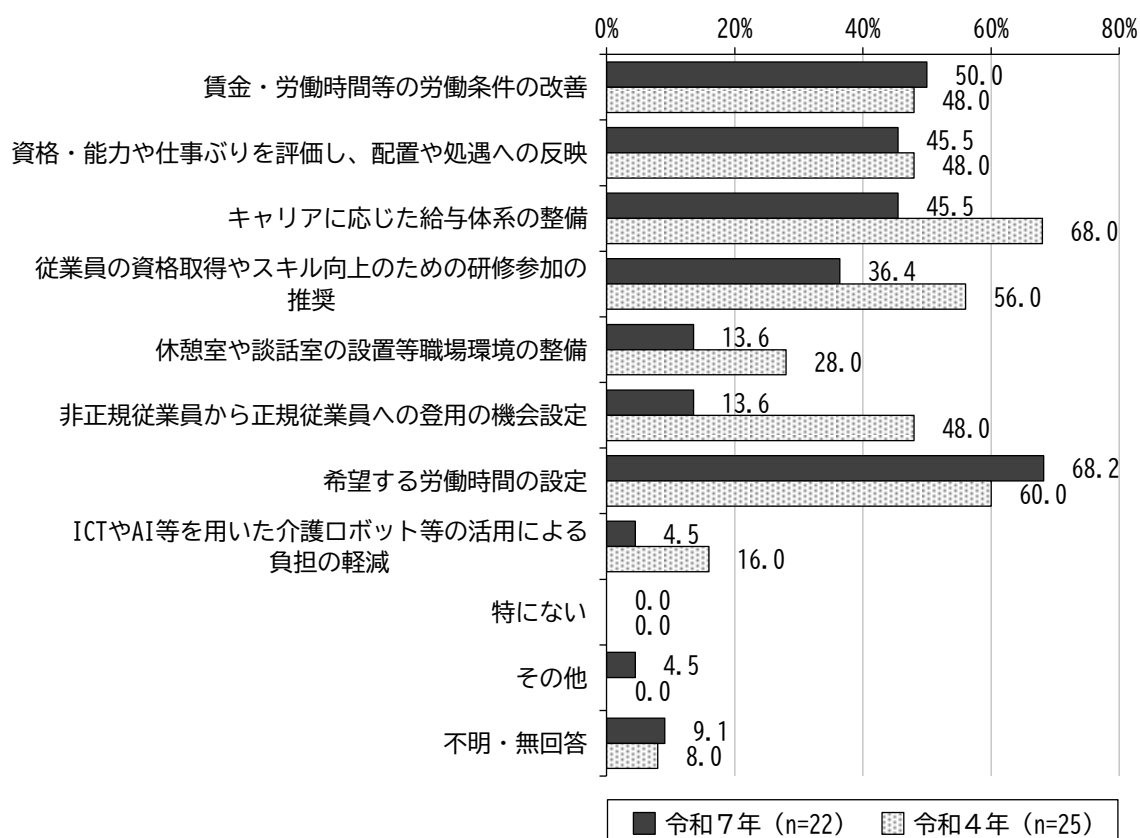
	令和7年 (n=14)		令和4年 (n=19)	
	件数	%	件数	%
離職率が高い、定着率が低い	4	28.6	4	21.1
募集しても応募がない	12	85.7	17	89.5
応募はあるが、採用できる人がいない	3	21.4	4	21.1
有資格者等、希望する人材が確保できない	5	35.7	9	47.4
利用者が安定しない等、時期によって必要な人員が変動する	2	14.3	1	5.3
わからない	0	0.0	0	0.0
その他	0	0.0	1	5.3
不明・無回答	1	7.1	0	0.0

【訪問介護員または介護職員がいる事業所のみ】

問5 貴事業所において、早期離職防止や定着促進に向けて、取り組んでいることはありますか。（複数回答）

早期離職防止や定着促進に向けて取り組んでいることについては、「希望する労働時間の設定」が68.2%と最も多く、次いで「賃金・労働時間等の労働条件の改善」が50.0%、「資格・能力や仕事を評価し、配置や処遇への反映」「キャリアに応じた給与体系の整備」が45.5%となっています。

令和4年調査と比較すると、「非正規従業員から正規従業員への登用の機会設定」が34.4ポイント、「キャリアに応じた給与体系の整備」が22.5ポイント減少しています。

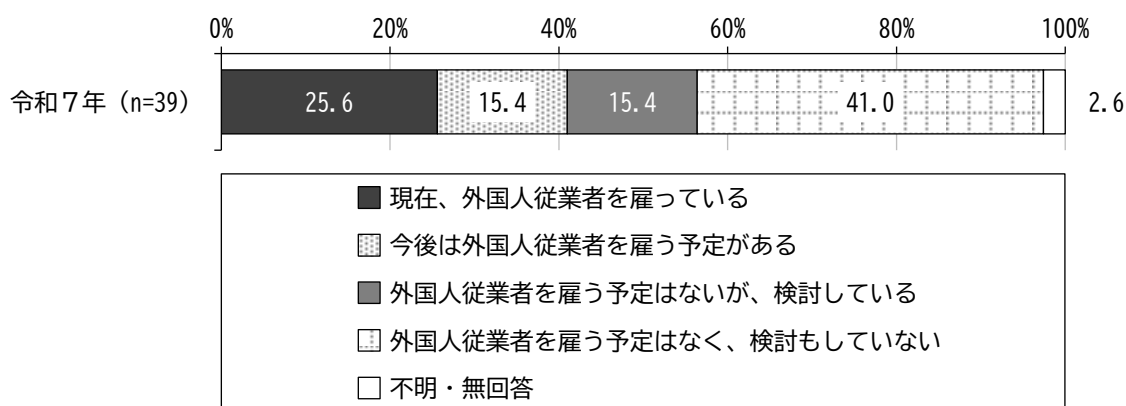


●その他内容

- ・コミュニケーションを良好にする。上下関係なく明るい職場環境

問6 外国人従業者について、お答えください。(単数回答)

外国人従業者については、「外国人従業者を雇う予定はなく、検討もしていない」が41.0%と最も多く、次いで「現在、外国人従業者を雇っている」が25.6%、「今後は外国人従業者を雇う予定がある」「外国人従業者を雇う予定はないが、検討している」が15.4%となっています。



【問6で「現在、外国人従業者を雇っている」または「今後は外国人従業者を雇う予定がある」と回答した事業所のみ】

■ 外国人従業者数 (数量回答)

現在、雇っている外国人従業者数については、「1人」が3件と最も多く、次いで「2人」が2件、「4人」「6人」「7人」が1件となっています。

今後、雇う予定の外国人従業者数については、「1人」が4件と最も多く、次いで「2人」が2件となっています。

令和7年	現在、雇っている 外国人従業者数 (n=10)		今後、雇う予定の 外国人従業者数 (n=6)	
	件数	%	件数	%
1人	3	30.0	4	66.7
2人	2	20.0	2	33.3
3人	0	0.0	0	0.0
4人	1	10.0	0	0.0
5人	0	0.0	0	0.0
6人	1	10.0	0	0.0
7人	1	10.0	0	0.0
不明・無回答	2	20.0	0	0.0

【問6で「現在、外国人従業者を雇っている」と回答した事業所のみ】

問6-1 受入れ人数をお答えください。（それぞれ数量回答）

外国人従業者の資格別受入れ人数については、EPA（在留資格「特定活動」）では、「5人」「6人」が2件と最も多く、次いで「3人」が1件となっています。

在留資格「留学」では、回答がありませんでした。

在留資格「介護」では、「1人」「2人」が1件となっています。

在留資格「技能実習」では、「2人」「4人」が1件となっています。

在留資格「特定技能」では、「2人」が2件と最も多く、次いで「4人」「5人」「6人」「7人」が1件となっています。

その他では、「1人」が2件となっています。

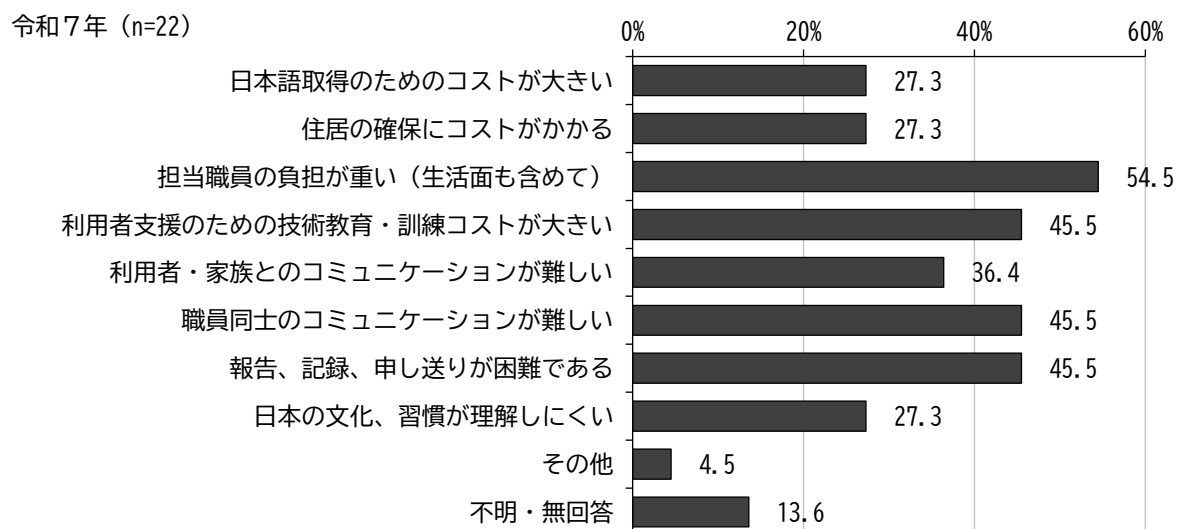
令和7年 (n=10)	EPA 在留資格「特定活動」		在留資格「留学」		在留資格「介護」		在留資格「技能実習」	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1人	0	0.0	0	0.0	1	10.0	0	0.0
2人	0	0.0	0	0.0	1	10.0	1	10.0
3人	1	10.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4人	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	10.0
5人	2	20.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6人	2	20.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7人	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	5	50.0	10	100.0	8	80.0	8	80.0

令和7年 (n=10)	在留資格「特定技能」		その他	
	件数	%	件数	%
1人	0	0.0	2	20.0
2人	2	20.0	0	0.0
3人	0	0.0	0	0.0
4人	1	10.0	0	0.0
5人	1	10.0	0	0.0
6人	1	10.0	0	0.0
7人	1	10.0	0	0.0
不明・無回答	4	40.0	8	80.0

【問6で「外国人従業者を雇う予定はないが、検討している」または「外国人従業者を雇う予定はなく、検討もしていない」と回答した事業所のみ】

問6-2 雇用しない理由をお答えください。（複数回答）

外国人従業者を雇用しない理由については、「担当職員の負担が重い（生活面も含めて）」が54.5%と最も多く、次いで「利用者支援のための技術教育・訓練コストが大きい」「職員同士のコミュニケーションが難しい」「報告、記録、申し送りが困難である」が45.5%となっています。



●その他内容

- ・ 本社仙台から雇用をすすめている

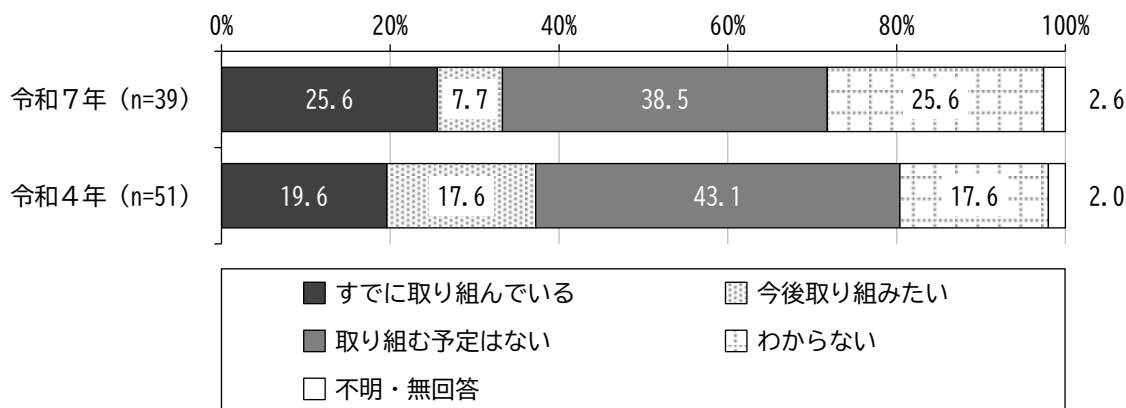
3 地域生活及び地域との連携について

問7 貴事業所は、地域の中で次のような取り組みを行っていますか。(それぞれ単数回答)

ア 介護保険外の生活支援サービスの提供

介護保険外の生活支援サービスの提供する取り組みについては、「取り組む予定はない」が38.5%と最も多く、次いで「すでに取り組んでいる」「わからない」が25.6%となっています。

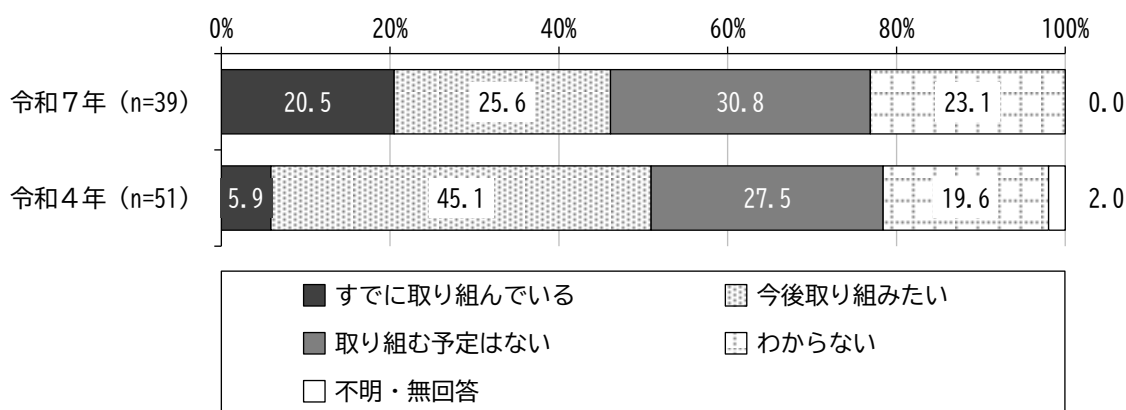
令和4年調査と比較すると、「今後取り組みたい」が9.9ポイント減少し、「わからない」が8.0ポイント増加しています。



イ 事業所の設備や建物等を地域に開放

事業所の設備や建物等を地域に開放する取り組みについては、「取り組む予定はない」が30.8%と最も多く、次いで「今後取り組みたい」が25.6%、「わからない」が23.1%となっています。

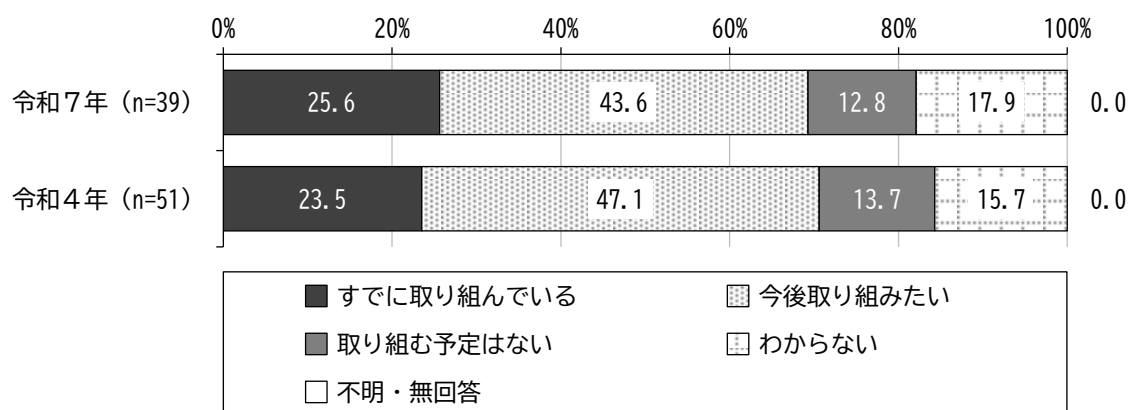
令和4年調査と比較すると、「今後取り組みたい」が19.5ポイント減少し、「すでに取り組んでいる」が14.6ポイント増加しています。



ウ 祭り等の地域行事に事業所として参加

祭り等の地域行事に事業所として参加する取り組みについては、「今後取り組みたい」が43.6%と最も多く、次いで「すでに取り組んでいる」が25.6%、「わからない」が17.9%となっています。

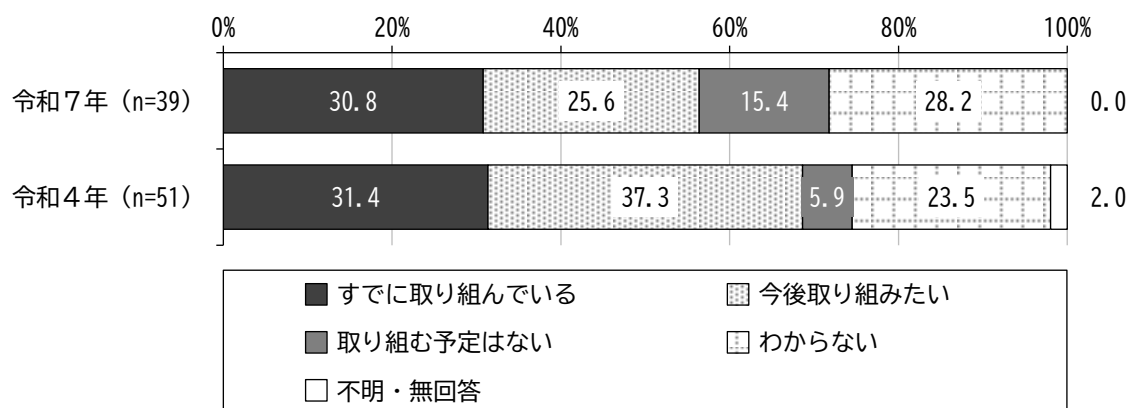
令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



エ 町内会・自治会等にメンバーとして参加・日常的な関係づくり

町内会・自治会等にメンバーとして参加・日常的な関係づくりをする取り組みについては、「すでに取り組んでいる」が30.8%と最も多く、次いで「わからない」が28.2%、「今後取り組みたい」が25.6%となっています。

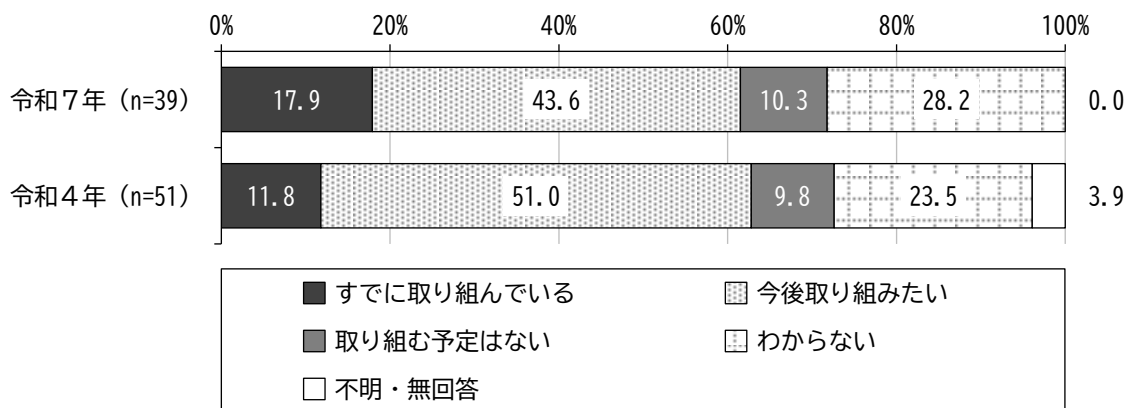
令和4年調査と比較すると、「今後取り組みたい」が11.7ポイント減少し、「取り組む予定はない」が9.5ポイント増加しています。



オ 民生委員、関係機関等とともに地域の見守りネットワークに参加

民生委員、関係機関等とともに地域の見守りネットワークに参加する取り組みについては、「今後取り組みたい」が43.6%と最も多く、次いで「わからない」が28.2%、「すでに取り組んでいる」が17.9%となっています。

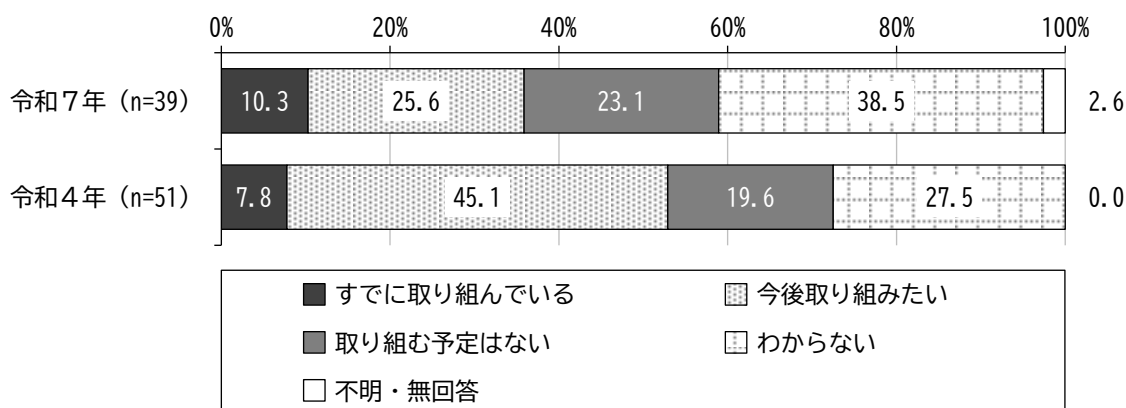
令和4年調査と比較すると、「今後取り組みたい」が7.4ポイント減少し、「すでに取り組んでいる」が6.1ポイント増加しています。



カ 他の事業所等と連携した利用者の支援について手順やマニュアルを整備

他の事業所等と連携した利用者の支援について手順やマニュアルを整備する取り組みについては、「わからない」が38.5%と最も多く、次いで「今後取り組みたい」が25.6%、「取り組む予定はない」が23.1%となっています。

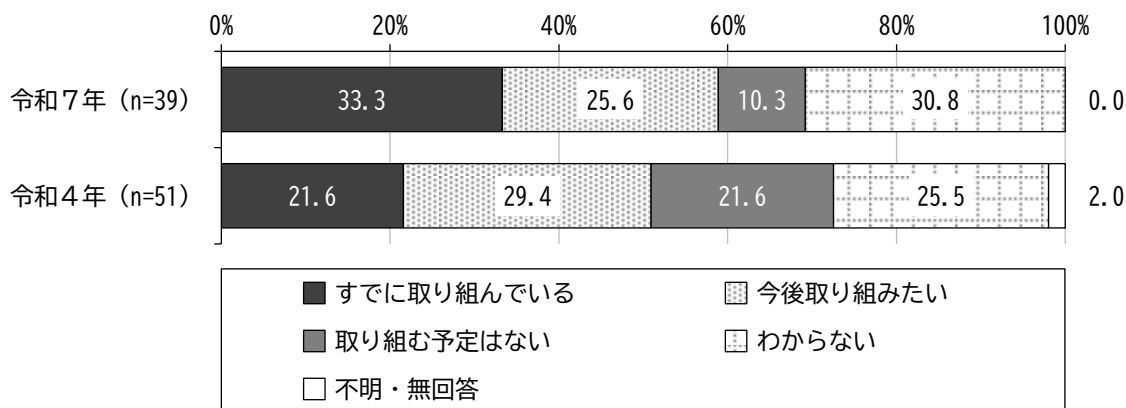
令和4年調査と比較すると、「今後取り組みたい」が19.5ポイント減少し、「わからない」が11.0ポイント増加しています。



キ 地域や学校において介護や健康づくり等に関するセミナー・教室を開催・支援

地域や学校において介護や健康づくり等に関するセミナー・教室を開催・支援する取り組みについては、「すでに取り組んでいる」が33.3%と最も多く、次いで「わからない」が30.8%、「今後取り組みたい」が25.6%となっています。

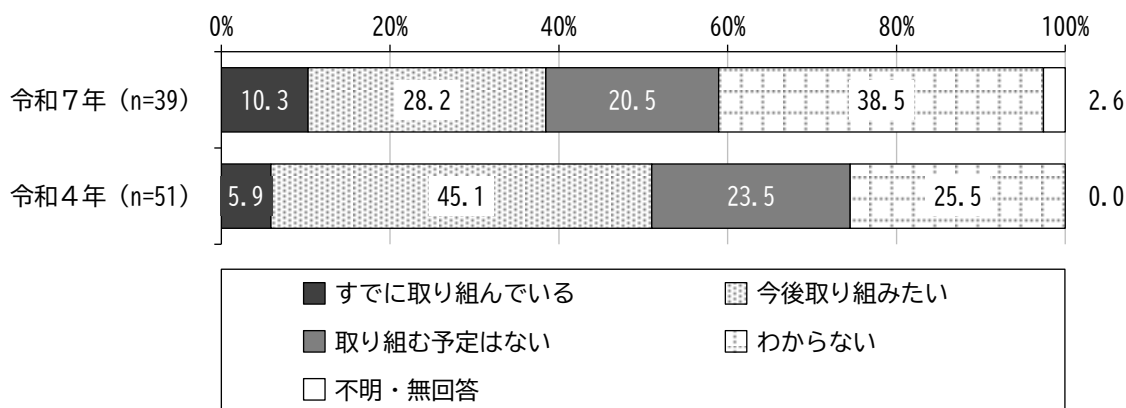
令和4年調査と比較すると、「すでに取り組んでいる」が11.7ポイント増加し、「取り組む予定はない」が11.3ポイント減少しています。



ク 介護者の集いを開催・支援

介護者の集いを開催・支援する取り組みについては、「わからない」が38.5%と最も多く、次いで「今後取り組みたい」が28.2%、「取り組む予定はない」が20.5%となっています。

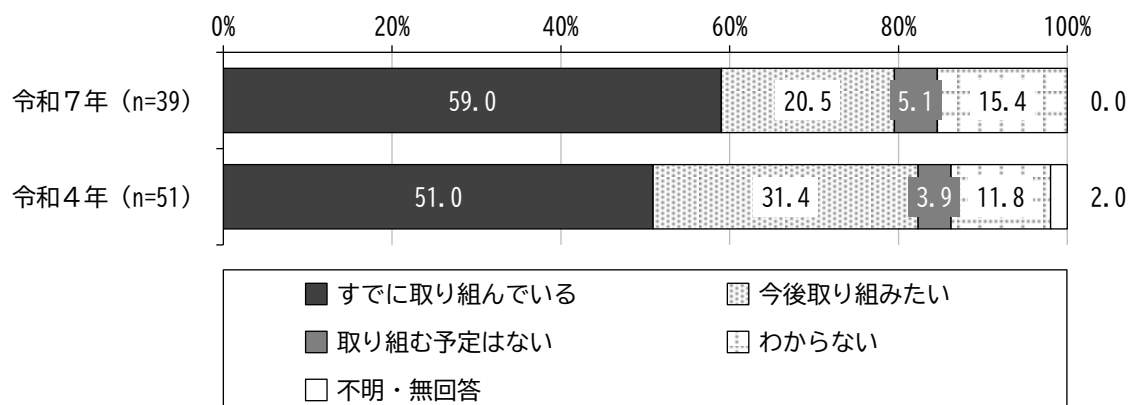
令和4年調査と比較すると、「今後取り組みたい」が16.9ポイント減少し、「わからない」が13.0ポイント増加しています。



ケ 職場見学や職場体験・実習の受け入れ

職場見学や職場体験・実習の受け入れをする取り組みについては、「すでに取り組んでいる」が59.0%と最も多く、次いで「今後取り組みたい」が20.5%、「わからない」が15.4%となっています。

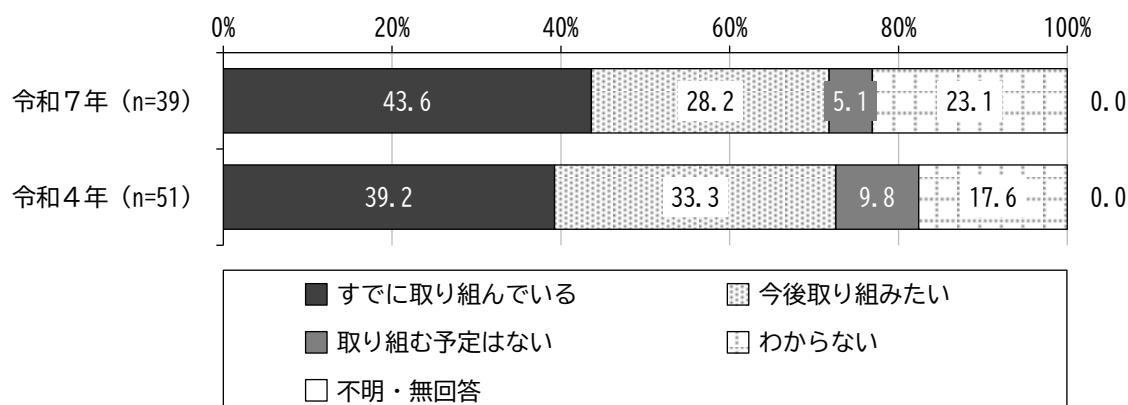
令和4年調査と比較すると、「今後取り組みたい」が10.9ポイント減少し、「すでに取り組んでいる」が8.0ポイント増加しています。



コ ボランティアの受け入れ

ボランティアの受け入れをする取り組みについては、「すでに取り組んでいる」が43.6%と最も多く、次いで「今後取り組みたい」が28.2%、「わからない」が23.1%となっています。

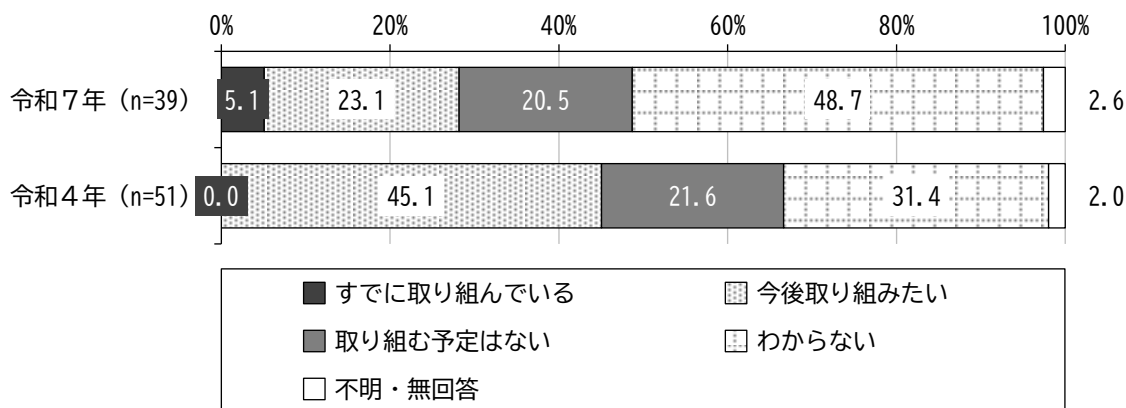
令和4年調査と比較すると、「わからない」が5.5ポイント増加し、「今後取り組みたい」が5.1ポイント減少しています。



サ 生活・介護支援や見守りのためのボランティアの育成・組織化

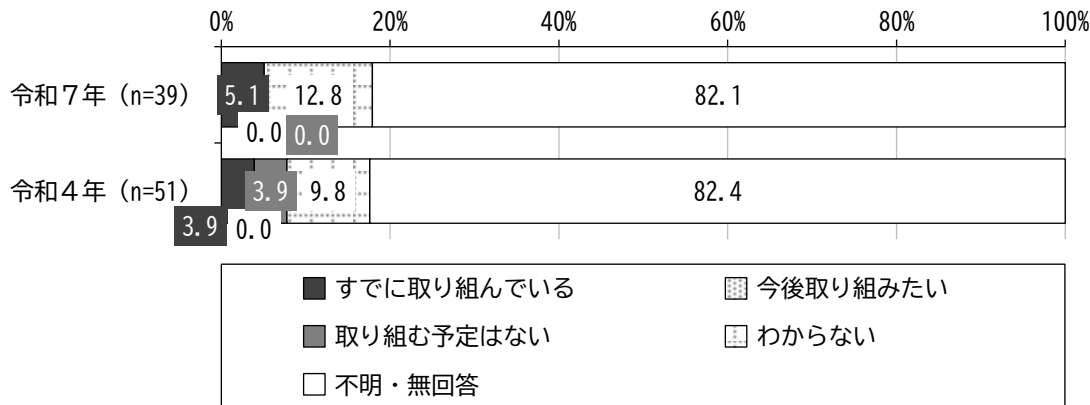
生活・介護支援や見守りのためのボランティアの育成・組織化をする取り組みについては、「わからない」が48.7%と最も多く、次いで「今後取り組みたい」が23.1%、「取り組む予定はない」が20.5%となっています。

令和4年調査と比較すると、「今後取り組みたい」が22.0ポイント減少し、「わからない」が17.3ポイント増加しています。



シ その他

その他の取り組みについては、「わからない」が12.8%と最も多く、次いで「すでに取り組んでいる」が5.1%となっています。



●その他内容

- ・夏まつり開催
- ・月1回の地域住民とのサロン活動

【問7のアで「すでに取り組んでいる」または「今後取り組みたい」と回答した事業所のみ】
 問7-1 介護保険外の生活支援サービスは何ですか。また、取り入れたサービスについて、良いことや不満に思ったことはありますか。（記述回答）

回答内容
・スーパーへの買い物付き添い ・外食の付き添い 屋外へ出ることで機能訓練への意欲が高まる。自ら考え実行し生き活きと生活できる
訪問介護利用の方に限って受入れている。（時間延長などして）
コンビニの移動販売 買い物代行（2件）
自費でのリハビリテーション自宅内での具体的な生活動作訓練
別荘地に隣接しており、高齢や障害を理由に家族との旅行に行けない方がいると聞いています。何かそうした方の助けになる活動がないかと考えています
訪問利用に取り組んでいる。
法令で本来行えない受診等の付き添い（家族が付き添えない場合）
理・美容の対応（2件）
日常品の買い物や掃除
保険内でできない事。仏だなの掃除。要介護の通院介助。大掃除。家具の移動など 良い事…保険内で出来ないことができ、喜ばれた 不満…料金が低い。介護保険でも通院介助が出来ないのはおかしい

【問7のコで「すでに取り組んでいる」と回答した事業所のみ】
 問7-2 ボランティアにはどのような活動を依頼していますか。（複数回答）

ボランティアに依頼している活動については、「施設の行事のお手伝い」が9件と最も多く、次いで「レクリエーション等の指導・補助」が7件、「入所者や利用者の話し相手」が6件となっています。

	令和7年 (n=17)		令和4年 (n=20)	
	件数	%	件数	%
レクリエーション等の指導・補助	7	41.2	8	40.0
入所者や利用者の話し相手	6	35.3	7	35.0
施設の行事のお手伝い	9	52.9	13	65.0
散歩の補助	1	5.9	3	15.0
配膳の補助	2	11.8	1	5.0
洗濯物の整理	0	0.0	0	0.0
施設の清掃	1	5.9	1	5.0
特になし	0	0.0	0	0.0
その他	4	23.5	2	10.0
不明・無回答	2	11.8	0	0.0

●その他内容

- ・レクリエーションの開催
- ・ドライヤー、お茶出し、リネン交換
- ・楽しみの活動の提供
- ・施設の除草
- ・クラブ
- ・行事として楽しみの機会を設けてもらう

【問7のコで「すでに取り組んでいる」と回答した事業所のみ】

問7-3 貴事業所で行っているボランティアのしくみについて教えてください。
(それぞれ単数回答)

■ 募集方法

ボランティアの募集方法については、「地域住民へ広く募集」が3件、「関係者のみ募集」が13件となっています。

令和7年 (n=17)	件数	%
地域住民へ広く募集	3	17.6
関係者のみ募集	13	76.5
不明・無回答	1	5.9

■ 研修会

ボランティアの研修会については、「行っていない」が14件と最も多く、次いで「独自に行っている」が2件、「外部の研修会に参加している」が1件となっています。

令和7年 (n=17)	件数	%
独自に行っている	2	11.8
外部の研修会に参加している	1	5.9
行っていない	14	82.4
不明・無回答	0	0.0

■ 処遇

ボランティアの処遇については、「有償ボランティア」が3件、「無償ボランティア」が14件となっています。

令和7年 (n=17)	件数	%
有償ボランティア	3	17.6
無償ボランティア	14	82.4
不明・無回答	0	0.0

■ ボランティア人数

ボランティア人数については、「5名以内」が11件と最も多く、次いで「6～10名以内」が3件、「10名以上」が2件となっています。

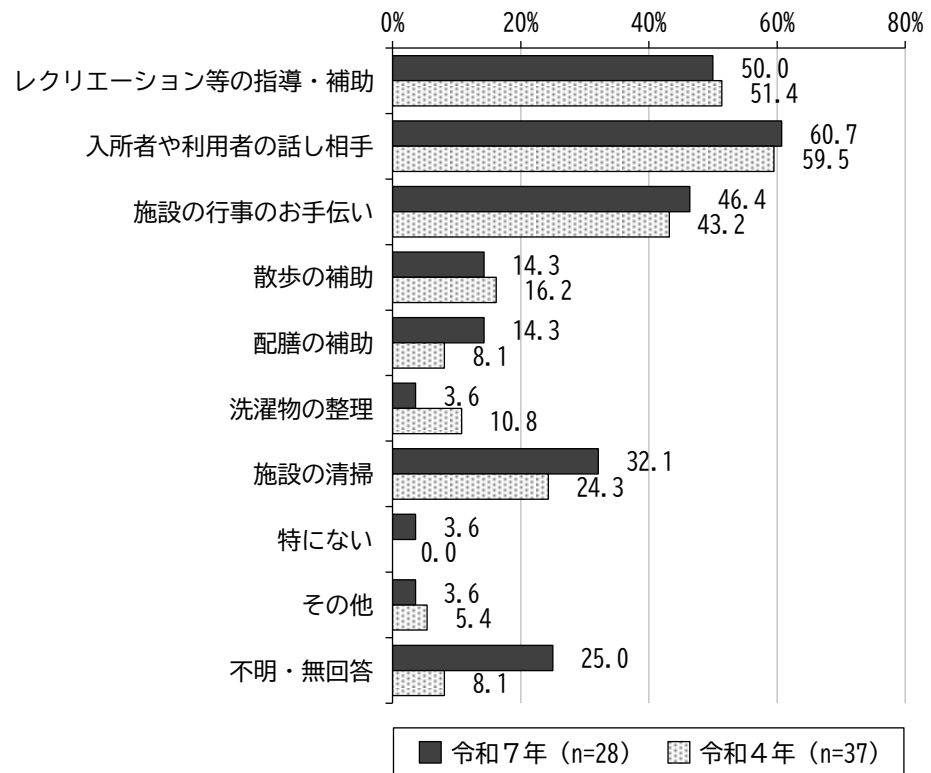
令和7年 (n=17)	件数	%
5名以内	11	64.7
6～10名以内	3	17.6
10名以上	2	11.8
不明・無回答	1	5.9

【問7のコで「すでに取り組んでいる」または「今後取り組みたい」と回答した事業所のみ】

問7-4 今後、ボランティアにはどのような活動を依頼したいですか。（複数回答）

今後、ボランティアに依頼したい活動については、「入所者や利用者の話し相手」が60.7%と最も多く、次いで「レクリエーション等の指導・補助」が50.0%、「施設の行事のお手伝い」が46.4%となっています。

令和4年調査と比較すると、「施設の清掃」が7.8ポイント増加し、「洗濯物の整理」が7.2ポイント減少しています。



●その他内容

- ・レクリエーションの開催
- ・ヘルパーの補助として
- ・ドライヤー、お茶出し、リネン交換

【問7のコで「今後取り組みたい」または「取り組む予定はない」と回答した事業所のみ】

問7-5 ボランティアを受け入れていない理由を教えてください。(複数回答)

ボランティアを受け入れていない理由については、「受け入れ体制が整っていない」が6件と最も多く、次いで「どのようにボランティアを募集すれば良いかわからない」が1件となっています。

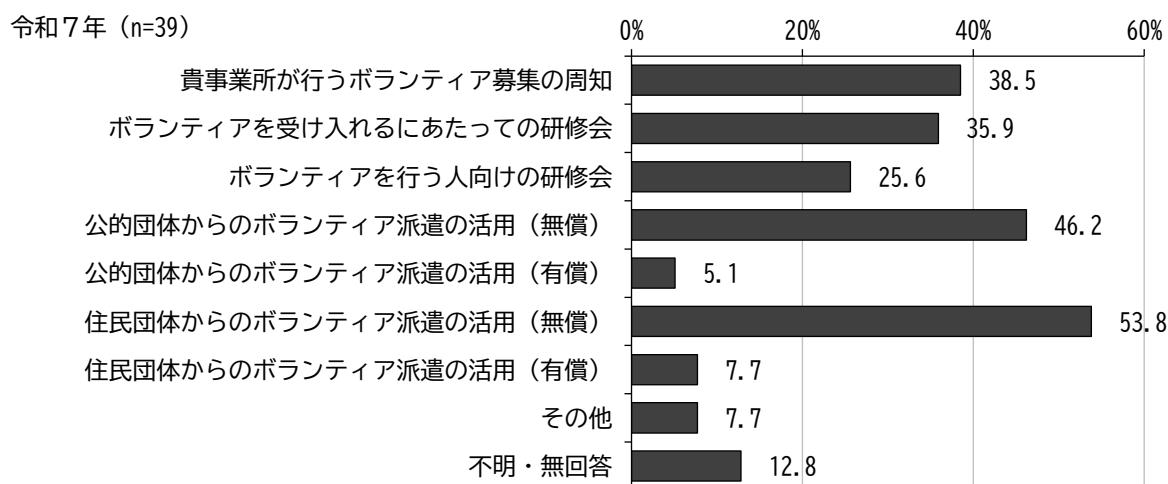
	令和7年 (n=13)		令和4年 (n=22)	
	件数	%	件数	%
ボランティアを受け入れる必要性を感じない	0	0.0	2	9.1
ボランティアに依頼する活動がない	0	0.0	3	13.6
受け入れ体制が整っていない	6	46.2	5	22.7
どのようにボランティアを募集すれば良いかわからない	1	7.7	3	13.6
今までにボランティアを受け入れてトラブル等があった	0	0.0	0	0.0
その他	2	15.4	9	40.9
不明・無回答	5	38.5	1	4.5

●その他内容

- ・無償でいいものかどうか
- ・感染症予防の為

問7-6 ボランティアを受け入れるにあたって利用したいものがありますか。(複数回答)

ボランティアを受け入れるにあたって利用したいものについては、「住民団体からのボランティア派遣の活用（無償）」が53.8%と最も多く、次いで「公的団体からのボランティア派遣の活用（無償）」が46.2%、「貴事業所が行うボランティア募集の周知」が38.5%となっています。



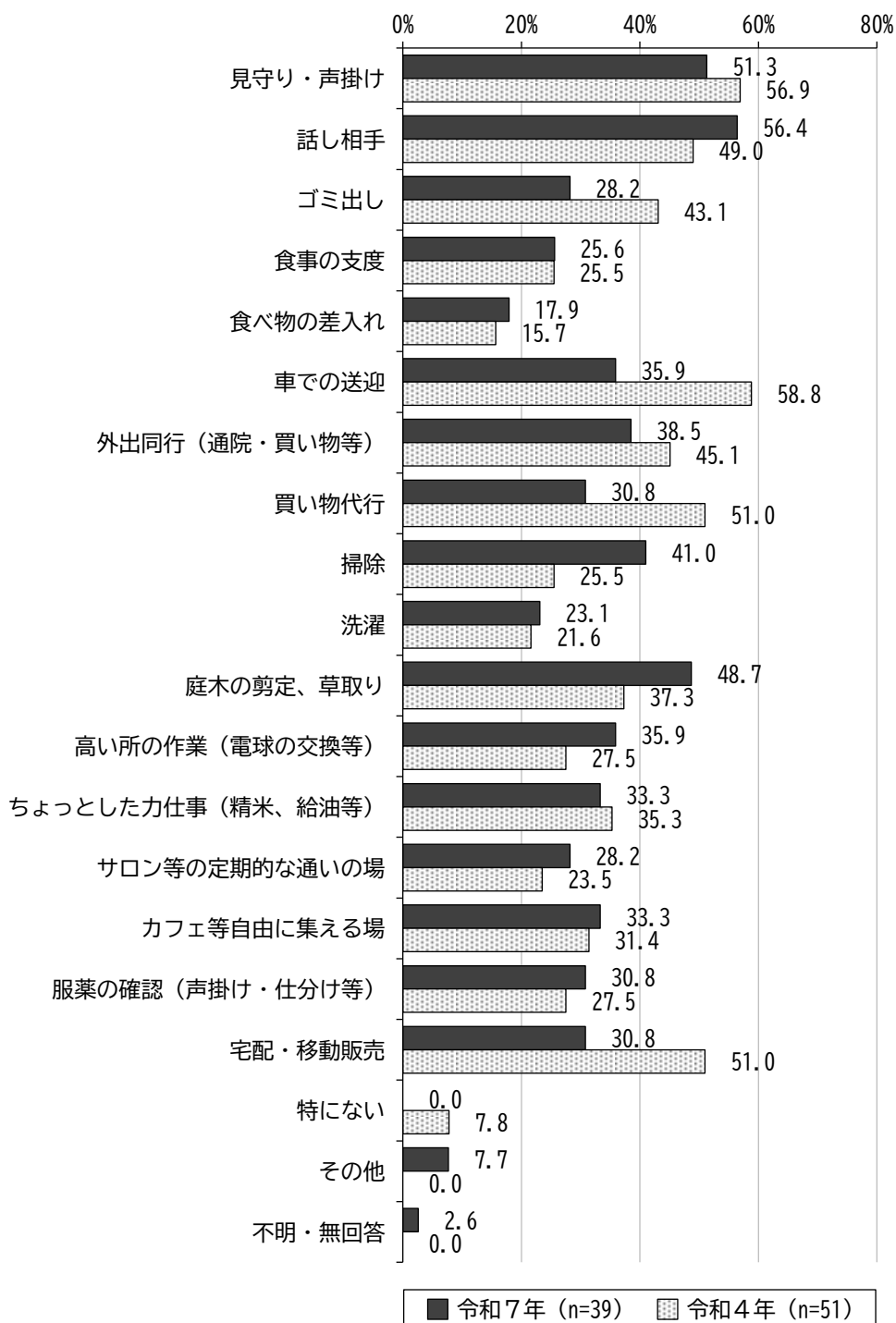
●その他内容

- ・分からない
- ・楽しみの機会の場合としてお願いしたい、介護メインのボランティアさんは今の所必要としていない
- ・行事に対して楽しめる機会を頂けるボランティアさんをお願いしたい。介護に対するボランティアさんは今の所必要としていない

問8 地域にあったら良いと思う生活支援サービスはありますか。(複数回答)

地域にあったら良いと思う生活支援サービスについては、「話し相手」が56.4%と最も多く、次いで「見守り・声掛け」が51.3%、「庭木の剪定、草取り」が48.7%となっています。

令和4年調査と比較すると、「車での送迎」が22.9ポイント、「買い物代行」「宅配・移動販売」が20.2ポイント減少しています。



●その他内容

- ・雪かき
- ・地域で暮らす要介護者向けのディサービスとは違うサロンのような交流の場
- ・これら全てあったら良いと思うものばかりです

問 9 地域包括ケア実現に向け、重度の要介護者となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けることができるようにするためには、サービス事業所の視点からどのようなことが必要だと考えますか。（記述回答）

回答内容
安価なサービスの提供（2件）
介護者へのサポートが必須と思います。要介護者が在宅生活を継続するために、子供さん等現役世代が疲へいしてしまえば、そのご家庭そのものが立ちゆかなくなくなります。
各サービス担当者が1つのチームとなり支援する仕組みが必要だと考える。
緊急利用等必要なサービスがすぐに受けられる体制
様々な要介護者を受け入れることができる体制作り
事業者間の横の連携
自宅・住みなれた地域を中心とした医療介護生活支援の連係を確保（2件）
自宅ですごされるのなら地域の見守りヘルパー24時間体制が必要だと思う。施設に入ってもその人らしい暮らしができるようボランティア等地域の人達とのかかわり
自宅内でのサービスの多様化とそれに対する市から事業所への支援
集会所に集り行事とレクに参加するなど、楽しみを作ること。
地域包括ケアに対する住民と行政の理解。介護に対しての理解と教育。
通院等介助もつかえるようになる。各手続きの緩和（喀痰吸引など）
単位数を増やす
訪問事業所の数を増やす（介護、看護、リハ、Dr）
最後まで自宅で過ごす事が出来るアピールする。すべき。
出来ていることの継続、出来ないことを少しでも改善できる支援やアドバイスの実施。
特別養護老人ホーム側の視点としては施設の仕組みや役割を知ってもらうことが重要ではないかと考えます。地域に施設があっても中身がわからないことが多々見受けられているので地域の方が施設を理解してもらうことも必要と感じます。
必要なサービスの内容を知る事ができる。ケアマネや民生委員の方々が事業所を見学する機会が定期的にある事。事業所側としてはセールスポイントを実際に見て頂ける事ができる
病院との連携（往診可能な病院があると良い）
訪問介護、看護の充実
本人や家族が何を望んでいるのか。そこにどのように寄り添えるのか
まずは重度化予防にできるだけ早く取り組むこと。重度化した場合は行ける方は通所系サービスをしてできるだけ使う。ご近所や家族の支援、むずかしいところは介ゴサービスを入れる。今の問題は協力的でない家族やご近所さんの場合訪問サービスが入れられず入所になるところ。
要介護者本人がどんな事を望んでいるのか、ニーズを考える必要性はあると思います。何をしたいか出来る範囲でのサービスを提供する環境を整える必要があるのかも知れません。
・多機能にわたり多職種が情報を共有できるチームとしての支援、切れ目のない連携 ・重度化を前提としたサービス提供力の強化 ・利用者本位、本人の意思、価値観を中心にケアする姿勢、どう生きたいかを尊重すること ・スタッフのやりがいを感じられる環境づくりがより良いケアにつながる?!

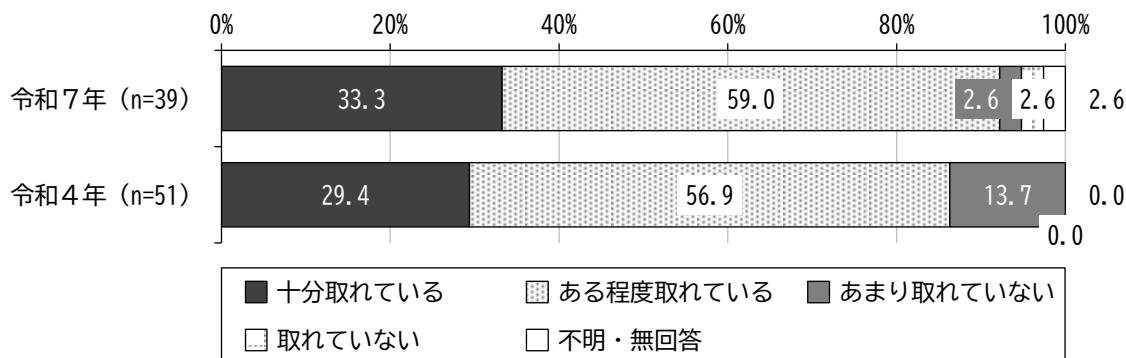
回答内容
・本人中心の視点（何ができないかではなくその人はどんな人かという視点）その人の人生を見つめる ・24 時間切れ目のない支援（時間や曜日等関係ないサービスの活用） ・医療と介護を分けない視点（介護事務所⇔自宅途切れない支援、医療行為も生活の延長的な視点） ・家庭・本人を支える支援、負担軽減や相談を密に話せる環境づくり（気軽に何でも!!） ・地域全体で支援される側だけではない役割をつくり関係を深める
利用者が重度化しても住み慣れた地域で生活を継続できるよう医療や介護サービスとの連携を密にし、多職による情報共有を行うこと本人および家族の意向を尊重し状態変化に応じた柔軟なサービス提供を伴い地域資源を活用しながら在宅生活を支える体制が必要
利用者が重度化しても住み慣れた地域で生活を継続できるよう医療機関や介護サービス事業所との連携を密にし、多職による情報共有を行うことが重要。本人および家族の意向を尊重し、状態変化に応じた柔軟なサービス提供を伴い地域資源も活用しながら在宅生活を支える体制が必要

4 関係機関等との連携について

問10 貴事業所において、医療と連携は取れていますか。（単数回答）

医療との連携については、「ある程度取れている」が 59.0%と最も多く、次いで「十分取れている」が 33.3%、「あまり取れていない」「取れていない」が 2.6%となっています。

令和4年調査と比較すると、「あまり取れていない」が 11.1 ポイント減少しています。



【問10で「あまり取れていない」または「取れていない」と回答した事業所のみ】

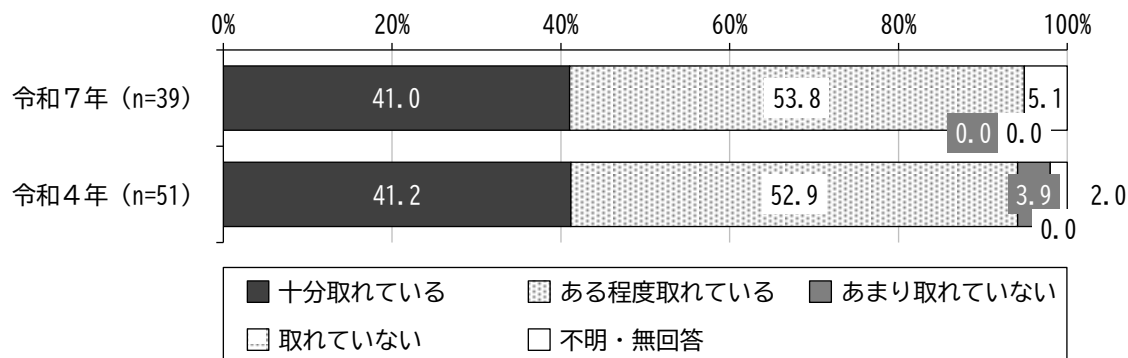
問10-1 医療との連携を取ることが困難な理由は何ですか。（記述回答）

理由
ケアマネさんを通して連携できています。
何かあれば相談員、CM、家族から連絡をとってもらうから

問11 貴事業所において、居宅介護支援事業所（介護支援専門員）との連携は取れていますか。（単数回答）

居宅介護支援事業所（介護支援専門員）との連携については、「ある程度取れている」が53.8%と最も多く、次いで「十分取れている」が41.0%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



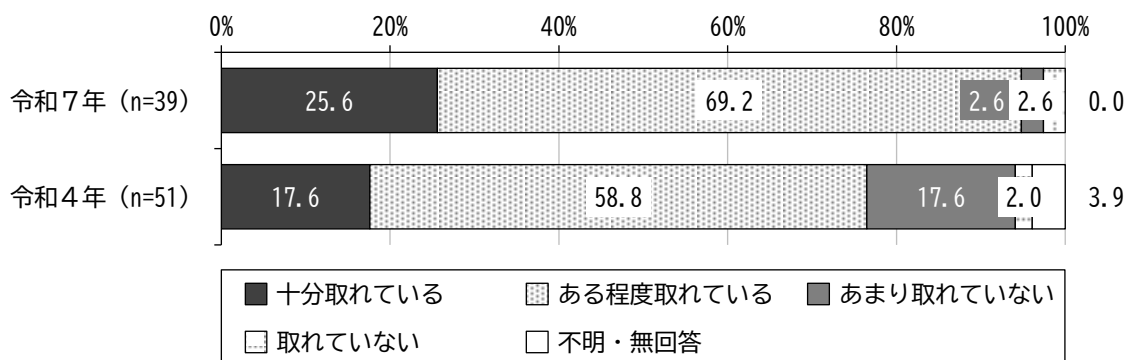
【問11で「あまり取れていない」または「取れていない」と回答した事業所のみ】
問11-1 介護支援専門員との連携を取ることが困難な理由は何ですか。（記述回答）

該当する事業所はありませんでした。

問12 貴事業所において、地域包括支援センターとの連携は取れていますか。（単数回答）

地域包括支援センターとの連携については、「ある程度取れている」が69.2%と最も多く、次いで「十分取れている」が25.6%、「あまり取れていない」「取れていない」が2.6%となっています。

令和4年調査と比較すると、「あまり取れていない」が15.0ポイント減少し、「ある程度取れている」が10.4ポイント増加しています。



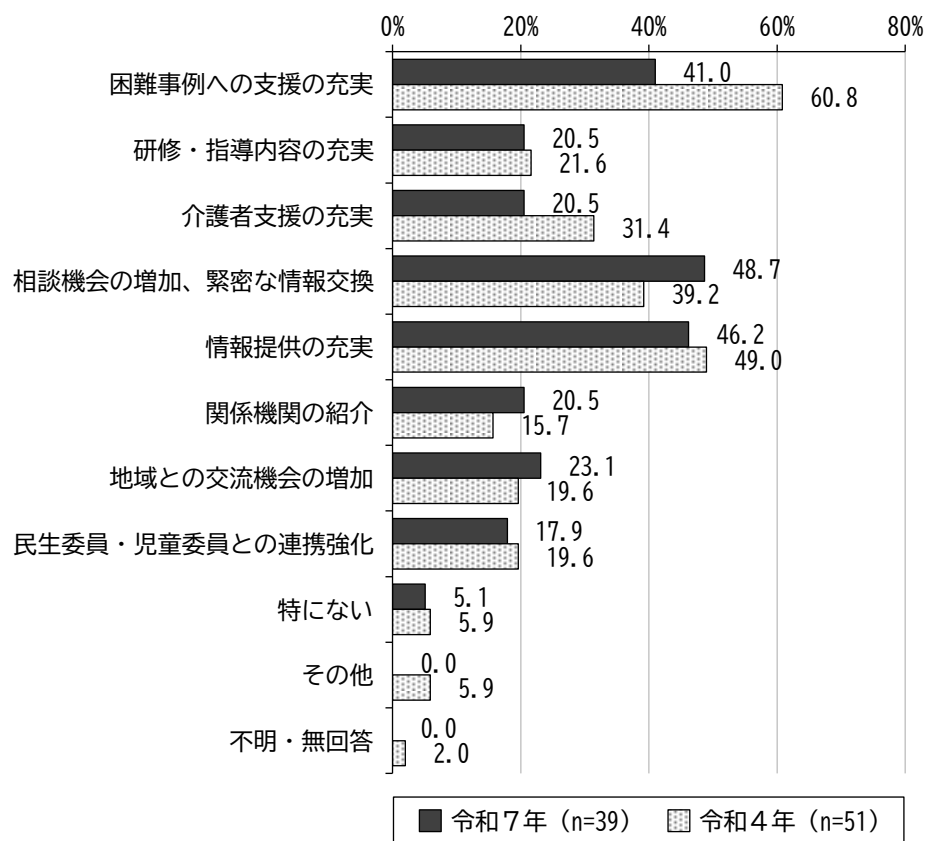
【問12で「あまり取れていない」または「取れていない」と回答した事業所のみ】 問12-1 地域包括支援センターとの連携を取ることが困難な理由は何ですか。（記述回答）

理由
CMさんとは連携をとっているが、逆に何のことについて連携をとるのでしょうか？それが分かりません。
地域包括支援センターからの紹介を受けた利用者が現在いないため

問13 地域包括支援センターに望むことはどのようなことですか。（複数回答）

地域包括支援センターに望むことについては、「相談機会の増加、緊密な情報交換」が48.7%と最も多く、次いで「情報提供の充実」が46.2%、「困難事例への支援の充実」が41.0%となっています。

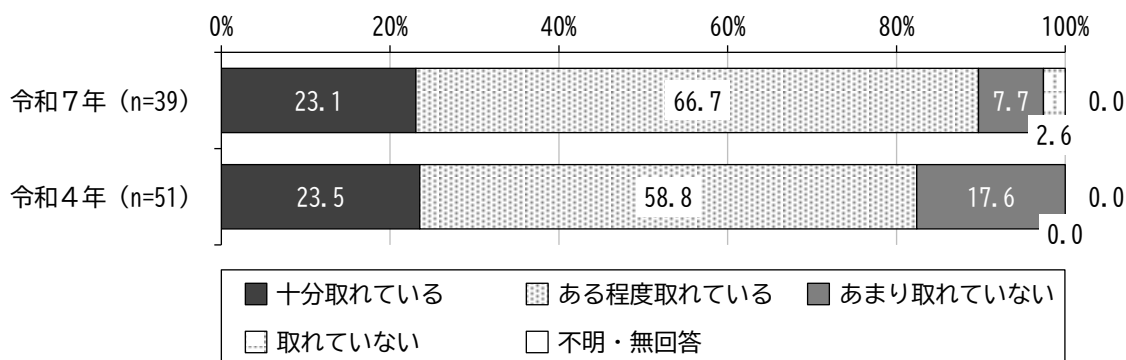
令和4年調査と比較すると、「困難事例への支援の充実」が19.8ポイント、「介護者支援の充実」が10.9ポイント減少しています。



問14 貴事業所において、保険者（角田市）との連携は取れていますか。（単数回答）

保険者（角田市）との連携については、「ある程度取れている」が66.7%と最も多く、次いで「十分取れている」が23.1%、「あまり取れていない」が7.7%となっています。

令和4年調査と比較すると、「あまり取れていない」が9.9ポイント減少し、「ある程度取れている」が7.9ポイント増加しています。



【問14で「あまり取れていない」または「取れていない」と回答した事業所のみ】 問14-1 保険者（角田市）との連携を取ることが困難な理由は何ですか。（記述回答）

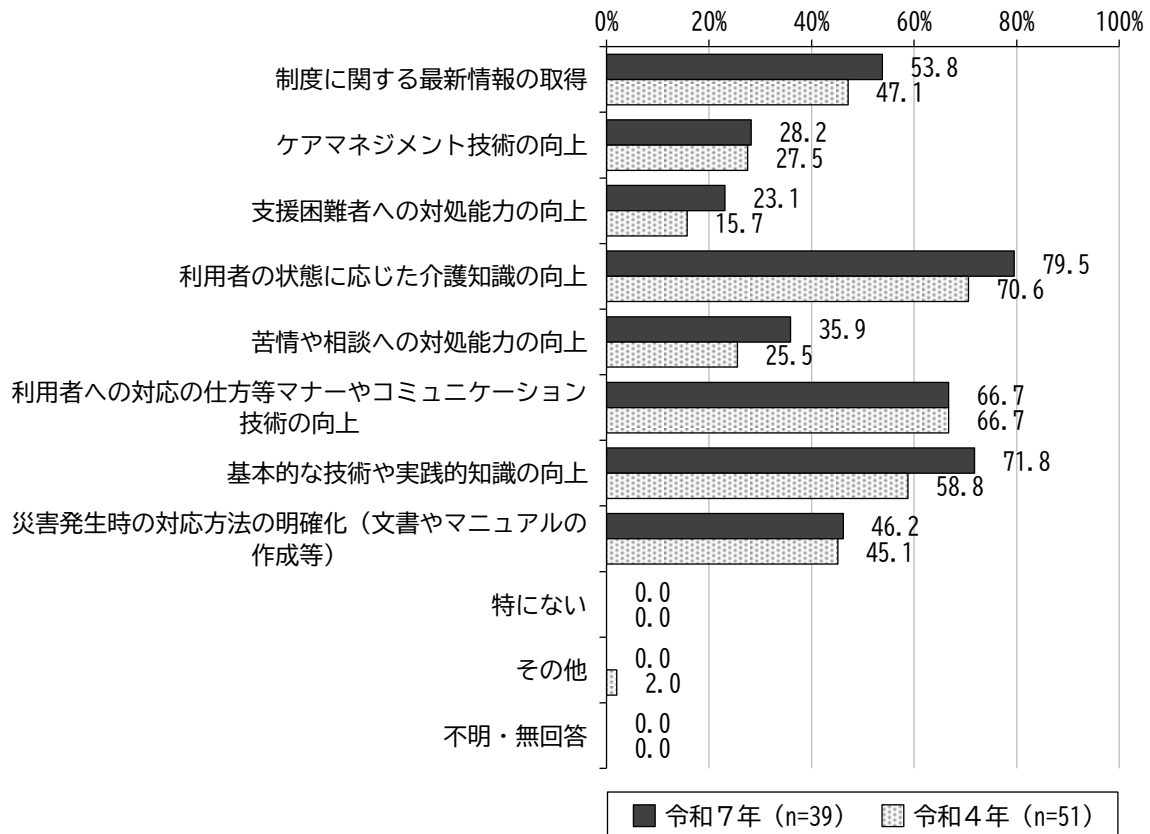
理由
角田市外の事業所であるため。当事業所としては連携をしていきたいと考えています。
症例等がないため機会がない。
町内の包括との連携が取れているが地域外の包括との連携は、話す機会が少ない。
利用者の中で現状では必要性のある方がいない為

5 事業所の運営及びサービス等について

問15 貴事業所において、サービスの質の向上に向けて特に取り組んでいることはありますか。（複数回答）

サービスの質の向上に向けて特に取り組んでいることについては、「利用者の状態に応じた介護知識の向上」が79.5%と最も多く、次いで「基本的な技術や実践的知識の向上」が71.8%、「利用者への対応の仕方等マナーやコミュニケーション技術の向上」が66.7%となっています。

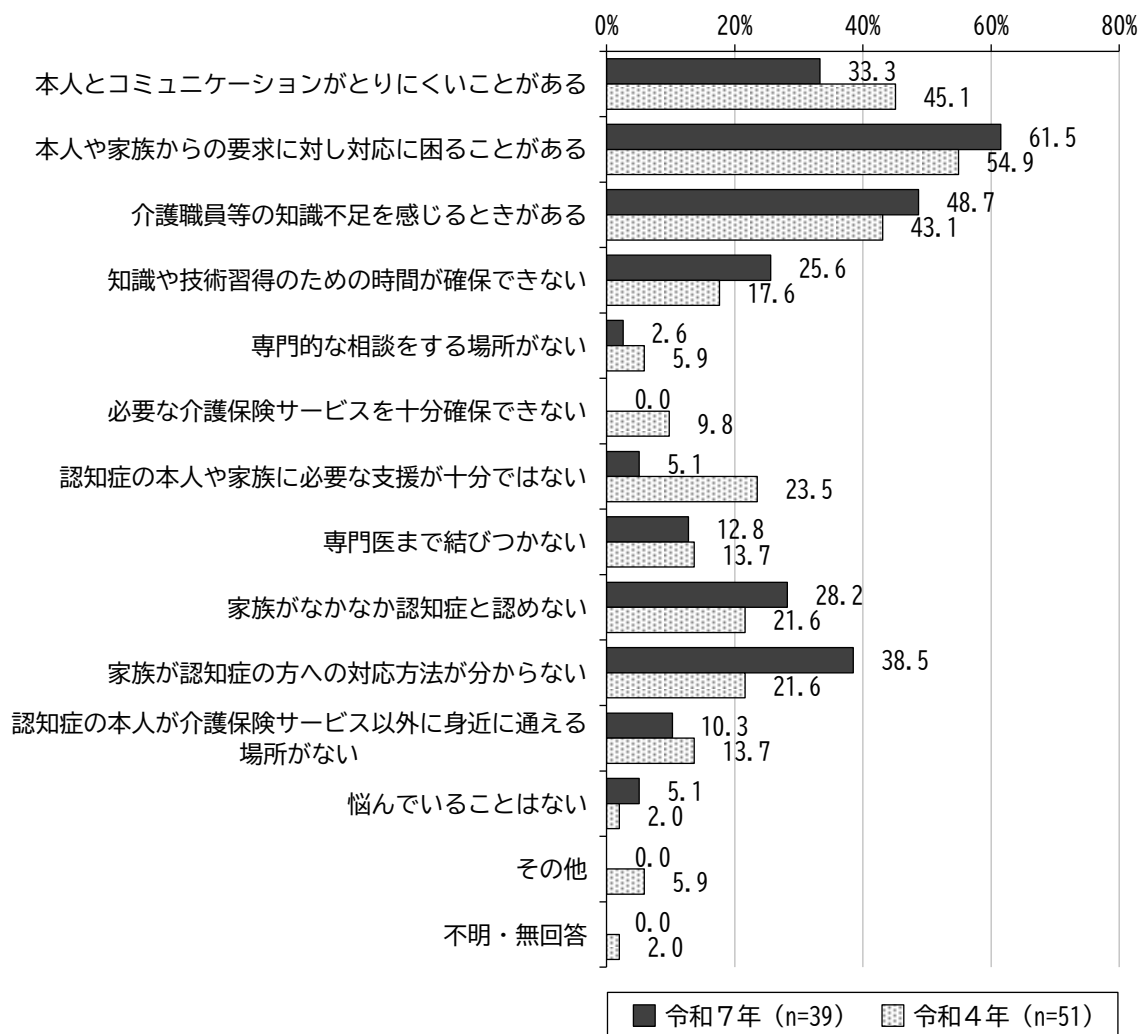
令和4年調査と比較すると、「基本的な技術や実践的知識の向上」が13.0ポイント、「苦情や相談への対処能力の向上」が10.4ポイント増加しています。



問16 認知症の要介護（要支援）認定者とその家族に対して、悩んでいることがありますか。（複数回答）

認知症の要介護（要支援）認定者とその家族に対して悩んでいることについては、「本人や家族からの要求に対し対応に困ることがある」が 61.5%と最も多く、次いで「介護職員等の知識不足を感じる時がある」が 48.7%、「家族が認知症の方への対応方法が分からない」が 38.5%となっています。

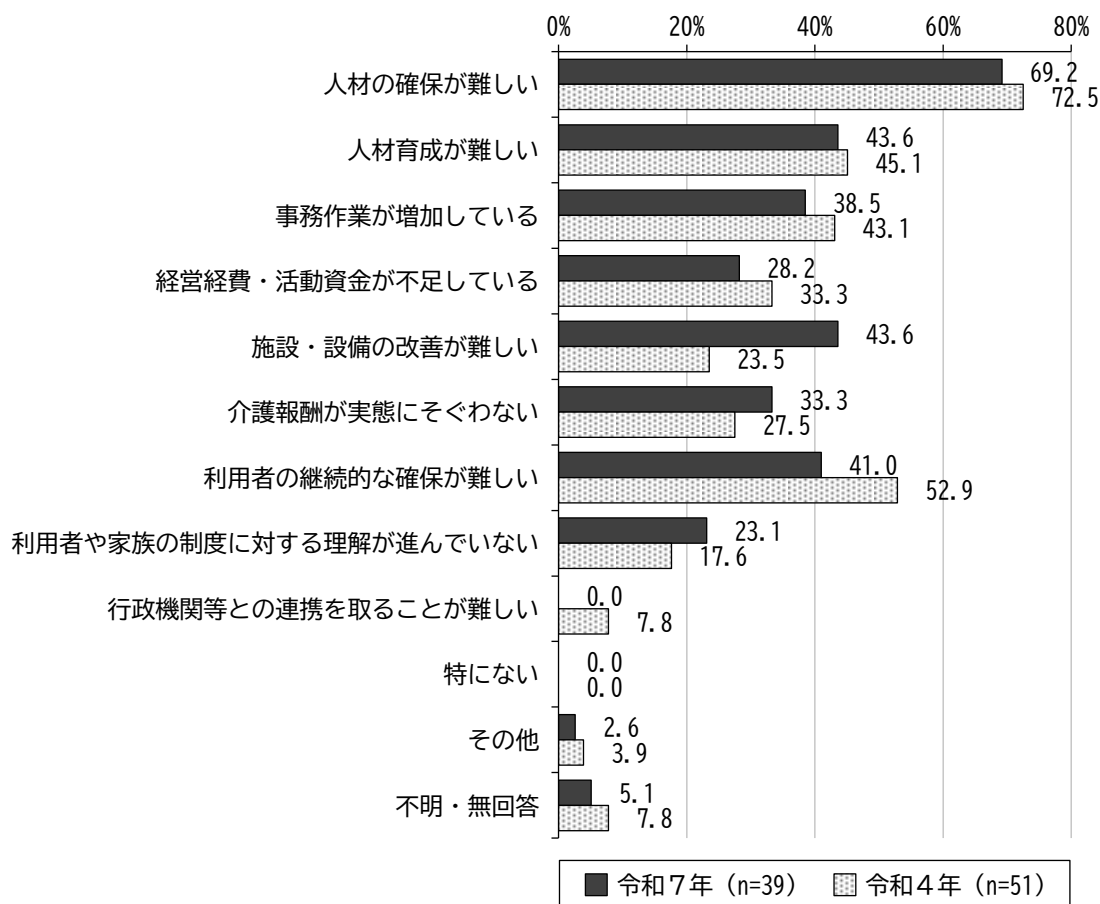
令和4年調査と比較すると、「認知症の本人や家族に必要な支援が十分ではない」が 18.4 ポイント減少し、「家族が認知症の方への対応方法が分からない」が 16.9 ポイント増加しています。



問17 貴事業所の運営に関して現在、困難を感じることは何ですか。（3つまで複数回答）

運営に関して現在、困難を感じることは、「人材の確保が難しい」が69.2%と最も多く、次いで「人材育成が難しい」「施設・設備の改善が難しい」が43.6%となっています。

令和4年調査と比較すると、「施設・設備の改善が難しい」が20.1ポイント増加し、「利用者の継続的な確保が難しい」が11.9ポイント減少しています。



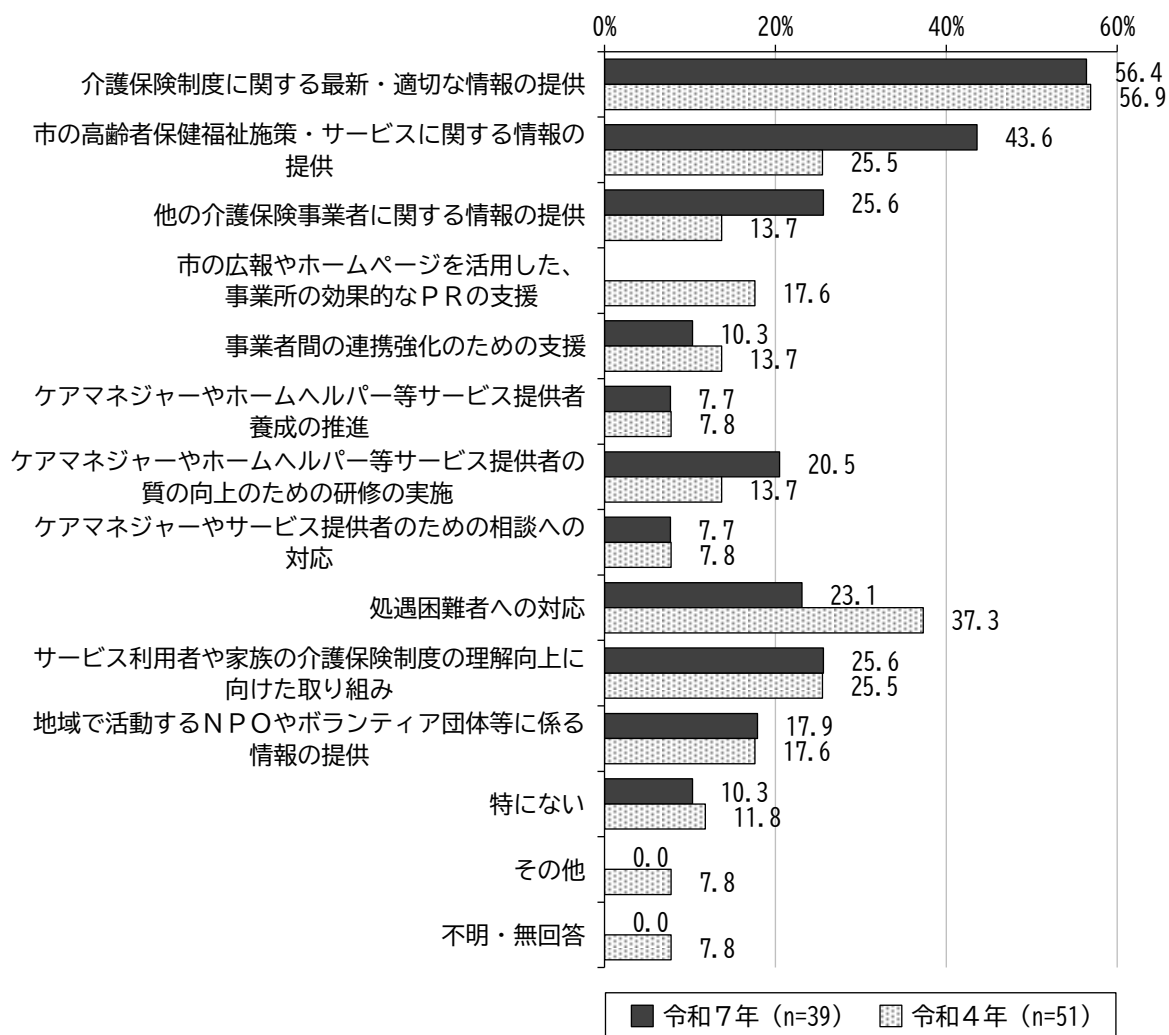
●その他内容

- ・ 行うべき制度（きまりごと）が多すぎて介護にかかる時間が減少し本末転倒になっているのでは？

問18 市に支援・充実してほしいと思うことはありますか。（複数回答）

市に支援・充実してほしいと思うことについては、「介護保険制度に関する最新・適切な情報の提供」が56.4%と最も多く、次いで「市の高齢者保健福祉施策・サービスに関する情報の提供」が43.6%、「他の介護保険事業者に関する情報の提供」「サービス利用者や家族の介護保険制度の理解向上に向けた取り組み」が25.6%となっています。

令和4年調査と比較すると、「市の高齢者保健福祉施策・サービスに関する情報の提供」が18.1ポイント増加し、「処遇困難者への対応」が14.2ポイント減少しています。



※「市の広報やホームページを活用した、事業所の効果的なPRの支援」は、令和4年調査のみの選択肢。

※「ケアマネジャーやサービス提供者のための相談への対応」は、令和4年調査では「ケアマネジャーやサービス提供者のための相談窓口の設置」。

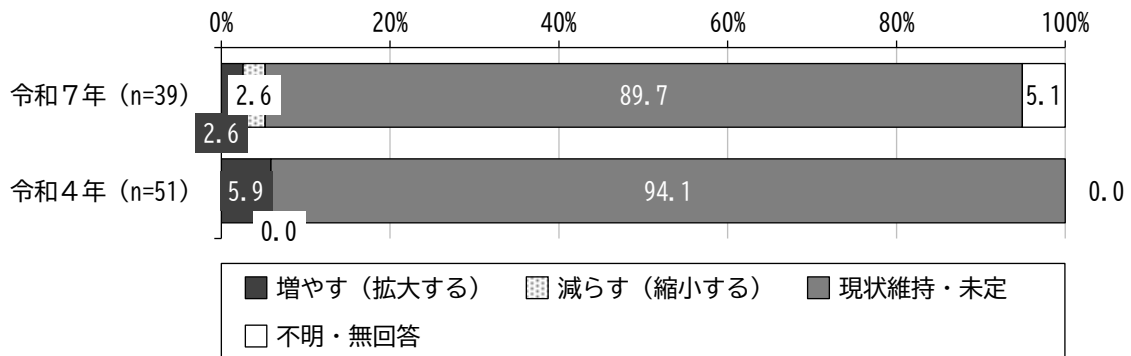
6 事業の拡大・縮小等の意向について

問19 貴事業所の角田市をサービス提供地域とする介護サービス事業（介護予防・日常生活支援総合事業含む）について、今後どのような方向性をお考えですか。介護サービスの種類及び事業所の規模のそれぞれについて、令和9年度から令和11年度までの意向（予定）をお答えください。（それぞれ単数回答）

ア 介護サービスの種類

介護サービスの種類に関する今後の方向性については、「現状維持・未定」が89.7%と最も多く、次いで「増やす（拡大する）」「減らす（縮小する）」が2.6%となっています。

令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。

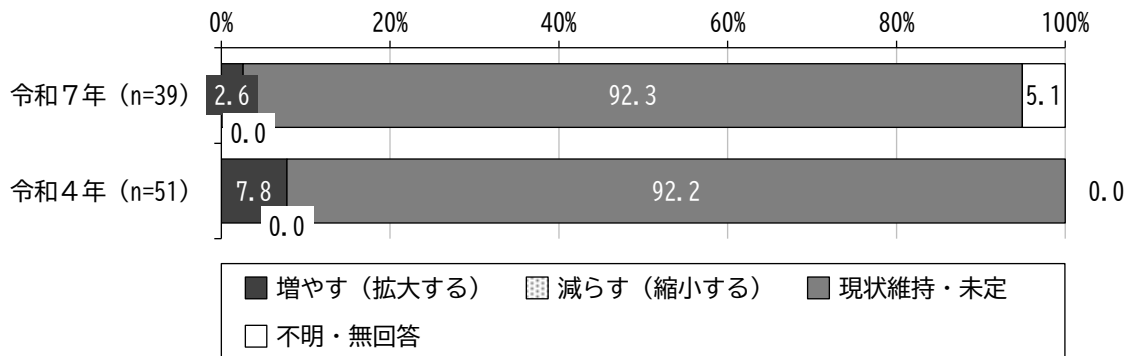


※「現状維持・未定」は、令和4年調査では「分らない・変化なし」。

イ 事業所の規模

事業所の規模に関する今後の方向性については、「現状維持・未定」が92.3%と最も多く、次いで「増やす（拡大する）」が2.6%となっています。

令和4年調査と比較すると、「増やす（拡大する）」が5.2ポイント減少しています。



※「現状維持・未定」は、令和4年調査では「分らない・変化なし」。

【問 19 のアもしくはイで「減らす（縮小する）」と回答した事業所のみ】

問19-1 貴事業所の角田市をサービス提供地域とする介護サービス事業について、減らす（縮小する）ことを予定（検討）している（介護予防）介護サービスは何ですか。（介護予防・日常生活支援総合事業を含みます）。また、その理由や時期をご記入ください。（それぞれ記述回答）

サービス名	理由
短期入所生活介護	介護老人福祉施設へ移行したい。（定員 20 床→長期へ）安定した利用者数が確保できず。経営を圧迫している。

【問 19 のアもしくはイで「増やす（拡大する）」と回答した事業所のみ】

問19-2 貴事業所の角田市をサービス提供地域とする介護サービス事業について、増やす（拡大する）ことを予定（検討）しているサービス、または事業所（法人）として新規参入を予定（検討）しているサービスは何ですか（介護予防を含みます）。（複数回答）

事業所において増やす（拡大する）または新規参入を予定（検討）している介護サービスについては、「通所介護」「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が1件となっています。

	令和7年 (n=2)		令和4年 (n=4)	
	件数	%	件数	%
居宅介護支援	0	0.0	1	25.0
訪問看護	0	0.0	1	25.0
通所介護	1	50.0	2	50.0
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	1	50.0	1	25.0
介護老人保健施設（老人保健施設）	0	0.0	1	25.0
不明・無回答	0	0.0	0	0.0

【問 19 のアもしくはイで「増やす（拡大する）」と回答した事業所のみ】

問19-3 問19-2において、参入を予定（検討）している介護サービス事業について、具体的な計画があればその内容等についてご記入ください。（記述回答）

予定している介護サービス	事業内容
通所介護	岩沼と同様のサービス内容で機能訓練の特化型の半日デイ 定員は 10～20 の間で検討中 物件が見つからない状況です
短期入所生活介護 介護老人福祉施設	短期入所 20 床→0 床（空床利用を可とする。） 長期入所 55 床→75 床（〃） 令和 8 年度において検討

【問 19 のアもしくはイで「増やす（拡大する）」と回答した事業所のみ】

問19-4 角田市の介護予防・日常生活支援総合事業について、貴事業所で増やす、または新規参入を予定（検討）しているサービスはありますか。（複数回答）

角田市の介護予防・日常生活支援総合事業で増やす、または新規参入を予定（検討）しているサービスについては、回答がありませんでした。

【問 19 のアもしくはイで「増やす（拡大する）」と回答した事業所のみ】

問19-5 問19-4において、参入を予定（検討）している介護予防・日常生活支援総合事業について、具体的な計画があればその内容等についてご記入ください。（記述回答）

参入を予定（検討）している介護予防・日常生活支援総合事業についての具体的な計画については、回答がありませんでした。

■ 最後に、市に対するご意見、ご要望、ご不満等がありましたらご自由にお書きください。（記述回答）

回答内容
・入浴介助の支援を要支援1、2で対応しているが、入浴介助が必要なら介護ではないのか？ ・認知症の方が要支援判定の方もあり、こちらは区分変更かけていただいたが、角田の利用者様達は思った以上に区分が軽い事に驚きでした。日割り計算（ショートステイ中や契約日からの）も驚きです。 ・市町村に事業所があるのなら介護→要介護になっても支援は継続すべきだと思う。
介護人材が不足している現状において、ハローワーク等からの紹介は全くなく、人材紹介会社や派遣会社に頼らざるを得ない状況にあります。しかし、その金額は大変高く、経営を圧迫しているため、ぜひ補助等の支援をお願いしたい。
介護人材が不足している現状において、ハローワーク等からの紹介は全くなく、人材紹介会社や派遣会社に頼らざるを得ない状況にあります。しかし、その費用は大変高額であり、法人の事業運営に多大な影響を及ぼしておりますので、市の財政的支援を強く望むものであります。
コロナ以降、仙南地域において集まる研修会などが無いので、顔の見える関係を作っていく必要があると感じます。
サービスを提供するための建物や設備があると角田市内への事業拡大がすすめやすいが現在はそのような情報が無く足踏みせざるを得ない状況となっている。
制度として取り組まなければならないことが多く、当事業所のように兼務の勤務体制ですと、時間内にすべての実務として行うものが多すぎて、時間外での労働になってしまいます。制度について理解できていないこともあるため、必要な物を教えて頂けると時間を有効に活用し、本来いちばん大切であるケアに時間をかけることができると考えています。よろしくお願いいたします。
返信が大変遅れてすみません。ここ1、2年経営状況悪化があり危機感を抱いている所です。ご相談にのっていただく必もあるかもしれません。

回答内容
通所介護の分野では利用登録人数が少なく日曜日で利用する回数が多い。1週間の中で1人2～3日の利用。その人が体調不良等で休むとデイの利用者の人数が減り別な利用者を受け入れることもできない。日頃利用できない方でも契約していれば利用可能な状態になると収入も安定するのですが。柔軟に利用できるシステムとなれば万が一の場合に対応していけると考えます。利用する側も事業所側も良い効果になればと思います。
特にありません。よく対応してくれているとおもっています。ありがとうございます。
建物について老朽化が進み今後の課題として検討を進めております。角田市担当者様と今後、ご指導、ご協力をいただくこととなりましたら、よろしくお願い致します。

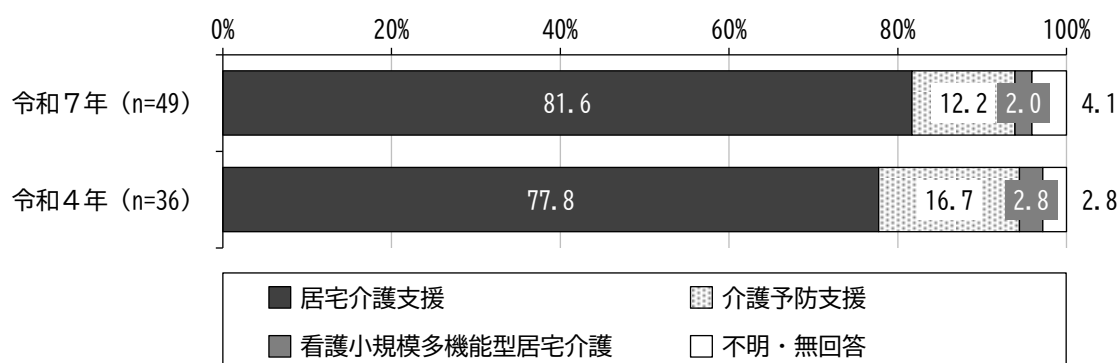
第6章 ケアマネジャー現況調査結果

1 あなた自身について

問1 あなたの事業所のサービス種別を教えてください。（単数回答）

所属している事業所のサービス種別については、「居宅介護支援」が81.6%と最も多く、次いで「介護予防支援」が12.2%、「看護小規模多機能型居宅介護」が2.0%となっています。

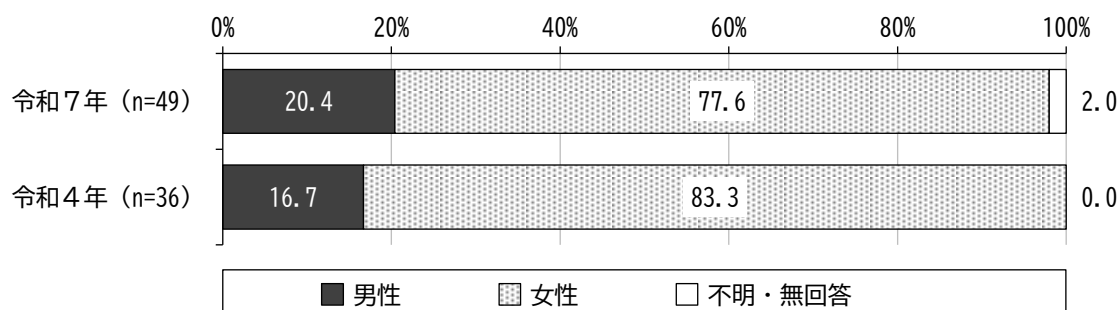
令和4年調査とおおむね同様の傾向となっています。



問2 あなたの性別を教えてください。（単数回答）

性別については、「男性」が20.4%、「女性」が77.6%となっています。

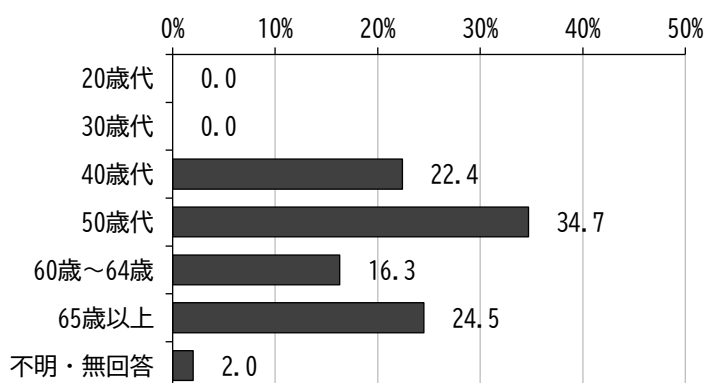
令和4年調査と比較すると、「女性」が5.7ポイント減少しています。



問3 あなたの年齢区分を教えてください。(単数回答)

年齢については、「50歳代」が34.7%と最も多く、次いで「65歳以上」が24.5%、「40歳代」が22.4%となっています。

令和7年 (n=49)



◆ 参考: 令和4年調査

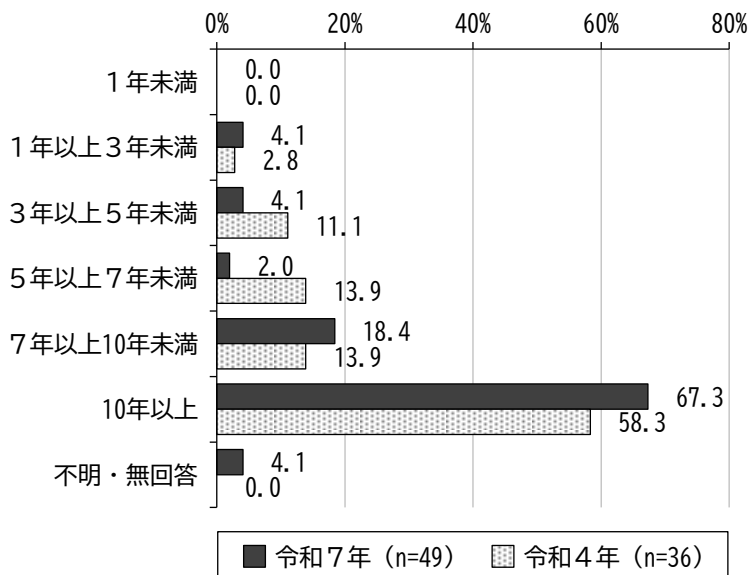
令和4年 (n=36)



問4 あなたのケアマネジャーとしての経験年数を教えてください。（単数回答）

ケアマネジャーとしての経験年数については、「10年以上」が67.3%と最も多く、次いで「7年以上10年未満」が18.4%、「1年以上3年未満」が4.1%となっています。

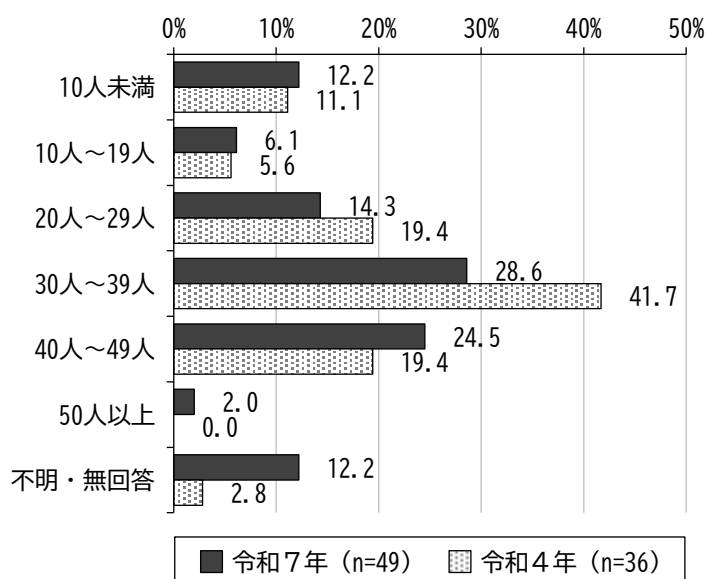
令和4年調査と比較すると、「5年以上7年未満」が11.9ポイント減少し、「10年以上」が9.0ポイント増加しています。



問5 令和7年12月31日現在、あなたは何人のケアプランを担当していますか。（委託件数を含む）（数量回答）

ケアプランを担当している人数については、「30人～39人」が28.6%と最も多く、次いで「40人～49人」が24.5%、「20人～29人」が14.3%となっています。

令和4年調査と比較すると、「30人～39人」が13.1ポイント、「20人～29人」が5.1ポイント減少し、「40人～49人」が5.1ポイント増加しています。

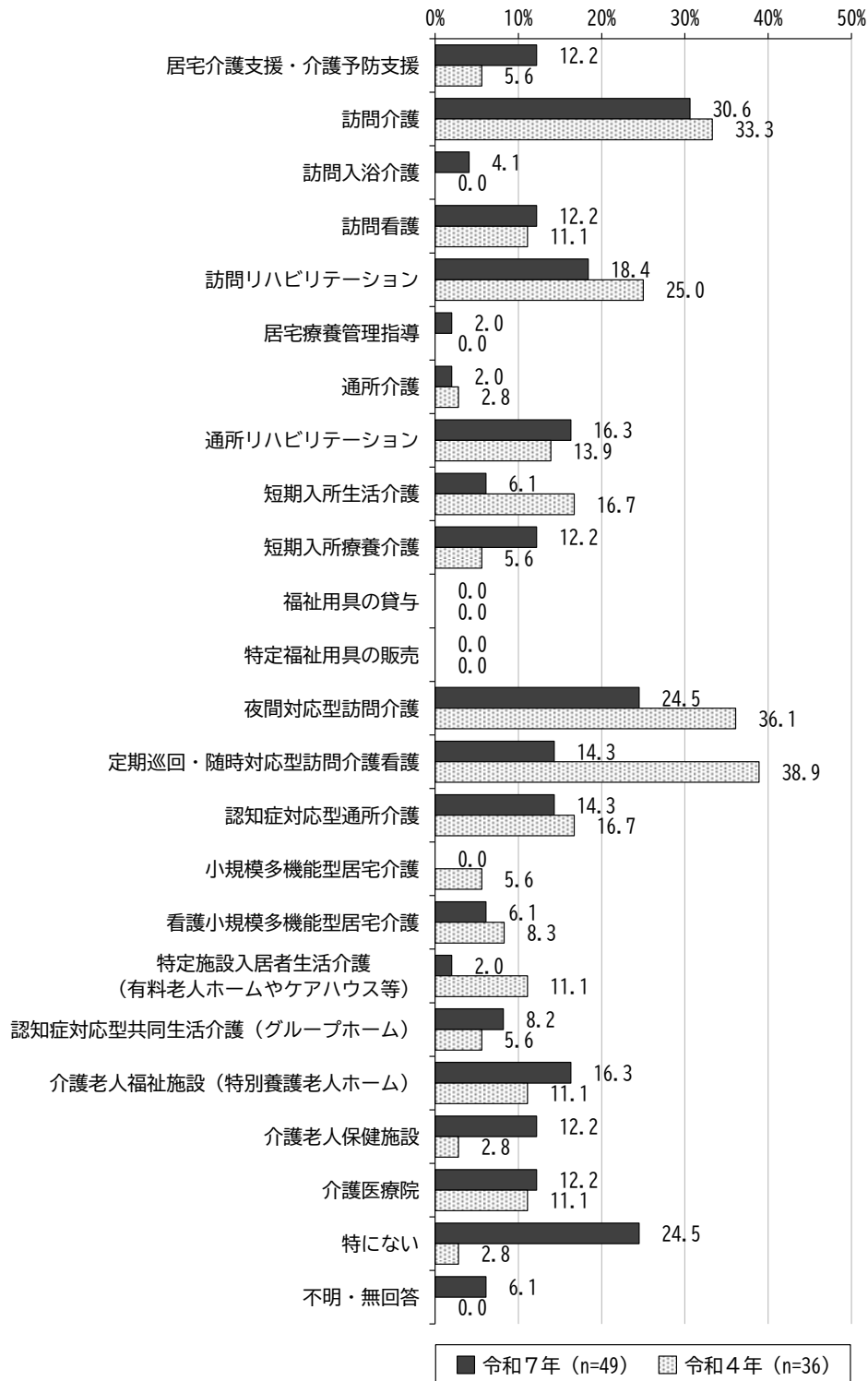


2 利用者の状況や福祉サービスについて

問6 (ア) 現時点の介護保険対象サービスについて、現在供給が不足していると感じるサービスはありますか。(複数回答)

現在供給が不足していると感じるサービスについては、「訪問介護」が30.6%と最も多く、次いで「夜間対応型訪問介護」が24.5%となっています。

令和4年調査と比較すると、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が24.6ポイント減少し、「特にない」が21.7ポイント増加しています。

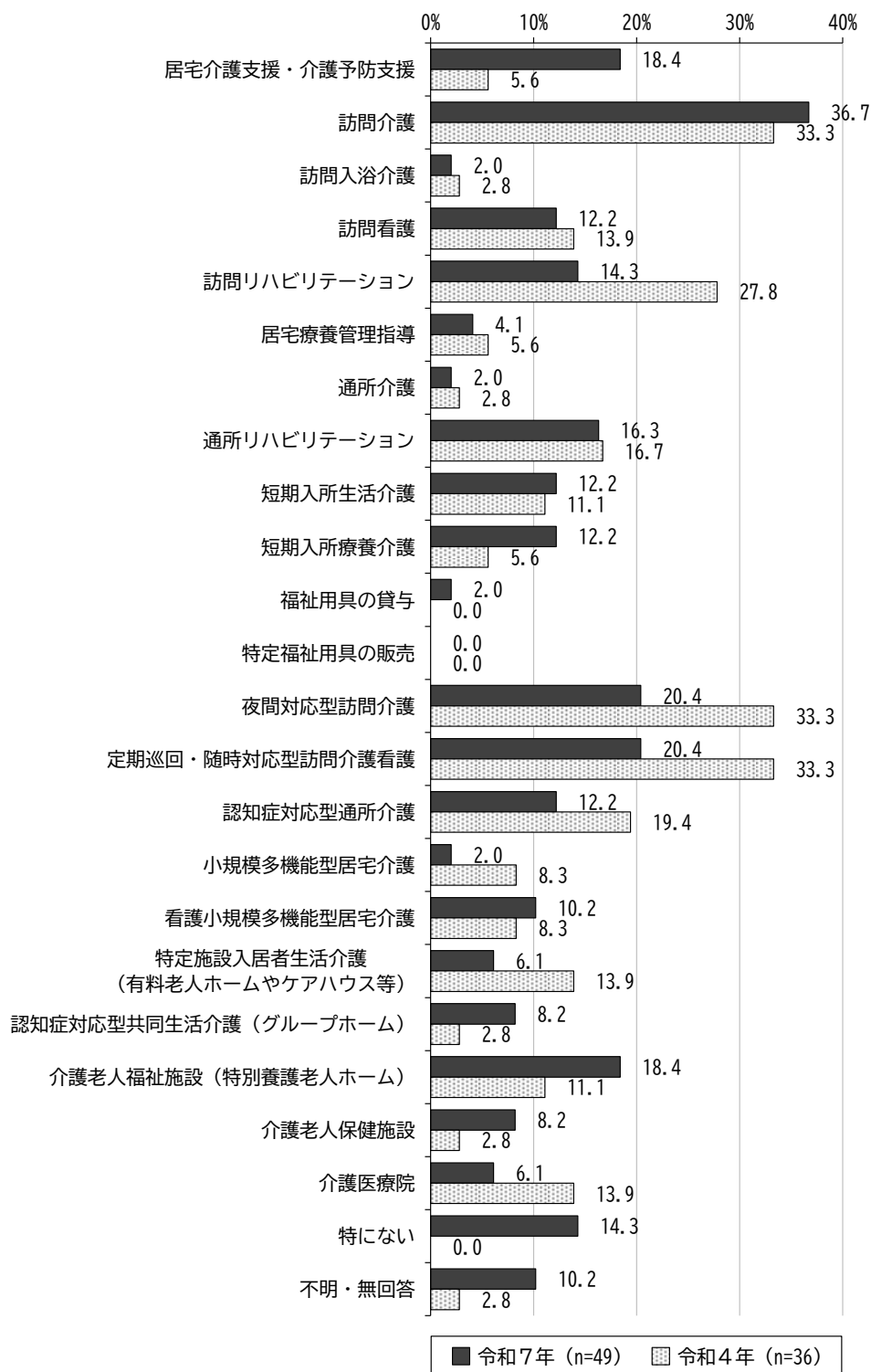


※「介護医療院」は令和4年調査では「介護療養型医療施設・介護医療院(療養病床)」。

問6（イ）今後の介護保険対象サービスについて、今後需要が増えたり必要となると考えられるサービスはありますか。（3つまで複数回答）

今後需要が増えたり必要となると考えられるサービスについては、「訪問介護」が36.7%と最も多く、次いで「夜間対応型訪問介護」「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が20.4%となっています。

令和4年調査と比較すると、「特にない」が14.3ポイント増加し、「訪問リハビリテーション」が13.5ポイント減少しています。



※「介護医療院」は令和4年調査では「介護療養型医療施設・介護医療院（療養病床）」。

【問6の（ア）で「特にない」以外と回答した方のみ】

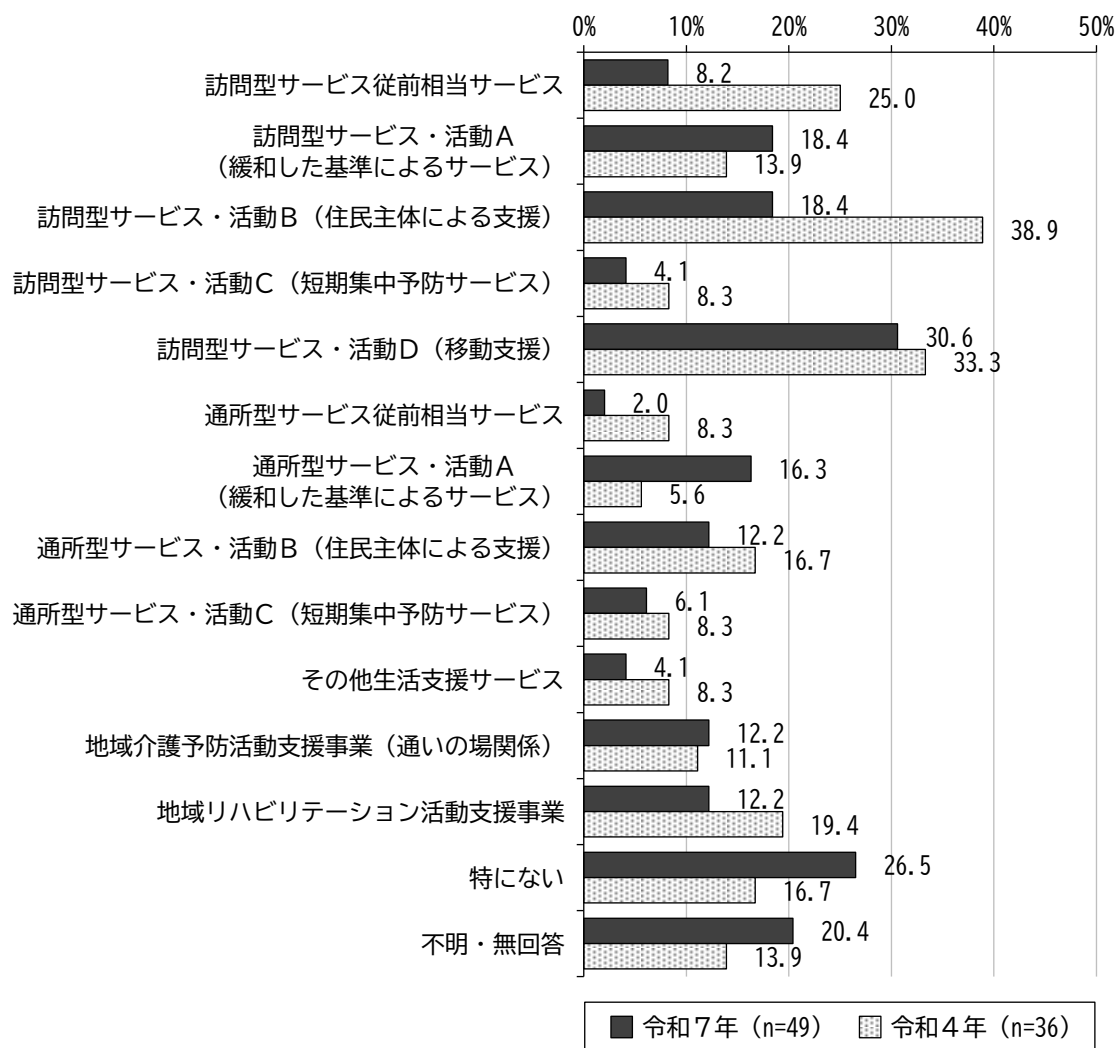
問6-1 最も供給が不足していると感じるサービスは何ですか。また、その理由を記入してください。（記述回答）

サービス名	理由
グループホーム	空きがない事が多いため
通所リハビリ	市内に2事業所しかなく、断られる場合が珍しくない。
ヘルパー	新規依頼相談をしても人員不足で断られる。
訪問介護	ご自宅で過ごすために必要なサービスであるのに要支援の方（事業対象者も）へのサービスは受けられませんか断られることがあるため
訪問介護	事業所から要支援、事業対象者の新規利用を断られる。
訪問介護	希望した日や時間帯に入れない時がある
訪問介護。リハビリ特化型	入って欲しい時間、土日祝など対応が難しい時がある。
夜間対応型訪問介護	独居、高齢者世帯が多く寝たきりでの対応に支援の不十分さがある。あれば皮ふトラブル、異常早期発見かで医療対応を軽減可となり、在宅生活を支えられる
夜間対応型訪問看護	排泄や喀痰吸引、夜間帯の対応が必要な方への支援がゆき届かない。
リハビリ特化型のデイサービス	他町へ調整し腰痛悪化する人もいる
リハビリ特化型デイ	リハビリ特化型デイの利用希望があるが、サービスがない
—	在宅サービスを利用して生活していても夜間においては家族の介護に頼ることが、家族にとっては介護負担が大きい
—	若い方でケアマネになる方がいない
—	リハビリ強化型のサービスが角田にはないので
—	訪問看護 報酬が安い。やる人がいない
—	角田市の方1名、有料老人ホーム入居中でその方の支援で現在不足はなく、生活継続されております。

問7（ア）現時点の介護予防・日常生活支援総合事業について、現在供給が不足していると感じるサービスはありますか。（複数回答）

現在供給が不足していると感じるサービスについては、「訪問型サービス・活動D（移動支援）」が30.6%と最も多く、次いで「特にない」が26.5%、「訪問型サービス・活動A（緩和した基準によるサービス）」「訪問型サービス・活動B（住民主体による支援）」が18.4%となっています。

令和4年調査と比較すると、「訪問型サービス・活動B（住民主体による支援）」が20.5ポイント、「訪問型サービス従前相当サービス」が16.8ポイント減少しています。

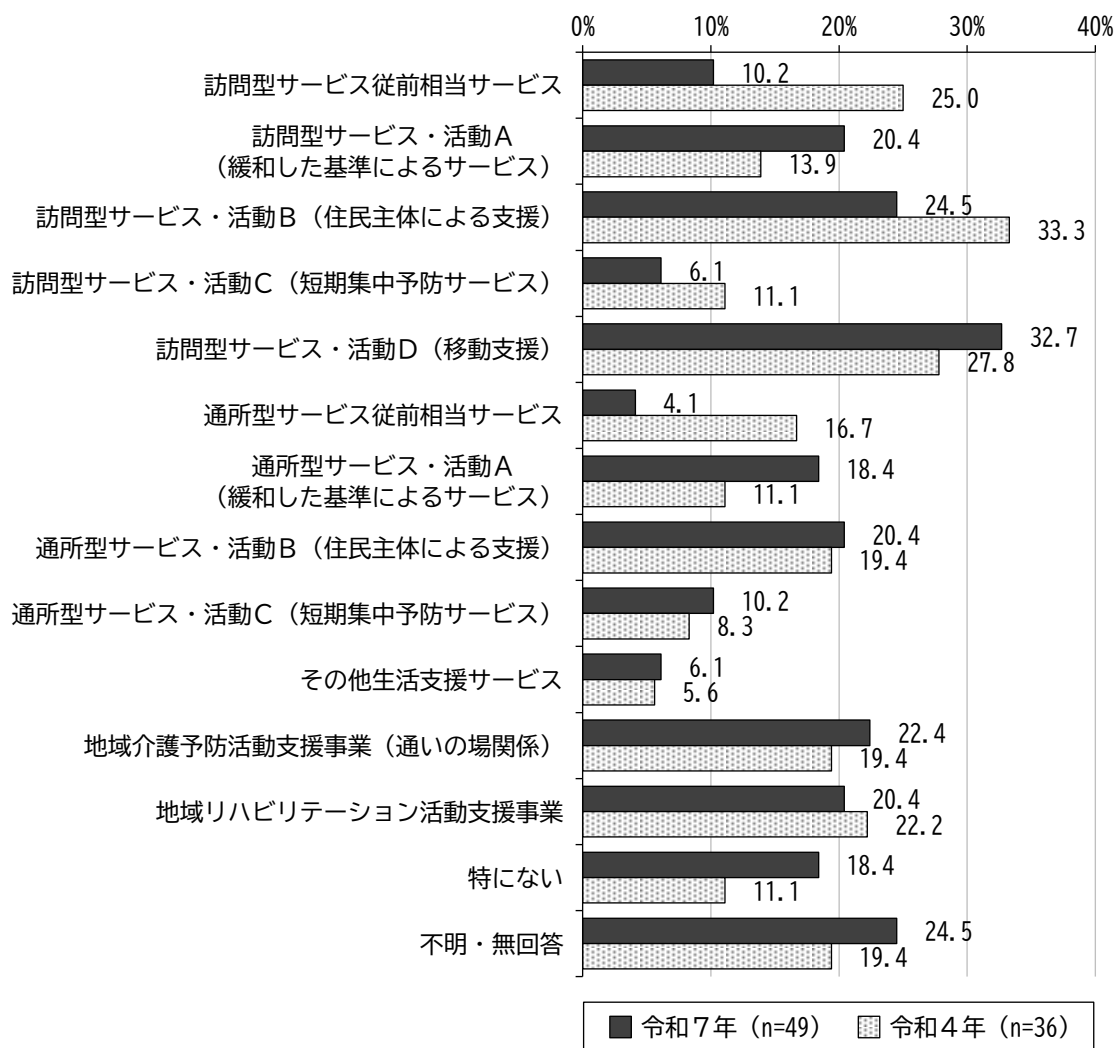


※「訪問型サービス従前相当サービス」、「通所型サービス従前相当サービス」は、令和4年では「介護予防訪問介護相当サービス」、「介護予防通所介護相当サービス」。

問7（イ）今後の介護予防・日常生活支援総合事業について、今後需要が増えたり必要となると考えられるサービスはありますか。（複数回答）

今後需要が増えたり必要となると考えられるサービスについては、「訪問型サービス・活動D（移動支援）」が32.7%と最も多く、次いで「訪問型サービス・活動B（住民主体による支援）」が24.5%、「地域介護予防活動支援事業（通いの場関係）」が22.4%となっています。

令和4年調査と比較すると、「訪問型サービス従前相当サービス」が14.8ポイント、「通所型サービス従前相当サービス」が12.6ポイント減少しています。



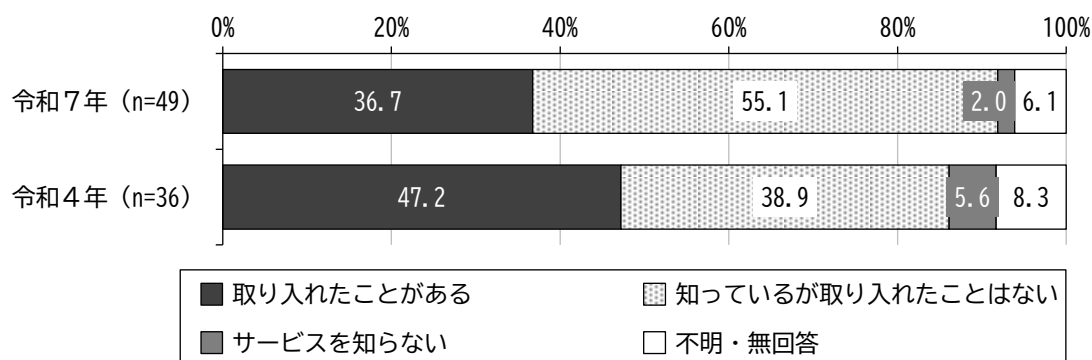
※「訪問型サービス従前相当サービス」、「通所型サービス従前相当サービス」は、令和4年では「介護予防訪問介護相当サービス」、「介護予防通所介護相当サービス」。

問8 角田市が行っている高齢者福祉サービスをケアプランに取り入れていますか。または取り入れたことがありますか。（それぞれ単数回答）

（ア）緊急通報システム

緊急通報システムの取り入れ状況については、「知っているが取り入れたことはない」が55.1%と最も多く、次いで「取り入れたことがある」が36.7%、「サービスを知らない」が2.0%となっています。

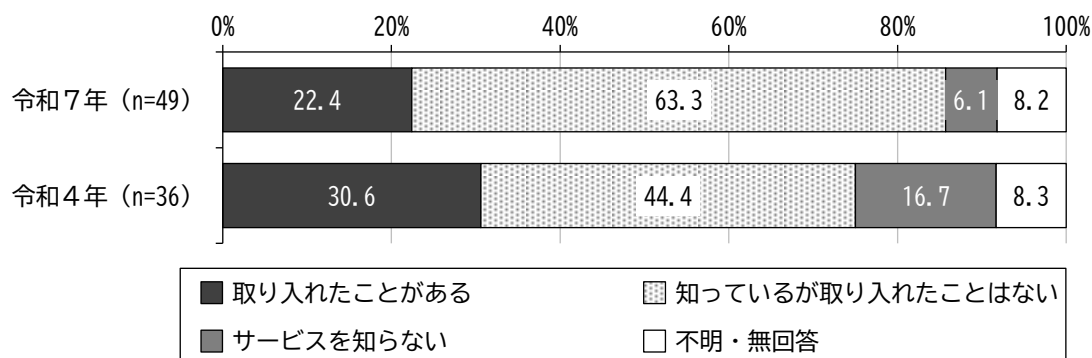
令和4年調査と比較すると、「知っているが取り入れたことはない」が16.2ポイント増加し、「取り入れたことがある」が10.5ポイント減少しています。



（イ）寝具洗濯乾燥サービス

寝具洗濯乾燥サービスの取り入れ状況については、「知っているが取り入れたことはない」が63.3%と最も多く、次いで「取り入れたことがある」が22.4%、「サービスを知らない」が6.1%となっています。

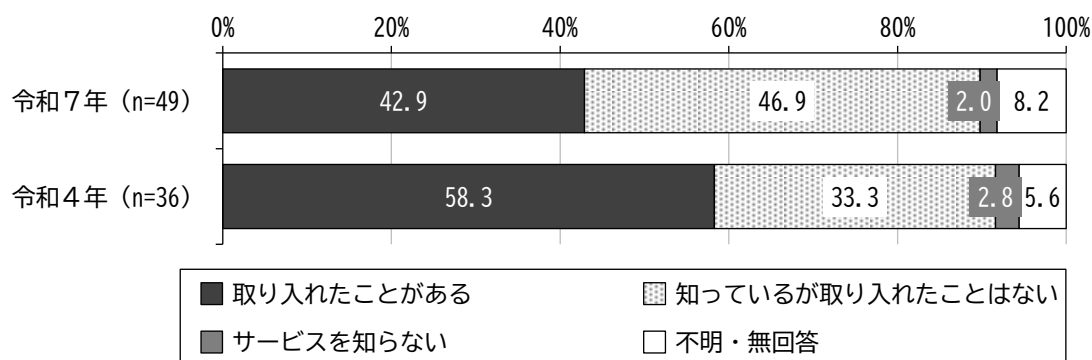
令和4年調査と比較すると、「知っているが取り入れたことはない」が18.9ポイント増加し、「サービスを知らない」が10.6ポイント減少しています。



(ウ) 紙おむつ等の支給

紙おむつ等の支給の取り入れ状況については、「知っているが取り入れたことはない」が46.9%と最も多く、次いで「取り入れたことがある」が42.9%、「サービスを知らない」が2.0%となっています。

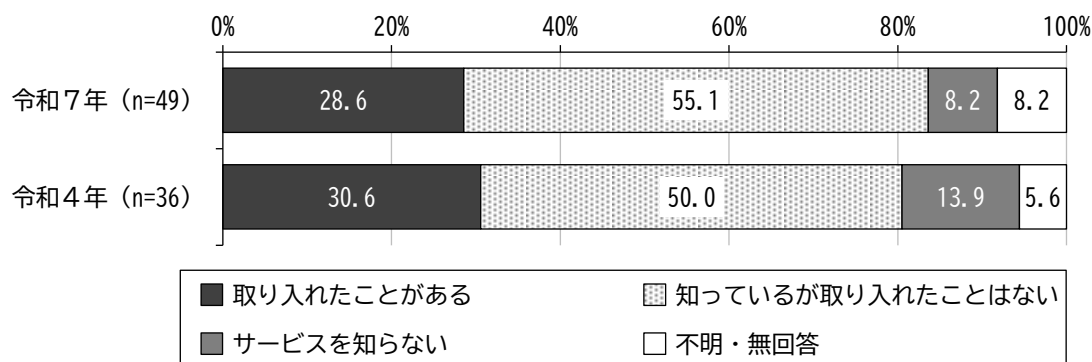
令和4年調査と比較すると、「取り入れたことがある」が15.4ポイント減少し、「知っているが取り入れたことはない」が13.6ポイント増加しています。



(エ) 高齢者福祉タクシー助成

高齢者福祉タクシー助成の取り入れ状況については、「知っているが取り入れたことはない」が55.1%と最も多く、次いで「取り入れたことがある」が28.6%、「サービスを知らない」が8.2%となっています。

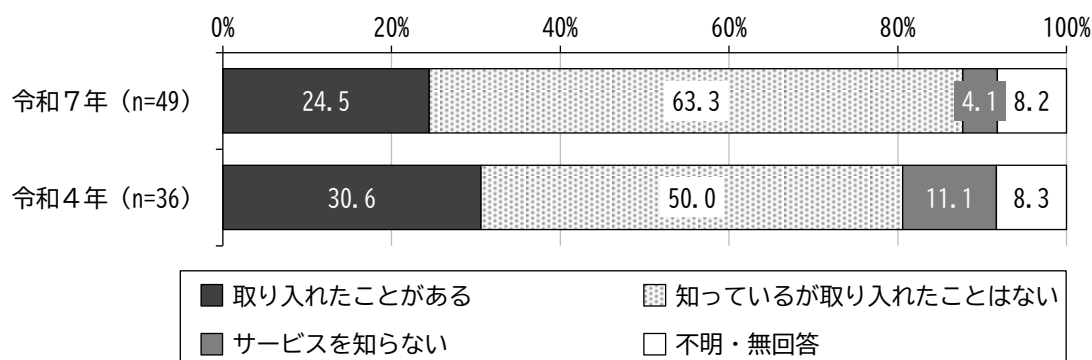
令和4年調査と比較すると、「サービスを知らない」が5.7ポイント減少し、「知っているが取り入れたことはない」が5.1ポイント増加しています。



（オ）訪問理美容サービス

訪問理美容サービスの取り入れ状況については、「知っているが取り入れたことはない」が63.3%と最も多く、次いで「取り入れたことがある」が24.5%、「サービスを知らない」が4.1%となっています。

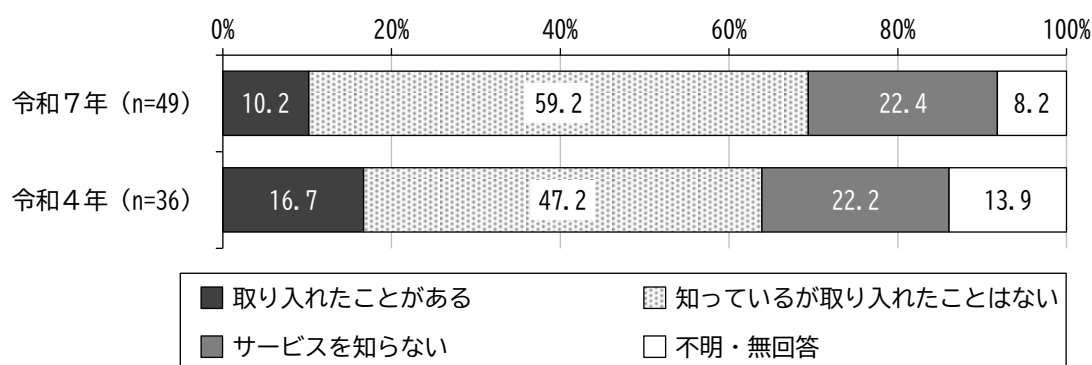
令和4年調査と比較すると、「知っているが取り入れたことはない」が13.3ポイント増加し、「サービスを知らない」が7.0ポイント減少しています。



（カ）救急医療情報キット支給

救急医療情報キット支給の取り入れ状況については、「知っているが取り入れたことはない」が59.2%と最も多く、次いで「サービスを知らない」が22.4%、「取り入れたことがある」が10.2%となっています。

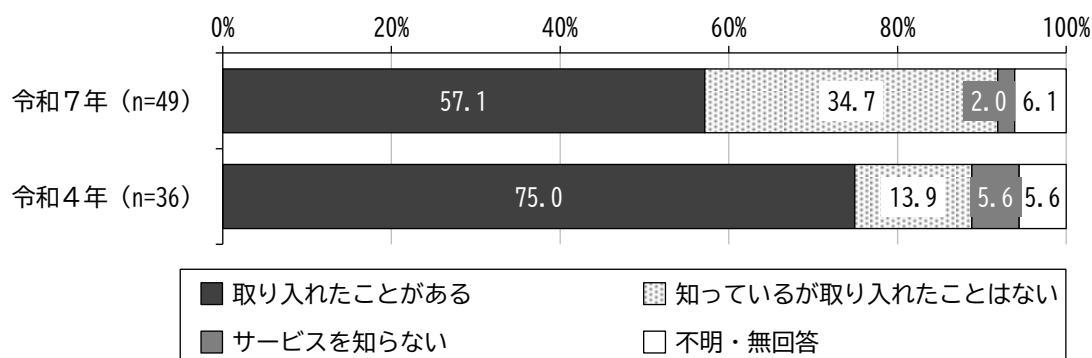
令和4年調査と比較すると、「知っているが取り入れたことはない」が12.0ポイント増加し、「取り入れたことがある」が6.5ポイント減少しています。



(キ) 配食サービス

配食サービスの取り入れ状況については、「取り入れたことがある」が57.1%と最も多く、次いで「知っているが取り入れたことはない」が34.7%、「サービスを知らない」が2.0%となっています。

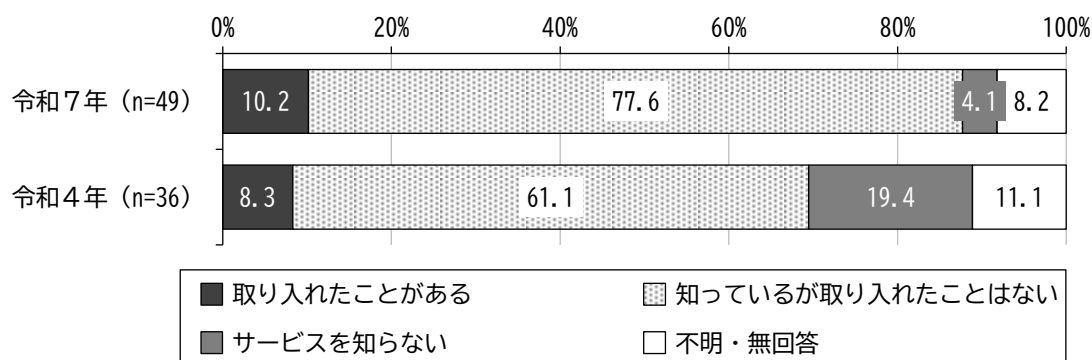
令和4年調査と比較すると、「知っているが取り入れたことはない」が20.8ポイント増加し、「取り入れたことがある」が17.9ポイント減少しています。



(ク) 認知症高齢者等見守りQRコード活用事業

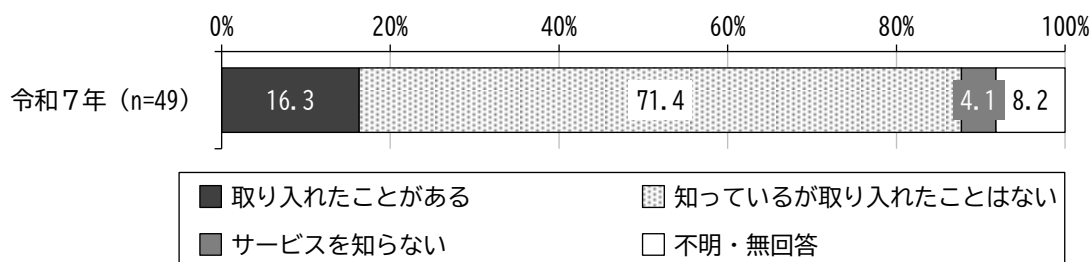
認知症高齢者等見守りQRコード活用事業の取り入れ状況については、「知っているが取り入れたことはない」が77.6%と最も多く、次いで「取り入れたことがある」が10.2%、「サービスを知らない」が4.1%となっています。

令和4年調査と比較すると、「知っているが取り入れたことはない」が16.5ポイント増加し、「サービスを知らない」が15.3ポイント減少しています。



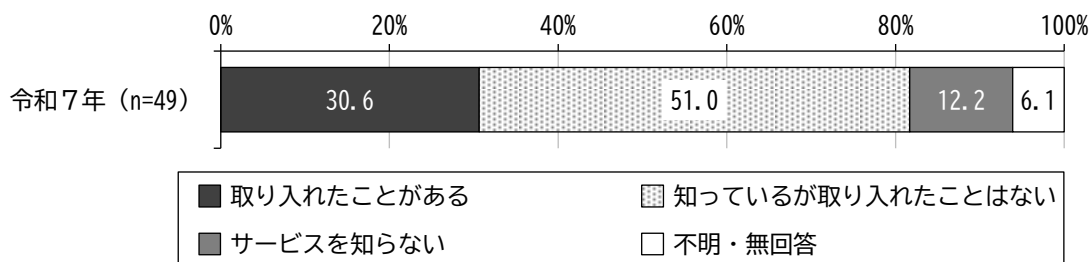
(ケ) 認知症カフェ

認知症カフェの取り入れ状況については、「知っているが取り入れたことはない」が71.4%と最も多く、次いで「取り入れたことがある」が16.3%、「サービスを知らない」が4.1%となっています。



(コ) 角田市シルバー人材センターが行う「おでって隊」

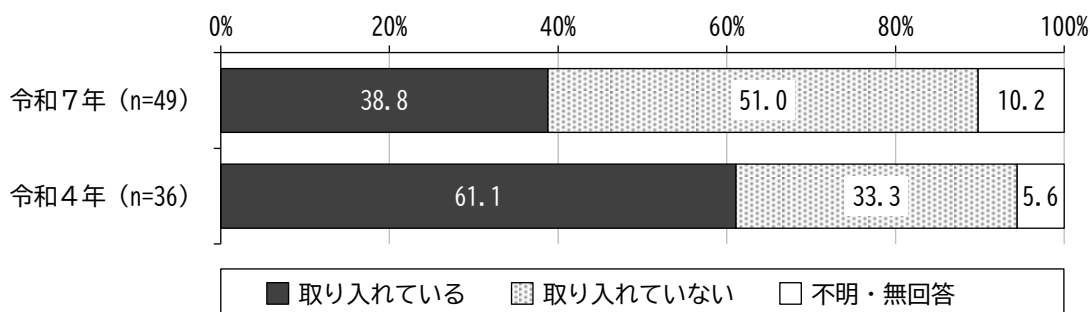
角田市シルバー人材センターが行う「おでって隊」の取り入れ状況については、「知っているが取り入れたことはない」が51.0%と最も多く、次いで「取り入れたことがある」が30.6%、「サービスを知らない」が12.2%となっています。



問9 ケアプランに問8以外の介護保険外のサービスを取り入れていますか。(単数回答)

ケアプランに介護保険外のサービスを取り入れているかについては、「取り入れている」が38.8%、「取り入っていない」が51.0%となっています。

令和4年調査と比較すると、「取り入れている」が22.3ポイント減少し、「取り入っていない」が17.7ポイント増加しています。



【問9で「取り入れている」と回答した方のみ】

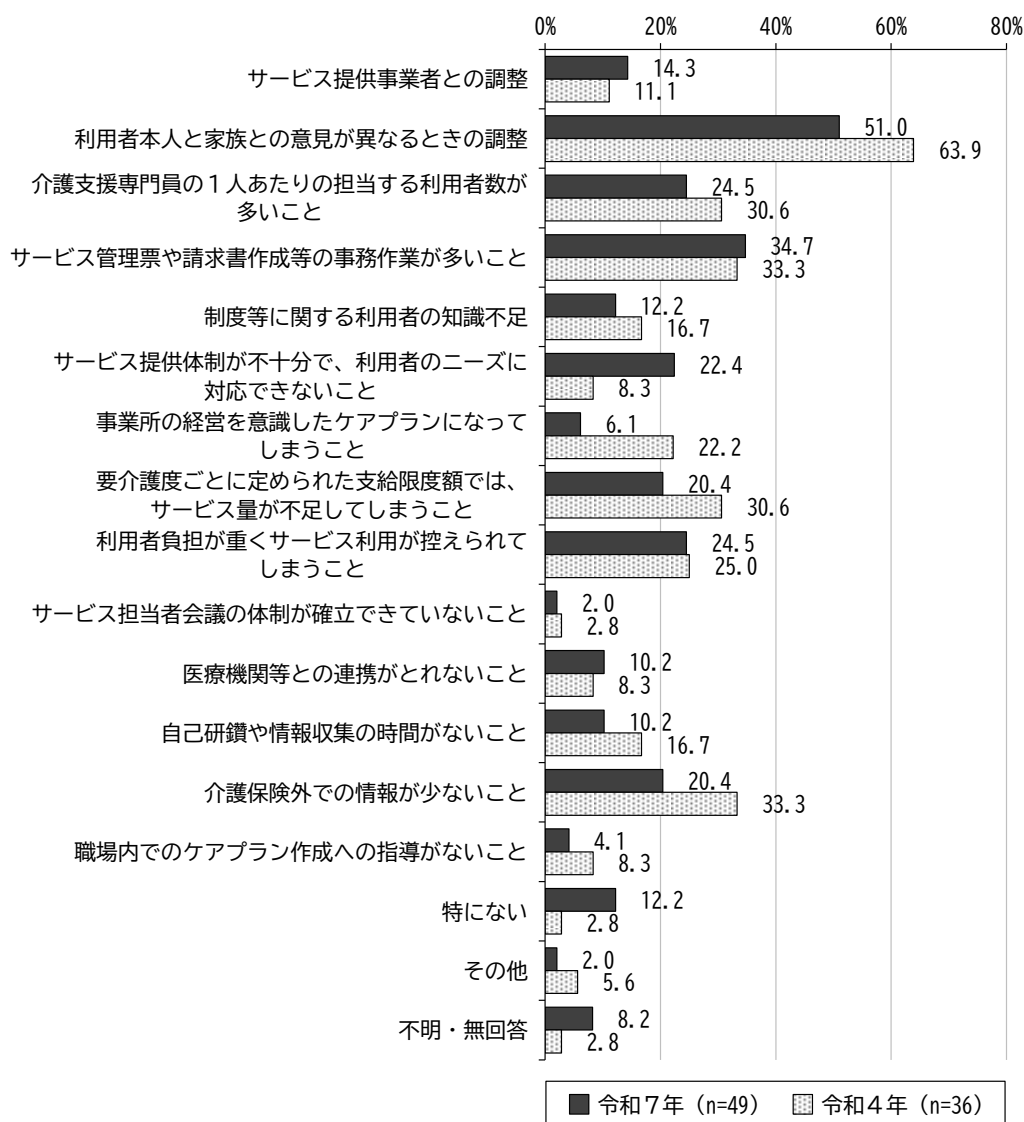
問9-1 介護保険外のサービスは何ですか。また、取り入れたサービスについて、良いことや不満に思ったことはありますか。（記述回答）

回答内容
・医療 ・障害福祉サービス
※ベッドの自費レンタル
自費ヘルパー→費用が高い
セルフケア地域での活動。自分で出来る事や地域での活動は本人が主体的に取り組めるので良かった。
福祉用具貸与サービス（社協）介護保険ではフォローできない部分で有効であると感じている。
訪問介護事業所の在宅福祉（自費）サービス 介護保険外サービスであることから内容や時間の自由度が高い 自費であることから1回1時間の金額が高い
訪問マッサージ（2件）
ラビットくん 私自身が思ったことではないが、利用者複数からドライバーの対応が不親切と聞いたことがある。
・医療系のサービス ・自費のヘルパーサービス ・民生委員による支援（見守り等）
・シルバー人材センター自費サービス（掃除、傾聴など） ・地域の高齢者サロン ・移動販売 ・民間の宅食サービス
生協の助け合い=制限なく支援していただけるので大変良い 訪問マッサージ=痛み等を招いている方に好評、但し指示書を記載してくれない医師がおり困る 医療保険でのリハビリ=病院で PT が RH を行ってくれ良いが日数が個人で違うので介護保険に切り換えの時が大変
配食、タクシー券。タクシー券については「足りない」と金額的な不満がきかれている。
配食サービス（民間）社協の福祉用具（自分で運搬しなければいけない）
民間配食サービス、傾聴ボランティア、後見人
・訪問サービス事業所の自費サービスです。→料金が高いです。 ・医療保険による訪問マッサージや訪問リハビリです。→ご本人の要望や身体状況に合わせてキメ細やかに行って下さい。利用者さまは喜んでます。
医療保険の訪問マッサージ訪問看護。サービス事業所による自費サービス（冷凍弁当ワンケアサービス等）。自費サービスは費用負担はあっても、本人満足度が高いように感じます。
セルフケア、訪問介護自費サービス、訪問診療、居宅療養管理指導、訪問看護（医療）、地域活動

問10 ケアプランの作成時に困っていることは何ですか。（複数回答）

ケアプランの作成時に困っていることについては、「利用者本人と家族との意見が異なるときの調整」が51.0%と最も多く、次いで「サービス管理票や請求書作成等の事務作業が多いこと」が34.7%、「介護支援専門員の1人あたりの担当する利用者数が多いこと」「利用者負担が重くサービス利用が控えられてしまうこと」が24.5%となっています。

令和4年調査と比較すると、「事業所の経営を意識したケアプランになってしまうこと」が16.1ポイント減少し、「サービス提供体制が不十分で、利用者のニーズに対応できないこと」が14.1ポイント増加しています。



※「要介護度ごとに定められた支給限度額では、サービス量が不足してしまうこと」は令和4年では「利用できるサービス量が要介護度より不足してしまうこと」。

●その他内容

- ・身体能力が低下し、福祉用具や住宅改修の相談
- ・母体側からのサービス強制、指示
- ・目標達成、評価、暫定利用時のプラン
- ・利用者家族の過剰な要求、もしくは無関心。本人主体にしたいくても家族がそれを許さない状況

問11 利用者からの相談や要望で、どのような内容のものが多く感じますか。多いと思うものを記入してください。（記述回答）

回答内容
「病気や障害により生活に支障がでている、相談にのってほしい」→リハビリをしたい、福祉用具をレンタルしたい、が多いように感じます。
・ 介護のこと。
・ 高齢世帯で家族が遠方に住んでいるため支援が受けられない。
・ 単身の息子さんとの同居、生活支援が必要
・ 緊急連絡先 3 件の確保ができない
・ 通院の支援
・ 介護タクシー
13. 介護保険外での情報について
おふろに入りたい。
介護・医療の相談
介護に関すること
介護に関するなやみ
介護保険について全く知られていない方もまだ多いです。
家族が同居していても家事の支援が必要。
経済的な不安
サービスや援助に対するケースと家族の温度差
サービス利用に伴う費用負担や今後の生活費への不安
年金が少なくサービス利用料が払えない。家で過ごしたいが限度額をこえた時に自費（10 割）は払えない。
見守り等のサービス、安否かくにん
要支援者サービス受け入れ
若い方が通える短時間のリハビリに特化したデイサービスが丸森・角田にない（若い方で認定を受ける方が多くなった為）
遠方に家族が住んでいて、市内に独居あるいは夫婦のみで生活しているが認知症（夫婦とも）があり、問題が発生した時の対処が難しい状況がある。
同居 Fa が居るが全てケアマネに依頼する。やれる事、やれない事より Fa の介護に対しての意識レベルが低い。説明しても CM を適当な相談員と考えている風もあり
・ 家事支援
・ 通院支援
・ 移動支援
・ 同居家族がいるケースの家事支援
自宅での入浴がむずかしくなり、入浴についての支援を求める相談が多い。寝たきりの状態になると施設入所を希望される家族が多い。

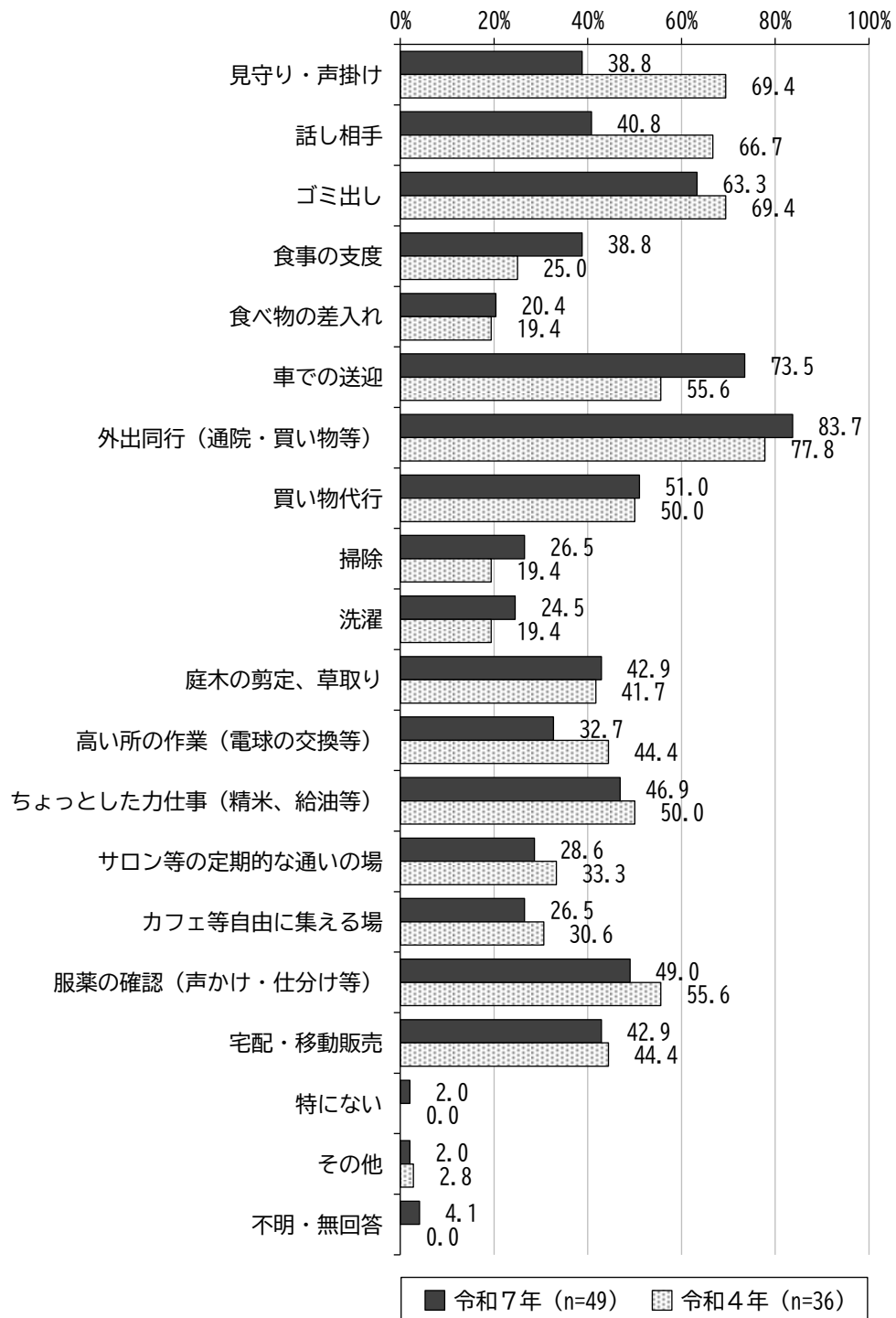
回答内容
独居やそうでなくとも自宅介護が老々介護や就労で出来ない、医療行為や医療依存が高い等の理由から施設や有料老人ホームを希望されるが、金銭面で苦勞されている。
認知症への不安。夜間等、対応に悩んだ時の相談はどうしたら良いか。通院等の足が無い。
利用者というよりは家族がもう家では無理だから施設を考えたいと言うが、介護度の中で利用できるものは高すぎて入れないというパターンが多い
家事支援（買いものなど）又は独り暮らしだと安否確認などデイサービスなどの通いの場について
認知症の進行や下肢筋力低下による交流支援や運動の必要性
施設へ入所希望されるが介護度の問題経済的問題。介護保険の説明（行政より）ないまま居宅支援依頼される。
在宅では認知症もすすみ介護保険の区分支給額では足りない。施設に入れたいが、年金ではまにあわない為困っている等。（家族より）
・移動ができずお金がかかる。（免返） ・受診時の立ちあいが必要。書類が分からない。 ・家族が入院する際介ゴを必要とするがみてる人がイナイ。 ・ペットを見てくれる人がいない。 ・介ゴホケンは決まりが多く希望にそってもらってない。

3 地域の状況について

問12 地域にあったら良いと思う生活支援サービスはありますか。（複数回答）

地域にあったら良いと思う生活支援サービスについては、「外出同行（通院・買い物等）」が 83.7% と最も多く、次いで「車での送迎」が 73.5%、「ゴミ出し」が 63.3%となっています。

令和4年調査と比較すると、「見守り・声掛け」が 30.6 ポイント、「話し相手」が 25.9 ポイント減少しています。



●その他内容

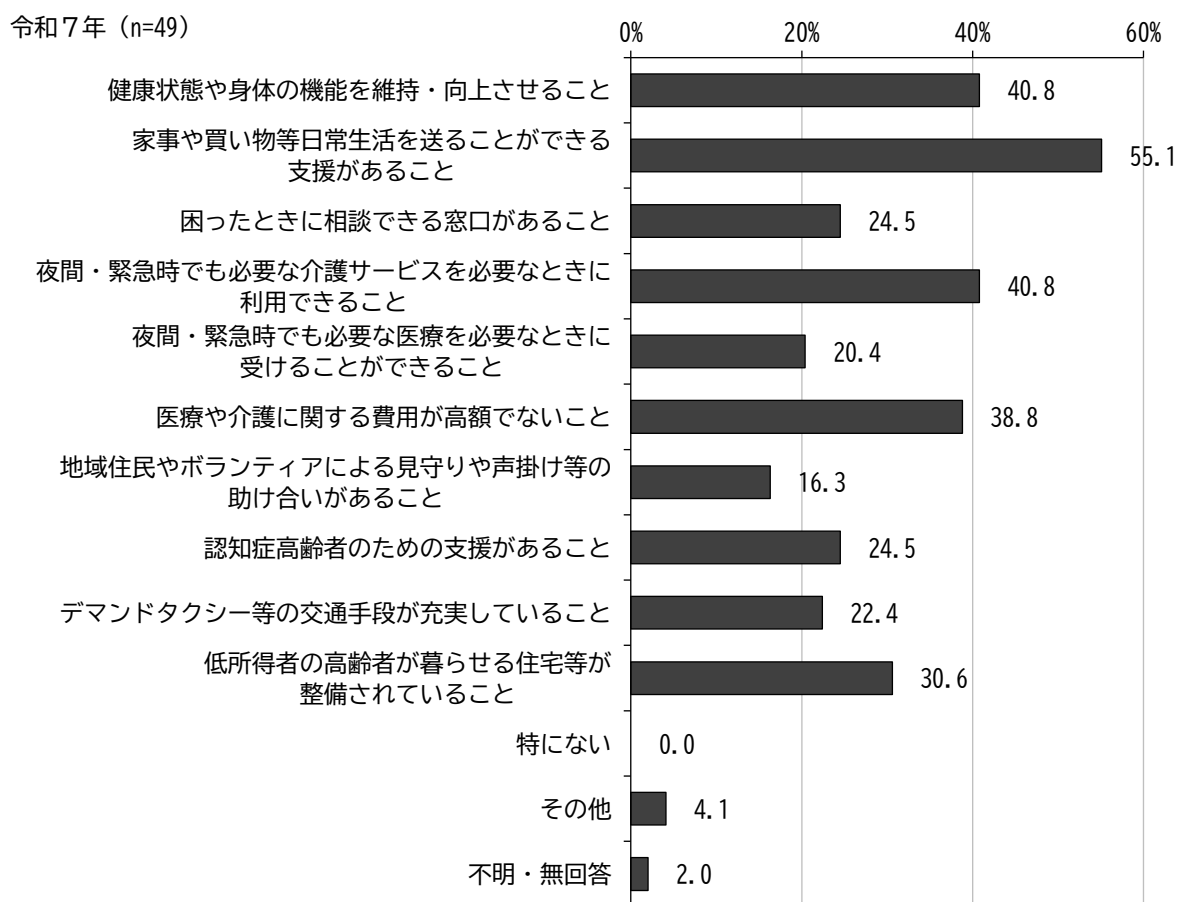
- ・ 外出支援（買い物・通院）
- ・ 応診

問13 問12以外で介護保険外のサービス（官民間問わず）で必要だと感じるサービスがあれば具体的に記入してください。（記述回答）

回答内容
・高齢により免許証を返納した方への安価で利用出来る送迎サービス
積雪への不安を訴える方が多いです。
通院のつきそい
問 12 やシルバーサポートの資源の取りまとめをしてくれるところ。実際相談してもこれはできない等、基本的な体制が整っていないと感じます。（ニーズに対応できていない）
特に夏場、冬場の室温調整
夜間、転倒したベッドから落ちた等の場合、助けてくれる。車でいうなら JAF のようなサービスがあったらいい
夜間帯の見守り
夜間の見守り（独居）
雪かき
昼食等見守り 介護者が戻る迄（仕事）の見守り声掛け、話し相手
・移動の手段 ・夜間受診後の
・神社にお守りをかいに行ったり、どんと祭にお守りを出しに行けなくなげている利用者さんがいました。そんなときにちょっと代打してくれるサービスがあるといい ・雪かき ・大きな荷物の整理
・車で送迎（通院、かいもの、ごらく） ・ペットのサンポ・エサ等のかいもん ・男の集い←時代的にあれだが ・給食を地域のとしよりとたべる交流会。 ・こども食堂での交流
ゴミ出し 外出に関わる支援（タクシー他） 買い物→生協をすすめている

問14 在宅で生活をするとしたら、何が必要だと感じますか。（3つまで複数回答）

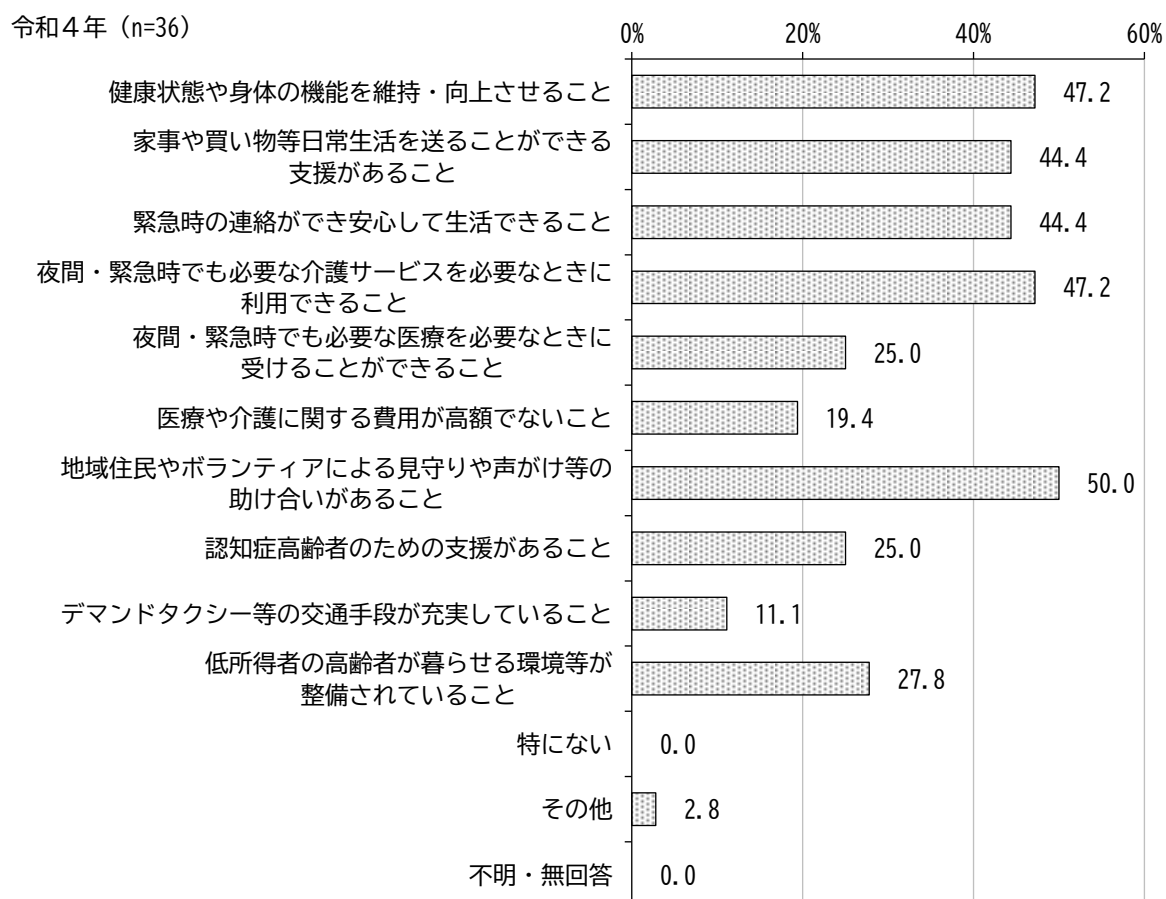
在宅で生活をする場合に必要だと感じることについては、「家事や買い物等日常生活を送ることができる支援があること」が 55.1%と最も多く、次いで「健康状態や身体の機能を維持・向上させること」「夜間・緊急時でも必要な介護サービスを必要なときに利用できること」が 40.8%となっています。



●その他内容

- ・相談できる家族がいる事
- ・皆がその人のくらしをゆるすこと

◆ 参考: 令和4年調査



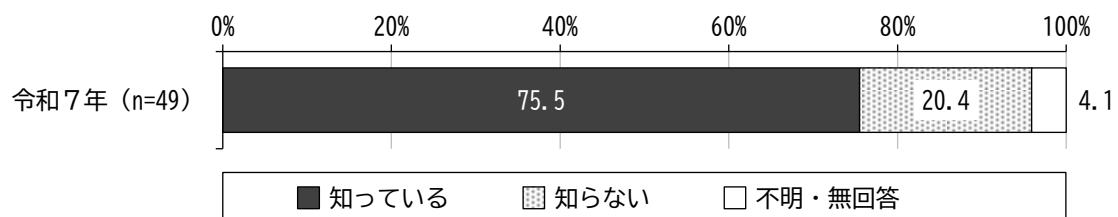
問15 地域包括ケア実現に向け、重度の要介護者となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けることができるようにするためには、ケアマネジャーの視点からどのようなことが必要だと考えますか。（記述回答）

回答内容
意思決定支援（自己決定支援）
介護報酬が安い
介護保険外のサービスを安価に利用できる。たとえば病院内のつきそい。病院までのあし代等。
家族・周囲の人の介護理解。
家族が遠方でありすぐ訪問する事ができない。たまにしか顔をみせないので利用者の普段が判らない事が多い。親の介ゴに気づいていない
きめこまやかな支援（Faのメンタル面も含む）
限度額があるため必要なサービスがどうしてもかぎられてくるので、それがなければ（もう少し幅が広がると）自宅で暮らせると思う
在宅医療の充実が必要です
生活支援が包括的に確保されるよう、医療介護、多職種の連携していく
その方の本来の生活や支援者の見極めを行い意向を叶えられるよう、介護保険の枠にとらわれないケアの在り方が必要かなと思います。
地域包括ケアは住民の理解を協力的には成立しない。サロンや地域集まりで介護予防や見守りの重要性を引き続き伝えていく啓発が地域の商店や企業に「見守り協力店」として参加を呼びかけてみるなど地域全体で支える「文化」を作っていくことが重要ではないかと思う
定期巡回を利用することで独り暮らしの方をサポートしています。しかし定期巡回を利用すると限度額のオーバーを考慮し通所等のサービスが使えなくなります。定期巡回の利用に対する限度額の緩和やもっと広くアピールすることで施設に入らなくても自宅で生活出来ると思います。
必要なサービスが必要だけ利用できる。要介護4や5の限度額内では暮らせません
無理のない住民等の見守り発信
夜間対応型訪問介護等の事業所が必要
夜間のヘルパー支援
夜間も対応できるサービスの確立
要介護5で在宅サービス実費なしでサービスが組めない為難しい（限度額がある為）
・地域での協力体勢が民生委員やボランティアなどで支えられている
家族がいなかったり判断できる親族が居ない方もいるので行政の手厚い力を借りれば安心です
本気のボランティア（地域の助けあい）
家族に代わる支援。サービスがあっても利用が難しいサービスもある。
難しいと思うが、住宅にいて、ナースコール的なものを押すことで、その際に必要な支援、介助がうけられること
家族の介護への覚悟。最初は問題ないと張り切るが日数が経過するにつれて根をあげてしまうご家族が多い。励ましの言葉が逆にご家族を辛くさせてしまう場合もあるので、ケアマネとしても声掛けする際の言葉を選んでいく。

回答内容
寝たきりなどの状態になっても介護サービスなどを利用すれば自宅で生活出来るということを家族と一緒に考えていくことが必要だと思う。
医療、介護、行政、地域住民が関係性、本人中心に考えられるチームづくり
インフォーマルなサービスの創出と充実や医療、介護、福祉の多職種連携による支援体制を整えること。またそれらの啓蒙、啓発活動の実施
介護者の負担軽減を図ること、精神的にも余裕がないと長く続かない。経済的な負担も大きくならないようサービスの選定が必要
家族の理解とホームドクターとの親密性。又、看取りケアと医療の充実
訪問診療・看護の設置、その他薬剤師・歯科、訪問リハ等 訪問による医療の充実なく、現実には難しいと思います
訪問介護（定期巡回）の充実。（夜間に働いていない）医療との速やかな連携。訪問してくれると安心。夜間緊急受け付けがかりつけ医は拒否せずみてくれる
・生活の細かい部分を支えるサービス ・夜間の見守り ・不調時の駆けつけサービス ・Faのレスパイト ・経済的なこと。
家族の協力。フォーマル、インフォーマルサービスの充実
・在宅診療、介護者の介護知識と活用 ・地域住民によるヘルプ、ケアマネージャーの相談できるようケアマネージャーの傾聴力、理解力をやしなうこと

問16 角田市未来ノート（エンディングノート）の存在を知っていますか。（単数回答）

角田市未来ノート（エンディングノート）の存在を知っているかについては、「知っている」が75.5%、「知らない」が20.4%となっています。

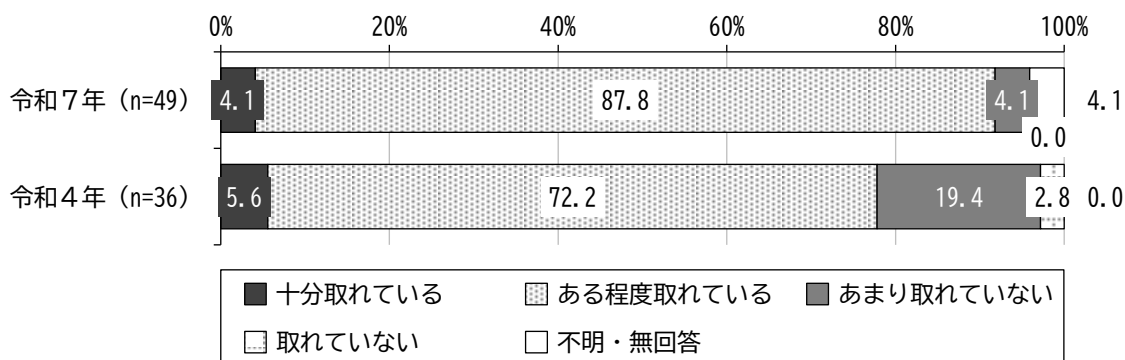


4 関係機関との連携について

問17 主治医と連携は取れていますか。（単数回答）

主治医との連携については、「ある程度取れている」が87.8%と最も多く、次いで「十分取れている」「あまり取れていない」が4.1%となっています。

令和4年調査と比較すると、「ある程度取れている」が15.6ポイント増加し、「あまり取れていない」が15.3ポイント減少しています。



【問17で「あまり取れていない」または「取れていない」と回答した方のみ】

問17-1 主治医との連携を取ることが困難な理由は何ですか。（記述回答）

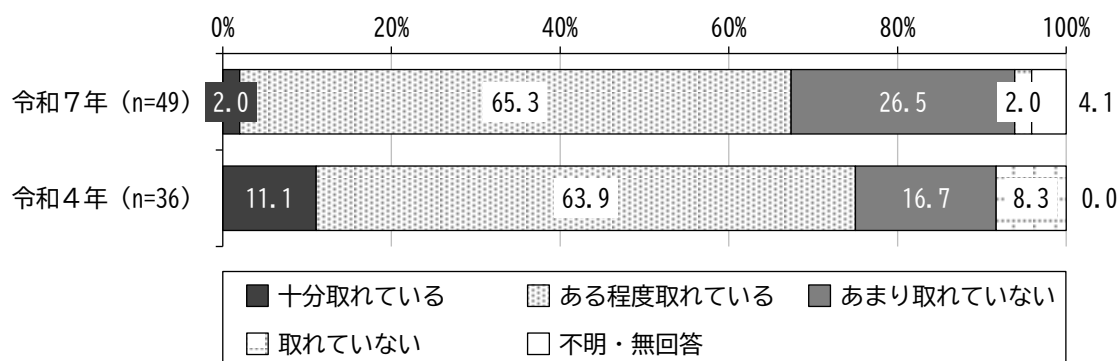
理由
主治医と直接話す機会がとれない
特定の医師との連携がとれない。ケアマネを受け入れてくれないようだ。

問18 その他の医療機関の関係者と連携は取れていますか。(それぞれ単数回答)

(ア) 薬剤師

薬剤師との連携については、「ある程度取れている」が65.3%と最も多く、次いで「あまり取れていない」が26.5%、「十分取れている」「取れていない」が2.0%となっています。

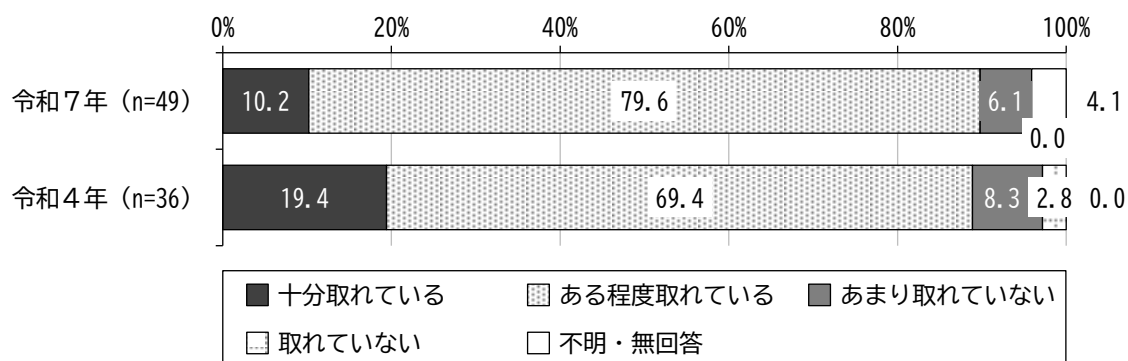
令和4年調査と比較すると、「あまり取れていない」が9.8ポイント増加し、「十分取れている」が9.1ポイント減少しています。



(イ) 看護師

看護師との連携については、「ある程度取れている」が79.6%と最も多く、次いで「十分取れている」が10.2%、「あまり取れていない」が6.1%となっています。

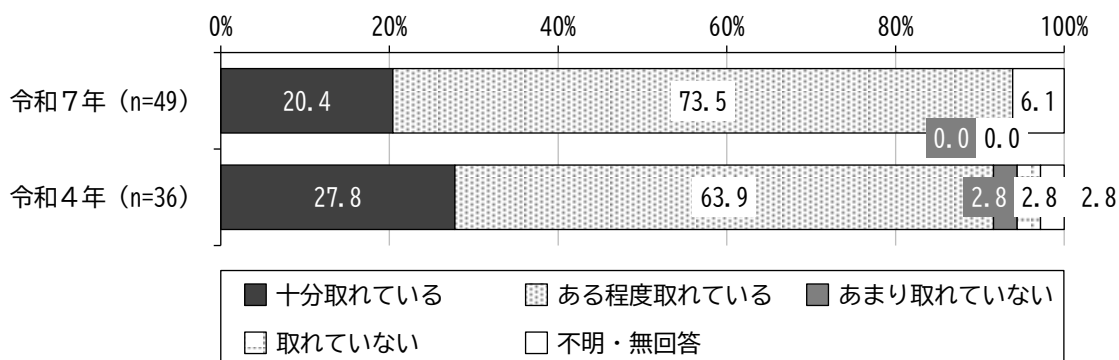
令和4年調査と比較すると、「ある程度取れている」が10.2ポイント増加し、「十分取れている」が9.2ポイント減少しています。



(ウ) 相談員

相談員との連携については、「ある程度取れている」が73.5%と最も多く、次いで「十分取れている」が20.4%となっています。

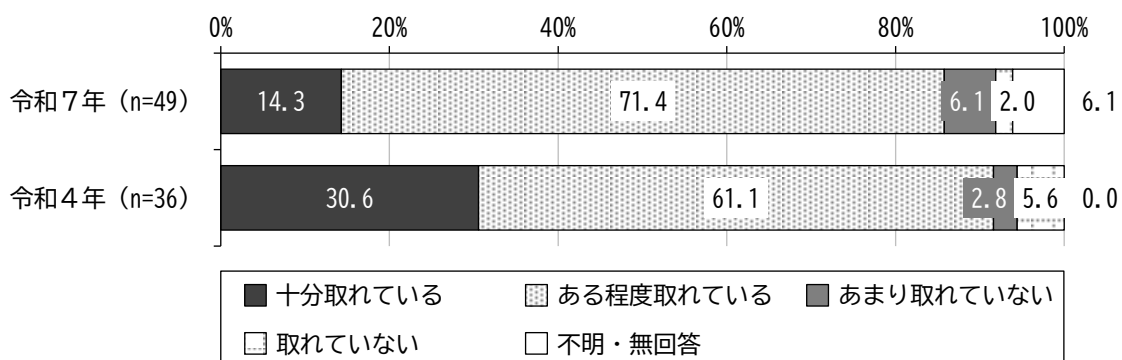
令和4年調査と比較すると、「ある程度取れている」が9.6ポイント増加し、「十分取れている」が7.4ポイント減少しています。



(エ) リハビリ職

リハビリ職との連携については、「ある程度取れている」が71.4%と最も多く、次いで「十分取れている」が14.3%、「あまり取れていない」が6.1%となっています。

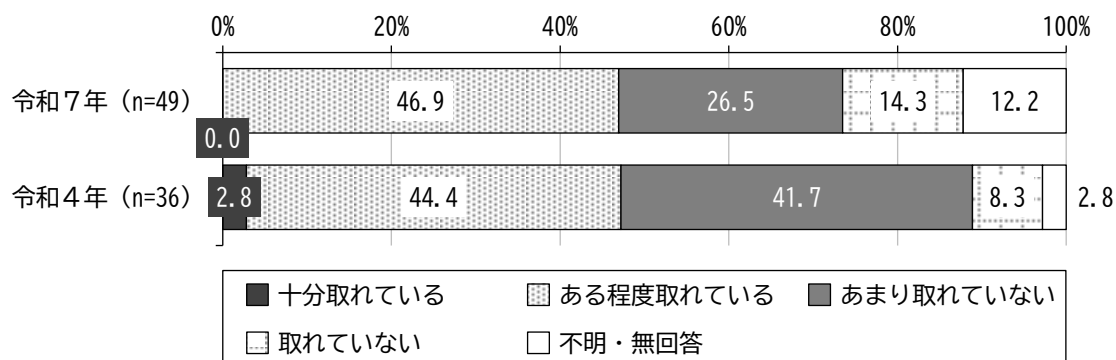
令和4年調査と比較すると、「十分取れている」が16.3ポイント減少し、「ある程度取れている」が10.3ポイント増加しています。



（オ）栄養士

栄養士との連携については、「ある程度取れている」が46.9%と最も多く、次いで「あまり取れていない」が26.5%、「取れていない」が14.3%となっています。

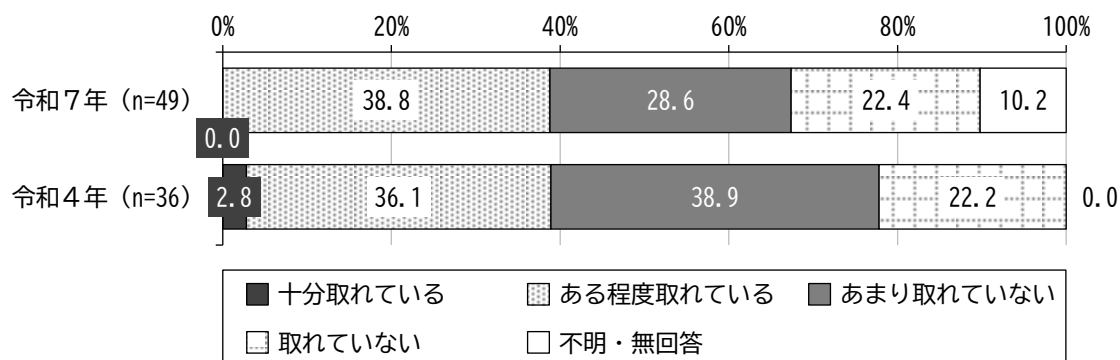
令和4年調査と比較すると、「あまり取れていない」が15.2ポイント減少し、「取れていない」が6.0ポイント増加しています。



（カ）歯科衛生士

歯科衛生士との連携については、「ある程度取れている」が38.8%と最も多く、次いで「あまり取れていない」が28.6%、「取れていない」が22.4%となっています。

令和4年調査と比較すると、「あまり取れていない」が10.3ポイント減少しています。



【問 18 の（ア）～（カ）のいずれかで「あまり取れていない」または「取れていない」と回答した方のみ】

■ 連携を取ることが困難な理由（記述回答）

（ア）薬剤師

居宅管理療養指導を取っているときは容易だが、それ以外は本人の確認ですませる
必要な場面がない。家族ができています
どうしても必要な場合のみ取っている
困難ではないが主治医に聞いています
情報共有の仕組みが弱い。薬のことは医師 NS に相談してしまう
服薬は Fa 管理している。何かあれば Fa より確認してもらうことが多い

（イ）看護師

病院が多忙

（エ）リハビリ職

機会が少ない

（オ）栄養士

取る機会が少ない	普段あまり関わる機会がない
直接関わる事が少ない。	主治医や施設相談員や NS に聞いてしまう
会う機会がない（2件）	機会が少ない
あまり機会がない	会ったことがない
用事がない	かかわってるケースなし

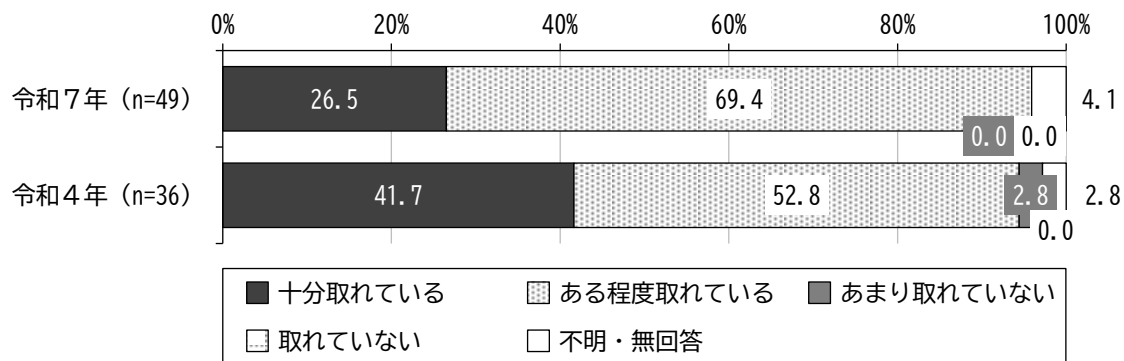
（カ）歯科衛生士

取る機会が少ない	なかなか機会がない
直接関わる事が少ない。	身近に案件がない
会う機会がない（2件）	普段あまり関わる機会がない
あまり機会がない	主治医や施設相談員や NS に聞いてしまう
用事がない	機会が少ない
利用者からの情報をえにくく歯医者に行っていない	
口腔の衛生を保つ必要性を感じる方が少ない。かかりつけがあり、そちらで対応している	

問19 介護サービス事業所との連携は取れていますか。（単数回答）

介護サービス事業所との連携については、「ある程度取れている」が69.4%と最も多く、次いで「十分取れている」が26.5%となっています。

令和4年調査と比較すると、「ある程度取れている」が16.6ポイント増加し、「十分取れている」が15.2ポイント減少しています。



【問19で「あまり取れていない」または「取れていない」と回答した方のみ】

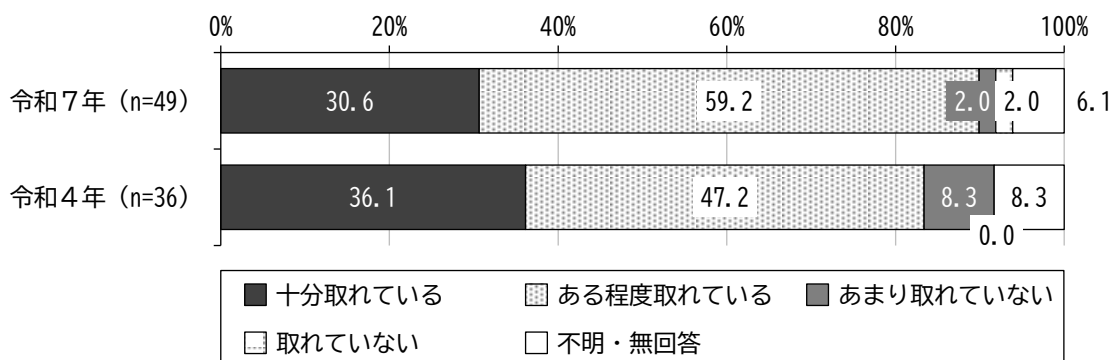
問19-1 介護サービス事業所との連携を取ることが困難な理由は何ですか。（記述回答）

介護サービス事業所との連携を取ることが困難な理由については、回答がありませんでした。

問20 地域包括支援センターとの連携は取れていますか。(単数回答)

地域包括支援センターとの連携については、「ある程度取れている」が59.2%と最も多く、次いで「十分取れている」が30.6%、「あまり取れていない」「取れていない」が2.0%となっています。

令和4年調査と比較すると、「ある程度取れている」が12.0ポイント増加し、「あまり取れていない」が6.3ポイント減少しています。



【問20で「あまり取れていない」または「取れていない」と回答した方のみ】 問20-1 地域包括支援センターとの連携を取ることが困難な理由は何ですか。(記述回答)

理由
利用者はおりません

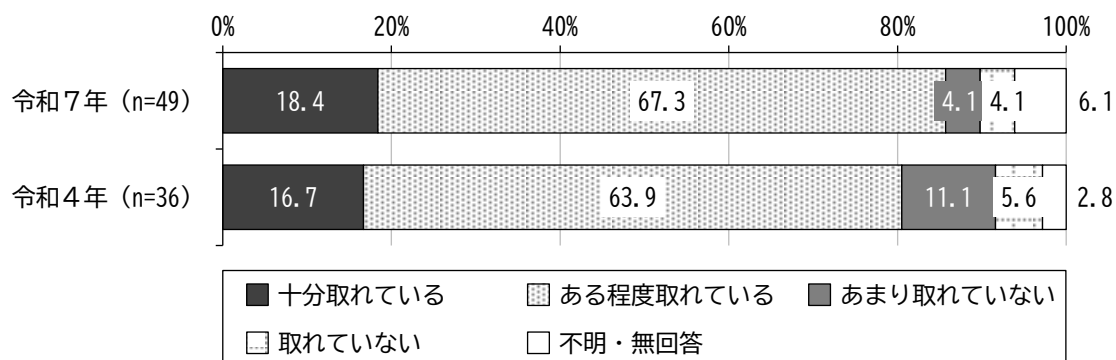
問21 地域包括支援センターに望むことはどのようなことですか。（記述回答）

回答内容
・一緒に考えてくれること。一方的にしない。 ・ひみつにしない ・今伝えること。
・医療との連携強化
・新規の予防の方のサービス利用が確定してから紹介してほしい→時間のムダ ・予防プランの添削についてよっぽど変な内容でなければそのまま容認してほしい
CM 事務外の仕事をしっかり対応してほしい、成年後見等
いつも大変お世話になっています。今後とも宜しくお願い致します。
介護になる前の活動などの場
虐待ケース等は余り時間を置くことで更なる悪化につながる可能性もある。相談には相手の都合だけでなく必要時は積極的な姿勢が必要と思われる
後方支援
困難事例や他制度が必要な方へのつなぎ等
暫定中であってもサービスの利用が安心して利用できるように認定状況等の共有
事業所ケアマネの感性も信じてほしい。
親身になって相談にのってくれること。傾聴とときに助言があると有難い。いつも助かっています
総合相談
土日祝でも、緊急時に連絡がとれる体制がほしい。
研修の案内、新規依頼
困難事例となった時に相談対応策と一緒に見い出してほしい。支援→介護となった場合小さなことでもいいので後々トラブルに発展しそうな可能性がある情報を教えて頂きたい
困難事例の相談、専門機関の紹介、つなぎ役、研修会の開催、情報発信

問22 保険者（角田市）との連携は取れていますか。（単数回答）

保険者（角田市）との連携については、「ある程度取れている」が67.3%と最も多く、次いで「十分取れている」が18.4%、「あまり取れていない」「取れていない」が4.1%となっています。

令和4年調査と比較すると、「あまり取れていない」が7.0ポイント減少しています。



【問22で「あまり取れていない」または「取れていない」と回答した方のみ】

問22-1 保険者（角田市）との連携を取ることが困難な理由は何ですか。（記述回答）

理由
住所地特例者が多いため、更新の時くらいしか連絡を取ることかないから
利用者がいない
利用者はおりません

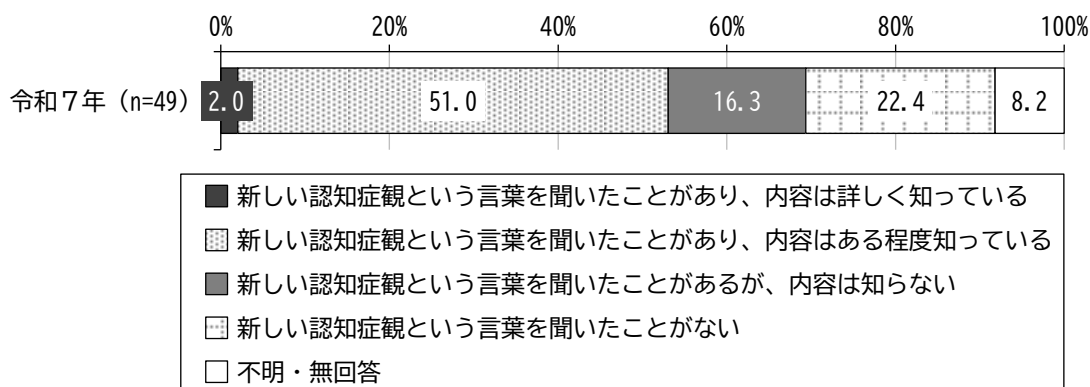
問23 市に支援・充実してほしいと思うことはありますか。（記述回答）

回答内容
今のままでありがたい
今のままで十分です。いつもありがとうございます。
困難事例に対するサポート
重層支援
人事移動で制度を十分理解している方が少ない。質問、相談しても返答まで時間がかかったり、教科書どおり（という印象の）返答しかこないため冷たい印象。1名でいいので、十分理解できている人を配置してもらえれば、あたたかみのある部署、相談しやすい頼りになると思うような気がするのですが…。
相談した後、速やかな対応、時間を合わせることで、もう少し積極的に介入してほしい（生命の危機等も不安）
地域住民が主体となり活動（社会資源になる）するための支援、啓発、移動支援の充実
民生委員とのパイプをつないでほしい。早目に支援が必要な人に必要な支援が届き、重度化を防止できるようにしたい。
利用者への事前説明しっかりしてくれると助かります。また、相談しやすいとより連携しやすいです。
・申請手続きの簡略化 ・情報共有の仕組みづくり ・認知症支援の拡充

5 認知症対策について

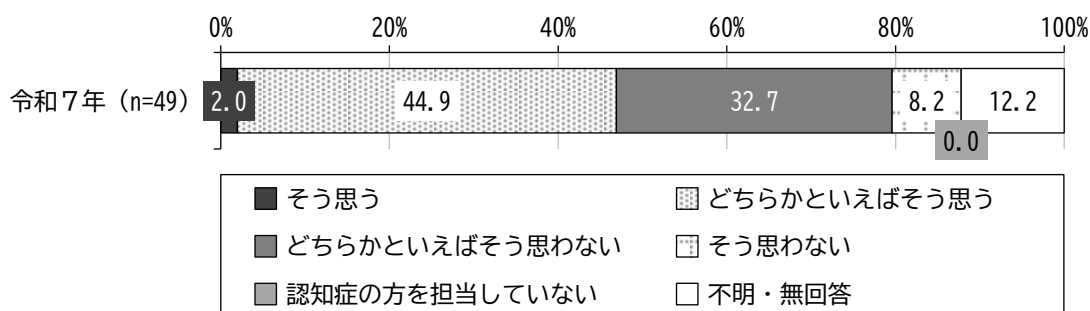
問24 令和6年12月に国の「認知症施策推進基本計画」において示された「新しい認知症観」という言葉を聞いたことがありますか。また、その内容について知っていますか。(単数回答)

「新しい認知症観」の認知状況については、「新しい認知症観という言葉を知ったことがあり、内容はある程度知っている」が51.0%と最も多く、次いで「新しい認知症観という言葉を知ったことがない」が22.4%、「新しい認知症観という言葉を知ったことがあるが、内容は知らない」が16.3%となっています。



問25 あなたが担当している認知症の方について、地域生活の様々な場面において、認知症の方の意思が尊重され、認知症の方が望む生活が継続できていると思いますか。(単数回答)

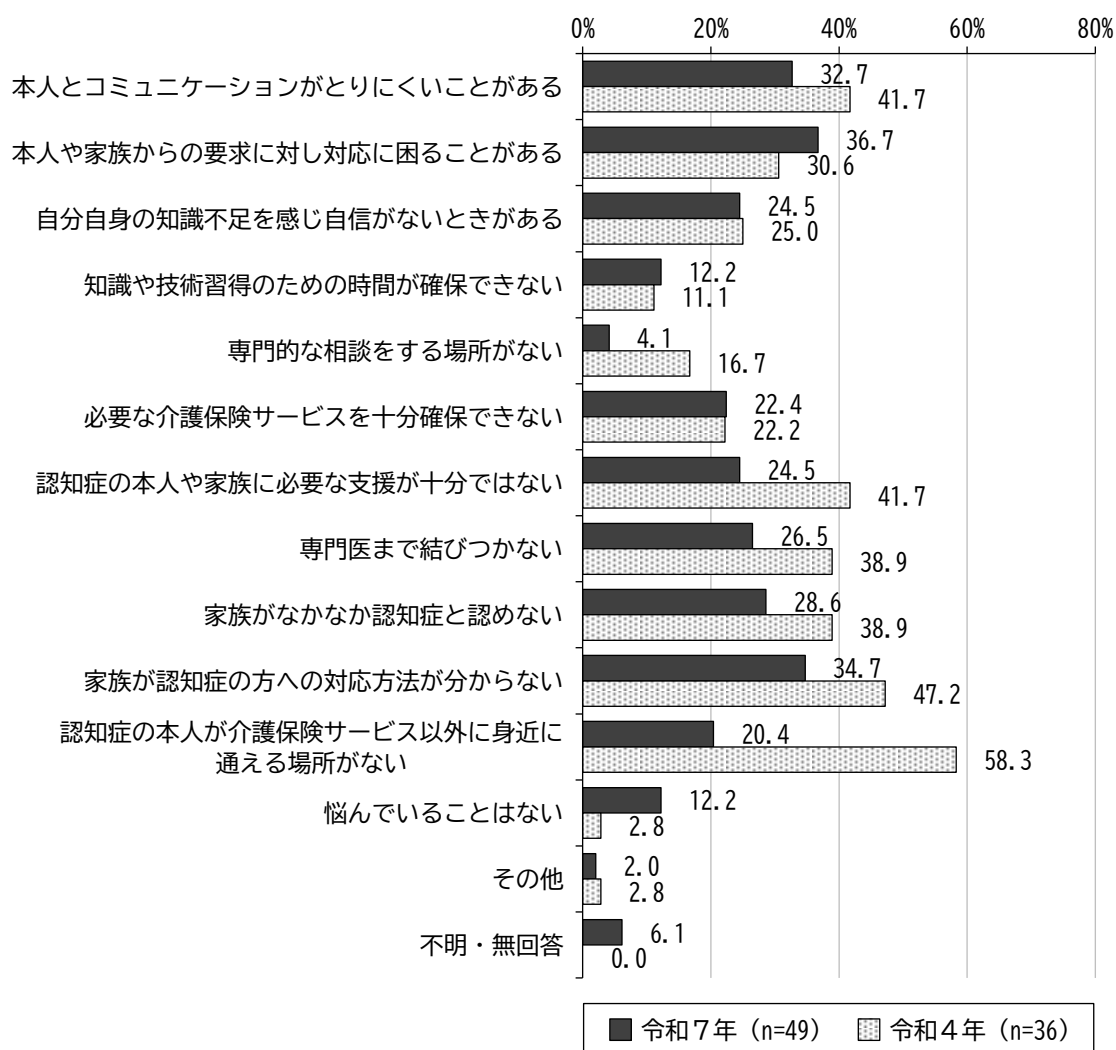
担当している認知症の方が地域生活の様々な場面において、意思が尊重され望む生活が継続できているかについては、「どちらかといえばそう思う」が44.9%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が32.7%、「そう思わない」が8.2%、「そう思う」が2.0%、「認知症の方を担当していない」が12.2%、「どちらかといえばそう思う」が0.0%となっています。



問26 認知症の要介護（要支援）認定者とその家族に対して、悩んでいることがありますか。（複数回答）

認知症の要介護（要支援）認定者とその家族に対して悩んでいることについては、「本人や家族からの要求に対し対応に困ることがある」が36.7%と最も多く、次いで「家族が認知症の方への対応方法が分からない」が34.7%、「本人とコミュニケーションがとりにくいことがある」が32.7%となっています。

令和4年調査と比較すると、「認知症の本人が介護保険サービス以外に身近に通える場所がない」が37.9ポイント、「認知症の本人や家族に必要な支援が十分ではない」が17.2ポイント減少しています。



●その他内容

- ・相談できる家族がいる事
- ・皆がその人のくらしをゆるすこと

問27 認知症の要介護（要支援）認定者とその家族に対して、悩んでいることがある場合、どのような支援があればよいと思いますか。（記述回答）

回答内容
・ すぐ施設に入れたがるので困る。 もうすこし家でくらすそうなのに。一緒にがんばり支援 ・ CM がそうだとできるところや一緒にしかかわってくれる支援
・ 地域に相談できる窓口とか人がいる。情報を提供してくれる人がいる ・ 出張認知症カフェ
医療との連携がとりたい。相談員さんは単なる予約取り係でもっと地域とつながりを持ってもらえれば、相談する機会が増えるのでは…。認知症対応の医療機関が少ない。
お金がかからない預かりの場（レスパイト）
家族の負担軽減と思いショートを利用しても対応できないと帰されてしまう。病院も同等の対応
家族への認知症状についての説明と理解と対応指導、市で家族向けの勉強の機会がもっとあると良い（地区単位等で…）
家族や地域の方々が認知症を理解して対応等を事前に分かっていたら、家族や地域の方々の混乱を多少減らすことができるのではないかな。
主介護者のメンタルの安定をとることができる支援
主治医とは別に、認知症の専門医に相談できるシステムや機会があるとよいと思う。（例えば内科等）
相談窓口、まずは話を聞いてほしい、適切なアドバイス
地域全体（住民）が認知症を理解する、何があっても助けてあげる、特別あつかいしない、なぜ施設へ入れないのかという発言はしないなど…普通に接してもらえる地域
地域のサロン。毎日でも見てくれる少人数のサロンの様な場があれば良いと思う。
悩みがある家族、ケアマネまでを含めて相談できるところがあるといい…が難しいと思うのでケアマネが一人で悩まずスキルアップできる研修や勉強会の充実、気軽に本人、Fa も含めて心の内をはき出せる場所？があるとよい
認知症当事者（本人）やその家族又関係事業所（者）などの交流会（相談会を兼ねた）
自ら相談しない方が多いので地域からの情報を収集して定期的に訪問して状況を確認していく。早めにフォローしていく。
道標となるような提案がほしい。
身よりのない認知症高齢者全ての窓口が CM

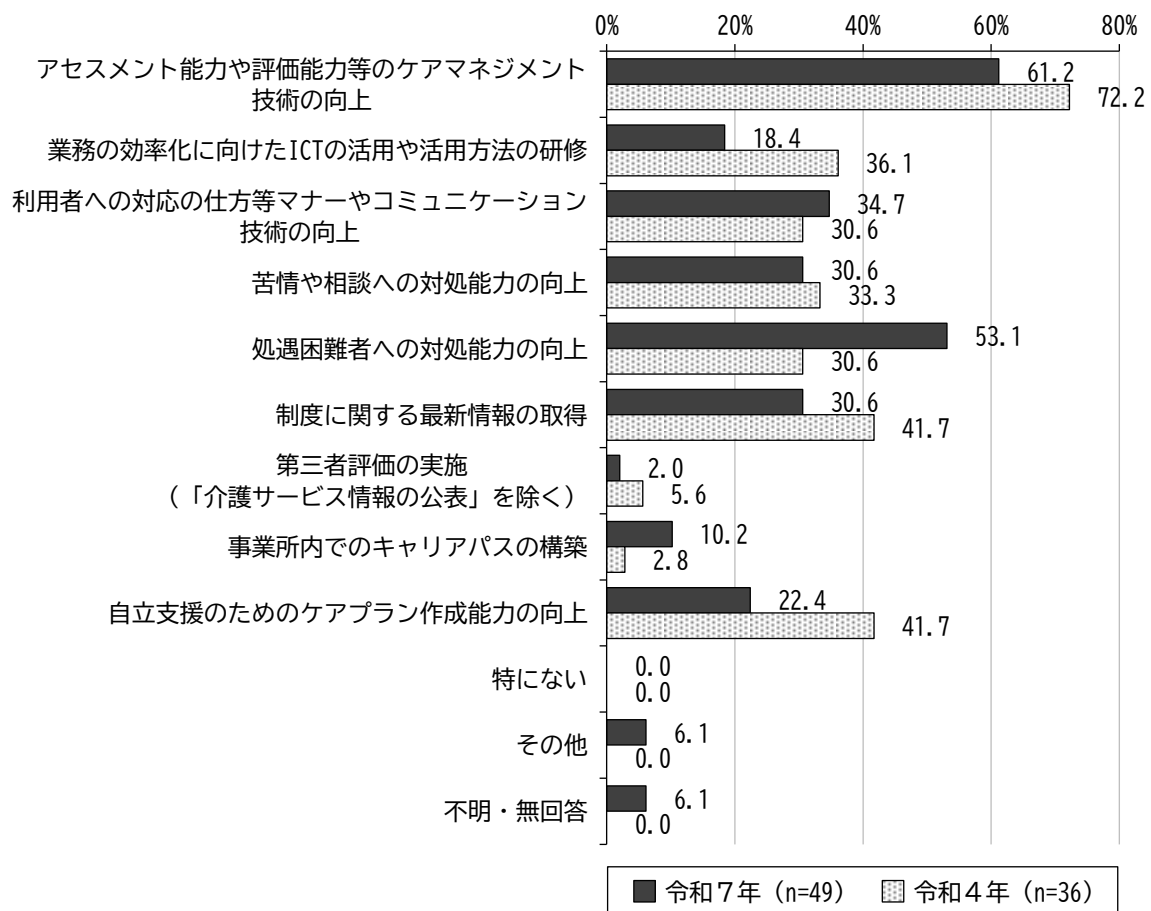
6 質の向上について

問28 ケアマネジャーとしての質の確保・向上を図るために、今後どのような視点を重視した取り組みが必要だと思いますか。また、あなた自身が今後取り組みたいと思うことは何ですか。（それぞれ3つまで複数回答）

（ア）ケアマネジャーの質の確保で必要なこと

ケアマネジャーの質の確保で必要なことについては、「アセスメント能力や評価能力等のケアマネジメント技術の向上」が61.2%と最も多く、次いで「処遇困難者への対処能力の向上」が53.1%、「利用者への対応の仕方等マナーやコミュニケーション技術の向上」が34.7%となっています。

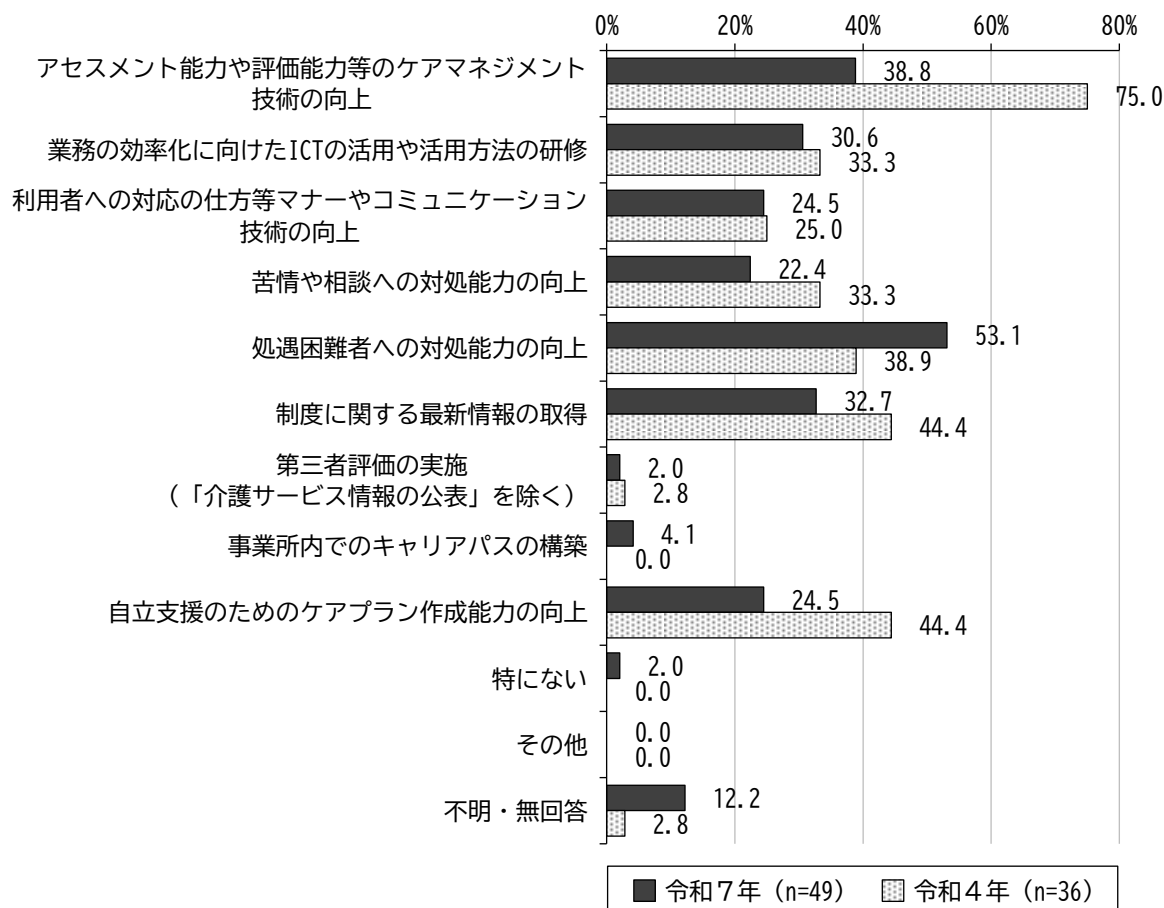
令和4年調査と比較すると、「処遇困難者への対処能力の向上」が22.5ポイント増加し、「自立支援のためのケアプラン作成能力の向上」が19.3ポイント減少しています。



(イ) あなた自身が今後取り組みたいと思うこと

今後取り組みたいと思うことについては、「処遇困難者への対処能力の向上」が 53.1%と最も多く、次いで「アセスメント能力や評価能力等のケアマネジメント技術の向上」が 38.8%、「制度に関する最新情報の取得」が 32.7%となっています。

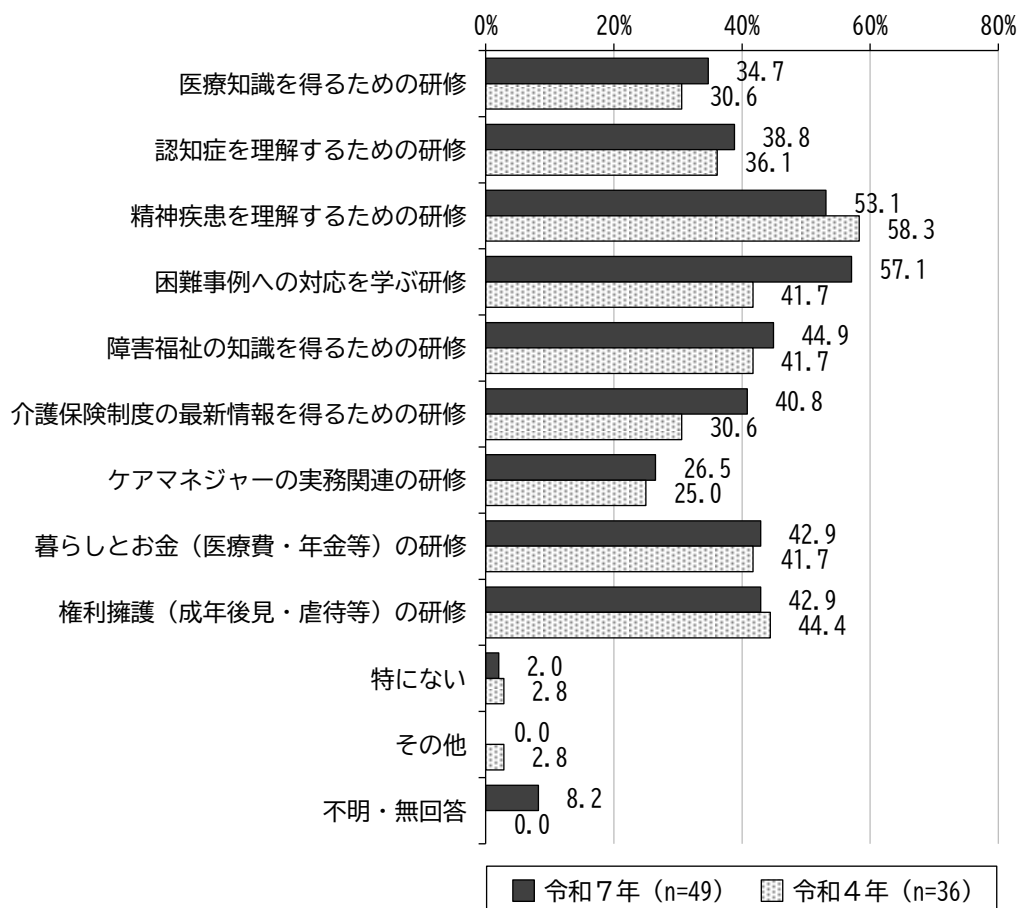
令和4年調査と比較すると、「アセスメント能力や評価能力等のケアマネジメント技術の向上」が 36.2 ポイント、「自立支援のためのケアプラン作成能力の向上」が 19.9 ポイント減少しています。



問29 参加したいセミナーや研修はありますか。（複数回答）

参加したいセミナーや研修については、「困難事例への対応を学ぶ研修」が57.1%と最も多く、次いで「精神疾患を理解するための研修」が53.1%、「障害福祉の知識を得るための研修」が44.9%となっています。

令和4年調査と比較すると、「困難事例への対応を学ぶ研修」が15.4ポイント、「介護保険制度の最新情報を得るための研修」が10.2ポイント増加しています。



資料編 各種アンケート調査票

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

このアンケートは20分程度でご回答頂けます。

アンケート記入日（数字を記入）	月	日
この調査票に記入されたのは、どなたですか。（○は1つ）		
1. あて名のご本人が記入		
2. ご家族が記入（あて名のご本人からみた続柄）		
3. その他（ ）		

問1 あなた（あて名のご本人）について

(1) 年齢をお教えください。（○は1つ）	
1. 65～69 歳	2. 70～74 歳
3. 75～79 歳	4. 80～84 歳
5. 85～89 歳	6. 90～94 歳
7. 95～99 歳	8. 100 歳以上
(2) 性別をお教えください。（○は1つ）	
1. 男性	2. 女性
(3) 介護保険認定を受けていますか。または、総合事業対象者ですか。（○は1つ）	
1. 認定も受けていないし、日常生活支援総合事業対象者でもない	
2. 認定は受けていないが、日常生活支援総合事業対象者である	
3. 要支援1の認定を受けている	
4. 要支援2の認定を受けている	
(4) お住まいの地区をお教えください。（○は1つ）	
1. 角田地区	2. 校野地区
3. 藤尾地区	4. 東根地区
5. 桜地区	6. 北郷地区
7. 西根地区	

2

角田市 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

《 調査ご協力をお願い 》

日頃から、角田市の市政運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
本市では、「ともに生き、活かし合うまちづくり」を目指し、高齢者福祉・介護保険事業に取り組んでおります。今後の指針となる「第10期角田市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定に向けて、皆様のご意見・ご要望をお聞きするため、65歳以上の方（要介護1から要介護5の方を除く）の中から、無作為に抽出した2,000人の方にこの調査票をお送りしています。
本調査の結果につきましては、計画策定の基礎資料としてのみ使用するため、回答された方の個人情報やそれ以外の目的で使用されることはありません。お忙しいところ恐縮ですが、ぜひ調査票へのご回答をお願いいたします。

令和7年12月 角田市長 黒須 貴

記入にあたってのお願い

1. この調査の対象者は、令和7年11月19日現在、65歳以上（要介護1～5の方を除く）の方です。
2. ご回答にあたっては、封筒のあて名のご本人についてお答えいただきますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、一緒に回答されても結構です。

記入例

ご回答にあたっては、質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲んでください。
数字を記入する欄は、右詰めでご記入ください。

1. はい	2. いいえ
6	2
kg	

調査票記入後は、折りたたんで、同封の返信用封筒に入れて、
1月23日（金）までに、投函してください。

パソコンやスマートフォンでもご回答いただけます。下のURLもしくは右のQRコードを読み取り、ご回答してください。
なお、パソコンやスマートフォンで回答いただいた場合は、本調査票を送送いただく必要はありません。
URL : <https://smilesurvey.co/s/125af788e/o>



この調査に関するご質問やお問合せは、下記へお願いします。
角田市 市民福祉部 介護支援課 介護保険係
電話 0224-63-2151（直通） FAX 0224-63-3975

(3) お茶や汁物等でむせることがありますか。(○は1つ)	
1. はい	2. いいえ
(4) 口の渇きが気になりますか。(○は1つ)	
1. はい	2. いいえ
(5) 歯磨きを毎日していますか。(人によって違う場合も含む) (○は1つ)	
1. はい	2. いいえ
(6) 定期的に歯科受診をしていますか。(歯科健診を含む) (○は1つ)	
1. はい	2. いいえ
(7) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください。(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です) (○は1つ)	
1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし
①噛み合わせは良いですか。(○は1つ)	
1. はい	2. いいえ
【(7)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】	
②毎日入れ歯の手入れをしていますか。(○は1つ)	
1. はい	2. いいえ
(8) 6カ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(○は1つ)	
1. はい	2. いいえ
(9) どなたかと食事をともにする機会はありますか。(○は1つ)	
1. 毎日ある	2. 週に何度かある
4. 年に何度かある	5. ほとんどない
3. 月に何度かある	

問5 毎日の生活について	
(1) 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)	
1. はい	2. いいえ

(2) バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可) (○は1つ)	
1. できるし、している	2. できるけどしていない
3. できない	
(3) 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(○は1つ)	
1. できるし、している	2. できるけどしていない
3. できない	
(4) 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)	
1. できるし、している	2. できるけどしていない
3. できない	
(5) 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)	
1. できるし、している	2. できるけどしていない
3. できない	
(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)	
1. できるし、している	2. できるけどしていない
3. できない	
(7) 年金等の書類(役所や病院等に出す書類)を書けますか。(○は1つ)	
1. はい	2. いいえ
(8) 健康についての記事や番組に関心がありますか。(○は1つ)	
1. はい	2. いいえ
(9) 趣味はありますか。(○は1つ、具体的な内容を記入)	
1. 趣味あり	→ ()
2. 思いつかない	
(10) 生きがいがありますか。(○は1つ、具体的な内容を記入)	
1. 生きがいあり	→ ()
2. 思いつかない	

問6

地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

(①～⑧それぞれ〇は1つ)

	週4回 以上	週2～ 3回	週1回	月1～ 3回	年に 数回	参加して いない
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係のグループや クラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤介護予防のための通いの場 (ついでにお得コッソ活 動へのグループ登録や地域 の高齢者サロン等)	1	2	3	4	5	6
⑥老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいき
した地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと
思いますか。(〇は1つ)

1. 是非参加したい

2. 参加してもよい

3. 参加したくない

4. 既に参加している

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいき
した地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として
参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

1. 是非参加したい

2. 参加してもよい

3. 参加したくない

4. 既に参加している

(4) 今後やってみたい(参加してみたい)ことはありますか。(〇はいくつでも)

1. ボランティア活動	2. スポーツ	3. 健康づくりのための運動
4. ウォーキング(散歩)	5. 食事や栄養の講座	6. 趣味の講座
7. 老人クラブ	8. 区・自治会活動	9. 教養を高める講座
10. 見守り活動(高齢者)	11. 見守り活動(子ども)	12. 子育て支援
13. 美化活動	14. 健康相談	15. 健康管理(健診等)
16. 口腔ケア	17. 収入のある仕事	18. その他()

問7 就労について

(1) 現在のあなたの就労状態はどれですか。(〇は1つ)

1. 職に就いたことがない

2. 引退した

3. 常勤(フルタイム)

4. 非常勤(パート・アルバイト等)

5. 自営業

6. 求職中

7. その他()

【(1) において「2. 引退した」の方のみ】①何歳のときに引退しましたか。(数値を記入)

歳

(2) 今後、何歳くらいまで働きたいと思いますか。(〇は1つ)

1. 70歳くらいまで

2. 75歳くらいまで

3. 80歳くらいまで

4. 働けるうちはできるだけ長く

5. 働きたいと思わない

6. その他()

問8 たすけあいについて

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はいませんか。(〇はいくつでも)

1. 配偶者

2. 同居の子ども

3. 別居の子ども

4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫

5. 近隣

6. 友人

7. そのような人はいない

8. その他()

8

245

(2) 反対に、あなたが配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はいいますか。(○はいくつでも)	
1. 配偶者	2. 同居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣
7. そのような人はいない	8. その他 ()
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいいますか。(○はいくつでも)	
1. 配偶者	2. 同居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣
7. そのような人はいない	8. その他 ()
(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人はいいますか。(○はいくつでも)	
1. 配偶者	2. 同居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣
7. そのような人はいない	8. その他 ()
(5) 普段の生活で「孤独だ」「つながりが少ない」と感じることはありませんか。(○は1つ)	
1. よく感じる	2. とまどき感じる
4. まったく感じない	3. あまり感じない
(6) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(○はいくつでも)	
1. 自治会・町内会・老人クラブ	2. 社会福祉協議会・民生委員
3. ケアマネジャー	4. 医師・歯科医師・看護師
5. 地域包括支援センター・役所・役場	6. そのような人はいない
7. その他 ()	
(7) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)	
1. 毎日ある	2. 週に何度かある
4. 年に何度かある	5. ほとんどない
3. 月に何度かある	

(8) この1カ月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることします。(○は1つ)	
1. 0人 (いない)	2. 1～2人
4. 6～9人	5. 10人以上
(9) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(○はいくつでも)	
1. 近所・同じ地域の人	2. 幼なじみ
4. 仕事での同僚・元同僚	5. 趣味や関心が同じ友人
7. いない	8. その他 ()
(10) この1カ月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ)	
1. はい	2. いいえ
(11) この1カ月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)	
1. はい	2. いいえ
(12) お酒は飲みますか。(○は1つ)	
1. ほぼ毎日飲む	2. 時々飲む
3. ほとんど飲まない	4. もともと飲まない
(13) タバコは吸っていますか。(○は1つ)	
1. ほぼ毎日吸っている	2. 時々吸っている
3. 吸っていたがやめた	4. もともと吸っていない

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気がありますか。(○はいくつでも)	
1. ない	3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
2. 高血圧	6. 高脂血症 (脂質異常)
4. 心臓病	9. 腎臓・前立腺の病気
5. 糖尿病	12. がん (悪性新生物)
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	15. 認知症 (アルツハイマー病等)
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	18. 耳の病気
9. 腎臓・前立腺の病気	
10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)	
11. 外傷 (転倒・骨折等)	
12. がん (悪性新生物)	
13. 血液・免疫の病気	
14. うつ病	
15. 認知症 (アルツハイマー病等)	
16. パーキンソン病	
17. 目の病気	
18. 耳の病気	
19. その他 ()	
(8) 聞こえ方について伺います。(○は1つ)	
1. 不自由はない	2. ほとんど不自由はない
3. ささやき声が聞き取りにくい	4. 普通の声の会話で聞き取りにくさを感じる
5. かなり大きな声なら何とか聞き取れる	6. ほとんど聞こえない
(9) 聴覚障害による障害者手帳の交付を受けていますか。(○は1つ)	
1. 受けている	2. 受けていない
(10) 補聴器を使用していますか。(○は1つ)	
1. 使用している	2. 使用していない
(11) 難聴や補聴器について、利用したいものがありますか。(○はいくつでも)	
1. 難聴や補聴器についての相談	2. 難聴や補聴器についての講話 (出前講座等)
3. 聴力の簡易検査	4. 専門医による検査
5. 補聴器の購入費用の助成	

問10 認知症について	
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がありますか。(○は1つ)	
1. はい	2. いいえ
(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)	
1. はい	2. いいえ

(3) あなたは、認知症という病気について、どの程度ご存知ですか。(○は1つ)	
1. どのような症状の病気かよく知っている	2. どのような症状の病気かある程度知っている
3. 認知症という言葉ぐらいは知っている	4. まったく知らない
(4) 令和6年12月に国の「認知症施策推進基本計画」において示された「新しい認知症観」という言葉を聞いたことがありますか、また、その内容について知っていますか。(○は1つ)	
※新しい認知症観とは、認知症になっても何もできなくなるのではなく、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らしていけることができるといふ考え方	
1. 新しい認知症観という言葉を知ったことがあり、内容は詳しく知っている	
2. 新しい認知症観という言葉を知ったことがあり、内容はある程度知っている	
3. 新しい認知症観という言葉を知ったことがあるが、内容は知らない	
4. 新しい認知症観という言葉を知ったことがない	
(5) あなたは認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。あなたが思うイメージに最も近いものをお答えください。(○は1つ)	
1. 自ら工夫して地域で今までもとおり生活できる	
2. 周りのサポートを受けながら、地域で生活できる	
3. 医療介護等のサポートを利用し地域で生活できる	
4. 介護施設でサポートを利用することが必要になる	
5. 迷惑をかけてしまい地域での生活が難しくなる	
6. 症状が進行してゆき、何もできなくなってしまう	
(6) もし、あなたやあなたの家族が認知症になったら、そのことを近所の人知ってもらおうと思いますか。(○は1つ)	
1. 知ってもらって、見守りや声かけ等の協力をお願いしたい	
2. 隠す必要もないが、あえてそのことを知ってもらわなくてもいい	
3. 知っておいてほしいが、あえて支援は望まない	
4. できればあまり知られたくないので隠したい	
5. わからない	
(7) 地域生活の様々な場面において、認知症の人の意図が尊重され、本人が望む生活が継続できていると思いますか。(○は1つ)	
1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない
(8) 認知症の人が自分らしく暮らせると思いますか。(○は1つ)	
1. そう思う	2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない	4. そう思わない

問11 生活の手助け・ボランティアについて	
(1) あなたが住む地域に以下のような生活の手助けはありますか。(○はいくつでも)	
1. 見守り・声かけ	2. 話し相手
3. ゴミ出し	4. 食事の支度
5. 食べ物の差入れ	6. 車での送迎
7. 外出同行 (通院・買い物等)	8. 買い物代行
9. 掃除	10. 洗濯
11. 庭木の剪定、草取り	12. 高い所の作業 (電球の交換等)
13. ちょっとした力仕事 (精米・給油等)	14. サロン等の定期的な通いの場
15. カフェ等自由に集える場	16. 服薬の確認 (声かけ・仕分け等)
17. 宅配・移動販売	18. 特にない
19. その他 ()	
(2) あなたが住む地域にあったら良いと思う生活の手助けはありますか。(○はいくつでも)	
1. 見守り・声かけ	2. 話し相手
3. ゴミ出し	4. 食事の支度
5. 食べ物の差入れ	6. 車での送迎
7. 外出同行 (通院・買い物等)	8. 買い物代行
9. 掃除	10. 洗濯
11. 庭木の剪定、草取り	12. 高い所の作業 (電球の交換等)
13. ちょっとした力仕事 (精米・給油等)	14. サロン等の定期的な通いの場
15. カフェ等自由に集える場	16. 服薬の確認 (声かけ・仕分け等)
17. 宅配・移動販売	18. 特にない
19. その他 ()	
(3) あなたが住む地域に困っている人がいたら、無償で引き受けても良いと思う生活の手助けはありますか。(○はいくつでも)	
1. 見守り・声かけ	2. 話し相手
3. ゴミ出し	4. 食事の支度
5. 食べ物の差入れ	6. 車での送迎
7. 外出同行 (通院・買い物等)	8. 買い物代行
9. 掃除	10. 洗濯
11. 庭木の剪定、草取り	12. 高い所の作業 (電球の交換等)
13. ちょっとした力仕事 (精米・給油等)	14. サロン等の定期的な通いの場
15. 服薬の確認 (声かけ・仕分け等)	16. 宅配・移動販売
17. 特にない	18. その他 ()
(4) あなたが住む地域に困っている人がいたら、有償なら引き受けても良いと思う生活の手助けはありますか。(○はいくつでも)	
1. 見守り・声かけ	2. 話し相手
3. ゴミ出し	4. 食事の支度
5. 食べ物の差入れ	6. 車での送迎
7. 外出同行 (通院・買い物等)	8. 買い物代行
9. 掃除	10. 洗濯
11. 庭木の剪定、草取り	12. 高い所の作業 (電球の交換等)
13. ちょっとした力仕事 (精米・給油等)	14. サロン等の定期的な通いの場
15. 服薬の確認 (声かけ・仕分け等)	16. 宅配・移動販売
17. 特にない	18. その他 ()

問12 介護保険等のサービスについて	
(1) 角田市地域包括支援センターの役割を知っていますか。(○は1つ)	
1. 知っている	2. 名前のみ知っている
3. 知らない	
(2) 将来、あなたが介護を必要とするようになった場合、どのような場所で生活していくことを望みますか。(○は1つ)	
1. 家族に介護してもらいながら、できる限り今の住まいで暮らしたい	
2. 介護サービスを利用しながら、できる限り今の住まいで暮らしたい	
3. 介護やケア付きの住まい (有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅) で暮らしたい	
4. 介護を受けられる公的な施設 (特別介護老人ホーム等) で暮らしたい	
5. その他 ()	
(3) あなたは、人生の最期をどこで迎えたいですか。(○は1つ)	
1. 自宅	
2. 病院	
3. 介護やケア付きの住まい (有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅)	
4. 介護を受けられる公的な施設 (特別介護老人ホーム等)	
5. その他 ()	
(4) あなたは、在宅で生活を続ける場合、何が必要だと感じますか。(○は3つまで)	
1. 健康状態や身体機能を維持・向上させること	
2. 家事や買い物等日常生活を送ることができている支援があること	
3. 困ったときに相談できる窓口があること	
4. 夜間・緊急時でも必要な介護サービスを必要に応じて利用できること	
5. 夜間・緊急時でも必要な医療を必要に応じて受けることができること	
6. 医療や介護に関する費用が高額でないこと	
7. 地域住民やボランティアによる見守りや声かけ等の助け合いがあること	
8. 認知症高齢者のための支援があること	
9. デマンドタクシー等の交通手段が充実していること	
10. 低所得者の高齢者が暮らせる住宅等が整備されていること	
11. 特にない	
12. その他 ()	

(5)「成年後見制度」[※]を知っていますか。(○は1つ) ※認知症等で財産管理等をすることが困難になったときに、家庭裁判所が選任した後見人が本人の利益を考えながら、本人に代わって意思の決定等をする制度です。	
1. 知っていた	2. 内容はわからないが、聞いたことがある
3. 知らなかった	
(6) 将来、必要になったときに、成年後見制度を利用したいと思えますか。(○は1つ)	
1. 既に利用している	2. 利用したい
3. 利用しない	4. わからない
(7) 成年後見制度に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)	
1. はい	2. いいえ
(8) 現在、自動車運転免許をお持ちですか。(○は1つ)	
1. 持っている	2. 持っているが、ほとんど運転していない
3. すでに返納した	4. もともと持っていない
【(8)で「1. 持っている」「2. 持っているが、ほとんど運転していない」の方のみ】 ①免許を返納した場合、主にどのような移動手段を利用したいですか。(○は1つ)	
1. 家族や知人の送迎	2. タクシー
4. 公共交通	3. デマンド型乗合タクシー
	5. 自転車・徒歩等
	6. その他 ()
(9) 今後、力を入れるべき高齢者福祉施策は何だと思いますか。(○は3つまで)	
1. 在宅での医療や介護サービスの充実	
2. 特別養護老人ホーム等の入居施設の充実	
3. ひとり暮らし高齢者への訪問等による見守り	
4. 雇用やボランティア活動等、元気な高齢者の社会参加の促進	
5. 健康維持のための健診や教室の充実	
6. 趣味・教養や運動等の生きがい活動の充実	
7. 災害対策やバリアフリー等高齢者にやさしいまちづくり	
8. その他 ()	

ご協力ありがとうございました。記入もれがないか、今一度お確かめください。
記入した調査票を3つ折りにして、同封した返信用封筒に入れ、切手を貼らずに郵便ポ
ストに投函してください。

角田市 在宅介護実態調査

調査ご協力をお願い

日頃から、角田市の市政運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
本市では、「ともに生き、活かし合うまちづくり」を目指し、高齢者福祉・介護保険事業に取り組み、今後の指針となる「第10期角田市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定に向けて、皆様のご意見・ご要望をお聞きするため、要支援・要介護認定を受けて在宅で生活されている方の中から、無作為に抽出した800人の方にこの調査票をお送りしています。
お忙しいところ恐縮ですが、ぜひ調査票への二回答をお願いいたします。

令和7年12月 角田市長 黒須 貴

個人情報の取り扱いについて

この調査で得られた情報につきましては、要介護認定や介護サービスの利用状況のデータと関連付けた後、匿名化して集計・分析し、高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定のための基礎資料とすることを目的に使用します。情報は適切に管理し、本目的以外の使用はいたしません。このことについて、本調査票のご返送をもちまして、ご同意いただいたものとみなさせていただきます。

記入にあたってのお願い

- この調査は、令和7年11月19日現在で要支援・要介護認定を受けている方を対象としています。
※在宅で介護を受けている方が本調査の対象です。要支援・要介護認定を受けていない方や、特別養護老人ホームなどの施設に入所している方は本調査の対象外となっています。
- ご回答にあたっては、封筒のあて名のご本人についてお答えいただけますが、ご家族の方や、ご本人を担当しているケアマネジャーがご本人の代わりに回答されたり、ご一緒に回答されても結構です。

記入例

ご回答にあたっては、質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲んでください。

1. はい 2. いいえ

調査票記入後は、折じりたんで、同封の返信用封筒に入れて、1月23日（金）までに、投函してください。



パソコンやスマートフォンでもご回答いただけます。下のURLもしくは右のQRコードを読み取り、回答してください。
なお、パソコンやスマートフォンでご回答いただいた場合は、本調査票を送信いただく必要はありません。
URL : <https://smilesurvey.co/s/c94699fb/o>

この調査に関するご質問やお問合せは、下記へお願いいたします。
角田市 市民福祉部 介護支援課 介護係
電話 0224-63-2151（直通） FAX 0224-63-3975

このアンケートは15分程度でご回答頂けます。

1	あなた（あて名のご本人）について
問1	この調査票に記入されたのは、どなたですか。(○は1つ)
1.	あて名のご本人が記入
2.	主な介護者となっている家族・親族
3.	主な介護者以外の家族・親族
4.	その他（ ）

2	あなた（あて名のご本人）のご家族や介護状況について
問1	世帯類型について、ご回答ください。(○は1つ)
1.	単身世帯
2.	夫婦のみ世帯
3.	その他
問2	ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)。(○は1つ)
1.	ない
2.	家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない
3.	週に1～2日ある
4.	週に3～4日ある
5.	ほぼ毎日ある
問3	問2で「2」～「5」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、どなたですか。(○は1つ)
1.	配偶者
2.	子
3.	子の配偶者
4.	孫
5.	兄弟・姉妹
6.	その他
問4	問2で「2」～「5」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(○は1つ)
1.	男性
2.	女性
問5	問2で「2」～「5」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(○は1つ)
1.	20歳未満
2.	20代
3.	30代
4.	40代
5.	50代
6.	60代
7.	70代
8.	80歳以上
9.	わからない
問6	問2で「2」～「5」と回答した方にお伺いします。ご家族の中で、日常的に介護や世話を担っている18歳未満の子どもはいいますか。(○は1つ)
1.	いる
2.	過去にいた
3.	いない
4.	わからない

問7 問2で「2」～「5」と回答した方にお伺いします。現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(○はいくつでも) 〔身体介護〕 1. 日中の排泄 2. 夜間の排泄 3. 食事の介助 (食べるとき) 4. 入浴・洗身 5. 身だしなみ (洗顔・歯磨き等) 6. 衣服の着脱 7. 屋内の移乗・移動 8. 外出の付き添い、送迎等 9. 服薬 10. 認知症状への対応 11. 医療面での対応 (経営栄養、ストーマ等) 〔生活援助〕 12. 食事の準備 (調理等) 13. その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等) 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き 〔その他〕 15. わからない 16. その他
問8 問2で「2」～「5」と回答した方にお伺いします。ご家族やご親族の中で、あなたの介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません) (○はいくつでも) ※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。 1. 主な介護者が仕事を辞めた (転職除く) 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた (転職除く) 3. 主な介護者が転職した 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない 6. わからない
問9 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(○はいくつでも) 1. 配食サービス 2. ひとりぐらし老人等緊急通報システム 3. 寝具洗濯乾燥サービス事業 4. 訪問実習サービス事業 5. 高齢者福祉タクシー助成事業 6. 認知症カフェ 7. 認知症高齢者等見守りQRコード 8. 介護用ベッド自費レンタル 9. 日常生活用具貸与 (社協) 10. 介護タクシー等 11. 利用していない
問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(○は1つ) ※「施設等」とは、特別介護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設 (有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別介護老人ホームを指します。 1. 入所・入居は検討していない 2. 入所・入居を検討している 3. すでに入所・入居申し込みをしている

問11 現在、住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用していますか。(○は1つ) 1. 利用している 2. 利用していない ⇒問12へ
問12 問11で「2」と回答した方にお伺いします。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも) 1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない 2. 本人にサービス利用の希望がない 3. 家族が介護をするため必要ない 4. 以前、利用していたサービスに不満があった 5. 利用料を支払うのが難しい 6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない 7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため 8. サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない 9. その他
3 あなた (あて名のご本人) の生活状況について 問1 あなたが住む地域に以下のような生活の手助けはありますか。(○はいくつでも) 1. 見守り・声かけ 2. 話し相手 3. ゴミ出し 4. 食事の支度 5. 食べ物の差入れ 6. 車での送迎 7. 外出同行 (通院・買い物等) 8. 買い物代行 9. 掃除 10. 洗濯 11. 庭木の剪定、草取り 12. 高い所の作業 (電球の交換等) 13. お茶出し 14. ちよっとした力仕事 (精米、給油等) 15. サロン等の定期的な通いの場 16. 服薬の確認 (声かけ・仕分け等) 17. 宅配・移動販売 18. 特にない 19. その他 () 問2 あなたが住む地域にあつたら良いと思う生活の手助けはありますか。(○はいくつでも) 1. 見守り・声かけ 2. 話し相手 3. ゴミ出し 4. 食事の支度 5. 食べ物の差入れ 6. 車での送迎 7. 外出同行 (通院・買い物等) 8. 買い物代行 9. 掃除 10. 洗濯 11. 庭木の剪定、草取り 12. 高い所の作業 (電球の交換等) 13. お茶出し 14. ちよっとした力仕事 (精米、給油等) 15. サロン等の定期的な通いの場 16. 服薬の確認 (声かけ・仕分け等) 17. 宅配・移動販売 18. 特にない 19. その他 ()

問3 あなたは、在宅で生活を続けるとしたら、何か必要だと感じますか。(○は3つまで) 1. 健康状態や身体機能を維持・向上させること 2. 家事や買い物等、日常生活を送ることができていること 3. 困ったときに相談できる窓口があること 4. 夜間・緊急時でも必要な介護サービスが必要なときに利用できること 5. 夜間・緊急時でも必要な医療が必要なときに受けることができること 6. 医療や介護に関する費用が高額でないこと 7. 地域住民やボランティアによる見守りや声かけ等の助け合いがあること 8. 認知症高齢者のための支援があること 9. デマンドタクシー等の交通手段が充実していること 10. 低所得者の高齢者が暮らせる住宅等が整備されていること 11. 特になし 12. その他 ()
問4 地域生活の様々な場面において、あなたの意思が尊重され、あなたが望む生活が継続できていると思いますか。(○は1つ) 1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない
問5 あなたは、あなたの親を介護することができると感じますか。(○は1つ) 1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない
問6 あなたは自分らしく暮らすことができると感じますか。(○は1つ) 1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない
問7 「成年後見制度」※を知っていますか。(○は1つ) ※認知症等で財産管理等をすることが困難になったときに、家庭裁判所が選任した後見人が本人の利益を考 えながら、本人に代わって意思の決定等をする制度です。 1. 知っている 2. 内容がわからないが、聞いたことがある 3. 知らなかった

問8 成年後見制度を利用したいと思いますか。(○は1つ) 1. 既に利用している 2. 利用したい 3. 利用しない 4. わからない
問9 成年後見制度に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ) 1. はい 2. いいえ
問10 あなたは、人生の最期をどこで迎えたいですか。(○は1つ) 1. 自宅 2. 病院 3. 介護やケア付きの住まい (有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅) 4. 介護を受けられる公的な施設 (特別養護老人ホーム等) 5. その他
4 主な介護者について ※2の問2で「1. ない」と回答した方以外お答えください。 問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(○は1つ) ※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」「嘱託」「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、勤務時間・日数等から「フルタイム」「パートタイム」のいずれかを選択してください。 1. フルタイムで働いている 2. パートタイムで働いている 3. 働いていない 4. 主な介護者に確認しないと、わからない
問2 問1で「1」「2」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(○は1つ) 1. 問題なく、続けていける 2. 問題はあるが、何とか続けていける 3. 続けていくのは、やや難しい 4. 続けていくのは、かなり難しい 5. 主な介護者に確認しないと、わからない
問3 問1で「1」「2」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整をしていますか。(○はいくつでも) 1. 特に行っていません 2. 介護のために、「労働時間を調整 (残業免除、短時間勤務、遅出・早退・中抜け等)」しながら、働いている 3. 介護のために、「休暇 (年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている 4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている 5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている 6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問4 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じている介護等について、ご回答ください。(現状で行っているか否かは問いません)。(〇は3つまで) (身体介護) 1. 日中の排泄 2. 夜間の排泄 3. 食事の介助 (食べるとき) 4. 入浴・洗身 5. 身だしなみ (洗顔・歯磨き等) 6. 衣服の着脱 7. 屋内の移乗・移動 8. 外出の付き添い、送迎等 9. 服薬 10. 認知症への対応 (経管栄養、ストーマ等) 11. 医療面での対応 (経管栄養、ストーマ等) 12. 食事の準備 (調理等) 13. その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等) 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き 15. 不安に感じていることは、特になし 16. 主な介護者に確認しないと、わからない 17. その他	
問5 現在の在宅での生活を継続していくことについて、どのように考えますか。(〇は1つ) 1. 本人・家族の現在の状況が変わらないのであれば、今後も在宅での生活を継続していくことは可能 2. 医療や介護の必要性が増えても、今後も在宅での生活を継続していくことは可能 3. これ以上医療や介護の必要性が増えると、今後は在宅での生活を継続していくことは難しい 4. すでに本人・家族の現在の状況では、今後は在宅での生活を継続していくことは難しい 5. その他	

5 認知症について	
問1 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。(〇は1つ)	1. はい 2. いいえ
問2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(〇は1つ)	1. はい 2. いいえ

問3 あなたは、認知症という病気について、どの程度ご存知ですか。(〇は1つ)	1. どのような症状の病気かよく知っている 2. どのような症状の病気がある程度知っている 3. 認知症という言葉ぐらいは知っている 4. まったく知らない
問4 令和6年12月に国の「認知症施策推進基本計画」において示された「新しい認知症観」という言葉を聞いたことがありますか、また、その内容について知っていますか。(〇は1つ) ※新しい認知症観とは、認知症になったから何もできなくなるのではなく、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方	1. 新しい認知症観という言葉を聞いたことがあり、内容は詳しく知っている 2. 新しい認知症観という言葉を聞いたことがあり、内容はある程度知っている 3. 新しい認知症観という言葉を聞いたことはあるが、内容は知らない 4. 新しい認知症観という言葉を聞いたことがない
問5 あなたは認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。あなたが思うイメージに最も近いものをお答えください。(〇は1つ)	1. 自ら工夫して地域で今までとおり生活できる 2. 周りのサポートを受けながら、地域で生活できる 3. 医療介護等のサポートを利用し地域で生活できる 4. 介護施設でサポートを利用することが必要になる 5. 迷惑をかけてしまい地域での生活が難しくなる 6. 症状が進行してゆき、何もできなくなってしまう
問6 もし、あなたやあなたの家族が認知症になったら、そのことを近所の人知ってもらおうと願いますか。(〇は1つ)	1. 知ってもらって、見守りや声かけなど協力をお願いしたい 2. 隠す必要もないが、あえてそのことを知っておいてもらう必要もない 3. 知っておいてほしいが、あえて支援は望まない 4. できればあまり知られたくないので隠したい 5. わからない

ご協力ありがとうございます。記入もれがないか、今一度お確かめください。
記入した調査票を3つ折りにして、同封した返信用封筒に入れ、切手を貼らずに郵便ポストに投函してください。

角田市介護サービス事業所実態調査 《 調査ご協力をお願い 》

日頃から、本市の高齢者施策及び介護保険事業の運営にご理解とご協力をお願いいただき、厚く御礼申し上げます。

近年、高齢化の進行や医療・介護ニーズの複雑化等に伴い、持続可能な質の高い介護保険サービスの安定的なサービス提供が求められております。

そのため、介護保険サービスを提供していただいている事業所の状況等を把握し、今後の本市における高齢者施策や介護保険制度運営の参考とするため、事業所実態調査を実施いたします。

お忙しいところ大変恐縮ですが、趣旨をご理解いただきアンケートにご協力いただきますよう、よろしく願い申し上げます。

また、お答えいただいた内容は統計的に処理し、この調査の目的にのみ利用しますので、率直なご意見をお寄せください。

令和8年1月 角田市長 黒須 貴

◆ 回答にあたってのお願い ◆

- この調査は、サービス種別ごとの調査となっており、複数の調査票にご回答をお願いすることがございます。お手数おかけいたしますが、ご協力いただきますようお願いいたします。
- 原則、令和7年12月31日現在の状況でご記入ください。
- 回答は、あてはまる回答番号にそれぞれの設問文で指定された数だけ○印をつけてください。また、「その他」と回答される場合は、()の中に具体的な内容をご記入ください。
- 用紙での回答が一部困難な場合は、関係資料等の同封や別途メール等での補足の回答もいただきますよう、お願いいたします。なお、資料等の送付につきましては、下記の《お問い合わせ先》までお送りいただきますよう、お願いいたします。
- ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、令和8年2月9日(月)までに郵便ポストにご投函ください。よろしく願いたします。

《お問い合わせ先》
角田市 市民福祉部 介護支援課 介護保険係
〒981-1505 宮城県角田市角田字柳町35番地1
電話：0224-63-2151（直通） FAX：0224-63-3975
E-Mail：kaigo@city.kakuda.lg.jp

貴事業所について

事業所名			
所在地	1 市内	2 市外(市町村名:)	
サービス種別	1 訪問系サービス	3 施設・居住系サービス	
	2 通所系サービス		
記入者	(役職名)	(氏名)	
電話番号			
(フリガナ)			
メールアドレス	@		

※事業所名及び記入者を公表することはありません。
※メールアドレスにつきましては、国・県等からの通知があった場合に迅速に情報提供等ができるように、登録させていただきますので、できるだけご記入いただきますようお願いいたします。判別がしにくい文字が含まれる場合は、フリガナで補足をお願いいたします。例：0（ゼロ）、O（オー）等

問1.貴事業所の属する法人の種類は次のどれですか。(○は1つ)

1 民間企業	4 医療法人	7 協同組合(農協・生協)
2 社会福祉協議会	5 NPO	8 地方自治体
3 2以外の社会福祉法人	6 社団法人・財団法人	9 その他()

問2.貴事業所において、介護現場へのICT、AI、ロボット技術等は導入していますか。(○は1つ)

1 既に導入している	3 予定はないが検討している
2 今後、導入する予定がある	4 予定はなく、検討もしていない

貴事業所の従業員の状況について

【角田市内の事業所におたずねします。角田市内の事業所の方は「問6」へお進みください。】
問3. 貴事業所における従業員の職種別「過不足」の状況を教えてください。（それぞれあてはまるものに○は1つずつ）

	職種別過不足状況（当該職種がいる）					当該職種 はいない
	大いに 不足	不足	やや 不足	適正	過剰	
ア 訪問介護員	1	2	3	4	5	6
イ サービス提供責任者	1	2	3	4	5	6
ウ 介護職員	1	2	3	4	5	6
エ 看護職員	1	2	3	4	5	6
オ 生活相談員	1	2	3	4	5	6
カ PT・OT・ST 等	1	2	3	4	5	6
キ 介護支援専門員（ケアマネジャー）	1	2	3	4	5	6
ク 全体で見えた場合（上記について）	1	2	3	4	5	6

※資格保有者ではなく、その仕事（職種）の従業員について記入してください。

【訪問介護員または介護職員がいる事業所のお答えください。】

問4. 貴事業所では、過去1年間（令和7年1月1日～令和7年12月31日の間）に採用した職員の人数や質をどのように評価していますか。（それぞれあてはまるものに○は1つずつ）

	人数・質ともに 確保できている	人数は確保できているが、質には 満足していない	質には満足だが、 人数は確保できていない	人数・質ともに 確保できていない
ア 訪問介護員	1	2	3	4
イ 介護職員	1	2	3	4

【問4の「アもしくはイ」で「3 質には満足だが、人数は確保できていない」「4 人数・質ともに確保できていない」と回答した事業所のお答えください。】

問4-1. 人数を確保できない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 離職率が高い、定着率が低い
- 2 募集しても応募がない
- 3 応募はあるが、採用できる人がいない
- 4 有資格者等、希望する人材が確保できない
- 5 利用者が安定しない等、時期によって必要な人員が変動する
- 6 わからない
- 7 その他（ ）

【訪問介護員または介護職員がいる事業所のお答えください。】
問5. 貴事業所において、早期離職防止や定着促進に向けて、取り組んでいることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 賃金・労働時間等の労働条件の改善
- 2 資格・能力や仕事を評価し、配置や処遇への反映
- 3 キャリアに応じた給与体系の整備
- 4 従業員の資格取得やスキル向上のための研修参加の推奨
- 5 休憩室や談話室の設置等職場環境の整備
- 6 非正規従業員から正規従業員への登用の機会設定
- 7 希望する労働時間の設定
- 8 ICTやAI等を用いた介護ロボット等の活用による負担の軽減
- 9 特にない
- 10 その他（ ）

【全ての事業所におたずねします。】

問6. 外国人従業員について、お答えください。（あてはまるもの1つに○をつけ、雇用人数、雇用予定人数等をご記入ください。）

- 1 現在、外国人従業員を雇っている（ ）人
- 2 今後は外国人従業員を雇う予定がある（ ）人
- 3 外国人従業員を雇う予定はないが、検討している
- 4 外国人従業員を雇う予定はなく、検討もしていない

【問6で「1 現在、外国人従業員を雇っている」と回答した事業所のお答えください。】

問6-1. 受け入れ人数をお答えください。外国人従業員の該当する資格に○をつけ、数字をご記入ください。）

資格		受け入れ人数
1 EPA【在留資格「特定活動」】		人
2 在留資格「留学」		人
3 在留資格「介護」		人
4 在留資格「技能実習」		人
5 在留資格「特定技能」		人
6 その他（ ）		人

【問6で「3 外国人従業者を雇う予定はないが、検討している」、「4 外国人従業者を雇う予定はなく、検討していない」と回答した事業所のみお答えください。】
問6-2.雇用しない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1 日本語取得のためのコストが大きい

2 住居の確保にコストがかかる

3 担当職員の負担が重い(生活面も含めて)

4 利用者支援のための技術教育・訓練コストが大きい

5 利用者・家族とのコミュニケーションが難しい

6 職員同士のコミュニケーションが難しい

7 報告、記録、申し送りが困難である

8 日本の文化、習慣が理解しにくい

9 その他()

地域生活及び地域との連携について

問7.貴事業所は、地域の中で次のような取り組みを行っていますか。(それぞれあてはまるものに○は1つずつ)

取り組み内容	取 組 み に て い る	取 組 み 後 に ま だ い る	そ の 後 に 組 み な い	わ か ら な い
ア 介護保険外の生活支援サービスの提供	1	2	3	4
イ 事業所の設備や建物等を地域に開放	1	2	3	4
ウ 祭り等の地域行事に事業所として参加	1	2	3	4
エ 町内会・自治会等にメンバーとして参加・日常的な関係づくり	1	2	3	4
オ 民生委員、関係機関等とともに地域の見守りネットワークに参加	1	2	3	4
カ 他の事業所等と連携した利用者への支援について手順やマニュアルを整備	1	2	3	4
キ 地域や学校において介護や健康づくり等に関するセミナー・教室を開催・支援	1	2	3	4
ク 介護者の集いを開催・支援	1	2	3	4
ケ 職場見学や職場体験・実習の受け入れ	1	2	3	4
コ ボランティアの受け入れ	1	2	3	4
サ 生活・介護支援や見守りのためのボランティアの育成・組織化	1	2	3	4
シ その他()	1	2	3	4

5

【問7の『ア』で「1 すでに取り組んでいる」「2 今後取り組みたい」と回答した事業所のみお答えください。】
問7-1.介護保険外の生活支援サービスは何ですか。また、取り入れたサービスについて、良いことや不満に思ったことはありますか。

【問7の『コ』で「1 すでに取り組んでいる」と回答した事業所のみお答えください。】
問7-2.ボランティアにはどのような活動を依頼していますか。(あてはまるものすべてに○)

1 レクリエーション等の指導・補助	6 洗濯物の整理
2 入所者や利用者の話し相手	7 施設の清掃
3 施設の行事のお手伝い	8 特 にな い
4 散歩の補助	9 その他()
5 配膳の補助	

【問7の『コ』で「1 すでに取り組んでいる」と回答した事業所のみお答えください。】
問7-3.貴事業所で行っているボランティアのしくみについて教えてください。(それぞれあてはまるものに○は1つずつ)

募集方法	1 地域住民へ広く募集	2 関係者のみ募集	
研修会	1 独自に行っている	2 外部の研修会に参加している	3 行っていない
処遇	1 有償ボランティア	2 無償ボランティア	
ボランティア人数	1 5名以内	2 6～10名以内	3 10名以上

6

256

【問7の『コ』で「1　すでに取り組んでいる」「2　今後取り組みたい」と回答した事業所のみお答えください。】

問 7-4. 今後、ボランティアにはどのような活動を依頼したいですか。(あてはまるものすべてに○)

1　レクリエーション等の指導・補助

6　洗濯物の整理

2　入所者や利用者の話し相手

7　施設の清掃

3　施設の行事のお手伝い

8　特にない

4　散歩の補助

9　その他（

5　配膳の補助

【問7の『コ』で「2　今後取り組みたい」「3　取り組み予定はない」と回答した事業所のみお答えください。】

問7-5. ボランティアを受け入れていない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1　ボランティアを受け入れる必要性を感じない

2　ボランティアに依頼する活動がない

3　受け入れ体制が整っていない

4　どのようにボランティアを募集すれば良いかわからない

5　今までにボランティアを受け入れてトラブル等があった

6　その他（

【すべての事業所にお伺いします。】

問7-6. ボランティアを受け入れるにあたって利用したいものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1　貴事業所が行うボランティア募集の周知

2　ボランティアを受け入れるにあたっての研修会

3　ボランティアを行う人向けの研修会

4　公的団体からのボランティア派遣の活用（無償）

5　公的団体からのボランティア派遣の活用（有償）

6　住民団体からのボランティア派遣の活用（無償）

7　住民団体からのボランティア派遣の活用（有償）

8　その他（

7

問8. 地域にあったら良いと思う生活支援サービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1　見守り・声掛け

11　庭木の剪定、草取り

2　話し相手

12　高い所の作業（電球の交換等）

3　ゴミ出し

13　ちよっとした力仕事（精米、給油等）

4　食事の支度

14　サロンの定期的な通いの場

5　食べ物の差入れ

15　カフェ等自由に集える場

6　車の送迎

16　服薬の確認（声掛け・仕分け等）

7　外出同行（通院・買い物等）

17　宅配・移動販売

8　買い物代行

18　特にない

9　掃除

19　その他（

10　洗濯

問9. 地域包括ケア実現に向け、重度の要介護者となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けることができるようにするためには、サービス事業所の観点からどのようなことが必要だと考えますか。

問10. 貴事業所において、医療と連携は取れていますか。(○は1つ)

1　十分取れている

2　ある程度取れている

3　あまり取れていない

4　取れていない

【問10で「3　あまり取れていない」「4　取れていない」と回答した事業所のみお答えください。】

問10-1. 医療との連携を取ることに困難な理由は何ですか。

8

257

【問11.貴事業所において、居宅介護支援事業所（介護支援専門員）との連携は取れていますか。（○は1つ）

1

十分取れている

2

ある程度取れている

3

あまり取れていない

4

取れていない

【問11で「3　あまり取れていない」「4　取れていない」と回答した事業所のみお答えください。】

問11-1.介護支援専門員との連携を取ることが困難な理由は何ですか。

【問12.貴事業所において、地域包括支援センターとの連携は取れていますか。（○は1つ）

1

十分取れている

2

ある程度取れている

3

あまり取れていない

4

取れていない

【問12で「3　あまり取れていない」「4　取れていない」と回答した事業所のみお答えください。】

問12-1.地域包括支援センターとの連携を取ることが困難な理由は何ですか。

【問13.地域包括支援センターに望むことはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

1

困難事例への支援の充実

6

関係機関の紹介

2

研修・指導内容の充実

7

地域との交流機会の増加

3

介護者支援の充実

8

民生委員・児童委員との連携強化

4

相談機会の増加、緊密な情報交換

9

特にない

5

情報提供の充実

10

その他（

）

問14.貴事業所において、保険者（角田市）との連携は取れていますか。（○は1つ）

1

十分取れている

2

ある程度取れている

3

あまり取れていない

4

取れていない

【問14で「3　あまり取れていない」「4　取れていない」と回答した事業所のみお答えください。】

問14-1.保険者（角田市）との連携を取ることが困難な理由は何ですか。

9

【問14で「3　あまり取れていない」「4　取れていない」と回答した事業所のみお答えください。】

問14-1.保険者（角田市）との連携を取ることが困難な理由は何ですか。

事業所の運営及びサービス等について

問15.貴事業所において、サービスの質の向上に向けて特に取り組んでいることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1

制度に関する最新情報の取得

2

ケアマネジメント技術の向上

3

支援困難者への対処能力の向上

4

利用者の状態に応じた介護知識の向上

5

苦情や相談への対処能力の向上

6

利用者への対応の仕方等マナーやコミュニケーション技術の向上

7

基本的な技術や実践的知識の向上

8

災害発生時の対応方法の明確化（文書やマニュアルの作成等）

9

特にない

10

その他（

）

10

258

問16. 認知症の要介護（要支援）認定者とその家族に対して、悩んでいることがありますか。（あてはまるものすべてに○）

1 本人とコミュニケーションがとりにくいことがある

2 本人や家族からの要求に対処に困ることがある

3 介護職員等の知識不足を感じるときがある

4 知識や技術習得のための時間が確保できない

5 専門的な相談をする場所がない

6 必要な介護保険サービスを十分確保できない

7 認知症の本人や家族に必要な支援が十分ではない

8 専門医まで結びつかない

9 家族がなかなか認知症と認めない

10 家族が認知症の方への対応方法が分からない

11 認知症の本人が介護保険サービス以外に身近に通える場所がない

12 悩んでいることはない

13 その他（）

問17. 貴事業所の運営に関して現在、困難を感じるのは何ですか。（○は3つまで）

1 人材の確保が難しい

2 人材育成が難しい

3 事務作業が増加している

4 経営経費・活動資金が不足している

5 施設・設備の改善が難しい

6 介護報酬が実態にそぐわない

7 利用者の継続的な確保が難しい

8 利用者や家族の制度に対する理解が進んでいない

9 行政機関等との連携を取ることが難しい

10 特にない

11 その他（）

11

問18. 市に支援・充実してほしいと思うことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1 介護保険制度に関する最新・適切な情報の提供

2 市の高齢者保健福祉施策・サービスに関する情報の提供

3 他の介護保険事業者に関する情報の提供

4 事業者間の連携強化のための支援

5 ケアマネジャーやホームヘルパー等サービス提供者養成の推進

6 ケアマネジャーやホームヘルパー等サービス提供者の質の向上のための研修の実施

7 ケアマネジャーやサービス提供者のための相談への対応

8 処遇困難者への対応

9 サービス利用者や家族の介護保険制度の理解向上に向けた取り組み

10 地域で活動するNPOやボランティア団体等に係る情報の提供

11 特にない

12 その他（）

事業の拡大・縮小等の意向について

問19. 貴事業所の角田市をサービス提供地域とする介護サービス事業（介護予防・日常生活支援総合事業含む）について、今後どのような方向性をお考えですか。介護サービスの種類及び事業所の規模のそれぞれについて、令和9年度から令和11年度までの意向（予定）をお答えください。（それぞれあてはまるものに○は1つずつ）

	増やす（拡大する）	減らす（縮小する）	現状維持・未定
ア 介護サービスの種類	1	2	3
イ 事業所の規模	1	2	3

【問19の『ア、イ』のいずれかで「2 減らす（縮小する）」と回答した事業所のみお答えください。】

問19-1. 貴事業所の角田市をサービス提供地域とする介護サービス事業について、減らす（縮小する）ことを予定（検討）している（介護予防）介護サービスは何か（介護予防・日常生活支援総合事業を含みます）。また、その理由や時期をご記入ください。

サービス名	理 由	減らす（縮小する）時期
		令和 年 月

12

259

【問19の『ア、イ』のいずれかで「1 増やす（拡大する）」と回答した事業所のみお答えください。】
問19-2. 貴事業所の角田市をサービス提供地域とする介護サービス事業について、増やす（拡大する）ことを予定（検討）しているサービス、または事業所（法人）として新規参入を予定（検討）しているサービスは何か（介護予防を含みます）。増やす、または新規参入を予定（検討）しているサービスは〇を付け、定員数や参入予定（希望）時期をご記入ください。（あてはまるものすべてに〇）

サービス名	定員	参入予定（希望）時期
1 居宅介護支援		令和 年 月
2 訪問介護		令和 年 月
3 訪問入浴介護		令和 年 月
4 訪問看護		令和 年 月
5 訪問リハビリテーション		令和 年 月
6 居宅療養管理指導		令和 年 月
7 通所介護	名	令和 年 月
8 通所リハビリテーション		令和 年 月
9 短期入所生活介護		令和 年 月
10 短期入所療養介護		令和 年 月
11 福祉用具貸与		令和 年 月
12 特定福祉用具販売		令和 年 月
13 夜間対応型訪問介護		令和 年 月
14 定期巡回・随時対応型訪問介護看護		令和 年 月
15 認知症対応型通所介護		令和 年 月
16 小規模多機能型居宅介護		令和 年 月
17 看護小規模多機能型居宅介護		令和 年 月
18 特定施設入居者生活介護（有料老人ホームやケアハウス等）	名	令和 年 月
19 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	名	令和 年 月
20 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	名	令和 年 月
21 介護老人保健施設（老人保健施設）	名	令和 年 月
22 介護医療院		令和 年 月

※新規参入についての注意※
施設サービス及び地域密着型サービスの一部（上表の14、16～22）については、宮城県や角田市の介護保険事業（支援）計画に基づいた整備が必要となります。

【問19の『ア、イ』のいずれかで「1 増やす（拡大する）」と回答した事業所のみお答えください。】
問19-3. 問19-2において、参入を予定（検討）している介護サービス事業について、具体的な計画があればその内容等についてご記入ください。（記入例）

予定している 介護サービス	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
事業内容 （現時点において、わかる範囲で記入ください）	【在宅系等】 現行 〇〇人／月 ⇒ 追加整備後 〇〇人／月 【施設系等】 新規整備 〇〇床（令和〇〇年〇〇月から） 増床 現行 〇〇床 ⇒ 追加 〇〇床へ
予定している 介護サービス	
事業内容 （現時点において、わかる範囲で記入ください）	

【問19の『ア、イ』のいずれかで「1 増やす（拡大する）」と回答した事業所のみお答えください。】
 問 19- 角田市の介護予防・日常生活支援総合事業について、貴事業所で増やす、または新規参入を予定（検討）しているサービスはありますか。増やす、または新規参入を予定（検討）しているサービスに付け、参入予定（希望）時期をご記入ください。（あてはまるものすべてに○）

サービス名	参入予定（希望）時期
1 従前相当サービス（訪問型）	令和 年 月
2 訪問型サービス・活動A（緩和した基準によるサービス）	令和 年 月
3 訪問型サービス・活動C（短期集中予防サービス）	令和 年 月
4 訪問型サービス・活動D（移動支援）	令和 年 月
5 従前相当サービス（通所型）	令和 年 月
6 通所型サービス・活動A（緩和した基準によるサービス）	令和 年 月
7 通所型サービス・活動C（短期集中予防サービス）	令和 年 月
8 一般介護予防事業	令和 年 月
9 その他（具体的に： ）	令和 年 月

【問19の「ア、イ」のいずれかで「1 増やす（拡大する）」と回答した事業所のみお答えください。】
問 19-5.問 19-4 において、参加を予定（検討）している介護予防・日常生活支援総合事業について、具体的な計画があればその内容等についてご記入ください。

※問19-3と同様の形で記入してください

予定している 介護サービス	事業内容 (現時点において、わかる範囲でご記入ください)
------------------	---------------------------------

15

■最後に、市に対するご意見、ご要望、ご不満等がありましたらご自由にお書きください。

100

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

誠に恐縮ですが、返信用封筒(切手不要)に入れ、ポストにご投函ください。

角田市ケアマネジャー現況調査
《 調査ご協力をお願い 》

日頃から、本市の高齢者施策及び介護保険事業の運営にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

近年、高齢化の進行や医療・介護ニーズの複雑化等に伴い、持続可能で質の高い介護保険サービスの安定的なサービス提供が求められております。

そのため、介護保険サービスの利用者と直接関わりのあるケアマネジャーの皆さんのご意見・ご要望をお聞きし、今後の本市における高齢者施策や介護保険制度運営の参考とするため、ケアマネジャー現況調査を実施いたします。

お忙しいところ大変恐縮ですが、趣旨をご理解いただきアンケートにご協力いただきますよう、よろしく願い申し上げます。

また、お答えいただいた内容は統計的に処理し、この調査の目的にのみ利用しますので、率直なご意見をお寄せください。

令和8年1月 角田市長 黒須 貴

◆ 回答にあたってのお願い ◆

1. 原則、令和7年12月31日現在の状況でご記入ください。
2. 回答は、あてはまる回答番号にそれぞれの設問文で指定された数だけ○印をつけてください。また、「その他」と回答される場合は、()の中に具体的な内容をご記入ください。
3. 用紙での回答が一部困難な場合は、関係資料等の同封や別途メール等での補足の回答もいただきますよう、お願いいたします。なお、資料等の送付につきましては、下記の《お問い合わせ先》までお送りいただきますよう、お願いいたします。
4. ご記入が完了しましたら、同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、**令和8年2月9日(月)までに郵便ポストにご投函**ください。よろしく願いたします。

《お問い合わせ先》

角田市 市民福祉部 介護支援課 介護保険係
〒981-1505 宮城県角田市角字柳町35番地1
電 話：0224-63-2151（直通） FAX：0224-63-3975
E-Mail：kaigo@city.kakuda.lg.jp

あなた自身について

問1. あなたの事業所のサービス種別を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|----------|-----------------|
| 1 居宅介護支援 | 3 看護小規模多機能型居宅介護 |
| 2 介護予防支援 | |

問2. あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問3. あなたの年齢区分を教えてください。(○は1つ)

- | | | |
|---------|---------|-------------|
| 1 20 歳代 | 3 40 歳代 | 5 60 歳～64 歳 |
| 2 30 歳代 | 4 50 歳代 | 6 65 歳以上 |

問4. あなたのケアマネジャーとしての経験年数を教えてください。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|--------------|---------------|
| 1 1 年未満 | 3 3 年以上5 年未満 | 5 7 年以上10 年未満 |
| 2 1 年以上3 年未満 | 4 5 年以上7 年未満 | 6 10 年以上 |

問5. 令和7年12月31日現在、あなたは何人のケアプランを担当していますか。(委託件数を含む)

() 人

利用者の状況や福祉サービスについて

問6. 現時点の介護保険対象サービスについて、(ア) 現在供給が不足していると感じるサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)
また、今後の介護保険対象サービスについて、(イ) 今後需要が増えたり必要となると考えられるサービスはありますか。(あてはまるもの3つまでに○)

区分	サービス名	(ア) 現在供給が不足しているサービス	(イ) 今後需要が増えたり必要となると考えられるサービス
在宅サービス	居宅介護支援・介護予防支援	1	1
	訪問介護	2	2
	訪問入浴介護	3	3
	訪問看護	4	4
	訪問リハビリテーション	5	5
	居宅療養管理指導	6	6
	通所介護	7	7
	通所リハビリテーション	8	8
	短期入所生活介護	9	9
	短期入所療養介護	10	10
	福祉用具の貸与	11	11
	特定福祉用具の販売	12	12
	夜間対応型訪問介護	13	13
地域サービス	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	14	14
	認知症対応型通所介護	15	15
	小規模多機能型居宅介護	16	16
	看護小規模多機能型居宅介護	17	17
	特定施設入居者生活介護(有料老人ホームやケアハウス等)	18	18
	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	19	19
	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	20	20
施設サービス	介護老人保健施設	21	21
	介護医療院	22	22
	特になし	23	23

【問6 (ア) で「23 特になし」以外と回答した方におたずねします。】

問 6-1. 最も供給が不足していると感じるサービスは何ですか。また、その理由を記入してください。

【サービス名：

】

【理由】

問7. 現時点の介護予防・日常生活支援総合事業について、(ア) 現在供給が不足していると感じるサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)
また、今後の介護予防・日常生活支援総合事業について、(イ) 今後需要が増えたり必要となると考えられるサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

区分	サービス名	(ア) 現在供給が不足しているサービス	(イ) 今後需要が増えたり必要となると考えられるサービス
訪問型サービス	従前相当サービス	1	1
	訪問型サービス・活動A (緩和した基準によるサービス)	2	2
	訪問型サービス・活動B (住民主体による支援)	3	3
	訪問型サービス・活動C (短期集中予防サービス)	4	4
	訪問型サービス・活動D (移動支援)	5	5
通所型サービス	従前相当サービス	6	6
	通所型サービス・活動A (緩和した基準によるサービス)	7	7
	通所型サービス・活動B (住民主体による支援)	8	8
	通所型サービス・活動C (短期集中予防サービス)	9	9
	その他生活支援サービス ()	10	10
地域介護	地域介護予防活動支援事業 (通いの場関係)	11	11
	地域リハビリテーション活動支援事業	12	12
	特になし	13	13

問8. 角田市が行っている高齢者福祉サービスをケアプランに取り入れていますか。または取り入れたことがありますか。(それぞれ○は1つ)				
サービスの種類 (利用できる対象者)	内容	取り入れたことがある	取知 りて い た こ と は な い	サ ー ビ ス を 知 ら な い
(ア) 緊急通報システム (ひとり暮らしの高齢者)	自宅で緊急時にボタンを押すと警備会社 が協力員へ連絡し安全確認を行います。	1	2	3
(イ) 寝具洗濯乾燥サービス (高齢者のみの世帯の方)	寝具の衛生管理が困難な方に、寝具類の 洗濯、乾燥、消毒を行います。	1	2	3
(ウ) 紙おむつ等の支給 (要介護・要支援認定者で 常時紙おむつを必要とす る高齢者)	在宅で高齢者を介護している家族に、紙 おむつ購入券と有料ごみ袋購入券を交付 します。	1	2	3
(エ) 高齢者福祉タクシー助成 (高齢者のみの世帯の75 歳以上の方)	社会参加の促進、通院費用の負担軽減を 図るため年間9,600円(1枚200円)を助 成します。	1	2	3
(オ) 訪問理美容サービス (高齢者のみの世帯の要 介護・要支援認定者)	理容店、美容院に行くことが困難な方の お宅に理容師、美容師が出張する経費 1,500円を助成します。	1	2	3
(カ) 救急医療情報キット支給 (ひとり暮らしの高齢者)	かかりつけ医療機関や救急時に必要な情 報を記入する救急医療情報キットを支給 します。	1	2	3
(キ) 配食サービス (高齢者のみの世帯の方)	夕食を月～金曜日の希望する曜日に届け ることにより、健康の保持や安全確認を 行います。	1	2	3
(ク) 認知症高齢者等見守り QR コード活用事業	認知症高齢者等が外出して、地域の皆さ んや警察等に保護された場合に、身元が 早期に特定できるよう専用の QR コードシ ールを活用し、親族や支援者等に連絡で きるシステムです。	1	2	3
※QR コードは株式会社デンソー ウェアの登録商標です。				
(ケ) 認知症カフェ	認知症の方とその家族・地域住民やサポ ーターの交流、情報交換の場所として開 催しています。	1	2	3
(コ) 角田市シルバー人材セン ターが行う「おでっ隊」	1回200円で30分以内のちょっとした困 り事(ゴミ出し、灯油入れ等)への支援サ ービスです。	1	2	3

問9. ケアプランに問8以外の介護保険外のサービスを取り入れていますか。(○は1つ)	
1 取り入れている	2 取り入れていない

【問9で「1 取り入れている」と回答した方におたずねします。】

問9-1. 介護保険外のサービスは何ですか。また、取り入れたサービスについて、良いことや不満に思ったことはありますか。

問10. ケアプランの作成時に困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1 サービス提供事業者との調整	2 利用者本人と家族との意見が異なること	3 介護支援専門員の1人あたりの担当する利用者数が多いこと
4 サービス管理票や請求書作成等の事務作業が多いこと	5 制度等に関する利用者の知識不足	6 サービス提供体制が不十分で、利用者のニーズに対応できないこと
7 事業所の経営を意識したケアプランになっしょうこと	8 要介護度ごとに定められた支給限度額は、サービス量が不足してしまうこと	9 利用者負担が重くサービス利用が控えられてしまうこと
10 サービス担当が重くサービス利用の体制が確立できていないこと	11 医療機関等との連携がとれないこと	12 自己研鑽や情報収集の時間がないこと
13 介護保険外での情報が少ないこと	14 職場内でのケアプラン作成への指導がないこと	15 特にな
16 その他 ()		

問11. 利用者からの相談や要望で、どのような内容のものが多く感じますか。多いと思うものを記入してください。

6

地域の状況について

【全ての方におたずねします。】

問12. 地域にあっては良いと思っ生活支援サービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1 見守り・声掛け	11 庭木の剪定、草取り
2 話し相手	12 高い所の作業（電球の交換等）
3 ゴミ出し	13 ちよっととした力仕事（精米、給油等）
4 食事の支度	14 サロン等の定期的な通いの場
5 食べ物の差入れ	15 カフェ等自由に集える場
6 車での送迎	16 服薬の確認（声かけ・仕分け等）
7 外出同行（通院・買い物等）	17 宅配・移動販売
8 買い物代行	18 特になし
9 掃除	19 その他（ ）
10 洗濯	

問13. 問 12 以外で介護保険外のサービス（住民間わず）で必要だと感じるサービスがあれば具体的に記入してください。

問14. 在宅で生活を続けるとしたら、何か必要だと感じますか。(あてはまるもの3つまでに○)

1 健康状態や身体機能を維持・向上させること
2 家事や買い物等日常生活を送ることができる支援があること
3 困ったときに相談できる窓口があること
4 夜間・緊急時でも必要な介護サービスを必要ときに利用できること
5 夜間・緊急時でも必要な医療を必要ときに受けることができること
6 医療や介護に関する費用が高額でないこと
7 地域住民やボランティアによる見守りや声掛け等の助け合いがあること
8 認知症高齢者のための支援があること
9 デマンドタクシー等の交通手段が充実していること
10 低所得者の高齢者が暮らせる住宅等が整備されていること
11 特になし
12 その他（ ）

問15. 地域包括ケア実現に向け、重度の要介護者となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けることができるようにするためには、ケアマネジャーの視点からどのようなことが必要だと考えますか。

問16. 角田市未来ノート（エンディングノート）の存在を知っていますか。（○は1つ）

1 知っている	2 知らない
---------	--------

※角田市未来ノート（エンディングノート）：認知症や突然の病気等、万が一に備えて今後の人生への思いや介護・医療・財産についての希望、大切な方へのメッセージ等を記録するノートです。

関係機関との連携について

問17.主治医と連携は取れていますか。(○は1つ)

1 十分取れている

2 ある程度取れている

3 あまり取れていない

4 取れていない

【問17で「3 あまり取れていない」「4 取れていない」と回答した方におたずねします。】

問17-1.主治医との連携を取ることが困難な理由は何ですか。

問18.その他の医療機関の関係者と連携は取れていますか。また、その他の医療機関の関係者と連携が取れていない場合はその理由を教えてください。(それぞれ○は1つ)

	十分取れている	ある程度取れている	あまり取れていない	取れていない	連携を取ることが困難な理由
(ア) 薬剤師	1	2	3	4	
(イ) 看護師	1	2	3	4	
(ウ) 相談員	1	2	3	4	
(エ) リハビリ職	1	2	3	4	
(オ) 栄養士	1	2	3	4	
(カ) 歯科衛生士	1	2	3	4	

問19.介護サービス事業所との連携は取れていますか。(○は1つ)

1 十分取れている

2 ある程度取れている

3 あまり取れていない

4 取れていない

【問19で「3 あまり取れていない」「4 取れていない」と回答した方におたずねします。】

問19-1.介護サービス事業所との連携を取ることが困難な理由は何ですか。

問20.地域包括支援センターとの連携は取れていますか。(○は1つ)

1 十分取れている

2 ある程度取れている

3 あまり取れていない

4 取れていない

【問20で「3 あまり取れていない」「4 取れていない」と回答した方におたずねします。】

問20-1.地域包括支援センターとの連携を取ることが困難な理由は何ですか。

問21.地域包括支援センターに望むことはどのようなことですか。

問22.保険者（角田市）との連携は取れていますか。(○は1つ)

1 十分取れている

2 ある程度取れている

3 あまり取れていない

4 取れていない

【問22で「3 あまり取れていない」「4 取れていない」と回答した方におたずねします。】

問22-1.保険者（角田市）との連携を取ることが困難な理由は何ですか。

問23.市に支援・充実してほしいと思うことはありますか。

認知症対策について

問24. 令和6年12月に国の「認知症施策推進基本計画」において示された「新しい認知症観」という言葉を聞いたことがありますか。また、その内容について知っていますか。(○は1つ)

- | | |
|---|------------------------------------|
| 1 | 新しい認知症観という言葉を聞いたことがあり、内容は詳しく知っている |
| 2 | 新しい認知症観という言葉を聞いたことがあり、内容はある程度知っている |
| 3 | 新しい認知症観という言葉を聞いたことがあるが、内容は知らない |
| 4 | 新しい認知症観という言葉を聞いたことがない |

※新しい認知症観：認知症になったら何もできなくなるのではなく、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方のことです。

問25. あなたが担当している認知症の方について、地域生活の様々な場面において、認知症の方の意欲が尊重され、認知症の方が望む生活が継続できていると思いますか。(○は1つ)

- | | | | |
|---|----------------|---|---------------|
| 1 | そう思う | 4 | そう思わない |
| 2 | どちらかといえばそう思う | 5 | 認知症の方を担当していない |
| 3 | どちらかといえばそう思わない | | |

問26. 認知症の要介護（要支援）認定者とその家族に対して、悩んでいることがありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|----|-------------------------------|
| 1 | 本人とコミュニケーションがとりにくいことがある |
| 2 | 本人や家族からの要求に対し対応に困ることがある |
| 3 | 自分自身の知識不足を感じ自信がないときがある |
| 4 | 知識や技術習得のための時間が確保できない |
| 5 | 専門的な相談をする場所がない |
| 6 | 必要な介護保険サービスを十分確保できない |
| 7 | 認知症の本人や家族に必要な支援が十分ではない |
| 8 | 専門医まで結びつかない |
| 9 | 家族がなかなか認知症と認めない |
| 10 | 家族が認知症の方への対応方法が分からない |
| 11 | 認知症の本人が介護保険サービス以外に身近に通える場所がない |
| 12 | 悩んでいることはない |
| 13 | その他（ ） |

問27. 認知症の要介護（要支援）認定者とその家族に対して、悩んでいることがある場合、どのような支援があればよいと思いますか。

質の向上について

問28. ケアマネジャーとしての質の確保・向上を図るために、今後どのような視点を重視した取り組みが必要だと思いますか。また、あなた自身が今後取り組みたいと思うことは何ですか。（それぞれあてはまるもの3つまでに○）

	(ア)ケアマネジャーの質の確保で必要なこと	(イ) あなた自身が今後取り組みたいと思うこと
①	アセスメント能力や評価能力等のケアマネジメント技術の向上	1
②	業務の効率化に向けたICTの活用や活用方法の研修	2
③	利用者への対応の仕方等マナーやコミュニケーション技術の向上	3
④	苦情や相談への対応能力の向上	4
⑤	処遇困難者への対応能力の向上	5
⑥	制度に関する最新情報の取得	6
⑦	第三者評価の実施（「介護サービス情報の公表」を除く）	7
⑧	事業所内でのキャリアパスの構築	8
⑨	自立支援のためのケアプラン作成能力の向上	9
⑩	特にない	10
⑪	その他（ ）	11

問29. 参加したいセミナーや研修はありますか。（あてはまるものすべてに○）

1	医療知識を得るための研修	7	ケアマネジャーの実務関連の研修
2	認知症を理解するための研修	8	暮らしとお金（医療費・年金等）の研修
3	精神疾患を理解するための研修	9	権利擁護（成年後見・虐待等）の研修
4	困難事例への対応を学ぶ研修	10	特にない
5	障害福祉の知識を得るための研修	11	その他
6	介護保険制度の最新情報を得るための研修		

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
誠に恐縮ですが、返信用封筒(切手不要)に入れ、ポストにご投函ください。

角 田 市 高 齢 者 実 態 調 査
調 査 結 果 報 告 書

発行年月 令和8年3月
発 行 角田市 市民福祉部 介護支援課

〒981-1505 宮城県角田市角田字柳町35-1
T E L : (0224) 63-2151
F A X : (0224) 63-3975
